ユニットプライス型積算基準
【試行用】

平成 22 年度

国 土 交 通 省

第Ⅰ編　総　則

第１章　総則・・・

第５章　数値基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－５－①－１

第６章　工事の一時中止に伴う増加費用等の積算・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－６－①－１

① 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算について
　１ 増加費用等の範囲
　２ 増加費用等の算定

第７章　設計変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－７－①－１

① 一般事項
② 請負代金額の変更について
③ 設計変更時における単価等の算出方法
④ 設計変更における留意事項
⑤ 単価合意が成立しなかった場合の積算

第８章　日当り施工量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－８－①－１

第Ⅱ編　共通条件

第１章　共通条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅱ－１－①－１

① 夜間施工の場合
② 時間的制約を受ける場合
③ ユニットプライスの算定方法
④ その他

第２章　土量変化率等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅱ－２－①－１

① 土量の変化
② 土量変化率
③ 土質区分の対応
④ 岩質の判定基準

第３章　施工の流れと対応ユニット
①土の流れ概念図及び対応ユニット ・・・・・・・・・・・・・・・Ⅱ－３－①－１
②消波根固めブロック工の流れ及び対応ユニット ・・・・・・・・・Ⅱ－３－②－１
（築堤･護岸、堤防・護岸、砂防えん堤）

第Ⅲ編　ユニット

直接工事費（ユニット）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第Ⅲ編　直接工事費（ユニット）
間接工事費（ユニット）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第Ⅲ編　間接工事費（ユニット）
一般管理費等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第Ⅲ編　一般管理費等
索引

第Ⅰ編　総　則

第１章　総則　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－１－①－１

第２章　工事費の積算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－２－①－１

第３章　一般管理費等及び消費税相当額　・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－３－①－１

第４章　随意契約方式により工事を発注する場合の
　　間接工事費（ユニット）、一般管理費等の調整について　・・Ⅰ－４－①－１

第５章　数値基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－５－①－１

第６章　工事の一時中止に伴う増加費用等の積算　・・・・・・・・・Ⅰ－６－①－１

第７章　設計変更　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－７－①－１

第８章　日当り施工量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ－８－①－１

第１章　総則

① 適用範囲等

1 適用範囲

本ユニットプライス型積算基準は、国土交通省直轄のユニットプライス型積算対象工事（表 1）の請負施工に付する場合の工事費の積算に適用する。

ただし、この基準によることが著しく不適当又は困難であると認められるものについては、適用除外とすることが出来る。また、緊急工事、港湾工事や空港工事については、別途の定めによるものとする。

2 ユニットプライス

ユニットプライスとは、ユニット区分（請負代金の総額を構成する基本区分）毎の単位当り価格で、材料費、労務費等の直接必要な費用のほか、当該費用に関連する経費等を含んだものであり、ユニット区分は直接工事費（ユニット）、間接工事費（ユニット）、一般管理費等に大別される。

なおユニットプライス型積算方式では、ユニット区分を単位として設計書を作成する。

3 設計書の作成

設計書の作成にあたっては、目的とする工事を最も合理的に施工及び監督出来るよう施工条件、施工管理、安全施工等に十分留意し、明確に作成しなければならない。

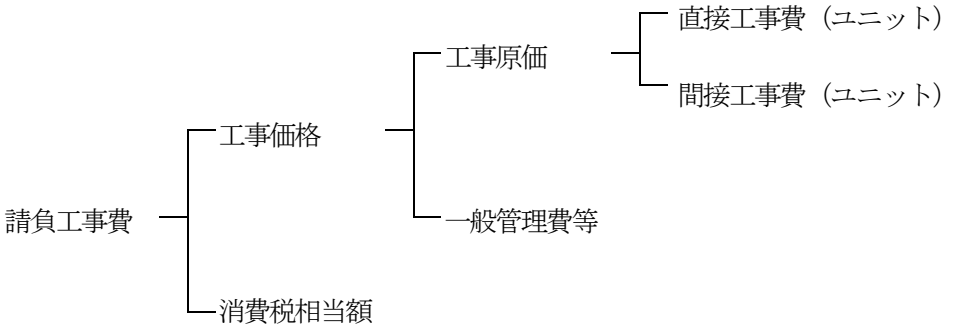
表１　適用工事区分

工事区分（ﾚﾍﾞﾙ１）		工事内容
築堤・護岸		河川の改修にあって、以下の工事 築堤工、護岸工、特殊堤工及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については除く
河川維持		堤防の維持補修（河川高潮対策区間の工事を含む）にあって、以下の工事 １．堤防天端・法面等の補修工事 ２．標識、境界杭防護柵及び駒止等の設置 ３．河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業 ４．１～３に類する工事
河川修繕		河川工事にあって、以下の工事 堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、護岸等の修繕（補強）工事及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については除く
砂防えん堤		砂防工事にあって、次に掲げる工事 えん堤工（コンクリート、鋼製）、えん堤工に伴う護床工・根固め工およびこれらに類する工事
道路改良		道路の新設や改築（２次改築含む）および道路防災（災害防除）にあって、以下の工事 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止策工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事
舗装		道路の新設や改築（２次改築含む）にあって、以下の工事 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、コンクリートブロック舗装工及びこれらに類する工事 ただし、小規模（パッチング等）な工事で施工箇所が点在する工事は除く
電線共同溝		電線共同溝に関する工事
道路維持		道路の維持補修、交通安全対策にあって、以下の工事 １．伸縮継手補修工、道路付属物塗装工、トンネル漏水防止工、トンネル内装工（供用トンネル）、路面切削工、高欄取替工、小規模（パッチング等）な工事で施工箇所が点在する路面工、法面等の維持補修（※２）に関する工事 ２．道路標識（※１）、防護柵（※１）、樹木等及び区画線等の設置 ３．除草、清掃及び植栽等の緑地管理に関する作業 ４．歩道設置（拡幅） ５．１～４に類する工事 ※１：局部的新設、復旧・更新を主とする場合に適用 ※２：法面工の補修については局部的な場合に適用
道路修繕	コンクリート構造物修繕	コンクリート構造物の修繕にあって、以下の工事 １．橋梁（鋼橋は除く）の修繕、橋台・橋脚補強工事 ２．床版打替工（合成床版含む）、沓座拡幅工、落橋防止工・耐震補強工（ＲＣ構造） ３．１，２に類する工事
	舗装修繕	道路の修繕、交通安全対策および改築（現道部）にあって、以下の工事 １．セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、路上再生処理工、オーバーレイ工及びこれらに類する工事 ２．歩道設置（拡幅）、交差点改良における舗装工事 ただし、小規模（パッチング等）な工事で施工箇所が点在する工事は除く ３．１，２に類する工事
	鋼構造物修繕	鋼構造物の修繕にあって以下の工事 １．鋼橋塗替工、鋼橋桁連結工、橋梁補修工（鋼版接着・増桁）、落橋防止工・耐震補強工（ＲＣ構造以外）及びこれらに類する工事

② 請負工事の工事費構成

1 工事費の基本構成

1－1 請負工事費の構成は、次のとおりとする。



1－2 請負工事費は、次の各号に掲げるものとする。

（1） 直接工事費（ユニット）

直接工事費（ユニット）は、箇所又は工事種類により各工事部門を工種、種別、ユニット区分し、それぞれの区分毎に材料費、労務費、直接経費及び 間接工事費（一部）を含んだユニットプライスを用いて積算するものとする。なお、直接工事費（ユニット）は、当該費用に関連する現場管理費を含んだものである。

注）なお、工事に使用される工事製作品が存在した場合、工場製作原価の積算については、土木工事標準積算基準書によるものとする。また、工場製作品については、共通仮設費及び現場管理費の対象としない。

（2） 間接工事費（ユニット）

間接工事費（ユニット）は、直接工事費（ユニット）に計上しない共通仮設費及び共通仮設費（率計上）で構成するものである。なお、各間接工事費（ユニット）は、当該費用に関連する現場管理費を含んだものである。

（3） 一般管理費等

一般管理費等は、工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなる。

（4） 消費税相当額

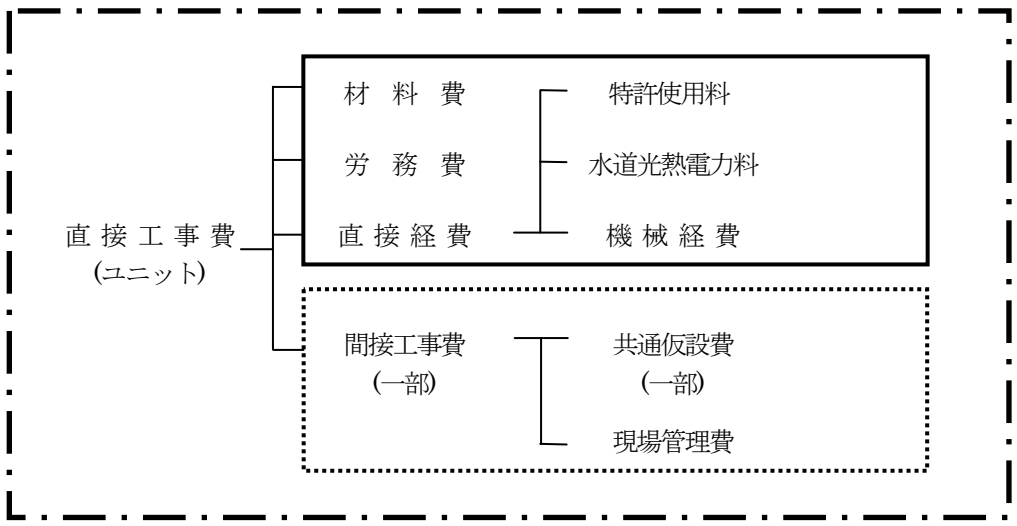
消費税相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとする。

第２章　工事費の積算

① 直接工事費(ユニット)

1　総則

直接工事費（ユニット）は、箇所又は工事種類により各工事区分を工種、種別、ユニット区分及び名称に区分し、それぞれの区分毎に材料費、労務費、直接経費及び間接工事費（一部）を含んだユニットプライスを用いて積算するものとする。直接工事費（ユニット）に含まれる間接工事費（一部）は次に掲げるものとする。



(注)　: 直接工事費(ユニット)　: 直接工事費　: 間接工事費(一部)

１－１ 共通仮設費(一部)に区分される費用

間接工事費（一部）のうち、共通仮設費（一部）に区分される費用は以下のとおりである。

（1） 運搬費

(A) 器機材

a 仮設材(型枠材、足場材、支保材)

b 仮設材(橋梁ベント、橋梁架設用タワー、排砂管、トレミー管、トンネル用スライディングセントル等)

c 敷鉄板(敷鉄板設置撤去工で積上げ分は除く)

d 積込取卸費(仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板)及び敷鉄板(敷鉄板設置撤去工で積上げ分は除く)、橋梁等架設支保工の基礎用鋼矢板又はH形鋼の積込取卸費)

(B) 建設機械 20t 未満

a 日々回送による運搬(分解・組立・輸送)に要する費用

(C) 建設機械 20t 以上

a 自走による運搬

b 日々回送による運搬(分解・組立・輸送)に要する費用

c 現場内小運搬

（2） 準備費

(A) 準備及び後片付けに要する費用

(B) 調査・測量、丁張等に要する費用

(C) 準備作業に伴う、伐開、除根、除草による現場内の集積・積込み及び整地、段切り、すりつけ等に要する費用

（3） 技術管理費

(A) 品質管理基準に記載されている項目に要する費用

(B) 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用

(C) 工程管理のための資料の作成等に要する費用

(D) 完成図，マイクロフィルムの作成及び電子納品等（道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く）に要する費用

(E) 建設材料の品質記録保存に要する費用

(F) コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用

(G)コンクリートの単位水量測定，ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用

(H) 溶接試験における放射線透過試験に要する費用

(I) 施工管理で使用するＯＡ機器の費用

(J) 品質証明に係る費用（品質証明費）

（4） 営繕費

(A) 労働者の輸送に要する費用

１－２ 現場管理費に区分される以下の費用

間接工事費（一部）のうち、現場管理費に該当する費用とは、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費以外の経費であり、以下のとおりである。

（1）労務管理費

現場労働者に関わる次の費用とする。

(A) 募集及び解散に要する費用(赴任旅費及び解散手当を含む。)

(B) 慰安、娯楽及び厚生に要する費用

(C) 材料費、労務費、直接経費、共通仮設費に含まれない作業用具及び作業用被服の費用

(D) 賃金以外の食事、通勤等に要する費用

(E) 労災保険法等による給付以外に災害時には事業主が負担する費用

（2）安全訓練等に要する費用

現場労働者の安全・衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用

（3）租税公課

固定資産税、自動車税、軽自動車税等の租税公課。ただし、機械経費の機械器具等損料に計上された租税公課は除く。

（4）従業員給料手当

現場従業員の給料、諸手当(危険手当、通勤手当、火薬手当等)及び賞与

ただし、本店及び支店で経理される派遣会社役員等の報酬及び運転者、世話役等で材料費、労務費、直接経費、共通仮設費に含まれる現場従業員の給料等は除く。

（5）退職金

現場従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰入額

（6）保険料

自動車保険（機械器具等損料に計上された保険料は除く。）工事保険、組立保険、法定外の労災保険、火災保険、その他損害保険の保険料

（7）法定福利費

現場従業員及び現場労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額並びに建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額

（8）福利厚生費

現場従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用

（9）事務用品費

事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費

(10) 通信交通費

通信費、交通費及び旅費

(11) 交際費

現場への来客等の対応に要する費用

(12) 補償費

工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通騒音等による事業損失に係る補償費。ただし、臨時にして巨額なものは除く。

(13) 外注経費

工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要となる経費

(14) 工事登録等に要する費用

工事実績の登録に要する費用

(15) 雑費

(1)から(14)までに属さない諸費用

2 算定方法

直接工事費(ユニット)の算定は以下によるものとする。

２－１ 標準的なユニットプライスを適用する。

本手法は、過去の合意単価の実績より設定されたユニットプライスによって算定する。ただし、上記の手法で設定出来ない場合は、２－２もしくは２－３の手法にてユニットプライスを算定する。

なお、２－２の手法によりがたい場合、２－３の手法を適用する。

２－２ 現行の積算基準によってユニットプライスを算定する。

本手法は以下の通りとする。その場合、直接工事費と処分費を同じユニットプライスとして、内在させないように留意する。

（1）土木工事標準積算基準書で直接工事費を算定する。

（2）直接工事費に表２の率を乗じて、ユニットプライスを算定する。

表２ 間接工事費（一部）

工事区分（レベル１）		共通仮設費（一部） Kr	現場管理費 Jo
築堤・護岸		7.51%	21.50%
河川維持		4.24%	28.51%
河川修繕		4.02%	21.86%
砂防えん堤		4.21%	22.14%
道路改良		6.79%	22.11%
舗装		6.92%	19.05%
電線共同溝		2.64%	24.89%
道路維持		2.29%	30.81%
道路修繕	コンクリート構造物修繕	4.31%	22.99%
	舗装修繕	4.08%	22.60%
	鋼構造物修繕	7.75%	30.12%

算定式

【ユニットプライス算定式】

ユニットプライス＝P＋P・Kr(%)＋(P＋P・Kr(%))・Jo(%)

ただし、P　：土木工事標準積算基準書で算出した直接工事費

Kr　：共通仮設費(一部)率(%)

Jo　：現場管理費率(%)

注）工場製作原価については上記、共通仮設費率（一部）及び現場管理費は乗じないものとする。

２－３ 特別調査や見積りによってユニットプライスを算出する。

本手法は「２－１」と「２－２」の手法が適用出来ない場合に適用する。

その場合、直接工事費と処分費を同じユニットプライスとして、内在させないように留意する。

（1）特別調査又は見積りによって、直接工事費を決定する。なお、見積徴収の手法については土木工事標準積算基準書による。

（2）直接工事費に表２間接工事費（一部）の率を乗じて、ユニットプライスを算定する。

なお、工場製作原価については上記、共通仮設費率（一部）及び現場管理費は乗じないものとする。

3 特許使用料

3－1 適用範囲

直接工事費(ユニット)の特許使用料に適用する。

特許使用料の適用は、特許権等に係る施工法・試験法・製造法並びに特許権、実用新案権及び意匠権等を用いて施工・製作させた装置等、工業所有権等に係るもの全てを対象とした特許工法等とし、特許法に基づく手続きのうち、設定登録が完了している場合及び出願を完了し、且つ、設定登録が完了していない手続き期間において、当該工法等を使用する積算に適用する。

また、特許使用料を計上するのは、共有特許及び民間特許工法等を使用する場合とする。

3－2 費用内訳

特許使用料は、契約に基づき使用する特許の使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とする。

3－3 積算方法

共有特許工法等を使用する場合は、実施契約に基づく、民間企業等が有する特許権の持分に対応した特許使用料を計上し、民間特許工法等を使用する場合は、当該特許工法に係る全ての特許使用料を計上する。なお、特許権、実用新案権等を用いて施工・製作させた装置等については、特許使用料が含まれている場合があるので留意されたい。

4 数量

「第５章　数値基準」に基づく設計数量を計上するものとする。

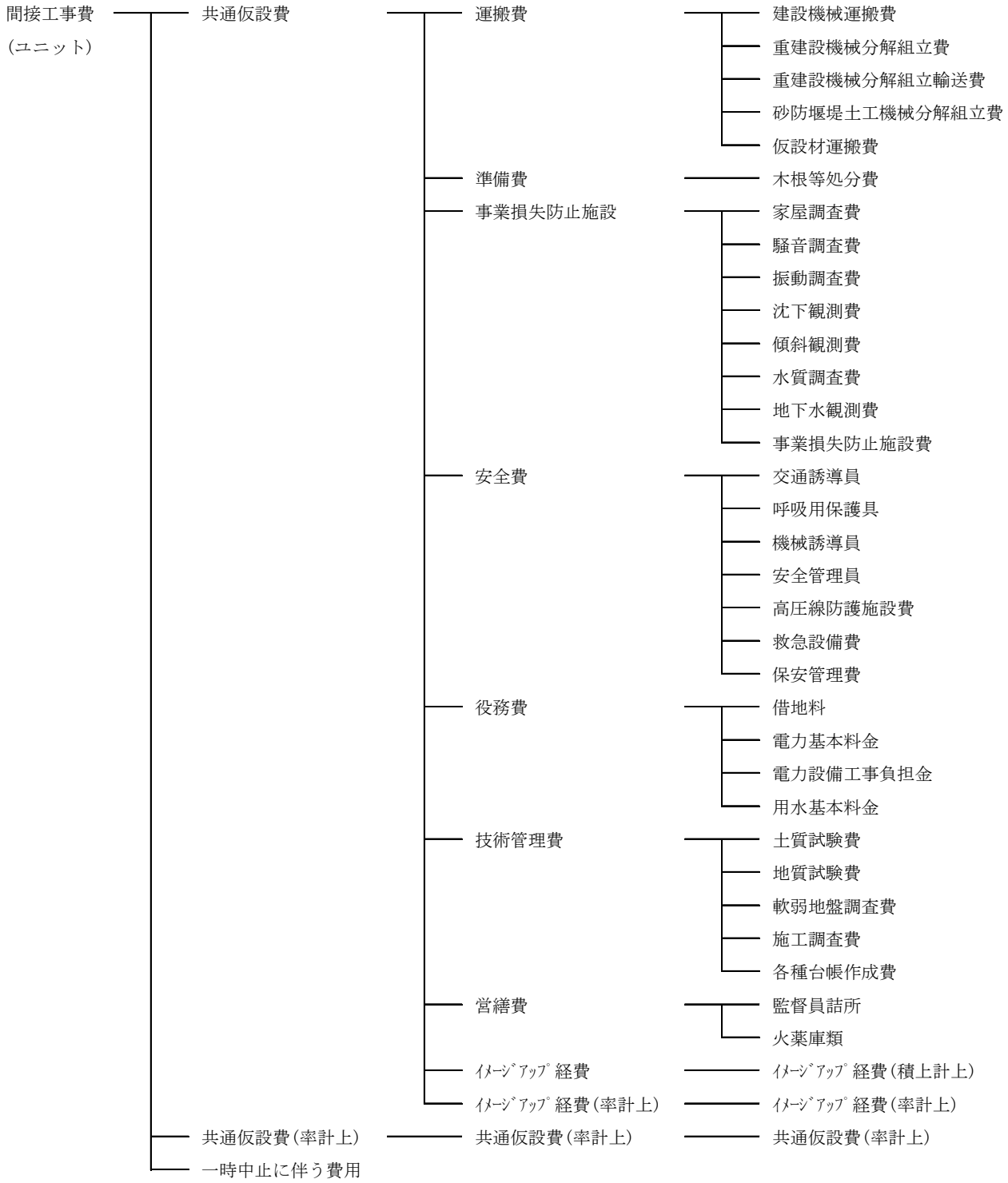
5 端数処理

（1）設計単価は１円までとし、１円未満は切り捨てる。
（2）ユニット区分の設計数量×設計単価＝金額は１円までとし、１円未満は切り捨てる。
（3）間接工事費(ユニット)の率計算ユニット区分の金額は円単位とし、１円未満は切り捨てる。

② 間接工事費(ユニット)

1 総則

この算定基準は、間接工事費（ユニット）の算定に係る必要な事項を定めたものである。
なお、各間接工事費（ユニット）は、当該費用に関連する現場管理費を含んだものである。
間接工事費（ユニット）の構成は、下記のとおりとする。



2 算定方法

間接工事費（ユニット）の算定は、共通仮設費（率計上）と共通仮設費とを加算しておこなうものとする。

２－１ 共通仮設費

（１）運搬費

１） 建設機械運搬費

(ｲ) 費用内訳

質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬費、運搬中の賃料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

質量 20t 以上の建設機械器具の搬入、又は搬出の積算は運搬車両 1 台ごとに次式によりおこなうものとする。

UP=([A・(1＋C1＋C2＋C3＋C4)＋B]・D＋M＋K)・(1＋Gk/100)

ただし、UP:貨物自動車による運搬費

A ：基本運賃料金

B ：諸料金

a. 地区割増料

貨物の発地又は着地が、東京都(特別区に限る)又は、住民基本台帳に基づく人口が 50 万人以上の都市の場合には、地区割増料を加算する。ただし、貨物の発地及び着地が同一都市内又は隣接都市間の場合は、発地又は着地のいずれか一方についてのみ加算する。

b. 車両割増料・・・・適用しない。

C1～C4：運賃割増率（表 3)

C1：特大品割増

C2：悪路割増

C3：冬期割増

C4：深夜早朝割増

D ：運搬車両の台数 1 を代入する。

M ：その他の諸料金

その他下記事項の料金を必要により計上する。

a.荷役機械使用料

b.自動車航送船利用料

c.有料道路利用料

d.その他

K ：運搬される建設機械の運搬中の賃料(円)

運搬される建設機械(被運搬建設機械)の運搬中の賃料を計上する。

積算方法は、「(A)運搬される建設機械の運搬中の賃料」による。

＊建設機械運搬方法等は表 4 による。

＊端数処理

輸送費(基本運賃料金×運賃割増率)及び諸料金(B)は、各々端数処置計算し、その金額が 10,000 円未満の場合は 100 円未満を 100 円に、10,000 円以上の場合は 500 円未満を 500 円に、500 円を超え、1,000 円未満の端数は、1,000 円にそれぞれ切上げる。

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

表３　運賃割増率

割増項目	適用範囲			割増率
特大品割増（C1）	建設機械類	使用車両積載トン数 15ｔ未満		6 割増
		〃　15ｔ以上		7　〃
	鋼橋、水閘門等（注）3	単体の長（m）	単体の質量（ｔ）	－
		12≦Ｌ＜15	1≦G＜15	8　〃
		15≦Ｌ＜20	－	10　〃
		20≦L	15≦G	12　〃
悪路割増（C2）	道路法による道路及びその他の一般交通の用に供する場所並びに自動車道以外の場所に限る。			3　〃

	地域	期間	割増率
冬期割増（C3）	北海道	自 11 月 16 日 至 4 月 15 日	2 割増
	青森、秋田県、山形県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、島根県の全域	自 12 月 1 日 至 3 月 31 日	
	岩手県のうち、北上市、久慈市、遠野市、二戸市、九戸郡、二戸郡、上閉伊郡、下閉伊郡、岩手郡、和賀郡、福島県のうち、会津若松市、喜多方市、南会津郡、北会津郡、耶麻郡、大沼郡、河沼郡、岐阜県のうち、高山市、大野郡、吉城郡、益田郡、郡上郡		

深夜割増（C4）	運搬時間を「22～5 時」に指定する場合。	3 割増

（注）1 鋼橋の輸送については「土木工事標準積算基準書　第Ⅵ編第7章①鋼橋製作工」、水閘門については「機械設備積算基準（案）」により別途計上するものとし、その他については上記運搬費で計上するものとする。
2 誘導車、誘導員の費用は特大品割増に含む。
3 特大品割増（Ｃ１）で単体の長さ質量ともに該当する場合は、いずれか大きい方の率とする。
4 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは適用しない。

(A)運搬される建設機械の運搬中の賃料(K)

運搬される建設機械の運搬中の賃料は次式により計上する。

運搬中の賃料＝運搬される機械の日当り賃料(円)×運搬に要する日数(日)

K＝運搬される建設機械の運搬中の日当り賃料(円)×2・L /(輸送速度×8)

K：運搬中の賃料

L：運搬距離(km)基地から現場までの片道距離とする。

輸送速度：(30km/h)

(注)1 運搬に要する日数の端数処理は小数第2位を四捨五入し、小数第1位止めとする。

2 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速30km/hを標準とする。

3 往復の運搬距離が異なる場合は、各々の距離に応じた運搬日数にて算出のこと。

4 分解組立を要する重建設機械の積算にあたっては、重建設機械分解組立により積算すること。なお、重建設機械分解組立輸送については、運搬中の賃料(K)が考慮されている。

表4　建設機械運搬方法

機械名	規格	自走		車載		備考
		速度 (km/h)	労務	車種	規格 (t積)	
路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m			R	29	
除雪ドーザ(プラウ含む) (クローラ型)	21t			R	22	
スタビライザ (路床改良用)	深1.2m　幅2.0m			R	24	
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開　925mm 幅　450mm			R	30	
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用			R	30	
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板ⅤL・ⅥL・Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型用			R	38	

(注) 1 車載のRはトレーラである。

2 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。

2)　重建設機械分解組立費

(ｲ) 費用内訳

工事現場に搬入・搬出する標準的な重建設機械の分解・組立費の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

重建設機械分解組立費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし UP　：重建設機械分解組立費

A　：重建設機械の分解・組立費(積上げ計上額)(※)

Gk　：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表12のとおりとする。

(※)重建設機械分解組立費を適用する建設機械及びクレーンの規格選定については、3)重建設機械分解組立輸送費(ﾛ)積算方法の「表 5 適用建設機械」及び「表 6 クレーンの規格選定」を参照。歩掛については 3)重建設機械分解組立輸送費(ﾛ)積算方法の「表 7 歩掛」における「運搬費等率」を除いて適用するものとする。

3） 重建設機械分解組立輸送費

(ｲ) 費用内訳

工事現場に搬入・搬出する標準的な重建設機械の分解・組立及び、分解部品の輸送費の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

重建設機械分解組立輸送費の積算は次式による。

UP=(A＋B)･(1＋Gk/100)

ただし　UP　：重建設機械分解組立輸送費
　　A　：重建設機械の分解・組立費(表 5～7 参照)
　　B　：分解部品の輸送費(表 7 参照)
　　Gk　：現場管理費率
　　なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

重建設機械分解組立輸送費を適用する建設機械は次表を標準とする。

表 5 適用建設機械

機　械　区　分	適　　用　　建　　設　　機　　械
ブルドーザ	ブルドーザ(リッパ装置付を含む) 普通　21t 級以上～63t 級以下 湿地　20t 級以上～28t 級以下
バックホウ系	バックホウ 山積 1.0m3 以上～2.1m3 以下 (平積 0.7m3 以上～1.5m3 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m3 以上～0.6m3 以下
クローラクレーン系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16t 以上～300t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・機械ロープ型〕 平積 0.6m3 以上～3.0m3 以下 バイブロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・50t～55t 吊〕
トラッククレーン	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力　80t 以上～500t 以下
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ(防音カバー装置除く) 油圧ハンマ アースオーガ(二軸同軸式含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量　20t 以上～150t 以下
オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径　2,000mm以下 オールケーシング掘削機〔据置式〕 掘削径　2,000mm 以下
地盤改良機械	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機(付属機器除く) 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量　20t 以上～170t 以下
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ 機械質量　20t 以上～60t 以下
連続地中壁用機械	地下連続壁施工機(回転水平多軸・クローラ式) 壁厚　1,200～2,400mm 壁厚　650～1,500mm クローラ式アースオーガ〔三軸式・直結３点支持式〕オーガ出力　90kW

分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。

表６　クレーンの規格選定

<table>
<tr><th rowspan="2">機　械　区　分</th><th rowspan="2">規　　格</th><th colspan="2">分解組立用クレーン</th></tr>
<tr><th>名称</th><th>規格</th></tr>
<tr><td>ブルドーザ
バックホウ系
オールケーシング掘削機
(クローラ式)
地盤改良機械
トンネル用機械</td><td>表5参照</td><td>ラフテレーンクレーン
油圧伸縮ジブ型
排出ガス対策型(第1次基準値)</td><td>25t吊</td></tr>
<tr><td rowspan="4">クローラクレーン系</td><td>35t吊以下
(クラムシェル
平積0.6m3含む)</td><td rowspan="4">ラフテレーンクレーン
油圧伸縮ジブ型
排出ガス対策型(第1次基準値)</td><td rowspan="2">25t吊</td></tr>
<tr><td>80t吊以下
(クラムシェル
平積2.0m3以下含む)</td></tr>
<tr><td>150t吊以下
(クラムシェル
平積3.0m3以下含む)</td><td rowspan="2">50t吊</td></tr>
<tr><td>300t吊以下</td></tr>
<tr><td>トラッククレーン</td><td>表5参照</td><td>ラフテレーンクレーン
油圧伸縮ジブ型
排出ガス対策型(第1次基準値)</td><td>50t吊</td></tr>
<tr><td rowspan="3">クローラ式杭打機</td><td>質量60t以下</td><td rowspan="3">ラフテレーンクレーン
油圧伸縮ジブ型
排出ガス対策型(第1次基準値)</td><td rowspan="3">25t吊</td></tr>
<tr><td>質量100t以下</td></tr>
<tr><td>質量150t以下</td></tr>
<tr><td>オールケーシング掘削機
〔据置式〕</td><td>表5参照</td><td>クローラクレーン
油圧駆動式ウインチ・
ラチスジブ型</td><td>60～
65t吊</td></tr>
<tr><td>連続地中壁用機械
〔地下連続壁施工機〕</td><td>表5参照</td><td>トラッククレーン
油圧伸縮ジブ型</td><td>45t吊</td></tr>
<tr><td>連続地中壁用機械
〔クローラ式アースオーガ〕</td><td>表5参照</td><td>クローラクレーン
油圧駆動式ウインチ・
ラチスジブ型</td><td>50t吊</td></tr>
</table>

（注）1 現場条件等により、上表により難い場合は別途選定することが出来る。
2 ラフテレーンクレーン、トラッククレーンは賃料とする。
3 連続地中壁用機械クローラ式アースオーガの分解組立用クレーン「クローラクレーン」は賃料とする。

分解・組立１台１回当りの歩掛は、次表を標準とする。

表７　歩掛

機　械　区　分	規　格　区　分	機械質量区分	労務歩掛 特殊作業員（人）〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛（日）〔分解＋組立〕	運搬費等率	諸雑費率 (%)
ブルドーザ	21t級以下	－	1.5	1.5	191	3
	44t級以下	－	2.5	2.5	184	3
	63t級以下	－	3.8	3.8	188	3
バックホウ系	山積 1.4m3以下（油圧クラムシェル・テレスコピック 0.4m3以上 0.6m3以下含む）	－	2.7	1.6	297	3
	山積 2.1m3以下	－	3.8	2.3	294	3
クローラクレーン系	35t吊以下（クラムシェル 平積0.6ｍ３含む）	－	3.3	1.1	348	5
	80吊以下（クラムシェル 平積2.0ｍ３以下含む）	－	5.0	1.7	354	5
	150吊以下（クラムシェル 平積3.0ｍ３以下含む）	－	12.5	4.2	258	3
	300吊以下	－	21.9	7.3	258	3
トラッククレーン	120t吊以下	－	2.2	1.5	667	3
	160t吊以下	－	3.5	2.4	673	3
	360t吊以下	－	4.8	3.2	673	3
	500t吊以下	－	8.3	5.5	683	3
クローラ式杭打機	－	60t以下	7.6	2.4	200	3
	－	100t以下	13.1	4.1	200	3
	－	150t以下	19.1	6.0	200	3
オールケーシング掘削機〔クローラ式〕	－	－	3.9	3.4	466	5
オールケーシング掘削機〔据置式〕	－	－	4.9	11.9 (h)	448	4
地盤改良機械	－	60t以下	17.8	6.9	104	3
	－	120t以下	48.8	18.9	104	3
	－	170t以下	65.1	25.3	104	3
トンネル用機械	－	－	9.0	1.8	357	7
連続地中壁用機械〔地下連続壁施工機〕	－	－	54.4	9.5	134	4
連続地中壁用機械〔クローラ式アースオーガ〕	－	－	27.7	6.0	147	2

（注） 1 上記歩掛は、分解・組立の合計であり、内訳は分解 50%、組立 50%である。
2 本歩掛には標準的に必要な装備品・専用部品は含まれている。
3 運搬費等率は、諸雑費（ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油)、トラック及びトレーラによる運搬費(往復)（誘導車、誘導員含む)、賃料・損料費（自走による本体の賃料・損料、賃料適用機械の運搬中本体賃料、賃料適用の分解・組立時本体賃料）の費用であり、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じて計上する。
4 諸雑費率は、ウェス、洗浄油、グリス、油圧作動油の費用であり、分解・組立を要する現場内移動及び運搬費を別途計上する際に適用し、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じて計上する。なお、諸雑費を適用する場合、本体が賃料適用機械については、別途分解・組立時の賃料を計上すること。

4） 砂防えん堤土工機械分解組立費

(ｲ) 費用内訳

砂防工事におけるえん堤本体掘削用土工機械の分解・組立の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

砂防えん堤土工機械分解組立費の積算は次式による。

UP=(A＋B＋C)･(1＋Gk/100)

ただし　UP　：砂防えん堤土工機械分解組立費
A　：分解に必要な労務費(表 7 参照)
B　：組立に必要な労務費(表 7 参照)
C　：分解・組立に使用される機械の運転費用(表 8 参照)
Gk　：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

表 8　土工機械分解・組立歩掛　（1 台当り）

種　別	分解時最大部品質量 (t)	延　工　数	ケーブルクレーン又は排出ガス対策型ラフテレーンクレーン運転日数（日）	諸雑費率 (%)
		特殊作業員（人）		
分　解	3t未満	A＝（1.4×W-2.7）×1.3	D＝0.2×W-0.4	－
	4t未満	A＝（1.2×W-3.2）×1.3	D＝0.2×W-0.5	－
	5t未満	A＝（0.6×W-1.5）×1.3	D＝0.1×W-0.2	－
組　立	3t未満	B＝（1.6×W-3.1）×1.3	D＝0.3×W-0.5	2
	4t未満	B＝（1.4×W-3.7）×1.3	D＝0.2×W-0.6	2
	5t未満	B＝（0.7×W-1.7）×1.3	D＝0.1×W-0.3	4

（注）1 A 及び B：延工数（人)、W:機械質量（t)、D:運転日数（日）を示す。
2 A、B、D は、小数点以下 1 位まで 2 位以下切り捨てる。
なお、特殊作業員歩掛の中には、整備工・普通作業員・とび工の歩掛を含む。
3 W の適用範囲は、それぞれの分解時最大部品質量を超え 25t までとする。
4 分解時及び組立時に使用する機械は現場条件を考慮し、ケーブルクレーン・ラフテレーンクレーンのうちいずれか一機種を選定する。
5 ケーブルクレーンの規格（吊上能力）は、分解時最大部品質量、コンクリート運搬量を考慮し決定する。
6 ラフテレーンクレーンの規格は、排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型 25t 吊とする。
7 分解・組立に使用するクレーン類の回送時間は、上表の運転日数には含まない。

8 ブルドーザ 21t 級については分解時最大部品質量が 3t を超えるため、4t 又は 5t を適用する。
9 搬入で分解・組立、搬出で分解・組立を計上する。
10 ケーブルクレーン 1 日当り運転時間は 6.7 時間とする。
11 諸雑費は、分解・組立時に必要な消耗品（油圧作動油、鉄線等）であり、組立労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
12 ラフテレーンクレーンは賃料として、上表の運転時間から日で計上する。
13 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

5） 仮設材運搬費

(ｲ) 費用内訳

仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

仮設材運搬費の積算は次式によりおこなうものとする。

UP=([E・(1+F1+F2)]・G＋H)・(1＋Gk/100)

ただし　UP：仮設材運搬費

E ：運賃率(円/t)(基本運賃)

次表によるものとする。

なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。

また、運搬は次表に掲げてある基本運賃に、必要に応じ冬期割増及び深夜･早朝割増を行うものとし、車両留置料、長大品割増、休日割増、特別割増は適用しない。

表9　基本運賃表　　（単位：円/ｔ）

製品長 / 距離	12m 以内		12m 超～15m 以内		15m 超	
10 ㎞まで	2,400	(2,070)	2,540	(2,540)	2,970	(2,950)
20 〃	2,500	(2,200)	2,750	(2,700)	3,250	(3,220)
30 〃	2,700	(2,450)	2,750	(2,700)	3,500	(3,460)
40 〃	2,850	(2,690)	3,000	(2,940)	3,670	(3,670)
50 〃	3,100	(2,940)	3,300	(3,220)	3,950	(3,920)
60 〃	3,270	(3,150)	3,750	(3,550)	4,150	(4,150)
70 〃	3,590	(3,380)	3,970	(3,820)	4,380	(4,380)
80 〃	3,780	(3,610)	4,210	(4,150)	4,610	(4,610)
90 〃	3,920	(3,830)	4,390	(4,390)	4,840	(4,840)
100 〃	4,090	(4,060)	4,640	(4,540)	5,050	(5,050)
110 〃	4,290	(4,250)	4,760	(4,670)	5,260	(5,260)
120 〃	4,490	(4,270)	4,940	(4,820)	5,470	(5,460)
130 〃	4,680	(4,550)	5,110	(4,960)	5,660	(5,630)
140 〃	4,870	(4,550)	5,290	(5,120)	5,820	(5,820)
150 〃	5,070	(4,830)	5,550	(5,330)	6,030	(6,030)
160 〃	5,350	(4,830)	5,800	(5,500)	6,210	(6,210)
170 〃	5,470	(5,110)	5,970	(5,650)	6,390	(6,390)
180 〃	5,590	(5,200)	6,020	(5,860)	6,560	(6,560)
190 〃	5,760	(5,400)	6,040	(6,050)	6,760	(6,740)
200 〃	5,980	(5,600)	6,230	(6,270)	6,940	(6,910)
200 ㎞を超え 500 ㎞まで 20 ㎞までを増すごとに	275	(280)	300	(350)	350	(400)
500 ㎞を超え 50 ㎞までを増すごとに	573	(600)	600	(700)	800	(826)

（注）1. 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州の 6 地方整備局は（ ）内の運賃を適用する。
発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。
2. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。

表10　F1～F2：運搬割増率

F1：冬期割増

地　域	期　間	割増率
北海道	自 11 月 16 日 至 4 月 15 日	2 割増
青森、秋田県、山形県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、島根県の全域	自 12 月 1 日 至 3 月 31 日	
岩手県のうち北上市、久慈市、遠野市、二戸市、九戸郡、二戸郡、上閉伊郡、下閉伊郡、岩手郡、和賀郡、福島県のうち会津若松市、喜多方市、南会津郡、北会津郡、耶麻郡、大沼郡、河沼郡、岐阜県のうち高山市、大野郡、吉城郡、益田郡、郡上郡		

F2：深夜・早朝割増

午後 10 時から午前 5 時まで	3 割

G ：運搬質量(t)
H ：その他の諸料金(円)
その他、下記事項の料金を必要により計上する。
a. 有料道路使用料
b. 自動車航送船利用料
c. その他
Gk：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

(ﾊ) 端数の処理
運賃及び料金は当該輸送トン数ごとに計算し、当該運賃又は料金の円未満の金額については切り捨てる。

（2）準備費
1） 木根等処分費
(ｲ) 費用内訳
工事の準備作業における伐開､除根等に伴い発生する木根等の建設廃棄物を工事現場外に搬出する運搬費及び処分に要する費用、立木伐採、試掘等に要する費用、その他準備に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

木根等処分費の積算は次式による。

UP=A＋B＋C

ただし、 UP：木根等処分費

A ：立木伐採、試掘等に要する費用

B ：立木伐採、伐開、除根等に伴い発生する建設廃棄物等の運搬及び処分費用

C ：上記以外の準備に要する費用

（注）本ユニット区分には「処分費等」が含まれるため、現場管理費は別途計上する。

（3）事業損失防止施設費

1） 家屋調査費

(ｲ) 費用内訳

工事に伴う不等沈下等により沿道家屋に影響を及ぼすような事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

家屋調査費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし UP ：家屋調査費

A ：家屋調査費(積上げ計上額)

Gk ：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

2） 騒音調査費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する騒音に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

騒音調査費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし UP ：騒音調査費

A ：騒音調査費(積上げ計上額)

Gk ： 現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

3） 振動調査費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する振動に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

振動調査費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし UP：振動調査費

A ：振動調査費(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

４） 沈下観測費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する地盤沈下に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる沈下観測費用で、沈下観測施設費、沈下観測費の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

沈下観測費の積算は次式による。

UP=(A＋B)･(1＋Gk/100)

ただし　UP：沈下観測費
A　：沈下観測施設費
B　：沈下観測費(積上げ計上額)
Gk　：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

５） 傾斜観測費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する事業損失を未然に防止するために行う傾斜観測施設の設置・撤去、観測費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

傾斜観測費の積算は次式による。

UP=(A＋B)･(1＋Gk/100)

ただし　UP：傾斜観測費
A　：傾斜観測施設設置・撤去費
B　：傾斜観測費(積上げ計上額)
Gk　：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

６） 水質調査費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する水質の変化等に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

水質調査費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：水質調査費
A　：水質調査費(積上げ計上額)
Gk：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

７） 地下水観測費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

地下水観測費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：地下水観測費

A ：地下水観測費(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

８） 事業損失防止施設費

(ｲ) 費用内訳

工事施工に伴って発生する騒音､振動等に起因する事業損失を未然に防止するための仮施設に要する費用（仮施設の設置・撤去、維持管理等）の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

事業損失防止施設費の積算は次式による。

UP=(A＋B)･(1＋Gk/100)

ただし　UP：事業損失防止施設費

A ： 事業損失防止施設設置・撤去費

B ： 事業損失防止施設維持管理費

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

（４）安全費

１） 交通誘導員

(ｲ) 適用範囲

交通誘導員とは、警備会社の警備員(警備業法第２条第４項に規定する警備員をいう。)で交通誘導業務に従事するものをいう。

(ﾛ) 費用内訳

交通管理のための交通誘導員の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ハ) 積算方法
次表の積算条件区分ごとのユニットプライスを用いる。

表11　積算条件

ユニット区分	積算条件		積算単位（総人数）	契約単位（総人数）
	勤務形態	交通誘導員区分		
交通誘導員	昼間勤務(8:00～17:00) 実働8時間(交替要員無し)	交通誘導員Ａ	人日	式or人日
		交通誘導員Ｂ		
	昼間勤務(8:00～17:00) 実働9時間(交替要員有り)	交通誘導員Ａ		
		交通誘導員Ｂ		
	夜間勤務(20:00～5:00) 実働8時間(交替要員無し)	交通誘導員Ａ		
		交通誘導員Ｂ		
	夜間勤務(20:00～5:00) 実働9時間(交替要員有り)	交通誘導員Ａ		
		交通誘導員Ｂ		
	24時間勤務 実働22時間(交替要員無し)	交通誘導員Ａ		
		交通誘導員Ｂ		
	24 時間勤務 実働 24 時間(交替要員有り)	交通誘導員Ａ		
		交通誘導員Ｂ		

（注）１．交替要員有りは、休憩、休息時間についても交通整理を行う場合に適用する。
２．日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。

(ニ) その他
警察協議等により総人数に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。

２） 呼吸用防護具等費用
(イ) 費用内訳
トンネル建設工事における掘削及び支保工に使用する呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等)の他、当該費用に関する現場管理費を含む。
(ロ) 積算方法
呼吸用保護具の積算は次式による。
UP=A･(1＋Gk/100)
ただし　UP：呼吸用保護具等費用
A： 呼吸用保護具費
Gk：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

３） 機械誘導員
(イ) 費用内訳
交通管理のための機械誘導員の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。
(ロ) 積算方法
機械誘導員の積算は次式による。
UP=A･(1＋Gk/100)
ただし　UP：機械誘導員
A： 機械誘導員労務費
Gk：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

４） 安全管理員

(ｲ) 費用内訳

鉄道等に近接した工事現場の出入口等に配置する安全管理員の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

安全管理員の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：安全管理員

A： 安全管理員労務費

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

５） 高圧線防護施設費

(ｲ) 費用内訳

高圧線防護施設の設置・撤去、防護材料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

高圧線防護施設費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：高圧線防護施設費

A： 高圧線防護施設設置・撤去費

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

６） 救急設備費

(ｲ) 費用内訳

ニューマチックケーソン設備におけるホスピタルロック、自記気圧計損料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

救急設備費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：救急設備費

A： 救急設備費(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

７） 保安管理費

(ｲ) 費用内訳

火薬庫、火工品庫における夜間巡回等に配置する見張人の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

保安管理費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：保安管理費

A： 保安管理員労務費

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

（５）役務費

１） 借地料

(ｲ) 費用内訳

土地の借上げを必要とする場合に計上する借地料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

借地料の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：借地料

A ：借地料(積上げ計上額)(※)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

(※)借地料は土地の借上げを必要とする場合に計上するものとし、借地単価は次式により算定する。

(A) 宅地・宅地見込地及び農地　A’＝B×0.06÷12

(B) 林地及びその他の土地　　A’＝B×0.05÷12

A’：借地単価(円/㎡/月)　B：土地価格(円/㎡)

※上記算定式は、国土交通省直轄の公共事業の施工に伴う損失補償基準第 24 条、同運用に係わる場合に適用する。

２） 電力基本料金

(ｲ) 費用内訳

工事の施工に必要な電力の基本料金の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

電力基本料金の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：電力基本料金

A ：電力基本料金(積上げ計上額)(※)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

(※)電力設備工事負担金は、使用する設備容量、電気供給契約種別、電力会社が施設する配電線路の延長等によって異なるので設備容量、使用期間、使用場所等を定めて負担金を計上する。

３） 電力設備工事負担金

(ｲ) 費用内訳

臨時電力の臨時工事費及び高圧電力甲等の工事費負担金の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

電力設備工事負担金の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：電力設備工事負担金

A ：電力設備工事負担金(積上げ計上額)(※)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

(※)電力設備工事負担金は、使用する設備容量、電気供給契約種別、電力会社が施設する配電線路の延長等によって異なるので設備容量、使用期間、使用場所等を定めて負担金を計上する。

4） 用水基本料金

(ｲ) 費用内訳

工事の施工に必要となる用水の基本料金の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

用水基本料金の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：用水基本料金

A ：用水基本料金(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

（6）技術管理費

1） 土質試験費

(ｲ) 費用内訳

品質管理基準に記載されている項目以外の試験に要する費用の他､当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

土質試験費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：土質試験費

A ：土質試験費(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

2） 地質試験費

(ｲ) 費用内訳

工事の施工に伴い必要となる平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他の原位置試験に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

地質試験費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：地質試験費

A ：地質試験費(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

3） 軟弱地盤調査費

(ｲ) 費用内訳

軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

軟弱地盤調査費の積算は次式による。

UP=(A＋B)･(1＋Gk/100)

ただし　UP：軟弱地盤調査費

A ： 計器設置・撤去費

B ： 測定・とりまとめ費

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

4） 施工調査費

(ｲ) 費用内訳

施工形態動向調査(ユニットプライス型積算)の一部を施工業者等に委託する場合の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

施工調査費の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：施工調査費

A ： 施工調査費(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

5） 各種台帳作成費

(ｲ) 費用内訳

各種台帳の作成、修正に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

各種台帳の作成、修正に要する費用の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：各種台帳の作成、修正に要する費用

A ： 各種台帳の作成、修正に要する費用(積上げ計上額)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

（7）営繕費

1） 監督員詰所

(ｲ) 費用内訳

監督員詰所の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

監督員詰所の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：監督員詰所

A ： 監督員詰所設置・撤去費(※)

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

(※)監督員詰所の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。

(ハ) 監督員詰所

・設置撤去する場合　A＝S (500・M＋14,150)＋t・M
・設置のみの場合　　A＝S (500・M＋10,600)＋t・M
・撤去のみの場合　　A＝S (500・M＋3,550)＋t・M
・損料のみの場合　　A＝S (500・M)＋t・M

ただし、A：監督員詰所に係る営繕費 (円)
(A には、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記 t の費用が含まれる。)
S：建物面積(㎡)
(建物面積は人員 2 名までは 25 ㎡を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することが出来る。)
M:月数(必要日数を 30 日で除し､小数第 2 位を四捨五入し､小数 1 位止めとする。)
t：次の項目に要する費用
a.備品(机、いす、黒板、温度計、書箱、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応援セット)に要する費用
備品は損料として 13,800 円/月を計上する。
b.その他、現場条件等により積上げを要する費用。

(注)1.備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。
2.上記の A については、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれてない。
3.電気､水道､ガスに係る既設の供給管(線)と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することが出来る。
4.監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途計上することが出来る。

２） 火薬庫類

(ｲ) 費用内訳

火薬庫類の設置・撤去・損料、立入防止柵、警報装置等の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

火薬庫類の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：火薬庫類
A： 火薬庫設置・撤去費
Gk：現場管理費率
なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

（８） イメージアップ経費(積上計上)

(ｲ) 費用内訳

土木工事のイメージアップのうち、費用が巨額となるため、イメージアップ（率計上）で行うことが適当でないと判断されるものの費用であり、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ﾛ) 積算方法

イメージアップ経費（積上計上）の積算は次式による。

UP=A･(1＋Gk/100)

ただし　UP：イメージアップ経費(積上計上)

A ：イメージアップ（率計上）で行うことが適当でないと判断されるものの費用

Gk：現場管理費率

なお、各工事区分の現場管理費率は表 12 のとおりとする。

（9）現場管理費率

率計上によらず、積算する共通仮設費に乗じる現場管理費率（Gk）は次表のとおりとする。

表 12　現場管理費率（Gk）

工事区分（レベル１）		現場管理費率 Gk
築堤・護岸		7.36%
河川維持		28.51%
河川修繕		21.86%
砂防えん堤		22.14%
道路改良		9.61%
舗装		8.24%
電線共同溝		24.89%
道路維持		30.81%
道路修繕	コンクリート構造物修繕	22.99%
	舗装修繕	22.60%
	鋼構造物修繕	30.12%

(10) イメージアップ経費(率計上)

(ｲ) 費用内訳

工事に伴い実施する仮設備、安全設備、営繕施設等を対象にして行う標準的なイメージアップ及び地域とのコミュニケーションに関する費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(A)仮設備関係

a 用水・電力等の供給設備
b 緑化・花壇
c ライトアップ施設
d 見学路及び椅子の設置
e 昇降設備の充実
f 環境負荷の軽減

(B)営繕関係

a 現場事務所の快適化
b 労働者宿舎の快適化
c デザインボックス（交通誘導員待機室）
d 現場休憩所の快適化
e 健康関連設備及び厚生施設の充実等

(C)安全関係
a 工事標識、照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等)
b 盗難防止対策（警報機等）
c 避暑・防寒対策
(D)地域とのコミュニケーション
a 完成予想図
b 工法説明図
c 工事工程表
d デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む）
e 見学会等の開催(イベント等の実施含む)
f 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
g パンフレット・工法説明ビデオ
h 地域対策費等（地域行事等の経費含む）
i 社会貢献

(ﾛ) 積算方法
イメージアップ経費(率計上)の算定は、工事区分に従って求めた率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。

イメージアップ経費(率計上)＝対象額(P)×率(i)

ただし、率(i)は下記算定式により算出された率とする。

算定式　$i = A \cdot P^{b}$

i：イメージアップ経費(率計上)の率(%)

P：対象額(円)＝直接工事費(ユニット)の合計額＋支給品費（共通仮設費対象額）
＋無償貸付機械等評価額

A、b：変数値（表 13）

注 1）i の値は、小数点以下第３位を四捨五入して２位止めとする。

注 2）対象額から、処分費等を除く。

表 13 イメージアップ経費（率計上）

工事区分（レベル１）		変数値	
		A	b
築堤・護岸		64.367	-0.2537
河川維持		11.166	-0.1388
河川修繕		10.74	-0.1371
砂防えん堤		10.111	-0.134
道路改良		24.638	-0.2059
舗装		114.15	-0.2949
電線共同溝		12.519	-0.1443
道路維持		10.15	-0.1327
道路修繕	コンクリート構造物修繕	7.6797	-0.1198
	舗装修繕	10.374	-0.1353
	鋼構造物修繕	8.6379	-0.1265

２－２ 共通仮設費(率計上)による部分

（１）共通仮設費(率計上)

共通仮設費のうち、工事区分に従って所定の率計算により算定される費用。

１）費用内訳

共通仮設費(率計上)の積算で計上する内容は、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(ｲ) 運搬費

(A) 質量 20t 未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場内小運搬
(B) 質量 20t 未満の建設機械の自走による運搬
(C) 重建設機械(トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊)・ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型 20～70t 吊))の分解、組立及び輸送に要する費用

(ﾛ) 安全費

(A) 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用
(B) 不稼働日の保安要員等の費用
(C) 表示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、修正に要する費用及び使用期間中の損料
(D) 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用(大規模な照明設備を必要とする広範な工事(ダム・トンネル工事)は除く)
(E) 河川、海岸工事における救命艇に要する費用
(F) 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用
(G) 酸素欠乏症の予防に要する費用
(H) 粉塵作業の予防に要する費用(但し、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、仮設工に計上する。)
(I) 安全用品等の費用
(J) 安全委員会等に要する費用

(ﾊ) 営繕費

(A) 現場事務所、試験室等の営繕(設置・撤去、維持･修繕)に要する費用
(B) 労働者宿舎の営繕(設置・撤去、維持･修繕)に要する費用
(C) 倉庫及び材料保管場の営繕(設置・撤去、維持･修繕)に要する費用
(D) 上記(A)、(B)、(C)に係る土地、建物の借上げに要する費用
(E) コンクリートダム、フィルダム工事における監督員詰所及び火薬庫等の営繕(設置・撤去、維持･修繕)に要する費用

２）積算方法

共通仮設費(率計上)の算定は工事区分に従って求めた率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。

共通仮設費(率計上)＝対象額(P)×率(Kr)

ただし、率(Kr)は下記算定式により算出された率とする。

算定式　　$Kr = A \cdot P^{b}$

Kr：共通仮設費(率計上)の率(%)

P：対象額(円) ＝直接工事費(ユニット)の合計額＋支給品費＋無償貸付機械等評価額

A、b：変数値 (表 14)

注 1) Kr の値は、小数点以下第３位を四捨五入して２位止めとする

注 2) 対象額から片持標識柱 (舗装の場合) の材料費を除く必要はない。

表 14　共通仮設費（率計上）

工事区分（レベル１）		変数値	
		A	b
築堤・護岸		586.95	−0.2961
河川維持		7.415	−0.0494
河川修繕		112.56	−0.1894
砂防えん堤		281.14	−0.2388
道路改良		20.213	−0.1022
舗装		313.34	−0.2342
電線共同溝		26.970	−0.0917
道路維持		1545.2	−0.3276
道路修繕	コンクリート構造物修繕	2806.8	−0.3423
	舗装修繕	251.17	−0.2065
	鋼構造物修繕	260.01	−0.1936

③ 間接工事費等の項目別対象について

1．標準的なユニットプライスが設定できていないユニット区分

標準的なユニットプライスが設定できていないユニット区分については、土木工事標準積算基準書等を用いてユニットプライスを設定しなければならない。

このような手法で設定したユニットプライスについては、現行積算方式に準じた間接工事費等の設定を行うものとし、次表のとおりとする。

表 15　間接工事費等の算定対象項目

間接工事費等		直接工事費（ユニット）		間接工事費（ユニット）		一般管理費等
		共通仮設費（一部）	現場管理費	共通仮設費（率計上）	現場管理費	
対象額 ＼ 項目		直接工事費 注3)	直接工事費＋共通仮設費（一部）	直接工事費（ユニット）の合計	共通仮設費（積上計上）	※工事原価
桁等購入費注1)		×	○	×	○	○
処分費等		「処分費等を含むユニット区分の取扱い」参照				
支給品等	桁等購入費	×	○	×	○	×
	一般材料費	○	○	○	○	×
	別途製作の製作費 注4)	×	×	×	×	×
	電力	○	○	○	○	×
無償貸付機械評価額		○	○	○	○	×
鋼橋門扉等工場原価 注2)		×	×	×	×	○
現場発生品		×	×	×	×	×

○対象とする。　×対象としない。

※工事原価＝直接工事費（ユニット）合計額＋間接工事費（ユニット）合計額

注 1）桁等購入費：簡易組立式橋梁、ＰＣ桁、グレーチング床版、門扉、ポンプ、大型遊具（設計製作品）、光ケーブルの購入費

注 2）鋼橋門扉等工場原価：鋼桁、門扉等の工場製作に係わる費用のうちの工場原価及び門型標識柱の材料費（製作費を含む）

注 3）支給品費及び無償貸与機械等評価額は「直接工事費＋事業損失防止施設費」に含まれるものに限るものとする。

注 4）別途製作工事費で製作し、架設及び据付工事等を分離して発注する場合は、当該製作費は対象額に含めない。

2．工場製作品輸送費

工場製作品の輸送に関わる間接工事費については、発注形態別に次表によるものとする。

表16　間接工事費等の算定対象項目（工場製作品輸送費）

間接工事費等 ＼ 形　態	直接工事費（ユニット）		間接工事費（ユニット）		一般管理費等
	共通仮設費（一部）	現場管理費	共通仮設費（率計上）	現場管理費	
製作+輸送+架設等	○	○	○	○	○
製作+輸送	×	○	×	○	○
輸送+架設等	○	○	○	○	○
輸　送	×	○	×	○	○
架　設　等	○	○	○	○	○

○対象とする。　×対象としない。

３．処分費等を含むユニット区分の取扱い

（１）共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等

「処分費等」とは下記のものとし、処分費等を含むユニット区分の間接工事費及び一般管理費等の積算については、当該処分費等を直接工事費として算定し、積算は次表のとおりとする。

1) 処分費（再資源化施設の受入費を含む）
2) 上下水道料金
3) 有料道路利用料

表17　処分費等を含むユニット区分の取扱い

区　分	直接工事費（ユニット）の処分費等が「対象額＋準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下でかつ処分費等が３千万円以下の場合	直接工事費（ユニット）の処分費等が「対象額＋準備費に含まれる処分費」に占める割合が３%を超える場合又は処分費等が３千万円を超える場合
共通仮設費（一部及び率計上）	処分費等を含む直接工事費の金額を率計算の対象とする。	処分費等が「対象額＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の３%とし、３%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は３千万円を上限とする。
現場管理費	処分費等を含む直接工事費の金額を率計算の対象とする。	処分費等が「対象額＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の３%とし、３%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は３千万円を上限とする。
一般管理費等	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「対象額＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の３%とし、３%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は３千万円を上限とする。

注）1．対象額＝直接工事費の合計額＋支給品費＋無償貸与貸付機械等評価額
　　2．準備費に含まれる処分費＝木根等処分費に含まれる処分費

処分費等を含むユニット区分の例：残土等処分、掘削土処分、泥水処理、殻処分、木根等処分

４．イメージアップ経費について

イメージアップ経費については、工事現場の周辺環境及び労働者の作業環境等を考慮し、必要とする場合に適用する。なお、イメージアップ経費（率計上）の率対象額は、処分費等を含んだ直接工事費（ユニット）を除く直接工事費（ユニット）の合計額を率計算の対象とする。

④ 現場発生品及び支給品運搬

1 適用範囲

防護柵、コンクリート二次製品等の現場発生品及び支給品の積込み・荷卸し及び運搬作業に適用する。

なお、直接工事費(ユニット)に計上する。

2 費用内訳

構造物等撤去に伴う現場発生材や防護柵、コンクリート２次製品等の現場発生品又は支給品の積込み、指定箇所までの運搬、取卸し等、その施工に要する全ての費用を含む。

3 積算条件

次表の積算条件区分毎のユニットプライスを用いる。

表18 積算条件

積算条件			
発生品・支給品種類	トラック機種	片道運搬距離	1回当り平均積載質量
各種	クレーン装置付 2t 積 2t 吊	各種	各種
	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	各種	各種

(注)(１) 発生品・支給品種類 ：各種（文字入力）

（２） 片道運搬距離(ｋｍ) ：各種（実数入力）

（３） 1回当り平均積載質量(ｔ) ：各種（実数入力）

4 その他

（1）「**1 適用範囲**」及び「**3 積算条件**」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第３章　一般管理費等及び消費税相当額

① 一般管理費等

１ 一般管理費の項目及び内容

（１）役員報酬
　取締役及び監査役に対する報酬

（２）従業員給料手当
　本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与

（３）退職金
　退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金

（４）法定福利費
　本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額

（５）福利厚生費
　本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用

（６）修繕維持費
　建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等

（７）事務用品費
　事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費

（８）通信交通費
　通信費、交通費及び旅費

（９）動力、用水光熱費
　電力、水道、ガス、薪炭等の費用

(10) 調査研究費
　技術研究、開発等の費用

(11) 広告宣伝費
　広告、公告、宣伝に要する費用

(12) 交際費
　本店及び支店などへの来客等の対応に要する費用

(13) 寄付金

(14) 地代家賃
　事務所、寮、社宅等の借地借家料

(15) 減価償却費
　建物、車輌、機械装置、事務用備品等の減価償却額

(16) 試験研究費償却
　新製品又は新技術の研究のため特別に支出した費用の償却額

(17) 開発費償却
　新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額

(18) 租税公課
　不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課

(19) 保険料
　火災保険その他の損害保険料

(20) 契約保証費
　契約の保証に必要な費用

(21) 雑費

電算等経費、社内打ち合わせ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費の費用

2 付加利益

（1） 法人税、都道府県民税、市町村民税等
（2） 株主配当金
（3） 役員賞与金
（4） 内部留保金
（5） 支払利息及び割引料、支払保証料その他の営業外費用

3 一般管理費等の算定

一般管理費等は、１及び２の額の合計額とし、次表の工事原価ごとに求めた一般管理費等率を当該工事原価に乗じて得た額の範囲内とする。

表 19　一般管理費等率

工事原価	500 万円以下	500 万円を超え 30 億円以下	30 億円を超えるもの
一般管理費等率	14.38%	一般管理費等率算定式により 算出された率	7.22%

[一般管理費等率算定式]

Gp=-2.57651×LOG (Cp)＋31.63531 (%)

ただし、Gp:一般管理費等率(%)

Cp:工事原価(単位円)＝直接工事費(ユニット)の合計額＋間接工事費(ユニット)の合計額

(注)Gp の値は、小数点以下第 3 位を四捨五入して 2 位止めとする。

4 一般管理費等率の補正

（1） 前払金支出割合の相違による取扱い

前払金支出割合が 35%以下の場合の一般管理費等率は、表 20 の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を「3 一般管理費等の算定」で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。

（2） 契約の保障に必要な費用の取扱い

前払金支出割合の相違による表 21 補正までを行った値に、補正値を加算したものを一般管理費等とする。

（3） 支給品等の取扱い

資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定式の基礎となる工事原価に含めないものとする。

（4） 自社製品の取扱い（プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合)について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。

表 20　一般管理費等率の補正

前払金支出割合区分	0%から 5%以下	5%を超え 15%以下	15%を超え 25%以下	25%を超え 35%以下
補正係数	1.05	1.04	1.03	1.01

(注) 表 19 で求めた一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第３位を四捨五入して２位止めとする

表 21　契約保証に係る一般管理費等率補正

保証の方法	補正値（%）
ケース－１：発注者が金銭的保証を必要とする場合。 （工事請負契約第４条を採用する場合）	0.04
ケース－２：発注者が役務的保証を必要とする場合。	0.09
ケース－３：ケース１及び２以外の場合	補正しない

（注）１．ケース－３の具体例は以下のとおり。

①予算決算及び会計令第 100 条の２第１項第１号の規定により工事請負契約書の作成を省略出来る工事請負契約である場合

②特定建設工事共同企業体により競争を行わせる場合

③契約保証を必要とするケースと必要としないケースが混在する混合入札の場合、契約保証費は積算では計上しないものとする。

２．契約補償費を計上する場合は、原則として当初契約の積算に見込むものとする。

契約保証を必要とするケースと必要としないケースが混在する混合入札の場合、契約保証費は積算では計上しないものとする。

② 消費税相当額

消費税相当額の積算は次のとおりとする。

消費税相当額は、工事価格に消費税及び地方消費税の税率を乗じて得た額とする。

第４章　随意契約方式により工事を発注する場合の間接工事費(ユニット)、一般管理費等の調整について

① 随意契約方式により工事を発注する場合の間接工事費(ユニット)、一般管理費等の調整について

１ 随意契約方式により工事を発注する場合の調整について

随意契約方式により工事を発注する場合の調整については次のとおりとする。

（１） 調整対象となる工事

１） 現工事の施工業者と随意契約方式にて発注する工事とする。

２） 繰越、国債工事の取扱い

現工事が繰越又は国債で調整対象となる場合は全体工事を対象として調整する。

（２） 調整の対象となる現工事の設計金額は当該追加工事が発注される時点のものとし、その後現工事の設計金額に設計変更が生じた場合でも調整対象現工事の設計金額の変更は行わない額で調整するものとする。

２ 間接工事費（ユニット）の調整計算について

（１） 共通仮設費

１） 運搬費

実態に合わせ調整する。

２） 準備費

実態に合わせ調整する。

３） 事業損失防止施設費

実態に合わせ調整する。

４） 安全費

実態に合わせ調整する。

５） 役務費

実態に合わせ調整する。

６） 技術管理費

実態に合わせ調整する。

７） 営繕費

実態に合わせ調整する。

８） イメージアップ経費

実態に合わせ調整する。

９） イメージアップ経費（率計上）

(ｲ)現工事及び追加工事ともイメージアップ工事の場合

$A \leqq D \times y_1 - B \times y_2$

Ａ：当該追加工事のイメージアップ費

Ｂ：現工事の対象額

Ｄ：合算工事の対象額
y_1：Ｄに相当するイメージアップ費率
y_2：Ｂに相当する現工事のイメージアップ費率

(ﾛ)追加工事のみがイメージアップ工事の場合
追加工事の単独計算

（２）共通仮設費（率計上）
現工事と当該追加工事の共通仮設費対象額を合算したもので率を算出し、各々の共通仮設費（率計上）を求め、現工事の共通仮設費を控除したものの範囲内とする。
調整の一般式は次のとおりとする。

$A \leqq (D \times y_1) - B \times y_2$

Ａ：当該追加工事の共通仮設費（率計上）
Ｂ：現工事の対象額（＝直接工事費（ユニット）の合計額）
Ｄ：合算工事の対象額（＝直接工事費（ユニット）の合計額）
y_1：Ｄに相当する主たる工種の共通仮設費（率計上）の率
y_2：Ｂに相当する現工事の工種の共通仮設費（率計上）の率
ただし、前記計算の場合にあってＡが負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する共通仮設費は計上しない。
また、Ａが当該追加工事単独で積算された所要額よりも大きい場合は当該所要額とする。

３ 一般管理費等の調整計算の方法

現工事と追加工事の工事原価を合算したもので率を算出し、各々の一般管理費等を求め、現工事の一般管理費等を控除したものの範囲内とする。

$A \leqq (D \times \alpha_1 \times \delta_1) - B \times \alpha_2 \times \delta_2 + C \times \beta$

Ａ：当該追加工事の一般管理費等
Ｂ：現工事の工事原価(中止期間中の現場維持等の費用を含む)
Ｃ：当該追加工事の調整後の工事原価
Ｄ：合算工事の工事原価
α_1：Ｄに相当する一般管理費等率
α_2：Ｂに相当する現工事の一般管理費等率
β　：追加工事の契約保証に係る一般管理費等の補正値
δ_1：前払金支出割合による補正係数
現工事と追加工事の前払金支出割合が異なる場合は、ＢとＣの加重平均による前払金支出割合から求めた補正係数
δ_2：現工事の前払金支出割合による補正係数
一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第３位を四捨五入して２位止めとする。

第５章　数値基準

① 数値基準

設計書の表示単位及び数位は原則として次のとおりとする。

（1） 設計表示単位及び数位は、別表に示すとおりとする。

（2） 設計数量が設計表示数位に満たない場合及び、工事規模、工事内容等により、設計表示 数位が不適当と判断される場合は(小規模工事等)有効数位第１位の数量を設計表示数位とする。

（3） 数値基準以外の項目について、設計表示単位及び数位を定める必要が生じたときは工事規模、工事内容及び数値基準等を勘案して適正に定めるものとする。

（4） 設計計上数量は、各ユニット区分の積算条件区分毎に算出する。

（5） 設計表示単位及び数位の適用は各ユニット区分を原則とし、工種・種別は１式を原則とする。

（6） 契約数量は設計計上数量とする。但し工事目的物以外で、指定仮設等数量明示が必要な種目以外は１式計上する。

（7） 設計表示単位及び数位は設計図書に添付するものとする。

（8） 設計表示単位に満たない設計変更は契約変更の対象としないものとする。

（9） 単価契約には設計表示単位及び数位は適用しない。

（別表 数値基準【土工】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
掘削	Ⅲ-直接-1-1	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
掘削	Ⅲ-直接-1-2	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
掘削	Ⅲ-直接-1-3	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
掘削(砂防)	Ⅲ-直接-1-4	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
開削掘削	Ⅲ-直接-1-5	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
土砂等運搬	Ⅲ-直接-1-6	式orm3	m3	10	
土砂等運搬	Ⅲ-直接-1-7	式orm3	m3	10	
土砂等運搬(砂防)	Ⅲ-直接-1-8	式orm3	m3	10	
整地	Ⅲ-直接-1-9	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
整地	Ⅲ-直接-1-10	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
路体(築堤)盛土	Ⅲ-直接-1-11	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
路体(築堤)盛土	Ⅲ-直接-1-12	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
路床盛土	Ⅲ-直接-1-13	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
路床盛土	Ⅲ-直接-1-14	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
盛土(砂防)	Ⅲ-直接-1-15	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
押土(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-16	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
押土(ルーズ)(砂防)	Ⅲ-直接-1-17	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
積込(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-18	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
積込(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-19	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
積込(ルーズ)(砂防)	Ⅲ-直接-1-20	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
積込(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-21	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
土材料	Ⅲ-直接-1-22	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
法面整形	Ⅲ-直接-1-23	m2	m2	10	
法面整形	Ⅲ-直接-1-24	m2	m2	10	
残土運搬	Ⅲ-直接-1-25	式orm3	m3	10	
残土運搬	Ⅲ-直接-1-26	式orm3	m3	10	
残土等処分	Ⅲ-直接-1-27	式orm3	m3	10	
床掘り(土砂)	Ⅲ-直接-1-28	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
床掘り(岩石)	Ⅲ-直接-1-29	式orm3	m3	10	
床掘り(砂防)	Ⅲ-直接-1-30	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
埋戻し	Ⅲ-直接-1-31	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
埋戻し(砂防)	Ⅲ-直接-1-32	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
埋戻し	Ⅲ-直接-1-33	式orm3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
基面整正	Ⅲ-直接-1-34	式orm2	m2	10	
掘削補助機械搬入搬出	Ⅲ-直接-1-35	式or回	回	1	
軽量盛土工	Ⅲ-直接-1-36	m3	m3	1	
発泡スチロール(軽量盛土)	Ⅲ-直接-1-37	m3	m3	1	
コンクリート床版	Ⅲ-直接-1-38	m3	m3	1	
基礎コンクリート	Ⅲ-直接-1-39	m	m	1	
壁体	Ⅲ-直接-1-40	m2	m2	1	
ジオテキスタイル	Ⅲ-直接-1-41	m2	m2	1	
壁面材組立・設置(ジオテキスタイル補強土壁)	Ⅲ-直接-1-42	m2	m2	1	
ジオテキスタイル材料(ジオテキスタイル補強土壁)	Ⅲ-直接-1-43	m2	m2	1	
ジオテキスタイル敷設・まきだし・敷均し・締固め	Ⅲ-直接-1-44	m2	m2	1	
天端敷砂利	Ⅲ-直接-1-45	m2	m2	10	
裏込砕石	Ⅲ-直接-1-46	m3	m3	1	
裏込砕石	Ⅲ-直接-1-47	m3	m3	1	
覆土	Ⅲ-直接-1-48	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
覆土(採取土)	Ⅲ-直接-1-49	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
覆土(購入土)	Ⅲ-直接-1-50	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3

（別表 数値基準【地盤改良】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
安定シート・ネット	Ⅲ-直接-2-1	m2	m2	10	
サンドマット	Ⅲ-直接-2-2	m3	m3	10	
サンドマット（パイルネット）	Ⅲ-直接-2-3	m2	m2	10	
サンドマット	Ⅲ-直接-2-4	m2	m2	10	
既製杭	Ⅲ-直接-2-5	本	本	1	
路床安定処理工	Ⅲ-直接-2-6	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
安定処理	Ⅲ-直接-2-7	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
置換	Ⅲ-直接-2-8	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
置換	Ⅲ-直接-2-9	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
サンドドレーン	Ⅲ-直接-2-10	m	m	1	
袋詰式サンドドレーン	Ⅲ-直接-2-11	m	m	1	
ペーパードレーン	Ⅲ-直接-2-12	m	m	1	
サンドコンパクションパイル	Ⅲ-直接-2-13	m	m	1	
粉体噴射撹拌	Ⅲ-直接-2-14	本	本	1	
スラリー撹拌	Ⅲ-直接-2-15	本	本	1	
スラリー撹拌	Ⅲ-直接-2-16	本	本	1	
高圧噴射撹拌	Ⅲ-直接-2-17	本	本	1	
高圧噴射撹拌	Ⅲ-直接-2-18	本	本	1	
薬液注入	Ⅲ-直接-2-19	本	本	1	
薬液注入	Ⅲ-直接-2-20	本	本	1	
泥水処理（現場内）	Ⅲ-直接-2-21	m3	m3	10	
泥水運搬	Ⅲ-直接-2-22	m3	m3	10	

（別表 数値基準【コンクリート】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-1	m3	m3	1	
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-2	m3	m3	1	
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-3	m3	m3	1	
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-4	m3	m3	1	
小型擁壁	Ⅲ-直接-3-5	m3	m3	1	
小型擁壁	Ⅲ-直接-3-6	m3	m3	1	
重力式擁壁	Ⅲ-直接-3-7	m3	m3	0.1	
重力式擁壁	Ⅲ-直接-3-8	m3	m3	0.1	
もたれ式擁壁	Ⅲ-直接-3-9	m3	m3	0.1	
もたれ式擁壁	Ⅲ-直接-3-10	m3	m3	0.1	
逆T型擁壁	Ⅲ-直接-3-11	m3	m3	0.1	
逆T型擁壁	Ⅲ-直接-3-12	m3	m3	0.1	
L型擁壁	Ⅲ-直接-3-13	m3	m3	0.1	
L型擁壁	Ⅲ-直接-3-14	m3	m3	0.1	
場所打函渠工	Ⅲ-直接-3-15	m3	m3	1	
函渠	Ⅲ-直接-3-16	m3	m3	1	
コンクリート	Ⅲ-直接-3-17	m3	m3	1	
コンクリート（場所打擁壁）	Ⅲ-直接-3-18	m3	m3	1	
コンクリート（場所打函渠）	Ⅲ-直接-3-19	m3	m3	1	
コンクリート	Ⅲ-直接-3-20	式orm3	m3	1	
コンクリート	Ⅲ-直接-3-21	m3	m3	1	
間詰コンクリート	Ⅲ-直接-3-22	m3	m3	1	
小口止コンクリート	Ⅲ-直接-3-23	m3	m3	1	
横帯コンクリート	Ⅲ-直接-3-24	m	m	0.1	
型枠	Ⅲ-直接-3-25	式orm2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
型枠	Ⅲ-直接-3-26	式orm2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
型枠	Ⅲ-直接-3-27	式orm2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
鉄筋	Ⅲ-直接-3-28	t	t	0.01	
ガス圧接	Ⅲ-直接-3-29	箇所	箇所	1	
目地板	Ⅲ-直接-3-30	m2	m2	1	
止水板	Ⅲ-直接-3-31	m	m	1	
水抜パイプ	Ⅲ-直接-3-32	式orm	m	1	
遮水シート	Ⅲ-直接-3-33	m2	m2	1	

（別表 数値基準【鋼矢板・杭】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
鋼矢板	Ⅲ-直接-4-1	枚	枚	1	
コンクリート矢板	Ⅲ-直接-4-2	枚	枚	1	
広幅鋼矢板	Ⅲ-直接-4-3	枚	枚	1	
腹起し	Ⅲ-直接-4-4	t	t	0.1	
タイロッド	Ⅲ-直接-4-5	組	組	1	
控え版	Ⅲ-直接-4-6	m	m	1	
小口止矢板	Ⅲ-直接-4-7	m	m	1	
鋼管杭	Ⅲ-直接-4-8	本	本	1	ただし1本当りは0.5m
鋼管杭	Ⅲ-直接-4-9	本	本	1	ただし1本当りは0.5m
杭頭処理溶接（鋼管杭）	Ⅲ-直接-4-10	m	m	1	
現場取卸（鋼管杭）	Ⅲ-直接-4-11	t	t	1	
場所打杭	Ⅲ-直接-4-12	本	本	1	ただし1本当りは0.1m
場所打杭	Ⅲ-直接-4-13	本	本	1	ただし1本当りは0.1m
掘削土運搬	Ⅲ-直接-4-14	式orm3	m3	10	
掘削土処分	Ⅲ-直接-4-15	式orm3	m3	10	
可とう鋼矢板	Ⅲ-直接-4-16	枚	枚	1	
掘削土留	Ⅲ-直接-4-17	本	本	1	
ｸﾞﾗｳﾄ注入	Ⅲ-直接-4-18	m3	m3	1	
合成杭	Ⅲ-直接-4-19	本	本	1	ただし1本当りは0.1m
既製コンクリート杭	Ⅲ-直接-4-20	本	本	1	ただし1本当りは1m
既製コンクリート杭	Ⅲ-直接-4-21	本	本	1	ただし1本当りは1m
既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	Ⅲ-直接-4-22	本	本	1	
木杭	Ⅲ-直接-4-23	本	本	1	

（別表 数値基準【道路・舗装】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
間知ブロック張	Ⅲ-直接-5-1	m2	m2	1	
間知ブロック張	Ⅲ-直接-5-2	m2	m2	1	
平ブロック張	Ⅲ-直接-5-3	m2	m2	1	
平ブロック張	Ⅲ-直接-5-4	m2	m2	1	
連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-5	m2	m2	1	
連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-6	m2	m2	1	
連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-7	m2	m2	1	
大型連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-8	m2	m2	1	
大型階段ブロック張	Ⅲ-直接-5-9	m2	m2	1	
コンクリートブロック張	Ⅲ-直接-5-10	m2	m2	1	
間知ブロック積	Ⅲ-直接-5-11	m2	m2	1	
間知ブロック積	Ⅲ-直接-5-12	m2	m2	1	
間知ブロック積	Ⅲ-直接-5-13	m2	m2	1	
緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-14	m2	m2	1	
緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-15	m2	m2	1	
緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-16	m2	m2	1	
大型コンクリートブロック積	Ⅲ-直接-5-17	m2	m2	1	
大型緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-18	m2	m2	1	
大型緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-19	m2	m2	1	
基礎砕石（基礎材）	Ⅲ-直接-5-20	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
基礎栗石（基礎材）	Ⅲ-直接-5-21	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
胴込・裏込コンクリート（コンクリートブロック）	Ⅲ-直接-5-22	m3	m3	1	
胴込・裏込材（コンクリートブロック）	Ⅲ-直接-5-23	m3	m3	1	
吸出し防止材	Ⅲ-直接-5-24	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
吸出し防止材（コンクリートブロッ	Ⅲ-直接-5-25	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
ブロック植樹	Ⅲ-直接-5-26	本	本	1	
石積	Ⅲ-直接-5-27	m2	m2	1	
石積	Ⅲ-直接-5-28	m2	m2	1	
石張	Ⅲ-直接-5-29	m2	m2	1	
石積・張	Ⅲ-直接-5-30	m2	m2	1	
胴込・裏込コンクリート（石積（張））	Ⅲ-直接-5-31	m3	m3	1	
裏込材（石積（張））	Ⅲ-直接-5-32	m3	m3	1	
種子散布	Ⅲ-直接-5-33	m2	m2	10	
種子散布	Ⅲ-直接-5-34	m2	m2	10	
客土吹付	Ⅲ-直接-5-35	m2	m2	10	
植生基材吹付	Ⅲ-直接-5-36	m2	m2	10	
植生基材吹付	Ⅲ-直接-5-37	m2	m2	10	
植生シート	Ⅲ-直接-5-38	m2	m2	10	
植生シート	Ⅲ-直接-5-39	m2	m2	10	
植生マット	Ⅲ-直接-5-40	m2	m2	10	
植生マット	Ⅲ-直接-5-41	m2	m2	10	
野芝種子吹付	Ⅲ-直接-5-42	m2	m2	10	
植生筋	Ⅲ-直接-5-43	m2	m2	10	
張芝	Ⅲ-直接-5-44	m2	m2	10	
張芝	Ⅲ-直接-5-45	m2	m2	10	
筋芝	Ⅲ-直接-5-46	m2	m2	10	
市松芝	Ⅲ-直接-5-47	m2	m2	10	
人工張芝	Ⅲ-直接-5-48	m2	m2	10	
植生穴	Ⅲ-直接-5-49	m2	m2	10	
繊維ネット	Ⅲ-直接-5-50	m2	m2	10	
ラス張	Ⅲ-直接-5-51	m2	m2	10	
法面吹付工	Ⅲ-直接-5-52	m2	m2	1	
モルタル吹付	Ⅲ-直接-5-53	m2	m2	1	
コンクリート吹付	Ⅲ-直接-5-54	m2	m2	1	
法枠	Ⅲ-直接-5-55	m2	m2	1	
法枠	Ⅲ-直接-5-56	m2	m2	1	

（別表 数値基準【道路・舗装】（2））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
現場打法枠	Ⅲ-直接-5-57	m2	m2	1	
プレキャスト法枠	Ⅲ-直接-5-58	m2	m2	1	
吹付枠	Ⅲ-直接-5-59	m	m	1	
法面施肥	Ⅲ-直接-5-60	m2	m2	1	
中詰	Ⅲ-直接-5-61	m2	m2	1	
中詰	Ⅲ-直接-5-62	m2	m2	1	
アンカー	Ⅲ-直接-5-63	m	m	1	
削孔（アンカー）	Ⅲ-直接-5-64	m	m	1	
アンカー鋼材加工・組立・挿入（アンカー）	Ⅲ-直接-5-65	本	本	1	
アンカー鋼材挿入（工場加工・組立）（アンカー）	Ⅲ-直接-5-66	本	本	1	
グラウト注入（アンカー）	Ⅲ-直接-5-67	m3	m3	1	
ボーリングマシン移設（アンカー）	Ⅲ-直接-5-68	回	回	1	
緊張・定着・頭部処理（アンカー）	Ⅲ-直接-5-69	本	本	1	
アンカー工材料費（アンカー）	Ⅲ-直接-5-70	本	本	1	
プレキャストコンクリート板	Ⅲ-直接-5-71	枚	枚	1	
プレキャストコンクリート板	Ⅲ-直接-5-72	枚	枚	1	
鉄筋挿入	Ⅲ-直接-5-73	m	m	1	
鉄筋挿入	Ⅲ-直接-5-74	m	m	1	
プレキャストL型擁壁	Ⅲ-直接-5-75	m	m	1	H＝2.0m未満。H=2.0m以上は0.1m
プレキャストL型擁壁	Ⅲ-直接-5-76	m	m	1	H＝2.0m未満。H=2.0m以上は0.1m
プレキャスト逆T型擁壁	Ⅲ-直接-5-77	m	m	1	H＝2.0m未満。H=2.0m以上は0.1m
プレキャスト逆T型擁壁	Ⅲ-直接-5-78	m	m	1	H＝2.0m未満。H=2.0m以上は0.1m
側溝付プレキャスト擁壁	Ⅲ-直接-5-79	m	m	1	H＝2.0m未満。H=2.0m以上は0.1m
側溝付プレキャスト擁壁	Ⅲ-直接-5-80	m	m	1	H＝2.0m未満。H=2.0m以上は0.1m
テールアルメ	Ⅲ-直接-5-81	m2	m2	1	
多数アンカー	Ⅲ-直接-5-82	m2	m2	1	
壁面材組立・設置（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）	Ⅲ-直接-5-83	m2	m2	1	
補強材取付（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）	Ⅲ-直接-5-84	m	m	1	
敷均し・締固め（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）	Ⅲ-直接-5-85	m3	m3	1	
井桁ブロック基礎	Ⅲ-直接-5-86	m	m	1	
井桁ブロック	Ⅲ-直接-5-87	m2	m2	1	
不陸整正（車道部）	Ⅲ-直接-5-88	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
不陸整正	Ⅲ-直接-5-89	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
不陸整正・締固め	Ⅲ-直接-5-90	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
調整コンクリート	Ⅲ-直接-5-91	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
橋面防水	Ⅲ-直接-5-92	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
アスファルト舗装工（車道部）	Ⅲ-直接-5-93	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
下層路盤（車道部）	Ⅲ-直接-5-94	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
下層路盤（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-95	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
下層路盤（歩道部）	Ⅲ-直接-5-96	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
路盤（路肩部）	Ⅲ-直接-5-97	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
上層路盤（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-98	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
上層路盤（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-99	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
上層路盤（歩道部）	Ⅲ-直接-5-100	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
路盤（歩道部）	Ⅲ-直接-5-101	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
路盤	Ⅲ-直接-5-102	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
基層（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-103	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
中間層（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-104	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
基層・中間層（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-105	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
基層・中間層（歩道部）	Ⅲ-直接-5-106	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
表層（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-107	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
表層（車道・路肩部）	Ⅲ-直接-5-108	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
表層（歩道部）	Ⅲ-直接-5-109	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
表層（歩道部）	Ⅲ-直接-5-110	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
半たわみ性舗装	Ⅲ-直接-5-111	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2

（別表 数値基準【道路・舗装】（3））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
排水性舗装工（車道部）	Ⅲ-直接-5-112	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
排水性舗装・表層（車道・路肩	Ⅲ-直接-5-113	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
排水性舗装・中間層（車道・路肩	Ⅲ-直接-5-114	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
排水性舗装・基層（車道・路肩	Ⅲ-直接-5-115	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
透水性舗装・フィルター層（歩道部）	Ⅲ-直接-5-116	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
透水性舗装・表層（歩道部）	Ⅲ-直接-5-117	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
グースアスファルト舗装・基層	Ⅲ-直接-5-118	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
グースアスファルト舗装・表層	Ⅲ-直接-5-119	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
コンクリート舗装（車道部）	Ⅲ-直接-5-120	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
コンクリート舗装（歩道部）	Ⅲ-直接-5-121	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
コンクリート舗装	Ⅲ-直接-5-122	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
目地材料費	Ⅲ-直接-5-123	式	式	1	
縦目地	Ⅲ-直接-5-124	m	m	1	
横目地	Ⅲ-直接-5-125	m	m	1	
転圧コンクリート舗装	Ⅲ-直接-5-126	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
薄層カラー舗装	Ⅲ-直接-5-127	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
インターロッキングブロック舗装	Ⅲ-直接-5-128	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
特殊ブロック舗装	Ⅲ-直接-5-129	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
L型側溝	Ⅲ-直接-5-130	m	m	1	
L型側溝	Ⅲ-直接-5-131	m	m	1	
プレキャストU型側溝	Ⅲ-直接-5-132	m	m	1	
プレキャストU型側溝（本体）	Ⅲ-直接-5-133	m	m	1	
U型側溝（蓋）	Ⅲ-直接-5-134	枚	枚	1	
現場打水路	Ⅲ-直接-5-135	m	m	1	
現場打水路	Ⅲ-直接-5-136	m	m	1	
現場打ち水路（本体）	Ⅲ-直接-5-137	m	m	1	
自由勾配側溝	Ⅲ-直接-5-138	m	m	1	
自由勾配側溝（本体）	Ⅲ-直接-5-139	m	m	1	
自由勾配側溝（蓋）	Ⅲ-直接-5-140	枚	枚	1	
管（函）渠型側溝	Ⅲ-直接-5-141	m	m	1	
管（函）渠型側溝	Ⅲ-直接-5-142	m	m	1	
コルゲートフリューム	Ⅲ-直接-5-143	m	m	1	ただし径1m以上管渠類は0.1m
コルゲートパイプ	Ⅲ-直接-5-144	m	m	1	ただし径1m以上管渠類は0.1m
コルゲートパイプ	Ⅲ-直接-5-145	m	m	1	ただし径1m以上管渠類は0.1m
管渠	Ⅲ-直接-5-146	m	m	1	ただし径1m以上管渠類は0.1m
管渠	Ⅲ-直接-5-147	m	m	1	ただし径1m以上管渠類は0.1m
巻きコンクリート（管渠）	Ⅲ-直接-5-148	m3	m3	1	
プレキャスト集水桝・街渠桝	Ⅲ-直接-5-149	箇所	箇所	1	
プレキャスト集水桝	Ⅲ-直接-5-150	箇所	箇所	1	
集水桝・街渠桝（本体）	Ⅲ-直接-5-151	箇所	箇所	1	
集水桝（本体）	Ⅲ-直接-5-152	箇所	箇所	1	
集水桝	Ⅲ-直接-5-153	箇所	箇所	1	
蓋	Ⅲ-直接-5-154	枚	枚	1	
側溝蓋	Ⅲ-直接-5-155	枚	枚	1	
暗渠排水管	Ⅲ-直接-5-156	m	m	1	
暗渠排水管敷設（地下排水）	Ⅲ-直接-5-157	m	m	1	
フィルター材敷設（地下排水）	Ⅲ-直接-5-158	m3	m3	1	
プレキャストマンホール	Ⅲ-直接-5-159	基	基	1	
マンホール	Ⅲ-直接-5-160	箇所	箇所	1	
プレキャストカルバート工	Ⅲ-直接-5-161	m	m	1	ただし径1m以上の管渠類は0.1m
プレキャストボックス	Ⅲ-直接-5-162	m	m	1	ただし径1m以上の管渠類は0.1m
プレキャストボックス	Ⅲ-直接-5-163	m	m	1	ただし径1m以上の管渠類は0.1m
歩車道境界ブロック	Ⅲ-直接-5-164	m	m	1	
歩車道境界ブロック	Ⅲ-直接-5-165	m	m	1	
地先境界ブロック	Ⅲ-直接-5-166	m	m	1	
地先境界ブロック	Ⅲ-直接-5-167	m	m	1	
植樹ブロック	Ⅲ-直接-5-168	m	m	1	
植樹ブロック	Ⅲ-直接-5-169	m	m	1	

（別表 数値基準【道路・舗装】（4））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
間詰コンクリート	Ⅲ-直接-5-170	m3	m3	1	
間詰砕石	Ⅲ-直接-5-171	m3	m3	1	
客土	Ⅲ-直接-5-172	m3	m3	1	
植樹帯盛土	Ⅲ-直接-5-173	m3	m3	100	ただし1,000m3未満は10m3
アスカーブ	Ⅲ-直接-5-174	m	m	10	
アスカーブ	Ⅲ-直接-5-175	m	m	10	
踏掛版工	Ⅲ-直接-5-176	m3	m3	1	
溶融式区画線	Ⅲ-直接-5-177	m	m	10	ただし100m未満は1m
溶融式区画線	Ⅲ-直接-5-178	m	m	10	ただし100m未満は1m
ペイント式区画線	Ⅲ-直接-5-179	m	m	10	ただし100m未満は1m
ペイント式区画線	Ⅲ-直接-5-180	m	m	10	ただし100m未満は1m
高視認性区画線	Ⅲ-直接-5-181	m	m	10	ただし100m未満は1m
区画線消去	Ⅲ-直接-5-182	m	m	1	
区画線消去	Ⅲ-直接-5-183	m	m	1	
境界杭	Ⅲ-直接-5-184	本	本	1	
境界鋲	Ⅲ-直接-5-185	枚	枚	1	
視線誘導標	Ⅲ-直接-5-186	本	本	1	
距離標	Ⅲ-直接-5-187	本	本	1	
道路鋲	Ⅲ-直接-5-188	個	個	1	
車線分離標	Ⅲ-直接-5-189	本	本	1	
車線分離標	Ⅲ-直接-5-190	本	本	1	
標識柱（路側式）	Ⅲ-直接-5-191	基	基	1	
標識板（案内）	Ⅲ-直接-5-192	m2	m2	1	
標識板（警戒等）	Ⅲ-直接-5-193	基	基	1	
添架式標識板取付金具（標識板）	Ⅲ-直接-5-194	基	基	1	
標識基礎	Ⅲ-直接-5-195	m3	m3	1	
標識基礎	Ⅲ-直接-5-196	m3	m3	1	
門型標識柱	Ⅲ-直接-5-197	kg	kg	1	
門型標識柱	Ⅲ-直接-5-198	基	基	1	
片持標識柱	Ⅲ-直接-5-199	kg	kg	1	
片持標識柱	Ⅲ-直接-5-200	基	基	1	
着雪防止板	Ⅲ-直接-5-201	m2	m2	1	
金網・ロープ（ロックネット）	Ⅲ-直接-5-202	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
アンカー（ロックネット）	Ⅲ-直接-5-203	箇所	箇所	1	
支柱（ロックネット）	Ⅲ-直接-5-204	箇所	箇所	1	
アンカー（ロックネット）	Ⅲ-直接-5-205	箇所	箇所	1	
支柱（ロックネット）	Ⅲ-直接-5-206	箇所	箇所	1	
繊維網	Ⅲ-直接-5-207	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
落石防護柵	Ⅲ-直接-5-208	m	m	1	
ロープ・金網	Ⅲ-直接-5-209	m	m	1	
支柱	Ⅲ-直接-5-210	本	本	1	
ステーロープ	Ⅲ-直接-5-211	本	本	1	
遮音壁	Ⅲ-直接-5-212	m	m	1	
騒音低減装置	Ⅲ-直接-5-213	m	m	1	
ガードレール	Ⅲ-直接-5-214	m	m	1	
ガードレール	Ⅲ-直接-5-215	m	m	1	
ガードケーブル	Ⅲ-直接-5-216	m	m	1	
ガードケーブル	Ⅲ-直接-5-217	m	m	1	
ガードパイプ	Ⅲ-直接-5-218	m	m	1	
ガードパイプ	Ⅲ-直接-5-219	m	m	1	
ボックスビーム	Ⅲ-直接-5-220	m	m	1	
ボックスビーム	Ⅲ-直接-5-221	m	m	1	

（別表 数値基準【道路・舗装】（5））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
車止めポスト	Ⅲ-直接-5-222	本	本	1	
車止めポスト	Ⅲ-直接-5-223	本	本	1	
立入防止柵	Ⅲ-直接-5-224	m	m	1	
基礎ブロック（立入防止柵）	Ⅲ-直接-5-225	個	個	1	
支柱（立入防止柵）	Ⅲ-直接-5-226	本	本	1	
金網（フェンス）（立入防止柵）	Ⅲ-直接-5-227	m	m	1	
転落（横断）防止柵	Ⅲ-直接-5-228	m	m	1	
転落（横断）防止柵	Ⅲ-直接-5-229	m	m	1	
ビーム・パネル（転落（横断）防止	Ⅲ-直接-5-230	m	m	1	
遮光フェンス	Ⅲ-直接-5-231	m	m	1	
植樹	Ⅲ-直接-5-232	本	本	1	
植樹	Ⅲ-直接-5-233	本	本	1	
樹名板	Ⅲ-直接-5-234	枚	枚	1	
ケーブル配管（歩道部）	Ⅲ-直接-5-235	m	m	1	
ケーブル配管（交差点横断部）	Ⅲ-直接-5-236	m	m	1	
ケーブル配管	Ⅲ-直接-5-237	m	m	1	
ハンドホール	Ⅲ-直接-5-238	箇所	箇所	1	
ハンドホール	Ⅲ-直接-5-239	箇所	箇所	1	
照明柱基礎	Ⅲ-直接-5-240	基	基	1	
照明柱	Ⅲ-直接-5-241	基	基	1	
防雪柵工	Ⅲ-直接-5-242	m	m	1	
防雪柵	Ⅲ-直接-5-243	m	m	1	
雪崩予防柵工	Ⅲ-直接-5-244	基	基	1	
雪崩予防柵基礎	Ⅲ-直接-5-245	基	基	1	
雪崩予防柵	Ⅲ-直接-5-246	基	基	1	
雪崩予防柵アンカー	Ⅲ-直接-5-247	本	本	1	

（別表 数値基準【河川】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
現場打基礎	Ⅲ-直接-6-1	m3	m3	1	
現場打基礎	Ⅲ-直接-6-2	m3	m3	1	
現場打基礎	Ⅲ-直接-6-3	m	m	1	
プレキャスト基礎	Ⅲ-直接-6-4	m	m	1	
プレキャスト基礎	Ⅲ-直接-6-5	m	m	1	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎	Ⅲ-直接-6-6	m	m	1	
中詰(プレキャスト基礎)	Ⅲ-直接-6-7	m3	m3	1	
矢板工(護岸基礎)	Ⅲ-直接-6-8	m2	m2	1	
矢板工(矢板護岸)	Ⅲ-直接-6-9	m2	m2	1	
一本土台	Ⅲ-直接-6-10	m	m	1	
片梯子土台	Ⅲ-直接-6-11	m	m	1	
梯子土台	Ⅲ-直接-6-12	m	m	1	
止杭一本土台	Ⅲ-直接-6-13	m	m	1	
笠コンクリート	Ⅲ-直接-6-14	m	m	1	
プレキャスト笠コンクリート	Ⅲ-直接-6-15	m	m	1	
プレキャスト横帯コンクリート	Ⅲ-直接-6-16	m	m	1	
巨石張	Ⅲ-直接-6-17	m2	m2	1	
巨石張	Ⅲ-直接-6-18	m2	m2	1	
巨石積	Ⅲ-直接-6-19	m2	m2	1	
巨石採取	Ⅲ-直接-6-20	個	個	1	
巨石据付	Ⅲ-直接-6-21	m2	m2	1	
巨石据付	Ⅲ-直接-6-22	m2	m2	1	
植石張	Ⅲ-直接-6-23	m2	m2	1	
かごマット	Ⅲ-直接-6-24	m2	m2	1	
かごマット	Ⅲ-直接-6-25	m2	m2	1	
柳枝	Ⅲ-直接-6-26	m2	m2	1	
玉石階段	Ⅲ-直接-6-27	m2	m2	1	
杭柵	Ⅲ-直接-6-28	m	m	1	
連柴柵	Ⅲ-直接-6-29	m	m	1	
粗朶法覆	Ⅲ-直接-6-30	m2	m2	1	
玉石柳枝	Ⅲ-直接-6-31	m2	m2	1	
じゃかご	Ⅲ-直接-6-32	m	m	1	
じゃかご	Ⅲ-直接-6-33	m	m	1	
ふとんかご	Ⅲ-直接-6-34	m	m	1	
ふとんかご	Ⅲ-直接-6-35	m	m	1	
かご枠	Ⅲ-直接-6-36	m	m	1	
石材料	Ⅲ-直接-6-37	m3	m3	0.1	
石材料(かごﾏｯﾄ)	Ⅲ-直接-6-38	式orm3	m3	0.1	
石材料(捨石)	Ⅲ-直接-6-39	式orm3	m3	0.1	
消波根固めブロック製作	Ⅲ-直接-6-40	個	個	1	
消波根固めブロック製作	Ⅲ-直接-6-41	個	個	1	
消波根固めブロック据付	Ⅲ-直接-6-42	個	個	1	
消波根固めブロック据付	Ⅲ-直接-6-43	個	個	1	
消波根固めブロック運搬	Ⅲ-直接-6-44	個	個	1	
消波根固めブロック仮置	Ⅲ-直接-6-45	個	個	1	
袋詰玉石	Ⅲ-直接-6-46	袋	袋	1	
間詰石	Ⅲ-直接-6-47	m2	m2	1	
採取小割	Ⅲ-直接-6-48	m3	m3	1	
粗朶沈床	Ⅲ-直接-6-49	m2	m2	1	
木工沈床	Ⅲ-直接-6-50	m2	m2	1	
改良沈床	Ⅲ-直接-6-51	m2	m2	1	
粗朶単床	Ⅲ-直接-6-52	m2	m2	1	
粗朶柵	Ⅲ-直接-6-53	m	m	1	

（別表 数値基準【河川】(2)）

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
捨石	Ⅲ-直接-6-54	m3	m3	1	
捨石	Ⅲ-直接-6-55	m3	m3	1	
表面均し	Ⅲ-直接-6-56	m2	m2	10	
元付	Ⅲ-直接-6-57	箇所	箇所	1	
元付	Ⅲ-直接-6-58	箇所	箇所	1	
杭出し水制	Ⅲ-直接-6-59	基	基	1	
配管設置（埋設部）	Ⅲ-直接-6-60	m	m	1	
配管設置（埋設部）	Ⅲ-直接-6-61	m	m	1	
配管設置（露出部）	Ⅲ-直接-6-62	m	m	1	
ハンドホール	Ⅲ-直接-6-63	箇所	箇所	1	
ハンドホール	Ⅲ-直接-6-64	箇所	箇所	1	
ﾋｭｰﾑ管	Ⅲ-直接-6-65	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
PC管	Ⅲ-直接-6-66	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
ダクタイル鋳鉄管	Ⅲ-直接-6-67	m	m	1	
PC函渠	Ⅲ-直接-6-68	m	m	0.1	
可とう継手	Ⅲ-直接-6-69	箇所	箇所	1	
取替式止水板	Ⅲ-直接-6-70	箇所	箇所	1	
函渠接続	Ⅲ-直接-6-71	箇所	箇所	1	
ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	Ⅲ-直接-6-72	箇所	箇所	1	
銘板	Ⅲ-直接-6-73	枚	枚	1	
表示板	Ⅲ-直接-6-74	枚	枚	1	
ステップ	Ⅲ-直接-6-75	本	本	1	
プレキャスト階段	Ⅲ-直接-6-76	m2	m2	1	
量水標	Ⅲ-直接-6-77	箇所	箇所	1	
水位計	Ⅲ-直接-6-78	箇所	箇所	1	
流量計	Ⅲ-直接-6-79	箇所	箇所	1	
グラウトホール	Ⅲ-直接-6-80	組	組	1	

（別表 数値基準【砂防】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
岩盤清掃	Ⅲ-直接-7-1	m2	m2	1	
砂防ソイルセメント	Ⅲ-直接-7-2	m3	m3	1	
堤冠コンクリート	Ⅲ-直接-7-3	m3	m3	1	
水抜暗渠	Ⅲ-直接-7-4	m	m	0.1	
鋼製枠	Ⅲ-直接-7-5	t	t	0.1	
鋼製枠（格子・スリット）	Ⅲ-直接-7-6	t	t	0.1	
隔壁コンクリート基礎	Ⅲ-直接-7-7	m3	m3	1	
枠内中詰	Ⅲ-直接-7-8	m3	m3	1	
山腹U型側溝	Ⅲ-直接-7-9	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
山腹コルゲートフリューム	Ⅲ-直接-7-10	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
山腹U型側溝明暗渠	Ⅲ-直接-7-11	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
山腹コルゲートフリューム明暗渠	Ⅲ-直接-7-12	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
山腹暗渠	Ⅲ-直接-7-13	m	m	1	ただし、径1m以上の管渠類は0.1m
ボーリング	Ⅲ-直接-7-14	m	m	0.1	
ボーリング゛洗浄	Ⅲ-直接-7-15	m	m	0.1	
保孔管	Ⅲ-直接-7-16	m	m	1	
井戸中詰	Ⅲ-直接-7-17	m3	m3	1	
ボーリング仮設機材	Ⅲ-直接-7-18	式 or 回	回	1	
掘削土留（集水井掘削）	Ⅲ-直接-7-19	基	基	1	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ井筒	Ⅲ-直接-7-20	m	m	1	
固定基礎コンクリート	Ⅲ-直接-7-21	m	m	1	
底張コンクリート	Ⅲ-直接-7-22	m3	m3	1	
井戸蓋	Ⅲ-直接-7-23	基	基	1	
止水板（砂防）	Ⅲ-直接-7-24	m	m	1	
均しコンクリート	Ⅲ-直接-7-25	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
均しコンクリート	Ⅲ-直接-7-26	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2

（別表 数値基準【工場製作・塗装】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
製作加工	Ⅲ-直接-8-1	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
製作加工	Ⅲ-直接-8-2	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
製作加工	Ⅲ-直接-8-3	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
製作加工	Ⅲ-直接-8-4	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
製作加工	Ⅲ-直接-8-5	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
製作加工	Ⅲ-直接-8-6	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
ボルト・ナット	Ⅲ-直接-8-7	組	組	1	
ボルト・ナット	Ⅲ-直接-8-8	組	組	1	
スタッドジベル	Ⅲ-直接-8-9	本	本	1	
素地調整	Ⅲ-直接-8-10	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
素地調整	Ⅲ-直接-8-11	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
素地調整	Ⅲ-直接-8-12	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
前処理	Ⅲ-直接-8-13	m2	m2	1	
下塗	Ⅲ-直接-8-14	m2	m2	1	
下塗	Ⅲ-直接-8-15	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
下塗	Ⅲ-直接-8-16	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
下塗	Ⅲ-直接-8-17	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
中塗	Ⅲ-直接-8-18	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
中塗	Ⅲ-直接-8-19	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
中塗	Ⅲ-直接-8-20	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
上塗	Ⅲ-直接-8-21	m2	m2	1	
上塗	Ⅲ-直接-8-22	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
上塗	Ⅲ-直接-8-23	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
上塗	Ⅲ-直接-8-24	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
メッキ	Ⅲ-直接-8-25	t	t	1	
小運搬	Ⅲ-直接-8-26	式ort	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
輸送	Ⅲ-直接-8-27	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t

（別表 数値基準【橋梁上部】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
排水管	Ⅲ-直接-9-1	m	m	1	
排水桝	Ⅲ-直接-9-2	箇所	箇所	1	
アンカーボルト穿孔及び設置（排水管）	Ⅲ-直接-9-3	本	本	1	
鋼・ゴム製伸縮装置	Ⅲ-直接-9-4	m	m	0.1	
鋼・ゴム製伸縮装置	Ⅲ-直接-9-5	m	m	0.1	
埋設ジョイント	Ⅲ-直接-9-6	m	m	1	
ベント設備	Ⅲ-直接-9-7	式	式	1	
ベント基礎	Ⅲ-直接-9-8	式	式	1	
プレキャスト地覆	Ⅲ-直接-9-9	m	m	1	
橋梁用防護柵	Ⅲ-直接-9-10	m	m	1	
橋梁用高欄	Ⅲ-直接-9-11	m	m	1	
検査路	Ⅲ-直接-9-12	t	t	0.1	
側板	Ⅲ-直接-9-13	t	t	0.1	
芯出し素地調整（落橋防止装置）	Ⅲ-直接-9-14	m2	m2	1	
現場孔明（落橋防止装置）	Ⅲ-直接-9-15	本	本	1	
連結板取付（落橋防止装置）	Ⅲ-直接-9-16	箇所	箇所	1	
現場溶接（落橋防止装置）	Ⅲ-直接-9-17	m	m	1	
ボルト締（落橋防止装置）	Ⅲ-直接-9-18	本	本	1	
アンカー（落橋防止装置）	Ⅲ-直接-9-19	本	本	1	

（別表 数値基準【橋梁下部】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
現場溶接	Ⅲ-直接-10-1	m	m	1	

（別表 数値基準【トンネル】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
裏込注入	Ⅲ-直接-11-1	m3	m3	1	

（別表 数値基準【共同溝・電線共同溝・情報ボックス・地下横断歩道・地下駐車場】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
防水工	Ⅲ-直接-12-1	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
防水	Ⅲ-直接-12-2	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
防水保護	Ⅲ-直接-12-3	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
埋設管路	Ⅲ-直接-12-4	m	m	1	
露出管路	Ⅲ-直接-12-5	m	m	1	
埋設表示シート	Ⅲ-直接-12-6	m	m	1	
プレキャストボックス	Ⅲ-直接-12-7	個	個	1	
蓋	Ⅲ-直接-12-8	組	組	1	
ハンドホール	Ⅲ-直接-12-9	箇所	箇所	1	

（別表 数値基準【修繕】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
路面切削	Ⅲ-直接-13-1	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
舗装版切断	Ⅲ-直接-13-2	式orm	m	10	ただし100m未満は1m
舗装版破砕	Ⅲ-直接-13-3	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
舗装版破砕	Ⅲ-直接-13-4	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
舗装版破砕	Ⅲ-直接-13-5	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
切削オーバーレイ	Ⅲ-直接-13-6	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
路上再生路盤	Ⅲ-直接-13-7	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
路上表層再生	Ⅲ-直接-13-8	m2	m2	10	ただし1,000m2未満は1m2
グルービング	Ⅲ-直接-13-9	m2	m2	1	
グルービング（路面排水用）	Ⅲ-直接-13-10	m	m	10	
鋼板接着	Ⅲ-直接-13-11	m2	m2	1	
クラック処理	Ⅲ-直接-13-12	m	m	1	
増桁架設	Ⅲ-直接-13-13	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
表面荒らし	Ⅲ-直接-13-14	m2	m2	1	
プレキャストPC床版取替	Ⅲ-直接-13-15	m2	m2	1	
鋼製高欄取替	Ⅲ-直接-13-16	m	m	1	
床版運搬処理	Ⅲ-直接-13-17	m3	m3	1	
鋼製伸縮継手補修	Ⅲ-直接-13-18	m	m	0.1	
埋設ジョイント補修	Ⅲ-直接-13-19	m	m	0.1	
高欄・手摺	Ⅲ-直接-13-20	t	t	0.1	
ノンスリップ	Ⅲ-直接-13-21	m	m	1	
コンクリート面清掃	Ⅲ-直接-13-22	m2	m2	1	
清掃・水洗い（素地調整）	Ⅲ-直接-13-23	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
張紙防止塗装	Ⅲ-直接-13-24	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
内装板	Ⅲ-直接-13-25	m2	m2	1	
線導水	Ⅲ-直接-13-26	m	m	1	
面導水	Ⅲ-直接-13-27	m2	m2	1	
現場溶接鋼桁補強	Ⅲ-直接-13-28	m	m	1	
支承取替	Ⅲ-直接-13-29	基	基	1	
支承取替	Ⅲ-直接-13-30	基	基	1	
チッピング	Ⅲ-直接-13-31	m2	m2	1	ただし10m2未満は0.1m2
削孔	Ⅲ-直接-13-32	孔	孔	1	
アンカーボルト挿入	Ⅲ-直接-13-33	本	本	1	
鋼製沓座設置	Ⅲ-直接-13-34	箇所	箇所	1	
鋼板巻立て	Ⅲ-直接-13-35	m2	m2	1	
定着用アンカー	Ⅲ-直接-13-36	箇所	箇所	1	
鋼板取付	Ⅲ-直接-13-37	m2	m2	1	
現場塗装	Ⅲ-直接-13-38	m2	m2	10	ただし100m2未満は1m2
コンクリート削孔	Ⅲ-直接-13-39	箇所	箇所	1	
コンクリート巻立て	Ⅲ-直接-13-40	m3	m3	1	

（別表 数値基準【維持】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
緊急巡視	Ⅲ-直接-14-1	回	回	1	
通常巡回	Ⅲ-直接-14-2	回	回	1	
緊急巡回	Ⅲ-直接-14-3	回	回	1	
除草	Ⅲ-直接-14-4	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
除草	Ⅲ-直接-14-5	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
集草(1)(除草)	Ⅲ-直接-14-6	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
集草(2)(除草)	Ⅲ-直接-14-7	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
集草(除草)	Ⅲ-直接-14-8	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
積込・荷卸(除草)	Ⅲ-直接-14-9	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
積込・運搬(除草)	Ⅲ-直接-14-10	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
運搬(除草)	Ⅲ-直接-14-11	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
施肥	Ⅲ-直接-14-12	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
抜根	Ⅲ-直接-14-13	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
伐木・筏竹(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-14	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
除根(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-15	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
整地(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-16	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
集積(1)(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-17	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
集積(2)(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-18	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
積込(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-19	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
運搬(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-20	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
下地処理	Ⅲ-直接-14-21	m2	m2	1	
下地処理	Ⅲ-直接-14-22	m2	m2	1	
鉄筋防錆処理	Ⅲ-直接-14-23	m	m	1	
ひび割れ注入	Ⅲ-直接-14-24	m	m	1	
ひび割れ充填	Ⅲ-直接-14-25	m3	m3	0.1	
断面修復	Ⅲ-直接-14-26	m2	m2	0.1	
表面処理	Ⅲ-直接-14-27	m2	m2	0.1	
削孔	Ⅲ-直接-14-28	孔	孔	1	
注入	Ⅲ-直接-14-29	m3	m3	1	
注入設備据付・解体	Ⅲ-直接-14-30	式or回	回	1	
欠損部取壊し	Ⅲ-直接-14-31	m3	m3	1	
欠損部補修	Ⅲ-直接-14-32	m3	m3	1	
アスファルト注入	Ⅲ-直接-14-33	t	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
目地補修(舗装版目地補修)	Ⅲ-直接-14-34	m	m	1	
クラック防止シート張(舗装版目地補修)	Ⅲ-直接-14-35	m	m	1	
わだち掘れ補修	Ⅲ-直接-14-36	m2	m2	1	
パッチング	Ⅲ-直接-14-37	t	t	0.1	
クラック処理	Ⅲ-直接-14-38	m	m	1	
ガードレール復旧	Ⅲ-直接-14-39	m	m	1	
ガードパイプ復旧	Ⅲ-直接-14-40	m	m	1	
標識	Ⅲ-直接-14-41	基	基	1	
収集・集積(散在塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-42	千m2	千m2	1	ただし100,000m2未満は100m2
運搬(散在塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-43	千m2	千m2	1	ただし100,000m2未満は100m2
収集・集積(1)(堆積塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-44	m3	m3	10	ただし100m3未満は1m3
収集・集積(2)(堆積塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-45	m3	m3	10	ただし100m3未満は1m3
運搬(堆積塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-46	m3	m3	10	ただし100m3未満は1m3
水面清掃	Ⅲ-直接-14-47	日	日	1	
樹木剪定	Ⅲ-直接-14-48	本	本	1	
樹木剪定	Ⅲ-直接-14-49	本	本	1	
寄植剪定	Ⅲ-直接-14-50	m2	m2	10	
寄植剪定	Ⅲ-直接-14-51	m2	m2	10	
補植	Ⅲ-直接-14-52	本	本	1	
補植	Ⅲ-直接-14-53	本	本	1	
支柱	Ⅲ-直接-14-54	本	本	1	
支柱	Ⅲ-直接-14-55	本	本	1	
樹木施肥	Ⅲ-直接-14-56	本	本	1	
寄植・芝施肥	Ⅲ-直接-14-57	m2	m2	10	

（別表 数値基準【維持】（2））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
潅水	Ⅲ-直接-14-58	m2	m2	10	
防除	Ⅲ-直接-14-59	本	本	1	
芝刈	Ⅲ-直接-14-60	m2	m2	1,000	ただし100,000m2未満は100m2
抜根除草	Ⅲ-直接-14-61	m2	m2	10	
寄植・芝薬剤散布	Ⅲ-直接-14-62	m2	m2	10	
掘取（移植）	Ⅲ-直接-14-63	本	本	1	
地被類植付	Ⅲ-直接-14-64	m2	m2	10	
地被類植付	Ⅲ-直接-14-65	鉢	鉢	1	
視線誘導標復旧	Ⅲ-直接-14-66	本	本	1	
張紙防止シート	Ⅲ-直接-14-67	m2	m2	1	
路面清掃(1)	Ⅲ-直接-14-68	km	km	0.1	
路面清掃(2)	Ⅲ-直接-14-69	km	km	0.1	
路面清掃（歩道等）	Ⅲ-直接-14-70	m2	m2	1	
路肩整正(1)	Ⅲ-直接-14-71	km	km	0.1	
路肩整正(2)	Ⅲ-直接-14-72	m2	m2	100	
清掃作業(1)（側溝清掃）	Ⅲ-直接-14-73	m	m	10	
清掃作業(2)（側溝清掃）	Ⅲ-直接-14-74	m	m	10	
視線誘導標清掃	Ⅲ-直接-14-75	本	本	1	
移動（側溝清掃）	Ⅲ-直接-14-76	式orkm	km	1	
側溝蓋撤去・設置（側溝清掃）	Ⅲ-直接-14-77	枚	枚	1	
清掃作業（管渠清掃）	Ⅲ-直接-14-78	m	m	10	
移動（管渠清掃）	Ⅲ-直接-14-79	式orkm	km	1	
桝清掃(1)	Ⅲ-直接-14-80	箇所	箇所	1	
桝清掃(2)	Ⅲ-直接-14-81	箇所	箇所	1	
伸縮継手清掃	Ⅲ-直接-14-82	式orm	m	1	
排水管清掃	Ⅲ-直接-14-83	m	m	10	
ガードレール清掃	Ⅲ-直接-14-84	km	km	0.1	
ガードパイプ清掃	Ⅲ-直接-14-85	m	m	1	
標識清掃(1)	Ⅲ-直接-14-86	枚	枚	1	
標識清掃(2)	Ⅲ-直接-14-87	枚	枚	1	
トンネル照明器具清掃(1)	Ⅲ-直接-14-88	km	km	0.1	
トンネル照明器具清掃(2)	Ⅲ-直接-14-89	灯	灯	1	
トンネル壁面清掃	Ⅲ-直接-14-90	m2	m2	1	
スノーポール設置	Ⅲ-直接-14-91	本	本	1	
落雪（せり出し）防護柵	Ⅲ-直接-14-92	m	m	1	
防雪柵現地張出し・収納	Ⅲ-直接-14-93	m	m	1	
応急作業	Ⅲ-直接-14-94	日	日	1	

（別表 数値基準【撤去】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
転落（横断）防止柵撤去	Ⅲ-直接-15-1	式orm	m	1	
ビーム・パネル（転落（横断）防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-2	式orm	m	1	
基礎ブロック（立入防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-3	式or個	個	1	
支柱（立入防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-4	式or本	本	1	
金網（フェンス）（立入防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-5	式orm	m	1	
ガードレール撤去	Ⅲ-直接-15-6	式orm	m	1	
ガードパイプ撤去	Ⅲ-直接-15-7	式orm	m	1	
標識柱・基礎撤去（路側式）	Ⅲ-直接-15-8	式or基	基	1	
標識板（警戒等）撤去（路側式）	Ⅲ-直接-15-9	式or基	基	1	
標識板（案内）撤去（片持式・門型式）	Ⅲ-直接-15-10	式orm2	m2	1	
視線誘導標撤去	Ⅲ-直接-15-11	式or本	本	1	
コンクリート構造物取壊し	Ⅲ-直接-15-12	m3	m3	1	
コンクリートはつり	Ⅲ-直接-15-13	m2	m2	1	ただし10m2未満は0.1m2
根固めブロック撤去	Ⅲ-直接-15-14	個	個	1	
U型側溝撤去	Ⅲ-直接-15-15	式orm	m	1	
蓋版撤去	Ⅲ-直接-15-16	式or枚	枚	1	
ロープ・金網（落石防護柵）撤去	Ⅲ-直接-15-17	式orm	m	1	
支柱（落石防護柵）撤去	Ⅲ-直接-15-18	式or本	本	1	
道路鋲撤去	Ⅲ-直接-15-19	式or個	個	1	
車線分離標撤去	Ⅲ-直接-15-20	本	本	1	
インターロッキングブロック撤去	Ⅲ-直接-15-21	式orm2	m2	1	
歩車道境界ブロック撤去	Ⅲ-直接-15-22	式orm	m	1	
鋼製高欄撤去	Ⅲ-直接-15-23	m	m	1	
床版破砕及び撤去	Ⅲ-直接-15-24	m3	m3	1	
桁材撤去	Ⅲ-直接-15-25	t	t	1	
スノーポール撤去	Ⅲ-直接-15-26	式or本	本	1	
殻運搬（路面切削）	Ⅲ-直接-15-27	m3	m3	1	
舗装版運搬処理	Ⅲ-直接-15-28	m3	m3	1	
殻運搬	Ⅲ-直接-15-29	m3	m3	1	
殻処分	Ⅲ-直接-15-30	m3	m3	1	
現場発生品・支給品運搬	Ⅲ-直接-15-31	式or回	回	1	

（別表 数値基準【仮設】（1））

ユニット区分	ユニット 積算基準頁	契約 単位	積算 単位	数位	備考
足場	Ⅲ-直接-16-1	式or掛m2	掛m2	10	
足場（アンカー）	Ⅲ-直接-16-2	式or空m3	空m3	10	
足場（鉄筋挿入）	Ⅲ-直接-16-3	式or空m3	空m3	10	
足場（砂防）	Ⅲ-直接-16-4	式orm	m	1	
足場	Ⅲ-直接-16-5	式orm2	m2	10	
足場	Ⅲ-直接-16-6	式orm2	m2	10	
足場	Ⅲ-直接-16-7	式orm2	m2	10	
足場	Ⅲ-直接-16-8	式orm2	m2	10	
足場	Ⅲ-直接-16-9	式or掛m2	掛m2	10	
足場	Ⅲ-直接-16-10	式 or 空m3	空m3	10	
足場	Ⅲ-直接-16-11	式or掛m2	m2	10	
床版足場	Ⅲ-直接-16-12	式orm2	m2	10	
足場・防護	Ⅲ-直接-16-13	式orm2	m2	10	
手摺先行型足場設置・撤去（足場）	Ⅲ-直接-16-14	式or箇所	箇所	1	
手摺先行型足場損料（足場）	Ⅲ-直接-16-15	式or箇所	箇所	1	
吊足場設置・撤去（足場）	Ⅲ-直接-16-16	式orm2	m2	10	
吊足場損料（足場）	Ⅲ-直接-16-17	式orm2	m2	1	
支保	Ⅲ-直接-16-18	式or空m3	空m3	10	
防護	Ⅲ-直接-16-19	式orm2	m2	10	
防護	Ⅲ-直接-16-20	式orm2	m2	10	
設置・撤去（防護）	Ⅲ-直接-16-21	式orm2	m2	10	
設置・撤去（防護）	Ⅲ-直接-16-22	式orm2	m2	10	
損料（防護）	Ⅲ-直接-16-23	式orm2	m2	10	
賃料（防護）	Ⅲ-直接-16-24	式orm2	m2	10	
設置・撤去（敷鉄板）	Ⅲ-直接-16-25	式 or m2	m2	1	
賃料（敷鉄板）	Ⅲ-直接-16-26	式 or 枚	枚	1	
土砂締切	Ⅲ-直接-16-27	式orm3	m3	1	
コンクリート締切	Ⅲ-直接-16-28	式orm3	m3	1	
土のう積	Ⅲ-直接-16-29	式orm2	m2	1	
大型土のう	Ⅲ-直接-16-30	袋	袋	1	

第６章 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算

① 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算について

土木請負工事を一時中止した場合の増加費用等の負担については、「工事の一時中止に伴う増加費用等の積算上の取扱いについて」(昭和 57 年３月 29 日付け建設省官技発第 116 号)によるものする。

1 増加費用等の範囲

１－１ 増加費用等の適用

増加費用等の適用は、発注者が工事全体の一時中止(主たる工種の部分中止により工期が延長となった場合を含む)を指示し、それに伴う増加費用等について請負者から請求があった場合に適用するものとする。

なお、道路維持工事又は河川維持工事のうち経常的な維持工事である場合及び一時中止期間が３箇月を超える場合は適用しないものとする。

１－２ 増加費用等の範囲

一時中止に伴う増加費用等の範囲は、下記の現場維持等に要する費用とする。

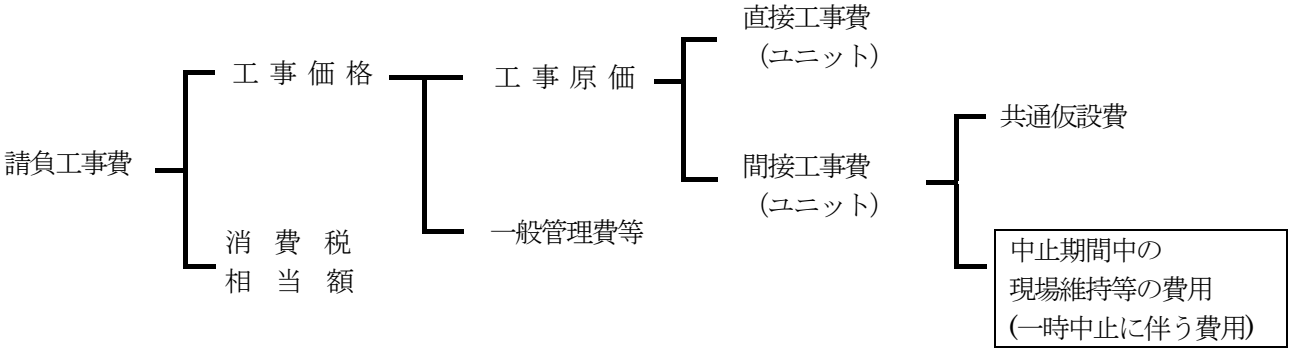
・現場維持等に要する費用
- イ．工事現場の維持に要する費用
- ロ．工事体制の縮小に要する費用
- ハ．工事の再開・準備に要する費用

※本支店における増加費用を除く

2 増加費用等の算定

２－１ 増加費用等の構成

増加費用等の算定は、中止期間中の現場維持等に要する費用を工事原価に含め、一般管理費等ユニットの対象とする。



(注)1 一時中止に伴う本支店における増加費用は、工事原価に一時中止に伴う費用が加算されるため、率計上される「一般管理費等」の増額分に含まれるものとする。

2 一時中止に伴い発注者が新たに受取り対象とした材料、直接労務及び直接経費に係る費用は、直接工事費(ユニット)に追加計上し、設計変更により処理するものとする。

第７章　設計変更

① 一般事項

（1）　請負工事の設計変更は、合意単価を基本に行うものとする。

（2）単価協議が不成立となり、単価合意がなされなかった場合は、官側の設定した単価に基づき設計変更を行うものとする。なお、以前に締結した単価合意書に基づく合意単価がある場合は、有効なものとして取り扱う。

② 請負金額の変更について

請負代金額の変更にあたっては、工事請負契約書第２４条の規定に従い、単価合意書記載の単価を用いて、請負代金額の変更部分の総額を協議するものとする。

なお、その際の予定価格の積算にあたっては、以下に留意すること。

（1）直接工事費ユニット及び間接工事費ユニットの積み上げ分については、単価合意書に記載の単価に基づき積算する。なお、単価合意書に記載のない単価の取り扱いは、以下のとおりとする。

- 工事数量総括表に記載があるユニット区分にプライス条件変更が生じた場合、または請負者の責によらない積算条件変更が生じた場合は、条件変更後の官積算単価にユニット区分の合意率を乗じた単価により積算する。
- 工事数量総括表に記載がある工種（レベル２）に属するユニット区分を追加する場合は、当初積算と同様に算出した官積算単価に当該工種の合意率を乗じた単価により積算する。
- 工事数量総括表に記載がない工種（レベル２）に属するユニット区分を追加する場合は、当初積算と同様に算出した官積算単価により積算する。

③ 設計変更時における単価等の算出方法

（１）ユニット区分比率を用いた変更単価の算出方法

合意単価　　：ｙ0　　単価合意時における官積算単価　：X0
変更積算に用いる単価　：ｙ1　　条件変更後における官積算単価　：X1
落札率　　：Z（総価）

$$y1＝x1・y0/x0$$

（２）レベル２比率を用いた変更単価の算出方法

変更積算に用いる単価：y1　　官積算単価：x1
ユニットが追加される工種(レベル2)の単価合意時における官積算金額：X0
ユニットが追加される工種(レベル2)の単価合意時における合意金額　：Y0

$$y1＝x1・Y0/X0$$

（３） 共通仮設費（率計上）、イメージアップ経費（率計上）、一般管理費等の算出方法
・共通仮設費（率計上）（イメージアップ経費（率計上）、一般管理費等も同様）
共通仮設費（率計上）＝Ｂ×Ｃ×Ｄ

B=　変更金額の積算における「共通仮設費（率計上）」の対象となる項目の合計金額

$$C=\frac{\text{直近の契約における「共通仮設費（率計上）」合意金額(C1)}}{\text{直近の契約における「共通仮設費（率計上）」の対象となる項目の合計金額（C2）}}$$

$$D=\frac{\text{B をユニットプライス型積算基準の率式に代入した値（D1）}}{\text{C2 をユニットプライス型積算基準の率式に代入した値（D2）}}$$

＜設計変更にて共通仮設費（率計上）対象額が 3,000 万円から 3,300 万円となった場合の積算例（舗装）＞
B　＝変更積算の共通仮設費（率計上）の対象となる項目の合計金額＝33,000,000 円
C1 ＝直近契約における共通仮設費（率計上）の合意金額＝1,600,000 円
C2＝直近契約における共通仮設費（率計上）の対象となる項目の合計金額＝30,000,000 円
C　＝C1／C2＝1,600,000／30,000,000
D1　＝B から算出した積算基準（官率式）からの率＝5.43％
D2＝C2 から算出した積算基準（官率式）からの率＝5.56％
D　＝D1／D2＝5.43％／5.56％

共通仮設費（率計上）＝B×C×D＝33,000,000 円×1,600,000／30,000,000×5.43／5.56
＝1,718,848 円

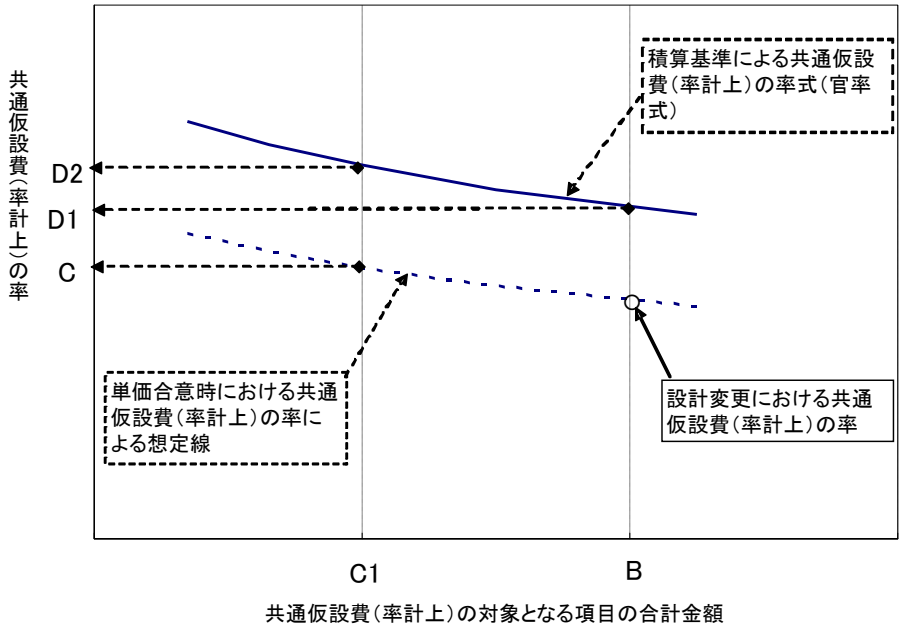


図　設計変更における共通仮設費（率計上）の算出方法（イメージ）

（４）　変更設計額

工事価格＝変更積算工事価格

変更設計額＝工事価格×（１＋消費税率）

④ 設計変更における留意事項

（１） 一般事項

明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件についても、工事請負契約書の関連する条項に基づき、甲・乙協議し、必要に応じて設計変更するものとする。

（２） 任意仮設について

例え、条件明示がなされていない場合でも、当初積算時に想定した現場条件と現地の現場条件が異なる場合には、甲・乙協議し、必要に応じて仮設工の変更を行うものとする。

（３） 交通誘導員について

警察協議等の結果により、交通誘導員の配置が当初積算時に想定した配置と異なる場合には、間接工事費（ユニット）の交通誘導員の延べ人数を変更するものとする。なお、延べ人数の算定における日数の算定に当たっては、発注者の工程によるものとするが、請負者の責によらない特別な事由(警察協議の結果を含む)による工期の延長等については、発注者と受注者で協議するものとする。

（４） 工事の中止について

工事着手届提出以降、請負者の責によらない事由により、工事の全部又は一部の施工を一時中止した場合には、工事請負契約書第２０条の規定に基づき必要な費用を、「一時中止に伴う費用」に計上するものとする。なお、一部一時中止の場合においても、工程上、クリティカルパスとなっている工種において一時中止を実施した場合には、必要となる費用を、「一時中止に伴う費用」に計上するものとする。

（５）設計変更の際の処分費等の扱い

設計変更における処分費等の取扱いは、Ⅰ-2-③-2「処分費等の取扱い」に準じ積算を行うものとする。

1）対象額（変更設計時の共通仮設費（率計上））
＝変更金額の積算における率計上の「対象となる項目（直接工事費）」の合計金額
－新規ユニット及び条件変更した細別の金額に含まれる共通仮設費（率計上）非対象額
＋新規追加ユニット及び条件変更した細別の金額に含まれる支給品・無償貸付機械等対象額

2）準備費に含まれる処分費
＝木根等処分費に含まれる処分費

3）間接工事費ユニットに含まれる処分費等の扱いについては、上記2）に準じる。

（６）設計変更の際の工事区分の扱い

設計変更時に新単価が追加された場合の工事区分は、当初発注時の工事区分を適用する。
また、設計変更時に数量の増減等により主たる工事区分が替わっても当初の工事区分を適用する。

⑤単価合意が成立しなかった場合の積算

（1）以前に締結した単価合意書に基づく合意単価がある場合は、有効なものとして取り扱う。

（2）単価合意が成立しなかった場合、当初契約においては全てのユニット区分、変更契約においては新たに追加されるユニット区分及び条件区分変更のあるユニット区分について、合意単価に替えて次の単価を設定する（以下　官設定単価という）。

官設定単価　：ｙ　官積算単価：Ｘ
ｙ＝　Ｘ・ｚ
補正率：ｚ

$$z = \frac{\text{当該契約の変更請負金額}／（1＋\text{消費税率}）－A}{\text{当該契約の変更工事価格}－A}$$

Ａ：合意単価及び前回契約までに設定された官設定単価によって算出された直接工事費（ユニット）及び間接工事費（ユニット）のうち共通仮設費（率計上以外のユニット）の合計金額。
　なお、当初契約において単価合意が成立しなかった場合の補正率（ｚ）は総価の請負比率（官積算額に対する請負代金額の比率）と等しい。

（3）単価合意が成立しなかった場合、以降の請負工事の設計変更は、以前に合意した合意単価及び官設定単価を基本に１－７－②及び③により行う。

（4）共通仮設費（率計上）、イメージアップ経費（率計上）、一般管理費等については、合意金額に替えて官設定金額を用い１－７－③－１（３）により算出する。官設定金額の算出方法は以下による。

官積算金額：Ｒｋ　　補正率：ｚ　官設定金額：ｒｋ
ｒｋ＝　Ｒｋ×ｚ

注）補正率(ｚ)の算出方法は上記（２）に準じるものとする。

第８章　日当り施工量

①　日当り施工量

日当り施工量は、土木工事標準積算基準書を基にした参考値であり、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件等を十分考慮のうえ、適用について検討するものとする。

なお、排水構造物（Ｌ型側溝、管（函）渠型側溝、Ｕ型側溝、自由勾配側溝）及びブロック（歩車道境界ブロック、地先境界ブロック、植樹ブロック）は、作業土工を当該標準日施工量に考慮していない。

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分					標準日施工量（参考値）
掘削	直接-1-1	土砂	オープンカット	押土有り	3万m3未満		320m3/日
					3万m3以上		710m3/日
				押土無し	障害無し	5万m3未満	300m3/日
						5万m3以上	500m3/日
					障害有り	5万m3未満	190m3/日
						5万m3以上	320m3/日
			片切掘削				220m3/日
		軟岩	オープンカット				340m3/日
			片切掘削				49m3/日
		硬岩					190m3/日
掘削	直接-1-2	土砂	オープンカット	押土有り	3万m3未満		320m3/日
					3万m3以上		710m3/日
				押土無し	障害無し	5万m3未満	300m3/日
						5万m3以上	500m3/日
					障害有り	5万m3未満	190m3/日
						5万m3以上	320m3/日
			片切掘削				220m3/日
			人力切崩し				4m3/日
			河床等の沈殿物、底沼等の軟弱土除去				147m3/日
			上記以外（小規模）		1箇所100m3以下（標準）		38m3/日
					1箇所100m3以下（標準以外）		16m3/日
		岩塊・玉石	障害無し	5万m3未満			230m3/日
				5万m3以上			410m3/日
			障害有り	5万m3未満			140m3/日
				5万m3以上			260m3/日
		軟岩		500m3未満			63m3/日
				500m3以上			190m3/日
			片切掘削				49m3/日
		硬岩	オープンカット		火薬使用不可		41m3/日
					火薬使用可		190m3/日
			片切掘削		火薬使用不可		29m3/日
					火薬使用可		55m3/日
掘削（砂防）	直接-1-4	土砂	押土有り				230m3/日
			押土無し	障害無し			220m3/日
				障害有り			160m3/日
		岩塊・玉石	押土有り				190m3/日
			押土無し	障害無し			180m3/日
				障害有り			120m3/日
		軟岩			機械走行面より5m以内		51m3/日
					機械走行面より5m超	火薬使用可	37m3/日
						火薬使用不可	9m3/日
		硬岩			機械走行面より5m以内		29m3/日
					機械走行面より5m超	火薬使用可	21m3/日
						火薬使用不可	7m3/日
		転石			機械走行面より5m以内		31m3/日
					機械走行面より5m超	火薬使用可	9m3/日
						火薬使用不可	12m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
土砂等運搬	直接-1-6	土砂	DID区間無し	0.3km以下	167m3/日
				0.5km以下	143m3/日
				1.0km以下	125m3/日
				1.5km以下	111m3/日
				2.0km以下	100m3/日
				3.0km以下	83m3/日
				4.0km以下	71m3/日
				5.5km以下	59m3/日
				6.5km以下	50m3/日
				7.5km以下	43m3/日
				9.5km以下	38m3/日
				11.5km以下	33m3/日
				15.5km以下	28m3/日
				22.5km以下	22m3/日
				49.5km以下	16m3/日
				60.0km以下	11m3/日
			DID区間有り	0.3km以下	167m3/日
				0.5km以下	143m3/日
				1.0km以下	125m3/日
				1.5km以下	111m3/日
				2.0km以下	100m3/日
				3.0km以下	83m3/日
				3.5km以下	71m3/日
				5.0km以下	59m3/日
				6.0km以下	50m3/日
				7.0km以下	43m3/日
				8.5km以下	38m3/日
				11.0km以下	33m3/日
				14.0km以下	28m3/日
				19.5km以下	22m3/日
				31.5km以下	16m3/日
				60.0km以下	11m3/日
		軟岩			土砂÷1.22
		硬岩			土砂÷1.37

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分					標準日施工量（参考値）
土砂等運搬	直接-1-7	土砂等発生現場標準	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3				直接-1-6参照
			ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3	土砂	DID区間無し	0.3km以下	200m3/日
						0.5km以下	167m3/日
						1.0km以下	143m3/日
						1.5km以下	125m3/日
						2.0km以下	111m3/日
						2.5km以下	100m3/日
						3.0km以下	91m3/日
						3.5km以下	83m3/日
						4.5km以下	71m3/日
						6.0km以下	59m3/日
						7.0km以下	50m3/日
						8.5km以下	43m3/日
						10.0km以下	38m3/日
						12.5km以下	33m3/日
						16.5km以下	28m3/日
						23.5km以下	22m3/日
						51.5km以下	16m3/日
						60.0km以下	11m3/日
					DID区間有り	0.3km以下	200m3/日
						0.5km以下	167m3/日
						1.0km以下	143m3/日
						1.5km以下	125m3/日
						2.0km以下	111m3/日
						2.5km以下	100m3/日
						3.0km以下	91m3/日
						3.5km以下	83m3/日
						4.5km以下	71m3/日
						5.5km以下	59m3/日
						6.5km以下	50m3/日
						8.0km以下	43m3/日
						9.5km以下	38m3/日
						11.5km以下	33m3/日
						15.0km以下	28m3/日
						20.5km以下	22m3/日
						33.0km以下	16m3/日
						60.0km以下	11m3/日
				軟岩			土砂÷1.22
				硬岩			土砂÷1.37

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分					標準日施工量（参考値）
土砂等運搬	直接-1-7	土砂等発生現場標準	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3	土砂	DID区間無し	0.5km以下	100m3/日
						1.0km以下	91m3/日
						2.0km以下	77m3/日
						2.5km以下	67m3/日
						3.5km以下	59m3/日
						4.5km以下	50m3/日
						6.0km以下	43m3/日
						7.5km以下	38m3/日
						10.0km以下	33m3/日
						13.5km以下	28m3/日
						19.5km以下	22m3/日
						39.0km以下	16m3/日
						60.0km以下	11m3/日
					DID区間有り	0.5km以下	100m3/日
						1.0km以下	91m3/日
						1.5km以下	77m3/日
						2.0km以下	67m3/日
						3.0km以下	59m3/日
						4.0km以下	50m3/日
						5.5km以下	43m3/日
						7.0km以下	38m3/日
						9.0km以下	33m3/日
						12.0km以下	28m3/日
						17.5km以下	22m3/日
						28.5km以下	16m3/日
						60.0km以下	11m3/日
			ｸﾗﾑｼｪﾙ	土砂	DID区間無し	0.5km以下	71m3/日
						2.0km以下	59m3/日
						2.5km以下	50m3/日
						4.0km以下	43m3/日
						5.5km以下	38m3/日
						7.5km以下	33m3/日
						10.5km以下	28m3/日
						16.0km以下	22m3/日
						30.0km以下	16m3/日
						60.0km以下	11m3/日
					DID区間有り	0.5km以下	71m3/日
						2.0km以下	59m3/日
						2.5km以下	50m3/日
						3.5km以下	43m3/日
						5.0km以下	38m3/日
						7.0km以下	33m3/日
						10.0km以下	28m3/日
						14.5km以下	22m3/日
						24.5km以下	16m3/日
						60.0km以下	11m3/日
				軟岩			土砂÷1.22
				硬岩			土砂÷1.37

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分					標準日施工量（参考値）
土砂等運搬	直接-1-7	小規模土工	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積 0.28m3	土砂	DID区間無し	0.2km以下	50m3/日
						1.0km以下	40m3/日
						1.5km以下	33m3/日
						2.5km以下	29m3/日
						3.5km以下	25m3/日
						4.0km以下	22m3/日
						5.0km以下	20m3/日
						6.0km以下	18m3/日
						7.5km以下	17m3/日
						10.0km以下	13m3/日
						13.0km以下	11m3/日
						19.0km以下	9m3/日
						35.0km以下	7m3/日
						60.0km以下	4m3/日
					DID区間有り	0.2km以下	50m3/日
						1.0km以下	40m3/日
						1.5km以下	33m3/日
						2.0km以下	29m3/日
						3.0km以下	25m3/日
						3.5km以下	22m3/日
						4.5km以下	20m3/日
						5.5km以下	18m3/日
						7.0km以下	17m3/日
						9.0km以下	13m3/日
						12.0km以下	11m3/日
						17.0km以下	9m3/日
						27.0km以下	7m3/日
						60.0km以下	4m3/日
			ﾊﾞｯｸﾎｳ山積 0.13m3		DID区間無し	0.3km以下	22m3/日
						1.0km以下	20m3/日
						1.5km以下	17m3/日
						2.5km以下	14m3/日
						3.0km以下	13m3/日
						3.5km以下	11m3/日
						4.5km以下	10m3/日
						5.5km以下	9m3/日
						7.0km以下	8m3/日
						9.0km以下	7m3/日
						12.0km以下	6m3/日
						17.0km以下	4m3/日
						28.0km以下	3m3/日
						60.0km以下	2m3/日
					DID区間有り	0.3km以下	22m3/日
						1.0km以下	20m3/日
						1.5km以下	17m3/日
						2.5km以下	14m3/日
						3.0km以下	13m3/日
						3.5km以下	11m3/日
						4.5km以下	10m3/日
						5.0km以下	9m3/日
						6.5km以下	8m3/日
						8.0km以下	7m3/日
						11.0km以下	6m3/日
						15.0km以下	4m3/日
						24.0km以下	3m3/日
						60.0km以下	2m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分					標準日施工量（参考値）
土砂等運搬	直接-1-7	人力	土砂	DID区間無し	0.3km以下		20m3/日
					0.5km以下		18m3/日
					1.5km以下		17m3/日
					2.0km以下		14m3/日
					2.5km以下		13m3/日
					3.0km以下		11m3/日
					4.0km以下		10m3/日
					5.0km以下		9m3/日
					6.5km以下		8m3/日
					8.5km以下		7m3/日
					11.0km以下		6m3/日
					16.0km以下		4m3/日
					27.5km以下		3m3/日
					60.0km以下		2m3/日
				DID区間有り	0.3km以下		20m3/日
					0.5km以下		18m3/日
					1.0km以下		17m3/日
					1.5km以下		14m3/日
					2.0km以下		13m3/日
					2.5km以下		11m3/日
					3.5km以下		10m3/日
					4.5km以下		9m3/日
					6.0km以下		8m3/日
					8.0km以下		7m3/日
					10.5km以下		6m3/日
					14.5km以下		4m3/日
					23.0km以下		3m3/日
					60.0km以下		2m3/日
			硬岩				土砂÷1.22
			軟岩				土砂÷1.37
土砂等運搬（砂防）	直接-1-8	土砂	0.5km以下				125m3/日
			0.9km以下				111m3/日
			1.5km以下				100m3/日
			2.0km以下				91m3/日
			2.5km以下				83m3/日
			3.0km以下				77m3/日
			4.0km以下				63m3/日
			5.0km以下				56m3/日
			6.0km以下				50m3/日
			7.0km以下				45m3/日
		硬岩					土砂÷1.22
		軟岩					土砂÷1.37
整地	直接-1-9						1,030m3/日
整地	直接-1-10	残土受入地での処理					1,030m3/日
		敷均し（ルーズ）	標準（ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ普通15t級）				760m3/日
			標準以外（ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ普通21t級）				1,090m3/日
			狭小幅員（ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ普通3t級）				140m3/日
路体(築堤)盛土	直接-1-11	下幅幅員4.0m以上	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	障害無し		410m3/日
					障害有り		190m3/日
				高含水比粘性土	障害無し		340m3/日
					障害有り		160m3/日
路体(築堤)盛土	直接-1-12	下幅幅員4.0m以上	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	1万m3未満	障害無し	410m3/日
						障害有り	190m3/日
					1万m3以上	障害無し	600m3/日
						障害有り	250m3/日
				高含水比粘性土		障害無し	340m3/日
						障害有り	160m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
盛土(砂防)	直接-1-15	敷均し	土砂			240m3/日
			岩塊・玉石			210m3/日
			破砕岩			110m3/日
押土(ルーズ)	直接-1-16	土砂				540m3/日
		岩塊・玉石				350m3/日
		破砕岩				350m3/日
押土(ルーズ) (砂防)	直接-1-17	土砂				240m3/日
		岩塊・玉石				210m3/日
		破砕岩				110m3/日
積込(ルーズ)	直接-1-18	土砂	5万m3未満			310m3/日
			5万m3以上			520m3/日
		岩塊、玉石、破砕岩	5万m3未満			260m3/日
			5万m3以上			440m3/日
積込(ルーズ)	直接-1-19	土砂	ｸﾛｰﾗ型山積0.8m3			310m3/日
			ｸﾛｰﾗ型山積1.4m3			520m3/日
			ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3			160m3/日
		岩塊・玉石、破砕岩	ｸﾛｰﾗ型山積0.8m3			260m3/日
			ｸﾛｰﾗ型山積1.4m3			440m3/日
			ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3			130m3/日
積込(ルーズ) (砂防)	直接-1-20	土砂				240m3/日
		岩塊・玉石				200m3/日
		破砕岩				160m3/日
積込(ルーズ)	直接-1-21	ｸﾛｰﾗ型 山積0.28m3(平積0.2m3)				44m3/日
		ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.1m3)				23m3/日
法面整形	直接-1-23	レキ質土、砂及び 砂質土、粘性土	盛土部	土羽打ち有り	現場制約有り	120m2/日
					現場制約無し	140m2/日
				土羽打ち無し		220m2/日
			切土部			140m2/日
		軟岩I				120m2/日
		軟岩II、中硬岩、硬岩				30m2/日
法面整形	直接-1-24	レキ質土、砂及び 砂質土、粘性土	盛土部	土羽打ち有り	現場制約有り	120m2/日
					現場制約無し	140m2/日
				土羽打ち無し		220m2/日
			切土部			140m2/日
		軟岩I			現場制約有り	30m2/日
					現場制約無し	120m2/日
		軟岩II、中硬岩、硬岩				30m2/日
残土運搬	直接-1-26					直接-1-6参照
残土運搬	直接-1-27					直接-1-7参照
床掘り(土砂)	直接-1-28	レキ質土・砂・ 砂質土・ 粘性土	標準		障害無し	220m3/日
					障害有り	180m3/日
			平均施工幅1m以上2m未満		障害無し	150m3/日
					障害有り	100m3/日
			掘削深さ5m超20m以下		障害無し	200m3/日
					障害有り	130m3/日
			平均施工幅1m未満及び1箇所当り施工土量100m3未満			35m3/日
		岩塊・ 玉石混り土	標準		障害無し	160m3/日
					障害有り	130m3/日
			平均施工幅1m以上2m未満		障害無し	110m3/日
					障害有り	70m3/日
			掘削深さ5m超20m以下		障害無し	140m3/日
					障害有り	90m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分					標準日施工量(参考値)
床掘り(岩石)	直接-1-29	軟岩	オープンカット	500m3未満	破砕片除去無し	集積押土無し	63m3/日
				500m3以上			340m3/日
			片切掘削		破砕片除去無し	集積押土無し	49m3/日
			人力(機械施工出来ない)		軟岩(I)		25m3/日
					軟岩(II)		17m3/日
		硬岩	オープンカット	火薬使用不可	破砕片除去無し	集積押土無し	41m3/日
				火薬使用可			190m3/日
			片切掘削	火薬使用不可	破砕片除去無し	集積押土無し	29m3/日
				火薬使用可			55m3/日
			人力(機械施工出来ない)		中硬岩		13m3/日
					硬岩(I)		8m3/日
床掘り(砂防)	直接-1-30	土砂	障害無し				220m3/日
			障害有り				160m3/日
		岩塊・玉石	障害無し				180m3/日
			障害有り				120m3/日
		軟岩					51m3/日
		硬岩					29m3/日
		転石					31m3/日
埋戻し	直接-1-31	機械施工	100m3以上	最小埋戻幅 4m以上			270m3/日
				最大埋戻幅 4m以上			96m3/日
				最大埋戻幅 1m以上4m未満			61m3/日
				最大埋戻幅 1m未満			33m3/日
埋戻し(砂防)	直接-1-32	土砂	押土有り				240m3/日
			押土無し				240m3/日
		岩塊・玉石	押土有り				210m3/日
			押土無し				200m3/日
		破砕岩	押土有り				110m3/日
			押土無し				160m3/日
発泡ｽﾁﾛｰﾙ	直接-1-37						54m3/日
ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	直接-1-38						29m3/日
壁面材組立・設置	直接-1-42	鋼製ユニット					59m2/日
ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設、撒きだし、敷均し、締固め	直接-1-44						93m2/日
裏込砕石	直接-1-47						38m3/日
サンドマット	直接-2-2						560m3/日
安定処理	直接-2-7	ｽﾀﾋﾞﾗｲｻﾞ	1回				790m2/日
			2回				690m2/日
		ﾊﾞｯｸﾎｳ	路床	1m以下			180m2/日
			構造物基礎	1m以下			127m2/日
				1mを超え2m以下			74m2/日
小型擁壁	直接-3-5 直接-3-6						1.2m3/日
重力式擁壁	直接-3-7	1m超2m未満					5.7m3/日
	直接-3-8	2m以上5m以下					7.5m3/日
もたれ式擁壁	直接-3-10						6.3m3/日
逆T型擁壁	直接-3-12						5.0m3/日
L型擁壁	直接-3-14						4.0m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
場所打函渠工	直接-3-15	函体断面積4m2未満			2.0m3/日
		函体断面積4m2以上			8.5m3/日
函渠	直接-3-16	1.0≦B<2.5　1.0≦H<2.5			2.0m3/日
		2.5≦B≦4.0　1.0≦H<2.5			3.4m3/日
		1.0≦B<2.5　2.5≦H≦4.0			3.5m3/日
		2.5≦B<4.0　2.5≦H≦4.0			3.9m3/日
		4.0≦B<5.5　2.5≦H<4.0			5.0m3/日
		5.5≦B≦7.0　2.5≦H<4.0			5.9m3/日
		4.0≦B<5.5　4.0≦H<5.5			6.5m3/日
		5.5≦B<7.0　4.0≦H<5.5			7.5m3/日
		7.0≦B<8.5　4.0≦H≦5.5			8.5m3/日
		8.5≦B≦10.0　4.0≦H≦5.5			10.0m3/日
		4.0≦B<5.5　5.5≦H≦7.0			7.2m3/日
		5.5≦B≦7.0　5.5≦H≦7.0			8.4m3/日
コンクリート	直接-3-17	日打設量50m3未満			32m3/日
		日打設量50m3以上150m3未満			79m3/日
コンクリート(場所打擁壁)	直接-3-18				80m3/日
コンクリート(場所打函渠)	直接-3-19				102m3/日
コンクリート	直接-3-20	無筋・鉄筋構造物	打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超	設計日打設量10m3以上300m3未満	81m3/日
				設計日打設量300m3以上600m3未満	400m3/日
			打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下		4m3/日
		小型構造物	打設地上高さ2m以下		5m3/日
			打設地上高さ2m超28m以下、水平距離30m以下		6m3/日
コンクリート	直接-3-21				43m3/日
型枠	直接-3-25	鉄筋・無筋構造物			38m2/日
		小型構造物			15m2/日
型枠	直接-3-26	一般型枠			42m2/日
		残存型枠	化粧型枠有り		66m2/日
			化粧型枠無し		72m2/日
型枠	直接-3-27	一般型枠			26m2/日
		合板円形型枠			13m2/日
鉄筋	直接-3-28	太径鉄筋割合10%未満		一般構造物	3.5t/日
				切梁のある構造物、地下構造物	3.0t/日
				差筋及び杭頭処理	3.5t/日
				場所打杭用かご筋	6.5t/日
		太径鉄筋割合10%以上		一般構造物	5.0t/日
				切梁のある構造物、地下構造物	4.0t/日
				場所打杭用かご筋	9.0t/日
ガス圧接	直接-3-29	D19+D19、D22+D22、D25+D25			350箇所/日
		D29+D29			310箇所/日
		D32+D32			280箇所/日
		D35+D35			240箇所/日
		D38+D38			160箇所/日
		D41+D41			150箇所/日
		D51+D51			130箇所/日
目地板	直接-3-30				14m2/日
止水板	直接-3-31				14m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分	標準日施工量（参考値）
間知ブロック張	直接-5-1		49m2/日
間知ブロック張	直接-5-2	150kg/個未満	49m2/日
平ブロック張	直接-5-4	150kg/個以上	81m2/日
間知ブロック積	直接-5-11 直接-5-12 直接-5-13		11m2/日
大型ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	直接-5-17		13m2/日
基礎砕石（基礎材）	直接-5-20		155m2/日
石積・張	直接-5-30	積工	19m2/日
		張工	31m2/日
種子散布	直接-5-33	標準	1,100m2/日
種子散布	直接-5-34		1,100m2/日
客土吹付	直接-5-35		400m2/日
植生基材吹付	直接-5-36	厚3cm、厚4cm、厚5cm	140m2/日
	直接-5-37	厚6cm、厚7cm、厚8cm	110m2/日
		厚10cm	100m2/日
植生シート	直接-5-38 直接-5-39		250m2/日
植生マット	直接-5-40 直接-5-41		200m2/日
張芝	直接-5-44 直接-5-45		300m2/日
筋芝	直接-5-46		90m2/日
ラス張	直接-5-51		140m2/日
法面吹付工	直接-5-52	吹付厚5～7cm	120m2/日
		吹付厚8～10cm	100m2/日
		吹付厚15cm	60m2/日
		吹付厚20cm	50m2/日
モルタル吹付	直接-5-53	吹付厚5～7cm	120m2/日
		吹付厚8～10cm	100m2/日
コンクリート吹付	直接-5-54	吹付厚10cm	100m2/日
		吹付厚15cm	60m2/日
		吹付厚20cm	50m2/日
吹付枠	直接-5-59	梁断面　150×150	98m/日
		梁断面　200×200	77m/日
		梁断面　300×300	51m/日
		梁断面　400×400	30m/日
		梁断面　500×500	26m/日
		梁断面　600×600	20m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
中詰	直接-5-62	ﾓﾙﾀﾙ吹付	吹付厚5～7cm		120m2/日
			吹付厚8～10cm		100m2/日
		植生基材吹付	吹付厚3～5cm		140m2/日
			吹付厚6～8cm		110m2/日
			吹付厚10cm		100m2/日
削孔(ｱﾝｶｰ)	直接-5-64	単管方式	90mm	粘性土･砂質土	48m/日
				ﾚｷ質土	32m/日
				玉石混り土	22m/日
			115mm	粘性土･砂質土	33m/日
				ﾚｷ質土	26m/日
				玉石混り土	18m/日
			135mm	粘性土･砂質土	26m/日
				ﾚｷ質土	22m/日
				玉石混り土	15m/日
		二重管方式	90mm	粘性土･砂質土	45m/日
				ﾚｷ質土	30m/日
				玉石混り土	21m/日
				軟岩	26m/日
				硬岩(ｺﾝｸﾘｰﾄ含む)	20m/日
			115mm	粘性土･砂質土	28m/日
				ﾚｷ質土	23m/日
				玉石混り土	16m/日
				軟岩	20m/日
				硬岩(ｺﾝｸﾘｰﾄ含む)	16m/日
			135mm	粘性土･砂質土	22m/日
				ﾚｷ質土	18m/日
				玉石混り土	14m/日
				軟岩	15m/日
				硬岩(ｺﾝｸﾘｰﾄ含む)	13m/日
			146mm	粘性土･砂質土	19m/日
				ﾚｷ質土	16m/日
				玉石混り土	12m/日
				軟岩	14m/日
				硬岩(ｺﾝｸﾘｰﾄ含む)	10m/日
アンカー鋼材加工・組立・挿入（アンカー）	直接-5-65	二重防食 削孔長10m以内	PC鋼線より線	f＜400kN(40.8t)	5本/日
				400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)	4本/日
				1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)	4本/日
			複合PC鋼線より線束	f＜400kN(40.8t)	13本/日
				400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)	11本/日
				1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)	10本/日
アンカー鋼材挿入（工場加工・組立）（アンカー）	直接-5-66	二重防食	削孔長10m以内		33本/日
		簡易防食	削孔長10m以内		50本/日
ｸﾞﾗｳﾄ注入(ｱﾝｶｰ)	直接-5-67				4.1m3/日
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ移設	直接-5-68				3.2回/日
緊張・定着・頭部処理(ｱﾝｶｰ)	直接-5-69	頭部処理有り	f＜400kN(40.8t)		9本/日
			400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)		7本/日
			1300kN(132.7t)≦f＜2000KN(204.1t)		5本/日
		頭部処理無し	f＜400kN(40.8t)		13本/日
			400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)		9本/日
			1300kN(132.7t)≦f＜2000KN(204.1t)		6本/日
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板	直接-5-72	クロスタイプ			7枚/日
		セミスクエアタイプ・スクエアタイプ			5枚/日
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型擁壁	直接-5-75 直接-5-76	0.5m以上1.0m以下			45m/日
		1.0m超2.0m以下			38m/日
		2.0m超3.5m以下			30m/日
		3.5m超5.0m以下			24m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
不陸整正(車道部) 不陸整正	直接-5-88 直接-5-89				1,580m2/日・層
調整コンクリート	直接-5-91				4m3/日
橋面防水	直接-5-92	シート防水			220m2/日
		塗膜防水			250m2/日
下層路盤(車道部) 下層路盤(車道・路肩部) 路盤(路肩部)	直接-5-94 直接-5-95 直接-5-97				1,110m2/日・層
上層路盤(車道・路肩部)	直接-5-98	平均厚45mm以上85mm未満	平均幅員1.4m未満		230m2/日・層
			平均幅員1.4m以上		2,300m2/日・層
		平均厚85mm以上125mm未満	平均幅員1.4m未満	再生瀝青安定処理	230m2/日・層
				RM-40・30、M-40・30	1,110m2/日・層
			平均幅員1.4m以上	再生瀝青安定処理	2,300m2/日・層
				RM-40・30、M-40・30	1,110m2/日・層
		平均厚125mm以上			1,110m2/日・層
上層路盤(車道・路肩部)	直接-5-99	瀝青安定処理材使用有り	平均幅員1.4m未満		230m2/日・層
			平均幅員1.4m以上		2,300m2/日・層
		瀝青安定処理材使用無し			1,110m2/日・層
下層路盤(歩道部) 上層路盤(歩道部) 路盤(歩道部)	直接-5-96 直接-5-100 直接-5-101				268m2/日・層
基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 基層・中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	直接-5-103 直接-5-104 直接-5-105 直接-5-107	平均幅員1.4m未満	平均厚55mm未満		250m2/日・層
			平均厚55mm以上		230m2/日・層
表層(車道・路肩部) 排水性舗装・基層(車道・路肩部)	直接-5-108 直接-5-115	平均幅員1.4m以上			2,300m2/日・層
基層・中間層(歩道部)	直接-5-106	平均幅員1.4m未満	平均厚55mm未満		250m2/日・層
表層(歩道部)	直接-5-109		平均厚55mm以上		230m2/日・層
表層(歩道部)	直接-5-110	平均幅員1.4m以上			940m2/日・層
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	直接-5-113	平均幅員1.4m未満			190m2/日・層
		平均幅員1.4m以上			1,700m2/日・層
透水性舗装・表層(歩道部)	直接-5-117	平均幅員1.4m未満			200m2/日・層
		平均幅員1.4m以上			600m2/日・層
コンクリート舗装(車道部)	直接-5-120	1車線施工			111m2/日
		2車線施工			129m2/日
薄層カラー舗装	直接-5-127	樹脂モルタル舗装・景観透水性舗装			60m2/日
		樹脂系すべり止め舗装	RPN-1、1-2、2、3、11		300m2/日
			RPN-4、5、6、7、7-2、8、12、15		200m2/日
			RPN-8-2		80m2/日
			RPN-9、10、13、14		150m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
特殊ブロック舗装	直接-5-129				77m2/日
L型側溝	直接-5-131	設置	基礎砕石有り		29m/日
			基礎砕石無し		33m/日
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	直接-5-132	設置	L=600mm		25m/日
			L=2000mm	1000 kg/個以下	50m/日
				1000を超え2000kg/個以下	35m/日
				2000を超え2900kg/個以下	25m/日
自由勾配側溝	直接-5-138	設置	L=2000mm	1000 kg/個以下	30m/日
				1000を超え2900kg/個以下	20m/日
管(函)渠型側溝	直接-5-141	設置	L=2000mm φ300		29m/日
			L=2000mm φ400		16m/日
管(函)渠型側溝	直接-5-142	設置	200以上400以下	基礎砕石無し	33m/日
				基礎砕石有り	29m/日
			400を超え600以下	基礎砕石無し	17m/日
				基礎砕石有り	16m/日
管渠	直接-5-146	ﾋｭｰﾑ管1種 ﾋｭｰﾑ管2種	200～350mm	90° 巻き	8m/日
				180° 巻き	7m/日
				360° 巻き	5m/日
				巻きコンクリート無し	50m/日
			400～600mm	90° 巻き	6m/日
				180° 巻き	5m/日
				360° 巻き	3m/日
				巻きコンクリート無し	25m/日
			700～1000mm	90° 巻き	4m/日
				180° 巻き	3m/日
				360° 巻き	2m/日
				巻きコンクリート無し	17m/日
			1100mm	90° 巻き	3m/日
				180° 巻き	2m/日
				巻きコンクリート無し	14m/日
		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 台付管	200～300mm		44m/日
			350～500mm		29m/日
			600～800mm		23m/日
			900～1100mm		16m/日
管渠	直接-5-147	設置	ﾋｭｰﾑ管1種 ﾋｭｰﾑ管2種	150mm	30m/日
				200～350mm	50m/日
				400～600mm	25m/日
				700～1000mm	17m/日
				1100～1350mm	14m/日
			鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 台付管	200～300mm 基礎砕石有り	44m/日
				基礎砕石無し	50m/日
				350～500mm 基礎砕石有り	29m/日
				基礎砕石無し	33m/日
				600～800mm 基礎砕石有り	23m/日
				基礎砕石無し	25m/日
				900～1200mm 基礎砕石有り	16m/日
				基礎砕石無し	17m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
プレキャスト集水桝・街渠桝	直接-5-149	設置	50以上80kg/基以下	基礎砕石有り	77基/日
				基礎砕石無し	100基/日
			80を超え400kg/基以下	基礎砕石有り	22基/日
				基礎砕石無し	24基/日
			400を超え800kg/基以下	基礎砕石有り	16基/日
				基礎砕石無し	17基/日
			800を超え1200kg/基以下	基礎砕石有り	13基/日
				基礎砕石無し	14基/日
			1200を超え160kg/基0以下	基礎砕石有り	10基/日
				基礎砕石無し	11基/日
			1600を超え2200kg/基以下	基礎砕石有り	8基/日
				基礎砕石無し	9基/日
側溝蓋	直接-5-155	設置	40kg/枚以下		210枚/日
			40を超え170kg/枚以下		130枚/日
暗渠排水管敷設（地下排水）	直接-5-157	設置	直管	50～150mm	250m/日
				200～400mm	125m/日
			波状管及び網状管	50～150mm	429m/日
				200～400mm	273m/日
				450～600mm	150m/日
フィルター材敷設（地下排水）	直接-5-158				36m3/日
プレキャストマンホール	直接-5-159	設置	2,000kg/基以下		4基/日
			2,000kg/基を超え4,000kg/基以下		3基/日
プレキャストカルバート工	直接-5-161	600mm≦B≦750mm、600mm≦H≦670mm 600mm≦B≦750mm、670mm＜H≦850mm 750mm＜B≦950mm、600mm≦H≦670mm 750mm＜B≦950mm、670mm＜H≦850mm 750mm＜B≦950mm、850mm＜H≦980mm 950mm＜B≦1,150mm、670mm＜H≦850mm 950mm＜B≦1,150mm、980mm＜H≦1,150mm 1,150mm＜B≦1,350mm、980mm＜H≦1,150mm			10m/日
		950mm＜B≦1,150mm、1,150mm＜H≦1,350mm 950mm＜B≦1,150mm、1,470mm＜H≦1,900mm			7m/日
		1,150mm＜B≦1,350mm、670mm＜H≦850mm 1,150mm＜B≦1,350mm、850mm＜H≦980mm 1,150mm＜B≦1,350mm、1,150mm＜H≦1,350mm 1,350mm＜B≦1,650mm、980mm＜H≦1,150mm			5m/日
		1,150mm＜B≦1,350mm、1,350mm＜H≦1,470mm 1,150mm＜B≦1,350mm、1,470mm＜H≦1,900mm 1,350mm＜B≦1,650mm、1,150mm＜H≦1,350mm 1,350mm＜B≦1,650mm、1,350mm＜H≦1,470mm 1,350mm＜B≦1,650mm、1,470mm＜H≦1,900mm 1,650mm＜B≦2,100mm、1,470mm＜H≦1,900mm 1,650mm＜B≦2,100mm、1,900mm＜H≦2180mm 1,650mm＜B≦2,100mm、2,350mm＜H≦2,570mm 2,100mm＜B≦2,350mm、1,470mm＜H≦1,900mm 2,100mm＜B≦2,350mm、1,900mm＜H≦2180mm 2,100mm＜B≦2,350mm、2180mm＜H≦2,350mm			4m/日
		2,100mm＜B≦2,350mm、2,570mm＜H≦2,900mm 2,350mm＜B≦2,650mm、2,900mm＜H≦3,200mm 2,350mm＜B≦2,650mm、1,470mm＜H≦1,900mm 2,350mm＜B≦2,650mm、1,900mm＜H≦2,180mm 2,350mm＜B≦2,650mm、2,350mm＜H≦2,570mm 2,650mm＜B≦3,250mm、1,470mm＜H≦1,900mm 2,650mm＜B≦3,250mm、1,900mm＜H≦2,180mm 2,650mm＜B≦3,250mm、2,350mm＜H≦2,570mm 2,650mm＜B≦3,250mm、2,570mm＜H≦2,900mm 2,650mm＜B≦3,250mm、2,900mm＜H≦3,200mm 3,250mm＜B≦3,500mm、1,900mm＜H≦2180mm 3,250mm＜B≦3,500mm、2,350mm＜H≦2,570mm			2m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
プレキャストボックス	直接-5-162	製品長1.0m	1.25<B≦2.5、1.25<H≦2.5	基礎材有り		4m/日
				基礎材無し		6m/日
			2.5<B≦3.75、1.25<H≦2.5	基礎材有り		2m/日
				基礎材無し		3m/日
		製品長1.5m	1.25<B≦2.5、0<H≦1.25	基礎材有り	縦締無し	4m/日
					縦締有り	3m/日
				基礎材無し	縦締無し	8m/日
					縦締有り	4m/日
			1.25<B≦2.5、1.25<H≦2.5	基礎材有り	縦締無し	4m/日
					縦締有り	3m/日
				基礎材無し	縦締無し	6m/日
					縦締有り	4m/日
			2.5<B≦3.75、1.25<H≦2.5	基礎材有り	縦締無し	2m/日
					縦締有り	2m/日
				基礎材無し	縦締無し	4m/日
					縦締有り	3m/日
			2.5≦B≦3.75、2.5≦H≦3.75	基礎材有り	縦締無し	2m/日
					縦締有り	1m/日
				基礎材無し	縦締無し	3m/日
					縦締有り	2m/日
		製品長2.0m	0<B≦1.25、0<H≦1.25	基礎材有り	縦締無し	10m/日
					縦締有り	9m/日
				基礎材無し	縦締無し	17m/日
					縦締有り	13m/日
			1.25<B≦2.5、0<H≦1.25	基礎材有り	縦締無し	5m/日
					縦締有り	4m/日
				基礎材無し	縦締無し	11m/日
					縦締有り	8m/日
			0<B≦1.25、1.25<H≦2.5	基礎材有り	縦締無し	7m/日
					縦締有り	5m/日
				基礎材無し	縦締無し	11m/日
					縦締有り	8m/日
			1.25<B≦2.5、1.25<H≦2.5	基礎材有り	縦締無し	4m/日
					縦締有り	3m/日
				基礎材無し	縦締無し	9m/日
					縦締有り	5m/日
歩車道境界ブロック	直接-5-164	設置	A種			70m/日
歩車道境界ブロック	直接-5-165		B種、C種			60m/日
地先境界ブロック	直接-5-166	設置				70m/日
地先境界ブロック	直接-5-167					
アスカーブ	直接-5-174					260m/日
アスカーブ	直接-5-175					
溶融式区画線	直接-5-177	15・20cm	実線			1,500m/日
			ゼブラ			1,100m/日
		30・45cm	実線			1,000m/日
			ゼブラ			600m/日
		矢印・文字・記号				500m/日
溶融式区画線	直接-5-178	供用区間	1.5mm	実線 15・20cm		1,500m/日
				ゼブラ 15・20cm		1,100m/日
				実線 30・45cm		1,000m/日
				ゼブラ 30・45cm		600m/日
				破線 15・20cm		1,200m/日
				破線 30・45cm		800m/日
				矢印・記号・文字		500m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
ペイント式区画線	直接-5-179	加熱式・常温式 15cm				8,200m/日
		加熱式 30cm				3,200m/日
ペイント式区画線	直接-5-180	供用区間	加熱式・常温式 15cm			8,200m/日
			加熱式 15cm			5,600m/日
			加熱式 30cm			3,200m/日
高視認性区画線	直接-5-181	供用区間	リブ式(溶融式)実線	15・20cm		1,000m/日
			リブ式(溶融式)実線	30 cm		800m/日
			リブ式(2液反応式)実線	15・20cm		1,000m/日
				30 cm		800m/日
			非リブ式(溶融式)実線	15・20cm		1,000m/日
				30 cm		800m/日
			非リブ式(溶融式)ゼブラ	15・20cm		750m/日
				30・45cm		400m/日
			貼付式	15 cm換算		300m/日
区画線消去	直接-5-182	削取り式				350m/日
区画線消去	直接-5-183	ウォータージェット式				900m/日
境界杭	直接-5-184					20本/日
境界鋲	直接-5-185					150枚/日
視線誘導標	直接-5-186	視線誘導標	土中建込			40本/日
			コンクリート建込		穿孔有り	25本/日
					穿孔無し	200本/日
			防護柵取付			100本/日
			構造物取付			40本/日
		視線誘導標 スノーポール併用型	土中建込			40本/日
			コンクリート建込		穿孔有り	25本/日
					穿孔無し	200本/日
距離標	直接-5-187					33本/日
道路鋲	直接-5-188	設置	穿孔式	大型鋲		60個/日
				小型鋲		120個/日
			貼付式	小型鋲		150個/日
標識柱（路側式）	直接-5-191	設置	単柱式			20基/日
			複柱式			15基/日
標識板（案内）	直接-5-192					25m2/日
標識板（警戒等）	直接-5-193					30基/日
添架式標識板 取付金具（標識板）	直接-5-194	設置	信号アーム部、照明柱・既設標識柱			20組/日
			歩道橋			3組/日
金網・ロープ(ロックネット)	直接-5-202	線径 2.6mm				130m2/日
		線径 3.2mm				110m2/日
		線径 4.0mm				90m2/日
		線径 5.0mm				75m2/日
アンカー(ロックネット)	直接-5-205	岩盤用				15箇所/日
		土中用 羽根付アンカー				18箇所/日
		土中用 高耐力アンカー（プレート羽付）				6箇所/日
		土中用 高耐力アンカー（溝形鋼羽付）				4箇所/日
支柱(ロックネット)	直接-5-206					6箇所/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
ﾛｰﾌﾟ・金網 支柱	直接-5-209 直接-5-210	間隔保持材有り	柵高　1.5m/ロープ本数　5本		20m/日
			柵高　2.0m/ロープ本数　7本		15m/日
			柵高　2.5m/ロープ本数　8本		10m/日
			柵高　3.0m/ロープ本数　10本		9m/日
			柵高　3.5m/ロープ本数　12本		8m/日
			柵高　4.0m/ロープ本数　13本		6m/日
ガードレール	直接-5-214	設置	A種(路側用) B種(路側用)	標準型	130m/日
				耐雪型(積雪ランク2)	130m/日
				耐雪型(積雪ランク3)	120m/日
				耐雪型(積雪ランク4･5)	100m/日
			C種(路側用)	標準型	130m/日
				耐雪型(積雪ランク2)	120m/日
				耐雪型(積雪ランク3)	100m/日
			Am種(中央分離帯用)、Bm種(中央分離帯用)		60m/日
ガードレール	直接-5-215	設置	土中建込	A種、B種、C種	130m/日
				Am種、Bm種	60m/日
			コンクリート建込		40m/日
		設置(耐雪型)	土中建込	A2,B2-4E	130m/日
				A3,B3,C2	120m/日
				A4,A5,B4,C3	100m/日
			コンクリート建込		40m/日
ガードパイプ	直接-5-219	土中建込			70m/日
		コンクリート建込			40m/日
転落(横断)防止柵	直接-5-228	支柱間隔　1m	土中建込		55m/日
			コンクリート建込		55m/日
			プレキャストコンクリートブロック建込		25m/日
		支柱間隔　1.5m	土中建込		75m/日
			コンクリート建込		70m/日
			プレキャストコンクリートブロック建込		40m/日
		支柱間隔　2m	土中建込		100m/日
			コンクリート建込		100m/日
			プレキャストコンクリートブロック建込		55m/日
		支柱間隔　3m	土中建込		140m/日
			コンクリート建込		140m/日
			プレキャストコンクリートブロック建込		75m/日
転落(横断)防止柵	直接-5-229	設置	土中建込	ビーム式･パネル式	支柱間隔　1m　55m/日
					支柱間隔　1.5m　75m/日
					支柱間隔　2m　100m/日
					支柱間隔　3m　140m/日
			プレキャスト コンクリート ブロック建込	ビーム式･パネル式	支柱間隔　1m　25m/日
					支柱間隔　1.5m　40m/日
					支柱間隔　2m　55m/日
					支柱間隔　3m　75m/日
				門型	95m/日
			コンクリート 建込	ビーム式･パネル式	支柱間隔　1m　55m/日
					支柱間隔　1.5m　70m/日
					支柱間隔　2m　100m/日
					支柱間隔　3m　140m/日
				門型	175m/日
			アンカーボルト固定		支柱間隔　1m　30m/日
					支柱間隔　1.5m　45m/日
					支柱間隔　2m　60m/日
					支柱間隔　3m　80m/日
ビーム･パネル (転落(横断)防止柵)	直接-5-230	設置	支柱間隔　1m		50m/日
			支柱間隔　1.5m		65m/日
			支柱間隔　2m		95m/日
			支柱間隔　3m		130m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
植樹	直接-5-233	低木	樹高　60cm未満			1,000本/日
		中木	樹高　60cm以上100cm未満			440本/日
			樹高　100cm以上200cm未満			120本/日
			樹高　200cm以上300cm未満			60本/日
		高木	幹周　20cm未満			30本/日
			幹周　20cm以上40cm未満			20本/日
			樹高　40cm以上60cm未満			10本/日
			樹高　60cm以上90cm未満			6本/日
ハンドホール	直接-5-239	設置	2000kg/基以下			4基/日
			2000kg/基を超え4000kg/基以下			3基/日
防雪柵	直接-5-243	設置	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下	108m/日
					3.5m超6.0m以下	69m/日
				仮設式(張立材のみ)	3.5m以下	251m/日
					3.5m超6.0m以下	160m/日
				固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下	36m/日
				固定式(張立材のみ)	5.0m以下	84m/日
			吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m以下	83m/日
				仮設式(張立材のみ)	4.0m以下	193m/日
				固定式(支柱＋張立材)	4.0m以下	48m/日
				固定式(張立材のみ)	4.0m以下	112m/日
		撤去	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下	142m/日
					3.5m超6.0m以下	91m/日
				仮設式(張立材のみ)	3.5m以下	330m/日
					3.5m超6.0m以下	212m/日
				固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下	47m/日
				固定式(張立材のみ)	5.0m以下	109m/日
			吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m以下	109m/日
				仮設式(張立材のみ)	4.0m以下	253m/日
				固定式(支柱＋張立材)	4.0m以下	63m/日
				固定式(張立材のみ)	4.0m以下	147m/日
雪崩予防柵	直接-5-246	固定柵				2基/日
		吊柵				4基/日
プレキャスト基礎	直接-6-4 直接-6-5 直接-6-6	コンクリート	製品長:2,000mm	下幅500mm以上600mm未満		26m/日
				下幅600mm以上700mm未満		22m/日
				下幅700mm以上900mm未満		18m/日
				下幅900mm以上1,100mm未満		14m/日
				下幅1,100mm		12m/日
			製品長:3,300mm	下幅500mm以上600mm未満		33m/日
				下幅600mm以上700mm未満		26m/日
				下幅700mm以上900mm未満		21m/日
				下幅900mm以上1,100mm未満		16m/日
				下幅1,100mm		13m/日
			製品長:5,000mm	下幅500mm以上600mm未満		40m/日
				下幅600mm以上700mm未満		31m/日
				下幅700mm以上900mm未満		23m/日
				下幅900mm以上1,100mm未満		17m/日
				下幅1,100mm		15m/日
		コンクリート殻	製品長:2,000mm			32m/日
			製品長:3,300mm			38m/日
			製品長:4,000mm			42m/日
			製品長:5,000mm			48m/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
矢板工(護岸基礎)	直接-6-8	1m超2m以下	Ⅱ型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	34m2/日
					水中	17m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	38m2/日
				は転石あり)	水中	18m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		37m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		25m2/日
			Ⅱw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	50m2/日
					水中	25m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	56m2/日
				は転石あり)	水中	27m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		53m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		36m2/日
			Ⅲw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	48m2/日
					水中	25m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	53m2/日
				は転石あり)	水中	26m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		53m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		36m2/日
			Ⅳw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	47m2/日
					水中	24m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	50m2/日
				は転石あり)	水中	25m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		53m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		36m2/日
			10H型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	72m2/日
					水中	38m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	80m2/日
				は転石あり)	水中	39m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		77m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		53m2/日
			25H型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	69m2/日
					水中	36m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	74m2/日
				は転石あり)	水中	38m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		77m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		53m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量(参考値)
矢板工(護岸基礎)	直接-6-8	2m超4m以下	Ⅱ型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	59m2/日
					水中	31m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	48m2/日
				は転石あり)	水中	29m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		54m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		36m2/日
			Ⅱw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	83m2/日
					水中	47m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	67m2/日
				は転石あり)	水中	41m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		74m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		52m2/日
			Ⅲw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	77m2/日
					水中	45m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	61m2/日
				は転石あり)	水中	40m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		74m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		52m2/日
			Ⅳw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	70m2/日
					水中	41m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	56m2/日
				は転石あり)	水中	36m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		74m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		52m2/日
			10H型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	113m2/日
					水中	65m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	92m2/日
				は転石あり)	水中	57m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		103m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		73m2/日
			25H型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	105m2/日
					水中	62m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	81m2/日
				は転石あり)	水中	54m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		103m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		73m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
矢板工（護岸基礎）	直接-6-8	4m超25m以下	Ⅱ型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	110m2/日
					水中	72m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	49m2/日
				は転石あり)	水中	42m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		62m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		51m2/日
			Ⅱw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	143m2/日
					水中	97m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	68m2/日
				は転石あり)	水中	57m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		91m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		65m2/日
			Ⅲw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	138m2/日
					水中	104m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	62m2/日
				は転石あり)	水中	55m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		78m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		61m2/日
			Ⅳw型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	113m2/日
					水中	87m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	52m2/日
				は転石あり)	水中	44m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		78m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		61m2/日
			10H型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	171m2/日
					水中	128m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	93m2/日
				は転石あり)	水中	83m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		122m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		89m2/日
			25H型	必要なし(Nmax＜50)	陸上	166m2/日
					水中	124m2/日
				必要なし(50≦Nmax＜100又は	陸上	78m2/日
				は転石あり)	水中	65m2/日
				必要あり(無振動)(Nmax≦25)		104m2/日
				必要あり(無振動)(25＜Nmax≦50又は転石あり)		91m2/日
プレキャスト笠コンクリート	直接-6-15					56m/日
巨石張	直接-6-17	空張				27m2/日
		練張				25m2/日
かごマット	直接-6-24	厚さ 30cm				328m2/日
		厚さ 50cm				190m2/日
じゃかご	直接-6-32	φ45cm	※かご組立・据付け			56m/日
		φ60cm	※かご組立・据付け			31m/日
ふとんかご	直接-6-34	高さ40×幅120				27m/日
		高さ50×幅120				21m/日
		高さ60×幅120				18m/日
消波根固め	直接-6-43	2.5t以下		乱積み	※横取り・積込み・荷卸なし	66個/日
ブロック据付				層積み	※横取り・積込み・荷卸なし	50個/日
		2.5tを超え5.5t以下		乱積み	※横取り・積込み・荷卸なし	65個/日
				層積み	※横取り・積込み・荷卸なし	43個/日
		5.5tを超え11.0t以下		乱積み	※横取り・積込み・荷卸なし	48個/日
				層積み	※横取り・積込み・荷卸なし	36個/日
間詰石	直接-6-47	敷均し				161m2/日
		敷並べ				100m2/日
捨石	直接-6-54	最大作業半径9m以下				76m3/日
	直接-6-55	最大作業半径9mを超え24m以下				67m3/日
表面均し	直接-6-56					55m2/日
配管設置（埋設部）	直接-6-61					96m/日
ハンドホール	直接-6-64					1個/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
ボーリング	直接-7-14	地表	粘性土・砂質土	φ90mm	32m/日
				φ115mm	24m/日
				φ135mm	20m/日
			レキ質土	φ90mm	22m/日
				φ115mm	18m/日
				φ135mm	15m/日
			岩塊玉石	φ90mm	16m/日
				φ115mm	14m/日
				φ135mm	13m/日
			軟岩	φ90mm	20m/日
				φ115mm	17m/日
				φ135mm	15m/日
		集水井内	粘性土・砂質土	φ90mm	27m/日
				φ115mm	20m/日
				φ135mm	17m/日
			レキ質土	φ90mm	19m/日
				φ115mm	15m/日
				φ135mm	13m/日
			岩塊玉石	φ90mm	13m/日
				φ115mm	12m/日
				φ135mm	11m/日
			軟岩	φ90mm	17m/日
				φ115mm	14m/日
				φ135mm	13m/日
保孔管	直接-7-16	地表	VP管		150m/日
			SGP管	ストレーナ加工有り	52m/日
				ストレーナ加工無し	98m/日
		集水井内	VP管		110m/日
			SGP管	ストレーナ加工有り	37m/日
				ストレーナ加工無し	56m/日
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ仮設機材	直接-7-18	地表			0.89回/日
		集水井内			0.30回/日
素地調整	直接-8-10	1種ケレン			70m2/日
		2種ケレン			80m2/日
		3種ケレンA			110m2/日
		3種ケレンB			200m2/日
		3種ケレンC			300m2/日
		4種ケレン			400m2/日
素地調整	直接-8-11	ポール類			78m2/日
		防護柵類			100m2/日
		落石防止柵類			73m2/日
素地調整	直接-8-12				14m2/日
下塗	直接-8-16	スプレー			500m2/日
中塗	直接-8-19	はけ・ローラー			400m2/日
上塗	直接-8-23				
下塗	直接-8-17	ポール類			89m2/日
		防護柵類			121m2/日
		落石防止柵類			125m2/日
排水管	直接-9-1	VP管			17m/日
		鋼管			13m/日
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ穿孔及び	直接-9-3				56本/日
鋼・ゴム製伸縮装置	直接-9-4				7.2m/日
鋼・ゴム製伸縮装置	直接-9-5	新設			7.2m/日
		補修	1車線相当		3.6m/日
			2車線相当		7.2m/日
現場孔明（落橋防止装置）	直接-9-15	1箇所当り孔明本数が多い場合（10本/箇所以上）			80本/日
		構造的に複雑なもの、作業性の悪い箇所、1箇所当り孔明本数の少ない場合			40本/日
連結板取付（落橋防止装置）	直接-9-16				10箇所/日
現場溶接（落橋防止装置）	直接-9-17				5.6m/日
ボルト締（落橋防止装置）	直接-9-18	1箇所当りﾎﾞﾙﾄ本数が多い(10本以上/箇所)場合			200本/日
		作業性の悪い箇所、1箇所当りﾎﾞﾙﾄ本数が少ない場合			100本/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
現場溶接	直接-10-1	すみ肉(脚長6mm)				15m/日
		補強橋版部(V型・L型)		板厚　6mm～10mm		7m/日
				板厚　12mm～13mm、14mm～15mm		3m/日
				板厚　16mm～19mm		2m/日
				板厚　21mm～22mm		1m/日
路面切削	直接-13-1	全面切削6cm以下				1,800m2/日
		全面切削6cmを超え12cm以下				1,340m2/日
		帯状切削3cm以下				1,800m2/日
舗装版切断	直接-13-2	アスファルト舗装版		20cm以下		220m/日
				20cm超40cm以下		140m/日
		コンクリート舗装版		20cm以下		170m/日
		コンクリート＋アスファルト		20cm超え30cm以下		70m/日
		（カバー）舗装版		30cm超え35cm以下		40m/日
舗装版破砕	直接-13-3	アスファルト舗装版	障害無し	騒音振動対策不要	15cm以下	490m2/日
					15cm超40cm以下	310m2/日
				騒音振動対策必要	15cm以下	190m2/日
					15cm超35cm以下	150m2/日
		コンクリート舗装版		騒音振動対策不要	10cm以下	320m2/日
					10cm超15cm以下	260m2/日
					15cm超35cm以下	230m2/日
				騒音振動対策必要	15cm以下	190m2/日
					15cm超35cm以下	150m2/日
		コンクリート＋アスファルト(カバー)舗装版				230m2/日
切削オーバーレイ	直接-13-6	一層		6cm以下		1,050m2/日
				6cm超12cm以下		870m2/日
		二層		6cm以下		710m2/日
				6cm超12cm以下		620m2/日
グルービング	直接-13-9	縦方向・幅9mm-深さ6mm-間隔60mm				300m2/日
		縦方向・幅9mm-深さ4mm-間隔60mm				300m2/日
		横方向・幅9mm-深さ6mm-間隔60mm				150m2/日
クラック処理	直接-13-12					22m/日
清掃・水洗い（素地調整）	直接-13-23					1,300m2/日
支承取替	直接-13-29	形式I				5日/基
		形式II	鈑桁			7日/基
			1箱桁2沓			8日/基
			1箱桁1沓			11日/基
		形式III	鈑桁			8日/基
			1箱桁2沓			11日/基
			1箱桁1沓			13日/基
		形式IV	ー			4日/基
鋼板巻立て	直接-13-35					10m2/日
コンクリート削孔	直接-13-39	アンカー材有り	D16～19			127箇所/日
		アンカー材無し	D19～29			77箇所/日
			D32～35			56箇所/日
コンクリート巻立て	直接-13-40	※コンクリート打設				43m2/日
除草	直接-14-4	大型自走式(ロングリーチ式)				6,670m2/日
		大型自走式(ゴム履帯式、アルミ履帯式)				7,690m2/日
		遠隔操縦式(刈幅185cm)				7,690m2/日
		遠隔操縦式(刈幅120cm)				4,760m2/日
		ハンドガイド式(刈幅150cm)				6,250m2/日
		肩掛式(刈幅カッタ径255cm)				770m2/日
除草	直接-14-5	肩掛け式	飛び石防護有り			2,670m2/日
			飛び石防護無し			3,180m2/日
		ハンドガイド式				6,120m2/日
		人力除草				1,670m2/日
集草（1）（除草）	直接-14-6	大型自走式(アルミ履帯式)				7,690m2/日
		遠隔操縦式(集草幅180cm)				8,640m2/日
		遠隔操縦式(集草幅160cm)				7,690m2/日
		ハンドガイド式(集草幅200cm)				7,690m2/日
集草（2）（除草）	直接-14-7					1,430m2/日
集草（除草）	直接-14-8					1,000m2/日
積込・荷卸（除草）	直接-14-9	ダンプトラック 2t(梱包無し)				1,960m2/日
		ダンプトラック 2t(梱包有り)				6,500m2/日
		バッカー車 8m3				5,560m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分		標準日施工量（参考値）
積込・運搬（除草）	直接-14-10	ダンプトラック2t積	6.5km以下	6,667m2/日
			11.5km以下	5,714m2/日
			14.5km以下	5,000m2/日
			17.5km以下	4,444m2/日
			19.5km以下	4,000m2/日
			21.5km以下	3,636m2/日
			23.5km以下	3,333m2/日
			26.0km以下	2,963m2/日
			28.0km以下	2,667m2/日
			30.0km以下	2,424m2/日
			32.0km以下	2,222m2/日
			34.5km以下	2,000m2/日
			35.0km以下	1,818m2/日
		パッカー車4m3積	4.0km以下	4,000m2/日
			7.0km以下	3,636m2/日
			10.0km以下	3,333m2/日
			14.0km以下	2,963m2/日
			17.5km以下	2,667m2/日
			21.0km以下	2,424m2/日
			25.0km以下	2,162m2/日
			29.0km以下	1,951m2/日
			33.0km以下	1,739m2/日
			35.0km以下	1,569m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
運搬(除草)	直接-14-11	ダンプトラック 2t積	梱包有り	DID区間無し	1.0km以下	34,783m2/日
					2.5km以下	30,769m2/日
					4.0km以下	27,586m2/日
					6.0km以下	24,242m2/日
					7.5km以下	21,622m2/日
					9.5km以下	19,512m2/日
					11.0km以下	18,182m2/日
					13.0km以下	16,667m2/日
					17.0km以下	15,094m2/日
					22.0km以下	13,333m2/日
					25.0km以下	12,308m2/日
					32.5km以下	11,268m2/日
					40.0km以下	10,526m2/日
				DID区間有り	1.0km以下	34,783m2/日
					2.5km以下	30,769m2/日
					4.0km以下	26,667m2/日
					5.5km以下	23,529m2/日
					7.0km以下	21,622m2/日
					8.5km以下	19,512m2/日
					10.0km以下	18,182m2/日
					12.0km以下	16,667m2/日
					15.5km以下	15,094m2/日
					19.0km以下	13,333m2/日
					21.5km以下	12,308m2/日
					26.0km以下	11,268m2/日
					40.0km以下	9,639m2/日
			梱包無し	DID区間無し	1.0km以下	13,333m2/日
					2.5km以下	11,429m2/日
					4.0km以下	10,000m2/日
					6.0km以下	8,889m2/日
					7.5km以下	8,000m2/日
					9.5km以下	7,273m2/日
					11.0km以下	6,667m2/日
					13.0km以下	6,154m2/日
					17.0km以下	5,333m2/日
					22.0km以下	4,706m2/日
					25.0km以下	4,444m2/日
					32.5km以下	4,000m2/日
					40.0km以下	3.636m2/日
				DID区間有り	1.0km以下	13,333m2/日
					2.5km以下	11,429m2/日
					4.0km以下	10,000m2/日
					5.5km以下	8,889m2/日
					7.0km以下	8,000m2/日
					8.5km以下	7,273m2/日
					10.0km以下	6,667m2/日
					12.0km以下	6,154m2/日
					15.5km以下	5,333m2/日
					19.0km以下	4,706m2/日
					21.5km以下	4,444m2/日
					26.0km以下	4,000m2/日
					40.0km以下	3,636m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
運搬(除草)	直接-14-11	パッカー車 8m3	DID区間無し	5.0km以下	20,000m2/日
				6.5km以下	13,333m2/日
				8.0km以下	11,429m2/日
				10.0km以下	10,000m2/日
				12.0km以下	8,889m2/日
				14.0km以下	8,000m2/日
				16.0km以下	7,273m2/日
				18.0km以下	6,667m2/日
				20.5km以下	6,154m2/日
				26.5km以下	5,333m2/日
				35.0km以下	4,706m2/日
				40.0km以下	4,211m2/日
			DID区間有り	5.0km以下	20,000m2/日
				6.0km以下	13,333m2/日
				7.5km以下	11,429m2/日
				9.0km以下	10,000m2/日
				11.0km以下	8,889m2/日
				12.5km以下	8,000m2/日
				14.5km以下	7,273m2/日
				16.0km以下	6,667m2/日
				18.0km以下	6,154m2/日
				22.0km以下	5,333m2/日
				27.0km以下	4,706m2/日
				40.0km以下	4,211m2/日
施肥	直接-14-12				13,600m2/日
抜根	直接-14-13				1,470m2/日
伐木・伐竹 (伐木除根)	直接-14-14	伐木	粗		704m2/日
			密		434m2/日
		伐竹			313m2/日
除根(伐木除根)	直接-14-15				1,620m2/日
整地(伐木除根)	直接-14-16				1,180m2/日
集積(1)(伐木除根)	直接-14-17	除根有り			1,530m2/日
		除根無し			3,930m2/日
集積(2)(伐木除根)	直接-14-18				1,180m2/日
積込(伐木除根)	直接-14-19				21,300m2/日
下地処理	直接-14-22				70m2/日
注入設備据付・解体	直接-14-30				1回/2日
収集・集積(散在塵芥処理)	直接-14-42				20,000m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分		標準日施工量（参考値）
運搬（散在塵芥処理）	直接-14-43	DID区間無し	1.0km以下	114,286m2/日
			2.0km以下	100,000m2/日
			3.0km以下	88,889m2/日
			4.5km以下	80,000m2/日
			6.0km以下	72,727m2/日
			7.5km以下	66,667m2/日
			9.5km以下	57,143m2/日
			12.0km以下	53,333m2/日
			14.5km以下	47,059m2/日
			17.5km以下	42,105m2/日
			21.5km以下	38,095m2/日
			26.5km以下	34,783m2/日
			34.5km以下	30,769m2/日
			46.0km以下	28,571m2/日
			60.0km以下	26,667m2/日
		DID区間有り	1.0km以下	114,286m2/日
			2.0km以下	100,000m2/日
			3.0km以下	88,889m2/日
			4.0km以下	80,000m2/日
			5.0km以下	72,727m2/日
			7.0km以下	66,667m2/日
			8.5km以下	57,143m2/日
			10.5km以下	53,333m2/日
			13.0km以下	47,059m2/日
			15.5km以下	42,105m2/日
			18.0km以下	38,095m2/日
			22.5km以下	34,783m2/日
			25.5km以下	30,769m2/日
			29.5km以下	28,571m2/日
			60.0km以下	26,667m2/日
収集・集積(1)（堆積塵芥処理）	直接-14-44			26m3/日
収集・集積(2)（堆積塵芥処理）	直接-14-45			9m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量(参考値)
運搬(堆積塵芥処理)	直接-14-46	機械	木片・空缶・枯草等のかさ高物	DID区間無し	0.5km以下	100m3/日
					1.0km以下	89m3/日
					2.0km以下	80m3/日
					3.0km以下	67m3/日
					4.0km以下	57m3/日
					5.0km以下	50m3/日
					6.5km以下	44m3/日
					8.0km以下	40m3/日
					9.5km以下	35m3/日
					11.5km以下	32m3/日
					13.5km以下	29m3/日
					16.0km以下	26m3/日
					19.0km以下	23m3/日
					22.5km以下	21m3/日
					27.5km以下	19m3/日
					35.0km以下	17m3/日
					46.0km以下	15m3/日
					60.0km以下	15m3/日
				DID区間有り	0.5km以下	100m3/日
					1.0km以下	89m3/日
					2.0km以下	80m3/日
					3.0km以下	67m3/日
					4.0km以下	57m3/日
					5.0km以下	50m3/日
					6.0km以下	44m3/日
					7.5km以下	40m3/日
					8.5km以下	35m3/日
					10.5km以下	32m3/日
					12.0km以下	29m3/日
					14.5km以下	26m3/日
					16.5km以下	23m3/日
					19.0km以下	21m3/日
					23.0km以下	19m3/日
					27.0km以下	17m3/日
					29.5km以下	15m3/日
					60.0km以下	15m3/日
			コンクリート塊等の重量物	DID区間無し	0.5km以下	28m3/日
					1.0km以下	25m3/日
					2.0km以下	22m3/日
					3.0km以下	19m3/日
					4.0km以下	16m3/日
					5.0km以下	14m3/日
					6.0km以下	13m3/日
					7.5km以下	12m3/日
					9.0km以下	10m3/日
					11.0km以下	9m3/日
					13.0km以下	8m3/日
					15.5km以下	7m3/日
					18.5km以下	7m3/日
					22.0km以下	6m3/日
					26.5km以下	5m3/日
					33.0km以下	5m3/日
					46.0km以下	4m3/日
					60.0km以下	4m3/日
				DID区間有り	0.5km以下	28m3/日
					1.0km以下	25m3/日
					2.0km以下	22m3/日
					3.0km以下	19m3/日
					4.0km以下	16m3/日
					5.0km以下	14m3/日
					6.0km以下	13m3/日
					7.0km以下	12m3/日
					8.5km以下	10m3/日
					10.5km以下	9m3/日
					12.0km以下	8m3/日
					14.0km以下	7m3/日
					17.0km以下	7m3/日
					19.5km以下	6m3/日
					22.5km以下	5m3/日
					26.5km以下	5m3/日
					29.5km以下	4m3/日
					60.0km以下	4m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分		標準日施工量（参考値）
樹木剪定	直接-14-49	高木夏期 幹周60cm未満		90本/日
		高木夏期 幹周120cm未満		30本/日
		高木冬期 幹周60cm未満		80本/日
		高木冬期 幹周120cm未満		30本/日
		低・中木 球形樹高 100cm未満		430本/日
		低・中木 球形樹高 100cm以上200cm未満		120本/日
		低・中木 球形樹高 200cm以上300cm未満		45本/日
		低・中木 円筒樹高 100cm未満		1,000本/日
		低・中木 円筒樹高 100cm以上200cm未満		290本/日
		低・中木 円筒樹高 200cm以上300cm未満		110本/日
寄植剪定	直接-14-51	低木		1,000m2/日
	直接-14-52	中木		700m2/日
支柱	直接-14-54	支柱設置	二脚鳥居添木付中木高250cm以上、高木幹周30cm未満	60本/日
			中木八ツ掛(竹)樹高100cm以上	110本/日
			中木添柱形(1本形・竹)高100cm以上	200本/日
			高木二脚鳥居添木無幹周30cm以上40cm未満	110本/日
			高木三脚鳥居幹周30cm以上60cm未満	100本/日
			高木十字鳥居幹周30cm以上、二脚鳥居組合せ50cm以上	40本/日
			高木八ツ掛幹周40cm未満	35本/日
			高木八ツ掛幹周40cm以上	35本/日
		支柱撤去	中木 各種	450本/日
			高木 各種	200本/日
寄植・芝施肥	直接-14-57	寄植 中木・低木		2,000m2/日
		芝		5,000m2/日
防除	直接-14-59	低木樹高60cm未満		5,000本/日
		中木樹高60cm以上100cm未満		5,000本/日
		中木樹高100cm以上200cm未満		2,000本/日
		中木樹高200cm以上300cm未満		1,300本/日
		高木幹周60cm未満		400本/日
		高木幹周60cm以上120cm未満		300本/日
抜根除草	直接-14-61	植込み地		500m2/日
		芝生		350m2/日
寄植・芝薬剤散布	直接-14-62	寄植 低木		2,000m2/日
		寄植 中木		1,000m2/日
		芝		6,000m2/日
掘取(移植)	直接-14-63	低木樹高60cm未満		400本/日
		中木樹高60cm以上100cm未満		120本/日
		中木樹高100cm以上200cm未満		80本/日
		中木樹高200cm以上300cm未満		60本/日
		高木幹周30cm未満		20本/日
		高木幹周30cm以上60cm未満		5本/日
		高木幹周60cm以上90cm未満		3本/日
地被類植付	直接-14-65			3,500鉢/日
路肩整正(2)	直接-14-72	DID区間無し	2.0km以下	114m3/日
			3.0km以下	89m3/日
			5.0km以下	73m3/日
			6.5km以下	62m3/日
			8.5km以下	53m3/日
			11.0km以下	44m3/日
			16.0km以下	35m3/日
			27.5km以下	27m3/日
			60.0km以下	18m3/日
		DID区間有り	1.5km以下	114m3/日
			2.5km以下	89m3/日
			4.5km以下	73m3/日
			6.0km以下	62m3/日
			8.0km以下	53m3/日
			10.5km以下	44m3/日
			14.5km以下	35m3/日
			23.0km以下	27m3/日
			60.0km以下	18m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
清掃作業(2)(側溝清掃)	直接-14-74	機械組合せ清掃	0.125m2未満	堆積率50%未満		264m/日
				堆積率50%以上		184m/日
			0.125m2以上0.5m2未満	堆積率50%未満		176m/日
				堆積率50%以上		112m/日
清掃作業(管渠清掃)	直接-14-77	200mm以上400mm未満		堆積率50%未満		328m/日
				堆積率50%以上		224m/日
		400mm以上800mm未満		堆積率50%未満		208m/日
				堆積率50%以上		152m/日
		800mm以上1000mm以下		堆積率50%未満		120m/日
				堆積率50%以上		88m/日
標識清掃(1)	直接-14-86	路側式				75枚/日
		片持式・門型式				33枚/日
標識清掃(2)	直接-14-87	標識板幅 2.5m以下				133枚/日
		標識板幅 2.5m超				73枚/日
防雪柵現地張出し・収納	直接-14-93	張出し				186m/日
		収納				214m/日
転落(横断)防止柵撤去	直接-15-1	土中建込		ビーム式・パネル式	支柱間隔1m	105m/日
					支柱間隔1.5m	145m/日
					支柱間隔2m	195m/日
					支柱間隔3m	275m/日
		プレキャストコンクリートブロック建込		ビーム式・パネル式	支柱間隔1m	45m/日
					支柱間隔1.5m	70m/日
					支柱間隔2m	100m/日
					支柱間隔3m	145m/日
				門型		180m/日
		コンクリート建込		ビーム式・パネル式	支柱間隔1m	100m/日
					支柱間隔1.5m	135m/日
					支柱間隔2m	190m/日
					支柱間隔3m	270m/日
				門型		340m/日
		アンカーボルト固定		ビーム式・パネル式	支柱間隔1m	55m/日
					支柱間隔1.5m	80m/日
					支柱間隔2m	110m/日
					支柱間隔3m	160m/日
ビーム・パネル(転落(横断)防止柵)撤去	直接-15-2	支柱間隔 1m				95m/日
		支柱間隔 1.5m				125m/日
		支柱間隔 2m				185m/日
		支柱間隔 3m				250m/日
ガードレール撤去	直接-15-6	標準型	支柱及びレール	土中建込	旧S種	120m/日
					A・B・C種	250m/日
					Am・Bm種	120m/日
					旧Ap・Bp・Cp種	200m/日
				コンクリート建込	旧S種	160m/日
					A・B・C種	200m/日
					Am・Bm種	120m/日
					旧Ap・Bp・Cp種	200m/日
			レールのみ	旧路側用 S種		100m/日
				路側用A・B・C種(旧Ap・Bp・Cp種)		250m/日
				分離帯用Am・Bm種		130m/日
		耐雪型	支柱及びレール	土中建込	旧S2・S3・S4・S5種	60m/日
					A4・A5・B4・C3種	100m/日
					A3・B3・C2種	120m/日
					A2・B2種	130m/日
				コンクリート建込	旧S2・S3・S4・S5種	80m/日
					A2～5、B2～4、C2～3種	100m/日
			レールのみ	(旧路側用 S種)		120m/日
				路側用A・B・C種(旧Ap・Bp・Cp種)		200m/日
ガードパイプ撤去	直接-15-7	支柱及びパイプ		土中建込		135m/日
				コンクリート建込		80m/日
		パイプのみ				150m/日
標識柱・基礎撤去(路側式)	直接-15-8	単柱式				40基/日
		複柱式				30基/日
標識板(警戒等)撤去(路側式)	直接-15-9					60基/日
標識板(案内)撤去(片持式・門型式)	直接-15-10					50m2/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分			標準日施工量（参考値）
視線誘導標撤去	直接-15-11	土中建込、コンクリート建込、構造物取付			100本/日
		防護柵取付			200本/日
コンクリート構造物取壊し	直接-15-12	無筋構造物	機械施工		20m3/日
			人力施工		6m3/日
		鉄筋構造物	機械施工		10m3/日
			人力施工		4m3/日
根固めブロック撤去	直接-15-14	撤去・仮置き		堆砂無し	84個/日
				堆砂有り	67個/日
		撤去・据付け（乱積）		堆砂無し	75個/日
				堆砂有り	60個/日
		撤去・据付け（層積）		堆砂無し	53個/日
				堆砂有り	42個/日
		撤去・積込み		堆砂無し	73個/日
				堆砂有り	58個/日
道路鋲撤去	直接-15-19	穿孔式			120個/日
		貼付式			240個/日
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去	直接-15-21				300m2/日
歩車道境界ブロック撤去	直接-15-22	再利用			115m/日
		撤去・処分			200m/日
殻運搬（路面切削）	直接-15-27	DID区間無し	0.2km以下		167m3/日
			0.5km以下		143m3/日
			1.0km以下		125m3/日
			1.5km以下		111m3/日
			2.0km以下		91m3/日
			2.5km以下		83m3/日
			3.0km以下		71m3/日
			3.5km以下		67m3/日
			4.0km以下		59m3/日
			4.5km以下		56m3/日
			5.0km以下		50m3/日
			5.5km以下		48m3/日
			6.5km以下		43m3/日
			7.5km以下		38m3/日
			9.0km以下		34m3/日
			10.5km以下		30m3/日
			12.0km以下		28m3/日
			13.5km以下		25m3/日
			16.0km以下		23m3/日
			18.5km以下		20m3/日
			21.5km以下		19m3/日
			26.0km以下		17m3/日
			32.0km以下		15m3/日
			39.5km以下		14m3/日
			47.0km以下		12m3/日
			55.5km以下		11m3/日
			60.0km以下		10m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分		標準日施工量(参考値)
殻運搬(路面切削)	直接-15-27	DID区間有り	0.2km以下	167m3/日
			0.5km以下	143m3/日
			1.0km以下	125m3/日
			1.5km以下	111m3/日
			2.0km以下	91m3/日
			2.5km以下	77m3/日
			3.0km以下	71m3/日
			3.5km以下	63m3/日
			4.0km以下	56m3/日
			4.5km以下	53m3/日
			5.0km以下	48m3/日
			5.5km以下	45m3/日
			6.0km以下	42m3/日
			6.5km以下	40m3/日
			7.5km以下	37m3/日
			8.5km以下	33m3/日
			9.5km以下	30m3/日
			11.0km以下	28m3/日
			12.5km以下	25m3/日
			14.5km以下	23m3/日
			16.5km以下	20m3/日
			19.0km以下	19m3/日
			22.0km以下	17m3/日
			25.5km以下	15m3/日
			30.0km以下	14m3/日
			36.0km以下	12m3/日
			46.0km以下	11m3/日
			60.0km以下	10m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量(参考値)
殻運搬	直接-15-29	構造物とりこわし	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3積込10tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬	DID区間無し	0.3km以下	128m3/日
					0.5km以下	110m3/日
					1.0km以下	96m3/日
					1.5km以下	85m3/日
					2.0km以下	77m3/日
					3.0km以下	64m3/日
					4.0km以下	55m3/日
					5.5km以下	45m3/日
					6.5km以下	38m3/日
					7.5km以下	33m3/日
					9.5km以下	30m3/日
					11.5km以下	26m3/日
					15.5km以下	21m3/日
					22.5km以下	17m3/日
					49.5km以下	13m3/日
					60.0km以下	8m3/日
				DID区間有り	0.3km以下	128m3/日
					0.5km以下	110m3/日
					1.0km以下	96m3/日
					1.5km以下	85m3/日
					2.0km以下	77m3/日
					3.0km以下	64m3/日
					3.5km以下	55m3/日
					5.0km以下	45m3/日
					6.0km以下	38m3/日
					7.0km以下	33m3/日
					8.5km以下	30m3/日
					11.0km以下	26m3/日
					14.0km以下	21m3/日
					19.5km以下	17m3/日
					31.5km以下	13m3/日
					60.0km以下	8m3/日
			人力積込2tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬	DID区間無し	0.3km以下	15m3/日
					0.5km以下	14m3/日
					1.5km以下	13m3/日
					2.0km以下	11m3/日
					2.5km以下	10m3/日
					3.0km以下	9m3/日
					4.0km以下	8m3/日
					5.0km以下	7m3/日
					6.5km以下	6m3/日
					8.5km以下	5m3/日
					11.0km以下	4m3/日
					16.0km以下	3m3/日
					27.5km以下	3m3/日
					60.0km以下	2m3/日
				DID区間有り	0.3km以下	15m3/日
					0.5km以下	14m3/日
					1.0km以下	13m3/日
					1.5km以下	11m3/日
					2.0km以下	10m3/日
					2.5km以下	9m3/日
					3.5km以下	8m3/日
					4.5km以下	7m3/日
					6.0km以下	6m3/日
					8.0km以下	5m3/日
					10.5km以下	4m3/日
					14.5km以下	3m3/日
					23.0km以下	3m3/日
					60.0km以下	2m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量（参考値）
殻運搬	直接-15-29	舗装版の破砕後掘削積込み	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3積込10tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬	DID区間無し	0.5km以下	77m3/日
					1.0km以下	70m3/日
					2.0km以下	59m3/日
					2.5km以下	51m3/日
					3.5km以下	45m3/日
					4.5km以下	38m3/日
					6.0km以下	33m3/日
					7.5km以下	30m3/日
					10.0km以下	26m3/日
					13.5km以下	21m3/日
					19.5km以下	17m3/日
					39.0km以下	13m3/日
					60.0km以下	8m3/日
				DID区間有り	0.5km以下	77m3/日
					1.0km以下	70m3/日
					1.5km以下	59m3/日
					2.0km以下	51m3/日
					3.0km以下	45m3/日
					4.0km以下	38m3/日
					5.5km以下	33m3/日
					7.0km以下	30m3/日
					9.0km以下	26m3/日
					12.0km以下	21m3/日
					17.5km以下	17m3/日
					28.5km以下	13m3/日
					60.0km以下	8m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量(参考値)
殻運搬	直接-15-29	舗装版の直接掘削積込み	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3積込10tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬	DID区間無し	0.3km以下	33m3/日
					1.5km以下	30m3/日
					3.5km以下	26m3/日
					6.5km以下	21m3/日
					11.5km以下	17m3/日
					22.0km以下	13m3/日
					60.0km以下	8m3/日
				DID区間有り	0.3km以下	33m3/日
					1.5km以下	30m3/日
					3.5km以下	26m3/日
					6.0km以下	21m3/日
					10.5km以下	17m3/日
					19.5km以下	13m3/日
					60.0km以下	8m3/日
			ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m3積込2tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬	DID区間無し	0.3km以下	19m3/日
					1.0km以下	15m3/日
					1.5km以下	13m3/日
					2.5km以下	11m3/日
					3.0km以下	10m3/日
					3.5km以下	9m3/日
					4.5km以下	8m3/日
					5.5km以下	7m3/日
					7.0km以下	6m3/日
					9.0km以下	5m3/日
					12.0km以下	4m3/日
					17.0km以下	3m3/日
					28.5km以下	3m3/日
					60.0km以下	2m3/日
				DID区間有り	0.3km以下	19m3/日
					1.0km以下	15m3/日
					1.5km以下	13m3/日
					2.5km以下	11m3/日
					3.0km以下	10m3/日
					3.5km以下	9m3/日
					4.5km以下	8m3/日
					5.0km以下	7m3/日
					6.5km以下	6m3/日
					8.0km以下	5m3/日
					11.0km以下	4m3/日
					15.0km以下	3m3/日
					24.0km以下	3m3/日
					60.0km以下	2m3/日

標準日施工量

区分	Ⅲ編掲載頁	条件区分				標準日施工量(参考値)
殻運搬		舗装版破砕 積込み (電線共同溝)	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積 0.28m3積込 4tダンプ運搬	DID区間無し	0.5km以下	31m3/日
					2.0km以下	26m3/日
					3.5km以下	22m3/日
					6.5km以下	17m3/日
					11.5km以下	13m3/日
					26.5km以下	9m3/日
					60.0km以下	4m3/日
				DID区間有り	0.5km以下	31m3/日
					2.0km以下	26m3/日
					3.5km以下	22m3/日
					6.0km以下	17m3/日
					10.5km以下	13m3/日
					22.5km以下	9m3/日
					60.0km以下	4m3/日
足場	直接-16-1	手摺先行型枠組足場				61掛m2/日
		単管足場				79掛m2/日
		単管傾斜足場				57掛m2/日
足場(アンカー)	直接-16-2					50空m3/日
足場	直接-16-9					72掛m2/日
足場	直接-16-10 直接-16-11	平地				42空m3/日
		傾斜地				32空m3/日
支保	直接-16-18	H＜4m､f≦40kN/m2(4.1t/m2)				27空m3/日
		H＜4m､40kN/m2(4.1t/m2)＜f≦60kN/m2(6.1t/m2)				15空m3/日
		4m≦H≦30m､f≦40kN/m2(4.1t/m2)				67空m3/日
		H≦30m､40kN/m2(4.1t/m2)＜f≦80kN/m2(8.2t/m2)				37空m3/日
土砂締切	直接-16-27	地山	レキ質土･砂･砂質土･粘性土	押土有り		230m3/日
				押土無し		220m3/日
			岩塊玉石	押土有り		190m3/日
				押土無し		180m3/日
		ルーズ	レキ質土･砂･砂質土･粘性土	押土有り		240m3/日
				押土無し		240m3/日
			岩塊玉石	押土有り		210m3/日
				押土無し		200m3/日
			破砕岩	押土有り		110m3/日
				押土無し		160m3/日
大型土のう	直接-16-29	製作･設置	6m以下			36袋/日
			6mを超え20m以下			52袋/日
		製作				62袋/日
		設置	6m以下			86袋/日
			6mを超え20m以下			80袋/日
		撤去	6m以下			169袋/日
			6mを超え20m以下			158袋/日

第Ⅱ編　共通条件

第１章　共通条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅱ－１－①－１

第２章　土量変化率等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅱ－２－①－１

第３章　施工の流れと対応ユニット
①土の流れ概念図及び対応ユニット　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅱ－３－①－１
②消波根固めブロック工の流れ及び対応ユニット　・・・・・・・・・・Ⅱ－３－②－１
（築堤･護岸、堤防・護岸、砂防堰堤）

第１章　共通条件

① 夜間施工の場合

通常勤務すべき時間帯（８時～１７時　所定労働時間：８時間）を変更して、作業時間帯が夜間（２０時～６時）にかかる場合、ユニットプライスの積算は、「③ユニットプライスの算定方法」のとおりとする。

② 時間的制約を受ける場合

1　下記に示す項目により継続的に時間的制約を受け、通常勤務すべき１日の作業時間(＊)を確保することが出来ない場合、ユニットプライスの積算は、「③ユニットプライスの算定方法」のとおりとする。

＊作業時間：作業時間＝拘束時間－１時間（休憩時間帯）
(標準作業時間は８時間とする)
拘束時間＝作業終了時間－作業開始時間
(標準拘束時間は９時間とする)

１－１ 時間的制約条件
（1）現道の交通量の多い時間帯
（2）通勤・通学の時間帯
（3）公的な輸送機関（バス・鉄道等）のピークとなる時間帯
（4）工事場所周辺地域の生活、各種営業活動等の時間帯
等以上の時間帯を避けた施工を必要とする場合とする。
ただし、ある特定の日のみの制約（例：毎週○曜日のみ）を受ける場合は適用しない。

１－２ 制約を受ける作業時間の適用範囲
制約を受ける作業時間については、４時間/日以上～７．５時間／日以下とする。
なお、制約を受ける作業時間が４時間／日未満の場合は、別途施工条件を考慮し適正に積算するものとする。

１－３ 工期の算定
時間的制約を受ける工事の工期設定にあたっては、制約された作業時間により適正な工期の設定を行うものとする。

③ ユニットプライスの算定方法

上記①項及び②項のユニットプライスの算定は、以下の共通積算条件に示す単価を適用するものとする。

表 21　共通積算条件

共通積算条件	
昼夜間	時間的制約
昼間	無し
	有り
	著しく有り
夜間	無し
	有り
	著しく有り

注）１．時間的制約区分「有り」とは、作業時間が 7 時間/日を超え 7.5 時間/日以下をいう。
２．時間的制約区分「著しく有り」とは、作業時間が 4 時間/日以上 7 時間/日以下をいう。

④ その他

1　直接工事費（ユニット）の適用について

施工現場が狭隘である場合、機械搬入路に十分な幅員をとれない場合、標準的な編成による施工が見込めない場合には、土木工事標準積算基準書により直接工事費を算出し、「Ⅰ－2－①－4」の「表１　間接工事費（一部）」を乗じて、ユニットプライスを算定する。

（例）

・施工現場の条件により、使用出来る機械等に制約がある場合

・搬入路の条件により、資材・機械等の搬入に制約がある場合

2　無償貸付機械を使用する場合

積算条件に機械の貸与に関する条件区分のあるユニットを除き、無償貸付機械使用するユニット区分は、土木工事標準積算基準書により直接工事費を算出し、「Ⅰ－2－①－4」の「表1　間接工事費（一部）」を乗じて、ユニットプライスを算定する。

3　支給品を使用する場合

積算条件に「再利用設置」の条件のあるユニットを除き、支給品を使用する場合のユニット区分は、土木工事標準積算基準書により直接工事費を算出し、「Ⅰ－2－①－4」の「表1　間接工事費（一部）」を乗じて、ユニットプライスを算定する。

4　積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合

積雪寒冷地域における冬期施工に要する全ての費用は、ユニットプライスに含まれている。

ただし、現場除雪に要する費用は含まない。

5　施工地域・工事場所の相違による影響の取扱い

施工地域・施工場所の相違による影響は、ユニットプライスに含まれている。

6　豪雪地域における機械損料の取扱い

豪雪地域における機械損料の影響は、ユニットプライスに含まれている。

7　岩石作業における機械損料の取扱い

岩石作業における機械損料の影響は、ユニットプライスに含まれている。

8　冬期屋外工事における労務補正の取扱い

冬期屋外工事の労務補正に該当する工事においては、土木工事標準積算基準書により直接工事費を算出し、適切な労務補正を行い、「Ⅰ－2－①－4」の「表1　間接工事費（一部）」を乗じて、ユニットプライスを算定する。

9　ユニットプライス規定集に定義していない工種等について

ユニットプライス規定集に定義されていない工種等については、従来の積上げ積算又は見積り等により単価を算定することになるが、ユニットプライス規定集に当該工種に関する記載がないため、請負者にとって費用内訳等が不明確となる。したがって、特記仕様書等において当該工種の費用内訳等を明記し、請負者に明らかにするものとする。なお、当該工種の費用内訳の記載方法については、「ユニットプライス規定集」の「［参考］ユニットプライス規定集の補足説明について」を参考に作成する。

第２章　土量変化率等

① 土量の変化

土量の変化は次の３つの状態の土量に区分して考える。

地山の土量……掘削すべき土量

ほぐした土量……運搬すべき土量

締固め後の土量……できあがりの盛土量

３つの状態の体積比を次式のように表わし、Ｌ及びＣを土量の変化率という。

Ｌ＝ほぐした土量（m^3）／地山の土量（m^3）

Ｃ＝締固め後の土量（m^3）／地山の土量（m^3）

土量の配分計画を立てる場合には、この土量変化率を用いて、切土、盛土の土量計算を行う。

② 土量変化率

統一分類法により分類した土の各土質に応じた変化率は表 22 を標準とする。なお、細分し難いときは表 23 を使用してよい。

表 22　土量の変化率

分類名称			変化率L	変化率C
主要区分		記号		
レキ質土	レキ	(GW)（GP）(GPs)（G－M）(G－C)	1.20	0.95
	レキ質土	(GM)（GC）(GO)	1.20	0.90
砂質土及び砂	砂	(SW)（SP）(SPu)（S－M）(S－C)（S－V）	1.20	0.95
	砂質土(普通土)	(SM)（SC）(SV)	1.20	0.90
粘性土	粘性土	(ML)（CL）(OL)	1.30	0.90
	高含水比粘性土	(MH)（CH）	1.25	0.90
岩塊玉石			1.20	1.00
軟岩 I			1.30	1.15
軟岩 II			1.50	1.20
中硬岩			1.60	1.25
硬岩 I			1.65	1.40

(注)　本表は体積（土量）より求めたL、Cである。

表 23　土量の変化率

分類名称 主要区分	変化率L	変化率C	1／C	L／C
レキ質土	1.20	0.90	1.11	1.33
砂質土及び砂	1.20	0.90	1.11	1.33
粘性土	1.25	0.90	1.11	1.39

(注)　1. 本表は体積（土量）より求めたL、Cである。
2. 1／Cは「締固め後の土量」を「地山の土量」に換算する場合に使用する。

③ 土質区分の対応

土木工事共通仕様書における土質分類とユニット区分における積算条件の土質区分の関係は、以下のとおりである。

1.工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装

表24　適用土質

ユニット区分 / 分類名称	掘削	積込（ルーズ）	法面整形	土砂等運搬
レキ質土	土砂	土砂	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	土砂
砂・砂質土				
粘性土				
岩塊・玉石		岩塊・玉石・破砕岩	－	
軟岩Ⅰ	軟岩	土砂	軟岩Ⅰ	軟岩
軟岩Ⅱ			軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	
中硬岩	硬岩	岩塊・玉石・破砕岩		硬岩
硬岩Ⅰ				

2．工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、道路維持、道路修繕

表25　適用土質

ユニット区分 / 分類名称	掘削	床掘り（土砂）	床掘り（岩石）	積込（ルーズ）	押土（ルーズ）	法面整形	土砂等運搬
レキ質土	土砂	レキ質土、砂･砂質土、粘性土	－	土砂	土砂	レキ質土、砂・砂質土、粘性土	土砂
砂・砂質土							
粘性土							
岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石混じり土	－	岩塊・玉石・破砕岩	岩塊・玉石	－	
軟岩Ⅰ	軟岩Ⅰ	－	軟岩Ⅰ	土砂	土砂	軟岩Ⅰ	軟岩
軟岩Ⅱ	軟岩Ⅱ	－	軟岩Ⅱ			軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩	
中硬岩	中硬岩	－	中硬岩	岩塊・玉石・破砕岩	破砕岩		硬岩
硬岩Ⅰ	硬岩Ⅰ	－	硬岩Ⅰ				

3.工事区分：砂防堰堤、流路、斜面対策

表26　適用土質

ユニット区分 / 分類名称	掘削 (砂防)	床掘り (砂防)	積込(ﾙｰｽﾞ) (砂防)	押土(ﾙｰｽﾞ) (砂防)	盛土 (砂防)	土砂等運搬 (砂防)
レキ質土	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
砂・砂質土						
粘性土						
岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	
軟岩Ⅰ	軟岩	軟岩	破砕岩	破砕岩	破砕岩	軟岩
軟岩Ⅱ						
中硬岩	硬岩	硬岩				硬岩
硬岩Ⅰ						
転石	転石	転石	－	－	－	－

④　岩質の判定基準

表27　岩質の判定基準

国土交通省岩分類	岩種グループ別	変成岩及び堆積岩										堆積岩								火成岩											
		主として古生代										中生代				第三紀				深成岩					火山岩						
		片麻岩	砂質片岩	黒色片岩	緑色片岩	千枚岩	珪岩・角岩	石灰岩	砂岩	粘板岩	輝緑凝灰岩	粘板岩	頁岩	砂岩	れき岩	頁岩泥岩	砂岩	凝灰岩	凝灰角礫岩	花こう岩	セン緑岩	ハンレイ岩	カンラン岩	蛇紋岩	流紋岩	ヒン岩	安山岩	玄武岩	集塊岩		
軟岩Ⅰ	A	●			●			●	●		●			●	●		▲ △			● ▲	●			●	●		●	●			
	B			△		●				● ▲		● ▲	▲			△ ○		● ▲	● ▲										▲ △		
軟岩Ⅱ	A	▲	● ▲		● ▲		●	▲ △	▲		▲			▲	▲ △		○ ◎			▲ △	▲	● ▲	● ▲	△ ○	▲	● ▲	▲	▲			
	B			○		▲				▲ △	△	▲ △	△			◎		△ ○	△ ○										○ ◎		
中硬岩	A	△	▲ △		△		▲	○ ◎	△		△			△	○ ◎					△ ○	△ ○	△ ○	△ ○	◎	△	△	△	△			
	B			◎		△				△ ○	○	△ ◎	○ ◎					◎	◎												
硬岩Ⅰ	A	○ ◎	△ ○		○ ◎		○		○		○			○ ◎						◎	◎	◎	◎		○ ◎	○ ◎	○ ◎	○ ◎			
	B					○ ◎				◎																					
硬岩Ⅱ	A		◎				○ ◎		◎																						

● 全体に変化が進み変色しているもの。
△ 割れ目に沿って風化変色が少なく，岩片内部は新鮮なもの。
▲ 割れ目に沿って幅広く風化しているが球状，レンズ状に未風化部を残すもの。
○ 割れ目が少なく風化変色がほとんどなく新鮮で硬いもの。
◎ 岩石が特に硬く全く新鮮なもの。

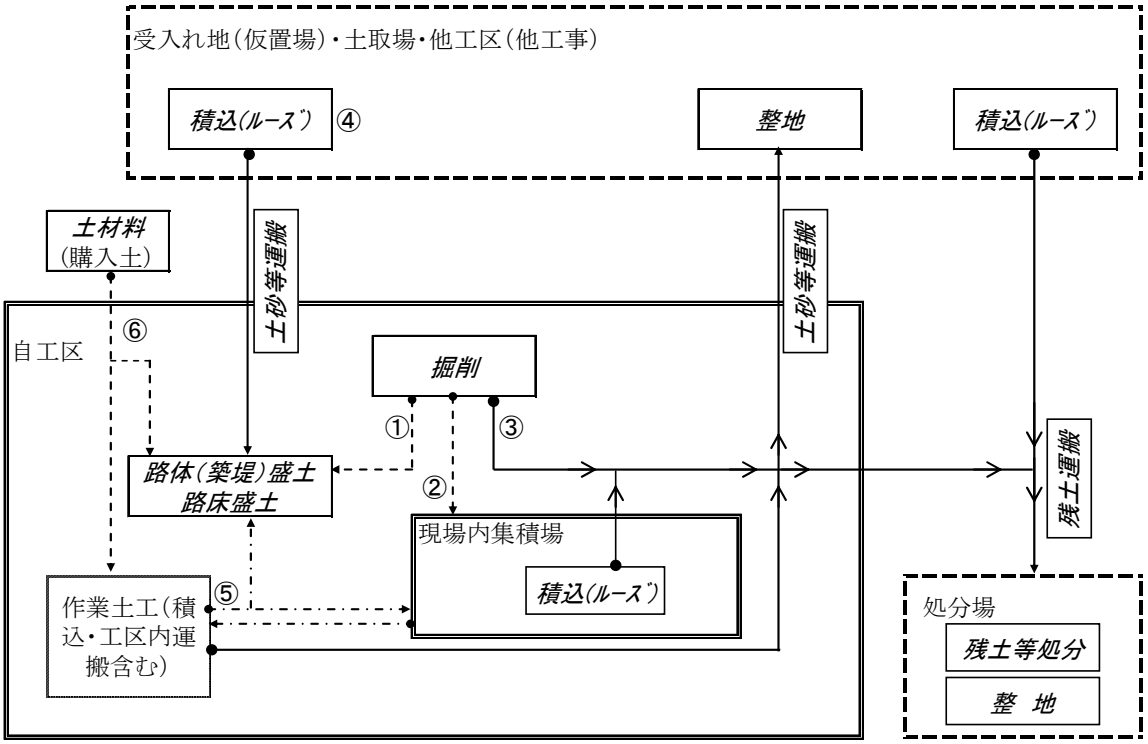
＊ Aグループは，花崗岩・安山岩・砂岩・珪岩のように，造岩物質，固結度共に硬く，風化が進み，亀裂が入って，弾性波速度が遅くても，岩片耐圧強度の高い岩種類。

＊ Bグループは、頁岩・粘板岩・黒色片岩のように、造岩物質が軟らかく、風化が進むと泥化し新鮮なもので弾性波速度が早くても、岩片耐圧強度の低い岩種類。

第３章　施工の流れと対応ユニット

①　土の流れ概念図及び対応ユニット

１）築堤・護岸、道路改良、舗装



凡例　＊ ***掘削***等ユニット名称を斜体で示した。
＊ ***土砂等運搬***、***残土運搬***を実線で示した。　（●――→　）
＊ 掘削に伴う工区内運搬は***掘削***に、通常現場着単価である土材料(購入土)の運搬は***土材料***に含まれるため破線で示した。(図中⑥)　（●- - -→　）
ただし、***土材料***(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は***土砂等運搬***を計上する。
＊ 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)は当該目的物のユニットに含まれるため一点鎖線で示した。(図中⑤)　（●・- -→　）

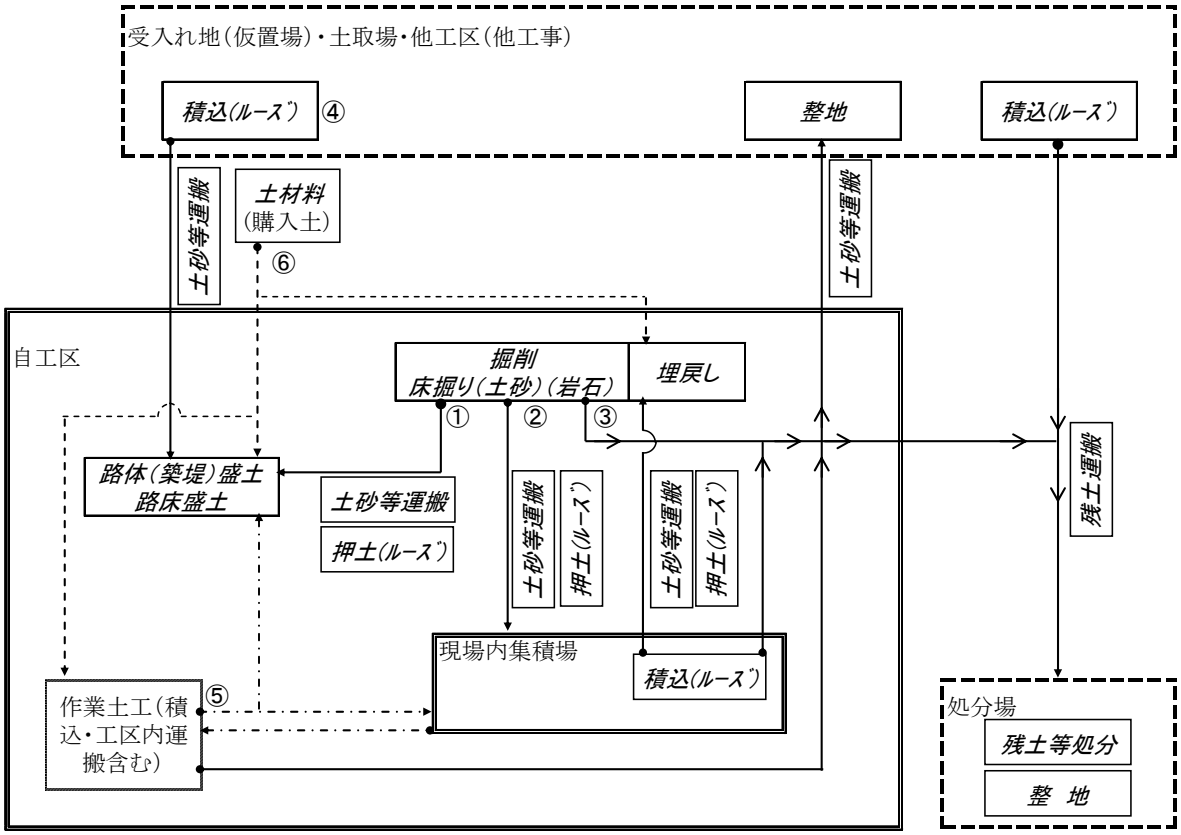
注　1 ***掘削***に含まれる自工区内の運搬について(図中①、②)
・ 工区内運搬「有り」を選択した場合、積込み及び工区内運搬を含む。
・「土砂」で押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。
・「軟岩」又は「硬岩」で工区内運搬「有り」を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。
2 土砂等運搬、残土運搬時の積込作業について(図中③)
・ ***掘削***において「土砂」で工区内運搬「無し」を選択した場合、積込みを含む。
・ ***掘削***において「土砂」で押土「有り」、「軟岩」又は「硬岩」で工区内運搬「無し」を選択した場合、積込みを含まない。
・ ***積込(ルーズ)***を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)***積込(ルーズ)***の計上が必要な***掘削***の積算条件」参照のこと。
3 土取場において、地山を掘削する場合は、***掘削***を使用する。(図中④)

（参考）***積込（ルース゛）***の計上が必要な***掘削***の積算条件

掘削 積算条件							***積込（ルース゛）***
土質	障害の有無	施工方法	押土の有無	掘削土量	工区内運搬の有無	工区内運搬距離	
土砂	＊	オープンカット	有り	＊	－	－	要
			無し	＊	無し	－	不要
					有り	＊	－
		片切掘削	－	－	無し	－	不要
					有り	＊	－
軟岩	＊	＊	－	＊	無し	－	要
					有り	＊	－
硬岩	＊	オープンカット	－	－	無し	－	要
					有り	＊	－

注：表中「＊」は積算条件の区分の記載を省略している。

2）樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、道路維持、道路修繕



凡例　＊ ***掘削***等ユニット名称を斜体で示した。

＊ ***土砂等運搬***、***残土運搬***、***押土(ルーズ)***を実線で示した。　(●——→)

＊ 土材料(購入土)は通常現場着単価であり運搬は***土材料***に含まれるため破線で示した。　(●- - -→)
(図中⑥)
ただし、***土材料***(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は***土砂等運搬***を計上する。

＊ 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)は当該目的物のユニットに含まれる場合を一点鎖線で示した。
(図中⑤)　(●-·-·→)

注　1 ***掘削***、***床掘り(岩石)***に含まれる自工区内の運搬について(図中①、②)
(1)土質が土砂の場合
・ ***掘削***において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。
(2)土質が軟岩又は硬岩の場合
・ ***掘削***又は***床掘り(岩石)***において、以下の条件を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。
「軟岩」で施工数量「500m3以上」又は集積押土「有り」を選択した場合
「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合

2 土砂等運搬、残土運搬時の積込作業について(図中①～③)
・ ***掘削***、***床掘り(土砂)***、***床掘り(岩石)***において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。
・ ***積込(ルーズ)***を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)***積込(ルーズ)***の計上が必要な***掘削***、***床掘り(土砂)***及び***床掘り(岩石)***の積算条件」参照のこと。

3 土取場において、地山を掘削する場合は、***掘削***を使用する。(図中④)

（参考）***積込（ルーズ）***の計上が必要な***掘削***、***床掘り（土砂）***及び***床掘り（岩石）***の積算条件

掘削 積算条件									***積込（ルーズ）***
土質	施工方法	岩質	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	
土砂	オープンカット	―	有り	―	※1	―	―	―	要
			無し	※1	※1	―	―	―	不要
	片切掘削	―	―	―	―	―	―	―	要
	人力切崩し	―	―	―	―	―	―	―	要
	河床等の沈殿物、底沼等の軟弱土除去	―	―	―	―	―	―	―	不要
	上記以外(小規模)	―	―	―	※1	―	―	―	不要
岩塊・玉石	オープンカット	―	―	※1	※1	―	―	―	不要
軟岩	オープンカット	―	―	―	500m3未満	―	無し	無し	要
								有り	要
							有り	無し	※2
								有り	※2
					500m3以上	―	―	―	要
	片切掘削	―	―	―	―	―	無し	無し	要
								有り	要
							有り	無し	※2
								有り	※2
	人力(機械施工出来ない)	※1	―	―	―	―	―	―	要
硬岩	オープンカット	―	―	―	―	不可	無し	無し	要
								有り	要
							有り	無し	※2
								有り	※2
						可	―	―	要
	片切掘削	―	―	―	―	※1	無し	無し	要
								有り	要
							有り	無し	※2
								有り	※2
	人力(機械施工出来ない)	※1	―	―	―	―	―	―	要

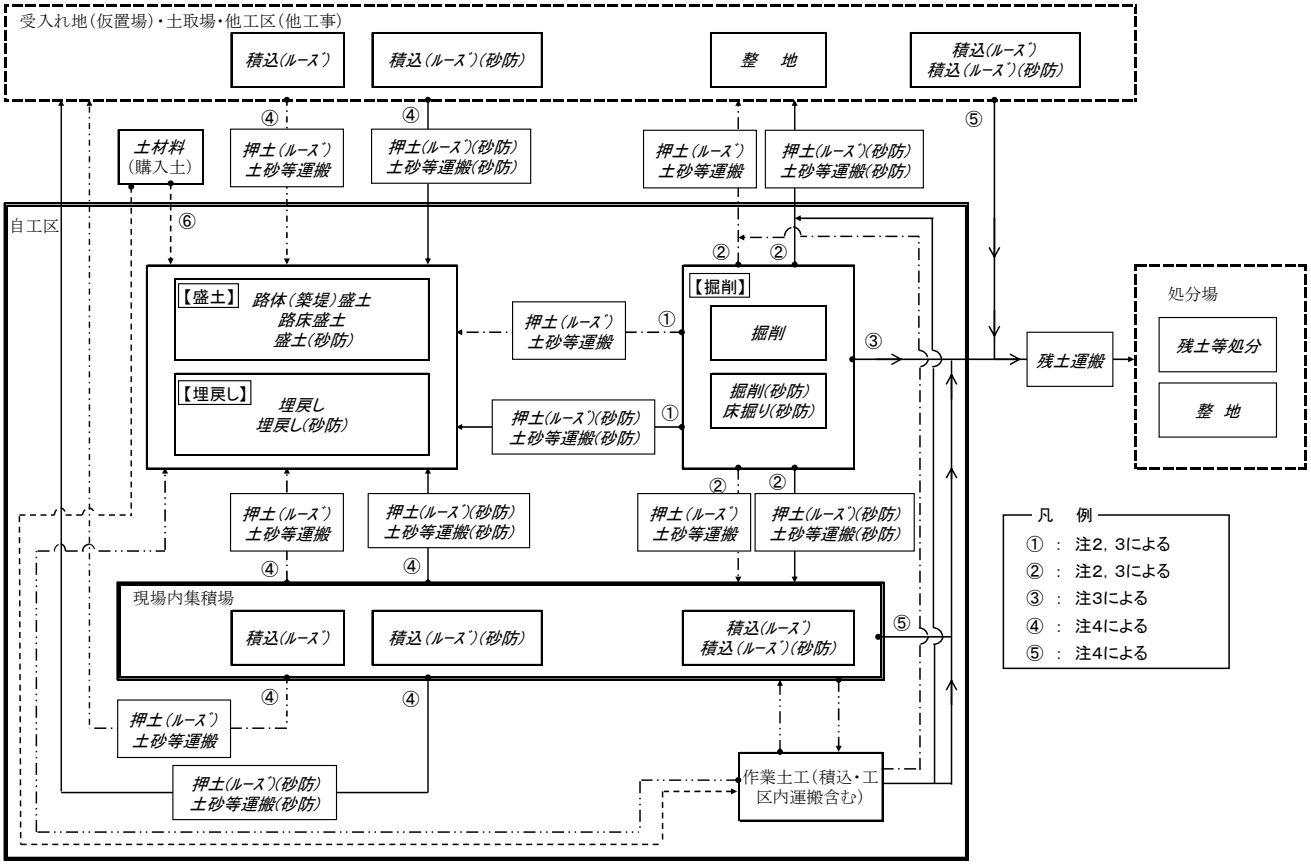
注：表中「※1」は積算条件の区分の記載を省略している。
　　表中「※2」は現場条件により破砕片除去と積込が兼ねられる場合は「不要」となる。

床掘り(土砂) 積算条件				*積込(ルーズ)*
土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	
レキ質土・砂・砂質土・粘性土	標準	※1	※1	不要
	平均施工幅1m以上2m未満	※1	※1	不要
	掘削深さ5m超20m以下	※1	※1	不要
	平均施工幅が1m未満及び1箇所当り施工土量100m3未満	－	－	不要
	人力(機械施工出来ない)	－	－	要
岩塊・玉石混り土	標準	※1	※1	不要
	平均施工幅1m以上2m未満	※1	※1	不要
	掘削深さ5m超20m以下	※1	※1	不要
	人力(機械施工出来ない)	－	－	要

床掘り(岩石) 積算条件							*積込(ルーズ)*
土質	施工方法	岩質	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	
軟岩	オープンカット	－	500m3未満	－	無し	無し	要
						有り	要
					有り	無し	※2
						有り	※2
			500m3以上	－	－	－	要
	片切掘削	－	－	－	無し	無し	要
						有り	要
					有り	無し	※2
						有り	※2
	床掘り(掘削箇所の外からの作業)	－	－	－	有り	無し	不要
	人力(機械施工出来ない)	※1	－	－	－	－	要
硬岩	オープンカット	－	－	不可	無し	無し	要
						有り	要
					有り	無し	※2
						有り	※2
				可	－	－	要
	片切掘削	－	－	※1	無し	無し	要
						有り	要
					有り	無し	※2
						有り	※2
	床掘り(掘削箇所の外からの作業)	－	－	－	有り	無し	不要
	人力(機械施工出来ない)	※1	－	－	－	－	要

注:表中「※1」は積算条件の区分の記載を省略している。
表中「※2」は現場条件により破砕片除去と積込が兼ねられる場合は「不要」となる。

3）砂防堰堤、流路、斜面対策



凡例　＊ ***掘削(砂防)***等ユニット名称を斜体で示した。

＊ ***掘削(砂防)***、***積込(ルース)(砂防)***、***押土(ルース)(砂防)***、***土砂等運搬(砂防)***等を実線で示した。　（ ●――→ ）

＊ ***掘削***、***積込(ルース)***、***押土(ルース)***、***土砂等運搬***等を一点鎖線で示した。　（ ●-·-→ ）

＊ 土材料(購入土)は通常現場着単価であり運搬は***土材料***に含まれるため破線で示した。(図中⑥)　（ ●- - -→ ）
ただし、***土材料***(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は***土砂等運搬(砂防)***又は***土砂等運搬***を計上する。

＊ 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)は当該目的物のユニットに含まれる場合を長二点鎖線で示した。　（ ●-··-→ ）

注　1 ***掘削(砂防)***等の砂防堰堤独自ユニットと***掘削***等の河川修繕等に適用されるユニットの相違については、各ユニットの記述を参照。

2 ***掘削***、***掘削(砂防)***に含まれる自工区内外の運搬について(図中①、②)

(1)土質が土砂の場合

・ ***掘削***において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。

・ ***掘削(砂防)***において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内外運搬を含む。

(2)土質が軟岩又は硬岩の場合

・ ***掘削***において、以下の条件を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。
- 「軟岩」で施工数量「500m3以上」又は集積押土「有り」を選択した場合
- 「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合

(3)土質が岩塊・玉石の場合

・ ***掘削(砂防)***において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内外運搬を含む。

3 土砂等運搬、残土運搬時の積込作業について(図中①～③)

・ ***掘削***、***掘削(砂防)***において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。

・ ***積込(ルース)***を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)***積込(ルース)***の計上が必要な***掘削***、***床掘り(土砂)***及び***床掘り(岩石)***の積算条件」参照のこと。

・ ***積込(ルース)(砂防)***を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)***積込(ルース)(砂防)***の計上が必要な***掘削(砂防)***の積算条件」参照のこと。

4 現場内集積場又は土取場等からの土砂等運搬作業等について(図中④、⑤)

・ ***土砂等運搬(砂防)***、***残土運搬***を行う場合、別途***積込(ルース)(砂防)***、***積込(ルース)***を計上する。

・ ***押土(ルース)(砂防)***、***押土(ルース)***には、60m以内の運搬を含む。

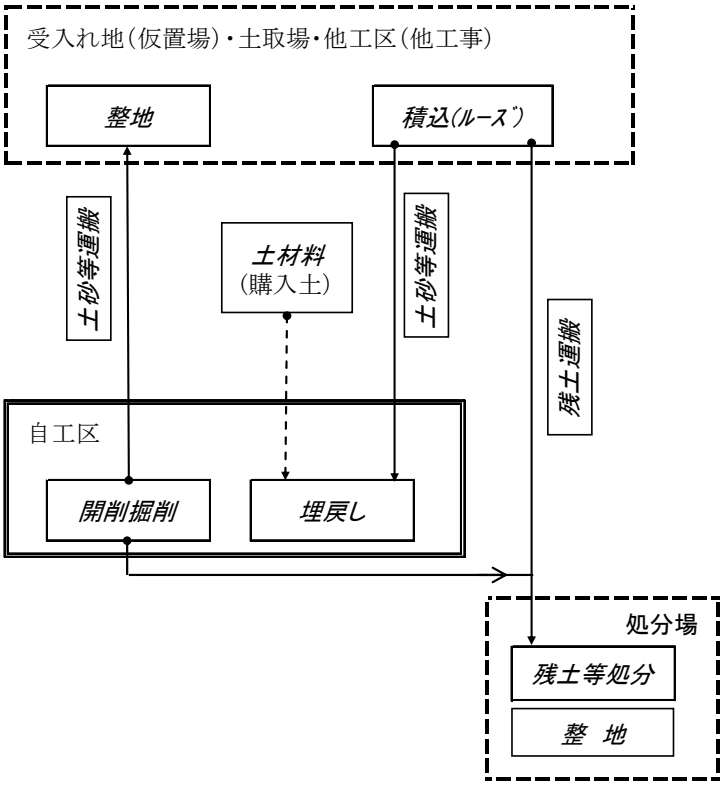
5 土取場において、地山を掘削する場合は、***掘削(砂防)***、***掘削***を使用する。(図中④)

（参考）***積込（ルーズ）（砂防）***の計上が必要な***掘削（砂防）***、***床掘り（砂防）***の積算条件

掘削(砂防)					***積込（ルーズ）（砂防）***
積算条件					
土質	押土の有無	障害の有無	掘削範囲	火薬使用	
土砂	無し	無し	－	－	不要
		有り			不要
	有り	－			要
岩塊・玉石	無し	無し	－	－	不要
		有り			不要
	有り	－			要
軟岩	－	－	機械走行面より5m以内	－	要
			機械走行面より5m超	可	要
				不可	要
硬岩	－	－	機械走行面より5m以内	－	要
			機械走行面より5m超	可	要
				不可	要
転石	－	－	機械走行面より5m以内	－	要
			機械走行面より5m超	可	要
				不可	要

床掘り(砂防)		***積込（ルーズ）（砂防）***
積算条件		
土質	障害の有無	
土砂	無し	不要
	有り	不要
岩塊・玉石	無し	不要
	有り	不要
軟岩	－	要
硬岩	－	要
転石	－	要

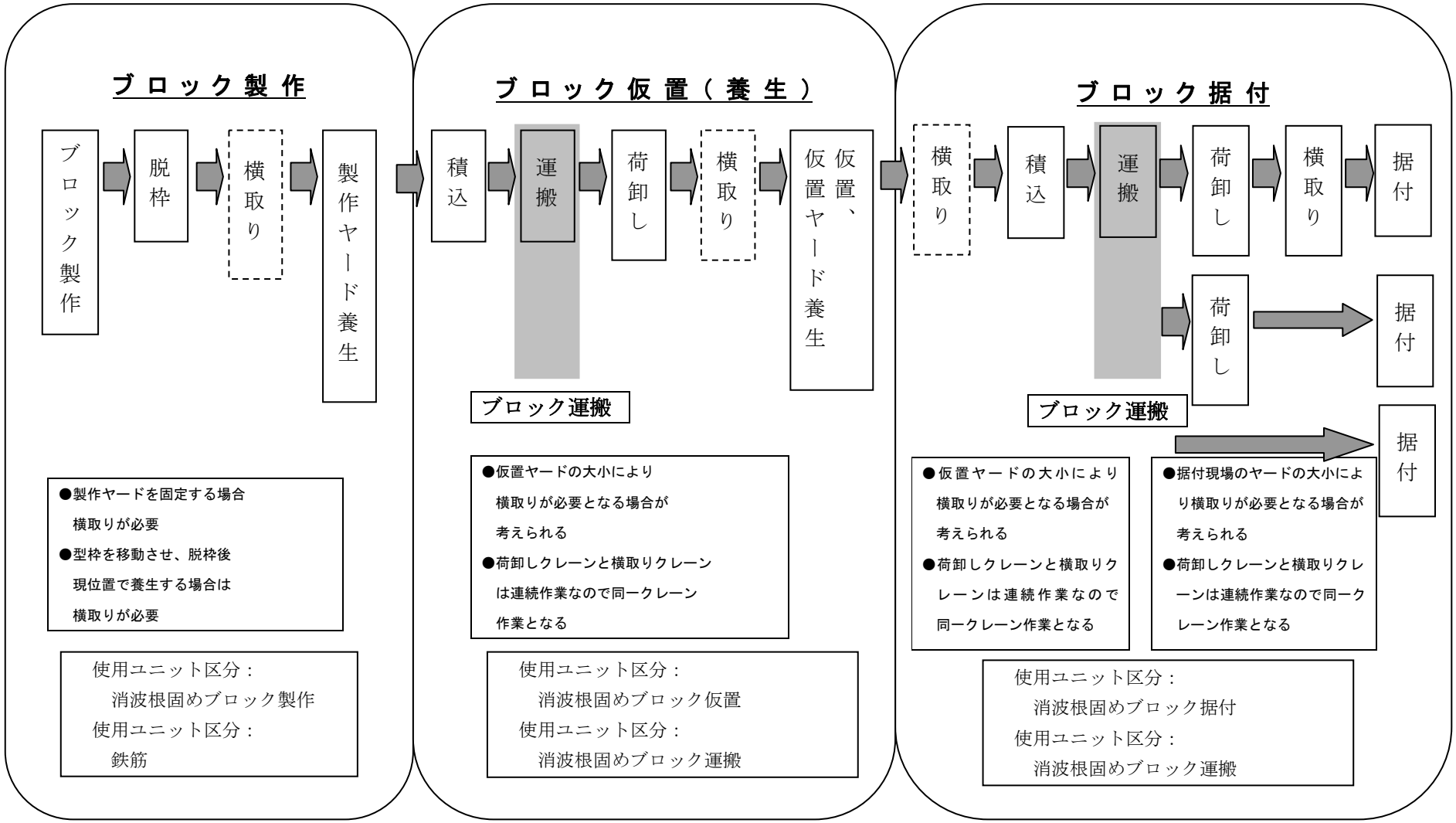
4）電線共同溝



凡例　＊ ***開削掘削***等ユニット名称を斜体で示した。
　　＊ ***土砂等運搬***、***残土運搬***を実線で示した。　　(●――→)
　　＊ 土材料(購入土)は通常現場着単価であり運搬は***土材料***に含まれるため破線で示した。　　(●- - -→)
　　ただし、***土材料***(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は***土砂等運搬***を計上する。

②消波根固めブロック工の流れ及び対応ユニット（築堤・護岸、堤防・護岸、砂防堰堤）

製作～据付まで行う工事の場合



第Ⅲ編　直接工事費（ユニット）

第Ⅲ編　直接工事費（ユニット）

【目次】

直接工事費ユニット…… 目次(直接工事費(ユニット))-1 ～ 8
築堤・護岸 …… Ⅲ-目次(築堤・護岸)-1 ～ 8
樋門・樋管 …… Ⅲ-目次(樋門・樋管)-1 ～ 7
河川維持 …… Ⅲ-目次(河川維持)-1 ～ 4
河川修繕 …… Ⅲ-目次(河川修繕)-1 ～ 6
堤防・護岸 …… Ⅲ-目次(堤防・護岸)-1 ～ 12
砂防堰堤 …… Ⅲ-目次(砂防堰堤)-1 ～ 14
流路 …… Ⅲ-目次(流路)-1 ～ 6
斜面対策 …… Ⅲ-目次(斜面対策)-1 ～ 10
道路改良 …… Ⅲ-目次(道路改良)-1 ～ 6
舗装 …… Ⅲ-目次(舗装)-1 ～ 5
電線共同溝…… Ⅲ-目次(電線共同溝)-1 ～ 2
道路維持 …… Ⅲ-目次(道路維持)-1 ～ 19
道路修繕 …… Ⅲ-目次(道路修繕)-1 ～ 21
構造物撤去…… Ⅲ-目次(構造物撤去)-1 ～ 3

【本編】

01 土工編 …… Ⅲ-直接-1-1 ～ 50
02 地盤改良編 …… Ⅲ-直接-2-1 ～ 22
03 コンクリート編…… Ⅲ-直接-3-1 ～ 33
04 鋼矢板・杭編 …… Ⅲ-直接-4-1 ～ 23
05 道路・舗装編 …… Ⅲ-直接-5-1 ～ 247
06 河川編 …… Ⅲ-直接-6-1 ～ 78
07 砂防編 …… Ⅲ-直接-7-1 ～ 26
08 工場製作・塗装編 …… Ⅲ-直接-8-1 ～ 27
09 橋梁上部編 …… Ⅲ-直接-9-1 ～ 19
10 橋梁下部編 …… Ⅲ-直接-10-1
11 トンネル編 …… Ⅲ-直接-11-1
12 共同溝・電線共同溝・情報ボックス…… Ⅲ-直接-12-1 ～ 9
　地下横断歩道・地下駐車場編
13 修繕編 …… Ⅲ-直接-13-1 ～ 40
14 維持編 …… Ⅲ-直接-14-1 ～ 94
15 撤去編 …… Ⅲ-直接-15-1 ～ 31
16 仮設編 …… Ⅲ-直接-16-1 ～ 30

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
3.1.1 土工編	
掘削	Ⅲ-直接-1-1
掘削	Ⅲ-直接-1-2
掘削	Ⅲ-直接-1-3
掘削(砂防)	Ⅲ-直接-1-4
開削掘削	Ⅲ-直接-1-5
土砂等運搬	Ⅲ-直接-1-6
土砂等運搬	Ⅲ-直接-1-7
土砂等運搬(砂防)	Ⅲ-直接-1-8
整地	Ⅲ-直接-1-9
整地	Ⅲ-直接-1-10
路体(築堤)盛土	Ⅲ-直接-1-11
路体(築堤)盛土	Ⅲ-直接-1-12
路床盛土	Ⅲ-直接-1-13
路床盛土	Ⅲ-直接-1-14
盛土(砂防)	Ⅲ-直接-1-15
押土(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-16
押土(ルーズ)(砂防)	Ⅲ-直接-1-17
積込(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-18
積込(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-19
積込(ルーズ)(砂防)	Ⅲ-直接-1-20
積込(ルーズ)	Ⅲ-直接-1-21
土材料	Ⅲ-直接-1-22
法面整形	Ⅲ-直接-1-23
法面整形	Ⅲ-直接-1-24
残土運搬	Ⅲ-直接-1-25
残土運搬	Ⅲ-直接-1-26
残土等処分	Ⅲ-直接-1-27
床掘り(土砂)	Ⅲ-直接-1-28
床掘り(岩石)	Ⅲ-直接-1-29
床掘り(砂防)	Ⅲ-直接-1-30
埋戻し	Ⅲ-直接-1-31
埋戻し(砂防)	Ⅲ-直接-1-32
埋戻し	Ⅲ-直接-1-33
基面整正	Ⅲ-直接-1-34
掘削補助機械搬入搬出	Ⅲ-直接-1-35
軽量盛土工	Ⅲ-直接-1-36
発泡スチロール(軽量盛土)	Ⅲ-直接-1-37
コンクリート床版	Ⅲ-直接-1-38
基礎コンクリート	Ⅲ-直接-1-39
壁体	Ⅲ-直接-1-40
ジオテキスタイル	Ⅲ-直接-1-41
壁面材組立・設置(ジオテキスタイル補強土壁)	Ⅲ-直接-1-42
ジオテキスタイル材料(ジオテキスタイル補強土壁)	Ⅲ-直接-1-43
ジオテキスタイル敷設・まきだし・敷均し・締固め	Ⅲ-直接-1-44
天端敷砂利	Ⅲ-直接-1-45
裏込砕石	Ⅲ-直接-1-46
裏込砕石	Ⅲ-直接-1-47
覆土	Ⅲ-直接-1-48
覆土(採取土)	Ⅲ-直接-1-49
覆土(購入土)	Ⅲ-直接-1-50
3.1.2 地盤改良編	
安定シート・ネット	Ⅲ-直接-2-1
サンドマット	Ⅲ-直接-2-2
サンドマット(パイルネット)	Ⅲ-直接-2-3
サンドマット	Ⅲ-直接-2-4
既製杭	Ⅲ-直接-2-5
路床安定処理工	Ⅲ-直接-2-6
安定処理	Ⅲ-直接-2-7
置換	Ⅲ-直接-2-8
置換	Ⅲ-直接-2-9
サンドドレーン	Ⅲ-直接-2-10
袋詰式サンドドレーン	Ⅲ-直接-2-11
ペーパードレーン	Ⅲ-直接-2-12
サンドコンパクションパイル	Ⅲ-直接-2-13
粉体噴射撹拌	Ⅲ-直接-2-14
スラリー撹拌	Ⅲ-直接-2-15
スラリー撹拌	Ⅲ-直接-2-16
高圧噴射撹拌	Ⅲ-直接-2-17
高圧噴射撹拌	Ⅲ-直接-2-18
薬液注入	Ⅲ-直接-2-19
薬液注入	Ⅲ-直接-2-20
泥水処理(現場内)	Ⅲ-直接-2-21
泥水運搬	Ⅲ-直接-2-22
3.1.3 コンクリート編	
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-1
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-2
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-3
天端コンクリート	Ⅲ-直接-3-4
小型擁壁	Ⅲ-直接-3-5
小型擁壁	Ⅲ-直接-3-6
重力式擁壁	Ⅲ-直接-3-7
重力式擁壁	Ⅲ-直接-3-8
もたれ式擁壁	Ⅲ-直接-3-9
もたれ式擁壁	Ⅲ-直接-3-10
逆Ｔ型擁壁	Ⅲ-直接-3-11
逆Ｔ型擁壁	Ⅲ-直接-3-12
Ｌ型擁壁	Ⅲ-直接-3-13
Ｌ型擁壁	Ⅲ-直接-3-14
場所打函渠工	Ⅲ-直接-3-15
函渠	Ⅲ-直接-3-16
コンクリート	Ⅲ-直接-3-17
コンクリート(場所打擁壁)	Ⅲ-直接-3-18
コンクリート(場所打函渠)	Ⅲ-直接-3-19
コンクリート	Ⅲ-直接-3-20
コンクリート	Ⅲ-直接-3-21
間詰コンクリート	Ⅲ-直接-3-22
小口止コンクリート	Ⅲ-直接-3-23
横帯コンクリート	Ⅲ-直接-3-24

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
型枠	Ⅲ-直接-3-25
型枠	Ⅲ-直接-3-26
型枠	Ⅲ-直接-3-27
鉄筋	Ⅲ-直接-3-28
ガス圧接	Ⅲ-直接-3-29
目地板	Ⅲ-直接-3-30
止水板	Ⅲ-直接-3-31
水抜パイプ	Ⅲ-直接-3-32
遮水シート	Ⅲ-直接-3-33
3.1.4 鋼矢板・杭編	
鋼矢板	Ⅲ-直接-4-1
コンクリート矢板	Ⅲ-直接-4-2
広幅鋼矢板	Ⅲ-直接-4-3
腹起し	Ⅲ-直接-4-4
タイロッド	Ⅲ-直接-4-5
控え版	Ⅲ-直接-4-6
小口止矢板	Ⅲ-直接-4-7
鋼管杭	Ⅲ-直接-4-8
鋼管杭	Ⅲ-直接-4-9
杭頭処理溶接(鋼管杭)	Ⅲ-直接-4-10
現場取卸(鋼管杭)	Ⅲ-直接-4-11
場所打杭	Ⅲ-直接-4-12
場所打杭	Ⅲ-直接-4-13
掘削土運搬	Ⅲ-直接-4-14
掘削土処分	Ⅲ-直接-4-15
可とう鋼矢板	Ⅲ-直接-4-16
掘削土留	Ⅲ-直接-4-17
グラウト注入	Ⅲ-直接-4-18
合成杭	Ⅲ-直接-4-19
既製コンクリート杭	Ⅲ-直接-4-20
既製コンクリート杭	Ⅲ-直接-4-21
既製コンクリート杭	Ⅲ-直接-4-22
木杭	Ⅲ-直接-4-23
3.1.5 道路・舗装編	
間知ブロック張	Ⅲ-直接-5-1
間知ブロック張	Ⅲ-直接-5-2
平ブロック張	Ⅲ-直接-5-3
平ブロック張	Ⅲ-直接-5-4
連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-5
連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-6
連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-7
大型連節ブロック張	Ⅲ-直接-5-8
大型階段ブロック張	Ⅲ-直接-5-9
コンクリートブロック張	Ⅲ-直接-5-10
間知ブロック積	Ⅲ-直接-5-11
間知ブロック積	Ⅲ-直接-5-12
間知ブロック積	Ⅲ-直接-5-13
緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-14
緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-15
緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-16

ユニット区分	積算基準頁
大型コンクリートブロック積	Ⅲ-直接-5-17
大型緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-18
大型緑化ブロック積	Ⅲ-直接-5-19
基礎砕石(基礎材)	Ⅲ-直接-5-20
基礎栗石(基礎材)	Ⅲ-直接-5-21
胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)	Ⅲ-直接-5-22
胴込・裏込材(コンクリートブロック)	Ⅲ-直接-5-23
吸出し防止材	Ⅲ-直接-5-24
吸出し防止材(コンクリートブロック)	Ⅲ-直接-5-25
ブロック植樹	Ⅲ-直接-5-26
石積	Ⅲ-直接-5-27
石積	Ⅲ-直接-5-28
石張	Ⅲ-直接-5-29
石積・張	Ⅲ-直接-5-30
胴込・裏込コンクリート(石積(張))	Ⅲ-直接-5-31
裏込材(石積(張))	Ⅲ-直接-5-32
種子散布	Ⅲ-直接-5-33
種子散布	Ⅲ-直接-5-34
客土吹付	Ⅲ-直接-5-35
植生基材吹付	Ⅲ-直接-5-36
植生基材吹付	Ⅲ-直接-5-37
植生シート	Ⅲ-直接-5-38
植生シート	Ⅲ-直接-5-39
植生マット	Ⅲ-直接-5-40
植生マット	Ⅲ-直接-5-41
野芝種子吹付	Ⅲ-直接-5-42
植生筋	Ⅲ-直接-5-43
張芝	Ⅲ-直接-5-44
張芝	Ⅲ-直接-5-45
筋芝	Ⅲ-直接-5-46
市松芝	Ⅲ-直接-5-47
人工張芝	Ⅲ-直接-5-48
植生穴	Ⅲ-直接-5-49
繊維ネット	Ⅲ-直接-5-50
ラス張	Ⅲ-直接-5-51
法面吹付工	Ⅲ-直接-5-52
モルタル吹付	Ⅲ-直接-5-53
コンクリート吹付	Ⅲ-直接-5-54
法枠	Ⅲ-直接-5-55
法枠	Ⅲ-直接-5-56
現場打法枠	Ⅲ-直接-5-57
プレキャスト法枠	Ⅲ-直接-5-58
吹付枠	Ⅲ-直接-5-59
法面施肥	Ⅲ-直接-5-60
中詰	Ⅲ-直接-5-61
中詰	Ⅲ-直接-5-62
アンカー	Ⅲ-直接-5-63
削孔(アンカー)	Ⅲ-直接-5-64
アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)	Ⅲ-直接-5-65

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)(アンカー)	Ⅲ-直接-5-66
グラウト注入(アンカー)	Ⅲ-直接-5-67
ボーリングマシン移設(アンカー)	Ⅲ-直接-5-68
緊張・定着・頭部処理(アンカー)	Ⅲ-直接-5-69
アンカー工材料費(アンカー)	Ⅲ-直接-5-70
プレキャストコンクリート板	Ⅲ-直接-5-71
プレキャストコンクリート板	Ⅲ-直接-5-72
鉄筋挿入	Ⅲ-直接-5-73
鉄筋挿入	Ⅲ-直接-5-74
プレキャストＬ型擁壁	Ⅲ-直接-5-75
プレキャストＬ型擁壁	Ⅲ-直接-5-76
プレキャスト逆Ｔ型擁壁	Ⅲ-直接-5-77
プレキャスト逆Ｔ型擁壁	Ⅲ-直接-5-78
側溝付プレキャスト擁壁	Ⅲ-直接-5-79
側溝付プレキャスト擁壁	Ⅲ-直接-5-80
テールアルメ	Ⅲ-直接-5-81
多数アンカー	Ⅲ-直接-5-82
壁面材組立・設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	Ⅲ-直接-5-83
補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	Ⅲ-直接-5-84
敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	Ⅲ-直接-5-85
井桁ブロック基礎	Ⅲ-直接-5-86
井桁ブロック	Ⅲ-直接-5-87
不陸整正(車道部)	Ⅲ-直接-5-88
不陸整正	Ⅲ-直接-5-89
不陸整正・締固め	Ⅲ-直接-5-90
調整コンクリート	Ⅲ-直接-5-91
橋面防水	Ⅲ-直接-5-92
アスファルト舗装工(車道部)	Ⅲ-直接-5-93
下層路盤(車道部)	Ⅲ-直接-5-94
下層路盤(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-95
下層路盤(歩道部)	Ⅲ-直接-5-96
路盤(路肩部)	Ⅲ-直接-5-97
上層路盤(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-98
上層路盤(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-99
上層路盤(歩道部)	Ⅲ-直接-5-100
路盤(歩道部)	Ⅲ-直接-5-101
路盤	Ⅲ-直接-5-102
基層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-103
中間層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-104
基層・中間層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-105
基層・中間層(歩道部)	Ⅲ-直接-5-106
表層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-107
表層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-108
表層(歩道部)	Ⅲ-直接-5-109
表層(歩道部)	Ⅲ-直接-5-110
半たわみ性舗装	Ⅲ-直接-5-111
排水性舗装工(車道部)	Ⅲ-直接-5-112
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-113

ユニット区分	積算基準頁
排水性舗装・中間層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-114
排水性舗装・基層(車道・路肩部)	Ⅲ-直接-5-115
透水性舗装・フィルター層(歩道部)	Ⅲ-直接-5-116
透水性舗装・表層(歩道部)	Ⅲ-直接-5-117
グースアスファルト舗装・基層	Ⅲ-直接-5-118
グースアスファルト舗装・表層	Ⅲ-直接-5-119
コンクリート舗装(車道部)	Ⅲ-直接-5-120
コンクリート舗装(歩道部)	Ⅲ-直接-5-121
コンクリート舗装	Ⅲ-直接-5-122
目地材料費	Ⅲ-直接-5-123
縦目地	Ⅲ-直接-5-124
横目地	Ⅲ-直接-5-125
転圧コンクリート舗装	Ⅲ-直接-5-126
薄層カラー舗装	Ⅲ-直接-5-127
インターロッキングブロック舗装	Ⅲ-直接-5-128
特殊ブロック舗装	Ⅲ-直接-5-129
Ｌ型側溝	Ⅲ-直接-5-130
Ｌ型側溝	Ⅲ-直接-5-131
プレキャストＵ型側溝	Ⅲ-直接-5-132
プレキャストＵ型側溝(本体)	Ⅲ-直接-5-133
Ｕ型側溝(蓋)	Ⅲ-直接-5-134
現場打水路	Ⅲ-直接-5-135
現場打水路	Ⅲ-直接-5-136
現場打ち水路(本体)	Ⅲ-直接-5-137
自由勾配側溝	Ⅲ-直接-5-138
自由勾配側溝(本体)	Ⅲ-直接-5-139
自由勾配側溝(蓋)	Ⅲ-直接-5-140
管(函)渠型側溝	Ⅲ-直接-5-141
管(函)渠型側溝	Ⅲ-直接-5-142
コルゲートフリューム	Ⅲ-直接-5-143
コルゲートパイプ	Ⅲ-直接-5-144
コルゲートパイプ	Ⅲ-直接-5-145
管渠	Ⅲ-直接-5-146
管渠	Ⅲ-直接-5-147
巻きコンクリート(管渠)	Ⅲ-直接-5-148
プレキャスト集水桝・街渠桝	Ⅲ-直接-5-149
プレキャスト集水桝	Ⅲ-直接-5-150
集水桝・街渠桝(本体)	Ⅲ-直接-5-151
集水桝(本体)	Ⅲ-直接-5-152
集水桝	Ⅲ-直接-5-153
蓋	Ⅲ-直接-5-154
側溝蓋	Ⅲ-直接-5-155
暗渠排水管	Ⅲ-直接-5-156
暗渠排水管敷設(地下排水)	Ⅲ-直接-5-157
フィルター材敷設(地下排水)	Ⅲ-直接-5-158
プレキャストマンホール	Ⅲ-直接-5-159
マンホール	Ⅲ-直接-5-160
プレキャストカルバート工	Ⅲ-直接-5-161
プレキャストボックス	Ⅲ-直接-5-162
プレキャストボックス	Ⅲ-直接-5-163
歩車道境界ブロック	Ⅲ-直接-5-164
歩車道境界ブロック	Ⅲ-直接-5-165

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
地先境界ブロック	Ⅲ-直接-5-166
地先境界ブロック	Ⅲ-直接-5-167
植樹ブロック	Ⅲ-直接-5-168
植樹ブロック	Ⅲ-直接-5-169
間詰コンクリート	Ⅲ-直接-5-170
間詰砕石	Ⅲ-直接-5-171
客土	Ⅲ-直接-5-172
植樹帯盛土	Ⅲ-直接-5-173
アスカーブ	Ⅲ-直接-5-174
アスカーブ	Ⅲ-直接-5-175
踏掛版工	Ⅲ-直接-5-176
溶融式区画線	Ⅲ-直接-5-177
溶融式区画線	Ⅲ-直接-5-178
ペイント式区画線	Ⅲ-直接-5-179
ペイント式区画線	Ⅲ-直接-5-180
高視認性区画線	Ⅲ-直接-5-181
区画線消去	Ⅲ-直接-5-182
区画線消去	Ⅲ-直接-5-183
境界杭	Ⅲ-直接-5-184
境界鋲	Ⅲ-直接-5-185
視線誘導標	Ⅲ-直接-5-186
距離標	Ⅲ-直接-5-187
道路鋲	Ⅲ-直接-5-188
車線分離標	Ⅲ-直接-5-189
車線分離標	Ⅲ-直接-5-190
標識柱(路側式)	Ⅲ-直接-5-191
標識板(案内)	Ⅲ-直接-5-192
標識板(警戒等)	Ⅲ-直接-5-193
添架式標識板取付金具	Ⅲ-直接-5-194
標識基礎	Ⅲ-直接-5-195
標識基礎	Ⅲ-直接-5-196
門型標識柱	Ⅲ-直接-5-197
門型標識柱	Ⅲ-直接-5-198
片持標識柱	Ⅲ-直接-5-199
片持標識柱	Ⅲ-直接-5-200
着雪防止板	Ⅲ-直接-5-201
金網・ロープ(ロックネット)	Ⅲ-直接-5-202
アンカー(ロックネット)	Ⅲ-直接-5-203
支柱(ロックネット)	Ⅲ-直接-5-204
アンカー(ロックネット)	Ⅲ-直接-5-205
支柱(ロックネット)	Ⅲ-直接-5-206
繊維網	Ⅲ-直接-5-207
落石防護柵	Ⅲ-直接-5-208
ロープ・金網	Ⅲ-直接-5-209
支柱	Ⅲ-直接-5-210
ステーロープ	Ⅲ-直接-5-211
遮音壁	Ⅲ-直接-5-212
騒音低減装置	Ⅲ-直接-5-213
ガードレール	Ⅲ-直接-5-214
ガードレール	Ⅲ-直接-5-215
ガードケーブル	Ⅲ-直接-5-216
ガードケーブル	Ⅲ-直接-5-217

ユニット区分	積算基準頁
ガードパイプ	Ⅲ-直接-5-218
ガードパイプ	Ⅲ-直接-5-219
ボックスビーム	Ⅲ-直接-5-220
ボックスビーム	Ⅲ-直接-5-221
車止めポスト	Ⅲ-直接-5-222
車止めポスト	Ⅲ-直接-5-223
立入防止柵	Ⅲ-直接-5-224
基礎ブロック(立入防止柵)	Ⅲ-直接-5-225
支柱(立入防止柵)	Ⅲ-直接-5-226
金網(フェンス)(立入防止柵)	Ⅲ-直接-5-227
転落(横断)防止柵	Ⅲ-直接-5-228
転落(横断)防止柵	Ⅲ-直接-5-229
ビーム・パネル(転落(横断)防止柵)	Ⅲ-直接-5-230
遮光フェンス	Ⅲ-直接-5-231
植樹	Ⅲ-直接-5-232
植樹	Ⅲ-直接-5-233
樹名板	Ⅲ-直接-5-234
ケーブル配管(歩道部)	Ⅲ-直接-5-235
ケーブル配管(交差点横断部)	Ⅲ-直接-5-236
ケーブル配管	Ⅲ-直接-5-237
ハンドホール	Ⅲ-直接-5-238
ハンドホール	Ⅲ-直接-5-239
照明柱基礎	Ⅲ-直接-5-240
照明柱	Ⅲ-直接-5-241
防雪柵工	Ⅲ-直接-5-242
防雪柵	Ⅲ-直接-5-243
雪崩予防柵工	Ⅲ-直接-5-244
雪崩予防柵基礎	Ⅲ-直接-5-245
雪崩予防柵	Ⅲ-直接-5-246
雪崩予防柵アンカー	Ⅲ-直接-5-247

3.1.6 河川編

現場打基礎	Ⅲ-直接-6-1
現場打基礎	Ⅲ-直接-6-2
場所打基礎	Ⅲ-直接-6-3
プレキャスト基礎	Ⅲ-直接-6-4
プレキャスト基礎	Ⅲ-直接-6-5
プレキャスト基礎	Ⅲ-直接-6-6
中詰(プレキャスト基礎)	Ⅲ-直接-6-7
矢板工(護岸基礎)	Ⅲ-直接-6-8
矢板工(矢板護岸)	Ⅲ-直接-6-9
一本土台	Ⅲ-直接-6-10
片梯子土台	Ⅲ-直接-6-11
梯子土台	Ⅲ-直接-6-12
止杭一本土台	Ⅲ-直接-6-13
笠コンクリート	Ⅲ-直接-6-14
プレキャスト笠コンクリート	Ⅲ-直接-6-15
プレキャスト横帯コンクリート	Ⅲ-直接-6-16
巨石張	Ⅲ-直接-6-17
巨石張	Ⅲ-直接-6-18
巨石積	Ⅲ-直接-6-19
巨石採取	Ⅲ-直接-6-20

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
巨石据付	Ⅲ-直接-6-21
巨石据付	Ⅲ-直接-6-22
植石張	Ⅲ-直接-6-23
かごマット	Ⅲ-直接-6-24
かごマット	Ⅲ-直接-6-25
柳枝	Ⅲ-直接-6-26
玉石階段	Ⅲ-直接-6-27
杭柵	Ⅲ-直接-6-28
連柴柵	Ⅲ-直接-6-29
粗朶法覆	Ⅲ-直接-6-30
玉石柳枝	Ⅲ-直接-6-31
じゃかご	Ⅲ-直接-6-32
じゃかご	Ⅲ-直接-6-33
ふとんかご	Ⅲ-直接-6-34
ふとんかご	Ⅲ-直接-6-35
かご枠	Ⅲ-直接-6-36
石材料	Ⅲ-直接-6-37
石材料(かごマット)	Ⅲ-直接-6-38
石材料(捨石)	Ⅲ-直接-6-39
消波根固めブロック製作	Ⅲ-直接-6-40
消波根固めブロック製作	Ⅲ-直接-6-41
消波根固めブロック据付	Ⅲ-直接-6-42
消波根固めブロック据付	Ⅲ-直接-6-43
消波根固めブロック運搬	Ⅲ-直接-6-44
消波根固めブロック仮置	Ⅲ-直接-6-45
袋詰玉石	Ⅲ-直接-6-46
間詰石	Ⅲ-直接-6-47
採取小割	Ⅲ-直接-6-48
粗朶沈床	Ⅲ-直接-6-49
木工沈床	Ⅲ-直接-6-50
改良沈床	Ⅲ-直接-6-51
粗朶単床	Ⅲ-直接-6-52
粗朶柵	Ⅲ-直接-6-53
捨石	Ⅲ-直接-6-54
捨石	Ⅲ-直接-6-55
表面均し	Ⅲ-直接-6-56
元付	Ⅲ-直接-6-57
元付	Ⅲ-直接-6-58
杭出し水制	Ⅲ-直接-6-59
配管設置(埋設部)	Ⅲ-直接-6-60
配管設置(埋設部)	Ⅲ-直接-6-61
配管設置(露出部)	Ⅲ-直接-6-62
ハンドホール	Ⅲ-直接-6-63
ハンドホール	Ⅲ-直接-6-64
ヒューム管	Ⅲ-直接-6-65
ＰＣ管	Ⅲ-直接-6-66
ダクタイル鋳鉄管	Ⅲ-直接-6-67
ＰＣ函渠	Ⅲ-直接-6-68
可とう継手	Ⅲ-直接-6-69
取替式止水板	Ⅲ-直接-6-70
函渠接続	Ⅲ-直接-6-71
スリップバー	Ⅲ-直接-6-72
銘板	Ⅲ-直接-6-73
表示板	Ⅲ-直接-6-74
ステップ	Ⅲ-直接-6-75
プレキャスト階段	Ⅲ-直接-6-76
量水標	Ⅲ-直接-6-77
水位計	Ⅲ-直接-6-78
流量計	Ⅲ-直接-6-79
グラウトホール	Ⅲ-直接-6-80
3.1.7 砂防編	
岩盤清掃	Ⅲ-直接-7-1
砂防ソイルセメント	Ⅲ-直接-7-2
堤冠コンクリート	Ⅲ-直接-7-3
水抜暗渠	Ⅲ-直接-7-4
鋼製枠	Ⅲ-直接-7-5
鋼製枠(格子・スリット)	Ⅲ-直接-7-6
隔壁コンクリート基礎	Ⅲ-直接-7-7
枠内中詰	Ⅲ-直接-7-8
山腹Ｕ型側溝	Ⅲ-直接-7-9
山腹コルゲートフリューム	Ⅲ-直接-7-10
山腹Ｕ型側溝明暗渠	Ⅲ-直接-7-11
山腹コルゲートフリューム明暗渠	Ⅲ-直接-7-12
山腹暗渠	Ⅲ-直接-7-13
ボーリング	Ⅲ-直接-7-14
ボーリング洗浄	Ⅲ-直接-7-15
保孔管	Ⅲ-直接-7-16
井戸中詰	Ⅲ-直接-7-17
ボーリング仮設機材	Ⅲ-直接-7-18
掘削土留(集水井掘削)	Ⅲ-直接-7-19
プレキャスト井筒	Ⅲ-直接-7-20
固定基礎コンクリート	Ⅲ-直接-7-21
底張コンクリート	Ⅲ-直接-7-22
井戸蓋	Ⅲ-直接-7-23
止水板(砂防)	Ⅲ-直接-7-24
均しコンクリート	Ⅲ-直接-7-25
均しコンクリート	Ⅲ-直接-7-26
3.1.8 工場製作・塗装編	
製作加工	Ⅲ-直接-8-1
製作加工	Ⅲ-直接-8-2
製作加工	Ⅲ-直接-8-3
製作加工	Ⅲ-直接-8-4
製作加工	Ⅲ-直接-8-5
製作加工	Ⅲ-直接-8-6
ボルト・ナット	Ⅲ-直接-8-7
ボルト・ナット	Ⅲ-直接-8-8
スタッドジベル	Ⅲ-直接-8-9
素地調整	Ⅲ-直接-8-10
素地調整	Ⅲ-直接-8-11
素地調整	Ⅲ-直接-8-12
前処理	Ⅲ-直接-8-13
下塗	Ⅲ-直接-8-14

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
下塗	Ⅲ-直接-8-15
下塗	Ⅲ-直接-8-16
下塗	Ⅲ-直接-8-17
中塗	Ⅲ-直接-8-18
中塗	Ⅲ-直接-8-19
中塗	Ⅲ-直接-8-20
上塗	Ⅲ-直接-8-21
上塗	Ⅲ-直接-8-22
上塗	Ⅲ-直接-8-23
上塗	Ⅲ-直接-8-24
メッキ	Ⅲ-直接-8-25
小運搬	Ⅲ-直接-8-26
輸送	Ⅲ-直接-8-27
3.1.9 橋梁上部編	
排水管	Ⅲ-直接-9-1
排水桝	Ⅲ-直接-9-2
アンカーボルト穿孔及び設置(排水管)	Ⅲ-直接-9-3
鋼・ゴム製伸縮装置	Ⅲ-直接-9-4
鋼・ゴム製伸縮装置	Ⅲ-直接-9-5
埋設ジョイント	Ⅲ-直接-9-6
ベント設備	Ⅲ-直接-9-7
ベント基礎	Ⅲ-直接-9-8
プレキャスト地覆	Ⅲ-直接-9-9
橋梁用防護柵	Ⅲ-直接-9-10
橋梁用高欄	Ⅲ-直接-9-11
検査路	Ⅲ-直接-9-12
側板	Ⅲ-直接-9-13
芯出し素地調整(落橋防止装置)	Ⅲ-直接-9-14
現場孔明(落橋防止装置)	Ⅲ-直接-9-15
連結板取付(落橋防止装置)	Ⅲ-直接-9-16
現場溶接(落橋防止装置)	Ⅲ-直接-9-17
ボルト締(落橋防止装置)	Ⅲ-直接-9-18
アンカー(落橋防止装置)	Ⅲ-直接-9-19
3.1.10 橋梁下部編	
現場溶接	Ⅲ-直接-10-1
3.1.11 トンネル編	
裏込注入	Ⅲ-直接-11-1
3.1.12 共同溝・電線共同溝・情報ボックス・地下横断歩道・地下駐車場編	
防水工	Ⅲ-直接-12-1
防水	Ⅲ-直接-12-2
防水保護	Ⅲ-直接-12-3
埋設管路	Ⅲ-直接-12-4
露出管路	Ⅲ-直接-12-5
埋設表示シート	Ⅲ-直接-12-6
プレキャストボックス	Ⅲ-直接-12-7
蓋	Ⅲ-直接-12-8
ハンドホール	Ⅲ-直接-12-9
3.1.13 修繕編	
路面切削	Ⅲ-直接-13-1
舗装版切断	Ⅲ-直接-13-2
舗装版破砕	Ⅲ-直接-13-3
舗装版破砕	Ⅲ-直接-13-4
舗装版破砕	Ⅲ-直接-13-5
切削オーバーレイ	Ⅲ-直接-13-6
路上路盤再生	Ⅲ-直接-13-7
路上表層再生	Ⅲ-直接-13-8
グルービング	Ⅲ-直接-13-9
グルービング(路面排水用)	Ⅲ-直接-13-10
鋼板接着	Ⅲ-直接-13-11
クラック処理	Ⅲ-直接-13-12
増桁架設	Ⅲ-直接-13-13
表面荒らし	Ⅲ-直接-13-14
プレキャストＰＣ床版取替	Ⅲ-直接-13-15
鋼製高欄取替	Ⅲ-直接-13-16
床版運搬処理	Ⅲ-直接-13-17
鋼製伸縮継手補修	Ⅲ-直接-13-18
埋設ジョイント補修	Ⅲ-直接-13-19
高欄・手摺	Ⅲ-直接-13-20
ノンスリップ	Ⅲ-直接-13-21
コンクリート面清掃	Ⅲ-直接-13-22
清掃・水洗い(素地調整)	Ⅲ-直接-13-23
張紙防止塗装	Ⅲ-直接-13-24
内装板	Ⅲ-直接-13-25
線導水	Ⅲ-直接-13-26
面導水	Ⅲ-直接-13-27
現場溶接鋼桁補強	Ⅲ-直接-13-28
支承取替	Ⅲ-直接-13-29
支承取替	Ⅲ-直接-13-30
チッピング	Ⅲ-直接-13-31
削孔	Ⅲ-直接-13-32
アンカーボルト挿入	Ⅲ-直接-13-33
鋼製沓座設置	Ⅲ-直接-13-34
鋼板巻立て	Ⅲ-直接-13-35
定着用アンカー	Ⅲ-直接-13-36
鋼板取付	Ⅲ-直接-13-37
現場塗装	Ⅲ-直接-13-38
コンクリート削孔	Ⅲ-直接-13-39
コンクリート巻立て	Ⅲ-直接-13-40
3.1.14 維持編	
緊急巡視	Ⅲ-直接-14-1
通常巡回	Ⅲ-直接-14-2
緊急巡回	Ⅲ-直接-14-3
除草	Ⅲ-直接-14-4
除草	Ⅲ-直接-14-5
集草(1)(除草)	Ⅲ-直接-14-6
集草(2)(除草)	Ⅲ-直接-14-7

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
集草(除草)	Ⅲ-直接-14-8
積込・荷卸(除草)	Ⅲ-直接-14-9
積込・運搬(除草)	Ⅲ-直接-14-10
運搬(除草)	Ⅲ-直接-14-11
施肥	Ⅲ-直接-14-12
抜根	Ⅲ-直接-14-13
伐木・伐竹(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-14
除根(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-15
整地(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-16
集積(1)(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-17
集積(2)(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-18
積込(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-19
運搬(伐木除根)	Ⅲ-直接-14-20
下地処理	Ⅲ-直接-14-21
下地処理	Ⅲ-直接-14-22
鉄筋防錆処理	Ⅲ-直接-14-23
ひび割れ注入	Ⅲ-直接-14-24
ひび割れ充填	Ⅲ-直接-14-25
断面修復	Ⅲ-直接-14-26
表面処理	Ⅲ-直接-14-27
削孔	Ⅲ-直接-14-28
注入	Ⅲ-直接-14-29
注入設備据付・解体	Ⅲ-直接-14-30
欠損部取壊し	Ⅲ-直接-14-31
欠損部補修	Ⅲ-直接-14-32
アスファルト注入	Ⅲ-直接-14-33
目地補修(舗装版目地補修)	Ⅲ-直接-14-34
クラック防止シート張(舗装版目地補修)	Ⅲ-直接-14-35
わだち掘れ補修	Ⅲ-直接-14-36
パッチング	Ⅲ-直接-14-37
クラック処理	Ⅲ-直接-14-38
ガードレール復旧	Ⅲ-直接-14-39
ガードパイプ復旧	Ⅲ-直接-14-40
標識	Ⅲ-直接-14-41
収集・集積(散在塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-42
運搬(散在塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-43
収集・集積(1)(堆積塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-44
収集・集積(2)(堆積塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-45
運搬(堆積塵芥処理)	Ⅲ-直接-14-46
水面清掃	Ⅲ-直接-14-47
樹木剪定	Ⅲ-直接-14-48
樹木剪定	Ⅲ-直接-14-49
寄植剪定	Ⅲ-直接-14-50
寄植剪定	Ⅲ-直接-14-51
補植	Ⅲ-直接-14-52
補植	Ⅲ-直接-14-53
支柱	Ⅲ-直接-14-54
支柱	Ⅲ-直接-14-55
樹木施肥	Ⅲ-直接-14-56
寄植・芝施肥	Ⅲ-直接-14-57
潅水	Ⅲ-直接-14-58

ユニット区分	積算基準頁
防除	Ⅲ-直接-14-59
芝刈	Ⅲ-直接-14-60
抜根除草	Ⅲ-直接-14-61
寄植・芝薬剤散布	Ⅲ-直接-14-62
掘取(移植)	Ⅲ-直接-14-63
地被類植付	Ⅲ-直接-14-64
地被類植付	Ⅲ-直接-14-65
視線誘導標復旧	Ⅲ-直接-14-66
張紙防止シート	Ⅲ-直接-14-67
路面清掃(1)	Ⅲ-直接-14-68
路面清掃(2)	Ⅲ-直接-14-69
路面清掃(歩道等)	Ⅲ-直接-14-70
路肩整正(1)	Ⅲ-直接-14-71
路肩整正(2)	Ⅲ-直接-14-72
清掃作業(1)(側溝清掃)	Ⅲ-直接-14-73
清掃作業(2)(側溝清掃)	Ⅲ-直接-14-74
視線誘導標清掃	Ⅲ-直接-14-75
移動(側溝清掃)	Ⅲ-直接-14-76
側溝蓋撤去・設置(側溝清掃)	Ⅲ-直接-14-77
清掃作業(管渠清掃)	Ⅲ-直接-14-78
移動(管渠清掃)	Ⅲ-直接-14-79
桝清掃(1)	Ⅲ-直接-14-80
桝清掃(2)	Ⅲ-直接-14-81
伸縮継手清掃	Ⅲ-直接-14-82
排水管清掃	Ⅲ-直接-14-83
ガードレール清掃	Ⅲ-直接-14-84
ガードパイプ清掃	Ⅲ-直接-14-85
標識清掃(1)	Ⅲ-直接-14-86
標識清掃(2)	Ⅲ-直接-14-87
トンネル照明器具清掃(1)	Ⅲ-直接-14-88
トンネル照明器具清掃(2)	Ⅲ-直接-14-89
トンネル壁面清掃	Ⅲ-直接-14-90
スノーポール設置	Ⅲ-直接-14-91
落雪(せり出し)防護柵	Ⅲ-直接-14-92
防雪柵現地張出し・収納	Ⅲ-直接-14-93
応急作業	Ⅲ-直接-14-94

3.1.15 撤去編

転落(横断)防止柵撤去	Ⅲ-直接-15-1
ビーム・パネル（転落(横断)防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-2
基礎ブロック（立入防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-3
支柱（立入防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-4
金網（フェンス）（立入防止柵）撤去	Ⅲ-直接-15-5
ガードレール撤去	Ⅲ-直接-15-6
ガードパイプ撤去	Ⅲ-直接-15-7
標識柱・基礎撤去(路側式)	Ⅲ-直接-15-8
標識板(警戒等)撤去(路側式)	Ⅲ-直接-15-9
標識板(案内)撤去(片持式・門型式)	Ⅲ-直接-15-10
視線誘導標撤去	Ⅲ-直接-15-11
コンクリート構造物取壊し	Ⅲ-直接-15-12
コンクリートはつり	Ⅲ-直接-15-13

3.1 直接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
根固めブロック撤去	Ⅲ-直接-15-14
U型側溝撤去	Ⅲ-直接-15-15
蓋版撤去	Ⅲ-直接-15-16
ロープ・金網（落石防護柵）撤去	Ⅲ-直接-15-17
支柱（落石防護柵）撤去	Ⅲ-直接-15-18
道路鋲撤去	Ⅲ-直接-15-19
車線分離標撤去	Ⅲ-直接-15-20
インターロッキングブロック撤去	Ⅲ-直接-15-21
歩車道境界ブロック撤去	Ⅲ-直接-15-22
鋼製高欄撤去	Ⅲ-直接-15-23
床版破砕及び撤去	Ⅲ-直接-15-24
桁材撤去	Ⅲ-直接-15-25
スノーポール撤去	Ⅲ-直接-15-26
殻運搬(路面切削)	Ⅲ-直接-15-27
舗装版運搬処理	Ⅲ-直接-15-28
殻運搬	Ⅲ-直接-15-29
殻処分	Ⅲ-直接-15-30
現場発生品・支給品運搬	Ⅲ-直接-15-31

3.1.16 仮設編

足場	Ⅲ-直接-16-1
足場(アンカー)	Ⅲ-直接-16-2
足場(鉄筋挿入)	Ⅲ-直接-16-3
足場(砂防)	Ⅲ-直接-16-4
足場	Ⅲ-直接-16-5
足場	Ⅲ-直接-16-6
足場	Ⅲ-直接-16-7
足場	Ⅲ-直接-16-8
足場	Ⅲ-直接-16-9
足場	Ⅲ-直接-16-10
足場	Ⅲ-直接-16-11
床版足場	Ⅲ-直接-16-12
足場・防護	Ⅲ-直接-16-13
手摺先行型足場設置・撤去(足場)	Ⅲ-直接-16-14
手摺先行型足場損料(足場)	Ⅲ-直接-16-15
吊足場設置・撤去(足場)	Ⅲ-直接-16-16
吊足場損料(足場)	Ⅲ-直接-16-17
支保	Ⅲ-直接-16-18
防護	Ⅲ-直接-16-19
防護	Ⅲ-直接-16-20
設置・撤去(防護)	Ⅲ-直接-16-21
設置・撤去(防護)	Ⅲ-直接-16-22
損料(防護)	Ⅲ-直接-16-23
賃料(防護)	Ⅲ-直接-16-24
設置・撤去(敷鉄板)	Ⅲ-直接-16-25
賃料(敷鉄板)	Ⅲ-直接-16-26
土砂締切	Ⅲ-直接-16-27
コンクリート締切	Ⅲ-直接-16-28
土のう積	Ⅲ-直接-16-29
大型土のう	Ⅲ-直接-16-30

築堤・護岸

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
河川土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂）	掘削	10108010	Ⅲ-直接-1-1
		掘削（軟岩）			
		掘削（硬岩）			
			土砂等運搬	10120010	Ⅲ-直接-1-6
			整地	10114010	Ⅲ-直接-1-9
	盛土工		－	－	
		盛土（流用土）	路体（築堤）盛土 路床盛土	10145010 10145020	Ⅲ-直接-1-11 Ⅲ-直接-1-13
		盛土（発生土）			
		盛土（採取土）			
		盛土（購入土）			
			土材料	10118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	10120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	10118010	Ⅲ-直接-1-18
	盛土補強工		－	－	
		安定シート・ネット	安定シート・ネット	10101060	Ⅲ-直接-2-1
		ジオテキスタイル補強土壁	ジオテキスタイル	10112290	Ⅲ-直接-1-41
			土材料	10118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	10120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	10118010	Ⅲ-直接-1-18
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	10125010	Ⅲ-直接-1-23
		法面整形（盛土部）			
			土材料	10118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	10120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	10118010	Ⅲ-直接-1-18
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	10114010	Ⅲ-直接-1-9
			残土運搬	10111010	Ⅲ-直接-1-25
			残土等処分	10111020	Ⅲ-直接-1-27
軽量盛土工	軽量盛土工		軽量盛土工	10109040	Ⅲ-直接-1-36
		軽量盛土			
		コンクリート床版			
		基礎コンクリート			
		壁体			
		裏込砕石			
地盤改良工	表層安定処理工		－	－	
		ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ	ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ	10111060	Ⅲ-直接-2-2
		安定シート・ネット	安定シート・ネット	10101060	Ⅲ-直接-2-1
		安定処理	安定処理	10101080	Ⅲ-直接-2-7
		置換	置換	10105030	Ⅲ-直接-2-8
			土材料	10118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	10120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	10118010	Ⅲ-直接-1-18

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
地盤改良工	パイルネット工		－	－	
		既製コンクリート杭	既製杭	10107080	Ⅲ-直接-2-5
		木杭			
		連結鉄筋	安定シート・ネット	10101060	Ⅲ-直接-2-1
		安定シート・ネット			
		サンドﾏｯﾄ	サンドﾏｯﾄ（パイルネット）	10111070	Ⅲ-直接-2-3
	バーチカルドレーン工		－	－	
		サンドドレーン	サンドドレーン	10111050	Ⅲ-直接-2-10
		袋詰式サンドドレーン	袋詰式サンドドレーン	10128040	Ⅲ-直接-2-11
		ペーパードレーン	ペーパードレーン	10129020	Ⅲ-直接-2-12
	締固め改良工		－	－	
		サンドコンパクションパイル	サンドコンパクションパイル	10111040	Ⅲ-直接-2-13
	固結工		－	－	
		粉体噴射撹拌	粉体噴射撹拌	10128120	Ⅲ-直接-2-14
		スラリー撹拌	スラリー撹拌	10113030	Ⅲ-直接-2-15
		高圧噴射撹拌	高圧噴射撹拌	10110060	Ⅲ-直接-2-17
		薬液注入	薬液注入	10136030	Ⅲ-直接-2-19
			泥水処理（現場内）	10119030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	10119080	Ⅲ-直接-2-22
			残土等処分	10111020	Ⅲ-直接-1-27
護岸基礎工	基礎工		－	－	
		現場打基礎	現場打基礎	10109050	Ⅲ-直接-6-1
		プレキャスト基礎	プレキャスト基礎	10128100	Ⅲ-直接-6-4
	矢板工（護岸基礎）		矢板工（護岸基礎）	10136010	Ⅲ-直接-6-8
		鋼矢板			
		広幅鋼矢板			
		軽量鋼矢板			
		コンクリート矢板			
	土台基礎工		－	－	
		一本土台	一本土台	10102050	Ⅲ-直接-6-10
		片梯子土台	片梯子土台	10106190	Ⅲ-直接-6-11
		梯子土台	梯子土台	10126110	Ⅲ-直接-6-12
		止杭一本土台	止杭一本土台	10120070	Ⅲ-直接-6-13
矢板護岸工	笠コンクリート工		－	－	
		笠コンクリート	笠コンクリート	10106180	Ⅲ-直接-6-14
		プレキャスト笠コンクリート	プレキャスト笠コンクリート	10128080	Ⅲ-直接-6-15
	矢板工		－	－	
		鋼矢板	矢板工（矢板護岸）	10136020	Ⅲ-直接-6-9
		軽量鋼矢板			
		広幅鋼矢板			
		コンクリート矢板			
		タイロッド			
		腹起し			
		控え版			

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 (工種)	ﾚﾍﾞﾙ3 (種別)	ﾚﾍﾞﾙ4 (細別)	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法覆護岸工	コンクリートブロック工		－	－	
		コンクリートブロック基礎	現場打基礎	10109050	Ⅲ-直接-6-1
			プレキャスト基礎	10128100	Ⅲ-直接-6-4
		コンクリートブロック積	間知ブロック積	10109080	Ⅲ-直接-5-11
		間知ブロック張	間知ブロック張	10109060	Ⅲ-直接-5-1
		平ブロック張	平ブロック張	10127130	Ⅲ-直接-5-3
		連節ブロック張	連節ブロック張	10144020	Ⅲ-直接-5-5
			大型連節ブロック張	10105070	Ⅲ-直接-5-8
		緑化ブロック積	緑化ブロック積	10142040	Ⅲ-直接-5-16
			大型緑化ブロック積	10105060	Ⅲ-直接-5-18
		天端保護ブロック	－	－	
		小口止コンクリート	－	－	
		ブロック植栽	ブロック植樹	10128150	Ⅲ-直接-5-26
		天端コンクリート	天端コンクリート	10119060	Ⅲ-直接-3-1
	護岸付属物工		－	－	
		横帯コンクリート			
		プレキャスト横帯コンクリート			
		小口止			
		プレキャスト小口止			
		縦帯コンクリート			
		プレキャスト縦帯コンクリート			
		巻止コンクリート			
		プレキャスト巻止コンクリート			
		平張コンクリート			
		小口止矢板	小口止矢板	10110090	Ⅲ-直接-4-7
	緑化ブロック工		－	－	
			現場打基礎	10109050	Ⅲ-直接-6-1
			プレキャスト基礎	10128100	Ⅲ-直接-6-4
		緑化ブロック積	緑化ブロック積	10142040	Ⅲ-直接-5-16
			大型緑化ブロック積	10105060	Ⅲ-直接-5-18
		ブロック植栽	ブロック植樹	10128150	Ⅲ-直接-5-26
		天端コンクリート	天端コンクリート	10119060	Ⅲ-直接-3-1
	環境護岸ブロック工		－	－	
			現場打基礎	10109050	Ⅲ-直接-6-1
			プレキャスト基礎	10128100	Ⅲ-直接-6-4
		階段ブロック積	大型階段ブロック張	10105050	Ⅲ-直接-5-9
		魚巣ブロック積			
		天端コンクリート	天端コンクリート	10119060	Ⅲ-直接-3-1
	石積（張）工		－	－	
		石積（張）基礎	現場打基礎	10109050	Ⅲ-直接-6-1
			プレキャスト基礎	10128100	Ⅲ-直接-6-4
		石積	石積	10102100	Ⅲ-直接-5-28
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		石張	石張	10102110	Ⅲ-直接-5-29
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		天端コンクリート	天端コンクリート	10119060	Ⅲ-直接-3-1

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 (工種)	ﾚﾍﾞﾙ3 (種別)	ﾚﾍﾞﾙ4 (細別)	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法覆護岸工	法枠工		－	－	
		プレキャスト法枠	法枠	10125041	Ⅲ-直接-5-56
		吹付枠			
		現場打法枠			
			中詰	10121020	Ⅲ-直接-5-61
	多自然型護岸工		－	－	
			現場打基礎	10109050	Ⅲ-直接-6-1
			プレキャスト基礎	10128100	Ⅲ-直接-6-4
		木杭	木杭	10107070	Ⅲ-直接-4-23
		巨石張	巨石張	10107160	Ⅲ-直接-6-17
			巨石採取	10107350	Ⅲ-直接-6-20
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		巨石積	巨石積	10107150	Ⅲ-直接-6-19
			巨石採取	10107350	Ⅲ-直接-6-20
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		巨石据付	巨石据付	10107120	Ⅲ-直接-6-21
		雑割石張			
		かごﾏｯﾄ	かごﾏｯﾄ	10106160	Ⅲ-直接-6-24
			石材料（かごﾏｯﾄ）	10102071	Ⅲ-直接-6-38
		柳枝	柳枝	10142010	Ⅲ-直接-6-26
		玉石階段	玉石階段	10116020	Ⅲ-直接-6-27
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		杭柵	杭柵	10108060	Ⅲ-直接-6-28
		連柴柵	連柴柵	10144010	Ⅲ-直接-6-29
		粗朶法覆	粗朶法覆	10115060	Ⅲ-直接-6-30
		玉石柳枝	玉石柳枝	10116030	Ⅲ-直接-6-31
	吹付工		法面吹付工	10125030	Ⅲ-直接-5-52
		モルタル吹付			
		コンクリート吹付			
	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	10112300	Ⅲ-直接-5-33
		張芝	張芝	10126150	Ⅲ-直接-5-44
		筋芝	筋芝	10113040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	10102080	Ⅲ-直接-5-47
			人工張芝	10112360	Ⅲ-直接-5-48
			ラス張	10141030	Ⅲ-直接-5-51
	覆土工		－	－	
		覆土（流用土）	覆土	10128030	Ⅲ-直接-1-48
		覆土（発生土）			
		覆土（採取土）			
		覆土（購入土）			
			土材料	10118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	10120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	10118010	Ⅲ-直接-1-18

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法覆護岸工	羽口工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	10112150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	10128060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		かご枠	かご枠	10106170	Ⅲ-直接-6-36
		連節ブロック張	連節ブロック張	10144020	Ⅲ-直接-5-5
擁壁護岸工	場所打擁壁工		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	10110080	Ⅲ-直接-3-5
		重力式擁壁	重力式擁壁	10112190	Ⅲ-直接-3-7
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	10135030	Ⅲ-直接-3-9
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	10107100	Ⅲ-直接-3-11
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	10104020	Ⅲ-直接-3-13
		鉄筋	※各項目に含む	－	
		裏込砕石		－	
		止水板		－	
	プレキャスト擁壁工		－	－	
		プレキャストＬ型擁壁	プレキャストＬ型擁壁	10128140	Ⅲ-直接-5-75
		プレキャスト逆Ｔ型擁壁	プレキャスト逆Ｔ型擁壁	10128170	Ⅲ-直接-5-77
		側溝付プレキャスト擁壁	側溝付プレキャスト擁壁	10115080	Ⅲ-直接-5-79
根固め工	根固めブロック工		－	－	
		根固めブロック製作	消波根固めブロック製作	10112220	Ⅲ-直接-6-40
		根固めブロック据付	消波根固めブロック据付	10112210	Ⅲ-直接-6-42
			消波根固めブロック運搬	10112200	Ⅲ-直接-6-44
			消波根固めブロック仮置	10112310	Ⅲ-直接-6-45
		袋詰玉石	袋詰玉石	10128050	Ⅲ-直接-6-46
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
	沈床工		－	－	
		粗朶沈床	粗朶沈床	10115050	Ⅲ-直接-6-49
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		木工沈床	木工沈床	10135040	Ⅲ-直接-6-50
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		改良沈床	改良沈床	10106150	Ⅲ-直接-6-51
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		袋詰玉石	袋詰玉石	10128050	Ⅲ-直接-6-46
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		吸出し防止材	吸出し防止材	10113010	Ⅲ-直接-5-24
	捨石工		－	－	
		捨石	捨石	10113020	Ⅲ-直接-6-54
		表面均し			
			石材料（捨石）	10102072	Ⅲ-直接-6-39
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	10112150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	10128060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
水制工	沈床工		－	－	
		粗朶沈床	粗朶沈床	10115050	Ⅲ-直接-6-49
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		木工沈床	木工沈床	10135040	Ⅲ-直接-6-50
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		改良沈床	改良沈床	10106150	Ⅲ-直接-6-51
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		吸出し防止材	吸出し防止材	10113010	Ⅲ-直接-5-24
		粗朶単床			
		粗朶柵			
	捨石工		－	－	
		捨石	捨石	10113020	Ⅲ-直接-6-54
		表面均し			
			石材料（捨石）	10102072	Ⅲ-直接-6-39
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	10112150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	10128060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	10102070	Ⅲ-直接-6-37
	元付工		－	－	
		元付	元付	10135050	Ⅲ-直接-6-57
	杭出し水制工		－	－	
		杭出し水制	杭出し水制	10108070	Ⅲ-直接-6-59
付帯道路工	路側防護柵工		－	－	
		ガードレール	ガードレール	10106050	Ⅲ-直接-5-214
		ガードパイプ	ガードパイプ	10106070	Ⅲ-直接-5-218
	舗装準備工		－	－	
		不陸整正	不陸整正（車道部）	10128010	Ⅲ-直接-5-88
		調整コンクリート	調整コンクリート	10117010	Ⅲ-直接-5-91
	アスファルト舗装工		アスファルト舗装工（車道部）	10101010	Ⅲ-直接-5-93
		下層路盤	下層路盤（車道部）	10106010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	10145050	Ⅲ-直接-5-97
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	10112010	Ⅲ-直接-5-98
		路盤	路盤（歩道部）	10145040	Ⅲ-直接-5-101
		基層	基層（車道・路肩部）	10107020	Ⅲ-直接-5-103
		中間層	中間層（車道・路肩部）	10117020	Ⅲ-直接-5-104
		表層	表層（車道・路肩部）	10127010	Ⅲ-直接-5-107
			表層（歩道部）	10127030	Ⅲ-直接-5-109

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路工	コンクリート舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道部）	10106010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	10145050	Ⅲ-直接-5-97
			路盤（歩道部）	10145040	Ⅲ-直接-5-101
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	10112010	Ⅲ-直接-5-98
		アスファルト中間層	中間層（車道・路肩部）	10117020	Ⅲ-直接-5-104
		コンクリート舗装	コンクリート舗装（車道部）	10110020	Ⅲ-直接-5-120
			コンクリート舗装（歩道部）	10110030	Ⅲ-直接-5-121
		転圧コンクリート舗装	転圧コンクリート舗装	10119020	Ⅲ-直接-5-126
		目地材料費	※各項目に含む	－	
		縦目地		－	
		横目地		－	
	薄層カラー舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道部）	10106010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	10145050	Ⅲ-直接-5-97
			路盤（歩道部）	10145040	Ⅲ-直接-5-101
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	10112010	Ⅲ-直接-5-98
		薄層カラー舗装	薄層カラー舗装	10126080	Ⅲ-直接-5-127
	ブロック舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道部）	10106010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	10145050	Ⅲ-直接-5-97
			路盤（歩道部）	10145040	Ⅲ-直接-5-101
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	10112010	Ⅲ-直接-5-98
		ブロック舗装	インターロッキングブロック舗装	10102010	Ⅲ-直接-5-128
			特殊ブロック舗装	10120030	Ⅲ-直接-5-129
		平石張			
	側溝工		－	－	
		Ｌ型側溝	Ｌ型側溝	10104010	Ⅲ-直接-5-130
		プレキャストU型側溝	U型側溝（本体）	10138031	Ⅲ-直接-5-133
			U型側溝（蓋）	10138020	Ⅲ-直接-5-134
		自由勾配側溝	自由勾配側溝（本体）	10112380	Ⅲ-直接-5-139
			自由勾配側溝（蓋）	10112370	Ⅲ-直接-5-140
		管渠	管渠	10106040	Ⅲ-直接-5-146
		側溝蓋	※各項目に含む	－	
	集水桝工		－	－	
		集水桝	集水桝（本体）	10112180	Ⅲ-直接-5-152
		プレキャスト集水桝			
		蓋	蓋	10112130	Ⅲ-直接-5-154
	縁石工		－	－	
		歩車道境界ブロック	歩車道境界ブロック	10130010	Ⅲ-直接-5-164
		地先境界ブロック	地先境界ブロック	10117030	Ⅲ-直接-5-166
		アスカーブ	アスカーブ	10101040	Ⅲ-直接-5-174
	区画線工		－	－	
		溶融式区画線	溶融式区画線	10140010	Ⅲ-直接-5-177
		ペイント式区画線	ペイント式区画線	10129010	Ⅲ-直接-5-179

築堤・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路施設工	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	10107040	Ⅲ-直接-5-184
		境界鋲	境界鋲	10107050	Ⅲ-直接-5-185
	道路付属物工		－	－	
		視線誘導標	視線誘導標	10112070	Ⅲ-直接-5-186
		道路鋲	道路鋲	10120040	Ⅲ-直接-5-188
		車線分離標	車線分離標	10112080	Ⅲ-直接-5-189
	標識工		－	－	
		標識柱	標識柱（路側式）	10127210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板	標識板（案内）	10127040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	10127060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	10119120	Ⅲ-直接-5-194
光ケーブル配管工	配管工		－	－	
		配管設置（埋設部）	配管設置（埋設部）	10126090	Ⅲ-直接-6-60
		配管設置（露出部）	配管設置（露出部）	10126100	Ⅲ-直接-6-62
	ハンドホール工		－	－	
		ハンドホール	ハンドホール	10126140	Ⅲ-直接-6-63

樋門・樋管

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
河川土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂）	掘削	10308012	Ⅲ-直接-1-2
		掘削（軟岩）			
		掘削（硬岩）			
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
	盛土工		－	－	
		盛土（流用土）	路体（築堤）盛土	10345011	Ⅲ-直接-1-12
		盛土（発生土）	路床盛土	10345021	Ⅲ-直接-1-14
		盛土（採取土）			
		盛土（購入土）			
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	10318020	Ⅲ-直接-1-22
	盛土補強工		－	－	
		安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	10301060	Ⅲ-直接-2-1
		ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	壁面材組立・設置（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	10329030	Ⅲ-直接-1-42
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ材料（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	10312530	Ⅲ-直接-1-43
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設・まきだし･敷均し･締固め	10312540	Ⅲ-直接-1-44
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	10318020	Ⅲ-直接-1-22
			暗渠排水管敷設（地下排水）	10301031	Ⅲ-直接-5-157
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	10325011	Ⅲ-直接-1-24
		法面整形（盛土部）			
	堤防天端工		－	－	
		天端敷砂利	天端敷砂利	10319100	Ⅲ-直接-1-45
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	10311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	10326190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	10310200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	10307220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	10329070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	10303050	Ⅲ-直接-1-46

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
地盤改良工	固結工		－	－	
		粉体噴射撹拌	粉体噴射撹拌	10328120	Ⅲ-直接-2-14
		ｽﾗﾘｰ撹拌	ｽﾗﾘｰ撹拌	10313031	Ⅲ-直接-2-16
		高圧噴射撹拌	高圧噴射撹拌	10310061	Ⅲ-直接-2-18
		薬液注入	薬液注入	10336031	Ⅲ-直接-2-20
			泥水処理（現場内）	10319030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	10319080	Ⅲ-直接-2-22
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
樋門･樋管本体工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10318020	Ⅲ-直接-1-22
	既製杭工		－	－	
		既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	既製コンクリート杭	10307091	Ⅲ-直接-4-21
		鋼管杭	鋼管杭	10310071	Ⅲ-直接-4-9
			杭頭処理溶接（鋼管杭）	10310072	Ⅲ-直接-4-10
			現場取卸（鋼管杭）	10310073	Ⅲ-直接-4-11
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
			鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	場所打杭工		－	－	
		場所打杭	場所打杭	10326130	Ⅲ-直接-4-12
		掘削土処理	積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	10311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		泥水処理	泥水処理（現場内）	10319030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	10319080	Ⅲ-直接-2-22

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
樋門･樋管 本体工	矢板工		－	－	
		鋼矢板	鋼矢板	10310161	Ⅲ-直接-4-1
		広幅鋼矢板	広幅鋼矢板	10327141	Ⅲ-直接-4-3
		可とう鋼矢板	可とう鋼矢板	10306420	Ⅲ-直接-4-16
	函渠工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打函渠）	10310225	Ⅲ-直接-3-19
		ﾋｭｰﾑ管	ﾋｭｰﾑ管	10327280	Ⅲ-直接-6-65
		PC 管	PC 管	10327290	Ⅲ-直接-6-66
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	10310250	Ⅲ-直接-5-145
		ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	10316130	Ⅲ-直接-6-67
		PC 函渠	PC 函渠	10327300	Ⅲ-直接-6-68
		可とう継手	可とう継手	10306420	Ⅲ-直接-6-69
		鉄筋	鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	10306290	Ⅲ-直接-3-29
		目地板	目地板	10334020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	10312610	Ⅲ-直接-3-31
		取替式止水板	取替式止水板	10320220	Ⅲ-直接-6-70
		函渠接続	函渠接続	10306430	Ⅲ-直接-6-71
		型枠	型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	10301100	Ⅲ-直接-16-1
		支保	支保	10312630	Ⅲ-直接-16-18
	翼壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打函渠）	10310225	Ⅲ-直接-3-19
		鉄筋	鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	10306290	Ⅲ-直接-3-29
		目地板	目地板	10334020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	10312610	Ⅲ-直接-3-31
		型枠	型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	10301100	Ⅲ-直接-16-1
		ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	10313120	Ⅲ-直接-6-72
	水叩工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打函渠）	10310225	Ⅲ-直接-3-19
		鉄筋	鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	10306290	Ⅲ-直接-3-29
		目地板	目地板	10334020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	10312610	Ⅲ-直接-3-31
		型枠	型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
		ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ	10313120	Ⅲ-直接-6-72

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
護床工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10318020	Ⅲ-直接-1-22
	根固めﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	10312221	Ⅲ-直接-6-41
			鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
		根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	10312211	Ⅲ-直接-6-43
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ運搬	10312200	Ⅲ-直接-6-44
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ仮置	10312310	Ⅲ-直接-6-45
		袋詰玉石	袋詰玉石	10328050	Ⅲ-直接-6-46
			石材料	10302070	Ⅲ-直接-3-28
	間詰工		－	－	
		間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
		間詰石	間詰石	10331130	Ⅲ-直接-6-47
		袋詰玉石	袋詰玉石	10328050	Ⅲ-直接-6-46
			石材料	10302070	Ⅲ-直接-6-37
		吸出し防止材	吸出し防止材	10313010	Ⅲ-直接-5-24
	沈床工		－	－	
		粗朶沈床	粗朶沈床	10315050	Ⅲ-直接-6-37
		木工沈床	木工沈床	10335040	Ⅲ-直接-6-50
		改良沈床	改良沈床	10306150	Ⅲ-直接-6-51
		袋詰玉石	袋詰玉石	10328050	Ⅲ-直接-6-46
			石材料	10302070	Ⅲ-直接-6-37
		吸出し防止材	吸出し防止材	10313010	Ⅲ-直接-5-24
		粗朶単床	粗朶単床	10315041	Ⅲ-直接-6-52
		粗朶柵	粗朶柵	10315031	Ⅲ-直接-6-53
	捨石工		－	－	
		捨石	捨石	10313021	Ⅲ-直接-6-55
			石材料（捨石）	10302072	Ⅲ-直接-6-39
		表面均し	表面均し	10327310	Ⅲ-直接-6-56
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	10312150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	10302070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	10328060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	10302070	Ⅲ-直接-6-37
		かごﾏｯﾄ	かごﾏｯﾄ	10306161	Ⅲ-直接-6-25
			石材料（かごﾏｯﾄ）	10302071	Ⅲ-直接-6-38

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
水路工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10318020	Ⅲ-直接-1-22
	側溝工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	10328210	Ⅲ-直接-5-132
		自由勾配側溝	自由勾配側溝	10312381	Ⅲ-直接-5-138
		側溝蓋	側溝蓋	10328220	Ⅲ-直接-5-155
	集水桝工		－	－	
		集水桝	基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	10328230	Ⅲ-直接-5-149
		蓋	蓋	10312130	Ⅲ-直接-5-154
	暗渠工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾊﾟｲﾌﾟ	基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
			管渠	10306041	Ⅲ-直接-5-147
			暗渠排水管敷設（地下排水）	10301031	Ⅲ-直接-5-157
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	10331050	Ⅲ-直接-5-148
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	10328262	Ⅲ-直接-5-163

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
水路工	樋門接続暗渠工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打函渠）	10310225	Ⅲ-直接-3-19
		鉄筋	鉄筋	10319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	10306290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
		支保	支保	10312630	Ⅲ-直接-16-18
		足場	足場	10301100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	10334020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	10312610	Ⅲ-直接-3-31
		取替式止水板	取替式止水板	10320220	Ⅲ-直接-6-70
		ﾋｭｰﾑ管	ﾋｭｰﾑ管	10327280	Ⅲ-直接-6-65
		PC 管	PC 管	10327290	Ⅲ-直接-6-66
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	10310251	Ⅲ-直接-5-144
		ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	10316130	Ⅲ-直接-6-67
		PC 函渠	PC 函渠	10327300	Ⅲ-直接-6-68
		可とう継手	可とう継手	10306470	Ⅲ-直接-6-69
		函渠接続	函渠接続	10306430	Ⅲ-直接-6-71
付属物設置工	防止柵工		－	－	
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	10319011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ（転落（横断）防止柵）	10327200	Ⅲ-直接-5-230
		立入防止柵	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（立入防止柵）	10307270	Ⅲ-直接-5-225
			支柱（立入防止柵）	10312590	Ⅲ-直接-5-226
			金網（ﾌｪﾝｽ）（立入防止柵）	10306280	Ⅲ-直接-5-227
	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	10307040	Ⅲ-直接-5-184
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10318020	Ⅲ-直接-1-22

樋門・樋管

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付属物設置工	銘板工		－	－	
		銘板	銘板	10334040	Ⅲ-直接-6-73
		表示板	表示板	10327270	Ⅲ-直接-6-74
	点検施設工		－	－	
		ｽﾃｯﾌﾟ	ｽﾃｯﾌﾟ	10313100	Ⅲ-直接-6-75
		蓋	蓋	10312130	Ⅲ-直接-5-154
	階段工		－	－	
		現場打階段	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10310220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	10306270	Ⅲ-直接-3-25
			基礎砕石（基礎材）	10307250	Ⅲ-直接-5-20
			目地板	10334020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	10313010	Ⅲ-直接-5-24
			遮水ｼｰﾄ	10312620	Ⅲ-直接-3-33
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ階段	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ階段	10328400	Ⅲ-直接-6-76
	観測施設工		－	－	
		量水標	量水標	10342050	Ⅲ-直接-6-77
		水位計	水位計	10313130	Ⅲ-直接-6-78
		流量計	流量計	10342060	Ⅲ-直接-6-79
	ｸﾞﾗｳﾄﾎｰﾙ工		－	－	
		ｸﾞﾗｳﾄﾎｰﾙ	ｸﾞﾗｳﾄﾎｰﾙ	10308230	Ⅲ-直接-6-80

河川維持

河川維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
巡視･巡回工	河川巡視工		－	－	
		緊急巡視	緊急巡視	10807190	Ⅲ-直接-14-1
除草工	堤防除草工		－	－	
		除草	除草	10812420	Ⅲ-直接-14-4
			集草（１）（除草）	10812430	Ⅲ-直接-14-6
			集草（２）（除草）	10812431	Ⅲ-直接-14-7
			積込・荷卸（除草）	10818040	Ⅲ-直接-14-9
			運搬（除草）	10803040	Ⅲ-直接-14-11
堤防養生工	芝養生工		－	－	
		施肥	施肥	10814060	Ⅲ-直接-14-12
		抜根	抜根	10826170	Ⅲ-直接-14-13
	伐木除根工		－	－	
		伐木除根	伐木・伐竹（伐木除根）	10826160	Ⅲ-直接-14-14
			除根（伐木除根）	10812440	Ⅲ-直接-14-15
			整地（伐木除根）	10814012	Ⅲ-直接-14-16
			集積（１）（伐木除根）	10812450	Ⅲ-直接-14-17
			集積（２）（伐木除根）	10812460	Ⅲ-直接-14-18
			積込（伐木除根）	10818050	Ⅲ-直接-14-19
			運搬（伐木除根）	10803041	Ⅲ-直接-14-20
構造物補修工	ｸﾗｯｸ補修工		－	－	
		はつり	コンクリートはつり	90110190	Ⅲ-直接-15-13
		下地処理	下地処理	10812470	Ⅲ-直接-14-21
		鉄筋防錆処理	鉄筋防錆処理	18019090	Ⅲ-直接-14-23
		ひび割れ注入	ひび割れ注入	10827160	Ⅲ-直接-14-24
		ひび割れ充填	ひび割れ充填	10827170	Ⅲ-直接-14-25
		断面修復	断面修復	10816060	Ⅲ-直接-14-26
		表面処理	表面処理	10827180	Ⅲ-直接-14-27
		足場	足場	10801100	Ⅲ-直接-16-1
	ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞｸﾞﾗｳﾄ工		－	－	
		削孔	削孔	10811090	Ⅲ-直接-14-28
		注入	注入	10817080	Ⅲ-直接-14-29
		注入設備据付解体	注入設備据付・解体	10817090	Ⅲ-直接-14-30
		足場	足場	10801100	Ⅲ-直接-16-1
	欠損部補修工		－	－	
		欠損部取壊し	欠損部取壊し	10809100	Ⅲ-直接-14-31
		欠損部補修	欠損部補修	10809110	Ⅲ-直接-14-32

河川維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
路面補修工	不陸整正工		－	－	
		不陸整正･締固め	不陸整正･締固め	10828180	Ⅲ-直接-5-90
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装補修工		－	－	
		ｱｽﾌｧﾙﾄ注入	ｱｽﾌｧﾙﾄ注入	10801110	Ⅲ-直接-14-33
		舗装版目地補修	目地補修（舗装版目地補修）	10834010	Ⅲ-直接-14-34
			クラック防止シート張（舗装版目地補修）	10808130	Ⅲ-直接-14-35
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装補修工		－	－	
		わだち掘れ補修	わだち掘れ補修	10846020	Ⅲ-直接-14-36
		ﾊﾟｯﾁﾝｸﾞ	ﾊﾟｯﾁﾝｸﾞ	10826180	Ⅲ-直接-14-37
		ｸﾗｯｸ処理	ｸﾗｯｸ処理	10808140	Ⅲ-直接-14-38
付属物復旧工	付属物復旧工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ復旧	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ復旧	10806230	Ⅲ-直接-14-39
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ復旧	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ復旧	10806240	Ⅲ-直接-14-40
付属物設置工	防護柵工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	10806051	Ⅲ-直接-5-215
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	10806071	Ⅲ-直接-5-219
	境界杭工		－	－	
		境界杭	境界杭	10807040	Ⅲ-直接-5-184
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10820110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10820120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10807200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10808150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10805090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10818011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10814011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10820011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10811011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10811020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10803020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10818011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10820011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10818020	Ⅲ-直接-1-22

河川維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付属物設置工	付属物設置工		－	－	
		車止めﾎﾟｽﾄ	車止めﾎﾟｽﾄ	10808021	Ⅲ-直接-5-223
		境界鋲	境界鋲	10807050	Ⅲ-直接-5-185
		距離標	距離標	10807210	Ⅲ-直接-5-187
		標識	標識	10827190	Ⅲ-直接-14-41
光ｹｰﾌﾞﾙ配管工	作業土工		－	－	
		掘削	掘削	10808011	Ⅲ-直接-1-3
			残土運搬	10811011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10811020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10803020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10818011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10820011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10818020	Ⅲ-直接-1-22
	配管工		－	－	
		配管設置（埋設部）	配管設置（埋設部）	10826091	Ⅲ-直接-6-61
		配管設置（露出部）	配管設置（露出部）	10826100	Ⅲ-直接-6-62
	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		－	－	
		ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	10826141	Ⅲ-直接-6-64
			基礎砕石（基礎材）	10807250	Ⅲ-直接-5-20
清掃工	塵芥処理工		－	－	
		散在塵芥処理	収集・集積（散在塵芥処理）	10812480	Ⅲ-直接-14-42
			運搬（散在塵芥処理）	10803042	Ⅲ-直接-14-43
		堆積塵芥処理	収集・集積（１）（堆積塵芥処理）	10812481	Ⅲ-直接-14-44
			収集・集積（２）（堆積塵芥処理）	10812482	Ⅲ-直接-14-45
			運搬（堆積塵芥処理）	10830343	Ⅲ-直接-14-46
	水面清掃工		－	－	
		水面清掃	水面清掃	10813050	Ⅲ-直接-14-47

河川維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
植栽維持工	樹木･芝生管理工		－	－	
		樹木剪定	樹木剪定	10812490	Ⅲ-直接-14-48
		寄植剪定	寄植剪定	10840030	Ⅲ-直接-14-50
		補植	補植	10830130	Ⅲ-直接-14-52
		支柱	支柱	10812500	Ⅲ-直接-14-55
		除草	除草	10812420	Ⅲ-直接-14-4
			集草（１）（除草）	10812430	Ⅲ-直接-14-6
			集草（２）（除草）	10812431	Ⅲ-直接-14-7
			積込・荷卸（除草）	10818040	Ⅲ-直接-14-9
			運搬（除草）	10803040	Ⅲ-直接-14-11
		樹木施肥	樹木施肥	10812510	Ⅲ-直接-14-56
		潅水	潅水	10806250	Ⅲ-直接-14-58
		防除	防除	10830140	Ⅲ-直接-14-59
		芝刈	芝刈	10812520	Ⅲ-直接-14-60
		張芝	張芝	10826151	Ⅲ-直接-5-45
		筋芝	筋芝	10813040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	10802080	Ⅲ-直接-5-47
		地被類植付	地被類植付	10817051	Ⅲ-直接-14-64
		種子散布	野芝種子吹付	10825050	Ⅲ-直接-5-42
			ラス張	10841030	Ⅲ-直接-5-51
			土砂等運搬	10820011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10818020	Ⅲ-直接-1-22
応急処理工	応急処理作業工		－	－	
		応急作業	応急作業	10805100	Ⅲ-直接-14-94
撤去物処理工	運搬処理工		－	－	
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		現場発生品・支給品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31

河川修繕

河川修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
河川土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂）	掘削	10908012	Ⅲ-直接-1-2
		掘削（軟岩）			
		掘削（硬岩）			
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	10914011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	10905090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
	盛土工		－	－	
		盛土（流用土）	路体（築堤）盛土	10945011	Ⅲ-直接-1-12
		盛土（発生土）	路床盛土	10945021	Ⅲ-直接-1-14
		盛土（採取土）			
		盛土（購入土）			
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	10914011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	10905090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	10918020	Ⅲ-直接-1-22
	盛土補強工		－	－	
		安定ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ	10901060	Ⅲ-直接-2-1
		ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	壁面材組立・設置（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	10929030	Ⅲ-直接-1-42
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ材料（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	10912530	Ⅲ-直接-1-43
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設･まきだし･敷均し･締固め	10912540	Ⅲ-直接-1-44
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			積込（ルーズ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	10918020	Ⅲ-直接-1-22
			暗渠排水管敷設（地下排水）	10901031	Ⅲ-直接-5-157
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	10925011	Ⅲ-直接-1-24
		法面整形（盛土部）			
	堤防天端工		－	－	
		天端敷砂利	天端敷砂利	10919100	Ⅲ-直接-1-45

河川修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
河川土工	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	10914011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	10911011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10911020	Ⅲ-直接-1-27
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	10926190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	10910200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	10907220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	10929070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	10903050	Ⅲ-直接-1-46
腹付工	覆土工		－	－	
		覆土（採取土）	覆土（採取土）	10928190	Ⅲ-直接-1-49
		覆土（購入土）	覆土（購入土）	10928200	Ⅲ-直接-1-50
	植生工		－	－	
		張芝	張芝	10926151	Ⅲ-直接-5-45
		筋芝	筋芝	10913040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	10902080	Ⅲ-直接-5-47
		種子散布	野芝種子吹付	10925050	Ⅲ-直接-5-42
			ラス張	10941030	Ⅲ-直接-5-51
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10918020	Ⅲ-直接-1-22
側帯工	縁切工		－	－	
		吸出し防止材	吸出し防止材	10913010	Ⅲ-直接-5-24
		じゃかご	じゃかご	10912150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	10902070	Ⅲ-直接-6-37
		連節ﾌﾞﾛｯｸ張	連節ﾌﾞﾛｯｸ張	10944021	Ⅲ-直接-5-6
		石張	石積・張	10902120	Ⅲ-直接-5-30
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	10920130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	10903060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	10934020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	10913010	Ⅲ-直接-5-24
			石材料	10902070	Ⅲ-直接-6-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ張	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ張	10910210	Ⅲ-直接-5-10

河川修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
側帯工	植生工		－	－	
		張芝	張芝	10926151	Ⅲ-直接-5-45
		筋芝	筋芝	10913040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	10902080	Ⅲ-直接-5-47
		種子散布	野芝種子吹付	10925050	Ⅲ-直接-5-42
			ラス張	10941030	Ⅲ-直接-5-51
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10918020	Ⅲ-直接-1-22
堤脚保護工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10920110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10920120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10907200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10908150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10905090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10914011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10911011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10911020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10903020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10918020	Ⅲ-直接-1-22
	石積工		－	－	
		石積	石積・張	10902120	Ⅲ-直接-5-30
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	10920130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	10903060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	10934020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	10913010	Ⅲ-直接-5-24
			石材料	10902070	Ⅲ-直接-6-37
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	10919061	Ⅲ-直接-3-2

河川修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
堤脚保護工	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	大型ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	10905110	Ⅲ-直接-5-17
			間知ﾌﾞﾛｯｸ積	10909081	Ⅲ-直接-5-12
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	10920131	Ⅲ-直接-5-22
			胴込・裏込材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	10920132	Ⅲ-直接-5-23
			吸出し防止材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	10913011	Ⅲ-直接-5-25
			目地板	10934020	Ⅲ-直接-3-30
管理用通路工	防護柵工		－	－	
		現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	10906051	Ⅲ-直接-5-215
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	10906071	Ⅲ-直接-5-219
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	10920110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	10920120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	10907200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	10908150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	10905090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	10914011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	10911011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	10911020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	10903020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	10918011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	10920011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	10918020	Ⅲ-直接-1-22
	路面切削工		－	－	
		路面切削	路面切削	10945100	Ⅲ-直接-13-1
		殻運搬処理	殻運搬（路面切削）	10906260	Ⅲ-直接-15-27
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30

河川修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
管理用通路工	舗装打換え工		－	－	
		舗装版切断	舗装版切断	10930150	Ⅲ-直接-13-2
		舗装版破砕	舗装版破砕	10930160	Ⅲ-直接-13-3
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	10906011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	10906012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	10912011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	10912012	Ⅲ-直接-5-100
		基層	基層・中間層（車道・路肩部）	10907021	Ⅲ-直接-5-105
		中間層	基層・中間層（歩道部）	10907022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	10927011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	10927031	Ⅲ-直接-5-110
	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工		－	－	
		表層	表層（車道・路肩部）	10927011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	10927031	Ⅲ-直接-5-110
	排水構造物工		－	－	
		現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	10928210	Ⅲ-直接-5-131
		側溝蓋	側溝蓋	10928220	Ⅲ-直接-5-155
		管渠	基礎砕石（基礎材）	10907250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	10910220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	10906270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	10919110	Ⅲ-直接-3-28
			管渠	10906041	Ⅲ-直接-5-147
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	10931050	Ⅲ-直接-5-148
		集水桝 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	基礎砕石（基礎材）	10907250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	10910220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	10906270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	10919110	Ⅲ-直接-3-28
			蓋	10912130	Ⅲ-直接-5-154
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	10928230	Ⅲ-直接-5-149

河川修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
管理用通路工	道路付属物工		－	－	
		現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31
		歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	基礎砕石（基礎材）	10907250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	10910220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	10906270	Ⅲ-直接-3-25
			歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	10930011	Ⅲ-直接-5-165
現場塗装工	ｺﾝｸﾘｰﾄ面塗装工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ面清掃	ｺﾝｸﾘｰﾄ面清掃	10910230	Ⅲ-直接-13-22
		下塗	下塗	10912561	Ⅲ-直接-8-14
		上塗	上塗	10903071	Ⅲ-直接-8-21

堤防・護岸

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
海岸土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂）	掘削	20108012	Ⅲ-直接-1-3
		掘削（軟岩）			
		掘削（硬岩）			
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
	盛土工		－	－	
		盛土（流用土）	路体（築堤）盛土	20145011	Ⅲ-直接-1-12
		盛土（発生土）	路床盛土	20145021	Ⅲ-直接-1-14
		盛土（採取土）			
		盛土（購入土）			
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	20118020	Ⅲ-直接-1-22
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	20125011	Ⅲ-直接-1-24
		法面整形（盛土部）			
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	20111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	20111020	Ⅲ-直接-1-27
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	20126190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	20110200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	20107220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	20129070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	20103050	Ⅲ-直接-1-46

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
地盤改良工	表層安定処理工		－	－	
		ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ	ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ	20111071	Ⅲ-直接-2-4
		安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	20101060	Ⅲ-直接-2-1
		安定処理	安定処理	20101080	Ⅲ-直接-2-2
		置換	置換	20105031	Ⅲ-直接-2-9
	ﾊﾟｲﾙﾈｯﾄ工		－	－	
		既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	20107092	Ⅲ-直接-4-22
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		木杭	木杭	20107070	Ⅲ-直接-4-23
		連結鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	20101060	Ⅲ-直接-2-1
		ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ	ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ	20111071	Ⅲ-直接-2-4
	ﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ工		－	－	
		ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ	ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ	20111050	Ⅲ-直接-2-10
		袋詰式ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ	袋詰式ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ	20128040	Ⅲ-直接-2-11
		ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ	20129020	Ⅲ-直接-2-12
	締固め改良工		－	－	
		ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	20111040	Ⅲ-直接-2-13
	固結工		－	－	
		粉体噴射撹拌	粉体噴射撹拌	20128120	Ⅲ-直接-2-14
		ｽﾗﾘｰ撹拌	ｽﾗﾘｰ撹拌	20113031	Ⅲ-直接-2-16
		高圧噴射撹拌	高圧噴射撹拌	20110061	Ⅲ-直接-2-17
		薬液注入	薬液注入	20136031	Ⅲ-直接-2-20

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
護岸基礎工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	20120110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	20120120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	20107200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	20108150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	20111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	20111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	20103020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	20118020	Ⅲ-直接-1-22
	捨石工		－	－	
		捨石	捨石	20113021	Ⅲ-直接-6-55
			石材料（捨石）	20102072	Ⅲ-直接-6-39
		表面均し	表面均し	20127310	Ⅲ-直接-6-56
	場所打ｺﾝｸﾘｰﾄ工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	20306290	Ⅲ-直接-3-29
		止水板	止水板	20112610	Ⅲ-直接-3-31
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
	海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製作	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	20112221	Ⅲ-直接-6-41
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ据付	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	20112211	Ⅲ-直接-6-43
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ運搬	20112200	Ⅲ-直接-6-44
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ仮置	20112310	Ⅲ-直接-6-45
	笠ｺﾝｸﾘｰﾄ工		－	－	
		笠ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-5-19
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
			目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ笠ｺﾝｸﾘｰﾄ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ笠ｺﾝｸﾘｰﾄ	20128080	Ⅲ-直接-6-15

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
護岸基礎工	基礎工		－	－	
		現場打基礎	現場打基礎	20109051	Ⅲ-直接-6-2
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎	20128101	Ⅲ-直接-6-5
			中詰（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎）	20121022	Ⅲ-直接-6-7
			基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
	矢板工		－	－	
		鋼矢板	鋼矢板	20110161	Ⅲ-直接-4-1
		広幅鋼矢板	広幅鋼矢板	20127141	Ⅲ-直接-4-3
		ｺﾝｸﾘｰﾄ矢板	ｺﾝｸﾘｰﾄ矢板	20110480	Ⅲ-直接-4-2
		ﾀｲﾛｯﾄﾞ	腹起し	20126270	Ⅲ-直接-4-4
		控え版	ﾀｲﾛｯﾄﾞ	20116080	Ⅲ-直接-4-5
		腹起し	控え版	20127260	Ⅲ-直接-4-6
護岸工	石積（張）工		－	－	
		石積（張）基礎	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			現場打基礎	20109051	Ⅲ-直接-6-2
		石積 石張	石積・張	20102120	Ⅲ-直接-5-30
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	20120130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	20103060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	20113010	Ⅲ-直接-5-24
			石材料	20102070	Ⅲ-直接-6-37
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	20119061	Ⅲ-直接-3-3
	海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製作	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	20112221	Ⅲ-直接-6-41
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ据付	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	20112211	Ⅲ-直接-6-43
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ運搬	20112200	Ⅲ-直接-6-44
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ仮置	20112310	Ⅲ-直接-6-45
		裏込砕石	裏込砕石	20103051	Ⅲ-直接-1-47
		吸出し防止材	吸出し防止材	20113010	Ⅲ-直接-5-24
	ｺﾝｸﾘｰﾄ被覆工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		裏込砕石	裏込砕石	20103051	Ⅲ-直接-1-47
		吸出し防止材	吸出し防止材	20113010	Ⅲ-直接-5-24
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
擁壁工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	20120110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	20120120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	20107200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	20108150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	20111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	20111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	20103020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	20118020	Ⅲ-直接-1-22
	場所打擁壁工（構造物単位）		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	20110081	Ⅲ-直接-3-6
		重力式擁壁	重力式擁壁	20112191	Ⅲ-直接-3-8
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	20135031	Ⅲ-直接-3-10
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	20107101	Ⅲ-直接-3-12
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	20104021	Ⅲ-直接-3-14
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	20106290	Ⅲ-直接-3-29
		裏込砕石	裏込砕石	20103051	Ⅲ-直接-1-47
		止水板	止水板	20112610	Ⅲ-直接-3-31
	場所打擁壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	20110224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		足場	足場	20101100	Ⅲ-直接-16-1
		吸出し防止材	吸出し防止材	20113010	Ⅲ-直接-5-24
		裏込砕石	裏込砕石	20103051	Ⅲ-直接-1-47
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	20132040	Ⅲ-直接-3-32
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	20112610	Ⅲ-直接-3-31
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
天端被覆工	ｺﾝｸﾘｰﾄ被覆工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
波返工	波返工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	20306290	Ⅲ-直接-3-29
		止水板	止水板	20112610	Ⅲ-直接-3-31
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
裏法被覆工	石積（張）工		－	－	
		石積（張）基礎	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			現場打基礎	20109051	Ⅲ-直接-6-2
		石積 石張	石積・張	20102120	Ⅲ-直接-5-30
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	20120130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	20103060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	20113010	Ⅲ-直接-5-24
			石材料	20102070	Ⅲ-直接-5-27
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	20119061	Ⅲ-直接-3-3
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ基礎	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			現場打基礎	20109051	Ⅲ-直接-6-2
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	大型ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	20105110	Ⅲ-直接-5-17
			間知ﾌﾞﾛｯｸ積	20109081	Ⅲ-直接-5-12
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	20120131	Ⅲ-直接-5-22
			胴込・裏込材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	20120132	Ⅲ-直接-5-23
			吸出し防止材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	20113011	Ⅲ-直接-5-25
			目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
			遮水ｼｰﾄ	20112620	Ⅲ-直接-3-33
		間知ﾌﾞﾛｯｸ張	間知ﾌﾞﾛｯｸ張	20109061	Ⅲ-直接-5-2
		平ﾌﾞﾛｯｸ張	平ﾌﾞﾛｯｸ張	20127131	Ⅲ-直接-5-4
		連節ﾌﾞﾛｯｸ張	連節ﾌﾞﾛｯｸ張	20144022	Ⅲ-直接-5-7
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	20119062	Ⅲ-直接-3-3
		小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110260	Ⅲ-直接-3-23

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
裏法被覆工	ｺﾝｸﾘｰﾄ被覆工		－	－	
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ			
		裏込砕石	裏込砕石	20103051	Ⅲ-直接-1-47
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
	法枠工		－	－	
		現場打法枠	現場打法枠	20109150	Ⅲ-直接-5-57
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	20128270	Ⅲ-直接-5-58
		吹付枠	吹付枠	20128280	Ⅲ-直接-5-59
			中詰	20121021	Ⅲ-直接-5-62
			ﾗｽ張	20141030	Ⅲ-直接-5-51
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	20128262	Ⅲ-直接-5-163
排水構造物工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	20120110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	20120120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	20107200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	20108150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	20111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	20111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	20103020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	20118020	Ⅲ-直接-1-22

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
排水構造物工	側溝工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	20128210	Ⅲ-直接-5-132
		自由勾配側溝	自由勾配側溝	20112381	Ⅲ-直接-5-138
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	20110240	Ⅲ-直接-5-143
		側溝蓋	側溝蓋	20128220	Ⅲ-直接-5-155
	集水桝工		－	－	
		集水桝	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	20128230	Ⅲ-直接-5-149
		蓋	蓋	20112130	Ⅲ-直接-5-154
	管渠工		－	－	
		管渠	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
			管渠	20106041	Ⅲ-直接-5-147
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	20131050	Ⅲ-直接-5-148
	場所打水路工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ			
		鉄筋	鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		止水板	止水板	20112610	Ⅲ-直接-3-31
		目地板	目地板	20134020	Ⅲ-直接-3-30
		型枠	型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	20101100	Ⅲ-直接-16-1

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付属物設置工	防止柵工		－	－	
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	20119011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ（転落（横断）防止柵）	20127200	Ⅲ-直接-5-230
		立入防止柵	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（立入防止柵）	20107270	Ⅲ-直接-5-225
			支柱（立入防止柵）	20112590	Ⅲ-直接-5-226
			金網（ﾌｪﾝｽ）（立入防止柵）	20106280	Ⅲ-直接-5-227
	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	20107040	Ⅲ-直接-5-184
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	20120110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	20120120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	20107200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	20108150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	20111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	20111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	20103020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	20118020	Ⅲ-直接-1-22
	銘板工		－	－	
		銘板	銘板	20134040	Ⅲ-直接-6-73
		表示板	表示板	20127270	Ⅲ-直接-6-74
	階段工		－	－	
		現場打階段	ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
			基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ階段	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ階段	20128400	Ⅲ-直接-6-76

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路工	路側防護柵工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	20106051	Ⅲ-直接-5-215
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	20106071	Ⅲ-直接-5-219
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	20120110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	20120120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	20107200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	20108150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	20105090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	20114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	20111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	20111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	20103020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	20118011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	20120011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	20118020	Ⅲ-直接-1-22
	舗装準備工		－	－	
		不陸整正	不陸整正	20128011	Ⅲ-直接-5-89
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	20106011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	20106012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	20112011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	20112012	Ⅲ-直接-5-100
		基層	基層・中間層（車道・路肩部）	20107021	Ⅲ-直接-5-105
		中間層	基層・中間層（歩道部）	20107022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	20127011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	20127031	Ⅲ-直接-5-110
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	20106011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	20106012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	20112011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	20112012	Ⅲ-直接-5-100
		ｱｽﾌｧﾙﾄ中間層	基層・中間層（車道・路肩部）	20107021	Ⅲ-直接-5-105
			基層・中間層（歩道部）	20107022	Ⅲ-直接-5-106
		ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	20110470	Ⅲ-直接-5-122
		転圧ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	転圧ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	20119020	Ⅲ-直接-5-126
		目地材料費	目地材料費	20134050	Ⅲ-直接-5-123
		縦目地	縦目地	20116120	Ⅲ-直接-5-124
		横目地	横目地	20140060	Ⅲ-直接-5-125

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路工	薄層ｶﾗｰ舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	20106011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	20106012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	20112011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	20112012	Ⅲ-直接-5-100
		薄層ｶﾗｰ舗装	薄層ｶﾗｰ舗装	20126080	Ⅲ-直接-5-127
	側溝工		－	－	
			基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	20128210	Ⅲ-直接-5-132
		L型側溝	L型側溝	20104011	Ⅲ-直接-5-131
		自由勾配側溝	自由勾配側溝	20112381	Ⅲ-直接-5-138
		側溝蓋	側溝蓋	20128220	Ⅲ-直接-5-155
		管渠	管渠	20106041	Ⅲ-直接-5-147
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	20131050	Ⅲ-直接-5-148
	集水桝工		－	－	
		集水桝	基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	20119110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	20128230	Ⅲ-直接-5-149
		蓋	蓋	20112130	Ⅲ-直接-5-154
	縁石工		－	－	
		歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	20130011	Ⅲ-直接-5-165
			地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	20117031	Ⅲ-直接-5-167
			基礎砕石（基礎材）	20107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	20110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	20106270	Ⅲ-直接-3-25
		ｱｽｶｰﾌﾞ	ｱｽｶｰﾌﾞ	20101041	Ⅲ-直接-5-175
	区画線工		－	－	
		溶融式区画線	溶融式区画線	20140011	Ⅲ-直接-5-178
		ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	20129011	Ⅲ-直接-5-180

堤防・護岸

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路施設工	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	20107040	Ⅲ-直接-5-184
	道路付属物工		－	－	
		視線誘導標	視線誘導標	20112070	Ⅲ-直接-5-186
		道路鋲	道路鋲	20120040	Ⅲ-直接-5-188
		車線分離標	車線分離標	20112081	Ⅲ-直接-5-190
	小型標識工		－	－	
		標識柱	標識柱（路側式）	20127210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板	標識板（案内）	20127040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	20127060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	20119120	Ⅲ-直接-5-194

砂防えん堤

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
工場製作工	鋼製えん堤製作工		－	－	
		製作加工	製作加工	30114147	Ⅲ-直接-8-1
		ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	30130251	Ⅲ-直接-8-7
	鋼製えん堤仮設材製作工		－	－	
		製作加工	製作加工	30114148	Ⅲ-直接-8-2
	工場塗装工		－	－	
		前処理	前処理	30131120	Ⅲ-直接-8-13
		下塗	下塗	30112564	Ⅲ-直接-8-15
		中塗	中塗	30121033	Ⅲ-直接-8-18
		上塗	上塗	30103074	Ⅲ-直接-8-22
		ﾒｯｷ	ﾒｯｷ	30134060	Ⅲ-直接-8-25
工場製品輸送工	輸送工		－	－	
		輸送	輸送	30138040	Ⅲ-直接-8-27
		小運搬	小運搬	30110330	Ⅲ-直接-8-26
砂防土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂） 掘削（軟岩） 掘削（硬岩）	掘削	30108012	Ⅲ-直接-1-2
			掘削（砂防）	30108013	Ⅲ-直接-1-4
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
	埋戻し工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
砂防土工	盛土工		－	－	
		盛土（流用土） 盛土（発生土） 盛土（採取土） 盛土（購入土）	盛土（砂防）	30135061	Ⅲ-直接-1-15
			路体（築堤）盛土	30145011	Ⅲ-直接-1-12
			路床盛土	30145021	Ⅲ-直接-1-14
			掘削（砂防）	30108013	Ⅲ-直接-1-4
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	盛土補強工		－	－	
		安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	30101060	Ⅲ-直接-2-1
		ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	壁面材組立・設置（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30129030	Ⅲ-直接-1-42
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ材料（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30112530	Ⅲ-直接-1-43
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設・まきだし・敷均し・締固め	30112540	Ⅲ-直接-1-44
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
			暗渠排水管敷設（地下排水）	30101031	Ⅲ-直接-5-157
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	30125011	Ⅲ-直接-1-24
		法面整形（盛土部）			
	堤防天端工		－	－	
		天端敷砂利	天端敷砂利	30119100	Ⅲ-直接-1-45
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	30126190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	30110200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	30107220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	30129070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	30103050	Ⅲ-直接-1-46
法面工	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	30112301	Ⅲ-直接-5-34
		客土吹付	客土吹付	30107140	Ⅲ-直接-5-35
		植生基材吹付	植生基材吹付	30112321	Ⅲ-直接-5-36
		植生ｼｰﾄ	植生ｼｰﾄ	30112331	Ⅲ-直接-5-38
		植生ﾏｯﾄ	植生ﾏｯﾄ	30112351	Ⅲ-直接-5-40
		植生筋	植生筋	30112340	Ⅲ-直接-5-43
		張芝	張芝	30126151	Ⅲ-直接-5-45
		筋芝	筋芝	30113040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	30102080	Ⅲ-直接-5-47
		人工張芝	人工張芝	30112360	Ⅲ-直接-5-48
	法面吹付工		－	－	
		ﾓﾙﾀﾙ吹付	ﾓﾙﾀﾙ吹付	30135090	Ⅲ-直接-5-53
		ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	30110270	Ⅲ-直接-5-54
	法枠工		－	－	
		現場打法枠	現場打法枠	30109150	Ⅲ-直接-5-57
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	30128270	Ⅲ-直接-5-58
		吹付枠	吹付枠	30128280	Ⅲ-直接-5-59
			中詰	30121021	Ⅲ-直接-5-62
			ﾗｽ張	30141030	Ⅲ-直接-5-51
	法面施肥工		－	－	
		法面施肥	法面施肥	30125020	Ⅲ-直接-5-60

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法面工	ｱﾝｶｰ工		－	－	
		ｱﾝｶｰ	削孔（ｱﾝｶｰ）	30111092	Ⅲ-直接-5-64
			ｱﾝｶｰ鋼材加工・組立・挿入（ｱﾝｶｰ）	30101051	Ⅲ-直接-5-65
			ｱﾝｶｰ鋼材挿入（工場加工・組立）（ｱﾝｶｰ）	30101053	Ⅲ-直接-5-66
			ｸﾞﾗｳﾄ注入（ｱﾝｶｰ）	30108180	Ⅲ-直接-5-67
			ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ移設（ｱﾝｶｰ）	30130190	Ⅲ-直接-5-68
			緊張・定着・頭部処理（ｱﾝｶｰ）	30107280	Ⅲ-直接-5-69
			ｱﾝｶｰ工材料費（ｱﾝｶｰ）	30101052	Ⅲ-直接-5-70
		ｱﾝｶｰ（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板）	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板	30128111	Ⅲ-直接-5-72
		足場（ｱﾝｶｰ）	足場（ｱﾝｶｰ）	30101106	Ⅲ-直接-16-2
		鉄筋挿入	鉄筋挿入	30119041	Ⅲ-直接-5-74
		足場（鉄筋挿入）	足場（鉄筋挿入）	30101107	Ⅲ-直接-16-3
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	30112150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	30102070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	30128060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	30102070	Ⅲ-直接-6-37
仮締切工	土砂・土のう締切工		－	－	
		土砂締切	土砂締切	30120200	Ⅲ-直接-16-27
		土砂土のう締切	土のう積	30120210	Ⅲ-直接-16-29
			大型土のう	30105081	Ⅲ-直接-16-30
	ｺﾝｸﾘｰﾄ締切工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ締切	ｺﾝｸﾘｰﾄ締切	30110460	Ⅲ-直接-16-28

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
ｺﾝｸﾘｰﾄえん堤工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30120081	Ⅲ-直接-1-30
			基面整正	30107200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
		岩盤清掃	岩盤清掃	30106410	Ⅲ-直接-7-1
	ｺﾝｸﾘｰﾄえん堤本体工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	30119190	Ⅲ-直接-7-3
		水抜暗渠	水抜暗渠	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場（砂防）	30101108	Ⅲ-直接-16-4
	ｺﾝｸﾘｰﾄ副えん堤工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	30119190	Ⅲ-直接-7-3
		水抜暗渠	水抜暗渠	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場（砂防）	30101108	Ⅲ-直接-16-4

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
ｺﾝｸﾘｰﾄえん堤工	ｺﾝｸﾘｰﾄ側壁工		－	－	
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30121111	Ⅲ-直接-7-25
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		目地板	目地板	30134020	Ⅲ-直接-3-30
		水抜暗渠	水抜暗渠	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	30132040	Ⅲ-直接-3-32
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
		植石張	植石張	30112550	Ⅲ-直接-6-23
		足場	足場（砂防）	30101108	Ⅲ-直接-16-4
			足場	30101100	Ⅲ-直接-16-1
	間詰工		－	－	
		間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
	水叩工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		目地板	目地板	30134020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
鋼製えん堤工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30120081	Ⅲ-直接-1-30
			基面整正	30107200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
		岩盤清掃	岩盤清掃	30106410	Ⅲ-直接-7-1
	鋼製えん堤本体工		－	－	
		鋼製枠	鋼製枠	30110420	Ⅲ-直接-7-5
		鋼製枠（格子・ｽﾘｯﾄ）	鋼製枠（格子・ｽﾘｯﾄ）	30110430	Ⅲ-直接-7-6
		隔壁ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	隔壁ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	30106390	Ⅲ-直接-7-7
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30121111	Ⅲ-直接-7-25
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		枠内中詰	枠内中詰	30146030	Ⅲ-直接-7-8
		水抜暗渠	水抜暗渠	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場（砂防）	30101108	Ⅲ-直接-16-4

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
鋼製えん堤工	鋼製側壁工		－	－	
		鋼製枠	鋼製枠	30110420	Ⅲ-直接-7-5
		鋼製枠（格子・ｽﾘｯﾄ）	鋼製枠（格子・ｽﾘｯﾄ）	30110430	Ⅲ-直接-7-6
		隔壁ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	隔壁ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	30106390	Ⅲ-直接-7-7
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30121111	Ⅲ-直接-7-25
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		枠内中詰	枠内中詰	30146030	Ⅲ-直接-7-8
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場（砂防）	30101108	Ⅲ-直接-16-4
			足場	30101100	Ⅲ-直接-16-1
	ｺﾝｸﾘｰﾄ側壁工		－	－	
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30121111	Ⅲ-直接-7-25
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		目地板	目地板	30134020	Ⅲ-直接-3-30
		水抜暗渠	水抜暗渠	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	30132040	Ⅲ-直接-3-32
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
		植石張	植石張	30112550	Ⅲ-直接-6-23
		足場	足場（砂防）	30101108	Ⅲ-直接-16-4
			足場	30101100	Ⅲ-直接-16-1
	間詰工		－	－	
		間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26
	水叩工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110222	Ⅲ-直接-3-17
		砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	砂防ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		目地板	目地板	30134020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		型枠	型枠	30106272	Ⅲ-直接-3-26

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
護床工・根固め工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30120081	Ⅲ-直接-1-30
			基面整正	30107200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	根固めﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	30112221	Ⅲ-直接-6-41
			鉄筋	30119110	Ⅲ-直接-3-28
		根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	30112211	Ⅲ-直接-6-43
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ運搬	30112200	Ⅲ-直接-6-44
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ仮置	30112310	Ⅲ-直接-6-45
	間詰工		－	－	
		間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	30131032	Ⅲ-直接-3-22
		間詰石	間詰石	30131130	Ⅲ-直接-6-47
			採取小割	30111120	Ⅲ-直接-6-48
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
護床工・根固め工	沈床工		－	－	
		粗朶沈床	粗朶沈床	30115050	Ⅲ-直接-6-49
		木工沈床	木工沈床	30135040	Ⅲ-直接-6-50
		改良沈床	改良沈床	30106150	Ⅲ-直接-6-51
		吸出し防止材	吸出し防止材	30113010	Ⅲ-直接-5-24
		粗朶単床	粗朶単床	30115041	Ⅲ-直接-6-52
		粗朶柵	粗朶柵	30115031	Ⅲ-直接-6-53
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	30112150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	30102070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	30128060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	30102070	Ⅲ-直接-6-37
	元付工		－	－	
		元付	元付	30135051	Ⅲ-直接-6-58
砂防えん堤付属物設置工	防止柵工		－	－	
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	30119011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ（転落（横断）防止柵）	30127200	Ⅲ-直接-5-230
		立入防止柵	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（立入防止柵）	30107270	Ⅲ-直接-5-225
			支柱（立入防止柵）	30112590	Ⅲ-直接-5-226
			金網（ﾌｪﾝｽ）（立入防止柵）	30106280	Ⅲ-直接-5-227
	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	30107040	Ⅲ-直接-5-184

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
砂防えん堤付属物設置工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30120081	Ⅲ-直接-1-30
			基面整正	30107200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	銘板工		－	－	
		銘板	銘板	30134040	Ⅲ-直接-6-73
		表示板	表示板	30127270	Ⅲ-直接-6-74
	点検施設工		－	－	
		ｽﾃｯﾌﾟ	ｽﾃｯﾌﾟ	30113100	Ⅲ-直接-6-75

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路工	路側防護柵工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	30106051	Ⅲ-直接-5-215
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	30106071	Ⅲ-直接-5-219
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30120081	Ⅲ-直接-1-30
			基面整正	30107200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	舗装準備工		－	－	
		不陸整正	不陸整正	30128011	Ⅲ-直接-5-89
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	30106011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	30106012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	30112011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	30112012	Ⅲ-直接-5-100
		路盤	路盤	30145230	Ⅲ-直接-5-102
		基層	基層・中間層（車道・路肩部）	30107021	Ⅲ-直接-5-105
		中間層	基層・中間層（歩道部）	30107022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	30107022	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	30127031	Ⅲ-直接-5-110

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路工	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	30106011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	30106012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	30112011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	30112012	Ⅲ-直接-5-100
		ｱｽﾌｧﾙﾄ中間層	基層・中間層（車道・路肩部）	30107021	Ⅲ-直接-5-105
			基層・中間層（歩道部）	30107022	Ⅲ-直接-5-106
		ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	30110470	Ⅲ-直接-5-122
		転圧ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	転圧ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	30119020	Ⅲ-直接-5-126
		目地材料費	目地材料費	30134050	Ⅲ-直接-5-123
		縦目地	縦目地	30116120	Ⅲ-直接-5-124
		横目地	横目地	30140060	Ⅲ-直接-5-125
	薄層ｶﾗｰ舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	30106011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	30106012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	30112011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	30112012	Ⅲ-直接-5-100
		薄層ｶﾗｰ舗装	薄層ｶﾗｰ舗装	30126080	Ⅲ-直接-5-127
	側溝工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	30128210	Ⅲ-直接-5-132
		側溝蓋	側溝蓋	30128220	Ⅲ-直接-5-155
		管渠	基礎砕石（基礎材）	30107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	30106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	30119110	Ⅲ-直接-3-28
			管渠	30106041	Ⅲ-直接-5-147
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	30131050	Ⅲ-直接-5-148

砂防えん堤

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
付帯道路工	集水桝工		－	－	
		集水桝	基礎砕石（基礎材）	30107250	Ⅲ-直接-5-20
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	30106270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	30119110	Ⅲ-直接-3-28
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	30128230	Ⅲ-直接-5-149
		蓋	蓋	30112130	Ⅲ-直接-5-154
	縁石工		－	－	
		歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	基礎砕石（基礎材）	30107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	30106270	Ⅲ-直接-3-25
			歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	30130011	Ⅲ-直接-5-165
		地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	基礎砕石（基礎材）	30107250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	30110220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	30106270	Ⅲ-直接-3-25
			地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	30117031	Ⅲ-直接-5-167
		ｱｽｶｰﾌﾞ	ｱｽｶｰﾌﾞ	30101041	Ⅲ-直接-5-175
	区画線工		－	－	
		溶融式区画線	溶融式区画線	30140011	Ⅲ-直接-5-178
		ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	30129011	Ⅲ-直接-5-180
付帯道路施設工	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	30107040	Ⅲ-直接-5-184
	道路付属物工		－	－	
		視線誘導標	視線誘導標	30112070	Ⅲ-直接-5-186
		道路鋲	道路鋲	30120040	Ⅲ-直接-5-188
		車線分離標	車線分離標	30112081	Ⅲ-直接-5-190
	小型標識工		－	－	
		標識柱	標識柱（路側式）	30127210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板	標識板（案内）	30127040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	30127060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	30119120	Ⅲ-直接-5-194

流路

流路

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
砂防土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂） 掘削（軟岩） 掘削（硬岩）	掘削	30108012	Ⅲ-直接-1-2
			掘削（砂防）	30108013	Ⅲ-直接-1-4
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
	埋戻し工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	盛土工		－	－	
		盛土（流用土） 盛土（発生土） 盛土（採取土） 盛土（購入土）	盛土（砂防）	30135061	Ⅲ-直接-1-15
			路体（築堤）盛土	30145011	Ⅲ-直接-1-12
			路床盛土	30145021	Ⅲ-直接-1-14
			掘削（砂防）	30108013	Ⅲ-直接-1-4
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22

流路

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
砂防土工	盛土補強工		－	－	
		安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	30101060	Ⅲ-直接-2-1
		ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	壁面材組立・設置（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30129030	Ⅲ-直接-1-42
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ材料（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30112530	Ⅲ-直接-1-43
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設・まきだし・敷均し・締固め	30112540	Ⅲ-直接-1-44
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
			暗渠排水管敷設（地下排水）	30101031	Ⅲ-直接-5-157
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部） 法面整形（盛土部）	法面整形	30125011	Ⅲ-直接-1-24
	堤防天端工		－	－	
		天端敷砂利	天端敷砂利	30119100	Ⅲ-直接-1-45
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	30226190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	30210200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	30207220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	30229070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	30203050	Ⅲ-直接-1-46
流路護岸工	作業土工		－	－	
		（床掘り）	床掘り（砂防）	30220081	Ⅲ-直接-1-30
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30218011	Ⅲ-直接-1-19
			基面整正	30207200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30205091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30218012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30214011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30220012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30211011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30211020	Ⅲ-直接-1-27
		（埋戻し）	埋戻し	30203020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30203021	Ⅲ-直接-1-32
			土材料	30218020	Ⅲ-直接-1-22
	基礎工		－	－	
		場所打基礎	現場打基礎	30209052	Ⅲ-直接-6-3
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎	30228102	Ⅲ-直接-6-6

流路

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
流路護岸工	ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	30207250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30221112	Ⅲ-直接-7-26
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210222	Ⅲ-直接-3-17
		鉄筋	鉄筋	30219110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30106290	Ⅲ-直接-3-29
		目地板	目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30212610	Ⅲ-直接-3-31
		型枠	型枠	30206272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場	30201100	Ⅲ-直接-16-1
	ﾌﾞﾛｯｸ積擁壁工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	大型ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	30205110	Ⅲ-直接-5-17
			間知ﾌﾞﾛｯｸ積	30209081	Ⅲ-直接-5-12
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	30220131	Ⅲ-直接-5-22
			胴込・裏込材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	30220132	Ⅲ-直接-5-23
			吸出し防止材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	30213011	Ⅲ-直接-5-25
			目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
			遮水ｼｰﾄ	30212620	Ⅲ-直接-3-33
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	30219063	Ⅲ-直接-3-4
	石積擁壁工		－	－	
		石積	石積・張	30202120	Ⅲ-直接-5-30
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	30220130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	30203060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	30213010	Ⅲ-直接-5-24
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	30219063	Ⅲ-直接-3-4
	護岸付属物工		－	－	
		横帯ｺﾝｸﾘｰﾄ	横帯ｺﾝｸﾘｰﾄ	30240070	Ⅲ-直接-3-24
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯ｺﾝｸﾘｰﾄ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯ｺﾝｸﾘｰﾄ	30228380	Ⅲ-直接-6-16
	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	30212301	Ⅲ-直接-5-34
		客土吹付	客土吹付	30207140	Ⅲ-直接-5-35
		植生基材吹付	植生基材吹付	30212321	Ⅲ-直接-5-36

流路

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
床固め工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30220081	Ⅲ-直接-1-30
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30218011	Ⅲ-直接-1-19
			基面整正	30207200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30205091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30218012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30214011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30220012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30211011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30211020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30203020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30203021	Ⅲ-直接-1-32
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30218012	Ⅲ-直接-1-20
			土砂等運搬（砂防）	30220012	Ⅲ-直接-1-8
			土材料	30218020	Ⅲ-直接-1-22
	床固め本体工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210222	Ⅲ-直接-3-17
		堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	30219190	Ⅲ-直接-7-3
		目地板	目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		型枠	型枠	30206272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場	30201100	Ⅲ-直接-16-1
	垂直壁工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210222	Ⅲ-直接-3-17
		堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	堤冠ｺﾝｸﾘｰﾄ	30219190	Ⅲ-直接-7-3
		目地板	目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		水抜暗渠	水抜暗渠	30232050	Ⅲ-直接-7-4
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	30232040	Ⅲ-直接-3-32
		吸出し防止材	吸出し防止材	30213010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30206272	Ⅲ-直接-3-26
		足場	足場（砂防）	30201108	Ⅲ-直接-16-4
			足場	30201100	Ⅲ-直接-16-1
		巨石据付	巨石据付	30207121	Ⅲ-直接-6-22
		巨石張	巨石張	30207161	Ⅲ-直接-6-18

流路

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
床固め工	側壁工		－	－	
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30221112	Ⅲ-直接-7-26
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210222	Ⅲ-直接-3-17
		目地板	目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		水抜暗渠	水抜暗渠	30232050	Ⅲ-直接-7-4
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	30232040	Ⅲ-直接-3-32
		吸出し防止材	吸出し防止材	30213010	Ⅲ-直接-5-24
		型枠	型枠	30206272	Ⅲ-直接-3-26
		植石張	植石張	30212550	Ⅲ-直接-6-23
		足場	足場（砂防）	30201108	Ⅲ-直接-16-4
			足場	30201100	Ⅲ-直接-16-1
	水叩工		－	－	
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	30221112	Ⅲ-直接-7-26
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210222	Ⅲ-直接-3-17
		鉄筋	鉄筋	30219110	Ⅲ-直接-3-28
		目地板	目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板（砂防）	30112611	Ⅲ-直接-7-24
		型枠	型枠	30206272	Ⅲ-直接-3-26
	魚道工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210222	Ⅲ-直接-3-17
		鉄筋	鉄筋	30219110	Ⅲ-直接-3-28
		目地板	目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	30212610	Ⅲ-直接-3-31
		型枠	型枠	30206272	Ⅲ-直接-3-26
根固め・水制工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（砂防）	30220081	Ⅲ-直接-1-30
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30218011	Ⅲ-直接-1-19
			基面整正	30207200	Ⅲ-直接-1-34
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30205091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30218012	Ⅲ-直接-1-20
			整地	30214011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬（砂防）	30220012	Ⅲ-直接-1-8
			残土運搬	30211011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30211020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30203020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30203021	Ⅲ-直接-1-32
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30218012	Ⅲ-直接-1-20
			土砂等運搬（砂防）	30220012	Ⅲ-直接-1-8
			土材料	30218020	Ⅲ-直接-1-22

流路

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
根固め・水制工	根固めﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ製作	30212221	Ⅲ-直接-6-41
			鉄筋	30219110	Ⅲ-直接-3-28
		根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	消波根固めﾌﾞﾛｯｸ据付	30212211	Ⅲ-直接-6-43
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ運搬	30212200	Ⅲ-直接-6-44
			消波根固めﾌﾞﾛｯｸ仮置	30212310	Ⅲ-直接-6-45
	間詰工		－	－	
		間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	間詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	30231031	Ⅲ-直接-3-22
		間詰石	間詰石	30231130	Ⅲ-直接-6-47
			採取小割	30111120	Ⅲ-直接-6-48
		吸出し防止材	吸出し防止材	30213010	Ⅲ-直接-5-24
	捨石工		－	－	
		捨石	捨石	30213021	Ⅲ-直接-6-55
			石材料（捨石）	30302072	Ⅲ-直接-6-39
		表面均し	表面均し	30227310	Ⅲ-直接-6-56
	かご工				
		じゃかご	じゃかご	30212150	Ⅲ-直接-6-32
		ふとんかご	ふとんかご	30228060	Ⅲ-直接-6-34
		石材料	石材料	30202070	Ⅲ-直接-6-37
	元付工		－	－	
		元付	元付	30235051	Ⅲ-直接-6-58
流路付属物設置工	階段工		－	－	
		現場打階段	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30210220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	30206270	Ⅲ-直接-3-25
			基礎砕石（基礎材）	30207250	Ⅲ-直接-5-20
			目地板	30234020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	30213010	Ⅲ-直接-5-24
			遮水ｼｰﾄ	30212620	Ⅲ-直接-3-33
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ階段	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ階段	30228400	Ⅲ-直接-6-76
	防止柵工		－	－	
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	30219011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ(転落(横断) 防止柵)	30227200	Ⅲ-直接-5-230
	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	30207040	Ⅲ-直接-5-184

斜面対策

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
砂防土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂） 掘削（軟岩） 掘削（硬岩）	掘削	30108012	Ⅲ-直接-1-2
			掘削（砂防）	30108013	Ⅲ-直接-1-4
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
	埋戻し工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	30103020	Ⅲ-直接-1-31
			埋戻し（砂防）	30103021	Ⅲ-直接-1-32
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	盛土工		－	－	
		盛土（流用土） 盛土（発生土） 盛土（採取土） 盛土（購入土）	盛土（砂防）	30135061	Ⅲ-直接-1-15
			路体（築堤）盛土	30145011	Ⅲ-直接-1-12
			路床盛土	30145021	Ⅲ-直接-1-14
			掘削（砂防）	30108013	Ⅲ-直接-1-4
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			土砂等運搬（砂防）	30120012	Ⅲ-直接-1-8
			整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30105090	Ⅲ-直接-1-16
			押土（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30105091	Ⅲ-直接-1-17
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			積込（ﾙｰｽﾞ）（砂防）	30118012	Ⅲ-直接-1-20
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
砂防土工	盛土補強工		－	－	
		安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	安定ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ	30101060	Ⅲ-直接-2-1
		ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	壁面材組立・設置（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30129030	Ⅲ-直接-1-42
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ材料（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30112530	Ⅲ-直接-1-43
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設・まきだし・敷均し・締固め	30112540	Ⅲ-直接-1-44
			土砂等運搬	30120011	Ⅲ-直接-1-7
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30118011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	30118020	Ⅲ-直接-1-22
			暗渠排水管敷設（地下排水）	30101031	Ⅲ-直接-5-157
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部） 法面整形（盛土部）	法面整形	30125011	Ⅲ-直接-1-24
	堤防天端工		－	－	
		天端敷砂利	天端敷砂利	30119100	Ⅲ-直接-1-45
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	30114011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	30111011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30111020	Ⅲ-直接-1-27
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	30226190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	30210200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	30207220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	30229070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	30203050	Ⅲ-直接-1-46

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法面工	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	30312301	Ⅲ-直接-5-34
		客土吹付	客土吹付	30307140	Ⅲ-直接-5-35
		植生基材吹付	植生基材吹付	30312321	Ⅲ-直接-5-36
		植生ｼｰﾄ	植生ｼｰﾄ	30312331	Ⅲ-直接-5-38
		植生ﾏｯﾄ	植生ﾏｯﾄ	30312351	Ⅲ-直接-5-40
		植生筋	植生筋	30312340	Ⅲ-直接-5-43
		張芝	張芝	30326151	Ⅲ-直接-5-45
	吹付工		－	－	
		ﾓﾙﾀﾙ吹付	ﾓﾙﾀﾙ吹付	30335090	Ⅲ-直接-5-53
		ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	30310270	Ⅲ-直接-5-54
	法枠工		－	－	
		現場打法枠	現場打法枠	30309150	Ⅲ-直接-5-57
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	30328270	Ⅲ-直接-5-58
		吹付枠	吹付枠	30328280	Ⅲ-直接-5-59
			中詰	30321021	Ⅲ-直接-5-62
			ﾗｽ張	30341030	Ⅲ-直接-5-51
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	30312151	Ⅲ-直接-6-33
		ふとんかご	ふとんかご	30328061	Ⅲ-直接-6-35
	ｱﾝｶｰ工（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板）		－	－	
		ｱﾝｶｰ（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板）	削孔（ｱﾝｶｰ）	30311092	Ⅲ-直接-5-64
			ｱﾝｶｰ鋼材加工・組立・挿入（ｱﾝｶｰ）	30301051	Ⅲ-直接-5-65
			ｱﾝｶｰ鋼材挿入（工場加工・組立）（ｱﾝｶｰ）	30301053	Ⅲ-直接-5-66
			ｸﾞﾗｳﾄ注入（ｱﾝｶｰ）	30308180	Ⅲ-直接-5-67
			ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ移設（ｱﾝｶｰ）	30330190	Ⅲ-直接-5-68
			緊張・定着・頭部処理（ｱﾝｶｰ）	30307280	Ⅲ-直接-5-69
			ｱﾝｶｰ工材料費（ｱﾝｶｰ）	30301052	Ⅲ-直接-5-70
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板	30328111	Ⅲ-直接-5-72
		足場（ｱﾝｶｰ）	足場（ｱﾝｶｰ）	30301106	Ⅲ-直接-16-2
	抑止ｱﾝｶｰ工		－	－	
		ｱﾝｶｰ	削孔（ｱﾝｶｰ）	30311092	Ⅲ-直接-5-64
			ｱﾝｶｰ鋼材加工・組立・挿入（ｱﾝｶｰ）	30301051	Ⅲ-直接-5-65
			ｱﾝｶｰ鋼材挿入（工場加工・組立）（ｱﾝｶｰ）	30301053	Ⅲ-直接-5-66
			ｸﾞﾗｳﾄ注入（ｱﾝｶｰ）	30308180	Ⅲ-直接-5-67
			ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ移設（ｱﾝｶｰ）	30330190	Ⅲ-直接-5-68
			緊張・定着・頭部処理（ｱﾝｶｰ）	30307280	Ⅲ-直接-5-69
			ｱﾝｶｰ工材料費（ｱﾝｶｰ）	30301052	Ⅲ-直接-5-70
		足場（ｱﾝｶｰ）	足場（ｱﾝｶｰ）	30301106	Ⅲ-直接-16-2

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
擁壁工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	30320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	30320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	30307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	30308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	30314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	30318020	Ⅲ-直接-1-22
	既製杭工		－	－	
		既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	30307091	Ⅲ-直接-4-21
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		鋼管杭	鋼管杭	30310071	Ⅲ-直接-4-9
			杭頭処理溶接（鋼管杭）	30310072	Ⅲ-直接-4-10
			現場取卸（鋼管杭）	30310073	Ⅲ-直接-4-11
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310220	Ⅲ-直接-3-20
			鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
	場所打擁壁工（構造物単位）		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	30310081	Ⅲ-直接-3-6
		重力式擁壁	重力式擁壁	30312191	Ⅲ-直接-3-8
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	30335031	Ⅲ-直接-3-10
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	30307101	Ⅲ-直接-3-12
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	30304021	Ⅲ-直接-3-14
		鉄筋	鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
		裏込砕石	裏込砕石	30303051	Ⅲ-直接-1-47
		止水板	止水板	30312610	Ⅲ-直接-3-31
	場所打擁壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	30307250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	30310224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	30306270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	30301100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	30334020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	30312610	Ⅲ-直接-3-31
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	30332040	Ⅲ-直接-3-32

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
擁壁工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄＬ型擁壁	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄＬ型擁壁	30328141	Ⅲ-直接-5-76
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ逆Ｔ型擁壁	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ逆Ｔ型擁壁	30328171	Ⅲ-直接-5-78
		側溝付ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	側溝付ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	30315081	Ⅲ-直接-5-80
	補強土壁工		－	－	
		補強土壁基礎	基礎砕石（基礎材）	30307250	Ⅲ-直接-5-20
			基礎栗石（基礎材）	30307251	Ⅲ-直接-5-21
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	30306270	Ⅲ-直接-3-25
		帯鋼補強土壁・ｱﾝｶｰ補強土壁	壁面材組立・設置（帯鋼補強土壁･ｱﾝｶｰ補強土壁）	30329031	Ⅲ-直接-5-83
			補強材取付（帯鋼補強土壁･ｱﾝｶｰ補強土壁）	30329032	Ⅲ-直接-5-84
			敷均し・締固め（帯鋼補強土壁･ｱﾝｶｰ補強土壁）	30329033	Ⅲ-直接-5-85
			足場	30301100	Ⅲ-直接-16-1
			鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
			土材料	30318020	Ⅲ-直接-1-22
			暗渠排水管敷設（地下排水）	30301031	Ⅲ-直接-5-157
		ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	壁面材組立・設置（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30329030	Ⅲ-直接-1-42
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ材料（ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁）	30312530	Ⅲ-直接-1-43
			ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設・まきだし･敷均し･締固め	30312540	Ⅲ-直接-1-44
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
	井桁ﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		井桁ﾌﾞﾛｯｸ基礎	井桁ﾌﾞﾛｯｸ基礎	30302170	Ⅲ-直接-5-86
		井桁ﾌﾞﾛｯｸ	井桁ﾌﾞﾛｯｸ	30302180	Ⅲ-直接-5-87
	落石防護工		－	－	
		ﾛｰﾌﾟ・金網	ﾛｰﾌﾟ・金網	30345180	Ⅲ-直接-5-209
		支柱	支柱	30312502	Ⅲ-直接-5-210
		ｽﾃｰﾛｰﾌﾟ	ｽﾃｰﾛｰﾌﾟ	30313090	Ⅲ-直接-5-211
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	30307250	Ⅲ-直接-5-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	30310224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	30306270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	30301100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	30334020	Ⅲ-直接-3-30

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
山腹水路工	山腹集水路･排水路工		－	－	
		山腹U型側溝	山腹U型側溝	30311140	Ⅲ-直接-7-9
		山腹ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	山腹ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	30311150	Ⅲ-直接-7-10
	山腹明暗渠工		－	－	
		山腹U型側溝明暗渠	山腹U型側溝明暗渠	30311160	Ⅲ-直接-7-11
		山腹ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ明暗渠	山腹ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ明暗渠	30311170	Ⅲ-直接-7-12
	山腹暗渠工		－	－	
		山腹暗渠	山腹暗渠	30311180	Ⅲ-直接-7-13
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	30320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	30320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	30307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	30308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	30314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	30318020	Ⅲ-直接-1-22
	現場打水路工		－	－	
		現場打水路	現場打水路	30309121	Ⅲ-直接-5-136
	集水桝工		－	－	
		集水桝	集水桝	30312181	Ⅲ-直接-5-153
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	30328231	Ⅲ-直接-5-150
		蓋	蓋	30312130	Ⅲ-直接-5-154

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
地下水排除工	井戸中詰工		－	－	
		井戸中詰	井戸中詰	30302190	Ⅲ-直接-7-17
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	30320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	30320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	30307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	30308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	30314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	30318020	Ⅲ-直接-1-22
	集排水ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ工		－	－	
		ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ	30330300	Ⅲ-直接-7-14
		ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ洗浄	ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ洗浄	30330310	Ⅲ-直接-7-15
		保孔管	保孔管	30330320	Ⅲ-直接-7-16
		ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ仮設機材	ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ仮設機材	30330330	Ⅲ-直接-7-18
		足場	足場	30301200	Ⅲ-直接-16-10
	集水井工		－	－	
		集水井掘削	掘削土留（集水井掘削）	30312900	Ⅲ-直接-7-19
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ井筒	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ井筒	30328410	Ⅲ-直接-7-20
		固定基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	固定基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310490	Ⅲ-直接-7-21
		底張ｺﾝｸﾘｰﾄ	底張ｺﾝｸﾘｰﾄ	30315130	Ⅲ-直接-7-22
		井戸蓋	井戸蓋	30302200	Ⅲ-直接-7-23
地下水遮断工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	30320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	30320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	30307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	30308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	30314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	30318020	Ⅲ-直接-1-22

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
地下水遮断工	場所打擁壁工（構造物単位）		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	30310081	Ⅲ-直接-3-6
		重力式擁壁	重力式擁壁	30312191	Ⅲ-直接-3-8
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	30335031	Ⅲ-直接-3-10
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	30307101	Ⅲ-直接-3-12
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	30304021	Ⅲ-直接-3-14
		鉄筋	鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
		裏込砕石	裏込砕石	30303051	Ⅲ-直接-1-47
		止水板	止水板	30312610	Ⅲ-直接-3-31
	場所打擁壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	30307250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	30310224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	30306270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	30301100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	30334020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	30312610	Ⅲ-直接-3-31
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	30332040	Ⅲ-直接-3-32
	固結工		－	－	
		薬液注入	薬液注入	30336031	Ⅲ-直接-2-20
	矢板工		－	－	
		鋼矢板	鋼矢板	30310161	Ⅲ-直接-4-1
		広幅鋼矢板	広幅鋼矢板	30327141	Ⅲ-直接-4-3

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
抑止杭工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	30320110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	30320120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	30307200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	30308150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	30305090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	30314011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	30303020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	30320011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	30318020	Ⅲ-直接-1-22
	既製杭工		－	－	
		既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	30307091	Ⅲ-直接-4-21
		鋼管杭	鋼管杭	30310071	Ⅲ-直接-4-9
			杭頭処理溶接（鋼管杭）	30310072	Ⅲ-直接-4-10
			現場取卸（鋼管杭）	30310073	Ⅲ-直接-4-11
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310220	Ⅲ-直接-3-20
			鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-5-30
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	場所打杭工		－	－	
		場所打杭	場所打杭	30326131	Ⅲ-直接-4-13
		敷鉄板	設置・撤去（敷鉄板）	30314282	Ⅲ-直接-16-25
			賃料（敷鉄板）	30317111	Ⅲ-直接-16-26
		掘削土処理	残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		泥水処理	泥水処理（現場内）	30319030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	30319080	Ⅲ-直接-2-22
	ｼｬﾌﾄ工（深礎工）		－	－	
		掘削土留	掘削土留	30308210	Ⅲ-直接-4-17
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	30310220	Ⅲ-直接-3-20
		巻立ｺﾝｸﾘｰﾄ			
		鉄筋	鉄筋	30319110	Ⅲ-直接-3-28
			ｶﾞｽ圧接	30306290	Ⅲ-直接-3-29
		ｸﾞﾗｳﾄ注入	ｸﾞﾗｳﾄ注入	30308220	Ⅲ-直接-4-18
		足場	足場	30301109	Ⅲ-直接-16-11

斜面対策

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
抑止杭工	合成杭工		－	－	
		合成杭	合成杭	30310500	Ⅲ-直接-4-19
		敷鉄板	設置・撤去（敷鉄板）	30314282	Ⅲ-直接-16-25
			賃料（敷鉄板）	30314201	Ⅲ-直接-16-26
		掘削土処理	積込（ﾙｰｽﾞ）	30318011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	30314011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	30311011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	30311020	Ⅲ-直接-1-27
		泥水処理	泥水処理（現場内）	30319030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	30319080	Ⅲ-直接-2-22
斜面対策付属物設置工	点検施設工		－	－	
		ｽﾃｯﾌﾟ	ｽﾃｯﾌﾟ	30313100	Ⅲ-直接-6-75
		蓋	蓋	30312130	Ⅲ-直接-5-154

道路改良

道路改良

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂） 掘削（軟岩） 掘削（硬岩）	掘削	50108010	Ⅲ-直接-1-1
			土砂等運搬	50120010	Ⅲ-直接-1-6
			整地	50114010	Ⅲ-直接-1-9
	路体盛土工		－	－	
		路体（流用土） 路体（発生土） 路体（採取土） 路体（購入土）	路体（築堤）盛土	50145010	Ⅲ-直接-1-11
			土材料	50118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50118010	Ⅲ-直接-1-18
	路床盛土工		－	－	
		路床（流用土） 路床（発生土） 路床（採取土） 路床（購入土）	路床盛土	50145020	Ⅲ-直接-1-13
			土材料	50118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50118010	Ⅲ-直接-1-18
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部） 法面整形（盛土部）	法面整形	50125010	Ⅲ-直接-1-23
			土材料	50118020	Ⅲ-直接-1-22
			積込（ルーズ）	50118010	Ⅲ-直接-1-18
			土砂等運搬	50120010	Ⅲ-直接-1-6
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	50114010	Ⅲ-直接-1-9
			残土運搬	50111010	Ⅲ-直接-1-25
			残土等処分	50111020	Ⅲ-直接-1-27
地盤改良工	路床安定処理工	安定処理	路床安定処理工	50145030	Ⅲ-直接-2-6
	置換工		－	－	
		置換	置換	50105030	Ⅲ-直接-2-8
			土材料	50118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50118010	Ⅲ-直接-1-18
	サンドマット工		－	－	
		サンドマット	サンドマット	50111060	Ⅲ-直接-2-2
		安定シート・ネット	安定シート・ネット	50101060	Ⅲ-直接-2-1
	バーチカルドレーン工		－	－	
		サンドドレーン	サンドドレーン	50111050	Ⅲ-直接-2-10
		袋詰式サンドドレーン	袋詰式サンドドレーン	50128040	Ⅲ-直接-2-11
		ペーパードレーン	ペーパードレーン	50129020	Ⅲ-直接-2-12

道路改良

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
地盤改良工	締固め改良工		－	－	
		サンドコンパクションパイル	サンドコンパクションパイル	50111040	Ⅲ-直接-2-13
	固結工		－	－	
		粉体噴射撹拌	粉体噴射撹拌	50128120	Ⅲ-直接-2-14
		スラリー撹拌	スラリー撹拌	50113030	Ⅲ-直接-2-15
		高圧噴射撹拌	高圧噴射撹拌	50110060	Ⅲ-直接-2-17
		薬液注入	薬液注入	50136030	Ⅲ-直接-2-19
			泥水処理（現場内）	50119030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	50119080	Ⅲ-直接-2-22
			残土運搬	50111010	Ⅲ-直接-1-25
			残土等処分	50111020	Ⅲ-直接-1-27
法面工	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	50112300	Ⅲ-直接-5-33
		客土吹付	客土吹付	50107140	Ⅲ-直接-5-35
		植生基材吹付	植生基材吹付	50112320	Ⅲ-直接-5-37
		植生シート	植生シート	50112330	Ⅲ-直接-5-39
		植生マット	植生マット	50112350	Ⅲ-直接-5-41
		植生筋	植生筋	50112340	Ⅲ-直接-5-43
		張芝	張芝	50126150	Ⅲ-直接-5-44
		筋芝	筋芝	50113040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	50102080	Ⅲ-直接-5-47
		人工張芝	人工張芝	50112360	Ⅲ-直接-5-48
		植生穴			
		－	繊維ネット	50114030	Ⅲ-直接-5-50
		－	ラス張	50141030	Ⅲ-直接-5-51
	法面吹付工		法面吹付工	50125030	Ⅲ-直接-5-52
		モルタル吹付			
		コンクリート吹付			
	法枠工		－	－	
		吹付枠	法枠	50125040	Ⅲ-直接-5-55
		プレキャスト法枠			
			中詰	50121020	Ⅲ-直接-5-61
		現場打法枠			
	法面施肥工		－	－	
		法面施肥	法面施肥	50125020	Ⅲ-直接-5-60
	アンカー工		－	－	
		アンカー	アンカー	50101050	Ⅲ-直接-5-63
		アンカー（プレキャストコンクリート板）	プレキャストコンクリート板	50128110	Ⅲ-直接-5-71
		足場（アンカー）	※各項目に含む	－	
		鉄筋挿入	鉄筋挿入	50119040	Ⅲ-直接-5-73
		足場			
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	50112150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	50102070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	50128060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	50102070	Ⅲ-直接-6-37

道路改良

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
軽量盛土工	軽量盛土工		軽量盛土工	50109040	Ⅲ-直接-1-36
		軽量盛土			
		コンクリート床板			
		基礎コンクリート			
		壁体			
		裏込砕石			
擁壁工	既製杭工		－	－	
		既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	既製コンクリート杭	50107090	Ⅲ-直接-4-20
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		鋼管杭	鋼管杭	50110070	Ⅲ-直接-4-8
	場所打杭工		－	－	
		場所打杭	場所打杭	50126130	Ⅲ-直接-4-12
		掘削土処理	掘削土運搬	50108080	Ⅲ-直接-4-14
			掘削土処分	50108090	Ⅲ-直接-4-15
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		泥水処理	泥水処理（現場内）	50119030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	50119080	Ⅲ-直接-2-22
			残土等処分	50111020	Ⅲ-直接-1-27
	場所打擁壁工（構造物単位）		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	50110080	Ⅲ-直接-3-5
		重力式擁壁	重力式擁壁	50112190	Ⅲ-直接-3-7
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	50135030	Ⅲ-直接-3-9
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	50107100	Ⅲ-直接-3-11
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	50104020	Ⅲ-直接-3-13
		鉄筋	※各項目に含む	－	
		裏込砕石			
		止水板			
	場所打擁壁工		－	－	
		基礎材			
		均しコンクリート			
		コンクリート			
		鉄筋			
		型枠			
		足場			
		目地材			
		止水板			
		水抜パイプ			
		吸出し防止材			
	プレキャスト擁壁工		－	－	
		プレキャストＬ型擁壁	プレキャストＬ型擁壁	50128140	Ⅲ-直接-5-75
		プレキャスト逆Ｔ型擁壁	プレキャスト逆Ｔ型擁壁	50128170	Ⅲ-直接-5-77
		側溝付プレキャスト擁壁	側溝付プレキャスト擁壁	50115080	Ⅲ-直接-5-79

道路改良

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
擁壁工	補強土壁工		－	－	
		補強土壁基礎	※各項目に含む	－	
		帯鋼補強土壁・アンカー	テールアルメ	50119070	Ⅲ-直接-5-81
		補強土壁	多数アンカー	50116040	Ⅲ-直接-5-82
		ジオテキスタイル補強土壁	ジオテキスタイル	50112290	Ⅲ-直接-1-41
			土材料	50118020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50120010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50118010	Ⅲ-直接-1-18
	井桁ブロック工		－	－	
		井桁ブロック基礎			
		井桁ブロック			
石・ブロック積（張）工	コンクリートブロック工		－	－	
		コンクリートブロック基礎	※各項目に含む	－	
		コンクリートブロック積	間知ブロック積	50109070	Ⅲ-直接-5-13
		間知ブロック張			
		平ブロック張			
		連節ブロック張			
		緑化ブロック積	緑化ブロック積	50142030	Ⅲ-直接-5-14
			大型緑化ブロック積	50105061	Ⅲ-直接-5-19
		ブロック植樹	ブロック植樹	50128150	Ⅲ-直接-5-26
		天端コンクリート	※各項目に含む	－	
		小口止コンクリート	※各項目に含む	－	
	石積（張）工		－		
		石積（張）基礎	※各項目に含む	－	
		石積	石積	50102090	Ⅲ-直接-5-27
			石材料	50102070	Ⅲ-直接-6-37
		石張			
		天端コンクリート	※各項目に含む	－	
カルバート工	既製杭工		－	－	
		既製コンクリート杭	既製コンクリート杭	50107090	Ⅲ-直接-4-20
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		鋼管杭	鋼管杭	50110070	Ⅲ-直接-4-8
	場所打杭工		－	－	
		場所打杭	場所打杭	50126130	Ⅲ-直接-4-12
		掘削土処理	掘削土運搬	50108080	Ⅲ-直接-4-14
			掘削土処分	50108090	Ⅲ-直接-4-15
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		泥水処理	泥水処理（現場内）	50119030	Ⅲ-直接-2-21
			泥水運搬	50119080	Ⅲ-直接-2-22
			残土等処分	50111020	Ⅲ-直接-1-27
	場所打函渠工（構造物単位）		場所打函渠工	50126120	Ⅲ-直接-3-15
		函渠			
		鉄筋			

道路改良

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
カルバート工	場所打函渠工		－	－	
		基礎材			
		均しコンクリート			
		コンクリート			
		鉄筋			
		型枠			
		支保			
		足場			
		目地材			
		止水板			
		水抜パイプ			
	プレキャストカルバート工		プレキャストカルバート工	50128090	Ⅲ-直接-5-161
		プレキャストボックス			
	防水工		防水工	50130060	Ⅲ-直接-12-1
		防水			
		防水保護			
排水構造物工	側溝工		－	－	
		プレキャストU型側溝	プレキャストU型側溝（本体）	50138031	Ⅲ-直接-5-133
		コルゲートフリューム			
		自由勾配側溝	自由勾配側溝（本体）	50112380	Ⅲ-直接-5-139
		側溝蓋	U型側溝（蓋）	50138020	Ⅲ-直接-5-134
			自由勾配側溝（蓋）	50112370	Ⅲ-直接-5-140
	管渠工		－	－	
		管渠	管渠	50106040	Ⅲ-直接-5-146
		コルゲートパイプ			
	集水桝・マンホール工		－	－	
		街渠桝	集水桝・街渠桝（本体）	50112020	Ⅲ-直接-5-151
		集水桝			
		プレキャスト街渠桝			
		プレキャスト集水桝			
		マンホール	マンホール	50131020	Ⅲ-直接-5-160
		プレキャストマンホール			
		蓋	蓋	50112130	Ⅲ-直接-5-154
	地下排水工		－	－	
		地下排水	暗渠排水管	50101030	Ⅲ-直接-5-156
	場所打水路工		－	－	
		現場打水路	現場打ち水路（本体）	50138032	Ⅲ-直接-5-137
		側溝蓋	U型側溝（蓋）	50138020	Ⅲ-直接-5-134
	排水工		－	－	
		小段排水	プレキャストU型側溝（本体）	50138031	Ⅲ-直接-5-133
		縦排水			
			U型側溝（蓋）	50138020	Ⅲ-直接-5-134

道路改良

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
落石雪害防止工	落石防止網工		－	－	
		ロックネット	金網・ロープ（ロックネット）	50145080	Ⅲ-直接-5-202
			アンカー（ロックネット）	50145070	Ⅲ-直接-5-203
			支柱（ロックネット）	50145090	Ⅲ-直接-5-204
		繊維網	繊維網	50114020	Ⅲ-直接-5-207
	落石防護柵工		－	－	
		ロープ・金網	落石防護柵	50141010	Ⅲ-直接-5-208
		支柱			
		ステーロープ			
		基礎材			
		コンクリート			
		鉄筋			
		型枠			
		足場			
		目地材			
	防雪柵工		防雪柵工	50130070	Ⅲ-直接-5-242
		防雪柵			
	雪崩予防柵工		雪崩予防柵工	50121010	Ⅲ-直接-5-244
		雪崩予防柵基礎			
		雪崩予防柵			
		雪崩予防柵アンカー			
遮音壁工	遮音壁基礎工		遮音壁	50112140	Ⅲ-直接-5-212
		基礎杭			
		基礎材			
		均しコンクリート			
		コンクリート			
		型枠			
		鉄筋			
		支柱アンカーボルト			
	遮音壁本体工				
		遮音壁			
		外装板			
	－		騒音低減装置	50115020	Ⅲ-直接-5-213

舗装

舗装

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂）	掘削	50208010	Ⅲ-直接-1-1
		掘削（軟岩）			
		掘削（硬岩）			
			土砂等運搬	50220010	Ⅲ-直接-1-6
			整地	50214010	Ⅲ-直接-1-9
	路体盛土工		－	－	
		路体（流用土）	路体（築堤）盛土	50245010	Ⅲ-直接-1-11
		路体（発生土）			
		路体（採取土）			
		路体（購入土）			
			土材料	50218020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50220010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50218010	Ⅲ-直接-1-18
	路床盛土工		－	－	
		路床（流用土）	路床盛土	50245020	Ⅲ-直接-1-13
		路床（発生土）			
		路床（採取土）			
		路床（購入土）			
			土材料	50218020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50220010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50218010	Ⅲ-直接-1-18
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	50225010	Ⅲ-直接-1-23
		法面整形（盛土部）			
			土材料	50218020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50220010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50218010	Ⅲ-直接-1-18
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	50214010	Ⅲ-直接-1-9
			残土運搬	50211010	Ⅲ-直接-1-25
			残土等処分	50211020	Ⅲ-直接-1-27
地盤改良工	路床安定処理工		路床安定処理工	50245030	Ⅲ-直接-2-6
		安定処理			
	置換工		－	－	
		置換	置換	50205030	Ⅲ-直接-2-8
			土材料	50218020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50220010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50218010	Ⅲ-直接-1-18
舗装工	舗装準備工		－	－	
		不陸整正	不陸整正（車道部）	50228010	Ⅲ-直接-5-88
		調整コンクリート	調整コンクリート	50217010	Ⅲ-直接-5-91
	橋面防水工		－	－	
		橋面防水	橋面防水	50207010	Ⅲ-直接-5-92

舗装

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
舗装工	アスファルト舗装工		アスファルト舗装工（車道部）	50201010	Ⅲ-直接-5-93
		下層路盤	下層路盤（車道部）	50206010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	50245050	Ⅲ-直接-5-97
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	50212010	Ⅲ-直接-5-98
		路盤	路盤（歩道部）	50245040	Ⅲ-直接-5-101
		基層	基層（車道・路肩部）	50207020	Ⅲ-直接-5-103
		中間層	中間層（車道・路肩部）	50217020	Ⅲ-直接-5-104
		表層	表層（車道・路肩部）	50227010	Ⅲ-直接-5-107
			表層（歩道部）	50227030	Ⅲ-直接-5-109
	半たわみ性舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道部）	50206010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	50245050	Ⅲ-直接-5-97
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	50212010	Ⅲ-直接-5-98
		基層	基層（車道・路肩部）	50207020	Ⅲ-直接-5-103
		半たわみ性舗装	半たわみ性舗装	50226070	Ⅲ-直接-5-111
	排水性舗装工		排水性舗装工（車道部）	50226010	Ⅲ-直接-5-112
		下層路盤	下層路盤（車道部）	50206010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	50245050	Ⅲ-直接-5-97
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	50212010	Ⅲ-直接-5-98
		基層	排水性舗装･基層（車道・路肩部）	50226060	Ⅲ-直接-5-115
		中間層	排水性舗装･中間層（車道・路肩部）	50226050	Ⅲ-直接-5-114
		表層	排水性舗装･表層（車道・路肩部）	50226020	Ⅲ-直接-5-113
	透水性舗装工		－	－	
		透水性舗装・フィルター層（歩道部）	透水性舗装・フィルター層（歩道部）	50220060	Ⅲ-直接-5-116
		路盤（歩道部）	路盤（歩道部）	50245040	Ⅲ-直接-5-101
		透水性舗装・表層（歩道部）	透水性舗装・表層（歩道部）	50220050	Ⅲ-直接-5-117
	グースアスファルト舗装工		－	－	
		基層	グースアスファルト舗装・基層	50208040	Ⅲ-直接-5-118
		表層	グースアスファルト舗装・表層	50208050	Ⅲ-直接-5-119
	コンクリート舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道部）	50206010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	50245050	Ⅲ-直接-5-97
			路盤（歩道部）	50245040	Ⅲ-直接-5-101
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	50212010	Ⅲ-直接-5-98
		アスファルト中間層	中間層（車道・路肩部）	50217020	Ⅲ-直接-5-104
		コンクリート舗装	コンクリート舗装（車道部）	50210020	Ⅲ-直接-5-120
			コンクリート舗装（歩道部）	50210030	Ⅲ-直接-5-121
		転圧コンクリート舗装	転圧コンクリート舗装	50219020	Ⅲ-直接-5-126
		目地材材料費	※各項目に含む	－	
		縦目地			
		横目地			

舗装

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
舗装工	薄層カラー舗装工		－	－	
		下層路盤	下層路盤（車道部）	50206010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	50245050	Ⅲ-直接-5-97
			路盤（歩道部）	50245040	Ⅲ-直接-5-101
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	50212010	Ⅲ-直接-5-98
		薄層カラー舗装	薄層カラー舗装	50226080	Ⅲ-直接-5-127
	ブロック舗装工		－	－	
		下層路盤（車道部）	下層路盤（車道部）	50206010	Ⅲ-直接-5-94
			路盤（路肩部）	50245050	Ⅲ-直接-5-97
			路盤（歩道部）	50245040	Ⅲ-直接-5-101
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	50212010	Ⅲ-直接-5-98
		ブロック舗装	インターロッキングブロック舗装	50202010	Ⅲ-直接-5-128
			特殊ブロック舗装	50220030	Ⅲ-直接-5-129
		平石張			
排水構造物工	側溝工		－	－	
		Ｌ型側溝	Ｌ型側溝	50204010	Ⅲ-直接-5-130
		管（函）渠型側溝	管（函）渠型側溝	50206090	Ⅲ-直接-5-141
		Ｕ型側溝	プレキャストＵ型側溝（本体）	50238031	Ⅲ-直接-5-133
		自由勾配側溝	自由勾配側溝（本体）	50212380	Ⅲ-直接-5-139
		側溝蓋	Ｕ型側溝（蓋）	50238020	Ⅲ-直接-5-134
			自由勾配側溝（蓋）	50212370	Ⅲ-直接-5-140
	管渠工		－	－	
		管渠	管渠	50206040	Ⅲ-直接-5-146
		コルゲートパイプ			
	集水桝・マンホール工		－	－	
		街渠桝	集水桝・街渠桝（本体）	50212020	Ⅲ-直接-5-151
		集水桝			
		プレキャスト街渠桝			
		プレキャスト集水桝			
		マンホール	マンホール	50231020	Ⅲ-直接-5-160
		プレキャストマンホール			
		蓋	蓋	50212130	Ⅲ-直接-5-154
	地下排水工		－	－	
		地下排水	暗渠排水管	50201030	Ⅲ-直接-5-156
	場所打水路工		－	－	
		現場打水路	場所打ち水路（本体）	50238032	Ⅲ-直接-5-137
		側溝蓋	Ｕ型側溝（蓋）	50238020	Ⅲ-直接-5-134
	排水工		－	－	
		現場打水路	プレキャストＵ型側溝（本体）	50238031	Ⅲ-直接-5-133
		側溝蓋	Ｕ型側溝（蓋）	50238020	Ⅲ-直接-5-134

舗装

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
縁石工	縁石工		－	－	
		歩車道境界ブロック	歩車道境界ブロック	50230010	Ⅲ-直接-5-164
		地先境界ブロック	地先境界ブロック	50217030	Ⅲ-直接-5-166
		植樹ブロック	植樹ブロック	50212030	Ⅲ-直接-5-168
		アスカーブ	アスカーブ	50201040	Ⅲ-直接-5-174
	分離帯工		－	－	
		－	歩車道境界ブロック	50230010	Ⅲ-直接-5-164
		－	Ｌ型側溝	50204010	Ⅲ-直接-5-130
		－	間詰コンクリート	50231030	Ⅲ-直接-5-170
		－	間詰砕石	50231040	Ⅲ-直接-5-171
		－	客土	50207060	Ⅲ-直接-5-172
		－	植樹帯盛土	50212040	Ⅲ-直接-5-173
		－	土材料	50218020	Ⅲ-直接-1-22
踏掛版工	踏掛版工		踏掛版工	50228020	Ⅲ-直接-5-176
		コンクリート			
		型枠			
		鉄筋			
		縦目地			
		横目地			
		ゴム支承			
		目地板			
		アンカーボルト			
防護柵工	路側防護柵工		－	－	
		ガードレール	ガードレール	50206050	Ⅲ-直接-5-214
		ガードケーブル	ガードケーブル	50206060	Ⅲ-直接-5-216
		ガードパイプ	ガードパイプ	50206070	Ⅲ-直接-5-218
	防止柵工		－	－	
		立入防止柵	立入防止柵	50216010	Ⅲ-直接-5-224
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	50219010	Ⅲ-直接-5-228
		遮光フェンス			
	ボックスビーム工		－	－	
		ボックスビーム	ボックスビーム	50230030	Ⅲ-直接-5-220
	車止めポスト工		－	－	
		車止めポスト	車止めポスト	50208020	Ⅲ-直接-5-222
標識工	小型標識工		－	－	
		標識柱	標識柱（路側式）	50227210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板	標識板（案内）	50227040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	50227060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	50219120	Ⅲ-直接-5-194
	大型標識工		－	－	
		標識基礎	標識基礎	50227050	Ⅲ-直接-5-195
		片持標識柱	片持標識柱	50206080	Ⅲ-直接-5-199
		門型標識柱	門型標識柱	50235020	Ⅲ-直接-5-197
		標識板	標識板（案内）	50227040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	50227060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	50219120	Ⅲ-直接-5-194
		着雪防止板	着雪防止板	50217040	Ⅲ-直接-5-201

舗装

ﾚﾍﾞﾙ2 (工種)	ﾚﾍﾞﾙ3 (種別)	ﾚﾍﾞﾙ4 (細別)	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
区画線工	区画線工		－	－	
		溶融式区画線	溶融式区画線	50240010	Ⅲ-直接-5-177
		ペイント式区画線	ペイント式区画線	50229010	Ⅲ-直接-5-179
		高視認性区画線	高視認性区画線	50210040	Ⅲ-直接-5-181
		仮区画線			
		区画線消去	区画線消去	50208030	Ⅲ-直接-5-182
道路植栽工	道路植栽工		－	－	
		植樹帯盛土	植樹帯盛土	50212040	Ⅲ-直接-5-173
		植樹	植樹	50212050	Ⅲ-直接-5-232
		支柱			
		地被類植付	地被類植付	50217050	Ⅲ-直接-14-65
		樹名板			
			土材料	50218020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	50220010	Ⅲ-直接-1-6
			積込（ルーズ）	50218010	Ⅲ-直接-1-18
			客土	50207060	Ⅲ-直接-5-172
道路付属施設工	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	50207040	Ⅲ-直接-5-184
		境界鋲	境界鋲	50207050	Ⅲ-直接-5-185
	道路付属物工		－	－	
		視線誘導標	視線誘導標	50212070	Ⅲ-直接-5-186
		距離標			
		道路鋲	道路鋲	50220040	Ⅲ-直接-5-188
		車線分離標	車線分離標	50212080	Ⅲ-直接-5-189
	ケーブル配管工		－	－	
		ケーブル配管	ケーブル配管（歩道部）	50209010	Ⅲ-直接-5-235
			ケーブル配管（交差点横断部）	50209020	Ⅲ-直接-5-236
		ハンドホール	ハンドホール	50226040	Ⅲ-直接-5-238
	照明工		－	－	
		照明柱基礎	照明柱基礎	50212090	Ⅲ-直接-5-240
		照明柱	照明柱	50212101	Ⅲ-直接-5-241
橋梁付属物工	伸縮装置工		－	－	
		鋼・ゴム製伸縮装置	鋼・ゴム製伸縮装置	50210050	Ⅲ-直接-9-4
		埋設ジョイント	埋設ジョイント	50231010	Ⅲ-直接-9-6

電線共同溝

電線共同溝

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
舗装版撤去工	舗装版破砕工		－	－	
		舗装版切断	舗装版切断	51230150	Ⅲ-直接-13-2
		舗装版破砕	舗装版破砕	51230162	Ⅲ-直接-13-4
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
開削土工	掘削工		－	－	
		開削掘削	開削掘削	51206370	Ⅲ-直接-1-5
			土砂等運搬	51220011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51214011	Ⅲ-直接-1-10
	埋戻し工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	51203022	Ⅲ-直接-1-33
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51218013	Ⅲ-直接-1-21
			土砂等運搬	51220011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51218020	Ⅲ-直接-1-22
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	51214011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	51211011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51211020	Ⅲ-直接-1-27
電線共同溝工	管路工（管路部）		－	－	
		埋設管路	埋設管路	51231100	Ⅲ-直接-12-4
		露出管路	露出管路	51245220	Ⅲ-直接-12-5
		埋設表示ｼｰﾄ	埋設表示ｼｰﾄ	51231110	Ⅲ-直接-12-6
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工（特殊部）		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	51228261	Ⅲ-直接-12-7
			基礎砕石（基礎材）	51207250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51210220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51206270	Ⅲ-直接-3-25
		蓋	蓋	51228340	Ⅲ-直接-12-8
	現場打ボックス工（特殊部）		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51207250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51210220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ			
		型枠	型枠	51206270	Ⅲ-直接-3-25
		鉄筋	鉄筋	51219110	Ⅲ-直接-3-28
付帯設備工	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		－	－	
		ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	51226290	Ⅲ-直接-12-9
	土留壁工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51210220	Ⅲ-直接-3-20
		鉄筋	鉄筋	51219110	Ⅲ-直接-3-28
		型枠	型枠	51206270	Ⅲ-直接-3-25

道路維持

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
巡視･巡回工	道路巡回工		－	－	
		通常巡回	通常巡回	51418060	Ⅲ-直接-14-2
		緊急巡回	緊急巡回	51407260	Ⅲ-直接-14-3
道路土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂） 掘削（軟岩） 掘削（硬岩）	掘削	51408012	Ⅲ-直接-1-3
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
	路体盛土工		－	－	
		盛土（流用土） 盛土（発生土） 盛土（採取土） 盛土（購入土）	路体（築堤）盛土	51445011	Ⅲ-直接-1-12
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
	路床盛土工		－	－	
		路床（流用土） 路床（発生土） 路床（採取土） 路床（購入土）	路床盛土	51445021	Ⅲ-直接-1-14
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部） 法面整形（盛土部）	法面整形	51425011	Ⅲ-直接-1-24
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
舗装工	路面切削工		－	－	
		路面切削	路面切削	51445100	Ⅲ-直接-13-1
		殻運搬処理	殻運搬（路面切削）	51406260	Ⅲ-直接-15-27
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	舗装打換え工		－	－	
		舗装版切断	舗装版切断	51430150	Ⅲ-直接-13-2
		舗装版破砕	舗装版破砕	51430160	Ⅲ-直接-13-3
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	51406011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	51406012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	51412011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	51412012	Ⅲ-直接-5-100
		基層	基層・中間層（車道・路肩部）	51407021	Ⅲ-直接-5-105
		中間層	基層・中間層（歩道部）	51407022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	51427011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	51427031	Ⅲ-直接-5-110
	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工		－	－	
		切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	51414070	Ⅲ-直接-13-6
		殻運搬処理	殻運搬（路面切削）	51406260	Ⅲ-直接-15-27
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工		－	－	
		基層	基層・中間層（車道・路肩部）	51407021	Ⅲ-直接-5-105
		中間層	基層・中間層（歩道部）	51407022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	51427011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	51427031	Ⅲ-直接-5-110
	路上再生工		－	－	
		路上再生路盤	路上再生路盤	51445110	Ⅲ-直接-13-7
		路上表層再生	路上表層再生	51445120	Ⅲ-直接-13-8

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
舗装工	薄層ｶﾗｰ舗装工		－	－	
		舗装版切断	舗装版切断	51430150	Ⅲ-直接-13-2
		舗装版破砕	舗装版破砕	51430160	Ⅲ-直接-13-3
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		薄層ｶﾗｰ舗装	薄層ｶﾗｰ舗装	51426080	Ⅲ-直接-5-127
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装補修工		－	－	
		ｱｽﾌｧﾙﾄ注入	ｱｽﾌｧﾙﾄ注入	51401110	Ⅲ-直接-14-33
		舗装版目地補修	目地補修（舗装版目地補修）	51434010	Ⅲ-直接-14-34
			ｸﾗｯｸ防止ｼｰﾄ張（舗装版目地補修）	51408130	Ⅲ-直接-14-35
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装補修工		－	－	
		ｸﾗｯｸ処理	ｸﾗｯｸ処理	51408140	Ⅲ-直接-14-38
		わだち掘れ補修	わだち掘れ補修	51446020	Ⅲ-直接-14-36
		ﾊﾟｯﾁﾝｸﾞ	ﾊﾟｯﾁﾝｸﾞ	51426180	Ⅲ-直接-14-37
	ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ工		－	－	
		ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ	ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ	51408160	Ⅲ-直接-13-9
		ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ（路面排水用）	ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ（路面排水用）	51408170	Ⅲ-直接-13-10
排水構造物工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51420110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51420120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51408150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51403020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
排水構造物工	側溝工		－	－	
		L 型側溝	L 型側溝	51404011	Ⅲ-直接-5-131
		管（函）渠型側溝	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			管（函）渠型側溝	51406091	Ⅲ-直接-5-142
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ U 型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ U 型側溝	51428210	Ⅲ-直接-5-132
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	51410240	Ⅲ-直接-5-143
		自由勾配側溝	自由勾配側溝	51412381	Ⅲ-直接-5-138
		側溝蓋	側溝蓋	51428220	Ⅲ-直接-5-155
	管渠工		－	－	
		管渠	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-21
			鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			管渠	51406041	Ⅲ-直接-5-147
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	51431050	Ⅲ-直接-5-148
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	51410250	Ⅲ-直接-5-145
	集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		－	－	
		街渠桝 集水桝 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ街渠桝 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	51428230	Ⅲ-直接-5-149
		ﾏﾝﾎｰﾙ	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾏﾝﾎｰﾙ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾏﾝﾎｰﾙ	51428240	Ⅲ-直接-5-159
		蓋	蓋	51412130	Ⅲ-直接-5-154

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
排水構造物工	地下排水工		－	－	
		地下排水	暗渠排水管敷設（地下排水）	51401031	Ⅲ-直接-5-157
			ﾌｨﾙﾀｰ材敷設（地下排水）	51428250	Ⅲ-直接-5-158
	場所打水路工		－	－	
		現場打水路	現場打水路	51409120	Ⅲ-直接-5-135
		側溝蓋	蓋	51412130	Ⅲ-直接-5-154
	排水工		－	－	
		小段排水	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	51428210	Ⅲ-直接-5-132
		縦排水			
防護柵工	路側防護柵工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	51406051	Ⅲ-直接-5-215
		ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ	ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ	51406061	Ⅲ-直接-5-217
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	51406071	Ⅲ-直接-5-219
	防止柵工		－	－	
		立入防止柵	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（立入防止柵）	51407270	Ⅲ-直接-5-225
			支柱（立入防止柵）	51412590	Ⅲ-直接-5-226
			金網（ﾌｪﾝｽ）（立入防止柵）	51406280	Ⅲ-直接-5-227
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	51419011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ（転落（横断）防止柵）	51427200	Ⅲ-直接-5-230
		遮光ﾌｪﾝｽ	遮光ﾌｪﾝｽ	51412600	Ⅲ-直接-5-231
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51420110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51420120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51408150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
防護柵工	作業土工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	51403020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51418011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
	ﾎﾞｯｸｽﾋﾞｰﾑ工		－	－	
		ﾎﾞｯｸｽﾋﾞｰﾑ	ﾎﾞｯｸｽﾋﾞｰﾑ	51430031	Ⅲ-直接-5-221
	車止めﾎﾟｽﾄ工		－	－	
		車止めﾎﾟｽﾄ	車止めﾎﾟｽﾄ	51408021	Ⅲ-直接-5-223
	防護柵基礎工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ			
		型枠	型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
		鉄筋	鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51406290	Ⅲ-直接-3-29
		目地板	目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
標識工	小型標識工		－	－	
		標識柱	標識柱（路側式）	51427210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板	標識板（案内）	51427040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	51427060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具（標識板）	51419120	Ⅲ-直接-5-194
	大型標識工		－	－	
		標識基礎	標識基礎	51427051	Ⅲ-直接-5-196
		片持標識柱	片持標識柱	51406081	Ⅲ-直接-5-200
		門型標識柱	門型標識柱	51435021	Ⅲ-直接-5-198
		標識板	標識板（案内）	51427040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	51427060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具（標識板）	51419120	Ⅲ-直接-5-194
		着雪防止板	着雪防止板	51417040	Ⅲ-直接-5-201

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路付属施設工	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	51407040	Ⅲ-直接-5-184
		境界鋲	境界鋲	51407050	Ⅲ-直接-5-185
	道路付属物工		－	－	
		視線誘導標	視線誘導標	51412070	Ⅲ-直接-5-186
		距離標	距離標	51407210	Ⅲ-直接-5-187
		道路鋲	道路鋲	51420040	Ⅲ-直接-5-188
		車線分離標	車線分離標	51412081	Ⅲ-直接-5-190
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51420110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51420120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51408150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51403020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
	ｹｰﾌﾞﾙ配管工		－	－	
		ｹｰﾌﾞﾙ配管	ｹｰﾌﾞﾙ配管	51409021	Ⅲ-直接-5-237
		ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	51426041	Ⅲ-直接-5-239
	照明工		－	－	
		照明柱基礎	照明柱基礎	51412091	Ⅲ-直接-5-240
		照明柱	照明柱	51412101	Ⅲ-直接-5-241

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	51426190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	51410200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	51407220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	51429070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	50403050	Ⅲ-直接-1-46
擁壁工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51420110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51420120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51408150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51403020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
	場所打擁壁工（構造物単位）		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	51410081	Ⅲ-直接-3-6
		重力式擁壁	重力式擁壁	51412191	Ⅲ-直接-3-8
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	51435031	Ⅲ-直接-3-10
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	51407101	Ⅲ-直接-3-12
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	51404021	Ⅲ-直接-3-14
		鉄筋	鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51406290	Ⅲ-直接-3-29
		裏込砕石	裏込砕石	51403051	Ⅲ-直接-1-47
		止水板	止水板	51412610	Ⅲ-直接-3-31

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
擁壁工	場所打擁壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	51410224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51406290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	51401100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	51412610	Ⅲ-直接-3-31
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	51432040	Ⅲ-直接-3-32
		吸出し防止材	吸出し防止材	51413010	Ⅲ-直接-5-24
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型擁壁	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型擁壁	51428141	Ⅲ-直接-5-76
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ逆T型擁壁	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ逆T型擁壁	51428171	Ⅲ-直接-5-78
		側溝付ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	側溝付ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	51415081	Ⅲ-直接-5-80
石･ﾌﾞﾛｯｸ積（張）工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51420110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51420120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51408150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51403020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
石･ﾌﾞﾛｯｸ積（張）工	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ基礎	現場打基礎	51409051	Ⅲ-直接-6-2
			基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	大型ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	51405110	Ⅲ-直接-5-17
			間知ﾌﾞﾛｯｸ積	51409081	Ⅲ-直接-5-12
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	51420131	Ⅲ-直接-5-22
			胴込・裏込材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	51420132	Ⅲ-直接-5-23
			吸出し防止材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	51413011	Ⅲ-直接-5-25
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
			遮水ｼｰﾄ	51412620	Ⅲ-直接-3-33
		間知ﾌﾞﾛｯｸ張	間知ﾌﾞﾛｯｸ張	51409061	Ⅲ-直接-5-2
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
		平ﾌﾞﾛｯｸ張	平ﾌﾞﾛｯｸ張	51427131	Ⅲ-直接-5-4
		連節ﾌﾞﾛｯｸ張	連節ﾌﾞﾛｯｸ張	51444022	Ⅲ-直接-5-7
		緑化ﾌﾞﾛｯｸ積	緑化ﾌﾞﾛｯｸ積	51442031	Ⅲ-直接-5-15
		ﾌﾞﾛｯｸ植栽	ﾌﾞﾛｯｸ植樹	51428150	Ⅲ-直接-5-26
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	51419062	Ⅲ-直接-3-3
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
		小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410260	Ⅲ-直接-3-23

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
石･ﾌﾞﾛｯｸ積（張）工	石積（張）工		－	－	
		石積（張）基礎	現場打基礎	51409051	Ⅲ-直接-6-2
			基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
		石積	石積・張	51402120	Ⅲ-直接-5-30
		石張	胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	51420130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	51403060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	51413010	Ⅲ-直接-5-24
			石材料	51402070	Ⅲ-直接-6-37
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	51419062	Ⅲ-直接-3-3
			目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51420110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51420120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51407200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51408150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51405090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51414011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51411011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51411020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51403020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51418011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
	場所打函渠工（構造物単位）		－	－	
		函渠	函渠	51406300	Ⅲ-直接-3-16
		鉄筋	鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51406290	Ⅲ-直接-3-29

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工	場所打函渠工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51407250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打函渠）	51410225	Ⅲ-直接-3-19
		鉄筋	鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51406290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
		支保	支保	51412630	Ⅲ-直接-16-18
		足場	足場	51401100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	51434020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	51412610	Ⅲ-直接-3-31
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	51432040	Ⅲ-直接-3-32
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	51428260	Ⅲ-直接-5-162
			鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
	防水工		－	－	
		防水	防水	51430170	Ⅲ-直接-12-2
		防水保護	防水保護	51430180	Ⅲ-直接-12-3
法面工	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	51412301	Ⅲ-直接-5-34
		客土吹付	客土吹付	51407140	Ⅲ-直接-5-35
		植生基材吹付	植生基材吹付	51412321	Ⅲ-直接-5-36
		植生ｼｰﾄ	植生ｼｰﾄ	51412331	Ⅲ-直接-5-38
		植生ﾏｯﾄ	植生ﾏｯﾄ	51412351	Ⅲ-直接-5-40
		植生筋	植生筋	51412340	Ⅲ-直接-5-43
		張芝	張芝	51426151	Ⅲ-直接-5-45
		筋芝	筋芝	51413040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	51402080	Ⅲ-直接-5-47
		人工張芝	人工張芝	51412360	Ⅲ-直接-5-48
		植生穴	植生穴	51412640	Ⅲ-直接-5-49
			繊維ﾈｯﾄ	51414030	Ⅲ-直接-5-50
			ラス張	51441030	Ⅲ-直接-5-51

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法面工	法面吹付工		－	－	
		ﾓﾙﾀﾙ吹付	ﾓﾙﾀﾙ吹付	51435090	Ⅲ-直接-5-53
		ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	51410270	Ⅲ-直接-5-54
	法枠工		－	－	
		現場打法枠	現場打法枠	51409150	Ⅲ-直接-5-57
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	51428270	Ⅲ-直接-5-58
		吹付枠	吹付枠	51428280	Ⅲ-直接-5-59
			中詰	51421021	Ⅲ-直接-5-62
			ラス張	51441030	Ⅲ-直接-5-51
	法面施肥工		－	－	
		法面施肥	法面施肥	51425020	Ⅲ-直接-5-60
	ｱﾝｶｰ工		－	－	
		ｱﾝｶｰ	削孔（ｱﾝｶｰ）	51411092	Ⅲ-直接-5-64
			ｱﾝｶｰ鋼材加工・組立・挿入（ｱﾝｶｰ）	51401051	Ⅲ-直接-5-65
			ｱﾝｶｰ鋼材挿入（工場加工・組立）（ｱﾝｶｰ）	51401053	Ⅲ-直接-5-66
			ｸﾞﾗｳﾄﾞ注入（ｱﾝｶｰ）	51408180	Ⅲ-直接-5-67
			ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ移設（ｱﾝｶｰ）	51430190	Ⅲ-直接-5-68
			緊張・定着・頭部処理（ｱﾝｶｰ）	51407280	Ⅲ-直接-5-69
			ｱﾝｶｰ工材料費（ｱﾝｶｰ）	51401052	Ⅲ-直接-5-70
		ｱﾝｶｰ（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板）	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板	51428111	Ⅲ-直接-5-72
		足場（ｱﾝｶｰ）	足場（ｱﾝｶｰ）	51401106	Ⅲ-直接-16-2
		鉄筋挿入	鉄筋挿入	51419041	Ⅲ-直接-5-74
		足場（鉄筋挿入）	足場（鉄筋挿入）	51401107	Ⅲ-直接-16-3
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	51412150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	51402070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	51428060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	51402070	Ⅲ-直接-6-37

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
橋梁床版工	床版補強工（鋼板接着工法）		－	－	
		鋼板接着	鋼板接着	51410280	Ⅲ-直接-13-11
		ｸﾗｯｸ処理	ｸﾗｯｸ処理	51408141	Ⅲ-直接-13-12
		足場	足場	51401101	Ⅲ-直接-16-5
		防護	設置・撤去（防護）	51414080	Ⅲ-直接-16-21
			損料（防護）	51415100	Ⅲ-直接-16-23
	床版補強工（増桁架設工法）		－	－	
		増桁架設	増桁架設	51431060	Ⅲ-直接-13-13
		ｸﾗｯｸ処理	ｸﾗｯｸ処理	51408141	Ⅲ-直接-13-12
		足場	足場	51401101	Ⅲ-直接-16-5
		防護	設置・撤去（防護）	51414080	Ⅲ-直接-16-21
			損料（防護）	51415100	Ⅲ-直接-16-23
	床版増厚補強工		－	－	
		表面荒らし	表面荒らし	51427220	Ⅲ-直接-13-14
		増し厚ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
	床版取替工		－	－	
		増桁架設	増桁架設	51431060	Ⅲ-直接-13-13
		舗装版破砕	舗装版破砕	51430161	Ⅲ-直接-13-5
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄPC床版取替	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄPC床版取替	51428300	Ⅲ-直接-13-15
		鋼製高欄取替	鋼製高欄取替	51410290	Ⅲ-直接-13-16
		床版足場	床版足場	51412650	Ⅲ-直接-16-12
		防護	設置・撤去（防護）	51414081	Ⅲ-直接-16-22
			賃料（防護）	51417110	Ⅲ-直接-16-24
		床版運搬処理	床版運搬処理	51412660	Ⅲ-直接-13-17
		舗装版運搬処理	舗装版運搬処理	51430200	Ⅲ-直接-15-28
	旧橋撤去工		－	－	
		鋼製高欄撤去	鋼製高欄撤去	51410300	Ⅲ-直接-15-23
		舗装版破砕	舗装版破砕	51430161	Ⅲ-直接-13-5
		床版破砕及び撤去	床版破砕及び撤去	51412670	Ⅲ-直接-15-24
		ﾍﾞﾝﾄ設備	ﾍﾞﾝﾄ設備	51429050	Ⅲ-直接-9-7
		ﾍﾞﾝﾄ基礎	ﾍﾞﾝﾄ基礎	51429060	Ⅲ-直接-9-8
		桁材撤去	桁材撤去	51409160	Ⅲ-直接-15-25

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
橋梁床版工	旧橋撤去工		－	－	
		床版足場	床版足場	51412650	Ⅲ-直接-16-12
		防護	防護	51430210	Ⅲ-直接-16-19
		床版運搬処理	床版運搬処理	51412660	Ⅲ-直接-13-17
		舗装版運搬処理	舗装版運搬処理	51430200	Ⅲ-直接-15-28
		現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31
橋梁付属物工	伸縮継手工		－	－	
		鋼製伸縮継手補修	鋼製伸縮継手補修	51410310	Ⅲ-直接-13-18
		鋼・ゴム製伸縮装置補修	鋼・ｺﾞﾑ製伸縮装置	51410051	Ⅲ-直接-9-5
		埋設ｼﾞｮｲﾝﾄ補修	埋設ｼﾞｮｲﾝﾄ補修	51431070	Ⅲ-直接-13-19
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	排水施設工		－	－	
		排水桝	排水桝	51426200	Ⅲ-直接-9-2
		排水管	排水管	51426210	Ⅲ-直接-9-1
			ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ穿孔及び設置（排水管）	51401130	Ⅲ-直接-9-3
		足場	足場	51401102	Ⅲ-直接-16-6
		防護	防護	51430211	Ⅲ-直接-16-20
	地覆工		－	－	
		場所打地覆	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51410220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51406270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51419110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ地覆	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ地覆	51428310	Ⅲ-直接-9-9
		足場･防護	足場･防護	51401140	Ⅲ-直接-16-13
	橋梁用防護柵工		－	－	
		橋梁用防護柵	橋梁用防護柵	51407300	Ⅲ-直接-9-10
	橋梁用高欄工		－	－	
		橋梁用高欄	橋梁用高欄	51407290	Ⅲ-直接-9-11
	検査路工		－	－	
		検査路	検査路	51409170	Ⅲ-直接-9-12
		足場	足場	51401103	Ⅲ-直接-16-7
		防護	防護	51430211	Ⅲ-直接-16-20

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
横断歩道橋工	横断歩道橋工		－	－	
		高欄･手摺	高欄･手摺	51410320	Ⅲ-直接-13-20
		側板	側板	51415110	Ⅲ-直接-9-13
		ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	51425060	Ⅲ-直接-13-21
		足場	手摺先行型足場設置・撤去（足場）	51419130	Ⅲ-直接-16-14
			手摺先行型足場損料（足場）	51419131	Ⅲ-直接-16-15
			吊足場設置・撤去（足場）	51418070	Ⅲ-直接-16-16
			吊足場損料（足場）	51418071	Ⅲ-直接-16-17
		防護	設置・撤去（防護）	51414081	Ⅲ-直接-16-22
			賃料（防護）	51417110	Ⅲ-直接-16-24
現場塗装工	橋梁塗装工		－	－	
		素地調整	素地調整	51415091	Ⅲ-直接-8-10
			清掃・水洗い（素地調整）	51414090	Ⅲ-直接-13-23
		下塗	下塗	51412562	Ⅲ-直接-8-16
		中塗	中塗	51421031	Ⅲ-直接-8-19
		上塗	上塗	51403072	Ⅲ-直接-8-23
	道路付属構造物塗装工		－	－	
		素地調整	素地調整	51415092	Ⅲ-直接-8-13
		下塗	下塗	51412563	Ⅲ-直接-8-17
		中塗	中塗	51421032	Ⅲ-直接-8-20
		上塗	上塗	51403073	Ⅲ-直接-8-24
	張紙防止塗装工		－	－	
		素地調整	素地調整	51415093	Ⅲ-直接-8-12
		張紙防止塗装	張紙防止塗装	51426220	Ⅲ-直接-13-24
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面塗装工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ面清掃	ｺﾝｸﾘｰﾄ面清掃	51410230	Ⅲ-直接-13-22
		下塗	下塗	51412561	Ⅲ-直接-8-14
		上塗	上塗	51403071	Ⅲ-直接-8-21
ﾄﾝﾈﾙ工	内装板工		－	－	
		内装板	内装板	51421040	Ⅲ-直接-13-25
	裏込注入工		－	－	
		裏込注入	裏込注入	51403080	Ⅲ-直接-11-1
	漏水対策工		－	－	
		面導水	面導水	51434030	Ⅲ-直接-13-27
		線導水	線導水	51414100	Ⅲ-直接-13-26

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路付属物復旧工	付属物復旧工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ復旧	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ復旧	51406230	Ⅲ-直接-14-39
		ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ復旧	ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ	51406061	Ⅲ-直接-5-217
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ復旧	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ復旧	51406240	Ⅲ-直接-14-40
		転落（横断）防止柵復旧	転落（横断）防止柵	51419011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ（転落（横断）防止柵）	51427200	Ⅲ-直接-5-230
		路側標識復旧	標識柱（路側式）	51427210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板復旧	標識板（案内）	51427040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	51427060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具（標識板）	51419120	Ⅲ-直接-5-194
		視線誘導標復旧	視線誘導標復旧	51412680	Ⅲ-直接-14-66
		距離標復旧	距離標	51407210	Ⅲ-直接-5-187
		張紙防止ｼｰﾄ復旧	張紙防止ｼｰﾄ	51426230	Ⅲ-直接-14-67
道路清掃工	路面清掃工		－	－	
		路面清掃（機械）	路面清掃（１）	51445130	Ⅲ-直接-14-68
		路面清掃（路肩部・人力）	路面清掃（２）	51445140	Ⅲ-直接-14-69
		路面清掃（歩道･人力）	路面清掃（歩道等）	51445150	Ⅲ-直接-14-70
		路面清掃（歩道橋・地下道･人力）			
		路面清掃（中央分離帯･人力）			
	路肩整正工		－	－	
		路肩整正（機械）	路肩整正（１）	51445160	Ⅲ-直接-14-71
		路肩整正（人力）	路肩整正（２）	51445170	Ⅲ-直接-14-72
	排水施設清掃工		－	－	
		側溝清掃（人力）	清掃作業（１）（側溝清掃）	51414110	Ⅲ-直接-14-73
		側溝清掃（機械）	清掃作業（２）（側溝清掃）	51414120	Ⅲ-直接-14-74
			移動（側溝清掃）	51402130	Ⅲ-直接-14-76
			側溝蓋撤去・設置（側溝清掃）	51415120	Ⅲ-直接-14-77
		管渠清掃	清掃作業（管渠清掃）	51414130	Ⅲ-直接-14-78
			移動（管渠清掃）	51402140	Ⅲ-直接-14-79
		桝清掃	桝清掃（１）	51431080	Ⅲ-直接-14-80
			桝清掃（２）	51431090	Ⅲ-直接-14-81

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路清掃工	橋梁清掃工		－	－	
		伸縮継手清掃	伸縮継手清掃	51412690	Ⅲ-直接-14-82
		排水管清掃	排水管清掃	51426240	Ⅲ-直接-14-83
	道路付属物清掃工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ清掃	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ清掃	51406310	Ⅲ-直接-14-84
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ清掃	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ清掃	51406320	Ⅲ-直接-14-85
		標識清掃	標識清掃（１）	51427230	Ⅲ-直接-14-86
			標識清掃（２）	51427240	Ⅲ-直接-14-87
		ﾄﾝﾈﾙ照明器具清掃（機械）	ﾄﾝﾈﾙ照明器具清掃（１）	51420140	Ⅲ-直接-14-88
		ﾄﾝﾈﾙ照明器具清掃（人力）	ﾄﾝﾈﾙ照明器具清掃（２）	51420150	Ⅲ-直接-14-89
		視線誘導標清掃	視線誘導標清掃	51412700	Ⅲ-直接-14-75
	構造物清掃工		－	－	
		ﾄﾝﾈﾙ壁面清掃	ﾄﾝﾈﾙ壁面清掃	51420160	Ⅲ-直接-14-90
植栽維持工	樹木･芝生管理工		－	－	
		樹木剪定	樹木剪定	51412491	Ⅲ-直接-14-49
		寄植剪定	寄植剪定	51440031	Ⅲ-直接-14-51
		芝刈	芝刈	51412520	Ⅲ-直接-14-60
		抜根除草	抜根除草	51426250	Ⅲ-直接-14-61
		補植	補植	51430131	Ⅲ-直接-14-53
		支柱	支柱	51412501	Ⅲ-直接-14-54
		樹木施肥	樹木施肥	51412510	Ⅲ-直接-14-56
		寄植･芝施肥	寄植･芝施肥	51440040	Ⅲ-直接-14-57
		潅水	潅水	51406250	Ⅲ-直接-14-58
		防除	防除	51430140	Ⅲ-直接-14-59
		寄植･芝薬剤散布	寄植･芝薬剤散布	51440050	Ⅲ-直接-14-62
		移植	掘取（移植）	51430220	Ⅲ-直接-14-63
			植樹	51412051	Ⅲ-直接-5-233
			土砂等運搬	51420011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51418020	Ⅲ-直接-1-22
除草工	道路除草工		－	－	
		除草	除草	51412421	Ⅲ-直接-14-5
			集草（除草）	51412432	Ⅲ-直接-14-8
			積込・運搬（除草）	51418041	Ⅲ-直接-14-10

道路維持

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
冬期対策施設工	冬期安全施設工		－	－	
		ｽﾉｰﾎﾟｰﾙ設置	ｽﾉｰﾎﾟｰﾙ設置	51413060	Ⅲ-直接-14-91
		防雪柵	防雪柵	51430230	Ⅲ-直接-5-243
		落雪（せり出し）防護柵	落雪（せり出し）防護柵	51441050	Ⅲ-直接-14-92
		防雪柵現地張出し・収納	防雪柵現地張出し・収納	51430240	Ⅲ-直接-14-93
		ｽﾉｰﾎﾟｰﾙ撤去	ｽﾉｰﾎﾟｰﾙ撤去	51413070	Ⅲ-直接-15-26
応急処理工	応急処理作業工		－	－	
		応急作業	応急作業	51405100	Ⅲ-直接-14-94

道路修繕

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
工場製作工	床版補強材製作工		－	－	
		製作加工	製作加工	51514140	Ⅲ-直接-8-3
		ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	51530250	Ⅲ-直接-8-8
	桁補強材製作工		－	－	
		製作加工	製作加工	51514141	Ⅲ-直接-8-4
	落橋防止装置製作工		－	－	
		製作加工	製作加工	51514142	Ⅲ-直接-8-5
	RC橋脚巻立て鋼板製作工		－	－	
		製作加工	製作加工	51514143	Ⅲ-直接-8-6
		ｽﾀｯﾄﾞｼﾞﾍﾞﾙ	ｽﾀｯﾄﾞｼﾞﾍﾞﾙ	51513080	Ⅲ-直接-8-9
工場製品輸送工	輸送工		－	－	
		輸送	輸送	51538040	Ⅲ-直接-8-27
		小運搬	小運搬	51510330	Ⅲ-直接-8-26
道路土工	掘削工		－	－	
		掘削（土砂）	掘削	51508012	Ⅲ-直接-1-3
		掘削（軟岩）			
		掘削（硬岩）			
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
	路体盛土工		－	－	
		路体（流用土）	路体（築堤）盛土	51545011	Ⅲ-直接-1-12
		路体（発生土）			
		路体（採取土）			
		路体（購入土）			
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路土工	路床盛土工		－	－	
		路床（流用土）	路床盛土	51545021	Ⅲ-直接-1-14
		路床（発生土）			
		路床（採取土）			
		路床（購入土）			
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			押土（ルーズ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ルーズ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	法面整形工		－	－	
		法面整形（切土部）	法面整形	51525011	Ⅲ-直接-1-24
		法面整形（盛土部）			
	残土処理工		－	－	
		残土処理	整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
舗装工	路面切削工		－	－	
		路面切削	路面切削	51545100	Ⅲ-直接-13-1
		殻運搬処理	殻運搬（路面切削）	51506260	Ⅲ-直接-15-27
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	舗装打換え工		－	－	
		舗装版切断	舗装版切断	51530150	Ⅲ-直接-13-2
		舗装版破砕	舗装版破砕	51530160	Ⅲ-直接-13-3
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	51506011	Ⅲ-直接-5-95
			下層路盤（歩道部）	51506012	Ⅲ-直接-5-96
		上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	51512011	Ⅲ-直接-5-99
			上層路盤（歩道部）	51512012	Ⅲ-直接-5-100
		基層 中間層	基層・中間層（車道・路肩部）	51507021	Ⅲ-直接-5-105
			基層・中間層（歩道部）	51507022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	51527011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	51527031	Ⅲ-直接-5-110

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
舗装工	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工		－	－	
		切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	51514070	Ⅲ-直接-13-6
		殻運搬処理	殻運搬（路面切削）	51506260	Ⅲ-直接-15-27
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工		－	－	
		基層 中間層	基層・中間層（車道・路肩部）	51507021	Ⅲ-直接-5-105
			基層・中間層（歩道部）	51507022	Ⅲ-直接-5-106
		表層	表層（車道・路肩部）	51527011	Ⅲ-直接-5-108
			表層（歩道部）	51527031	Ⅲ-直接-5-110
	路上再生工		－	－	
		路上再生路盤	路上再生路盤	51545110	Ⅲ-直接-13-7
		路上表層再生	路上表層再生	51545120	Ⅲ-直接-13-8
	薄層ｶﾗｰ舗装工		－	－	
		舗装版切断	舗装版切断	51530150	Ⅲ-直接-13-2
		舗装版破砕	舗装版破砕	51530160	Ⅲ-直接-13-3
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		薄層ｶﾗｰ舗装	薄層ｶﾗｰ舗装	51526080	Ⅲ-直接-5-127
	ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ工		－	－	
		ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ	ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ	51508160	Ⅲ-直接-13-9
		ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ（路面排水用）	ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ（路面排水用）	51508170	Ⅲ-直接-13-10
排水構造物工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
排水構造物工	作業土工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	側溝工		－	－	
		L型側溝	L型側溝	51504011	Ⅲ-直接-5-131
		管（函）渠型側溝	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			管（函）渠型側溝	51506091	Ⅲ-直接-5-142
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	51528210	Ⅲ-直接-5-132
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	51510240	Ⅲ-直接-5-143
		自由勾配側溝	自由勾配側溝	51512381	Ⅲ-直接-5-138
		側溝蓋	側溝蓋	51528220	Ⅲ-直接-5-155
	管渠工		－	－	
		管渠	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			管渠	51506041	Ⅲ-直接-5-147
			巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（管渠）	51531050	Ⅲ-直接-5-148
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	51510250	Ⅲ-直接-5-145
	集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		－	－	
		街渠桝 集水桝 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ街渠桝 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝・街渠桝	51528230	Ⅲ-直接-5-149
		ﾏﾝﾎｰﾙ	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
排水構造物工	集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾏﾝﾎｰﾙ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾏﾝﾎｰﾙ	51528240	Ⅲ-直接-5-159
		蓋	蓋	51512130	Ⅲ-直接-5-154
	地下排水工		－	－	
		地下排水	暗渠排水管敷設（地下排水）	51501031	Ⅲ-直接-5-157
			ﾌｨﾙﾀｰ材敷設（地下排水）	51528250	Ⅲ-直接-5-158
	場所打水路工		－	－	
		現場打水路	現場打水路	51509120	Ⅲ-直接-5-135
		側溝蓋	蓋	51512130	Ⅲ-直接-5-154
	排水工		－	－	
		小段排水	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	51528210	Ⅲ-直接-5-132
		縦排水			
縁石工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
縁石工	縁石工		－	－	
		歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	51530011	Ⅲ-直接-5-165
		地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	51517031	Ⅲ-直接-5-167
		植樹ﾌﾞﾛｯｸ	植樹ﾌﾞﾛｯｸ	51512031	Ⅲ-直接-5-169
		ｱｽｶｰﾌﾞ	ｱｽｶｰﾌﾞ	51501041	Ⅲ-直接-5-175
防護柵工	路側防護柵工		－	－	
		ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	51506051	Ⅲ-直接-5-215
		ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ	ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ	51506061	Ⅲ-直接-5-217
		ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	51506071	Ⅲ-直接-5-219
	防止柵工		－	－	
		立入防止柵	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（立入防止柵）	51507270	Ⅲ-直接-5-225
			支柱（立入防止柵）	51512590	Ⅲ-直接-5-226
			金網（ﾌｪﾝｽ）（立入防止柵）	51506280	Ⅲ-直接-5-227
		転落（横断）防止柵	転落（横断）防止柵	51519011	Ⅲ-直接-5-229
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ（転落（横断）防止柵）	51527200	Ⅲ-直接-5-230
		遮光ﾌｪﾝｽ	遮光ﾌｪﾝｽ	51512600	Ⅲ-直接-5-231
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
防護柵工	作業土工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	ﾎﾞｯｸｽﾋﾞｰﾑ工		－	－	
		ﾎﾞｯｸｽﾋﾞｰﾑ	ﾎﾞｯｸｽﾋﾞｰﾑ	51530031	Ⅲ-直接-5-221
	車止めﾎﾟｽﾄ工		－	－	
		車止めﾎﾟｽﾄ	車止めﾎﾟｽﾄ	51508021	Ⅲ-直接-5-223
	防護柵基礎工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ			
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		目地板	目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
標識工	小型標識工		－	－	
		標識柱	標識柱（路側式）	51527210	Ⅲ-直接-5-191
		標識板	標識板（案内）	51527040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	51527060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	51519120	Ⅲ-直接-5-194
	大型標識工		－	－	
		標識基礎	標識基礎	51527051	Ⅲ-直接-5-196
		片持標識柱	片持標識柱	51506081	Ⅲ-直接-5-200
		門型標識柱	門型標識柱	51535021	Ⅲ-直接-5-198
		標識板	標識板（案内）	51527040	Ⅲ-直接-5-192
			標識板（警戒等）	51527060	Ⅲ-直接-5-193
			添架式標識板取付金具	51519120	Ⅲ-直接-5-194
		着雪防止板	着雪防止板	51517040	Ⅲ-直接-5-201
区画線工	区画線工		－	－	
		溶融式区画線	溶融式区画線	51540011	Ⅲ-直接-5-178
		ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	51529011	Ⅲ-直接-5-180
		高視認性区画線	高視認性区画線	51510040	Ⅲ-直接-5-181
		仮区画線			
		区画線消去	区画線消去	51508031	Ⅲ-直接-5-183

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路植栽工	道路植栽工		－	－	
		植樹帯盛土	植樹帯盛土	51512041	Ⅲ-直接-5-173
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			客土	51507060	Ⅲ-直接-5-172
		植樹	植樹	51512051	Ⅲ-直接-5-233
		地被類植付	地被類植付	51517050	Ⅲ-直接-14-65
		支柱	支柱	51512501	Ⅲ-直接-14-54
		樹名板	樹名板	51512061	Ⅲ-直接-5-234
道路付属施設工	境界工		－	－	
		境界杭	境界杭	51507040	Ⅲ-直接-5-184
		境界鋲	境界鋲	51507050	Ⅲ-直接-5-185
	道路付属物工		－	－	
		視線誘導標	視線誘導標	51512070	Ⅲ-直接-5-186
		距離標	距離標	51507210	Ⅲ-直接-5-187
		道路鋲	道路鋲	51520040	Ⅲ-直接-5-188
		車線分離標	車線分離標	51512081	Ⅲ-直接-5-190
	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
道路付属施設工	ｹｰﾌﾞﾙ配管工		－	－	
		ｹｰﾌﾞﾙ配管	ｹｰﾌﾞﾙ配管	51509021	Ⅲ-直接-5-237
		ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	51526041	Ⅲ-直接-5-239
	照明工		－	－	
		照明柱基礎	照明柱基礎	51512091	Ⅲ-直接-5-240
		照明柱	照明柱	51512101	Ⅲ-直接-5-241
軽量盛土工	軽量盛土工		－	－	
		軽量盛土	発泡ｽﾁﾛｰﾙ（軽量盛土）	51526190	Ⅲ-直接-1-37
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ床版	51510200	Ⅲ-直接-1-38
		基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	51507220	Ⅲ-直接-1-39
		壁体	壁体	51529070	Ⅲ-直接-1-40
		裏込砕石	裏込砕石	51503050	Ⅲ-直接-1-46
擁壁工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2（工種）	ﾚﾍﾞﾙ3（種別）	ﾚﾍﾞﾙ4（細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
擁壁工	場所打擁壁工（構造物単位）		－	－	
		小型擁壁	小型擁壁	51510081	Ⅲ-直接-3-6
		重力式擁壁	重力式擁壁	51512191	Ⅲ-直接-3-8
		もたれ式擁壁	もたれ式擁壁	51535031	Ⅲ-直接-3-10
		逆Ｔ型擁壁	逆Ｔ型擁壁	51507101	Ⅲ-直接-3-12
		Ｌ型擁壁	Ｌ型擁壁	51504021	Ⅲ-直接-3-14
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		裏込砕石	裏込砕石	51503051	Ⅲ-直接-1-47
		止水板	止水板	51512610	Ⅲ-直接-3-31
	場所打擁壁工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	51510224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	51501100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	51512610	Ⅲ-直接-3-31
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	51532040	Ⅲ-直接-3-32
		吸出し防止材	吸出し防止材	51513010	Ⅲ-直接-5-24
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄＬ型擁壁	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄＬ型擁壁	51528141	Ⅲ-直接-5-76
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ逆Ｔ型擁壁	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ逆Ｔ型擁壁	51528171	Ⅲ-直接-5-78
		側溝付ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	側溝付ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁	51515081	Ⅲ-直接-5-80
石･ﾌﾞﾛｯｸ積（張）工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
石・ﾌﾞﾛｯｸ積（張）工	作業土工		－	－	
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ基礎	現場打基礎	51509051	Ⅲ-直接-6-2
			基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	大型ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積	51505110	Ⅲ-直接-5-17
			間知ﾌﾞﾛｯｸ積	51509081	Ⅲ-直接-5-12
			胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	51520131	Ⅲ-直接-5-22
			胴込・裏込材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	51520132	Ⅲ-直接-5-23
			吸出し防止材（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ）	51513011	Ⅲ-直接-5-25
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
			遮水ｼｰﾄ	51512620	Ⅲ-直接-3-33
		間知ﾌﾞﾛｯｸ張	間知ﾌﾞﾛｯｸ張	51509061	Ⅲ-直接-5-2
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
		平ﾌﾞﾛｯｸ張	平ﾌﾞﾛｯｸ張	51527131	Ⅲ-直接-5-4
		連節ﾌﾞﾛｯｸ張	連節ﾌﾞﾛｯｸ張	51544022	Ⅲ-直接-5-7
		緑化ﾌﾞﾛｯｸ積	緑化ﾌﾞﾛｯｸ積	51542031	Ⅲ-直接-5-15
		ﾌﾞﾛｯｸ植栽	ﾌﾞﾛｯｸ植樹	51528150	Ⅲ-直接-5-26
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	51519062	Ⅲ-直接-3-3
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
		小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510260	Ⅲ-直接-3-23
	石積（張）工		－	－	
		石積（張）基礎	現場打基礎	51509051	Ⅲ-直接-6-2
			基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
石･ﾌﾞﾛｯｸ積（張）工	石積（張）工		－	－	
		石積	石積・張	51502120	Ⅲ-直接-5-30
		石張	胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ（石積（張））	51520130	Ⅲ-直接-5-31
			裏込材（石積（張））	51503060	Ⅲ-直接-5-32
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
			吸出し防止材	51513010	Ⅲ-直接-5-24
			石材料	51502070	Ⅲ-直接-6-37
		天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	51519062	Ⅲ-直接-3-3
			目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	場所打函渠工（構造物単位）		－	－	
		函渠	函渠	51506300	Ⅲ-直接-3-16
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工	場所打函渠工		－	－	
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
		均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打函渠）	51510225	Ⅲ-直接-3-19
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
		支保	支保	51512630	Ⅲ-直接-16-18
		足場	足場	51501100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
		止水板	止水板	51512610	Ⅲ-直接-3-31
		水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	水抜ﾊﾟｲﾌﾟ	51532040	Ⅲ-直接-3-32
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	51528260	Ⅲ-直接-5-162
			鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
	防水工		－	－	
		防水	防水	51530170	Ⅲ-直接-12-2
		防水保護	防水保護	51530180	Ⅲ-直接-12-3
法面工	植生工		－	－	
		種子散布	種子散布	51512301	Ⅲ-直接-5-34
		客土吹付	客土吹付	51507140	Ⅲ-直接-5-35
		植生基材吹付	植生基材吹付	51512321	Ⅲ-直接-5-36
		植生ｼｰﾄ	植生ｼｰﾄ	51512331	Ⅲ-直接-5-38
		植生ﾏｯﾄ	植生ﾏｯﾄ	51512351	Ⅲ-直接-5-40
		植生筋	植生筋	51512340	Ⅲ-直接-5-43
		張芝	張芝	51526151	Ⅲ-直接-5-45
		筋芝	筋芝	51513040	Ⅲ-直接-5-46
		市松芝	市松芝	51502080	Ⅲ-直接-5-47
		人工張芝	人工張芝	51512360	Ⅲ-直接-5-48
		植生穴	植生穴	51512640	Ⅲ-直接-5-49
			繊維ﾈｯﾄ	51514030	Ⅲ-直接-5-50
			ラス張	51541030	Ⅲ-直接-5-51

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
法面工	法面吹付工		－	－	
		ﾓﾙﾀﾙ吹付	ﾓﾙﾀﾙ吹付	51535090	Ⅲ-直接-5-53
		ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	51510270	Ⅲ-直接-5-54
	法枠工		－	－	
		現場打法枠	現場打法枠	51509150	Ⅲ-直接-5-57
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ法枠	51528270	Ⅲ-直接-5-58
		吹付枠	吹付枠	51528280	Ⅲ-直接-5-59
			中詰	51521021	Ⅲ-直接-5-62
			ラス張	51541030	Ⅲ-直接-5-51
	法面施肥工		－	－	
		法面施肥	法面施肥	51525020	Ⅲ-直接-5-60
	ｱﾝｶｰ工		－	－	
		ｱﾝｶｰ	削孔（ｱﾝｶｰ）	51511092	Ⅲ-直接-5-64
			ｱﾝｶｰ鋼材加工・組立・挿入（ｱﾝｶｰ）	51501051	Ⅲ-直接-5-65
			ｱﾝｶｰ鋼材挿入（工場加工・組立）（ｱﾝｶｰ）	51501053	Ⅲ-直接-5-66
			ｸﾞﾗｳﾄ注入（ｱﾝｶｰ）	51508180	Ⅲ-直接-5-67
			ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ移設（ｱﾝｶｰ）	51530190	Ⅲ-直接-5-68
			緊張・定着・頭部処理（ｱﾝｶｰ）	51507280	Ⅲ-直接-5-69
			ｱﾝｶｰ工材料費（ｱﾝｶｰ）	51501052	Ⅲ-直接-5-70
		ｱﾝｶｰ（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板）	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ板	51528111	Ⅲ-直接-5-72
		足場（ｱﾝｶｰ）	足場（ｱﾝｶｰ）	51501106	Ⅲ-直接-16-2
		鉄筋挿入	鉄筋挿入	51519041	Ⅲ-直接-5-74
		足場（鉄筋挿入）	足場（鉄筋挿入）	51501107	Ⅲ-直接-16-3
	かご工		－	－	
		じゃかご	じゃかご	51512150	Ⅲ-直接-6-32
			石材料	51502070	Ⅲ-直接-6-37
		ふとんかご	ふとんかご	51528060	Ⅲ-直接-6-34
			石材料	51502070	Ⅲ-直接-6-37

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 (工種)	ﾚﾍﾞﾙ3 (種別)	ﾚﾍﾞﾙ4 (細別)	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
落石雪害防止工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	落石防止網工		－	－	
		ﾛｯｸﾈｯﾄ	金網・ﾛｰﾌﾟ（ﾛｯｸﾈｯﾄ）	51506330	Ⅲ-直接-5-202
			ｱﾝｶｰ（ﾛｯｸﾈｯﾄ）	51501150	Ⅲ-直接-5-205
			支柱（ﾛｯｸﾈｯﾄ）	51512720	Ⅲ-直接-5-206
		繊維網	繊維網	51514021	Ⅲ-直接-5-207
	落石防護柵工		－	－	
		ﾛｰﾌﾟ・金網	ﾛｰﾌﾟ・金網	51545180	Ⅲ-直接-5-209
		支柱	支柱	51512502	Ⅲ-直接-5-210
		ｽﾃｰﾛｰﾌﾟ	ｽﾃｰﾛｰﾌﾟ	51513090	Ⅲ-直接-5-211
		基礎材	基礎砕石（基礎材）	51507250	Ⅲ-直接-5-20
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ（場所打擁壁）	51510224	Ⅲ-直接-3-18
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	51501100	Ⅲ-直接-16-1
		目地板	目地板	51534020	Ⅲ-直接-3-30
	防雪柵工		－	－	
		防雪柵	防雪柵	51530230	Ⅲ-直接-5-243

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
落石雪害防止工	雪崩予防柵工		－	－	
		雪崩予防柵基礎	雪崩予防柵基礎	51521050	Ⅲ-直接-5-245
		雪崩予防柵	雪崩予防柵	51521060	Ⅲ-直接-5-246
		雪崩予防柵ｱﾝｶｰ	雪崩予防柵ｱﾝｶｰ	51521070	Ⅲ-直接-5-247
橋梁床版工	床版補強工（鋼板接着工法）		－	－	
		鋼板接着	鋼板接着	51510280	Ⅲ-直接-13-11
		ｸﾗｯｸ処理	ｸﾗｯｸ処理	51508141	Ⅲ-直接-13-12
		足場	足場	51501101	Ⅲ-直接-16-5
		防護	設置・撤去（防護）	51514080	Ⅲ-直接-16-21
			損料（防護）	51515100	Ⅲ-直接-16-23
	床版補強工（増桁架設工法）		－	－	
		増桁架設	増桁架設	51531060	Ⅲ-直接-13-13
		ｸﾗｯｸ処理	ｸﾗｯｸ処理	51508141	Ⅲ-直接-13-12
		足場	足場	51501101	Ⅲ-直接-16-5
		防護	設置・撤去（防護）	51514080	Ⅲ-直接-16-21
			損料（防護）	51515100	Ⅲ-直接-16-23
	床版増厚補強工		－	－	
		表面荒らし	表面荒らし	51527220	Ⅲ-直接-13-14
		増し厚ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
	床版取替工		－	－	
		増桁架設	増桁架設	51531060	Ⅲ-直接-13-13
		舗装版破砕	舗装版破砕	51530161	Ⅲ-直接-13-5
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄPC床版取替	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄPC床版取替	51528300	Ⅲ-直接-13-15
		鋼製高欄取替	鋼製高欄取替	51510290	Ⅲ-直接-13-16
		床版足場	床版足場	51512650	Ⅲ-直接-16-12
		防護	設置・撤去（防護）	51514081	Ⅲ-直接-16-22
			賃料（防護）	51517110	Ⅲ-直接-16-24
		床版運搬処理	床版運搬処理	51512660	Ⅲ-直接-13-17
		舗装版運搬処理	舗装版運搬処理	51530200	Ⅲ-直接-15-28
	旧橋撤去工		－	－	
		鋼製高欄撤去	鋼製高欄撤去	51510300	Ⅲ-直接-15-23
		舗装版破砕	舗装版破砕	51530161	Ⅲ-直接-13-5
		床版破砕及び撤去	床版破砕及び撤去	51512670	Ⅲ-直接-15-24
		ﾍﾞﾝﾄ設備	ﾍﾞﾝﾄ設備	51529050	Ⅲ-直接-9-7
		ﾍﾞﾝﾄ基礎	ﾍﾞﾝﾄ基礎	51529060	Ⅲ-直接-9-8

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
橋梁床版工	旧橋撤去工		－	－	
		桁材撤去	桁材撤去	51509160	Ⅲ-直接-15-25
		床版足場	床版足場	51512650	Ⅲ-直接-16-12
		防護	防護	51530210	Ⅲ-直接-16-19
		床版運搬処理	床版運搬処理	51512660	Ⅲ-直接-13-17
		舗装版運搬処理	舗装版運搬処理	51530200	Ⅲ-直接-15-28
		現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31
鋼桁工	鋼桁補強工		－	－	
		現場溶接鋼桁補強	現場溶接鋼桁補強	51509180	Ⅲ-直接-13-28
橋梁支承工	鋼橋支承工		－	－	
		支承取替	支承取替	51512710	Ⅲ-直接-13-29
		足場	足場	51501104	Ⅲ-直接-16-8
		防護	防護	51530211	Ⅲ-直接-16-20
	PC橋支承工		－	－	
		支承取替	支承取替	51512711	Ⅲ-直接-13-30
		足場	足場	51501104	Ⅲ-直接-16-8
		防護	防護	51530211	Ⅲ-直接-16-20
橋梁付属物工	伸縮継手工		－	－	
		鋼製伸縮継手補修	鋼製伸縮継手補修	51510310	Ⅲ-直接-13-18
		鋼・ｺﾞﾑ製伸縮装置補修	鋼・ｺﾞﾑ製伸縮装置	51510051	Ⅲ-直接-9-5
		埋設ｼﾞｮｲﾝﾄ補修	埋設ｼﾞｮｲﾝﾄ補修	51531070	Ⅲ-直接-13-19
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	落橋防止装置工		－	－	
		落橋防止装置	芯出し素地調整（落橋防止装置）	51512730	Ⅲ-直接-9-14
			現場孔明（落橋防止装置）	51509190	Ⅲ-直接-9-15
			連結板取付（落橋防止装置）	51544030	Ⅲ-直接-9-16
			現場溶接（落橋防止装置）	51509200	Ⅲ-直接-9-17
			ﾎﾞﾙﾄ締（落橋防止装置）	51530260	Ⅲ-直接-9-18
		ｱﾝｶｰ（落橋防止）	ｱﾝｶｰ（落橋防止装置）	51501160	Ⅲ-直接-9-19
		足場	足場	51501104	Ⅲ-直接-16-8
		防護	設置・撤去（防護）	51514080	Ⅲ-直接-16-21
			損料（防護）	51515100	Ⅲ-直接-16-23

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
橋梁付属物工	排水施設工		－	－	
		排水桝	排水桝	51526200	Ⅲ-直接-9-2
		排水管	排水管	51526210	Ⅲ-直接-9-1
			ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ穿孔及び設置（排水管）	51501130	Ⅲ-直接-9-3
		足場	足場	51501102	Ⅲ-直接-16-6
		防護	防護	51530211	Ⅲ-直接-16-20
	地覆工		－	－	
		場所打地覆	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
			型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
			鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ地覆	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ地覆	51528310	Ⅲ-直接-9-9
		足場･防護	足場･防護	51501140	Ⅲ-直接-16-13
	橋梁用防護柵工		－	－	
		橋梁用防護柵	橋梁用防護柵	51507300	Ⅲ-直接-9-10
	橋梁用高欄工		－	－	
		橋梁用高欄	橋梁用高欄	51507290	Ⅲ-直接-9-11
	検査路工		－	－	
		検査路	検査路	51509170	Ⅲ-直接-9-12
		足場	足場	51501103	Ⅲ-直接-16-7
		防護	防護	51530211	Ⅲ-直接-16-20
	沓座拡幅工		－	－	
		ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	51517100	Ⅲ-直接-13-31
		削孔	削孔	51511091	Ⅲ-直接-13-32
		ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ挿入	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ挿入	51501170	Ⅲ-直接-13-33
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		鋼製沓座設置	鋼製沓座設置	51510340	Ⅲ-直接-13-34
		足場	足場	51501104	Ⅲ-直接-16-8
		防護	設置・撤去（防護）	51514080	Ⅲ-直接-16-21
			損料（防護）	51515100	Ⅲ-直接-16-23

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
横断歩道橋工	横断歩道橋工		－	－	
		高欄･手摺	高欄･手摺	51510320	Ⅲ-直接-13-20
		側板	側板	51515110	Ⅲ-直接-9-13
		ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	51525060	Ⅲ-直接-13-21
		足場	手摺先行型足場設置・撤去（足場）	51519130	Ⅲ-直接-16-14
			手摺先行型足場損料（足場）	51519131	Ⅲ-直接-16-15
			吊足場設置・撤去（足場）	51518070	Ⅲ-直接-16-16
			吊足場損料（足場）	51518071	Ⅲ-直接-16-17
		防護	設置・撤去（防護）	51514081	Ⅲ-直接-16-22
			賃料（防護）	51517110	Ⅲ-直接-16-24
橋脚巻立て工	作業土工		－	－	
		床掘り	床掘り（土砂）	51520110	Ⅲ-直接-1-28
			床掘り（岩石）	51520120	Ⅲ-直接-1-29
			基面整正	51507200	Ⅲ-直接-1-34
			掘削補助機械搬入搬出	51508150	Ⅲ-直接-1-35
			押土（ﾙｰｽﾞ）	51505090	Ⅲ-直接-1-16
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			整地	51514011	Ⅲ-直接-1-10
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			残土運搬	51511011	Ⅲ-直接-1-26
			残土等処分	51511020	Ⅲ-直接-1-27
		埋戻し	埋戻し	51503020	Ⅲ-直接-1-31
			積込（ﾙｰｽﾞ）	51518011	Ⅲ-直接-1-19
			土砂等運搬	51520011	Ⅲ-直接-1-7
			土材料	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	RC橋脚鋼板巻立て工（構造物単位）		－	－	
		鋼板巻立て	鋼板巻立て	51510350	Ⅲ-直接-13-35
		現場溶接	現場溶接	51509210	Ⅲ-直接-10-1
		定着用ｱﾝｶｰ	定着用ｱﾝｶｰ	51519150	Ⅲ-直接-13-36
		現場塗装	現場塗装	51509220	Ⅲ-直接-13-38
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		根巻きｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
橋脚巻立て工	RC橋脚鋼板巻立て工		－	－	
		鋼板取付	鋼板取付	51510360	Ⅲ-直接-13-37
		現場溶接	現場溶接	51509210	Ⅲ-直接-10-1
		定着用ｱﾝｶｰ	定着用ｱﾝｶｰ	51519150	Ⅲ-直接-13-36
		現場塗装	現場塗装	51509220	Ⅲ-直接-13-38
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		根巻きｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510220	Ⅲ-直接-3-20
		型枠	型枠	51506270	Ⅲ-直接-3-25
		足場	足場	51501105	Ⅲ-直接-16-9
	橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て工（構造物単位）		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	51510370	Ⅲ-直接-13-39
		ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て	ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て	51510380	Ⅲ-直接-13-40
	橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	51510370	Ⅲ-直接-13-39
		下地処理	下地処理	51512471	Ⅲ-直接-14-22
		ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	51510221	Ⅲ-直接-3-21
		鉄筋	鉄筋	51519110	Ⅲ-直接-3-28
			ガス圧接	51506290	Ⅲ-直接-3-29
		型枠	型枠	51506271	Ⅲ-直接-3-27
		足場	足場	51501105	Ⅲ-直接-16-9
現場塗装工	橋梁塗装工		－	－	
		素地調整	素地調整	51515091	Ⅲ-直接-8-10
			清掃・水洗い（素地調整）	51514090	Ⅲ-直接-13-23
		下塗	下塗	51512562	Ⅲ-直接-8-16
		中塗	中塗	51521031	Ⅲ-直接-8-19
		上塗	上塗	51503072	Ⅲ-直接-8-23
現場塗装工	道路付属構造物塗装工		－	－	
		素地調整	素地調整	51515092	Ⅲ-直接-8-13
		下塗	下塗	51512563	Ⅲ-直接-8-17
		中塗	中塗	51521032	Ⅲ-直接-8-20
		上塗	上塗	51503073	Ⅲ-直接-8-24

道路修繕

ﾚﾍﾞﾙ2 (工種)	ﾚﾍﾞﾙ3 (種別)	ﾚﾍﾞﾙ4 (細別)	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
現場塗装工	張紙防止塗装工		－	－	
		素地調整	素地調整	51515093	Ⅲ-直接-8-12
		張紙防止塗装	張紙防止塗装	51526220	Ⅲ-直接-13-24
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面塗装工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ面清掃	ｺﾝｸﾘｰﾄ面清掃	51510230	Ⅲ-直接-13-22
		下塗	下塗	51512561	Ⅲ-直接-8-14
		上塗	上塗	51503071	Ⅲ-直接-8-21
ﾄﾝﾈﾙ工	内装板工		－	－	
		内装板	内装板	51521040	Ⅲ-直接-13-25
	裏込注入工		－	－	
		裏込注入	裏込注入	51503080	Ⅲ-直接-11-1
	漏水対策工		－	－	
		面導水	面導水	51534030	Ⅲ-直接-13-27
		線導水	線導水	51514100	Ⅲ-直接-13-26

構造物撤去

構造物撤去

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
構造物撤去工	防護柵撤去工		－	－	
		防護柵撤去（ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ）	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去	90106350	Ⅲ-直接-15-6
		防護柵撤去（ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ）	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ撤去	90106130	Ⅲ-直接-15-7
		防護柵（横断・転落防止柵）撤去	転落（横断）防止柵撤去	90119160	Ⅲ-直接-15-1
			ﾋﾞｰﾑ･ﾊﾟﾈﾙ(転落(横断）防止柵）撤去	90127250	Ⅲ-直接-15-2
		ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ撤去			
		立入り防止柵撤去	基礎ﾌﾞﾛｯｸ（立入防止柵）撤去	90107310	Ⅲ-直接-15-3
			支柱（立入防止柵）撤去	90112740	Ⅲ-直接-15-4
			金網（ﾌｪﾝｽ）（立入防止柵）撤去	90106340	Ⅲ-直接-15-5
	標識撤去工		－	－	
		標識撤去	標識柱・基礎撤去（路側式）	90127080	Ⅲ-直接-15-8
			標識板（警戒等）撤去（路側式）	90127120	Ⅲ-直接-15-9
			標識板（案内）撤去（片持式・門型式）	90127100	Ⅲ-直接-15-10
	道路付属物撤去工		－	－	
		視線誘導標撤去	視線誘導標撤去	90112760	Ⅲ-直接-15-11
		境界杭撤去			
		距離標撤去			
		遮光ﾌｪﾝｽ撤去			
	構造物取壊し工		－	－	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	90110100	Ⅲ-直接-15-12
		舗装版取壊し			
		石積取壊し			
		ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	コンクリートはつり	90110190	Ⅲ-直接-15-13
		吹付法面取壊し			
		鋼材切断			
		鋼板切断			
		鋼矢板引抜			
		広幅鋼矢板引抜			
		H鋼杭引抜			
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去			
		根固めﾌﾞﾛｯｸ撤去	根固めﾌﾞﾛｯｸ撤去	90124010	Ⅲ-直接-15-14
		ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊し運搬処理			

構造物撤去

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
構造物撤去工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁撤去工		－	－	
		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁撤去			
	排水構造物撤去工		－	－	
		L型側溝撤去			
		ﾋｭｰﾑ管撤去			
		ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ撤去			
		PC管撤去			
		暗渠排水管撤去			
		管（函）渠型側溝撤去			
		集水桝撤去			
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ撤去			
		ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ撤去			
		ﾏﾝﾎｰﾙ撤去			
		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管撤去			
		U側溝撤去	U型側溝撤去	90138050	Ⅲ-直接-15-15
		蓋版撤去	蓋版撤去	90106360	Ⅲ-直接-15-16
	かご撤去工		－	－	
		じゃかご撤去			
		ふとんかご撤去			
	落石雪害防止撤去工		－	－	
		落石防護柵撤去	ロープ・金網（落石防護柵）撤去	90145190	Ⅲ-直接-15-17
			支柱（落石防護柵）撤去	90112770	Ⅲ-直接-15-18
		落石防止網（繊維網）撤去			
	道路付属施設撤去工		－	－	
		道路鋲撤去	道路鋲撤去	90120170	Ⅲ-直接-15-19
		車線分離標撤去	車線分離標撤去	90112160	Ⅲ-直接-15-20
		境界鋲撤去			
		横断歩道橋側板（裾隠・目隠）撤去			
		車止めﾎﾟｽﾄ撤去			
	ﾌﾞﾛｯｸ舗装撤去工		－	－	
		ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去	90102060	Ⅲ-直接-15-21
		ｺﾝｸﾘｰﾄ平板ﾌﾞﾛｯｸ撤去			
		ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ撤去			

構造物撤去

ﾚﾍﾞﾙ2 (工種)	ﾚﾍﾞﾙ3 (種別)	ﾚﾍﾞﾙ4 (細別)	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
構造物撤去工	縁石撤去工		－	－	
		歩車道境界ブロック撤去	歩車道境界ブロック撤去	90130270	Ⅲ-直接-15-22
		地先境界ブロック撤去			
	冬期安全施設撤去工		－	－	
		吹溜式防雪柵撤去			
		吹払式防雪柵撤去			
		ｽﾉｰﾎﾟｰﾙ撤去			
	骨材再生工		－	－	
		骨材再生			
	運搬処理工		－	－	
		殻運搬処理	殻運搬	90106100	Ⅲ-直接-15-29
			殻処分	90106110	Ⅲ-直接-15-30
		現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	90109030	Ⅲ-直接-15-31

第Ⅲ編（本編）０１土工編

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、道路土工
種　　別：掘削工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

掘削

積算単位:m3(土量)
契約単位:式 orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工における掘削(土の状態を問わない)に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）土砂、軟岩、硬岩の掘削
（２）掘削深さが 5m以内の場合
（３）土砂の水中掘削の場合にあっては、掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削(溝掘り、基礎掘削)を行う場合。

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）作業土工における床掘り
（２）片切掘削で押土を行う場合
（３）硬岩(Ⅱ)の掘削
（４）１－１．（３）以外の水中掘削の場合
（５）土砂のオープンカット以外において工区内運搬「有り」で施工数量が 5 万 m3 を超える場合

２．費用内訳

・土砂の掘削・積込み・運搬(自工区内)、軟岩の掘削・積込み・破砕片除去及び集積押土・運搬(自工区内)、硬岩の掘削・積込・破砕片除去及び集積押土・運搬(自工区内)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***積込(ルーズ)、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件

掘削ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件						
土質(P)	障害の有無(S)	施工方法(S)	押土の有無(S)	施工数量(S)	工区内運搬の有無(S)	工区内運搬距離(S)
土砂	無し	オープンカット	有り	30,000m3 未満	－	－
				30,000m3 以上	－	－
			無し	50,000m3 未満	無し	－
					有り	300m 以下

積算条件						
土質(P)	障害の有無(S)	施工方法(S)	押土の有無(S)	施工数量(S)	工区内運搬の有無(S)	工区内運搬距離(S)
土砂	無し	オープンカット	無し	50,000m3 未満	有り	300m 超 500m 以下
						各種
				50,000m3 以上	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
		片切掘削	―	―	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
	有り	オープンカット	有り	30,000m3 未満	―	―
				30,000m3 以上	―	―
			無し	50,000m3 未満	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
				50,000m3 以上	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
		片切掘削	―	―	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
軟岩	無し	オープンカット	―	500m3 以上	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
		片切掘削	―	―	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
	有り	オープンカット	―	500m3 以上	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
		片切掘削	―	―	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
硬岩	無し	オープンカット	―	―	無し	―
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種

積算条件						
土質(P)	障害の有無(S)	施工方法(S)	押土の有無(S)	施工数量(S)	工区内運搬の有無(S)	工区内運搬距離(S)
硬岩	有り	オープンカット	－	－	無し	－
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
各種	無し	－	－	－	無し	－
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種
	有り	－	－	－	無し	－
					有り	300m 以下
						300m 超 500m 以下
						各種

（注）1. 土量は地山土量とする。

2. 障害の有無

無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合

有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合

掘削深さが 5m 以内で、掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削(溝掘り、基礎掘削)を行う場合

3. 土質が硬岩であって、火薬が使用出来ない場合は、「各種」とする。

4. 施工方法

オープンカット：図１に示すような切取面が、水平もしくは緩傾斜をなすように施工が出来る場合で、切取幅 5m以上、かつ延長 20m以上を標準とする。

片　切　掘　削：図２及び図３に示すような切取幅 5m未満の領域Ｂとする。なお、図２に示すような箇所にあっても、地形及び工事量などの現場条件等を十分考慮のうえ、前述のオープンカットが可能と判断される場合はオープンカットを適用する。

図 1

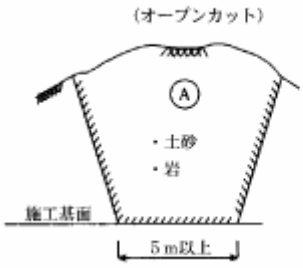


図 2

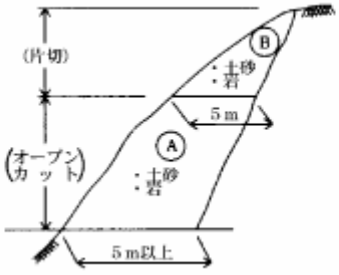
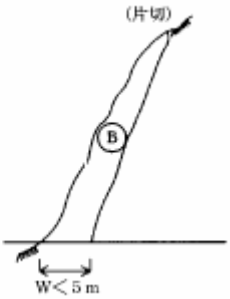


図 3



5. 押土の有無

有り：土砂の場合は、60ｍまでの運搬を含む。ただし、硬岩、軟岩でオープンカットの場合は、30ｍまでの押土を含んでいる。

6. 施工数量

施工数量は 1 工事当りの数量とする。1 工事当りの数量は、土砂の場合、オープンカットと片切掘削の合計数量であり、軟岩の場合、オープンカットの数量であり、硬岩の場合、数量の積算条件はない。

7. 工区内運搬の有無

有り：運搬車両による運搬で運搬距離は 60ｍ超 500ｍ以下を対象とする。
なお、工区内運搬距離が 500m を超える場合は「各種」とする。また、硬岩、軟岩でオープンカットの場合で、30ｍを超え 60ｍ未満の場合は「各種」とする。

8. 積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。

・土質：各種（(軟岩)又は(硬岩)）を入力
・施工方法：土質で各種を選択の場合、(「片切掘削・火薬併用有」「片切掘削・火薬併用無」「オープンカット火薬併用有」「オープンカット火薬併用無」又は、左記以外の文字入力)
・施工数量：各種（実数入力(ｍ３)）
・工区内運搬距離：各種（実数入力(m)）

9. 積込（ルーズ）の計上は、Ⅱ-3-①-2 による。

４．その他

（１）積込(ルーズ)については、(Ⅲ-直接-1-18）による。
（２）自工区外の運搬については、(Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）残土受入れ地等への運搬については、(Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）建設機械運搬費については、(Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、(Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、(Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：河川土工、海岸土工、砂防土工、道路土工
種　　別：掘削工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

掘削

積算単位:m3(土量)
契約単位:式 orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における掘削(土の状態を問わない)に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削

（２）掘削深さが 5m以内の場合。ただし、施工方法「河川工事において河床等の沈殿物、底沼等の軟弱土除去」については 11.7mまでとする。

（３）土砂の水中掘削の場合にあっては、掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削(溝掘り、基礎掘削)を行う場合

（４）破砕岩除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が 5mまでの場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）作業土工における床掘り

（２）硬岩(Ⅱ)の掘削

２．費用内訳

・土砂、岩塊・玉石の掘削・積込み(掘削と同時に行う積込み)・運搬(掘削と同時に行う押土による運搬)、軟岩・硬岩の掘削・積込み・破砕片除去及び集積押土等、その施工に要する全ての費用を含む。

・掘削を伴わない***押土(ルーズ)***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、積込(ルーズ)、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件

掘削ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件								
土質(P)	施工方法(S)	岩質(P)	押土の有無(S)	障害の有無(S)	施工数量(S)	火薬使用(S)	破砕片除去の有無(S)	集積押土の有無(S)
土砂	オープンカット	－	有り	－	普通土 30,000 m3 未満又は湿地軟弱土	－	－	－
					30,000m3 以上	－	－	－
			無し	無し	50,000m3 未満	－	－	－
					50,000m3 以上	－	－	－

積算条件								
土質(P)	施工方法(S)	岩質(P)	押土の有無(S)	障害の有無(S)	施工数量(S)	火薬使用(S)	破砕片除去の有無(S)	集積押土の有無(S)
土砂	オープンカット	－	無し	有り	50,000m3 未満	－	－	－
					50,000m3 以上	－	－	－
	片切掘削	－	－	－	－	－	－	－
	人力切崩し	－	－	－	－	－	－	－
	河床等の沈殿物、底沼等の軟弱土除去	－	－	－	－	－	－	－
	上記以外(小規模)	－	－	－	1箇所100m3以下(標準)	－	－	－
					1箇所100m3以下(標準以外)	－	－	－
岩塊・玉石	オープンカット	－	－	無し	50,000m3 未満	－	－	－
					50,000m3 以上	－	－	－
				有り	50,000m3 未満	－	－	－
					50,000m3 以上	－	－	－
軟岩	オープンカット	－	－	－	500m3 未満	－	無し	無し
								有り
							有り	無し
								有り
					500m3 以上	－	－	－
	片切掘削	－	－	－	－	－	無し	無し
								有り
							有り	無し
								有り
	人力(機械施工出来ない)	軟岩(Ⅰ)	－	－	－	－	－	－
		軟岩(Ⅱ)	－	－	－	－	－	－
硬岩	オープンカット	－	－	－	－	不可	無し	無し
								有り
							有り	無し
								有り
						可	－	－
	片切掘削	－	－	－	－	不可	無し	無し
								有り
							有り	無し
								有り
						可	無し	無し
								有り
							有り	無し
								有り
	人力(機械施工出来ない)	中硬岩	－	－	－	－	－	－
		硬岩(Ⅰ)	－	－	－	－	－	－

（注）1. 土量は、地山土量とする。

2. 施工方法

オープンカット：図１に示すような切取面が、水平もしくは緩傾斜をなすように施工が出来る場合で、切取幅 5m以上、かつ延長 20m以上を標準とする。

片切掘削：図２及び図３に示すような切取幅 5m未満の領域Ｂとする。なお、図２に示すような箇所にあっても、地形及び工事量などの現場条件等を十分考慮のうえ、前述のオープンカットが可能と判断される場合はオープンカットを適用する。

人力切崩し：機械施工が不可能な場合で、直接積込出来ない箇所の人力による片切部分等の切り崩し作業。

河床等の沈殿物、底沼等の軟弱土除去：超ロングアームバックホウによる河川工事における水路及び河川等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業、ほぐした土の掘削積込み作業。

上記以外(小規模)：1 箇所当り施工量が 100m3 以下の掘削・積込み作業。

人力（機械施工出来ない）：軟岩及び硬岩の場合で、機械施工が不可能な箇所での施工の場合。

図 1

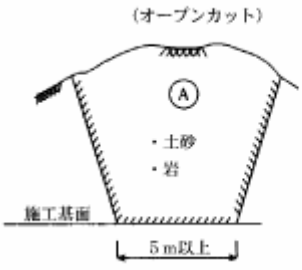


図 2

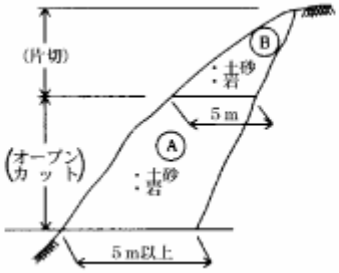
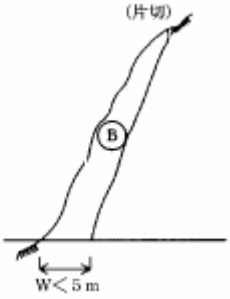


図 3



3. 押土の有無

有り：土砂の場合は、60ｍまでの運搬を含む。ただし、軟岩のオープンカットかつ掘削土量 500m3 以上を選択した場合及び硬岩のオープンカットで火薬使用「可」を選択した場合、30ｍまでの押土を含む。

4. 障害の有無

無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合。

有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合。

5. 施工数量

1) 施工数量は「箇所」の記載がないものは、1 工事当りの数量とする。1 工事当りの数量は、土砂の場合は、オープンカットと片切掘削の合計数量であり、それ以外の施工方法の数量に関する積算条件はない。

軟岩の場合、オープンカットの数量であり、硬岩の場合、数量の積算条件はない。

2) 施工方法「上記以外（小規模）」を選択した場合の「1 箇所 100m3 以下（標準以外）」について、「1 箇所」とは、目的物（構造物･掘削等）1 箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を 1 箇所とし、（標準以外）とは構造物及び建造物等の障害物により、制限されるような狭隘な箇所及び１箇所当りの施工量が、50m3 以下の箇所とする。

6. 集積押土の有無

有り：集積押土の距離は 30ｍまでとする。

7. 積込（ルーズ）の計上は、Ⅱ-3-①-4 による。

４．その他

（１）押土（ルーズ）については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
（２）床掘り（土砂）については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（３）床掘り（岩石）については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（４）積込（ルーズ）については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（６）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（７）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（８）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（９）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
(10)「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：光ケーブル配管工
種　　別：作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘削

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削(土の状態を問わない)に適用する。

２．費用内訳
・河川堤防での光ケーブルの設置における掘削、基面整正（床揃え又は敷砂）の他、基面整正作業時に必要な締固め機械の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：砂防土工
種　　別：掘削工、盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘削（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における掘削（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合
（２）作業土工における床掘りの場合
（３）硬岩Ⅱの掘削の場合
（４）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合

２．費用内訳
・砂防工事における土砂、岩塊・玉石の掘削・積込み・運搬(掘削と同時に行う押土による運搬)、軟岩、硬岩、転石の掘削等、その施工に要する全ての費用を含む。

・掘削を伴わない***押土(ルーズ)(砂防)***は含まない。
・***掘削、床掘り(砂防)、積込(ルーズ)、積込(ルーズ)(砂防)、押土(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬、土砂等運搬(砂防)、残土運搬***は含まない。
・***砂防えん堤土工機械分解組立費***は含まない。

３．積算条件
掘削（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
土質(P)	押土の有無(S)	障害の有無(S)	掘削範囲(S)	火薬使用(S)
土砂	有り	―	―	―
	無し	無し	―	―
		有り	―	―
岩塊・玉石	有り	―	―	―
	無し	無し	―	―
		有り	―	―
軟岩	―	―	機械走行面より5m以内	―

積算条件				
土質(P)	押土の有無(S)	障害の有無(S)	掘削範囲(S)	火薬使用(S)
軟岩	―	―	機械走行面より5m超	可
				不可
硬岩	―	―	機械走行面より5m以内	―
			機械走行面より5m超	可
				不可
転石	―	―	機械走行面より5m以内	―
			機械走行面より5m超	可
				不可

（注）1. 土量は地山土量とする。

2. 押土の有無

無し：土砂及び岩塊・玉石の場合で、運搬距離が60mを超える場合

有り：土砂及び岩塊・玉石の場合で、運搬距離が60m以下の場合（60mまでの運搬を含む）

3. 障害の有無

障害無し：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合

障害有り：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合

4. 掘削範囲

機械走行面より5m以内：作業範囲が機械走行面より上下に5m以内の場合は、機械による岩石掘削

機械走行面より5m超：作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合は、火薬又は人力による岩石掘削

5. 火薬使用は作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合で、火薬が使用可能か否かにより区分する。

４．その他

（１）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合は、掘削（Ⅲ-直接-1-2）による。

（２）床掘り(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-30）による。

（３）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。

（４）積込(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-20）による。

（５）押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。

（６）押土(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-17）による。

（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（８）土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。

（９）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

(10) 砂防えん堤土工機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-5）による。

(11) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：開削土工
種　　別：掘削工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
開削掘削

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
　本資料は、電線共同溝工における土砂（砂質土及び砂、粘性土、レキ質土）の開削掘削に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）土留工を伴う掘削の場合
　（２）オープン掘削の場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事における土砂(砂質土及び砂、粘性土、レキ質土)の掘削・積込み、基面整正等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。

３．積算条件
　開削掘削ユニットの積算条件区分はない。

（注）土量は地山土量とする。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、地盤改良工、法覆護岸工、道路土工、擁壁工、道路植栽工
種　　別：掘削工、盛土工、盛土補強工、法面整形工、表層安定処理工、覆土工、路体盛土工、路床盛土工、置換工、補強土壁工、道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
土砂等運搬

積算単位：m3(運搬土量)
契約単位：式orm3(運搬土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工等における土砂等運搬に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）工区外の土砂等の運搬
（２）土取場（仮置場）から採取する土砂等の運搬
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・掘削工又は作業土工における土砂・軟岩・硬岩の運搬(自工区外)、路体・路床盛土工又は置換工等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***積込(ルーズ)、残土運搬***は含まない。
・受入れ地(他工区、他工事、仮置場等)での***整地***は含まない。
・押土による運搬は含まない。
・自工区内の運搬は含まない。
・場所打杭工における***掘削土運搬***は含まない。

３．積算条件
土砂等運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
土質(S)	ＤＩＤ区間の有無(S)	運搬距離(P)
土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	0.3km以下
		0.5km以下
		1.0km以下
		1.5km以下
		2.0km以下
		3.0km以下
		4.0km以下
		5.5km以下
		6.5km以下
		7.5km以下

積算条件		
土質(S)	ＤＩＤ区間の有無(S)	運搬距離(P)
土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	9.5km以下
		11.5km以下
		15.5km以下
		22.5km以下
		49.5km以下
		60.0km以下
		各種
	有り	0.3km以下
		0.5km以下
		1.0km以下
		1.5km以下
		2.0km以下
		3.0km以下
		3.5km以下
		5.0km以下
		6.0km以下
		7.0km以下
		8.5km以下
		11.0km以下
		14.0km以下
		19.5km以下
		31.5km以下
		60.0km以下
		各種
	各種	—
軟岩	無し	0.3km以下
		0.5km以下
		1.0km以下
		1.5km以下
		2.0km以下
		3.0km以下
		4.0km以下
		5.5km以下
		6.5km以下
		7.5km以下
		9.5km以下
		11.5km以下
		15.5km以下
		22.5km以下
		49.5km以下
		60.0km以下

積算条件		
土質(S)	ＤＩＤ区間の有無(S)	運搬距離(P)
軟岩	無し	各種
	有り	0.3km以下
		0.5km以下
		1.0km以下
		1.5km以下
		2.0km以下
		3.0km以下
		3.5km以下
		5.0km以下
		6.0km以下
		7.0km以下
		8.5km以下
		11.0km以下
		14.0km以下
		19.5km以下
		31.5km以下
		60.0km以下
		各種
	各種	―
硬岩	無し	0.3km以下
		0.5km以下
		1.0km以下
		1.5km以下
		2.0km以下
		3.0km以下
		4.0km以下
		5.5km以下
		6.5km以下
		7.5km以下
		9.5km以下
		11.5km以下
		15.5km以下
		22.5km以下
		49.5km以下
		60.0km以下
		各種
	有り	0.3km以下
		0.5km以下
		1.0km以下
		1.5km以下
		2.0km以下

積算条件		
土質(S)	ＤＩＤ区間の有無(S)	運搬距離(P)
硬岩	有り	3.0km以下
		3.5km以下
		5.0km以下
		6.0km以下
		7.0km以下
		8.5km以下
		11.0km以下
		14.0km以下
		19.5km以下
		31.5km以下
		60.0km以下
		各種
	各種	―

（注）1.ＤＩＤ(人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
2.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
3.運搬土量は、地山の土量とする。
4.運搬距離が60kmを超える場合は運搬距離を「各種」とし、地元協議等により通行制限が生じた場合はＤＩＤ区間の有無を「各種」とする。
5.積算条件：ＤＩＤ区間の有無「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
ＤＩＤ区間の有無：各種（(ＤＩＤ有)又は(ＤＩＤ無)及び運搬車両規格を入力)
運搬距離：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他
（１）掘削については、（Ⅲ-直接-1-1）による。
（２）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。
（３）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（４）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（６）整地については、（Ⅲ-直接-1-9）による。
（７）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：河川土工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、植栽維持工、腹付工、側帯工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、開削土工、道路土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、道路植栽工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：掘削工、盛土工、盛土補強工、作業土工、樹木・芝生管理工、植生工、埋戻し工、補強土壁工、路体盛土工、路床盛土工、道路植栽工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

土砂等運搬

積算単位:m3(運搬土量)
契約単位:式 orm3(運搬土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における土砂等運搬に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）土砂等の運搬

（２）土取場（仮置場） から採取する土砂等の運搬

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳

・掘削工又は作業土工における土砂・軟岩・硬岩の運搬、路体・路床盛土工又は置換工等における土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***積込（ルーズ）、残土運搬***は含まない。
・受入れ地（他工区、他工事、仮置場等）での***整地***は含まない。
・押土による運搬は含まない。

３．積算条件

土砂等運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
標準	バックホウ 山積 0.8m3(平積 0.6m3)	表３．２参照	無し	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
標準	バックホウ 山積 0.8m3(平積 0.6m3)	表３．２参照	無し	3.0km 以下
				4.0km 以下
				5.5km 以下
				6.5km 以下
				7.5km 以下
				9.5km 以下
				11.5km 以下
				15.5km 以下
				22.5km 以下
				49.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				5.0km 以下
				6.0km 以下
				7.0km 以下
				8.5km 以下
				11.0km 以下
				14.0km 以下
				19.5km 以下
				31.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
	バックホウ 山積 1.4m3(平積 1.0m3)		無し	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				6.0km 以下
				7.0km 以下
				8.5km 以下
				10.0km 以下
				12.5km 以下
				16.5km 以下

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
標準	バックホウ 山積 1.4m3(平積 1.0m3)	表３．２参照	無し	23.5km 以下
				51.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.5km 以下
				6.5km 以下
				8.0km 以下
				9.5km 以下
				11.5km 以下
				15.0km 以下
				20.5km 以下
				33.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
	バックホウ 山積 0.45m3(平積0.35m3)		無し	0.5km 以下
				1.0km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				6.0km 以下
				7.5km 以下
				10.0km 以下
				13.5km 以下
				19.5km 以下
				39.0km 以下
				60.0km 以下
				各種

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
標準	バックホウ 山積 0.45m3(平積0.35m3)	表３．２参照	有り	0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				3.0km 以下
				4.0km 以下
				5.5km 以下
				7.0km 以下
				9.0km 以下
				12.0km 以下
				17.5km 以下
				28.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
	クラムシェル		無し	0.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				4.0km 以下
				5.5km 以下
				7.5km 以下
				10.5km 以下
				16.0km 以下
				30.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下
				5.0km 以下
				7.0km 以下
				10.0km 以下
				14.5km 以下
				24.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
小規模	バックホウ 山積 0.28m3(平積 0.2m3)		無し	0.2km 以下
				1.0km 以下

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
小規模	バックホウ 山積 0.28m3(平積 0.2m3)	表３．２参照	無し	1.5km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下
				4.0km 以下
				5.0km 以下
				6.0km 以下
				7.5km 以下
				10.0km 以下
				13.0km 以下
				19.0km 以下
				35.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.2km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.5km 以下
				7.0km 以下
				9.0km 以下
				12.0km 以下
				17.0km 以下
				27.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
	バックホウ 山積 0.13m3(平積 0.1m3)		無し	0.3km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.5km 以下
				7.0km 以下
				9.0km 以下

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
小規模	バックホウ 山積 0.13m3(平積 0.1m3)	表３．２参照	無し	12.0km 以下
				17.0km 以下
				28.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.0km 以下
				6.5km 以下
				8.0km 以下
				11.0km 以下
				15.0km 以下
				24.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
人力(現場狭小のため機械搬入が不可)	－		無し	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				4.0km 以下
				5.0km 以下
				6.5km 以下
				8.5km 以下
				11.0km 以下
				16.0km 以下
				27.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下

積算条件				
土砂等発生現場(S)	積込機種・規格(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(P)
人力(現場狭小のため機械搬入が不可)	－	表３．２参照	有り	1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				6.0km 以下
				8.0km 以下
				10.5km 以下
				14.5km 以下
				23.0km 以下
				60.0km 以下
				各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件	区分
土質(S)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)
	軟岩
	硬岩

※小規模を選択の場合は、土砂(岩塊･玉石混り土含む)のみとする。

（注）1.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
2.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
3.運搬土量は地山の土量とする。
4.運搬距離が 60km を超える場合は各種とする。
5.積算条件：各種を選択の場合、以下の項目を入力する。
運搬距離：各種（実数入力(ｋｍ)）
6.小規模は、1 箇所当りの施工土量が 100m3 程度まで、又は平均施工幅が 1m 未満の場合とする。なお、「1 箇所当り」とは目的物（構造物・掘削等）1 箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を 1 箇所とする。

４．その他
（１）掘削の施工については、(Ⅲ-直接-1-2）による。
（２）路体（築堤）盛土については、(Ⅲ-直接-1-12）による。
（３）路床盛土については、(Ⅲ-直接-1-14）による。
（４）積込（ルーズ）については、(Ⅲ-直接-1-19）による。
（５）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）整地については、(Ⅲ-直接-1-10）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、付帯道路工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工
種　　別：掘削工、埋戻し工、盛土工、作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
土砂等運搬（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工事における土砂等運搬（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）運搬距離が片道７km以下の場合
（３）運搬路に一般道路を含む場合は、一般道路の走行距離が河床路より短い場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・砂防工事における土砂等の運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・受入れ地(他工区、他工事、仮置場等)での***整地***は含まない。
・***押土(ルーズ)(砂防)***による運搬は含まない。
・***積込(ルーズ)、積込(ルーズ)(砂防)、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。

３．積算条件
土砂等運搬（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
運搬距離(P)	土質区分(S)
0.5km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
0.9km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
1.5km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
2.0km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩

積算条件	
運搬距離(P)	土質区分(S)
2.5km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
3.0km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
4.0km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
5.0km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
6.0km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩
7.0km以下	土砂（岩塊・玉石混り土含む）
	軟岩
	硬岩

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
2.運搬土量は地山の土量とする。

４．その他

（１）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合は、土砂等運搬（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。

（３）積込(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-20）による。

（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（５）整地については、（Ⅲ-直接-1-10）による。

（６）押土(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-17）による。

（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、道路土工
種　　別：掘削工、残土処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
整地

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工における整地に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自工区内の整地
（２）締固めを含む場合

２．費用内訳
・構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
整地ユニットの積算条件区分はない。

（注）積算単位と契約単位の土量は、地山の土量とする。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：河川土工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、開削土工、道路土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：掘削工、盛土工、残土処理工、作業土工、場所打杭工、埋戻し工、合成杭工、路体盛土工、路床盛土工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

整地

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における整地に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）締固めを含む場合

２．費用内訳

・構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件

整地ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
作業区分(S)	敷均し作業内容(S)
残土受入れ地での処理	―
敷均し(ルーズ)	標準(ブルドーザ 普通15ｔ級)
	標準以外(ブルドーザ 普通21ｔ級)
	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)(ブルドーザ 普通3t級)

（注）1.作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は地山の土量とする。
2.作業区分で敷均し(ルーズ)を選択した場合の土量は敷均し後の土量とする。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、道路土工
種　　別：盛土工、路体盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路体(築堤)盛土

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工における路体(築堤)盛土に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体(築堤)盛土
（２）他工区（他工事）内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土
（３）土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土
（４）購入土を使用した路体(築堤)盛土
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）路床盛土工

２．費用内訳
・路体又は築堤の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工区(他工事)で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料***、土質安定処理費は含まない。
・***路床盛土***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
路体（築堤）盛土ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
下幅幅員(S)	作業形態(S)	土質(S)	障害の有無(S)
2.5m未満	―	―	―
2.5m以上4.0m未満	―	―	―
4.0m以上	敷均し+締固め	―	無し
			有り
	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	無し
			有り
		高含水比粘性土	無し
			有り

（注）1. 施工数量は1工事当りの全体盛土量とする。
2. 作業形態
敷均し+締固め：敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うと想定する場合
敷均し締固め　：敷均しと締固めの作業を同一施工機械で行うと想定する場合
3. 障害の有無
無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合（例えば、新設のバイパス工事、築堤工事等）
有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合（例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、拡築(腹付、嵩上)工事等）
4. 高含水比粘性土：バケットやブレード(排土板)等に付着しやすく、特にトラフィカビリティが不足する等問題となりやすいもの。（条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土等）
5. 土量は締固め後土量とする。
6. 盛土材料がタイヤローラの締固めに適さない土質(砂等)の場合に敷均し締固めを適用する。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（３）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（５）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（６）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（７）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：河川土工、海岸土工、砂防土工、道路土工
種　　別：盛土工、路体盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路体(築堤)盛土

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工における路体(築堤)盛土に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体(築堤)盛土
（２）他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土
（３）土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土
（４）購入土を使用した路体(築堤)盛土
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）路床盛土工

２．費用内訳
・路体又は築堤の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料***、土質安定処理費は含まない。
・***路床盛土***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***押土(ルーズ)、土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
路体（築堤）盛土ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
下幅幅員(S)	作業形態(S)	土質(S)	施工数量(S)	障害の有無(S)
2.5m未満	―	―	―	―
2.5m以上4.0m未満	―	―	―	―
4.0m以上	敷均し+締固め	―	10000m3未満	無し
				有り
			10000m3以上	無し
				有り
	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	10000m3未満	無し
				有り

積算条件				
下幅幅員(S)	作業形態(S)	土質(S)	施工数量(S)	障害の有無(S)
4.0m以上	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	10000m3以上	無し
				有り
		高含水比粘性土	―	無し
				有り

（注）1.施工数量は1工事当りの全体盛土量とする。
2.作業形態
敷均し+締固め：敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うと想定する場合
敷均し締固め　：敷均しと締固めの作業を同一施工機械で行うと想定する場合
3.障害の有無
無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合（例えば、新設のバイパス工事、築堤工事等）
有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合（例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、拡築(腹付、嵩上)工事等）
4.高含水比粘性土：バケットやブレード(排土板)等に付着しやすく、特にトラフィカビリティが不足する等問題となりやすいもの。（条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土等）
5.土量は締固め後の土量とする。
6.盛土材料がタイヤローラの締固めに適さない土質(砂等)の場合に敷均し締固めを適用する。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-14）による。
（３）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（６）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（７）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、道路土工
種　　別：盛土工、路床盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路床盛土

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工における路床盛土に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土
（２）他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土
（３）土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土
（４）購入土を使用した路床盛土
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）凍上抑制層を有する場合
（２）路体（築堤）盛土

２．費用内訳
・路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***路体(築堤)盛土***は含まない。
・***土材料***、土質安定処理費は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
路床盛土ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
平均幅員(S)	障害の有無(S)
2.5m未満	―
2.5m以上4.0m未満	―
4.0m以上	無し
	有り

（注）1.平均幅員：標準的な断面図の（上幅＋下幅）×１／２
2.障害の有無
無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合（例えば、新設のバイパス工事、築堤工事等）

有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合（例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、拡築(腹付、嵩上)工事等）

3. 土量は締固め後の土量とする。

４．その他

（１）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。

（２）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。

（３）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。

（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（５）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（６）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（７）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：河川土工、海岸土工、砂防土工、道路土工
種　　別：盛土工、路床盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路床盛土

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工における路床盛土に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土
（２）他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土
（３）土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土
（４）購入土を使用した路床盛土
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）凍上抑制層を有する場合
（２）路体盛土工

２．費用内訳
・路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***路体(築堤)盛土***は含まない。
・***土材料***、土質安定処理費は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***押土(ルーズ)***、***土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費***、***重建設機械分解組立費***、***重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
路床盛土ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均幅員(S)	施工数量(S)	障害の有無(S)
2.5m未満	―	―
2.5m以上4.0m未満	―	―
4.0m以上	10000m3未満	無し
		有り
	10000m3以上	無し
		有り

（注）1.平均幅員＝標準的な断面図の（上幅＋下幅）×1/2

2. 施工数量は1工事当りの全体盛土量とする。
3. 土量は締固め後の土量とする。
4. 障害の有無
　無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合（例えば、新設のバイパス工事、あるいは新設の築堤工事等）
　有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合（例えば現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事、あるいは拡築（腹付、嵩上）工事等）

４．その他
（１）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-12）による。
（２）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（３）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（４）押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（６）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（７）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（８）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：砂防土工
種　　別：盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
盛土（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における盛土（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した盛土の場合
（３）他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した盛土の場合
（４）土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した盛土の場合
（５）購入土を使用した盛土の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）路体（築堤）盛土、路床盛土の場合
（２）締固め施工幅が1m未満の場合
（３）土質が高含水比粘性土の場合

２．費用内訳
・砂防工事における自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工区で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料***、土質安定処理費は含まない。
・現場内集積場における流用土の***積込（ルーズ）（砂防）***、***積込（ルーズ）***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込（ルーズ）（砂防）***、***積込（ルーズ）***は含まない。
・***路体(築堤)盛土、路床盛土、土材料、押土（ルーズ）（砂防）、押土（ルーズ）、土砂等運搬（砂防）、土砂等運搬***は含まない。
・***砂防えん堤土工機械分解組立費***は含まない。

３．積算条件
盛土（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
作業形態(S)	締固め施工幅員(S)	土質(P)
敷均し	―	土砂
		岩塊・玉石
		破砕岩
敷均し＋締固め	1.0m以上4.0m未満	土砂

積算条件		
作業形態(S)	締固め施工幅員(S)	土質(P)
敷均し＋締固め	1.0m以上4.0m未満	岩塊・玉石
		破砕岩
	4.0m以上	土砂
		岩塊・玉石
		破砕岩

（注）1.施工数量は1工事当りの全体盛土量とする。
2.作業形態
敷均し：締固めを伴わない敷均しを行う場合
敷均し＋締固め：敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うと想定する場合
3.作業形態で敷均しを選択した場合の土量は、敷均し後の土量とする。
4.作業形態で敷均し＋締固めを選択した場合の土量は、締固め後の土量とする。

４．その他
（１）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合は、路体（築堤）盛土（Ⅲ-直接-1-12）又は路床盛土（Ⅲ-直接-1-14）による。
（２）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（３）押土(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-17）による。
（４）押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
（５）土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）積込(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-20）による。
（８）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（９）砂防えん堤土工機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-5）による。
(10)「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：河川土工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、道路土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工
種　　別：掘削工、盛土工、作業土工、埋戻し工、補強土壁工、路体盛土工、路床盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
押土(ルーズ)

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工等における押土（ルーズ）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）運搬距離60m以下の押土による土砂、岩塊・玉石の運搬作業の場合
（２）押土距離30mまでの岩掘削及び床掘り（岩石）における集積用押土の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）地山の掘削を伴う押土の場合

２．費用内訳
・ルーズな状態の土砂、岩塊･玉石、破砕岩の集積押土や押土による運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削、床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、積込(ルーズ)、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
押土（ルーズ）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
土質(P)
土砂
岩塊・玉石
破砕岩

（注）土量は地山土量とする。

４．その他
（１）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。
（２）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。
（３）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（４）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（５）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（９）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
(10) 重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
(11) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、付帯道路工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工
種　　別：掘削工、埋戻し工、盛土工、作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
押土（ルーズ）（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における押土（ルーズ）（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）自工区内において60m以下の押土の場合
（３）自工区外を含む作業で、自工区内運搬距離が自工区外より長く、かつ、片道の合計運搬距離が60m以下の場合
（４）土砂、岩塊・玉石、破砕岩の運搬
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）地山の掘削を伴う押土の場合

２．費用内訳
・砂防工事における集積・押土等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削、掘削(砂防)、床掘り(砂防)、積込(ルーズ)、積込(ルーズ)(砂防)、押土(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬、土砂等運搬(砂防)、残土運搬***は含まない。

３．積算条件
押土（ルーズ）（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
土質(P)
土砂
岩塊・玉石
破砕岩

（注）土量は地山土量とする。

４．その他
（１）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合は、押土（ルーズ）（Ⅲ-直接-1-16）による。
（２）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。

（３）掘削(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-4）による。
（４）床掘り(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-30）による。
（５）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（６）積込(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-20）による。
（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（８）土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。
（９）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
(10) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、地盤改良工、法覆護岸工、道路土工、擁壁工、道路植栽工
種　　別：盛土工、盛土補強工、法面整形工、表層安定処理工、覆土工、路体盛土工、路床盛土工、置換工、補強土壁工、道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
積込（ルーズ）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工等における積込みに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み
（２）構造物築造のために行う作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込み
（３）掘削工、又は構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の仮置場での積込み
（４）掘削工、又は構造物築造のために行う作業土工において地山掘削後、一度ルーズな状態とした土砂等の積込み
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）掘削工、又は構造物築造のために行う作業土工において上記１－１（４）以外の積込み（地山を掘削した土砂等を直接運搬車両等に投入する場合）

２．費用内訳
・路体(築堤)盛土、路床盛土等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた残土の仮置場での積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
積込(ルーズ)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
土質(P)	施工数量(S)
土砂	50,000m3未満
	50,000m3以上
岩塊、玉石、破砕岩	50,000m3未満
	50,000m3以上

（注）1.施工数量は１工事当りの数量とする。
2.土量は地山の土量とする。

４．その他
（１）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。

（２）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（５）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（６）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（７）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：河川土工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、道路土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、道路植栽工、落石雪害防止工、橋脚巻立てエ

種　　別：掘削工、盛土工、盛土補強工、作業土工、場所打杭工、埋戻し工、補強土壁工、合成杭工、路体盛土工、路床盛土工、道路植栽工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

積込（ルーズ）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における積込（ルーズ）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み

（２）構造物築造のために行う作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込み

（３）掘削工又は構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の仮置場での積込み

（４）掘削工又は構造物築造のために行う作業土工において地山掘削後、一度ルーズな状態とした土砂等の積込み

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）掘削工又は構造物築造のために行う作業土工における上記１－１（４）以外の積込み（地山を掘削した土砂等を直接運搬車両等に投入する場合）

２．費用内訳

・路体(築堤)盛土、路床盛土等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた残土の仮置場での積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件

積込（ルーズ）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
土質(P)	積込機種(S)
土砂	クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)
	クローラ型山積1.4m3(平積1.0m3)
	クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)
岩塊・玉石	クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)

積算条件	
土質(P)	積込機種(S)
岩塊・玉石	クローラ型山積1.4m3(平積1.0m3)
	クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)
破砕岩	クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)
	クローラ型山積1.4m3(平積1.0m3)
	クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)

（注）土量は地山土量とする。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、付帯道路工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工
種　　別：掘削工、埋戻し工、盛土工、作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
積込（ルーズ）（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における積込（ルーズ）（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込みの場合
（３）作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込みの場合
（４）掘削工、作業土工で生じた残土の仮置場での積込みの場合
（５）掘削工、作業土工において地山掘削後、一度ルーズな状態とした土砂等の積込みの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合
（２）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合

２．費用内訳
・砂防工事における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた土砂等の仮置場での積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***積込(ルーズ)、土砂等運搬、土砂等運搬(砂防)、残土運搬***は含まない。
・***砂防えん堤土工機械分解組立費***は含まない。

３．積算条件
積込（ルーズ）（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
土質(P)
土砂
岩塊・玉石
破砕岩

（注）土量は地山土量とする。

４．その他
（１）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合は、積込（ルー

ズ）（Ⅲ-直接-1-19）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（５）砂防えん堤土工機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-5）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：開削土工
種　　別：埋戻し工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
積込（ルーズ）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式 or m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工における積込（ルーズ）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれか条件に該当する場合
（１）土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込みの場合
（２）開削掘削で生じ、仮置きされた土砂等の積込みの場合
（３）開削掘削で生じ、仮置きされた残土の積込みの場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、残土の仮置場での積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
積込（ルーズ）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
バックホウ機種(S)
クローラ型　山積0.28m3（平積0.2m3）
クローラ型　山積0.13m3（平積0.1m3）

（注）土量は締固め後の土量とする。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路改良、舗装、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：河川土工、地盤改良工、法覆護岸工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、植栽維持工、腹付工、側帯工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、道路土工、縁石工、道路植栽工、開削土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、落石雪害防止工、橋脚巻立てエ

種　　別：盛土工、盛土補強工、法面整形工、表層安定処理工、覆土工、作業土工、樹木・芝生管理工、植生工、埋戻し工、補強土壁工、路体盛土工、路床盛土工、置換工、分離帯工、道路植栽工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

土材料

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における土材料に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）路体盛土工における土材料　　（２）路床盛土工における土材料
（３）法面整形工における土材料　　（４）置換工における土材料
（５）分離帯工における土材料　　（６）道路植栽工における土材料
（７）盛土工における土材料　　（８）盛土補強工における土材料
（９）表層安定処理工における土材料　(10) 覆土工における土材料
(11) 法覆護岸工における土材料(客土を購入する場合)
(12) 植生工(筋芝等)における土材料(土羽土)
(13) サンドマットにおける土場渡しの土材料
(14) 作業土工の埋戻しにおける土材料（購入土の場合）

２．費用内訳

・路体盛土工、路床盛土工における盛土材料、作業土工等における埋戻材料又は置換工における置換材料等の購入に要する全ての費用(現場渡し単価又は土場渡し単価)を含む。

３．積算条件

土材料ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
購入方式(P)
現場渡し
土場渡し

（注）土量は締固め後土量とし、換算後の単価を入力する。

４．その他

（１）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、道路土工
種　　別：法面整形工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
法面整形

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、道路土工、河川土工における法面整形に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）土質がレキ質土、砂及び砂質土、粘性土、軟岩Ⅰ・Ⅱ、中硬岩、硬岩の法面整形

２．費用内訳
・切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面(土羽)整形、土羽土の現場内小運搬の他、空気圧縮機、ピックハンマ賃料、チゼル損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削、路体(築堤)盛土、路床盛土、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***土材料***は含まない。

３．積算条件
法面整形ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
土質(P)	整形箇所(P)	土羽打ちの有無(P)	現場制約の有無(S)
レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	盛土部	有り	有り
			無し
		無し	―
	切土部	―	―
軟岩I	―	―	―
軟岩II、中硬岩、硬岩	―	―	―

（注）1.現場制約の有無
有り：機械施工が困難な場合又は、一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に必要に応じて行う整形作業（二次整形）
無し：上記以外の場合
2.盛土部の施工において土羽打の有無が混在する場合は、各々分けて積算を行う。

４．その他

（１）掘削については、（Ⅲ-直接-1-1）による。
（２）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。
（３）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（６）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：河川土工、海岸土工、砂防土工、道路土工
種　　別：法面整形工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

法面整形

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工における法面整形に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）土質がレキ質土、砂及び砂質土、粘性土、軟岩Ⅰ・Ⅱ、中硬岩、硬岩の法面整形

２．費用内訳

・切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面(土羽)整形、土羽土の現場内小運搬の他、空気圧縮機、ピックハンマ賃料、チゼル損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削、路体(築堤)盛土、路床盛土、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***土材料***は含まない。

３．積算条件

法面整形ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

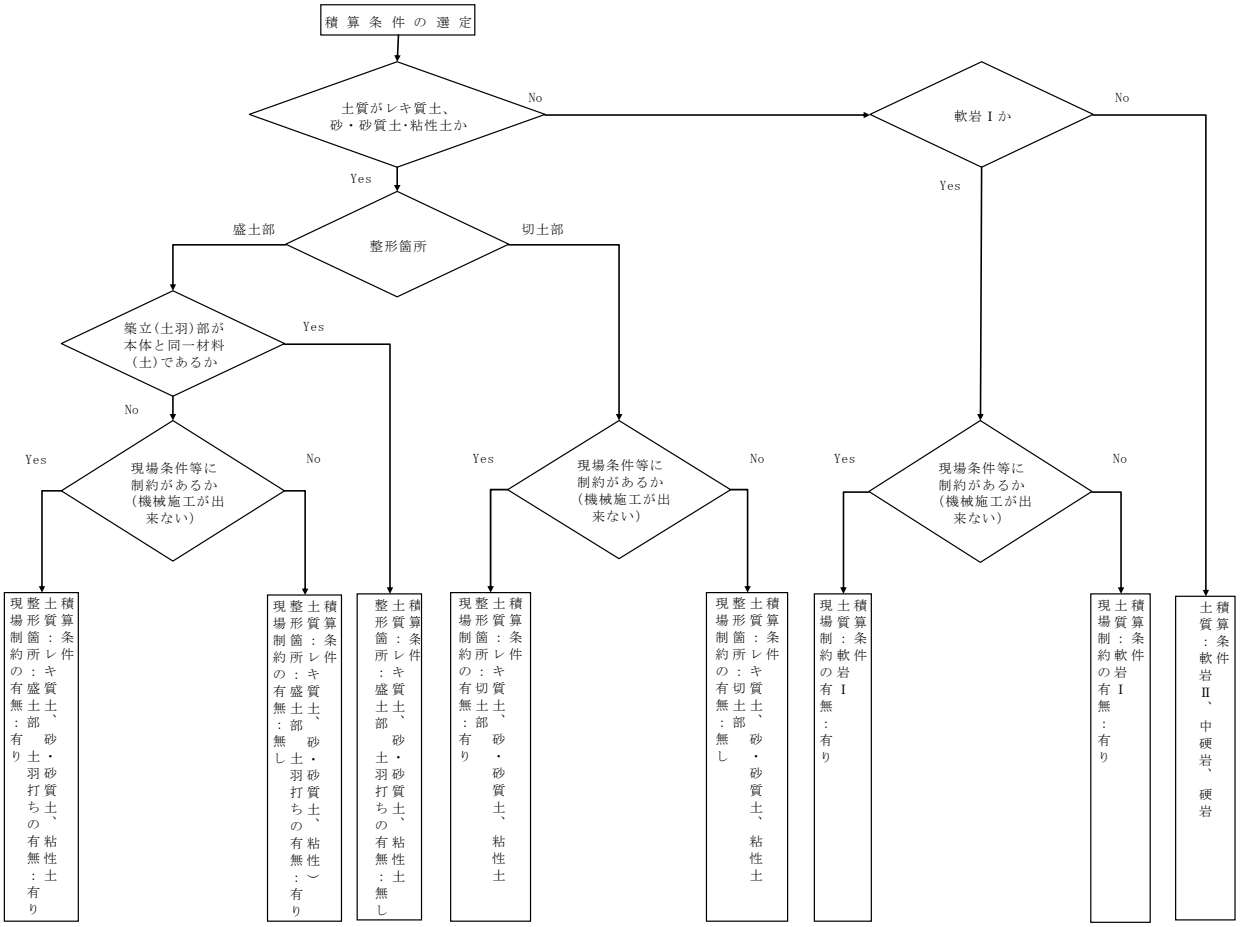
積算条件			
土質(P)	整形箇所(P)	土羽打ちの有無(P)	現場制約の有無(S)
レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	盛土部	有り	有り
			無し
		無し	－
	切土部	－	有り
			無し
軟岩Ⅰ	－	－	有り
			無し
軟岩II、中硬岩、硬岩	－	－	－

（注）1.現場制約の有無

有り：機械施工が困難な場合又は一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に必要に応じて行う整形作業（二次整形）

無し：上記以外の場合

2.盛土部の施工において土羽打の有無が混在する場合は、各々分けて積算を行う。



※土羽築立と法面保護工(筋芝、植生芝)を同時施工する場合は、ユニット区分：「植生筋」、「筋芝」による。

4．その他

（1）掘削については、(Ⅲ-直接-1-2）による。

（2）路体（築堤）盛土については、(Ⅲ-直接-1-12）による。

（3）路床盛土については、(Ⅲ-直接-1-14）による。

（4）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-7）による。

（5）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-26）による。

（6）土材料については、(Ⅲ-直接-1-22）による。

（7）「1．適用範囲」及び「3．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：河川土工、道路土工、地盤改良工
種　　別：残土処理工、固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

残土運搬

積算単位:m3(運搬土量)
契約単位:式 orm3(運搬土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における残土運搬に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬

（２）掘削工で生じた残土の処分場までの運搬

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳

・構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬又は掘削工で生じた残土の処分場までの運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***積込（ルーズ）、残土等処分***は含まない。
・自工区内の運搬は含まない。
・押土による運搬は含まない。

３．積算条件

残土運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件		
土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
表３．２参照	無し	0.3km 以下
		0.5km 以下
		1.0km 以下
		1.5km 以下
		2.0km 以下
		3.0km 以下
		4.0km 以下
		5.5km 以下
		6.5km 以下
		7.5km 以下
		9.5km 以下
		11.5km 以下
		15.5km 以下

積算条件		
土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
表３．２参照	無し	22.5km 以下
		49.5km 以下
		60.0km 以下
		各種
	有り	0.3km 以下
		0.5km 以下
		1.0km 以下
		1.5km 以下
		2.0km 以下
		3.0km 以下
		3.5km 以下
		5.0km 以下
		6.0km 以下
		7.0km 以下
		8.5km 以下
		11.0km 以下
		14.0km 以下
		19.5km 以下
		31.5km 以下
		60.0km 以下
		各種
	各種	－

表３．２(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件	区分
土質(S)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)
	軟岩
	硬岩

(注) 1.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
2.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
3.運搬土量は地山の土量とする。
4.運搬距離が 60km を超える場合は、運搬距離を「各種」とし、地元協議等により通行制限が生じた場合はＤＩＤ区間の有無を「各種」とする。。
5.積算条件：ＤＩＤ区間の有無「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
ＤＩＤ区間の有無：各種（(ＤＩＤ有)又は(ＤＩＤ無)及び、運搬車両規格を入力)
運搬距離：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他

（１）積込（ルーズ）については、（Ⅲ-直接-1-18）による。

（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：河川土工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、開削土工、道路土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：残土処理工、作業土工、場所打杭工、合成杭工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

残土運搬

積算単位:m3(運搬土量)
契約単位:式 orm3(運搬土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、河川土工等における残土運搬に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬

（２）掘削工で生じた残土の処分場までの運搬

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳

・構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬又は掘削工で生じた残土の処分場までの運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***積込（ルーズ）、残土等処分***は含まない。

・押土による運搬は含まない。

３．積算条件

残土運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
標準	バックホウ 山積 0.8m3(平積 0.6m3)	表３．２参照	無し	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				3.0km 以下
				4.0km 以下
				5.5km 以下

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
標準	バックホウ 山積 0.8m3(平積 0.6m3)	表３．２参照	無し	6.5km 以下
				7.5km 以下
				9.5km 以下
				11.5km 以下
				15.5km 以下
				22.5km 以下
				49.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				5.0km 以下
				6.0km 以下
				7.0km 以下
				8.5km 以下
				11.0km 以下
				14.0km 以下
				19.5km 以下
				31.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
	バックホウ 山積 1.4m3(平積 1.0m3)		無し	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				6.0km 以下
				7.0km 以下
				8.5km 以下
				10.0km 以下
				12.5km 以下
				16.5km 以下
				23.5km 以下
				51.5km 以下
				60.0km 以下

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
標準	バックホウ 山積 1.4m3(平積 1.0m3)	表３．２参照	無し	各種
			有り	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.5km 以下
				6.5km 以下
				8.0km 以下
				9.5km 以下
				11.5km 以下
				15.0km 以下
				20.5km 以下
				33.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
	バックホウ 山積 0.45m3(平積 0.35m3)		無し	0.5km 以下
				1.0km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				6.0km 以下
				7.5km 以下
				10.0km 以下
				13.5km 以下
				19.5km 以下
				39.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
標準	バックホウ 山積 0.45m3(平積0.35m3)	表３．２参照	有り	2.0km 以下
				3.0km 以下
				4.0km 以下
				5.5km 以下
				7.0km 以下
				9.0km 以下
				12.0km 以下
				17.5km 以下
				28.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
	クラムシェル		無し	0.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				4.0km 以下
				5.5km 以下
				7.5km 以下
				10.5km 以下
				16.0km 以下
				30.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下
				5.0km 以下
				7.0km 以下
				10.0km 以下
				14.5km 以下
				24.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
小規模	バックホウ 山積 0.28m3(平積0.2m3)		無し	0.2km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.5km 以下
				3.5km 以下

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
小規模	バックホウ 山積 0.28m3(平積 0.2m3)	表３．２参照	無し	4.0km 以下
				5.0km 以下
				6.0km 以下
				7.5km 以下
				10.0km 以下
				13.0km 以下
				19.0km 以下
				35.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.2km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.5km 以下
				7.0km 以下
				9.0km 以下
				12.0km 以下
				17.0km 以下
				27.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
	バックホウ 山積 0.13m3(平積 0.1m3)		無し	0.3km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.5km 以下
				7.0km 以下
				9.0km 以下
				12.0km 以下
				17.0km 以下
				28.5km 以下

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
小規模	バックホウ 山積 0.13m3(平積 0.1m3)	表３．２参照	無し	60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				3.5km 以下
				4.5km 以下
				5.0km 以下
				6.5km 以下
				8.0km 以下
				11.0km 以下
				15.0km 以下
				24.0km 以下
				60.0km 以下
				各種
人力(現場狭小のため機械搬入が不可)	―		無し	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下
				3.0km 以下
				4.0km 以下
				5.0km 以下
				6.5km 以下
				8.5km 以下
				11.0km 以下
				16.0km 以下
				27.5km 以下
				60.0km 以下
				各種
			有り	0.3km 以下
				0.5km 以下
				1.0km 以下
				1.5km 以下
				2.0km 以下
				2.5km 以下

積算条件				
残土発生現場(S)	積込機種(S)	土質(S)	DID 区間の有無(S)	運搬距離(S)
人力(現場狭小のため機械搬入が不可)	－	表３．２参照	有り	3.5km 以下
				4.5km 以下
				6.0km 以下
				8.0km 以下
				10.5km 以下
				14.5km 以下
				23.0km 以下
				60.0km 以下
				各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件	区分
土質(S)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)
	軟岩
	硬岩

※小規模を選択の場合は、土砂(岩塊･玉石混り土含む)のみとする。

(注) 1.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
2.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
3.運搬土量は地山の土量とする。
4.運搬距離が 60km を超える場合は各種とする。
5.積算条件：各種を選択の場合、以下の項目を入力する。
運搬距離：各種（実数入力(ｋｍ)）
6.小規模は、1 箇所当りの施工土量が 100m3 程度まで、又は平均施工幅が 1m 未満の場合とする。なお、「1 箇所当り」とは目的物（構造物・掘削等）1 箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を 1 箇所とする。

４．その他
（１）積込（ルーズ）については、(Ⅲ-直接-1-19）による。
（２）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路改良、舗装、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：河川土工、地盤改良工、樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、堤脚保護工、管理用通路工、海岸土工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、道路土工、カルバート工、開削土工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：残土処理工、固結工、作業土工、場所打杭工、合成杭工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

残土等処分

積算単位：m3(処分土量)
契約単位：式orm3(処分土量)

１．適用範囲

本資料は、道路土工、構造物築造、掘削工及び地盤改良等に伴い発生した残土、汚泥、泥水等の処分に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）残土運搬された土砂等の残土受入れ地での処分

（２）泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分

２．費用内訳

・構造物築造のために行う作業土工又は掘削工で生じた残土、地盤改良等で発生した汚泥、泥水等の処分場での処分に要する全ての費用を含む。

・***残土運搬***は含まない。

・残土受入れ地での処理は含まない。

３．積算条件

残土等処分ユニットの積算条件区分はない。

４．その他

（１）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。

（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、堤脚保護工、管理用通路工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：作業土工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

床掘り（土砂）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、構造物の築造又は撤去を目的とした、土砂（砂、砂質土、レキ質土、粘性土、岩塊・玉石）の掘削等である床掘（土砂）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）作業土工（床掘り）のうち、土砂（砂、砂質土、レキ質土、粘性土、岩塊・玉石）におけるバックホウ床掘・クラムシェル床掘・人力掘削（床掘）の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）積込み単独の作業の場合

（２）地山の掘削作業の場合

（３）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に作業土工が含まれている場合

２．費用内訳

・構造物の築造又は撤去を目的とした土砂(砂、砂質土、レキ質土、粘性土、岩塊・玉石)の掘削等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削、土砂等運搬、残土運搬、床掘り(岩石)*** は含まない。
・***基面整正***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費、掘削補助機械搬入搬出***は含まない。

３．積算条件

床掘り（土砂）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
土質(S)	施工方法(S)	土留方式の種類(S)	障害の有無(S)
レキ質土・砂・砂質土・粘性土	標準	無し	無し
			有り
		自立式	無し
			有り
		グランドアンカー式	無し
			有り

積算条件			
土質(S)	施工方法(S)	土留方式の種類(S)	障害の有無(S)
レキ質土・砂・砂質土・粘性土	標準	切梁腹起式	有り
	平均施工幅1m以上2m未満	無し	無し
			有り
		自立式	無し
			有り
		グランドアンカー式	無し
			有り
		切梁腹起式	有り
	掘削深さ5m超20m以下	無し	無し
			有り
		自立式	無し
			有り
		グランドアンカー式	無し
			有り
		切梁腹起式	有り
	平均施工幅1m未満及び1箇所当り施工土量100m3未満	―	―
	人力(機械施工出来ない)	―	―
岩塊・玉石混り土	標準	無し	無し
			有り
		自立式	無し
			有り
		グランドアンカー式	無し
			有り
		切梁腹起式	有り
	平均施工幅1m以上2m未満	無し	無し
			有り
		自立式	無し
			有り
		グランドアンカー式	無し
			有り
		切梁腹起式	有り
	掘削深さ5m超20m以下	無し	無し
			有り
		自立式	無し
			有り
		グランドアンカー式	無し
			有り
		切梁腹起式	有り

積算条件			
土質(S)	施工方法(S)	土留方式の種類(S)	障害の有無(S)
岩塊・玉石混り土	人力(機械施工出来ない)	―	―

（注）1. 土量は、地山土量とする。
2. 障害の有無
有り：①床掘り作業において、障害物等により施工条件に制限がある場合（たとえば作業障害が多い場合）
②土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がある場合
無し：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合
②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締め切り工法掘削の場合
③土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がない場合
・施工方法が標準又は平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満の場合において、掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業（床掘）をおこなう場合は、障害有りを適用する。
3. 施工方法「平均施工幅が1m未満及び１箇所当りの施工土量が100m3未満」の「１箇所当り」とは、目的物１箇所当りであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を１箇所とする。

４．その他
（１）掘削については、（Ⅲ-直接-1-3）による。
（２）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（５）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（６）基面整正については、（Ⅲ-直接-1-34）による。
（７）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（８）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（９）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
(10) 掘削補助機械搬入搬出については、（Ⅲ-直接-1-35）による。
(11) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、堤脚保護工、管理用通路工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工
種　　別：作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

床掘り（岩石）

積算単位:m3(土量)
契約単位:式 orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、構造物の築造又は撤去を目的とした、岩石の掘削等である床掘り（岩石）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）作業土工（床掘り）のうち、岩石（軟岩(Ⅰ)、軟岩(Ⅱ)、中硬岩、硬岩(Ⅰ)）におけるリッパ掘削、火薬併用リッパ掘削、大型ブレーカ掘削、片切掘削(人力併用機械掘削)、片切掘削(火薬併用機械掘削)、人力掘削(片切り)、人力床掘の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）積込み単独の作業の場合
（２）破砕片除去単独の作業の場合
（３）破砕片の集積押土単独の作業の場合
（４）岩質が「硬岩Ⅱ」の床掘りの場合
（５）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に作業土工が含まれている場合

２．費用内訳

・構造物の築造又は撤去を目的とした岩石(軟岩(Ⅰ)、軟岩(Ⅱ)、中硬岩、硬岩(Ⅰ))の掘削等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削、土砂等運搬、残土運搬、床掘り(土砂)***は含まない。
・***基面整正***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件

床掘り（岩石）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件						
土質(S)	施工方法(S)	岩質(S)	施工数量(S)	火薬使用(S)	破砕片除去の有無(S)	集積押土の有無(S)
軟岩	オープンカット	－	500m3 未満	－	無し	無し
						有り
					有り	無し
						有り
			500m3 以上	－	－	－
	片切掘削	－	－	－	無し	無し
						有り
					有り	無し
						有り
	床掘り(掘削箇所の外からの作業)	－	－	－	有り	無し
	人力(機械施工出来ない)	軟岩(Ⅰ)	－	－	－	－
		軟岩(Ⅱ)	－	－	－	－
硬岩	オープンカット	－	－	不可	無し	無し
						有り
					有り	無し
						有り
				可	－	－
	片切掘削	－	－	不可	無し	無し
						有り
					有り	無し
						有り
				可	無し	無し
						有り
					有り	無し
						有り
	床掘り(掘削箇所の外からの作業)	－	－	－	有り	無し
	人力(機械施工出来ない)	中硬岩	－	－	－	－
		硬岩(Ⅰ)	－	－	－	－

（注）1.施工方法は、参考図により選択する。

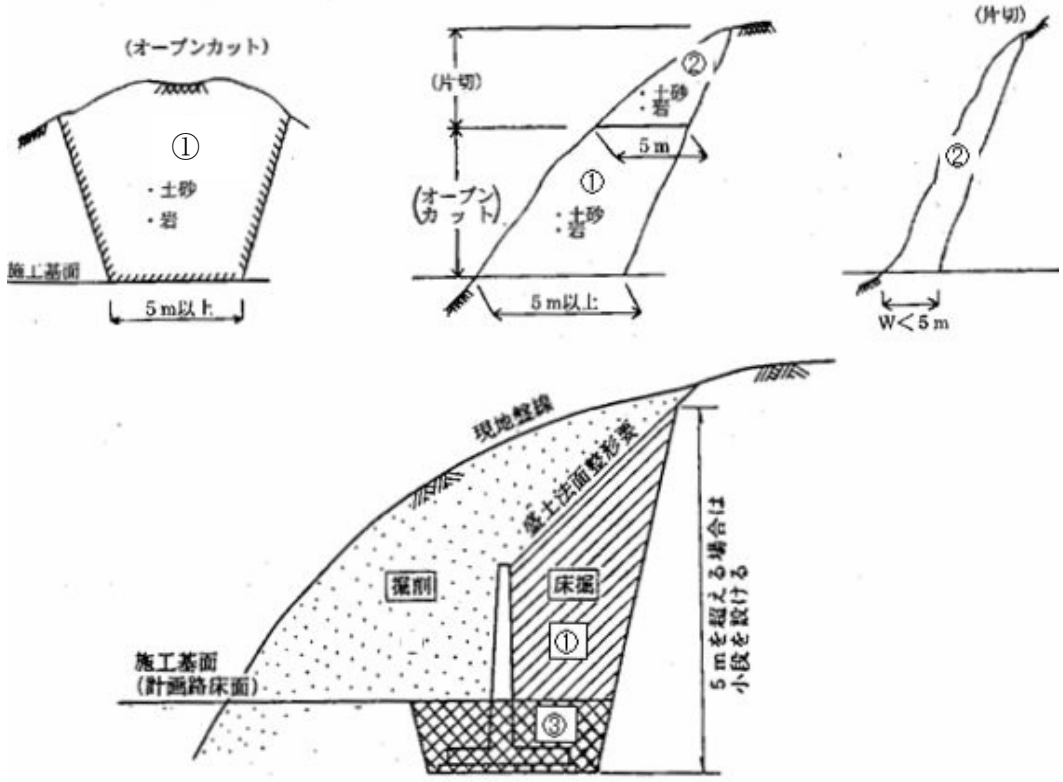
床掘り(岩石)の適用について

本ユニットで設定している施工方法は、以下のとおりである。

～施工方法～

① オープンカット
② 片切掘削
③ 床掘り(掘削箇所の外からの作業)

詳細については、下図を参照



④ 人力（機械施工出来ない）とは、平均施工幅１m未満の場合に適用する。

2.土量は、地山土量とする。

3.施工数量は、軟岩のオープンカットの１工事当りの数量とする。

４．その他

（１）掘削については、(Ⅲ-直接-1-2）による。

（２）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-7）による。

（３）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-26）による。

（４）床掘り（土砂）については、(Ⅲ-直接-1-28）による。

（５）基面整正については、(Ⅲ-直接-1-34）による。

（６）建設機械運搬費については、(Ⅲ-間接-1-1）による。

（７）重建設機械分解組立費については、(Ⅲ-間接-1-2）による。

（８）重建設機械分解組立輸送費については、(Ⅲ-間接-1-3）による。

（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、付帯道路工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工
種　　別：作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
床掘り（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における構造物の築造又は撤去を目的とした土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削である床掘り（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）掘削範囲が機械走行面より上下5m超の場合
（２）硬岩Ⅱの掘削の場合
（３）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合
（４）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に作業土工が含まれている場合

２．費用内訳
・砂防工事における構造物の築造又は撤去を目的とした土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削等、その施工に要する全ての費用を含む。

・破砕片除去は含まない。
・***掘削(砂防)、押土(ルーズ)(砂防)、土砂等運搬(砂防)、残土運搬***は含まない。
・***積込(ルーズ)、基面整正***は含まない。
・***砂防えん堤土工機械分解組立費***は含まない。

３．積算条件
床掘り（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
土質(P)	障害の有無(S)
土砂	無し
	有り
岩塊・玉石	無し
	有り
軟岩	―
硬岩	―

積算条件	
土質(P)	障害の有無(S)
転石	―

（注）1.土量は地山土量とする。
2.障害の有無
無し：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合
有り：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合

４．その他
（１）掘削(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-4）による。
（２）押土(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-17）による。
（３）土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（５）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（６）基面整正については、（Ⅲ-直接-1-34）による。
（７）砂防えん堤土工機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-5）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、堤脚保護工、管理用通路工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：作業土工、埋戻し工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

埋戻し

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲

本資料は、構造物の築造及び撤去後の床掘り部における埋戻しに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）埋戻しにおいて材料のはねつけを行う場合
（２）埋戻しにおいて敷均しを行う場合
（３）埋戻しにおいて締固めを行う場合

２．費用内訳

・構造物の築造及び撤去後の床掘部の埋戻し、敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・***掘削、積込(ルーズ)、押土(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。

３．積算条件

埋戻しユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
作業区分(S)	1箇所当りの施工土量(S)	埋戻幅(S)	土質(S)	締固めの有無(S)
機械施工	100m3以上	最小埋戻幅 4m以上	―	―
		最大埋戻幅 4m以上	―	―
		最大埋戻幅 1m以上 4m未満	―	―
		最大埋戻幅 1m未満	―	―
	100m3未満	―	粘性土、砂・砂質土、レキ質土	―
人力施工	―	―	粘性土、砂・砂質土、レキ質土	有り
				無し
			岩塊・玉石混り土	有り

積算条件				
作業区分(S)	1箇所当りの施工土量(S)	埋戻幅(S)	土質(S)	締固めの有無(S)
人力施工	―	―	岩塊・玉石混り土	無し

（注）1. １箇所当りの施工土量は、締固め後の土量とする。なお、１箇所当りとは、目的物１箇所当りであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を１箇所とする。
2. 最小埋戻幅が4m以上の場合は、最大埋戻幅に関係なく、最小埋戻幅4m以上を適用する。

４．その他

（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）掘削については、（Ⅲ-直接-1-3）による。
（３）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。
（４）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（５）押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：砂防土工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、付帯道路工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工
種　　別：埋戻し工、作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
埋戻し（砂防）

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における構造物の築造及び撤去後の床掘り部における埋戻し（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）砂防工のうち、本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合
（２）構造物の築造及び撤去後の床掘部の埋戻し作業のうち、締固め・転圧を伴わない埋戻し作業の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）埋戻しにおいて締固め・転圧を行う場合
（２）埋戻しにおいて材料のはねつけを行う場合

２．費用内訳
・砂防工事における構造物の築造及び撤去後の床掘部の埋戻し、敷均し等、その施工に要する全ての費用を含む。

・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・***埋戻し、掘削、掘削(砂防)、床掘り(砂防)、積込(ルーズ)、積込(ルーズ)(砂防)、押土(ルーズ)、押土(ルーズ)(砂防)***は含まない。
・***土砂等運搬、土砂等運搬(砂防)、残土運搬、土材料***は含まない。

３．積算条件
埋戻し（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
土質(P)	押土の有無(S)
土砂	有り
	無し
岩塊・玉石	有り
	無し
破砕岩	有り
	無し

（注）土量は、敷均し後の土量とする。

４．その他

（１）砂防工のうち、仮設道整備、河道掘削等を主たる作業とする場合は、埋戻し（Ⅲ-直接-1-31）による。
（２）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。
（３）掘削(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-4）による。
（４）床掘り(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-30）による。
（５）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（６）積込(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-20）による。
（７）押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
（８）押土(ルーズ)(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-17）による。
（９）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
(10) 土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。
(11) 残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
(12) 土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
(13) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：開削土工
種　　別：埋戻し工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
埋戻し

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工における埋戻しに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）埋戻し・締固め材料が、土砂の場合
（２）埋戻し・締固め材料が、中埋砂で水締施工の場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事における構造物築造後の床掘部の埋戻し、敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水締施工に水代が必要な場合の水代は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
埋戻しユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
土質(P)
土砂
中埋砂

（注）土量は締固め後の土量とする。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-21）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、堤脚保護工、管理用通路工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、砂防えん堤付属物設置工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：作業土工、ケーブル配管工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

基面整正

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲

本資料は、床掘り作業における床付面の基面整正に適用する。

２．費用内訳

・床掘り作業における床付面の整正等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)***は含まない。
・***掘削、土砂等運搬、残土運搬***は含まない。

３．積算条件

基面整正ユニットの積算条件区分はない。

（注）基面整正は、機械による床掘りの場合である。

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）掘削については、（Ⅲ-直接-1-3）による。
（４）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（６）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、堤脚保護工、管理用通路工、護岸基礎工、擁壁工、排水構造物工、付帯道路工、山腹水路工、地下水排除工、地下水遮断工、抑止杭工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：作業土工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

掘削補助機械搬入搬出

積算単位：回(回数)
契約単位：式or回(回数)

１．適用範囲

本資料は、構造物の築造を目的としたクラムシェル床掘作業において必要となる場合における掘削補助機械搬入搬出に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）深さ20m以下のクラムシェル床掘りで、土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物があるため、掘削補助機械を使用する場合

（２）深さ20m超のクラムシェル床掘りで掘削補助機械を使用する場合

２．費用内訳

・構造物の築造目的に基面を掘下げる床掘作業において、掘削補助機械を用いる場合の補助機械搬入搬出等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

掘削補助機械搬入搬出ユニットの積算条件はない。

（注）「搬入＋搬出」を1回とする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：軽量盛土工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
軽量盛土工

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、軽量盛土工に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）発泡スチロール（EPS）を用いた軽量盛土工
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）発泡ウレタン、水砕スラグ等の発生材を用いた軽量盛土工
（２）土の軽量化（混合軽量土）による軽量盛土工

２．費用内訳
（１）壁面材有りの場合
・軽量盛土工における壁面材(基礎材、基礎コンクリート、壁面材)の設置、超軽量材(基礎砕石、敷砂、発泡スチロール、コンクリート床版)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）壁面材無しの場合
・軽量盛土工における超軽量材(基礎砕石、敷砂、発泡スチロール、コンクリート床版)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：**樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕**
工　　種：**軽量盛土工**
種　　別：**軽量盛土工**
ユニットコード：**参考資料「索引」参照**

ユニット区分：
発泡スチロール(軽量盛土)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、軽量盛土工における発泡スチロール（軽量盛土）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）発泡スチロール（EPS）を用いた軽量盛土

２．費用内訳
・発泡スチロール材を用いた盛土作業で、発泡スチロール設置、緊結金具設置、発泡スチロール加工の他、排水材(不織布)の設置、発泡スチロールブロック基面部の基礎材の敷設、発泡スチロールブロック人力運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・発泡スチロールブロック固定のためのL型ピンは含まない。
・基礎コンクリート部の基礎砕石は含まない。
・***コンクリート床版、基礎コンクリート***は含まない。
・***壁体***は含まない。
・***裏込砕石***は含まない。

３．積算条件
発泡スチロール（軽量盛土）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
発泡スチロールブロック規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
発泡スチロールブロック規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）コンクリート床版については、（Ⅲ-直接-1-38）による。
（２）基礎コンクリートについては、（Ⅲ-直接-1-39）による。
（３）壁体については、（Ⅲ-直接-1-40）による。
（４）裏込砕石については、（Ⅲ-直接-1-46）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：軽量盛土工
種　　別：軽量盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート床版

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、発泡スチロールを用いた軽量盛土工におけるコンクリート床版に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）軽量盛土工におけるコンクリート床版の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）コンクリート床版にグランドアンカー等を結合する場合

２．費用内訳
・発泡スチロール材を用いた軽量盛土のコンクリート床版設置、圧送管の組立・撤去、H形鋼支柱とコンクリート床版を結合するためのアンカーの設置、型枠設置・撤去、型枠はく離剤塗布及びケレン作業、溶接金網設置及びコンクリート養生の他、目地材、型枠材、型枠はく離剤、養生シート、養生マット、角材、パイプ、コンクリート、バイブレータ、散水等に使用する機械の損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・基礎コンクリート部の基礎砕石は含まない。
・***発泡スチロール(軽量盛土)、壁体***は含まない。
・***基礎コンクリート、裏込砕石***は含まない。

３．積算条件
コンクリート床版ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)	床版厚さ区分(P)	支柱結合アンカーの有無(P)
24-8-25(20)(普通)	一般養生	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
	各種	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
18-8-40(普通)	一般養生	10cm	有り

積算条件			
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)	床版厚さ区分(P)	支柱結合アンカーの有無(P)
18-8-40(普通)	一般養生	10cm	無し
		15cm	有り
			無し
	各種	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
24-8-25(20)(高炉)	一般養生	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
	各種	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
18-8-40(高炉)	一般養生	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
	各種	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
各種	一般養生	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し
	各種	10cm	有り
			無し
		15cm	有り
			無し

（注）1.コンクリート養生において、一般養生以外の特殊な養生を行う場合は、養生工の種類「各種」を選択する。
2.コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格：「各種」を選択する。
3.積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）
養生工の種類：各種（文字入力）

４．その他

（１）発泡スチロール(軽量盛土)については、（Ⅲ-直接-1-37）による。

（２）壁体については、（Ⅲ-直接-1-40）による。

（３）基礎コンクリートについては、（Ⅲ-直接-1-39）による。

（４）裏込砕石については、（Ⅲ-直接-1-46）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：軽量盛土工
種　　別：軽量盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
基礎コンクリート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、発泡スチロールを用いた軽量盛土工における基礎コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・発泡スチロール材を用いた超軽量盛土における基礎コンクリートの設置、基礎材、型枠、鉄筋、コンクリートの他、つき固め機械等の損料及び燃料の費用、シュート、ホッパ、バイブレータ、電気ドリル、電動ノコギリ損料及び電力に関する経費等の費用、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：軽量盛土工
種　　別：軽量盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
壁体

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、発泡スチロールを用いた軽量盛土における壁体に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）ベースプレート式H形鋼支柱を基礎コンクリートにアンカーボルトで固定するものとし、H形鋼規格がH300㎜×300m以下、長さ9m以下の支柱設置の場合
（２）壁面材1枚当りの規格が、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、質量170kg以下の壁面材設置の場合

２．費用内訳
・発泡スチロール材を用いた超軽量盛土施工時の支柱、壁面材の設置(金具による固定作業、天端目隠しプレートの取付け作業を含む)の他、支柱と壁面材との緩衝材、壁面材の継目材、天端目隠しプレート、天端目隠しプレート用ボルト・ナット材料費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***発泡スチロール(軽量盛土)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）発泡スチロール(軽量盛土)については、（Ⅲ-直接-1-37）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：河川土工、擁壁工
種　　別：盛土補強工、補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ジオテキスタイル

積算単位：m2(壁面面積)
契約単位：m2(壁面面積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、河川土工におけるジオテキスタイルに適用する。

２．費用内訳
・ジオテキスタイル(ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布)を用いた補強土壁・盛土補強の壁面材、補強材、排水材、基礎材の設置、補強土壁工盛土(敷均し、締固め)、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、消耗材、壁面上端処理等、その施工に要する全ての費用を含む。

・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・***路体(築堤)盛土、路床盛土***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。
（５）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：河川土工、砂防土工、擁壁工
種　　別：盛土補強工、補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

壁面材組立・設置（ジオテキスタイル補強土壁）

積算単位:m2(壁面面積)
契約単位:m2(壁面面積)

１．適用範囲

本資料は、壁面材組立・設置（ジオテキスタイル補強土壁）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工及び盛土補強工における壁面材の組立・設置の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法における壁面材の組立・設置の場合

２．費用内訳

・ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁・盛土補強の壁面材(鋼製ユニット、土のう(植生土のう含む)、植生マット)組立・設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・壁面上端処理は含まない。
・***土材料、土砂等運搬***は含まない。
・***路体(築堤)盛土、路床盛土***は含まない。
・***暗渠排水管敷設(地下排水)***は含まない。
・***ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁)、ジオテキスタイル敷設・まきだし･敷均し･締固め***は含まない。

３．積算条件

壁面材組立・設置（ジオテキスタイル補強土壁）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件	
壁面材種類(P)	鋼製ユニット 100m2 当り使用量(S)
鋼製ユニット	各種
各種	－

（注）1. 土のう（植生土のう)、植生マット、鋼製ユニット＋土のう（植生土のう）の場合は、壁面材種類「各種」を選択する。

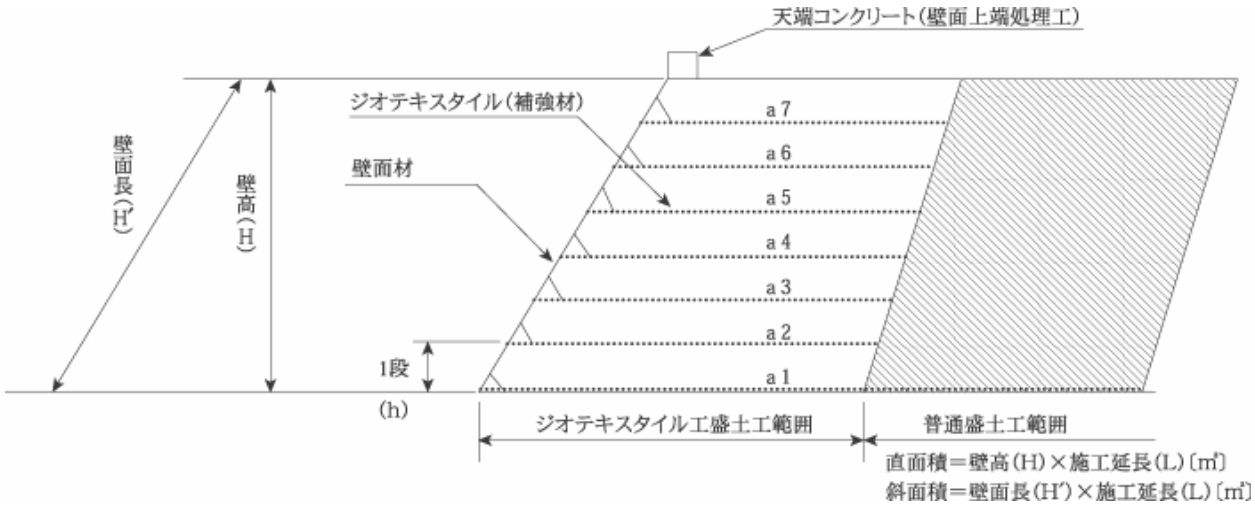
2. 積算条件：鋼製ユニット 100m2 当り使用量「各種」の選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。

鋼製ユニット 100m2 当り使用量（個）：各種（実数入力）

積算条件：壁面材種類「各種」の選択の場合、以下の項目を入力する。

壁面材種類：各種（文字入力）

3. 施工量は、鋼製ユニット及び土のう（植生土のう含む）の場合は、直面積（壁高×施工延長）とし、植生マットの場合は斜面積（壁面長×施工延長）とする。



４．その他

（１）土材料については、(Ⅲ-直接-1-22）による。

（２）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-7）による。

（３）路体（築堤）盛土については、(Ⅲ-直接-1-12）による。

（４）路床盛土については、(Ⅲ-直接-1-14）による。

（５）暗渠排水管敷設(地下排水）については、(Ⅲ-直接-5-157）による。

（６）ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁）については、(Ⅲ-直接-1-43）による。

（７）ジオテキスタイル敷設・まきだし･敷均し･締固めについては、(Ⅲ-直接-1-44）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：河川土工、砂防土工、擁壁工
種　　別：盛土補強工、補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁）

積算単位：m2(必要面積)
契約単位：m2(必要面積)

１．適用範囲

本資料は、ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工及び盛土補強工で使用されるジオテキスタイル材料費

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法における材料費

２．費用内訳

・ジオテキスタイル(ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布)を用いた補強土壁・盛土補強のジオテキスタイル材料の購入に要する全ての費用(現着単価)を含む。

・壁面上端処理は含まない。
・***土材料、土砂等運搬***は含まない。
・***壁面材組立・設置(ジオテキスタイル補強土壁)、ジオテキスタイル敷設・まきだし・敷均し･締固め***は含まない。
・***暗渠排水管敷設(地下排水)***は含まない。

３．積算条件

ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
規格(P)
各種

（注）1.施工量は、巻込み部、重合せ等を含んだジオテキスタイル必要面積とする。
2.積算条件：各種の場合
規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。

（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（３）壁面材組立・設置(ジオテキスタイル補強土壁)については、（Ⅲ-直接-1-42）による。

（４）ジオテキスタイル敷設・まきだし・敷均し・締固めについては、（Ⅲ-直接-1-44）による。

（５）暗渠排水管敷設(地下排水)については、（Ⅲ-直接-5-157）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：河川土工、砂防土工、擁壁工
種　　別：盛土補強工、補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

ジオテキスタイル敷設･まきだし･敷均し･締固め

積算単位:m2(敷設面積)
契約単位:m2(敷設面積)

１．適用範囲

本資料は、ジオテキスタイル敷設・まきだし･敷均し･締固めに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工及び盛土補強工で、ジオテキスタイル工１段当りの施工高さが 1.5m までの場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法

２．費用内訳

・ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁・盛土補強のジオテキスタイル設置(巻込み作業含む)、補強土壁工盛土のまきだし、敷均し、締固めの他、振動ローラ、ランマ、タンパの運転経費、ジオテキスタイル設置に使用する杭、木槌、バール、壁面材を固定するボルト・ナット等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料、土砂等運搬***は含まない。
・***路体(築堤)盛土、路床盛土***は含まない。
・***暗渠排水管敷設(地下排水)***は含まない。
・***壁面材組立・設置（ジオテキスタイル補強土壁)、ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁）*** は含まない。

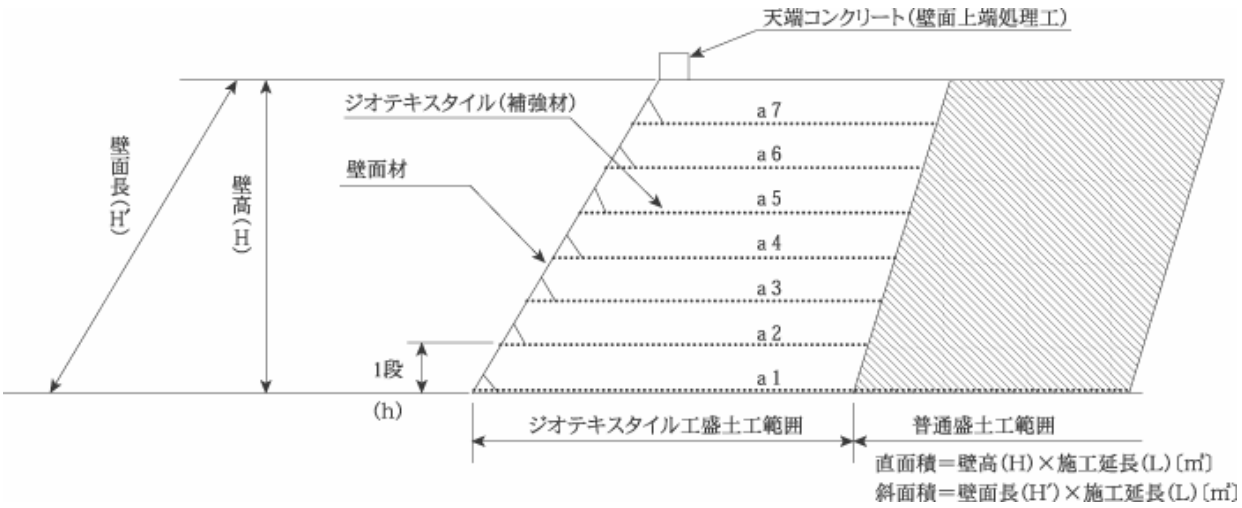
３．積算条件

ジオテキスタイル敷設・まきだし･敷均し･締固めユニットの積算条件区分はない。

（注）施工量は、ジオテキスタイル敷設面積とし、算出は次式のとおりとする。
ただし、敷設面積には巻込み部の面積は含まないものとする。

ジオテキスタイル敷設面積＝ａ1＋ａ2＋ａ3・・・・(m2)

ａ1、ａ2、ａ3・・・：ジオテキスタイル工１段当りの敷設面積（m2）



４．その他

（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。

（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（３）路体（築堤）盛土については、（Ⅲ-直接-1-12）による。

（４）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-14）による。

（５）暗渠排水管敷設（地下排水）については、（Ⅲ-直接-5-157）による。

（６）壁面材組立・設置（ジオテキスタイル補強土壁）については、（Ⅲ-直接-1-42）による。

（７）ジオテキスタイル材料（ジオテキスタイル補強土壁）については、（Ⅲ-直接-1-43）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、砂防えん堤、流路、斜面対策
工　　種：河川土工、砂防土工
種　　別：堤防天端工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
天端敷砂利

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、堤防天端工における天端敷砂利に適用する。

２．費用内訳
・堤防天端部分への敷砂利敷設等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：軽量盛土工
種　　別：軽量盛土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
裏込砕石

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、軽量盛土工における裏込砕石に適用する。

２．費用内訳
・発泡スチロール材を用いた軽量盛土における裏込砕石の設置、現場内小運搬の他、つき固め機械等の損料及び燃料、コンクリートバケットの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・現場発生材を使用する場合の***採取小割***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：護岸工、擁壁工、裏法被覆工、地下水遮断工
種　　別：海岸コンクリートブロック工、コンクリート被覆工、場所打擁壁工(構造物単位)、場所打擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
裏込砕石

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物における裏込砕石に適用する。

２．費用内訳
・土木構造物(擁壁等)設置における裏込砕石の投入、敷均し・締固め、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・現場発生材を使用する場合の***採取小割***は含まない。

３．積算条件
裏込砕石ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
砕石の種類(P)
C-40
RC-40
RC-80
各種

（注）積算条件：各種の場合
砕石の種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：覆土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
覆土

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における覆土に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）覆土工における覆土

２．費用内訳
・覆土の敷均し・締固め、築立(土羽)整形等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・遮水・止水シートは含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕
工　　種：腹付工
種　　別：覆土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
覆土（採取土）

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、腹付工における覆土(採取土)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）採取土による覆土

２．費用内訳
・護岸法覆部における採取土による覆土（敷均し・締固め）、覆土材採取（土取場での掘削・積込み）、採取土運搬、遮水シート設置、築立（土羽）整形の他、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***覆土(購入土)***は含まない。
・***積込(ルーズ)、土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）覆土(購入土)については、（Ⅲ-直接-1-50）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕
工　　種：腹付工
種　　別：覆土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
覆土(購入土)

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、腹付工における覆土(購入土)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）購入土による覆土

２．費用内訳
・護岸法覆部における購入土による覆土（敷均し・締固め）、遮水・止水シート設置、築立（土羽）整形、購入土（搬入費を含む）等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***覆土(採取土)***は含まない。
・***積込(ルーズ)、土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）覆土(採取土)については、（Ⅲ-直接-1-49）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０２地盤改良編

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路改良
工　　種：河川土工、地盤改良工、砂防土工
種　　別：盛土補強工、表層安定処理工、パイルネット工、サンドマット工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

安定シート・ネット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、盛土の安定処理のためにおこなう安定シート・ネットに適用する。

２．費用内訳
・盛土の安定処理のために行う安定シート・ネットの設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
安全シート・ネットユニット積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
シート種類(P)
シート
ネット

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：表層安定処理工、サンドマットエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
サンドマット

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるサンドマットに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）サンドマットの設置

２．費用内訳
・サンドマットの敷均し等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***安定シート・ネット***は含まない。
・土場渡しの場合の***土材料、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
サンドマットユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
砂材料費（現場着）の有無(S)
有り
無し

(注)積算単位と契約単位の土量は締固め(敷均し)後土量とする。

４．その他
（１）安定シート・ネットについては、（Ⅲ-直接-2-1）による。
（２）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：パイルネット工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

サンドマット(パイルネット)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるサンドマット（パイルネット）に適用する。

２．費用内訳
・パイルネットにおけるサンドマットの敷均し等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***安定シート・ネット***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）安定シート・ネットについては、（Ⅲ-直接-2-1）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：表層安定処理工、パイルネットエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
サンドマット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるサンドマットに適用する。

２．費用内訳
・サンドマットの敷均し、安定シート・ネット等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：パイルネットエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
既製杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における既製杭に適用する。

２．費用内訳
・パイルネットにおける杭の打込みの他、消耗材、連結材、杭頭処理、カットオフ、運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、舗装
工　　種：地盤改良工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路床安定処理工

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における路床安定処理工に適用する。

２．費用内訳
・地盤表層部、もしくは路床の安定処理にかかる現位置での路床混合作業で改良材散布混合、敷均し・締固めの他、養生中の飛散防止(シート掛け)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：表層安定処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
安定処理

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における安定処理に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）地盤表層部もしくは路床において、1層の混合厚さが1m(100cm)以下の現位置での混合の場合
（２）構造物基礎において、1層の混合厚さが2m以下の現位置での混合の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）路床において、1層の混合深さが100cmを超える場合、もしくは2層以上混合する場合

２．費用内訳
・地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し、締固め、養生中の飛散防止(シート掛け)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費***は含まない。

３．積算条件
安定処理ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件					
使用機種(S)	施工箇所(S)	混合深さ(S)	固化材100m2当り使用量(P)	固化材規格(P)	混合回数(S)
スタビライザ	―	60cm以下	各種	各種	1回
					2回
		60cmを超え100cm以下	各種	各種	1回
					2回
バックホウ	路床	1m以下	各種	各種	―
	構造物基礎	1m以下	各種	各種	―
		1mを超え2m以下	各種	各種	―

（注）1.バックホウ混合は、現場条件によりスタビライザにより施工できない現位置での混合作業に適用する。
2.現場内小運搬は、スタビライザ施工の場合は100m程度の仮置場～現場までの小運搬及び現場内小運搬、バックホウの場合は50m程度の現場内小運搬である。
3.積算条件：各種の場合
固化材100m2当り使用量：各種（実数入力（t／100m2））
固化材規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：地盤改良工
種　　別：表層安定処理工、置換工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
置換

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における置換に適用する。

２．費用内訳
・不良土を良質土に置き換えるための不良土の掘削・積込み、置換土の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。ただし置換下幅の区分毎（2.5m未満、2.5m以上4.0m未満、4.0m以上）に積算する。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）採取土等の積込（ルーズ）については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（５）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：表層安定処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
置換

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における置換に適用する。

２．費用内訳
・不良土を良質土に置き換えるための不良土の掘削・積込・運搬、置換土の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：バーチカルドレーンエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
サンドドレーン

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるサンドドレーンに適用する。

２．費用内訳
・地盤中の砂柱の形成(地盤の圧密促進・強度増加を図るために行う)、敷鉄板の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***サンドマット***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）サンドマットについては、（Ⅲ-直接-2-2）による。
（２）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（３）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（４）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：バーチカルドレーンエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
袋詰式サンドドレーン

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における袋詰式サンドドレーンに適用する。

２．費用内訳
・地盤中の袋詰め砂柱の形成(地盤の圧密促進・強度増加を図るために行う)の他、特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***サンドマット***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）サンドマットについては、（Ⅲ-直接-2-2）による。
（２）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（３）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（４）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：バーチカルドレーンエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ペーパードレーン

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるペーパードレーンに適用する。

２．費用内訳
・地盤中の紙製(帯状透水性材料)排水柱の形成(地盤の圧密促進・強度増加を図るために行う)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：締固め改良工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

サンドコンパクションパイル

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるサンドコンパクションパイルに適用する。

２．費用内訳
・サンドコンパクションパイル(地盤の強度増加を図るため、地盤中に適当な間隔で鉛直方向に衝撃あるいは振動により設置する砂柱等)の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***サンドマット***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）サンドマットについては、（Ⅲ-直接-2-2）による。
（２）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（３）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（４）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、堤防・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
粉体噴射撹拌

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射撹拌に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）杭径1000㎜、打設長3mを超え33m以下で軸間距離800㎜から1500㎜の二軸施工の場合
（２）杭径1000㎜、打設長3mを超え20m以下の単軸施工の場合

２．費用内訳
・粉体改良材の噴射撹拌による改良柱の形成、施工機械用及び改良材供給設備用足場材(敷鉄板)の設置・撤去、改良後の整地の他、足場材賃料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、特許使用料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・改良材供給設備現場内移設、軸間変更の費用は含まない。
・撹拌翼の貫入、引抜きの障害となる転石等の除去に要する費用は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。
・***安定処理、置換、安定シート・ネット、掘削、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
粉体噴射撹拌ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
改良材料(P)	現場制約の有無(S)	打設長(P)	杭長(P)	改良材使用量(S)
各種	有り	3m超え6m未満	2m未満	各種
			2m以上3m未満	各種
			3m以上4m未満	各種
			4m以上5m未満	各種
			5m以上6m未満	各種
		6m以上10m未満	4m以上5m未満	各種
			5m以上6m未満	各種
			6m以上7m未満	各種
			7m以上8m未満	各種
			8m以上9m未満	各種
			9m以上10m未満	各種
		10m以上14m未満	8m以上9m未満	各種

積算条件				
改良材料(P)	現場制約の有無(S)	打設長(P)	杭長(P)	改良材使用量(S)
各種	有り	10m以上14m未満	9m以上10m未満	各種
			10m以上12m未満	各種
			12m以上14m未満	各種
		14m以上17m未満	12m以上14m未満	各種
			14m以上15m未満	各種
			15m以上17m未満	各種
		17m以上20m以下	15m以上17m未満	各種
			17m以上20m以下	各種
	無し	3m超え6m未満	2m未満	各種
			2m以上3m未満	各種
			3m以上4m未満	各種
			4m以上5m未満	各種
			5m以上6m未満	各種
		6m以上10m未満	4m以上5m未満	各種
			5m以上6m未満	各種
			6m以上7m未満	各種
			7m以上8m未満	各種
			8m以上9m未満	各種
			9m以上10m未満	各種
		10m以上15m未満	8m以上9m未満	各種
			9m以上10m未満	各種
			10m以上12m未満	各種
			12m以上14m未満	各種
			14m以上15m未満	各種
		15m以上20m未満	12m以上14m未満	各種
			14m以上15m未満	各種
			15m以上17m未満	各種
			17m以上20m以下	各種
		20m以上27m未満	17m以上20m以下	各種
			20m超え23m未満	各種
			23m以上27m未満	各種
		27m以上33m以下	23m以上27m未満	各種
			27m以上32m未満	各種
			32m以上33m以下	各種

（注）1.積算条件：各種の場合
改良材料：各種（文字入力）
改良材使用量：各種（実数入力（t／m））
2. 粉体噴射撹拌は、特許工法であるので、特許料を計上する。
3. 撹拌翼が貫入できない場合や引抜きに障害となる転石等の除去は、掘削ユニットを別途計上する。

4．現場制約の有無について

有り：下記条件のいずれかに該当する場合に選択

・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合

・杭の配列により二軸施工が困難な場合

・地盤条件により二軸施工が困難な場合

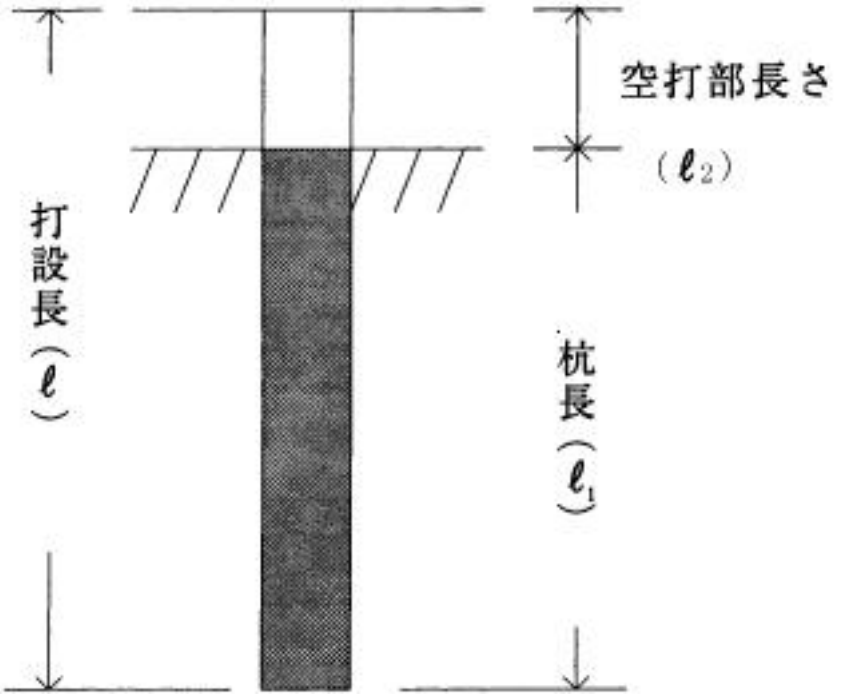
5．打設長（m）は次式による。

打設長（m）＝空打部長さ＋杭長

6．改良材使用量（t／本）は次式による。

改良材使用量（t／本）＝改良材使用量（t／m）×杭長×（1＋ロス率）

※ロス率＝＋0.15



４．その他

（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（４）安定処理については、（Ⅲ-直接-2-7）による。

（５）置換については、（Ⅲ-直接-2-8）による。

（６）安定シート・ネットについては、（Ⅲ-直接-2-1）による。

（７）掘削については、（Ⅲ-直接-1-1）による。

（８）掘削については、（Ⅲ-直接-1-2）による。

（９）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（10）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
スラリー撹拌

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工におけるスラリー撹拌に適用する。

２．費用内訳
・セメントミルク、モルタル等の機械撹拌による改良体の形成、敷鉄板の設置・撤去、改良材供給設備の現場内移設の他、足場設置・撤去、改良後の整地、特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***泥水運搬、泥水処理(現場内)、残土等処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。なお、特許使用料を必要とする工法が指定された場合は特許使用料を計上する。

４．その他
（１）泥水運搬については、（Ⅲ-直接-2-22）による。
（２）泥水処理(現場内)については、（Ⅲ-直接-2-21）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
スラリー撹拌

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
　本資料は、地盤改良工における粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象としたスラリー撹拌に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）杭径800～1200㎜、打設長3mを超え10m以下の単軸施工の場合
（２）杭径2000㎜、打設長3mを超え10m以下の単軸施工の場合
（３）杭径1000～1600㎜、打設長10mを超え30m以下の単軸施工の場合
（４）杭径1000㎜、打設長3mを超え40m以下の二軸施工の場合

２．費用内訳
・セメントミルク、モルタル等の機械撹拌による改良体の形成、施工機械及び改良材供給設備用足場材(敷鉄板)の設置・撤去・移設、改良材供給設備の現場内移設、改良後の整地の他、足場材賃料、深層混合処理機(施工管理計、システム管理計含む)、スラリープラント(スクリューコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリープラント制御盤含む)、特許使用料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。なお、特許使用料を必要とする工法が指定された場合は特許使用料を計上する。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
高圧噴射撹拌

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における高圧噴射撹拌に適用する。

２．費用内訳
・注入材の高圧噴射撹拌による改良柱の形成、注入設備の据付・解体、排泥処理ピットの掘削、改良後の整地、足場設置・撤去、特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***泥水運搬、泥水処理(現場内)、残土等処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。なお、特許使用料を必要とする工法が指定された場合は特許使用料を計上する。

４．その他
（１）泥水運搬については、（Ⅲ-直接-2-22）による。
（２）泥水処理(現場内)については、（Ⅲ-直接-2-21）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（５）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（６）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
高圧噴射撹拌

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における高圧噴射撹拌に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）単管工法(杭径700～1,100㎜)、二重管工法(杭径1,000㎜～2,000㎜)、三重管工法(杭径1,800㎜～2,000㎜)により粘性土及び砂質土等の地盤を対象とする場合
（２）杭(杭心)間隔が3m以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）機械撹拌併用方式の場合

２．費用内訳
・注入材の高圧噴射撹拌による改良柱の形成、注入設備の据付・解体・移設、排泥処理ピットの掘削、改良後の整地、排水汚泥土処理設備、汚泥土処理、足場設置・撤去、特許使用料の他、固化材サイロ、集中プラント、水中ポンプ、水槽、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。なお、特許使用料を必要とする工法が指定された場合は特許使用料を計上する。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：地盤改良工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
薬液注入

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における薬液注入に適用する。

２．費用内訳
・薬液注入、注入設備の据付・解体、足場設置・撤去の他、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水(液)ポンプ、貯水(液)槽、特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***泥水運搬、泥水処理(現場内)、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。なお、特許使用料を必要とする工法が指定された場合は特許使用料を計上する。

４．その他
（１）泥水運搬については、（Ⅲ-直接-2-22）による。
（２）泥水処理(現場内)については、（Ⅲ-直接-2-21）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、斜面対策
工　　種：地盤改良工、地下水遮断工
種　　別：固結工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
薬液注入

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工、地下水遮断工における薬液注入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）二重管ストレーナ工法(単相方式及び複相方式)及び二重管ダブルパッカー工法により鉛直方向施工の場合

２．費用内訳
・薬液注入、注入設備の据付・解体、足場設置・撤去の他、グラウト流量･圧力測定装置、グラウトポンプ、グラウトミキサ、パッカー加圧ポンプ、送水(液)ポンプ、貯水(液)槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。なお、特許使用料を必要とする工法が指定された場合は特許使用料を計上する。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、斜面対策、道路改良
工　　種：地盤改良工、樋門・樋管本体工、抑止杭工、擁壁工、カルバート工
種　　別：固結工、場所打杭工、合成杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
泥水処理(現場内)

積算単位：m3(処理体積)
契約単位：m3(処理体積)

１．適用範囲
本資料は、構造物築造及び地盤改良等に伴い発生した汚泥、泥水の処理に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）構造物築造のために行う作業土工及び掘削工等で生じた汚泥、泥水の現場内での処理
（２）地盤改良等で生じた汚泥、泥水の現場内での処理

２．費用内訳
・構造物築造及び地盤改良等に伴い発生する汚泥及び泥水の現場内における分離処理、汚泥については固結処理、泥水については浄化処理に要する全ての費用を含む。

・*掘削土運搬、掘削土処分、泥水運搬、残土等処分*は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（２）掘削土処分については、（Ⅲ-直接-4-15）による。
（３）泥水運搬については、（Ⅲ-直接-2-22）による。
（４）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、斜面対策、道路改良
工　　種：地盤改良工、樋門・樋管本体工、抑止杭工、擁壁工、カルバート工
種　　別：固結工、場所打杭工、合成杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
泥水運搬

積算単位：m3(処理体積)
契約単位：m3(処理体積)

１．適用範囲
本資料は、構造物築造及び地盤改良等に伴い発生した泥水運搬に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）構造物築造のために行う作業土工及び掘削工等で生じた汚泥、泥水の場外処分場(受入れ地)までの運搬
（２）地盤改良等で生じた汚泥、泥水の場外処分場(受入れ地)までの運搬

２．費用内訳
・構造物築造及び地盤改良等に伴い発生する汚泥及び泥水の運搬に要する全ての費用を含む。

・***掘削土運搬、掘削土処分、泥水処理(現場内)、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（２）掘削土処分については、（Ⅲ-直接-4-15）による。
（３）泥水処理(現場内)については、（Ⅲ-直接-2-21）による。
（４）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「1.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０３コンクリート編

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工、緑化ブロック工、環境護岸ブロック工、石積(張)工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
天端コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における天端コンクリートに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・現場打ちによる天端コンクリート設置におけるコンクリート、基礎材、目地材、型枠(製作・設置・撤去)、養生、雑機械器具(電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリート打設機器)の損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。

３．積算条件
天端コンクリートの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸
工　　種：堤脚保護工、護岸工、裏法被覆工
種　　別：石積工、石積(張)工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
天端コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、堤脚保護工における天端コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・現場打ちによる天端コンクリート設置における基礎材、コンクリート、目地材、養生、型枠(製作・設置・撤去、はく離剤塗布及びケレン作業を含む)の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、雑機械器具(電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリート打設機器)の損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロックエ、石積(張)工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
天端コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積（張）工における天端コンクリートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）打設地上高さが25m以下の天端コンクリートの打設

２．費用内訳
・現場打ちによる天端コンクリート設置におけるコンクリート、型枠(製作・設置・撤去)、雑機械器具(電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリート打設機器)の損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。
・***目地板、基礎砕石(基礎材)***は含まない。

３．積算条件
天端コンクリートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
生コンクリート規格(P)	打設区分(S)	養生工の種類(S)
18-8-25(普通)	人力打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
	クレーン車打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
18-8-40(普通)	人力打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
	クレーン車打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
18-8-25(高炉)	人力打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
	クレーン車打設	一般養生
		特殊養生(練炭)

積算条件		
生コンクリート規格(P)	打設区分(S)	養生工の種類(S)
18-8-25(高炉)	クレーン車打設	養生工なし
18-8-40(高炉)	人力打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
	クレーン車打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
各種	人力打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし
	クレーン車打設	一般養生
		特殊養生(練炭)
		養生工なし

（注）1.雪寒仮囲いによる養生が必要な場合は、「養生工なし」により積算し、別途雪寒仮囲いを計上する。
2.積算条件：各種の場合
生コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（２）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：流路護岸工
種　　別：ブロック積擁壁工、石積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
天端コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、流路護岸工における天端コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・流路工事における天端コンクリートのコンクリート打設、基礎材、目地材、横取り、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場板、単管、自在クランプ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、組立支持材、電気溶接機、コンクリートカッタ、角パイプ、フォームタイ、座金、プラスチックコン、セパレータ、丸鋼、計量車、コンクリートバケット、バイブレータ、水中ポンプ、高圧洗浄機、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリート打設機器損料、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・保温養生等の特別な養生に必要な費用は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：場所打擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
小型擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工における小型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）平均擁壁高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）練炭養生以外の特殊養生（ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・小型擁壁(平均擁壁高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリート、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
小型擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
土質(P)	特殊養生の有無(S)
土砂	無し
	有り（練炭養生）
岩塊・玉石混り土	無し
	有り（練炭養生）
軟岩	無し
	有り（練炭養生）
硬岩	無し
	有り（練炭養生）

（注）土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、地下水遮断工
種　　別：場所打擁壁工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
小型擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工における小型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）平均擁壁高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁
（２）コンクリート打設地上高さが2m以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）コンクリート打設地上高さが2mを超える場合

２．費用内訳
・小型擁壁(平均擁壁高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材（点在）、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ペーラインコンクリートの材料費は含まない。
・化粧型枠は含まない。
・***裏込砕石、止水板***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
小型擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)
18-8-40(高炉)	無し	無し
		有り
	有り	無し
		有り
18-8-40(普通)	無し	無し
		有り
	有り	無し
		有り
21-8-40(普通)	無し	無し
		有り

積算条件		
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)
21-8-40(普通)	有り	無し
		有り
24-8-25(20)(高炉)	無し	無し
		有り
	有り	無し
		有り
18-8-25(高炉)	無し	無し
		有り
	有り	無し
		有り
各種	無し	無し
		有り
	有り	無し
		有り

（注）積算条件：各種の場合
　　コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）裏込砕石については、（Ⅲ-直接-1-46）による。
（２）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。
（３）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（４）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（５）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：場所打擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
重力式擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工における重力式擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）平均擁壁高さが1.0m超の重力式擁壁
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）練炭養生以外の特殊養生（ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・重力式擁壁のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、ひび割れ防止鉄筋の他、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生、ペーラインコンクリート、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
重力式擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
土質(P)	平均擁壁高さ(P)	特殊養生の有無(S)
土砂	1m超2m未満	無し
		有り（練炭養生）
	2m以上5m以下	無し
		有り（練炭養生）
	各種	無し
		有り（練炭養生）
岩塊・玉石混り土	1m超2m未満	無し
		有り（練炭養生）
	2m以上5m以下	無し
		有り（練炭養生）
	各種	無し
		有り（練炭養生）

積算条件		
土質(P)	平均擁壁高さ(P)	特殊養生の有無(S)
軟岩	1m超2m未満	無し
		有り（練炭養生）
	2m以上5m以下	無し
		有り（練炭養生）
	各種	無し
		有り（練炭養生）
硬岩	1m超2m未満	無し
		有り（練炭養生）
	2m以上5m以下	無し
		有り（練炭養生）
	各種	無し
		有り（練炭養生）

（注）1.コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、平均擁壁高さ：「各種」を選択する。
2.積算条件：平均擁壁高さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均擁壁高さ：各種（実数入力（m））
3.土質は作業土工での土質区分をいう。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、地下水遮断工
種　　別：場所打擁壁工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

重力式擁壁

積算単位:m3(体積)
契約単位:m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、擁壁工における重力式擁壁に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）平均擁壁高さが 1.0m を超え 5m 以下の重力式擁壁

２．費用内訳

・重力式擁壁（擁壁平均高さ 1m を超え 5m 以下）のコンクリート、型枠（はく離塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材（点在）養生、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠は含まない。
・ペーラインコンクリートの材料費は含まない。
・*床掘り（土砂)、床掘り（岩石)、埋戻し、土砂等運搬* は含まない。

３．積算条件

重力式擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件				
平均擁壁高さ(P)	コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
1m 超 2m 未満	表３．２参照	無し	無し	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種
			有り	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種

積算条件				
平均擁壁高さ(P)	コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
1m 超 2m 未満	表３．２参照	有り	無し	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種
			有り	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種
2m 超 5m 以下		無し	無し	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種
			有り	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種
		有り	無し	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種
			有り	一般養生
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
				各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
コンクリート規格(P)	21-8-40(普通)
	21-8-25(20)(高炉)
	18-8-40(高炉)
	18-8-25(高炉)
	各種

(注) 1. 基礎砕石:「有り」の場合、砕石の敷均し厚は 20cm 以下とする。これにより難い場合は、「無し」を選択し、基礎砕石を別途計上する。
2. 雪寒仮囲い等による養生が必要な場合は、養生区分:「各種」により積算し、別途雪寒仮囲いを計上する。
3. コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格:「各種」を選択する。
4. 積算条件:養生工の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
養生工の種類:各種(文字入力)

積算条件：コンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：場所打擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
もたれ式擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工におけるもたれ式擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）擁壁平均高さ3mから8mまでのもたれ式擁壁

２．費用内訳
・もたれ式擁壁(平均擁壁高さ3m以上8m以下)のコンクリート、型枠、ひび割れ防止鉄筋、打ち継ぎ目鉄筋、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、裏込砕石、止水板、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリート、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、地下水遮断工
種　　別：場所打擁壁工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
もたれ式擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工におけるもたれ式擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）擁壁平均高さ3mから8mまでのもたれ式擁壁

２．費用内訳
・もたれ式擁壁(平均擁壁高さ3m以上8m以下)のコンクリート、型枠、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠、ペーラインコンクリートの材料費は含まない。
・***鉄筋、裏込砕石、止水板***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
もたれ式擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
18-8-40(高炉)	無し	無し	一般養生
			各種
		有り	一般養生
			各種
	有り	無し	一般養生
			各種
		有り	一般養生
			各種
各種	無し	無し	一般養生
			各種
		有り	一般養生
			各種
	有り	無し	一般養生

積算条件			
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
各種	有り	無し	各種
		有り	一般養生
			各種

（注）1. コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格：「各種」を選択する。
2. 保温養生等の特別な養生、冬期の施工、特別な足場及び養生が必要な場合は、養生工の種類「各種」を選択する。
3. 積算条件：養生工の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
養生工の種類：各種（文字入力）
積算条件：コンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（２）裏込砕石については、（Ⅲ-直接-1-46）による。
（３）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。
（４）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（５）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（６）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：場所打擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
逆Ｔ型擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工における逆Ｔ型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）擁壁平均高さ3mから10mまでの逆Ｔ型擁壁

２．費用内訳
・逆Ｔ型擁壁(平均擁壁高さ3m以上10m以下)のコンクリート、鉄筋、型枠、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材（点在）、止水板、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリート、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・裏込砕石は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、地下水遮断工
種　　別：場所打擁壁工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
逆Ｔ型擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工における逆Ｔ型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）擁壁平均高さ3mから10mまでの逆Ｔ型擁壁

２．費用内訳
・逆Ｔ型擁壁(平均擁壁高さ3m以上10m以下)のコンクリート、型枠、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠、ペーラインコンクリートの材料費は含まない。
・***鉄筋、裏込砕石、止水板***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
逆Ｔ型擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
24-8-25(20)(高炉)	無し	無し	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
	有り	無し	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生

積算条件			
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
24-8-25(20)(高炉)	有り	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
24-8-40(高炉)	無し	無し	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
	有り	無し	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
各種	無し	無し	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
	有り	無し	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)
			各種

（注）1.雪寒仮囲いによる養生が必要な場合は、養生区分「各種」を選択する。
2.コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格：「各種」を選択する。
3.積算条件：養生工の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
養生工の種類：各種（文字入力）
積算条件：コンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（２）裏込砕石については、（Ⅲ-直接-1-46）による。

（３）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。

（４）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。

（５）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（６）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。

（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：場所打擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
Ｌ型擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工におけるＬ型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）擁壁平均高さ3mから7mまでのＬ型擁壁

２．費用内訳
・Ｌ型擁壁(平均擁壁高さ3m以上7m以下)のコンクリート、鉄筋、型枠、基礎材、均しコンクリート、足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、止水板、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリート、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・裏込砕石は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、地下水遮断工
種　　別：場所打擁壁工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
Ｌ型擁壁

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工におけるＬ型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）擁壁平均高さ3mから7mまでのＬ型擁壁

２．費用内訳
・Ｌ型擁壁(平均擁壁高さ3m以上7m以下)のコンクリート、型枠、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生、現場内小運搬、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(バイブレータ、ポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠、ペーラインコンクリートの材料費は含まない。
・***鉄筋、裏込砕石、止水板***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
Ｌ型擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
コンクリート規格(P)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	養生工の種類(S)
24-8-25(20)(高炉)	無し	無し	一般養生
			特別養生(練炭、ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生
			特別養生(練炭、ジェットヒータ)
			各種
	有り	無し	一般養生
			特別養生(練炭、ジェットヒータ)
			各種
		有り	一般養生

<table>
<tr><th colspan="4">積算条件</th></tr>
<tr><th>コンクリート規格(P)</th><th>基礎砕石の有無(P)</th><th>均しコンクリートの有無(P)</th><th>養生工の種類(S)</th></tr>
<tr><td>24-8-25(20)(高炉)</td><td>有り</td><td>有り</td><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="12">24-8-40(高炉)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有り</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有り</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="12">各種</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有り</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有り</td><td>各種</td></tr>
<tr><td>一般養生</td></tr>
<tr><td>特別養生(練炭、ジェットヒータ)</td></tr>
<tr><td>各種</td></tr>
</table>

（注）1.雪寒仮囲いによる養生が必要な場合は、養生工の種類「各種」を選択する。
2.コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格：「各種」を選択する。
3.積算条件：養生工の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
養生工の種類：各種（文字入力）
積算条件：コンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（２）裏込砕石については、（Ⅲ-直接-1-47）による。

（３）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。

（４）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。

（５）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（６）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。

（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：カルバート工
種　　別：―
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

場所打函渠工

積算単位:m3(体積)
契約単位:m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、カルバート工における場所打函渠工に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）函体断面積 45m2 以下の場所打函渠の場合
（２）1 層又は 1 層 2 連の場合
（３）土被りが 9m 以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）圧送管の組立・撤去が必要な場合
（２）プレキャストカルバートを設置する場合
（３）ボックスカルバート以外の函渠

２．費用内訳
・場所打函渠(ボックスカルバートの 1 層 2 連まで、土被りが 9m 以下)の基礎材、均しコンクリート、コンクリート、養生、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む)、手摺先行型枠組足場、支保、目地材、止水板、鉄筋(ガス圧接がある場合を含む)、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・化粧型枠、可とう継手、雪寒仮囲いの費用は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

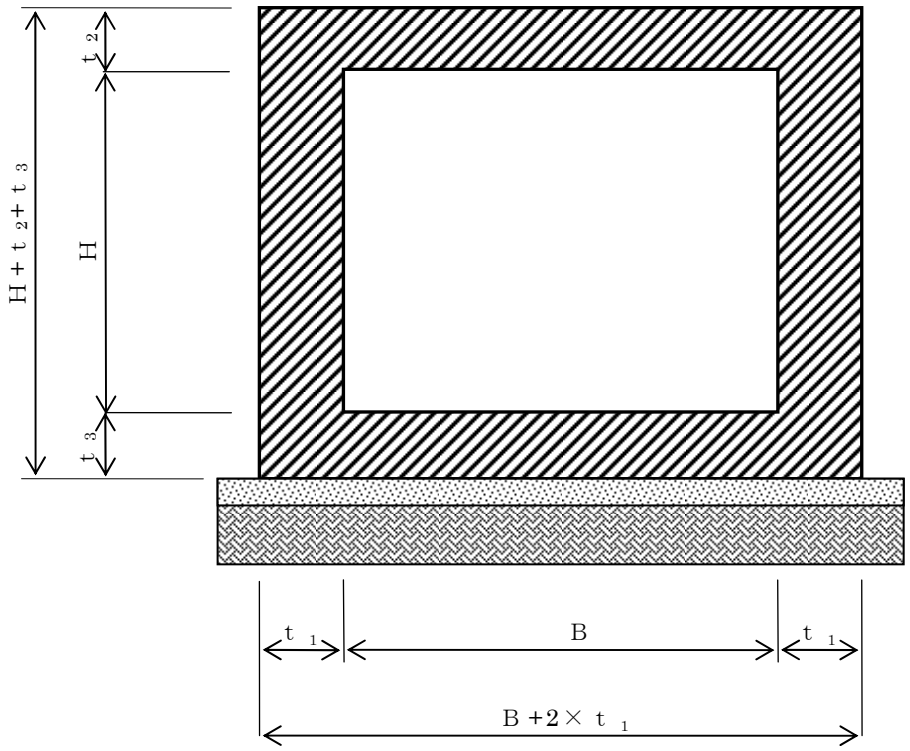
３．積算条件
場所打函渠工ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件			
土質(P)	函体断面積(P)	コンクリート総体積(P)	特殊養生の有無(S)
土砂	4m2 未満	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)

積算条件			
土質(P)	函体断面積(P)	コンクリート総体積(P)	特殊養生の有無(S)
土砂	4m2 以上	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
岩塊・玉石混り土	4m2 未満	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
	4m2 以上	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
軟岩	4m2 未満	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
	4m2 以上	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
硬岩	4m2 未満	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
	4m2 以上	500m3 未満	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)
		500m3 以上	無し
			有り(練炭養生)
			有り(ジェットヒータ養生)

（注）1. 函体断面積＝頂版、側壁（中壁)、底版断面積の総和（図－１参照）
2. コンクリート総体積＝函体の他、ウィング、段落ち防止用枕を含む。
3. 特殊養生は、鉄筋構造物はジェットヒータ養生、鉄筋構造物以外は練炭養生を原則とする。
4. 土質は、作業土工での土質区分をいう。



【函体断面積】

函体断面積Ａ［㎡］＝（Ｈ＋ｔ$_2$＋ｔ$_3$）×2×ｔ$_1$＋（Ｂ×ｔ$_2$）＋（Ｂ×ｔ$_3$）

Ｂ：内空幅［ｍ］
Ｈ：内空高［ｍ］
ｔ$_1$：側壁（中壁）厚［ｍ］
ｔ$_2$：頂版厚［ｍ］
ｔ$_3$：底版厚［ｍ］

図－１

４．その他
（１）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：カルバート工
種　　別：場所打函渠工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

函渠

積算単位:m3(体積)
契約単位:m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、カルバート工における現場打コンクリートによる函渠に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）ボックスカルバートの函渠
（２）１層又は１層２連の函渠
（３）土被り範囲 9m 以下の函渠

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）河川工事で施工する樋門・樋管、水路等

２．費用内訳

・場所打函渠（ボックスカルバートの１層２連まで、土被りが 9m以下）のコンクリート打設、基礎砕石、手摺先行型枠組足場、支保、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む)、養生、目地材、止水板等、その施工に要する全ての費用を含む。

・可とう継手、取替式止水板及びグラウト管は含まない。
・化粧型枠、雪寒仮囲いは含まない。
・***鉄筋、ガス圧接、防水、防水保護***は含まない。

３．積算条件

函渠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件					
コンクリート規格(P)	内空寸法(幅×高さ)m(S)	養生工の種類(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	目地･止水板の有無(P)
表３．２参照	幅：1.0 以上 2.5 未満かつ高さ：1.0以上2.5未満	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し

積算条件					
コンクリート規格(P)	内空寸法(幅×高さ)m(S)	養生工の種類(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	目地･止水板の有無(P)
表３．２参照	幅：1.0以上2.5未満かつ高さ：1.0以上2.5未満	特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：2.5以上4.0以下かつ高さ：1.0以上2.5未満	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：1.0以上2.5未満かつ高さ：2.5以上4.0以下	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し

積算条件					
コンクリート規格(P)	内空寸法(幅×高さ)m(S)	養生工の種類(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	目地･止水板の有無(P)
表３．２参照	幅：2.5以上4.0未満かつ高さ：2.5以上4.0以下	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：4.0以上5.5未満かつ高さ：2.5以上4.0未満	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：5.5以上7.0以下かつ高さ：2.5以上4.0未満	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し

積算条件					
コンクリート規格(P)	内空寸法(幅×高さ)m(S)	養生工の種類(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	目地･止水板の有無(P)
表３．２参照	幅：5.5以上7.0以下かつ高さ：2.5以上4.0未満	特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：4.0以上5.5未満かつ高さ：4.0以上5.5未満	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：5.5以上7.0未満かつ高さ：4.0以上5.5未満	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し

積算条件					
コンクリート規格(P)	内空寸法(幅×高さ)m(S)	養生工の種類(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	目地･止水板の有無(P)
表３．２参照	幅：7.0以上8.5未満かつ高さ：4.0以上5.5以下	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅:8.5以上10.0以下かつ高さ：4.0以上5.5以下	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：4.0以上5.5未満かつ高さ：5.5以上7.0以下	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し

積算条件					
コンクリート規格(P)	内空寸法(幅×高さ)m(S)	養生工の種類(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)	目地･止水板の有無(P)
表３．２参照	幅：4.0以上5.5未満かつ高さ：5.5以上7.0以下	特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
	幅：5.5以上7.0以下かつ高さ：5.5以上7.0以下	一般養生・特殊養生(練炭、ジェット)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
		特別な養生(仮囲い内ジェットヒータ)	有り	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し
			無し	有り	有り
					無し
				無し	有り
					無し

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
コンクリート規格(P)	21-8-25(20)(普通)
	24-8-40(普通)
	21-8-25(20)(高炉)
	24-8-25(20)(高炉)
	24-8-40(高炉)
	各種

(注) 1. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準とし、これにより難い場合は、基礎砕石の有無で「無し」を選択し、別途、基礎砕石(基礎材)を計上する。

2. 雪寒仮囲いによる養生が必要な場合は、養生工の種類で「特別な養生」を選択し、別途、雪寒仮囲いを計上する。なお、「特別な養生」には仮囲い内ジェットヒータ養生を含む。

3. コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格：「各種」を選択する。

4. 積算条件：各種の場合

コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（２）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。

（３）防水については、（Ⅲ-直接-12-2）による。

（４）防水保護については、（Ⅲ-直接-12-3）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、付属物設置工、管理用通路工、護岸基礎工、護岸工、擁壁工、天端被覆工、波返工、裏法被覆工、排水構造物工、付帯道路工、流路付属物設置工、地下水遮断工、抑止杭工、電線共同溝工、付帯設備工、防護柵工、道路付属施設工、カルバート工、橋梁床版工、橋梁付属物工、縁石工、橋脚巻立て工

種　　別：既製杭工、函渠工、翼壁工、水叩工、間詰工、集水桝工、暗渠工、樋門接続暗渠工、階段工、排水構造物工、道路付属物工、場所打コンクリート工、笠コンクリート工、基礎工、コンクリート被覆工、場所打擁壁工、波返工、管渠工、場所打水路工、側溝工、縁石工、補強土壁工、シャフト工(深礎工)、プレキャストボックス工(特殊部)、現場打ボックス工(特殊部)、土留壁工、集水桝・マンホール工、防護柵基礎工、ケーブル配管工、場所打函渠工、床版増厚補強工、地覆工、沓座拡幅工、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリート

積算単位:m3(体積)
契約単位:式 orm3(体積)

１．適用範囲

本資料は、一般的な構造物（無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物）のコンクリート打設に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）無筋構造物（マッシブな構造物、比較的単純な鉄筋を有する構造物、均しコンクリート等）の場合

（２）鉄筋構造物（水路、水門、ポンプ場下部工、桟橋上部コンクリート、橋梁床版、壁高欄等の鉄筋量の多い構造物）の場合

（３）小型構造物（コンクリート断面積が１㎡以下の連続している側溝、笠コンクリート等、コンクリート量が１㎥以下の点在する集水桝、照明基礎、標識基礎）の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）ダムコンクリート、トンネル覆工コンクリート、コンクリート舗装、消波根固めブロック、コンクリート桁及び軽量コンクリート等の特殊コンクリート打設で、土木工事標準積算基準書又はユニットプライス型積算基準において別途、コンクリートの基準が設定されている工種の場合

（２）場所打擁壁工

（３）函渠工

（４）共同溝工　ただし、現場打ちの電線共同溝（C・C・BOX）を除く。

（５）橋台・橋脚工

２．費用内訳

・一般的な構造物(無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物)のコンクリート打設、締固め、表面仕上、養生の他、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***鉄筋、ガス圧接、型枠、足場、支保***は含まない。

３．積算条件

コンクリートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

<table>
<tr><th colspan="9">積算条件</th></tr>
<tr><th>構造物種別(S)</th><th>施工条件(S)</th><th>コンクリート規格(P)</th><th>設計日打設量(S)</th><th>養生工の種類(S)</th><th>圧送管の追加延長(S)</th><th>平均床版厚さ(S)</th><th>現場内小運搬作業の有無(S)</th><th>打設高さ、水平距離(S)</th></tr>
<tr><td rowspan="24">無筋・鉄筋構造物</td><td rowspan="24">打設量
10m3/日以上
又は打設地上高さ2m超</td><td rowspan="24">表３．２参照</td><td rowspan="18">10m3以上
300m3未満</td><td rowspan="6">養生無し、一般養生</td><td>無</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>0m超60m以下</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>60m超120m以下</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>120m超180m以下</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>180m超240m以下</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>各種</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="6">特殊養生(練炭、ジェットヒータ)</td><td>無</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>0m超60m以下</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>60m超120m以下</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>120m超180m以下</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>180m超240m以下</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>各種</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">養生有り(鋼橋床版)</td><td rowspan="4">－</td><td>140mm以上190mm未満</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>190mm以上310mm未満</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>310mm以上420mm未満</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>各種</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="6">300m3以上
600m3未満</td><td rowspan="3">養生無し、一般養生</td><td>無</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>0m超240m以下</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>各種</td><td></td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特殊養生(練炭、ジェットヒータ)</td><td>無</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>0m超240m以下</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>各種</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>

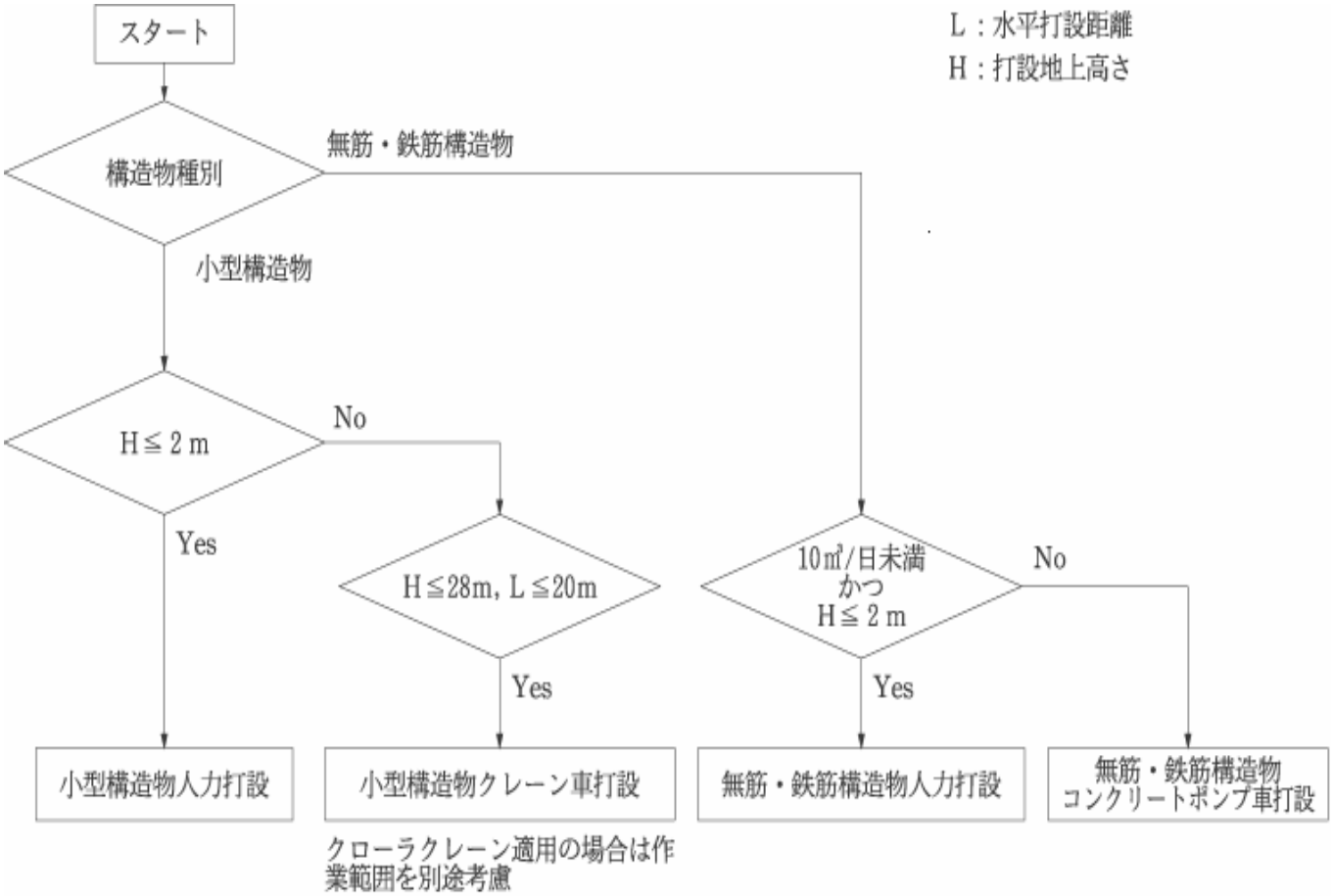
積算条件								
構造物種別(S)	施工条件(S)	コンクリート規格(P)	設計日打設量(S)	養生工の種類(S)	圧送管の追加延長(S)	平均床版厚さ(S)	現場内小運搬作業の有無(S)	打設高さ、水平距離(S)
無筋・鉄筋構造物	打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超	表３．２参照	300m3以上600m3未満	養生有り(鋼橋床版)	―	140mm以上190mm未満	―	―
						190mm以上310mm未満	―	―
					―	310mm以上420mm未満	―	―
					―	各種	―	―
	打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下		―	養生無し、一般養生	―	―	有り	―
							無し	―
				特殊養生(練炭、ジェットヒータ)	―	―	有り	―
							無し	―
小型構造物	打設地上高さ2m以下		―	養生無し	―	―	有り	―
							無し	―
				一般養生	―	―	有り	―
							無し	―
				特殊養生(練炭)	―	―	有り	―
							無し	―
				特殊養生(ジェットヒータ)	―	―	有り	―
							無し	―
	打設地上高さ2m超28m以下、水平距離30m以下		―	養生無し	―	―	―	高さ25m以下水平20m以下
								高さ28m以下水平20m以下、又は、水平距離30m以下
				一般養生	―	―	―	高さ25m以下水平20m以下
								高さ28m以下水平20m以下、又は、水平距離30m以下
				特殊養生(練炭)	―	―	―	高さ25m以下水平20m以下
								高さ28m以下水平20m以下、又は、水平距離30m以下

積算条件								
構造物種別(S)	施工条件(S)	コンクリート規格(P)	設計日打設量(S)	養生工の種類(S)	圧送管の追加延長(S)	平均床版厚さ(S)	現場内小運搬作業の有無(S)	打設高さ、水平距離(S)
小型構造物	打設地上高さ2m超28m以下、水平距離30m以下	表３．２参照	－	特殊養生(ジェットヒータ)	－	－	－	高さ25m以下水平20m以下 高さ28m以下水平20m以下、又は、水平距離30m以下

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
コンクリート規格(P)	18-5-40(高炉)
	18-8-25(高炉)
	18-8-40(高炉)
	18-8-40(普通)
	19.5-8-40(高炉)
	21-8-25(20)(高炉)
	21-8-25(20)(普通)
	21-8-25(早強)
	21-8-40(高炉)
	21-8-40(普通)
	24-8-25(20)(高炉)
	24-8-25(20)(普通)
	24-8-25(早強)
	24-8-40(高炉)
	24-8-40(普通)
	27-8-25(20)(普通)
	30-8-25(20)(普通)
	各種

（注）1.打設工法の選定



「無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設」においては、コンクリートポンプ車から作業範囲が 30m 以内の圧送管の延長はコンクリートポンプ車に含まれている。作業範囲が 30m を超える場合は、超えた部分の追加圧送管延長を計上する。

2.特殊養生

・河川、海岸、道路工事における寒中コンクリートの養生に適用する。
・養生方法は給熱養生を標準とし、鉄筋構造物はジェットヒーター養生、鉄筋構造物以外は練炭養生を原則とする。
・異形ブロック製作における養生は、適用しない。

3.積算条件：圧送管の追加延長及び平均床版厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
圧送管の追加延長(m)：各種（実数入力）
平均床版厚さ(mm)：各種（実数入力）
積算条件：コンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（２）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。

（３）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。

（４）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。

（５）支保については、（Ⅲ-直接-16-18）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、地下水遮断工、落石雪害防止工
種　　別：場所打擁壁工、落石防護工、落石防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリート(場所打擁壁)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート（場所打擁壁）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）重力式擁壁［擁壁平均高さ5mを超えるもの］
（２）もたれ式擁壁［擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの］
（３）逆Ｔ型擁壁［擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの］
（４）Ｌ型擁壁［擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの］
（５）重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆Ｔ型擁壁、Ｌ型擁壁以外の形式の現場打擁壁

２．費用内訳
・場所打擁壁設置時のコンクリート打設、養生、圧送管組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、バイブレータ損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ペーラインコンクリートの材料費は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***、均し***コンクリート***は含まない。
・雪寒仮囲いは含まない。
・***鉄筋***、本体及び均しコンクリート用の***型枠、目地板、止水板、水抜パイプ、吸出し防止材***は含まない。
・***足場***は含まない。

３．積算条件
コンクリート（場所打擁壁）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
21-8-25(20)(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	各種
24-8-25(20)(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	各種
18-8-40(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	各種
21-8-40(高炉)	一般養生

積算条件	
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
21-8-40(高炉)	特殊養生(練炭)
	各種
24-8-40(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	各種
18-8-25(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	各種
各種	一般養生
	特殊養生(練炭)
	各種

（注）1.特殊養生（ジェットヒータ養生及び仮囲い内ジェットヒータ養生）が必要な場合は、養生工の種類「各種」により積算する。
2.コンクリートポンプ車の作業範囲(30m)を超える場合は、コンクリート規格：「各種」を選択する。
3.積算条件：養生工の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
養生工の種類：各種（文字入力）
積算条件：コンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（２）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（３）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（４）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（５）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（６）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。
（７）水抜パイプについては、（Ⅲ-直接-3-32）による。
（８）吸出し防止材については、（Ⅲ-直接-5-24）による。
（９）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
(10)「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、道路維持、道路修繕
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、カルバート工
種　　別：函渠工、翼壁工、水叩工、樋門接続暗渠工、場所打函渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリート(場所打函渠)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、コンクリート（場所打函渠）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）河川工事で施工する樋門・樋管（函渠（門柱等含む）、翼壁、水叩き）、ボックス形式の水路等

（２）道路工事で施工するボックスカルバート以外の函渠

（３）道路工事で施工する1層又は1層2連以外の函渠

（４）道路工事で施工する土被りが9mを超える函渠

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）道路工事における内空幅1.0m以上4.0m以下で内空高1.0m以上4.0m以下の函渠の場合

（２）道路工事における内空幅4.0m以上7.0m以下で内空高2.5m以上7.0m以下の函渠の場合

（３）道路工事における内空幅7.0m以上10.0m以下で内空高4.0m以上5.5m以下の函渠の場合

２．費用内訳

・場所打函渠(河川工事における樋門・樋管(函渠(門柱等含む)、翼壁、水叩き)、ボックス形状の水路等及び道路工事におけるボックスカルバート以外の函渠、1層又は1層2連以外の函渠等)のコンクリート打設、養生、圧送管組立・撤去、バイブレータ損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***、均し***コンクリート、目地板、止水板***は含まない。
・本体及び均しコンクリート用の***型枠、鉄筋、足場、支保***は含まない。

３．積算条件

コンクリート（場所打函渠）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
24-8-25(20)(普通)	一般養生
	特殊養生
24-8-40(普通)	一般養生
	特殊養生
24-8-25(20)(高炉)	一般養生

積算条件	
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
24-8-25(20)(高炉)	特殊養生
24-8-40(高炉)	一般養生
	特殊養生
各種	一般養生
	特殊養生

（注）1.体積は、ウイング、段落ち防止用枕を含む本体コンクリートの数量とする。
2.特殊養生は、練炭養生、ジェットヒータ養生、仮囲い内ジェットヒータ養生に適用する。
3.積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（２）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（３）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（４）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。
（５）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（６）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（７）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（８）支保については、（Ⅲ-直接-16-18）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、流路護岸工、床固め工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、コンクリート側壁工、間詰工、水叩工、鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工、コンクリート擁壁工、床固め本体工、垂直壁工、側壁工、魚道工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）におけるコンクリートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）平均打設高30m以下のコンクリート打設の場合
（２）容量1m3のコンクリートバケットを使用する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）現場コンクリートプラントを使用する場合
（２）ケーブルクレーン打設の場合
（３）ジェットヒーター養生の場合

２．費用内訳
・**砂防工事におけるコンクリートの打設、養生、打継面清掃、岩盤清掃、チッピング**の他、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場板、単管、自在クランプ、雑機械器具(空気圧縮機、さく岩機、コンクリートバケット、バイブレータ、水中ポンプ、高圧洗浄機)の損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***堤冠コンクリート、型枠、足場(砂防)、止水板(砂防)***は含まない。

３．積算条件
コンクリートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
コンクリート規格(P)	日打設量(S)	養生工の種類(S)	チッピングの有無(P)	岩盤清掃の有無(P)
18-5-40(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し

積算条件				
コンクリート規格(P)	日打設量(S)	養生工の種類(S)	チッピングの有無(P)	岩盤清掃の有無(P)
18-5-40(高炉B)	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
18-8-40(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
18-5-80(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
19.5-5-40(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り

積算条件				
コンクリート規格(P)	日打設量(S)	養生工の種類(S)	チッピングの有無(P)	岩盤清掃の有無(P)
19.5-5-40(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
19.5-8-40(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
21-5-40(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し

積算条件				
コンクリート規格(P)	日打設量(S)	養生工の種類(S)	チッピングの有無(P)	岩盤清掃の有無(P)
21-5-40(高炉B)	50m3以上150m3未満	一般養生	無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
21-5-80(高炉B)	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
各種	50m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
	50m3以上150m3未満	一般養生	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し
		特殊養生(練炭)	有り	有り
				無し
			無し	有り
				無し

（注）積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）堤冠コンクリートについては、（Ⅲ-直接-7-3）による。

（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。

（３）足場(砂防)については、（Ⅲ-直接-16-4）による。

（４）止水板(砂防)については、（Ⅲ-直接-7-24）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：橋脚コンクリート巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、ユニット区分「コンクリート巻立て」に該当しないRC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強用コンクリート巻立てにおけるコンクリートに適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）巻立て厚0.25m以下のコンクリート打設の場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）梁の補強の場合
　（２）フーチングの補強の場合
　（３）支柱幅0.8m以上15m以下、奥行0.7m以上4.0m以下の矩形(小判型を含む)支柱を施工する場合。ただし、幅・奥行は補強前の支柱寸法とする。
　（４）支柱径1.5m以上4.0m以下の円形支柱を施工する場合。ただし、径は補強前の支柱寸法とする。
　（５）一般養生以外の特殊養生(練炭養生、ジェットヒータ養生)の場合

２．費用内訳
・橋脚コンクリート巻立てにおけるコンクリート打設、養生の他、バイブレータ、ポンプ損料、養生マット、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。
・***コンクリート削孔、鉄筋、ガス圧接、型枠、下地処理、足場***は含まない。

３．積算条件
　コンクリートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
コンクリート規格(P)
21-8-20(25)(普通)
21-8-20(25)(高炉)
24-8-20(25)(普通)
24-8-20(25)(高炉)
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）コンクリート削孔については、（Ⅲ-直接-13-39）による。

（２）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（３）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。

（４）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。

（５）下地処理については、（Ⅲ-直接-14-22）による。

（６）足場については、（Ⅲ-直接-16-10）による。

（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：間詰工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間詰コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、砂防工事における間詰コンクリート（ケーブルクレーン打設を含む）に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事における間詰コンクリートのコンクリート打設、横取り、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、チッピング、岩盤清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、空気圧縮機、さく岩機、高圧洗浄機、工事用水中ポンプ、コンクリートバケット、バイブレータ、計量車の損料、さく岩機、高圧洗浄機、水中ポンプ運転経費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

小口止コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積（張）工における小口止コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・小口止に使用するコンクリートの打設（運搬バケットへのコンクリート積込み、玉掛作業、シュート、ホッパの架設・移設含む）、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、目地材の設置、養生、現場内小運搬の他、バイブレータ、コンクリートバケット損料、シート、養生マット、角材、パイプ、練炭、コンロ、散水等に使用する機械の損料、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：流路護岸工
種　　別：護岸付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
横帯コンクリート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、流路護岸工における横帯コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・流路工事における横帯コンクリートのコンクリート打設、基礎材、目地材、横取り、鉄筋、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場板、単管、自在クランプ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、組立支持材、角パイプ、フォームタイ、座金、プラスチックコン、セパレータ、丸鋼、計量車、コンクリートバケット、バイブレータ、水中ポンプ、高圧洗浄機、電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、付属物設置工、管理用通路工、護岸基礎工、護岸工、擁壁工、天端被覆工、波返工、裏法被覆工、排水構造物工、付帯道路工、流路付属物設置工、地下水遮断工、電線共同溝工、付帯設備工、防護柵工、道路付属施設工、カルバート工、橋梁付属物工、縁石工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：函渠工、翼壁工、水叩工、集水桝工、暗渠工、樋門接続暗渠工、階段工、排水構造物工、道路付属物工、場所打コンクリート工、笠コンクリート工、コンクリート被覆工、場所打擁壁工、波返工、管渠工、場所打水路工、側溝工、縁石工、補強土壁工、落石防護工、プレキャストボックスエ(特殊部)、現場打ボックスエ(特殊部)、土留壁工、集水桝・マンホール工、防護柵基礎工、ケーブル配管工、場所打函渠工、地覆工、落石防護柵工、沓座拡幅工、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

型枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲

本資料は、一般土木工事の構造物、「土木構造物設計マニュアル（案）－土木構造物・橋梁編－」（平成11年10月28日建設省）に基づき設計された場所打ち鉄筋構造物（ボックスカルバート、L型、逆T式擁壁、張出し式・壁式橋脚）の施工にかかる型枠及び「土木構造物設計マニュアル（案）－樋門編－」（平成13年12月21日国土交通省）に基づき設計された函渠、胸壁、しゃ水壁、門柱、ゲート操作台、翼壁の施工にかかる型枠に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）平均設置高30m以下の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）鋼橋床版、コンクリート桁、砂防、ダム、トンネル等で、土木工事標準積算基準書又はユニットプライス型積算基準において別途、型枠の基準が設定されている工種の場合

（２）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に型枠が含まれている場所打擁壁工、函渠工の場合

（３）共同溝工の場合【土留覆工方式及び土留開放方式による掘削深さ16mまでの共同溝】の場合、ただし、電線共同溝等の歩道部に設置する簡易なものを除く

（４）橋台・橋脚工【構造物高さ5m以上25m未満のT形橋脚、構造物高さ5m以上20m未満の壁式橋脚、構造物高さ12m未満かつ翼壁厚さ0.4m以上0.6m未満の逆T式橋台】の場合

（５）化粧型と型枠が一体となった製品等を使用し、貼付・はく離作業が不要な場合

（６）円形型枠、化粧型枠で、鉄筋構造物［省力化構造（土木構造物設計マニュアル（案）-樋門編-に基づく鉄筋構造物）］の場合

２．費用内訳

・型枠の組立・設置・撤去、水抜きパイプの設置、はく離剤塗布及びケレン作業の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離剤及び電気

ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水抜パイプの材料は含まない。
・鉄筋構造物〔省力化構造(土木構造物設計マニュアル(案)-樋門編-に基づく鉄筋構造物)〕の場合、水抜きパイプの設置は含まない。
・化粧型枠の処分は含まない。
・***コンクリート、足場、支保***は含まない。

３．積算条件
型枠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
型枠の種類(P)	構造物の種類(P)
一般型枠	鉄筋・無筋構造物
	小型構造物
	鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)
	鉄筋構造物[省力化構造]
	均しコンクリート
化粧型枠	鉄筋・無筋構造物
	小型構造物
	鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

４．その他
（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（３）支保については、（Ⅲ-直接-16-18）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、流路護岸工、床固め工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、コンクリート側壁工、間詰工、水叩工、鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工、コンクリート擁壁工、床固め本体工、垂直壁工、側壁工、魚道工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
型枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における型枠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）平均設置高30m以下の型枠、残存型枠及び残存化粧型枠の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ケーブルクレーン打設の場合
（２）化粧型枠と型枠が一体となった製品等を使用し、貼付・はく離作業が不要な場合

２．費用内訳
(1)一般型枠の場合
・型枠の組立・設置及び解体・撤去、ケレンはく離剤塗布の他、メタルフォーム、木製型枠、化粧型枠、角パイプ、フォームタイ、座金、プラスチックコン、セパレータ、丸鋼、はく離剤等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)残存型枠の場合
・残存型枠・残存化粧型枠の加工、組立・設置、水抜パイプ設置の他、組立支持及び電気溶接機、コンクリートカッタ、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水抜パイプの材料費は含まない。
・化粧型枠の処分費は含まない。
・***足場、足場(砂防)***は含まない。

３．積算条件
型枠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
型枠の種類(P)	化粧型枠の有無(P)	化粧型枠材の使用量(S)	水抜パイプの有無(P)	水抜パイプ使用量(S)
一般型枠	有り	各種	―	―
	無し	―	―	―
残存型枠	有り	―	有り	各種
			無し	―
	無し	―	有り	各種

積算条件				
型枠の種類(P)	化粧型枠の有無(P)	化粧型枠材の使用量(S)	水抜パイプの有無(P)	水抜パイプ使用量(S)
残存型枠	無し	―	無し	―

（注）積算条件：各種の場合
化粧型枠材の使用量：各種（実数入力（m2／100m2））
水抜パイプ使用量：各種（実数入力（m／100m2））

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）足場(砂防)については、（Ⅲ-直接-16-4）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：橋脚コンクリート巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
型枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、ユニット区分「コンクリート巻立て」に該当しないRC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強用コンクリート巻立てにおける型枠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）矩形（小判形）及び円形支柱の型枠工における一般型枠の製作・設置・撤去
（２）円形支柱の型枠工における半径3m以下の合板円形型枠の製作・設置・撤去
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）梁の補強の場合
（２）フーチングの補強の場合
（３）支柱幅0.8m以上15m以下、奥行0.7m以上4.0m以下の矩形（小判型を含む）支柱を施工する場合。ただし、幅・奥行は補強前の支柱寸法とする。
（４）支柱径1.5m以上4.0m以下の円形支柱を施工する場合。ただし、径は補強前の支柱寸法とする。

２．費用内訳
・RC橋脚コンクリート巻立てにおける型枠の製作・設置・撤去作業で、はく離剤塗布、ケレン作業の他、型枠用合板、鋼製型枠、さん木、電動工具、組立支持材、はく離剤、電力に関する経費、仮設材持上(下)げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
型枠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
型枠種別(S)
一般型枠
合板円形型枠

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-10）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、護床工、水路工、管理用通路工、地盤改良工、護岸基礎工、護岸工、擁壁工、波返工、裏法被覆工、排水構造物工、付帯道路工、護床工・根固め工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、地下水遮断工、抑止杭工、電線共同溝工、付帯設備工、防護柵工、カルバート工、橋梁付属物工、落石雪害防止工、橋脚巻立て工

種　　別：既製杭工、函渠工、翼壁工、水叩工、根固めブロック工、集水桝工、暗渠工、樋門接続暗渠工、排水構造物工、パイルネット工、場所打コンクリート工、海岸コンクリートブロック工、笠コンクリート工、コンクリート被覆工、場所打擁壁工(構造物単位)、場所打擁壁工、波返工、管渠工、場所打水路工、側溝工、コンクリート擁壁工、魚道工、補強土壁工、落石防護工、シャフト工(深礎工)、現場打ボックス工(特殊部)、土留壁工、集水桝・マンホール工、防護柵基礎工、場所打函渠工(構造物単位)、場所打函渠工、プレキャストカルバート工、地覆工、落石防護柵工、沓座拡幅工、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工、橋脚コンクリート巻立て工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

鉄筋

積算単位:t(鉄筋質量)
契約単位:t(鉄筋質量)

１．適用範囲

本資料は、鉄筋に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）河川、海岸、道路、水路、コンクリート橋梁、鋼橋床版（PC 床版は除く）等の鉄筋構造物の加工・組立及び差筋、場所打杭の鉄筋かごの加工・組立の場合

（２）鉄筋径が D10（φ9）以上 D51（φ51）以下の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工、擁壁工（井桁ブロック工）の連結用鉄筋及びコンクリート舗装工、道路維持修繕の橋梁地覆補修工、ポストテンション桁製作、PC 橋架設工、ポストテンション場所打ホロースラブ橋、ポストテンション場所打箱桁橋、伸縮装置工における鉄筋の加工･組立

（２）鉄筋加工もしくは鉄筋組立のみの場合

２．費用内訳

・鉄筋構造物の加工・組立、差筋、荷卸、現場内小運搬、結束線、スペーサ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・フレアー溶接(場所打杭用かご筋以外)、機械継手は含まない。
・架台は含まない。
・***ガス圧接***は含まない。
・***足場、支保***は含まない。

３．積算条件

鉄筋ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件			
鉄筋材料規格・径(P)	施工数量(S)	太径鉄筋割合(S)	構造物種別(S)
表３．２参照	10t 以上	太径鉄筋割合 10%未満	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種
		太径鉄筋の割合 10%以上 20%未満	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種
		太径鉄筋の割合 20%以上 40%未満	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種
		太径鉄筋の割合 40%以上	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種
	10t 未満	太径鉄筋割合 10%未満	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種
		太径鉄筋の割合 10%以上 20%未満	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種
		太径鉄筋の割合 20%以上 40%未満	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋

積算条件			
鉄筋材料規格・径(P)	施工数量(S)	太径鉄筋割合(S)	構造物種別(S)
表３．２参照	10t 未満	太径鉄筋の割合 20%以上 40%未満	各種
		太径鉄筋の割合 40%以上	一般構造物
			切梁のある構造物
			地下構造物
			差筋及び杭頭処理
			場所打杭用かご筋
			各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
鉄筋材料規格・径(P)	SD295A D10
	SD295A D13
	SD295A D16
	SD345 D10
	SD345 D13
	SD345 D16～25
	SD345 D29～32
	SD345 D35
	SD345 D38
	SD345 D41
	SD345 D51
	各種

（注）1.施工数量は、1 工事当りの全体数量である。
2.橋梁用床版、及び RC 場所打ちホロースラブ橋の場合は構造物種別を「各種」とする。
3.鉄筋工の継手は、重ね継手を標準とし、機械継手の場合は、機械継手費用（材工共）を別途計上する。
4.場所打杭用かご筋以外でフレアー溶接を行う場合は、フレアー溶接費用を別途計上する。
5.架台を必要とする場合は、架台の製作・組立費用を別途計上する。
6.積算条件：構造物種別「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
構造物種別：各種（文字入力）
積算条件：鉄筋材料規格・径「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
鉄筋材料規格・径：各種（文字入力）

４．その他
（１）ガス圧接については、(Ⅲ-直接-3-29）による。
（２）足場については、(Ⅲ-直接-16-1）による。
（３）支保については、(Ⅲ-直接-16-18）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、地盤改良工、護岸基礎工、擁壁工、波返工、流路護岸工、地下水遮断工、抑止杭工、防護柵工、カルバート工、落石雪害防止工、橋梁付属物工、橋脚巻立て工
種　　別：函渠工、翼壁工、水叩工、樋門接続暗渠工、パイルネット工、場所打コンクリート工、場所打擁壁工(構造物単位)、場所打擁壁工、波返工、コンクリート擁壁工、補強土壁工、落石防護工、シャフト工(深礎工)、防護柵基礎工、場所打函渠工(構造物単位)、場所打函渠工、落石防護柵工、沓座拡幅工、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工、橋脚コンクリート巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガス圧接

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、ガス圧接に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）鉄筋構造物の組立作業における手動式（半自動式）、自動式のガス圧接
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）熱間押抜法によるガス圧接

２．費用内訳
・鉄筋のガス圧接の他、酸素、アセチレンガス等、その施工に要する全ての費用を含む。

・圧接前の配筋及び圧接後の切断、試験は含まない。
・***鉄筋***は含まない。

３．積算条件
ガス圧接ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
D19+D19	100箇所以上
	100箇所未満
D22+D22	100箇所以上
	100箇所未満
D25+D25	100箇所以上
	100箇所未満
D29+D29	100箇所以上
	100箇所未満
D32+D32	100箇所以上
	100箇所未満

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
D35+D35	100箇所以上
	100箇所未満
D38+D38	100箇所以上
	100箇所未満
D41+D41	100箇所以上
	100箇所未満
D51+D51	100箇所以上
	100箇所未満

（注）施工数量は、1工事における全規格・全仕様の全体数量である。

４．その他

（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、付属物設置工、側帯工、堤脚保護工、護岸基礎工、護岸工、擁壁工、天端被覆工、波返工、裏法被覆工、排水構造物工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、流路護岸工、床固め工、流路付属物設置工、地下水遮断工、防護柵工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、落石雪害防止工

種　　別：函渠工、翼壁工、水叩工、樋門接続暗渠工、階段工、縁切工、石積工、コンクリートブロック工、場所打コンクリート工、笠コンクリート工、基礎工、石積(張)工、コンクリート被覆工、場所打擁壁工、波返工、場所打水路工、コンクリート側壁工、コンクリート擁壁工、ブロック積擁壁工、石積擁壁工、床固め本体工、垂直壁工、側壁工、魚道工、落石防護工、防護柵基礎工、場所打函渠工、落石防護柵工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

目地板

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、コンクリート構造物の継目における目地板の設置に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）目地板(厚さ10～20㎜)を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁等に設置する作業

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に目地板が含まれている場所打擁壁工、函渠工の場合

（２）共同溝工の場合

２．費用内訳

・コンクリート構造物の継目に対する目地板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

目地板ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
目地板の種類(P)
瀝青質目地板 t=10㎜
瀝青繊維質目地板 t=10㎜
樹脂発泡体(15倍発泡) t=10㎜
樹脂発泡体(30倍発泡) t=10㎜
ゴム発泡体 t=10㎜
瀝青質目地板 t=20㎜
瀝青繊維質目地板 t=20㎜
樹脂発泡体(15倍発泡) t=20㎜

積算条件
目地板の種類(P)
樹脂発泡体(30倍発泡) t=20mm
ゴム発泡体 t=20
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、護岸基礎工、擁壁工、波返工、排水構造物工、地下水遮断工、カルバート工
種　　別：函渠工、翼壁工、水叩工、樋門接続暗渠工、場所打コンクリート工、場所打擁壁工(構造物単位)、場所打擁壁工、波返工、場所打水路工、場所打函渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
止水板

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、水門、樋門・樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁等における止水板に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）止水板（幅100～300㎜）の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に止水板が含まれている場所打擁壁工、函渠工の場合
（２）共同溝工の場合

２．費用内訳
・水門、樋門・樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁等のコンクリート構造物における止水板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
止水板ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
塩ビ止水板の種類(P)
FF200×5
FC200×5
CF200×5
CC200×5
UC300×7
S.R200×5
S.SF200×5
各種

（注）積算条件：各種の場合
塩ビ止水板の種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、床固め工、地下水遮断工、カルバート工
種　　別：場所打擁壁工、コンクリート側壁工、垂直壁工、側壁工、場所打函渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

水抜パイプ

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、現場打の擁壁等で用いる水抜パイプに適用する。

２．費用内訳
・現場打ちの擁壁等で用いる水抜パイプの購入に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、裏法被覆工、流路付属物設置工、石・ブロック積(張)工
種　　別：階段工、コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
遮水シート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリートブロック張における遮水シートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）土木工事共通仕様書の遮水シートAの施工

２．費用内訳
・コンクリートブロック張における遮水シートの設置、基礎・隔壁・小口止部の止水シートの設置の他、止水シート(基礎・隔壁・小口止継手)及び接着剤の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
遮水シートユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０４鋼矢板・杭編

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、斜面対策
工　　種：樋門・樋管本体工、護岸基礎工、地下水遮断工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼矢板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、矢板工における鋼矢板に適用する。

２．費用内訳
・鋼矢板の打込み、吊上げ・建込み、溶接接合、ウォータージェット用配管部材取付・引抜き、施工機械設置・撤去、敷鉄板及び導材(ガイド)の設置・撤去・移設の他、溶接棒、導材(ガイド)、敷鉄板賃料、電気溶接機損料、ウォータージェット併用施工用付属機器(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機、水中ポンプ、水槽及び配管損料)、現場内小運搬、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート矢板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート矢板に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）コンクリート矢板(矢板幅B=50cm及び100cm)を、電動式バイブロハンマ及び電動式バイブロハンマとウォータージェット併用(貫入フレーム先行)により施工(打込み)する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）ウォータージェットとコンクリート矢板を同時に打込む場合

２．費用内訳
・コンクリート矢板打込み、吊上げ・建込み、チャック締付け、貫入フレーム建込み・打込み・引抜き、施工機械設置・撤去、導材(ガイド)の設置・撤去・移設の他、導材(ガイド)、けん引機、ガイドローラ損料、ウォータージェット併用施工用付属機器運転経費(水中ポンプ運転経費、水槽損料)、電力に関する経費等、その施工に要する全ての経費を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、斜面対策
工　　種：樋門・樋管本体工、護岸基礎工、地下水遮断工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
広幅鋼矢板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、矢板工における広幅鋼矢板に適用する。

２．費用内訳
・広幅鋼矢板の打込み、鋼矢板の吊上げ・建込み、鋼矢板の溶接接合、ウォータージェット用配管部材取付・引抜き、施工機械設置・撤去、敷鉄板及び導材(ガイド)の設置・撤去・移設の他、溶接棒、導材(ガイド)、敷鉄板賃料、電気溶接機損料、ウォータージェット併用施工用付属機器(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機、水中ポンプ、水槽及び配管損料)、現場内小運搬、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
腹起し

積算単位：t(鋼材質量)
契約単位：t(鋼材質量)

１．適用範囲
本資料は、矢板工における腹起しに適用する。

２．費用内訳
・矢板工で用いる腹起しの設置・撤去の他、腹起し材料費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***タイロッド、控え版***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）タイロッドについては、（Ⅲ-直接-4-5）による。
（２）控え版については、（Ⅲ-直接-4-6）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
タイロッド

積算単位：組(組数)
契約単位：組(組数)

１．適用範囲
本資料は、矢板工におけるタイロッドに適用する。

２．費用内訳
・矢板工で用いるタイロッドの設置・撤去の他、タイロッド材料費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***腹起し、控え版***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）腹起しについては、（Ⅲ-直接-4-4）による。
（２）控え版については、（Ⅲ-直接-4-6）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
控え版

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、矢板工におけるタイロッドの控え版に適用する。

２．費用内訳
・矢板工で用いる控え版の基礎材、コンクリート、鉄筋、型枠、目地材の他、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット損料、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***腹起し、タイロッド***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）腹起しについては、（Ⅲ-直接-4-4）による。
（２）タイロッドについては、（Ⅲ-直接-4-5）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：護岸付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
小口止矢板

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における小口止矢板に適用する。

２．費用内訳
・小口止矢板(上下流端を保護するために行う鋼矢板)の打込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、斜面対策
工　　種：樋門・樋管本体工、擁壁工、抑止杭工
種　　別：既製杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼管杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、既製杭工における鋼管杭に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）油圧パイルハンマによる鋼管杭の施工を行う場合
（２）中掘による鋼管杭の施工を行う場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）斜杭の場合

２．費用内訳
・鋼管杭の杭据付、継杭、グラウト注入の他、溶接棒(ワイヤ)、グラウト材(セメントミルク)、アセチレン、酸素、杭先端加工、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材、交流アーク溶接機、溶断器の損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)、モルタルプラントの運転、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場取卸(鋼管杭)、杭頭処理溶接(鋼管杭)***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
鋼管杭ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件								
杭管径(P)	杭管長(P)	工法(S)	杭径(S)	N値範囲(掘削層の加重平均N値)(S)	杭打込長(掘削長)(L)(S)	板厚(S)	ヤットコの有無(S)	補助クレーンの有無(S)
各種	各種	パイルハンマ工法(4～8t)	400㎜≦D＜500㎜	―	表３．２参照			
			500㎜≦D＜800㎜	―				
			800㎜≦D＜1200㎜	―				
		パイルハンマ工法(10～12.5t)	400㎜≦D＜500㎜	―				
			500㎜≦D＜800㎜	―				
			800㎜≦D＜1200㎜	―				
		中掘工法(打撃打止)	400㎜≦D＜600㎜	N＜20				
				20≦N＜40				
				40≦N				
			600㎜≦D＜800㎜	N＜20				
				20≦N＜40				

<table>
<tr><th colspan="8">積算条件</th></tr>
<tr><th>杭管径(P)</th><th>杭管長(P)</th><th>工法(S)</th><th>杭径(S)</th><th>N値範囲(掘削層の加重平均N値)(S)</th><th>杭打込長(掘削長)(L)(S)</th><th>板厚(S)</th><th>ヤットコの有無(S)</th><th>補助クレーンの有無(S)</th></tr>
<tr><td rowspan="15">各種</td><td rowspan="15">各種</td><td rowspan="9">中掘工法(打撃打止)</td><td>600mm≦D＜800mm</td><td>40≦N</td><td colspan="4" rowspan="15">表３．２参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">800mm≦D＜1000mm</td><td>N＜20</td></tr>
<tr><td>20≦N＜40</td></tr>
<tr><td>40≦N</td></tr>
<tr><td rowspan="3">D=1000mm</td><td>N＜20</td></tr>
<tr><td>20≦N＜40</td></tr>
<tr><td>40≦N</td></tr>
<tr><td rowspan="6">中掘工法(グラウト注入)</td><td rowspan="3">400mm≦D＜600mm</td><td>N＜20</td></tr>
<tr><td>20≦N＜40</td></tr>
<tr><td>40≦N</td></tr>
<tr><td rowspan="3">600mm≦D＜800mm</td><td>N＜20</td></tr>
<tr><td>20≦N＜40</td></tr>
<tr><td>40≦N</td></tr>
<tr><td rowspan="3">800mm≦D＜1000mm</td><td>N＜20</td></tr>
<tr><td>20≦N＜40</td></tr>
<tr><td>40≦N</td></tr>
<tr><td rowspan="3">D=1000mm</td><td>N＜20</td></tr>
<tr><td>20≦N＜40</td></tr>
<tr><td>40≦N</td></tr>
</table>

表３．２（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	区分
杭打込長(掘削長)(L)(S)	L≦10m
	10m＜L≦16m
	16m＜L≦32m
	32m＜L≦48m
	48m＜L≦64m
板厚(S)	8mm～10mm
	11mm～12mm
	13mm～14mm
	15mm～16mm
ヤットコの有無(S)	有り
	無し
補助クレーンの有無(S)	有り
	無し

※ヤットコの有無及び補助クレーンの有無については、工法でパイルハンマ工法を選択した場合のみ選択する。

（注）積算条件：各種の場合
　　杭管径：各種（実数入力（ｍ））

杭管長：各種（実数入力（m））

４．その他

（１）杭頭処理溶接(鋼管杭)については、（Ⅲ-直接-4-10）による。

（２）現場取卸(鋼管杭)については、（Ⅲ-直接-4-11）による。

（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：擁壁工、カルバート工
種　　別：既製杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼管杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工等における鋼管杭に適用する。

２．費用内訳
・鋼管杭の杭据付、杭頭処理、現場取卸等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、斜面対策
工　　種：樋門・樋管本体工、擁壁工、抑止杭工
種　　別：既製杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

杭頭処理溶接(鋼管杭)

積算単位：m(溶接長)
契約単位：m(溶接長)

１．適用範囲

本資料は、既製杭工の鋼管杭における鋼管杭と鉄筋及び鋼管杭とずれ止め及びストッパー等の杭頭処理溶接(鋼管杭)に適用する。

２．費用内訳

・鋼管杭と鉄筋及び鋼管杭とずれ止め及びストッパー等の現場溶接の他、溶接棒等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***鉄筋***は含まない。

３．積算条件

杭頭処理溶接(鋼管杭)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
板厚(S)
8㎜～10㎜
12㎜
14㎜・16㎜

４．その他

（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、斜面対策
工　　種：樋門・樋管本体工、擁壁工、抑止杭工
種　　別：既製杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場取卸(鋼管杭)

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、既製杭工の鋼管杭における現場取卸(鋼管杭)に適用する。

２．費用内訳
・鋼管杭の現場荷卸に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
現場取卸(鋼管杭)ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、道路改良
工　　種：樋門・樋管本体工、擁壁工、カルバート工
種　　別：場所打杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
場所打杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工等における場所打杭に適用する。

２．費用内訳
・杭の製作、掘削、鉄筋かご建込み、杭頭処理等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***泥水運搬、泥水処理(現場内)、残土等処分、掘削土運搬、掘削土処分、殻運搬、殻処分、積込(ルーズ)、整地***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）泥水運搬については、（Ⅲ-直接-2-22）による。
（２）泥水処理(現場内)については、（Ⅲ-直接-2-21）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（５）掘削土処分については、（Ⅲ-直接-4-15）による。
（６）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（７）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（８）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（９）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
(10) 重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
(11) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：場所打杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
場所打杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、抑止杭工における場所打杭に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）掘削長40m以下、杭径1,000～1,500㎜の揺動式オールケーシング工法、杭径1,000～2,000㎜の全回転式オールケーシング工法による場所打杭の施工の場合
（２）設計杭径170～580㎜、杭長30m以下のダウンザホールハンマ工法による場所打杭の施工の場合
（３）設計杭径190～510㎜、掘削長35m以下の大口径ボーリングマシンによる場所打杭の施工の場合
（４）掘削長30m以下、杭径350～600㎜のアースオーガにより掘削注入を行うモルタル場所打杭の施工の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）中硬岩、硬岩(Ⅰ)をアースオーガにより施工する場合

２．費用内訳
⑴鋼管杭、H形鋼を用いる場合
・杭の据付、掘削、コンクリート打設、現場取卸、やぐらの設置・撤去、仮設足場の設置・撤去の他、施工機械の足場材(足場板のみ)、リーダ・減速機、やぐら、溶接機、溶接材、注入管、高圧ホース、コンクリートバケット、レシーバタンク損料、ビット損耗費、用水槽、グラウトポンプ、グラウトミキサ、サンドポンプ、ベントナイトミキサ、マッドスクリーン、給水ポンプの損料及び燃料費、ベントナイトの材料費、電力に関する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。
⑵鉄筋かごを用いる場合
・杭の製作、掘削、鉄筋かご建込、コンクリート打設、杭頭処理の他、敷鉄板賃料、ハンマグラブ、ケーシングチューブ、ハンマクラウン、プランジャ、ベッセル、スラッシュタンク、トレミー管、水中ポンプ、オーガスクリュ、オーガヘッド、モルタルプラント、空気圧縮機運転、コンクリートブレーカ損料、ビット損耗費、電力に関する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・地上部の継ぎ杭は含まない。
・***泥水運搬、泥水処理(現場内)、残土等処分、掘削土運搬、掘削土処分、殻運搬、殻処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）泥水運搬については、（Ⅲ-直接-2-22）による。
（２）泥水処理(現場内)については、（Ⅲ-直接-2-21）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（５）掘削土処分については、（Ⅲ-直接-4-15）による。
（６）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（７）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（８）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（９）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
(10) 重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
(11) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：擁壁工、カルバート工
種　　別：場所打杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘削土運搬

積算単位：m3(運搬土量)
契約単位：式orm3(運搬土量)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工等における場所打杭工の掘削土運搬に適用する。

２．費用内訳
・掘削土の積込み、運搬に要する全ての費用を含む。

・***掘削土処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）掘削土処分については、（Ⅲ-直接-4-15）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：擁壁工、カルバート工
種　　別：場所打杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘削土処分

積算単位：m3(処分土量)
契約単位：式orm3(処分土量)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工等における場所打杭工の掘削土処分に適用する。

２．費用内訳
・掘削土の処分場での処分に要する全ての費用を含む。

・***掘削土運搬***は含まない。

３．積算条件
掘削土処分ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工
種　　別：矢板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
可とう鋼矢板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、矢板工における可とう鋼矢板に適用する。

２．費用内訳
・可とう鋼矢板の打込み、圧入、吊上げ・建込み、溶接接合、施工機械設置・撤去、敷鉄板及び導材(ガイド)の設置・撤去・移設、掘削土処理(穴埋め作業時)、矢板等設置小運搬費の他、溶接棒、導材(ガイド)、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機、オーガスクリュ及びオーガヘッド損料、ウォータージェット併用施工用付属機器(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機、水中ポンプ、水槽及び配管損料)、鋼矢板圧入金具取付、バックホウ運転、足場材(敷鉄板等)、現場内小運搬、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：シャフトエ(深礎工)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘削土留

積算単位：本(杭本数)
契約単位：本(杭本数)

１．適用範囲
本資料は、深礎工における掘削土留に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）現場制約が無い場合、以下のとおり
・杭径1.5m以上4.0m以下かつ掘削深20m以下
・杭径2.5m以上4.0m以下かつ掘削深20mを超え40m以下、又は、杭径4.0mを超え7.5m以下かつ掘削深40m以下
（２）現場制約が有る場合、杭径1.5m以上4.5m以下
（３）掘削土を杭端近隣に仮置する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）掘削機が搬入出来ない現場で、かつ、杭径4.5m超の場合

２．費用内訳
・深礎工における掘削土留内の掘削、発生土の搬出(杭端近隣に仮置)、土留材設置、掘削作業設備の設置・撤去の他、土留材材料費(ライナープレート、補強リング)、ファン(軸流式)、潜水ポンプ、ピックハンマ、ブレーカ、排土バケット、昇降用梯子、空気圧縮機、火薬、雷管、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ベルトコンベアを使用する排土運搬は含まない。
・杭内***足場***は含まない。
・***グラウト注入***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
掘削土留ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件							
杭径(P)	掘削深さ(P)	現場制約の有無(S)	施工区分(杭径(D)m、掘削深さ(L)m)(S)	杭径区分(杭径(D)m)(S)	砂・砂質・粘性土・レキ質土の掘削深さ(S)	岩塊・玉石混じり土・軟岩・中硬岩の掘削深さ(S)	土留材材料の有無(S)
各種	各種	無し	1.5≦D≦4.0かつL≦20	―	各種	各種	有り
							無し
			2.5≦D≦4.0かつ20＜L≦40又は4.0＜D≦7.5かつL≦40	―	各種	各種	有り
							無し
		有り	―	1.5≦D＜2.5	各種	各種	有り
							無し

積算条件							
杭径(P)	掘削深さ(P)	現場制約の有無(S)	施工区分(杭径(D)m、掘削深さ(L)m)(S)	杭径区分(杭径(D)m)(S)	砂・砂質・粘性土・レキ質土の掘削深さ(S)	岩塊・玉石混じり土・軟岩・中硬岩の掘削深さ(S)	土留材材料の有無(S)
各種	各種	有り	―	2.5≦D＜3.0	各種	各種	有り
							無し
				3.0≦D≦4.5	各種	各種	有り
							無し

（注）1.現場制約が無い場合において、杭径2.5～4.0mのとき、杭一本当りの掘削深さが20mを超える場合は、掘削深さ20m以下を掘削する場合でも「2.5≦D≦4.0かつ20＜L≦40又は4.0＜D≦7.5かつL≦40」を選択する。

2.積算条件：各種の場合

杭径：各種（実数入力（m））

掘削深さ：各種（実数入力（m））

砂・砂質・粘性土・レキ質土の掘削深さ（実数入力（m））

岩塊・玉石混じり土・軟岩・中硬岩の掘削深さ（実数入力（m））

４．その他

（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-5）による。

（２）グラウト注入については、（Ⅲ-直接-4-18）による。

（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：シャフト工(深礎工)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グラウト注入

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、深礎工におけるグラウト注入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）深礎工において、ライナープレートと地山との間隙を充填するために行うグラウト注入作業を行う場合

２．費用内訳
・深礎工における山留材と地山の隙間のグラウトによる間詰注入、グラウト用パイプの他、グラウトポンプ、グラウトホース、グラウト流量・圧力測定装置、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・杭内***足場***は含まない。
・***掘削土留***は含まない。

３．積算条件
グラウト注入ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
グラウト材配合(P)	注入パイプ材料費区分(P)
各種	有り
	無し

（注）1.積算条件：各種の場合
グラウト材配合：各種（文字入力）
2.グラウト材は、混合済みグラウト材の現場持ち込みを標準とする。
3.グラウト使用量は次式を標準とするが、土質等により次式が適用出来ない場合は、別途考慮する。
$G=0.08\pi(D+0.08)L\times1.14$
G：杭1本当りグラウト使用量(m3／本)
D：杭径(公称径)(m)
L：杭1本当りグラウト必要長さ(m)

４．その他
（１）掘削土留については、（Ⅲ-直接-4-17）による。
（２）足場については、（Ⅲ-直接-16-5）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：合成杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
合成杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、抑止杭工における合成杭に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ダウンザホールハンマ工法(設計杭径170～580㎜、杭長30m以下)の場合
（２）大口径ボーリングマシン(設計杭径190～510㎜、掘削長35m以下)の場合

２．費用内訳
・抑止杭として用いる合成杭の打込み、中詰コンクリート、現場取卸の他、大口径ボーリングマシンの足場材、溶接機及び溶接棒、注入管、高圧ホース、やぐら及び水槽損料、グラウトポンプ、サンドポンプ、ベントナイトミキサ、コンクリートバケット、レシーバタンク損料、グラウトミキサ、マッドスクリーン、ビット損耗、給水ポンプの損料及び燃料費、ベントナイトの材料費、電力に関する経費等の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、斜面対策
工　　種：樋門・樋管本体工、擁壁工、抑止杭工
種　　別：既製杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
既製コンクリート杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、既製コンクリート杭に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）中掘による既製コンクリート杭の施工を行う場合

２．費用内訳
・中掘による既製コンクリート杭の杭据付、杭頭処理、グラウト注入の他、溶接棒(ワイヤ)、グラウト材(セメントミルク)、アセチレン、酸素、杭先端加工費、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材、交流アーク溶接機、溶断器の損料、空気圧縮機、モルタルプラントの運転、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***鉄筋、コンクリート、殻運搬、殻処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
既製コンクリート杭ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件							
杭種別(P)	杭径(P)	杭長(P)	打止方法(S)	杭径(S)	N値範囲(掘削層の加重平均N値)(S)	掘削長(L)(S)	カットオフ杭径(S)
PHC杭A種	各種	各種	打撃打止	表３．２参照			
			グラウト注入				
PHC杭B種	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				
PHC杭C種	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				
RC杭1種	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				
RC杭2種	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				
SC杭	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				
SC+PHC杭A種	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				

積算条件							
杭種別(P)	杭径(P)	杭長(P)	打止方法(S)	杭径(S)	N値範囲(掘削層の加重平均N値)(S)	掘削長(L)(S)	カットオフ杭径(S)
SC+PHC杭B種	各種	各種	打撃打止	表３．２参照			
			グラウト注入				
SC+PHC杭C種	各種	各種	打撃打止				
			グラウト注入				

表３．２（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	区分
杭径(S)	400mm≦D＜600mm
	600mm≦D＜800mm
	D=800mm
N値範囲(掘削層の加重平均N値)(S)	N＜20
	20≦N＜40
	40≦N
掘削長(L)(S)	L≦16m
	16m＜L≦32m
	32m＜L≦48m
	48m＜L≦64m
カットオフ杭径(S)	300～450mm
	500～600mm
	700～800mm

（注）積算条件：各種の場合
杭径：各種（実数入力（m））
杭長：各種（実数入力（m））
※杭長は設計長とする。

４．その他
（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（２）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（３）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（４）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（５）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（６）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（７）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：地盤改良工
種　　別：パイルネット工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
既製コンクリート杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、地盤改良工における既製コンクリート杭に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ドロップハンマ杭打工によるRC杭(杭径200～300㎜、杭長2～6m)を杭長の80～100％の打込みの場合

２．費用内訳
・既製コンクリート杭の杭据付、カットオフ、杭頭処理、中詰コンクリート打設、殻積込の他、モンケン、二本構、溶断器、シュート、ホッパ、バイブレータの損料、アセチレン、酸素の材料費及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：擁壁工、カルバート工
種　　別：既製杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
既製コンクリート杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工等における既製コンクリート杭に適用する。

２．費用内訳
・既製コンクリート杭の杭据付、杭頭処理、現場取卸等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸
工　　種：法覆護岸工、地盤改良工
種　　別：多自然型護岸工、パイルネット工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
木杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における木杭に適用する。

２．費用内訳
・木杭(先端加工、皮むき含む)、打込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０５道路・舗装編

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間知ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における間知ブロック張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）間知ブロック（質量150kg/個未満）の法勾配１割以上の設置作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・間知ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量150kg/個未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない

３．積算条件
間知ブロック張ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
空張・練張(P)
空張
練張

（注）現場内小運搬は30m程度とする。

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間知ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック張工における間知ブロック張に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）間知ブロック（ブロック質量770kg/個以下）の法勾配１割以上の設置作業

２．費用内訳
・間知ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、コンクリートブロック及び胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材の吊上(下)げ作業、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)、胴込・裏込材(コンクリートブロック)、吸出し防止材(コンクリートブロック)***は含まない。
・***現場打基礎、天端コンクリート、小口止コンクリート、遮水シート、目地板***は含まない。

３．積算条件
間知ブロック張ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
ブロックの質量(S)	間知ブロック規格(P)
150kg/個未満	控え350mm
	各種
150kg/個以上770kg/個以下	各種

（注）1.現場内小運搬は30m程度とする。
2.積算条件：各種の場合
材料：各種（文字入力）

４．その他
（１）胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-22）による。
（２）胴込・裏込材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-23）による。
（３）吸出し防止材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-25）による。
（４）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。
（５）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（６）小口止コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-23）による。

（７）遮水シートについては、（Ⅲ-直接-3-33）による。
（８）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
平ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における平ブロック張に適用する。

２．費用内訳
・平ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下) の設置、連結金具組立、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、現場内小運搬の他、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠の費用、目地モルタルを使用した場合の材料費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
平ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック張工における平ブロック張に適用する。

２．費用内訳
・平ブロック（法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下）の設置、連結金具組立、コンクリートブロック及び胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材の吊上(下)げ作業、現場内小運搬の他、目地モルタルを使用した場合の材料費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)、胴込・裏込材(コンクリートブロック)、吸出し防止材(コンクリートブロック)***は含まない。
・***現場打基礎、天端コンクリート、小口止コンクリート、遮水シート、目地板***は含まない。

３．積算条件
平ブロック張ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
ブロックの質量(S)	平ブロック規格(P)	目地モルタルの有無(P)	連結金具の有無(P)
150kg/個未満	控え180mm	有り	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
		無し	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
	控え120mm	有り	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
		無し	無し

積算条件			
ブロックの質量(S)	平ブロック規格(P)	目地モルタルの有無(P)	連結金具の有無(P)
150kg/個未満	控え120mm	無し	有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
	各種	有り	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
		無し	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
150kg/個以上770kg/個以下	各種	有り	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)
		無し	無し
			有り(10個/10m2以下)
			有り(10個/10m2超20個/10m2以下)
			有り(各種)

（注）1.現場内小運搬は30m程度とする。
2.積算条件：各種の場合
平ブロック規格：各種（文字入力）
連結金具10m2当り使用量（個）：各種（実数入力）

４．その他

（１）胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-22）による。
（２）胴込・裏込材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-23）による。
（３）吸出し防止材については、（Ⅲ-直接-5-24）による。
（４）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。
（５）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（６）小口止矢板については、（Ⅲ-直接-4-7）による。
（７）遮水シートについては、（Ⅲ-直接-3-33）による。
（８）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工、羽口工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
連節ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における連節ブロック張に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）連節ブロック（ブロック質量150kg/個未満）の法勾配1割以上の設置作業

２．費用内訳
・連節ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量150kg/個未満）の設置、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、連節鉄筋（鋼線）の加工・組立・溶接、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、現場内小運搬の他、溶接機、燃料費、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・*現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート*は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕
工　　種：側帯工
種　　別：縁切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
連節ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、連節ブロック張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）連節ブロック（ブロック質量770kg／個以下）の法勾配１割以上の設置作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）連結金具を使用する場合

２．費用内訳
・連節ブロック(法勾配１割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置（水中への吊落しを含む）、コンクリート打設、型枠、連節鉄筋（鋼線）の加工・組立・溶接、遮水・止水シート、吸出し防止材、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、現場内小運搬の他、溶接機、燃料費、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤、鉄線、マニラロープ、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
連節ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、連節ブロック張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）連節ブロック（ブロック質量770kg／個以下）の法勾配１割以上の設置作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）連結金具を使用する場合

２．費用内訳
・連節ブロック(法勾配１割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、連節鉄筋（鋼線）の加工・組立・溶接、遮水シート、吸出し防止材、裏込栗石、材料（コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材、間隙充填材）の吊上(下)げ作業、現場内小運搬の他、溶接機、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
大型連節ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における大型連節ブロック張に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）連節ブロック（ブロック質量150kg／個以上770kg／個以下）の法勾配１割以上の設置作業

２．費用内訳
・大型連節ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量150kg/個以上770kg/個以下）の設置、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、現場内小運搬の他、溶接機、燃料費、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：環境護岸ブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
大型階段ブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における大型階段ブロック張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）大型階段ブロック（ブロック質量150kg／個以上770kg／個以下）の設置作業

２．費用内訳
・大型階段ブロック(ブロック質量150kg/個以上770kg/個以下）の設置、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、吸出し防止材、遮水・止水シート張、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、現場内小運搬の他、溶接機、燃料費、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕
工　　種：側帯工
種　　別：縁切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリートブロック張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、側帯工におけるコンクリートブロック張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）間知ブロック、平ブロック、連節ブロック（法勾配1割以上、ブロック質量770kg／個以下）の法勾配1割以上の設置作業

２．費用内訳
・間知・平ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、連結金具の組立、遮水シート（基礎、隔壁、小口止分等含む）、吸出し防止材、裏込材（砕石・栗石）、胴込・裏込コンクリート、目地材、足場、現場内小運搬の他、足場仮設材の費用、つき固め機械等の損料及び油脂類の費用、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠、止水シート（基礎、隔壁、小口止の端部継手）及び接着剤の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・養生は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間知ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における間知ブロック積に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）間知ブロック（質量150kg/個未満）の法勾配1割未満の設置作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）垂直高が練積において7mを超える場合
（２）垂直高が空積において3mを超える場合
（３）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・間知ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、調整コンクリート、吸出し防止材、水抜パイプ、遮水・止水シート張、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、足場、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
間知ブロック積ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
空積・練積(P)
空積
練積

（注）面積＝ブロック積本体面積＋調整コンクリート面積
（小口止、天端コンクリートは含めない）

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：堤脚保護工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工、ブロック積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間知ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積工における間知ブロック積に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）間知ブロック（質量150kg/個未満）の法勾配1割未満の設置作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）垂直高が練積において7mを超える場合
（２）垂直高が空積において3mを超える場合
（３）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・間知ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個未満)の設置、胴込・裏込コンクリート、調整コンクリート、水抜パイプ、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。
・全面に設置する遮水・止水シートは含まない。
・***現場打基礎、吸出し防止材（コンクリートブロック）、胴込・裏込材（コンクリートブロック）、天端コンクリート、小口止コンクリート***は含まない。
・***足場***は含まない。

３．積算条件
間知ブロック積ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件					
表面の仕様(P)	施工数量(S)	練積・空積(P)	裏込コンクリート使用の有無(P)	胴込・裏込コンクリート使用量(m3/m2)(P)	コンクリート規格(P)
滑面	100m2以上	練積	有り(胴込+裏込め)	表３．２参照	
			無し(胴込のみ)		
		空積	—		
	100m2未満	練積	有り(胴込+裏込め)		
			無し(胴込のみ)		
		空積	—		
各種	100m2以上	練積	有り(胴込+裏込め)		
			無し(胴込のみ)		
		空積	—		

積算条件					
表面の仕様(P)	施工数量(S)	練積・空積(P)	裏込コンクリート使用の有無(P)	胴込・裏込コンクリート使用量(m3/m2)(P)	コンクリート規格(P)
各種	100m2未満	練積	有り(胴込+裏込め)	表３．２参照	
			無し(胴込のみ)		
		空積	―		

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
胴込・裏込コンクリート使用量(m3/m2)(P)	0.10以上0.15未満
	0.15以上0.20未満
	0.20以上0.26未満
	0.26以上0.32未満
	0.32以上0.38未満
	0.38以上0.45未満
	各種
コンクリート規格(P)	18-8-25(20)(普通)
	18-8-40(普通)
	18-8-25(20)(高炉)
	18-8-40(高炉)
	各種

（注）1. 面積＝ブロック積本体面積＋調整コンクリート面積
（小口止、天端コンクリートは含めない）
2. 表面の仕様
各種：粗面もしくは化粧の場合。
3. 施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
4. 積算条件：表面の仕様及び胴込・裏込コンクリート使用量「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
表面の仕様：各種（文字入力）
胴込・裏込コンクリート使用量：各種（実数入力（m3））
積算条件：表面の仕様及びコンクリート規格「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。
（２）吸出し防止材については、（Ⅲ-直接-5-24）による。
（３）胴込・裏込材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-23）による。
（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（５）小口止コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-23）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：石・ブロック積工
種　　別：コンクリートブロックエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間知ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積工における間知ブロック積に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）間知ブロック（質量150kg/個未満）の法勾配１割未満の設置作業
（２）練積の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）空積の場合
（２）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・間知ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート、調整コンクリート、吸出し防止材、水抜パイプ、基礎・天端・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、目地材、養生)、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、足場、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。
・遮水シート張工は含まない。

３．積算条件
間知ブロック積ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
土質(P)	平均法長(P)	足場工の有無(S)
土砂	3.0m以下	有り
		無し
	3.0m超5.0m以下	有り
		無し
	5.0m超7.0m以下	有り
		無し
	各種	有り
		無し
岩塊・玉石混り土	3.0m以下	有り
		無し
	3.0m超5.0m以下	有り
		無し

積算条件		
土質(P)	平均法長(P)	足場工の有無(S)
岩塊・玉石混り土	5.0m超7.0m以下	有り
		無し
	各種	有り
		無し
軟岩	3.0m以下	有り
		無し
	3.0m超5.0m以下	有り
		無し
	5.0m超7.0m以下	有り
		無し
	各種	有り
		無し
硬岩	3.0m以下	有り
		無し
	3.0m超5.0m以下	有り
		無し
	5.0m超7.0m以下	有り
		無し
	各種	有り
		無し

（注）1.積算条件：平均法長「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均法長：各種（実数入力（m））
2.面積＝ブロック積本体面積＋調整コンクリート面積
（小口止、天端コンクリートは含めない）
3.土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：石・ブロック積工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
緑化ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積工における緑化ブロック積に適用する。

２．費用内訳
・緑化ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個未満)の設置、敷モルタル、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、天端ブロック、調整コンクリート、基礎・天端・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、目地材、養生)、客土の投入・締固め、現場内小運搬、敷モルタル・目地モルタルの材料、つき固め機械等の損料及び油脂類の費用、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、足場、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ブロック植樹***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・吸出し防止材、遮水シートは含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ブロック植樹については、（Ⅲ-直接-5-26）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
緑化ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積（張）工における緑化ブロック積に適用する。

２．費用内訳
・緑化ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量980kg/個以下)の設置、敷モルタル、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、天端ブロック、調整コンクリート、客土投入・締固め、現場内小運搬の他、敷モルタル・目地モルタルの材料、つき固め機械等の損料及び油脂類の費用、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・客土における土壌改良は含まない。
・***ブロック植樹***は含まない。
・***現場打基礎、天端コンクリート、小口止コンクリート***は含まない。
・***吸出し防止材(コンクリートブロック)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ブロック植樹については、（Ⅲ-直接-5-26）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（４）小口止コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-23）による。
（５）吸出し防止材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-25）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工、緑化ブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
緑化ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における緑化ブロック積に適用する。

２．費用内訳
・緑化ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個未満）の設置、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、吸出し防止材、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、客土の投入・締固め、現場内小運搬の他、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ブロック植樹***は含まない。
・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ブロック植樹については、（Ⅲ-直接-5-26）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（３）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（５）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：堤脚保護工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工、ブロック積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
大型コンクリートブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積（張）工等における大型コンクリートブロック積に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）間知ブロック（ブロック質量150kg/個以上2,600kg/個以下）の法勾配1割未満の設置作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）ブロック質量150kg/個以下、2,600kg/個以上の間知ブロックの設置作業

２．費用内訳
・間知ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個以上2,600kg/個以下)の設置、鉄筋(加工・組立)、現場内小運搬の他、水抜パイプ(水抜孔用吸出し防止材を含む)、吊上(下)げ作業(間知ブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・全面に施工する水抜パイプは含まない。
・***現場打基礎、吸出し防止材(コンクリートブロック)、胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)、胴込・裏込材(コンクリートブロック)、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
大型コンクリートブロック積ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
ブロック規格(P)	鉄筋規格(P)	鉄筋10m2当り使用量(S)
各種	SD295A D13	各種
	SD295A D16	各種
	SD345 D13	各種
	SD345 D16～25	各種
	各種	各種
	不要	―

（注）積算条件：各種の場合
ブロック規格：各種（文字入力）
鉄筋10m2当り使用量（t）：各種（実数入力）

４．その他

（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。

（２）吸出し防止材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-25）による。

（３）胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-22）による。

（４）胴込・裏込材(コンクリートブロック)については、（Ⅲ-直接-5-23）による。

（５）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：コンクリートブロック工、緑化ブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
大型緑化ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における大型緑化ブロック積に適用する。

２．費用内訳
・大型緑化ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個以上980kg/個以下）の設置、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、吸出し防止材、横帯・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、養生)、客土の投入・締固め、現場内小運搬、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ブロック植樹***は含まない。
・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ブロック植樹については、（Ⅲ-直接-5-26）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（３）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（５）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する

工事区分：道路改良
工　　種：石・ブロック積工
種　　別：コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
大型緑化ブロック積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリートブロック工における大型緑化ブロック積に適用する。

２．費用内訳
・大型緑化ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量150kg/個以上980kg/個以下）の設置、敷モルタル、裏込材（砕石）投入、胴込・裏込コンクリート、天端ブロック、調整コンクリート、基礎・天端・小口止コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、目地材、養生)、客土の投入・締固め、現場内小運搬、敷モルタル・目地モルタルの材料、つき固め機械等の損料及び油脂類の費用、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、足場、コンクリートバケット、バイブレータ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ブロック植樹***は含まない。
・***土砂等運搬*** は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・吸出し防止材、遮水シートは含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ブロック植樹については、（Ⅲ-直接-5-26）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、電線共同溝、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、付属物設置工、光ケーブル配管工、管理用通路工、護岸基礎工、護岸工、擁壁工、天端被覆工、裏法被覆工、排水構造物工、付帯道路工、流路護岸工、流路付属物設置工、地下水遮断工、電線共同溝工、防護柵工、道路付属施設工、石・ブロック積(張)工、カルバート工、縁石工、落石雪害防止工

種　　別：函渠工、翼壁工、水叩工、集水桝工、暗渠工、樋門接続暗渠工、階段工、ハンドホール工、排水構造物工、道路付属物工、笠コンクリート工、基礎工、石積(張)工、場所打擁壁工、コンクリート被覆工、コンクリートブロック工、管渠工、場所打水路工、側溝工、縁石工、コンクリート擁壁工、補強土壁工、落石防護工、プレキャストボックス工(特殊部)、現場打ボックス工(特殊部)、集水桝・マンホール工、防護柵基礎工、ケーブル配管工、場所打函渠工、落石防護柵工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

基礎砕石(基礎材)

積算単位：m2(敷設面積)
契約単位：m2(敷設面積)

１．適用範囲

本資料は、無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物の基礎砕石(基礎材)に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）コンクリート構造物等の基面に敷設する基礎砕石

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）井桁ブロック積工、プレキャスト擁壁工、排水構造物工等の基礎砕石で、土木工事標準積算基準書又はユニットプライス型積算基準において別途、基礎砕石の基準が設定されている工種の場合

（２）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に基礎材が含まれている場所打擁壁工、函渠工の場合。

（３）共同溝工の場合（土留覆工方式及び土留開放方式による掘削深さ16mまでの共同溝）の場合。ただし、電線共同溝等の歩道部に設置する簡易なものを除く。

（４）橋台・橋脚工（構造物高さ5m以上25m未満のT形橋脚、構造物高さ5m以上20m未満の壁式橋脚、構造物高さ12m未満かつ翼壁厚さ0.4m以上0.6m未満の逆T式橋台）の場合

２．費用内訳

・コンクリート構造物等の基面に行う基礎砕石の材料投入、現場内小運搬、敷均し、締固めの他、つき固め機械等の損料及び燃料の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

基礎砕石(基礎材)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
敷厚(P)	砕石種類(P)
0.1m	C-40
	RC-40
	RC-80
	各種
0.15m	C-40
	RC-40
	RC-80
	各種
0.2m	C-40
	RC-40
	RC-80
	各種
各種	C-40
	RC-40
	RC-80
	各種

（注）1.現場内小運搬は20m程度とする。
2.積算条件：敷厚「各種」の選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
敷厚：各種（実数入力（m））
積算条件：砕石種類「各種」の選択の場合、以下の項目を入力する。
砕石種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：擁壁工
種　　別：補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
基礎栗石(基礎材)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物の基礎栗石(基礎材)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）コンクリート構造物等の基面に敷設する基礎栗石
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）間詰石の基礎栗石(基礎材)

２．費用内訳
・コンクリート構造物等の基面に行う基礎栗石の材料投入、現場内小運搬、敷均し、つき固めの他、つき固め機械等の損料及び燃料の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***基礎砕石(基礎材)***は含まない。
・***採取小割***は含まない。
・***コンクリート***は含まない。
・***型枠***は含まない。

３．積算条件
基礎栗石(基礎材)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
栗石の厚さ(P)	栗石の種類(P)	作業区分(P)	敷並べ間隙充填材料の有無(P)	敷並べ間隙充填材料(S)
各種	栗石(50㎜～150㎜)	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40
				砕石(各種)
				栗石(各種)
			無し	―
	割栗石(50㎜～150㎜)	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40

積算条件				
栗石の厚さ(P)	栗石の種類(P)	作業区分(P)	敷並べ間隙充填材料の有無(P)	敷並べ間隙充填材料(S)
各種	割栗石 (50㎜～150㎜)	敷並べ	有り	砕石(各種)
				栗石(各種)
			無し	―
	割栗石 (150㎜～200㎜)	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40
				砕石(各種)
				栗石(各種)
			無し	―
	各種	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40
				砕石(各種)
				栗石(各種)
			無し	―

（注）1.積算条件：各種の場合
栗石の厚さ：各種（実数入力（m））
栗石の種類：各種（文字入力）
敷並べ間隙充填材料：各種（文字入力）

４．その他
（１）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（２）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。
（３）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（４）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：堤脚保護工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工、ブロック積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、ブロック積（張）工における胴込・裏込コンクリート（コンクリートブロック）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）ブロック積・張における胴込・裏込コンクリート

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）石積・張における胴込・裏込コンクリート

２．費用内訳

・コンクリートブロック積（張）の胴込・裏込コンクリート設置、現場内小運搬の他、型枠等、その施工に要する全ての費用を含む。

・コンクリートの吊上(下)げは含まない。
・養生は含まない。

３．積算条件

胴込・裏込コンクリート（コンクリートブロック）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
コンクリート規格(P)
18-8-25(20)(普通)
18-8-40(普通)
18-8-25(20)(高炉)
18-8-40(高炉)
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：堤脚保護工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工、ブロック積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

胴込・裏込材(コンクリートブロック)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、ブロック積（張）工における胴込・裏込材（コンクリートブロック）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）ブロック積・張における砕石等の胴込・裏込材設置

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）石積・張における砕石等の胴込・裏込材設置

２．費用内訳

・コンクリートブロック積(張)の胴込・裏込材設置(投入・転圧)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・胴込・裏込材の吊上(下)げは含まない。

３．積算条件

胴込・裏込材(コンクリートブロック)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
胴込・裏込材規格(P)
RC-40
RC-80
C-40
C-80
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　胴込・裏込材規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、道路維持、道路修繕

工　　種：根固め工、水制工、護床工、付属物設置工、側帯工、堤脚保護工、護岸工、擁壁工、裏法被覆工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、護床工・根固め工、流路護岸工、床固め工、根固め・水制工、流路付属物設置工、石・ブロック積(張)工

種　　別：沈床工、間詰工、階段工、縁切工、石積工、石積(張)工、海岸コンクリートブロック工、コンクリート被覆工、場所打擁壁工、コンクリートえん堤本体工、コンクリート側壁工、鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工、石積擁壁工、垂直壁工、側壁工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

吸出し防止材

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、吸出し防止材に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）吸出し防止材の設置

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）小型擁壁で擁壁平均高さ0.5mから1mまでの場合
（２）重力式擁壁で擁壁平均高さ1mを超え5mまでの場合
（３）もたれ式擁壁で擁壁平均高さ3mから8mまでの場合
（４）逆Ｔ型擁壁で擁壁平均高さ3mから10mまでの場合
（５）L型擁壁で擁壁平均高さ3mから7mまでの場合
（６）道路工事で施工するボックスカルバートの1層2連まで、土被りが9m以下、かつＩ型（目地・止水板）を使用する場合
（７） コンクリートブロック積で全面に設置する場合

２．費用内訳

・吸出し防止材の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

吸出し防止材ユニット積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
設置条件(S)
全面
点在

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：堤脚保護工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：コンクリートブロック工、ブロック積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

吸出し防止材(コンクリートブロック)

積算単位：m2(設置面積)
契約単位：m2(設置面積)

１．適用範囲

本資料は、石・ブロック積工における吸出し防止材（コンクリートブロック）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（1）ブロック積・張における吸出し防止材の設置

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（1）石積・張における吸出し防止材の設置

２．費用内訳

・コンクリートブロック積・張の吸出し防止材(全面)の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

吸出し防止材（コンクリートブロック）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他

（1）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：**築堤・護岸、道路改良、道路維持、道路修繕**
工　　種：**法覆護岸工、石・ブロック積工、石・ブロック積(張)工**
種　　別：**コンクリートブロック工、緑化ブロックエ**
ユニットコード：**参考資料「索引」参照**

ユニット区分：
ブロック植樹

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積（張）工、法覆護岸工等におけるブロック植樹に適用する。

２．費用内訳
・緑化ブロック内への植樹作業における樹木(樹高50cm以下)の植穴掘り、植付け、埋戻し、養生、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・土壌改良は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：石・ブロック積工
種　　別：石積工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
石積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石・ブロック積工における石積に適用する。

２．費用内訳
・石積基礎(基礎材、コンクリート、型枠、目地材、養生、プレキャスト基礎)、石積(法勾配1割未満)、石材の吊上(下)げ作業、現場内小運搬、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、水抜パイプ及び吸出し防止材、目地材、天端コンクリート(基礎材、コンクリート、型枠、目地材、養生)、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。
・***石材料***は含まない

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：石積(張)工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
石積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における石積に適用する。

２．費用内訳
・石積(法勾配1割未満)、石材の吊上(下)げ作業、現場内小運搬、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、水抜パイプ及び吸出し防止材、目地材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（３）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：石積(張)工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
石張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における石張に適用する。

２．費用内訳
・石張(法勾配1割以上)、石材の吊上(下)げ作業、現場内小運搬、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、水抜パイプ及び吸出し防止材、目地材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（３）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：側帯工、堤脚保護工、護岸工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：縁切工、石積工、石積(張)工、石積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
石積・張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、石積・張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）玉石及び雑割石（控長25cm～50cm）の積工（法勾配1割未満）
（２）玉石及び雑割石（控長25cm～50cm）の張工（法勾配1割以上）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）平石張等の玉石及び雑割石以外の石材を使用する石積・張

２．費用内訳
・玉石及び雑割石(控長25cm～50cm)の石積(法勾配1割未満)・石張(法勾配1割以上)、水抜パイプ及び吸出し防止材(点在)の設置、石材の吊上(下)げ作業、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・プレキャスト基礎は含まない。
・水抜パイプ、吸出し防止材の材料は含まない。
・***石材料***は含まない。
・***現場打基礎、天端コンクリート、胴込・裏込コンクリート(石積(張))、裏込材(石積(張))***は含まない。

３．積算条件
石積・張ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
積張の区分(P)	構造区分(P)	石材種類(P)
積工	練石	玉石
		雑割石
張工	練石	玉石
		雑割石
	空石	玉石

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-2）による。

（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（５）胴込・裏込コンクリート(石積(張))については、（Ⅲ-直接-5-31）による。
（６）裏込材(石積(張))については、（Ⅲ-直接-5-32）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：側帯工、堤脚保護工、護岸工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：縁切工、石積工、石積(張)工、石積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
胴込・裏込コンクリート(石積(張))

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、石積（張）工における胴込・裏込コンクリート（石積（張））に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）玉石及び雑割石（控長25cm～50cm）の石積（法勾配１割未満）・石張（法勾配１割以上）における胴込・裏込コンクリート設置
（２）打設地上高さ18m以下、水平打設距離10m以下の場合

２．費用内訳
・玉石及び雑割石(控長25cm～50cm)の石積(法勾配1割未満)・石張(法勾配1割以上)の胴込・裏込コンクリート設置、現場内小運搬(人力)の他、型枠等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、天端コンクリート、裏込材(石積(張))***は含まない。

３．積算条件
胴込・裏込コンクリート(石積(張))ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
コンクリート規格(P)
18-8-40(普通)
18-8-25(高炉)
18-8-40(高炉)
21-8-25(高炉)
各種

（注）積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-2）による。
（２）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-2）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（４）裏込材(石積(張))については、（Ⅲ-直接-5-32）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：側帯工、堤脚保護工、護岸工、裏法被覆工、流路護岸工、石・ブロック積(張)工
種　　別：縁切工、石積工、石積(張)工、石積擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
裏込材(石積(張))

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、石積（張）工における裏込材（石積（張））に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）玉石及び雑割石（控長25cm～50cm）の石積（法勾配１割未満）・石張（法勾配１割以上）における裏込材設置

２．費用内訳
・玉石及び雑割石(控長25cm～50cm)の石積(法勾配1割未満)・石張(法勾配1割以上)における裏込材設置、現場内小運搬、つき固め機械等の損料、油脂類等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石積・張、現場打基礎、天端コンクリート、胴込・裏込コンクリート(石積(張))***は含まない。

３．積算条件
裏込材（石積（張））ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
石積・張の区分(P)	裏込材規格(P)
積工	RC-40
	C-40
	各種
張工	RC-40
	C-40
	各種

（注）積算条件：各種の場合
裏込材規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）石積・張については、（Ⅲ-直接-5-30）による。
（２）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-2）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-3）による。
（４）裏込材(石積(張))については、（Ⅲ-直接-5-32）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：法覆護岸工、法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

種子散布

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、法面工、法覆護岸工における種子散布に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）植生工における法面への種子の散布であり、種子に花系及び下表の種子を主体として用いる場合

表１．１　主体種子

主体種子	草本類	外来種	トールフェスク、クリーピングレッドフェスク、オーチャードグラス、ケンタッキーブルーグラス、チモシー、バミューダグラス、ウィーピングラブグラス、バビアグラス、ホワイトクローバー、ペレニアルライグラス、イタリアンライグラス、ベントグラス、レッドトップ
		在来種(郷土種)	ヨモギ、ススキ、イタドリ、メドハギ
	大本類	外来種	イタチハギ
		在来種(郷土種)	ヤマハギ(皮取り)、ヤマハギ(皮付き)、コマツナギ

（注）トールフェスク、オーチャードグラス、チモシー、ウィーピングラブグラス、ペレニアルライグラス、イタリアンライグラス、イタチハギについては環境省が公表する要注意外来生物リスト（外来生物法の規制対象ではないが、適切な取り扱いに理解と協力が必要なもの）に掲載されているものである。

（２）野芝の吹付

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）法面垂直高が 30ｍを超える場合

２．費用内訳

・法面への種子散布、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬の他、現場内小運搬、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、残土等処分、ラス張***は含まない。
・種子飛散や流れ出し防止用の被覆シート設置・撤去は含まない。

３．積算条件

種子散布ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件
種子種類(P)
標準
野芝

４．その他

（１）法面整形については、(Ⅲ-直接-1-23）による。

（２）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。

（３）ラス張については、(Ⅲ-直接-5-51）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工、流路護岸工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

種子散布

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、法面工における種子散布に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）植生工における法面への種子の散布であって、種子に花系及び下表の種子を主体として用いる場合

表１．１　主体種子

主体種子	草本類	外来種	トールフェスク、クリーピングレッドフェスク、オーチャードグラス、ケンタッキーブルーグラス、チモシー、バミューダグラス、ウィーピングラブグラス、バビアグラス、ホワイトクローバー、ペレニアルライグラス、イタリアンライグラス、ベントグラス、レッドトップ
		在来種（郷土種）	ヨモギ、ススキ、イタドリ、メドハギ
	大本類	外来種	イタチハギ
		在来種（郷土種）	ヤマハギ(皮取り)、ヤマハギ(皮付)、コマツナギ

（注）トールフェスク、オーチャードグラス、チモシー、ウィーピングラブグラス、ペレニアルライグラス、イタリアンライグラス、イタチハギについては環境省が公表する要注意外来生物リスト（外来生物法の規制対象ではないが、適切な取り扱いに理解と協力が必要なもの）に掲載されているものである。

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）法面垂直高が 30ｍを超える場合

（２）野芝の吹付

２．費用内訳

・法面への種子散布、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込・運搬の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・繊維ネット、養生（散水養生）は含まない。

・***法面整形、残土等処分、ラス張***は含まない。

・種子飛散や流れ出し防止用の被覆シート設置・撤去は含まない。

３．積算条件

種子散布ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件
施工数量(S)
1000m2 以上
500m2 以上 1000m2 未満
500m2 未満

（注）1.施工数量は、1 工事当りの全体数量とする。
2.顔料の使用の有無に関わらず適用出来る。
3.施工場所（法面部・平面部）に関わらず適用出来る。
4.1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工数量は合計施工数量とする。

４．その他

（１）法面整形については、(Ⅲ-直接-1-24）による。
（２）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（３）ラス張については、(Ⅲ-直接-5-51）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工、流路護岸工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
客土吹付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における客土吹付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）法面垂直高が25m以下の場合
（２）法面部への施工である場合。ただし、法面に一部平面部（小段等）が含まれる施工を含む。
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）法面垂直高が25mを超える場合
（２）平面部のみの施工の場合
（３）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-33）表1.1以外の種子を用いる場合

２．費用内訳
・法面への客土吹付、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、ラス張、繊維ネット、残土等処分***は含まない。
・養生(散水養生)は含まない。

３．積算条件
客土吹付ユニット積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
吹付厚(P)	施工数量(S)
1cm	500m2以上
	500m2未満
2cm	500m2以上
	500m2未満
3cm	500m2以上
	500m2未満

（注）施工数量は1工事当りの全体数量とする。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。

（３）ラス張については、（Ⅲ-直接-5-51）による。
（４）繊維ネットについては、（Ⅲ-直接-5-50）による。
（５）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工、流路護岸工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生基材吹付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生基材吹付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）植生工における法面工への植生基材吹付
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）吹付厚が3cm未満又は10cm超の植生基材吹付
（２）法面垂直高が80mを超える場合
（３）現場発生木材（チップ材等）を使用する場合
（４）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-33）表1.1以外の種子を用いる場合
（５）法枠工における中詰

２．費用内訳
・法面への植生基材吹付、法面清掃、ラス張、アンカーピン設置、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、繊維ネット、残土等処分***は含まない。
・養生(散水養生)は含まない。

３．積算条件
植生基材吹付ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
吹付厚(P)	施工数量(S)	法面垂直高(S)
3cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下
	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下
4cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下
	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下
5cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下

積算条件		
吹付厚(P)	施工数量(S)	法面垂直高(S)
5cm	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下
6cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下
	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下
7cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下
	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下
8cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下
	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下
10cm	500m2以上	40m以下
		40m超80m以下
	500m2未満	40m以下
		40m超80m以下

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.施工数量は植生基材吹付のみの1工事当りの数量であるが、植生基材吹付工と枠内吹付工（植生基材）がある場合は、合計施工数量とする。
3.法面垂直高は、施工基面（機械設置基面）から上面への施工の場合に考慮し、40m以下と40m超80m以下のそれぞれの面積について積算するものとする。
4.施工基面から下面への施工については、全て「40m以下」の区分を適用する。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（２）繊維ネットについては、（Ⅲ-直接-5-50）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生基材吹付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生基材吹付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）植生工における法面への植生基材吹付
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）吹付厚が3cm未満又は10cm超の植生基材吹付
（２）法面垂直高が80mを超える場合
（３）現場発生木材（チップ材等）を使用する場合
（４）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-33）表1.1以外の種子を用いる場合
（５）法枠工における中詰

２．費用内訳
・法面への植生基材吹付、法面清掃、ラス張、アンカーピン設置、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬、養生の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、繊維ネット、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
植生基材吹付ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
吹付厚(P)
3cm
4cm
5cm
6cm
7cm
8cm
10cm

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）繊維ネットについては、（Ⅲ-直接-5-50）による。

（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生シート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生シートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）植生工における法面への植生シートの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-34）表1.1以外の種子を用いる場合
（２）岩盤法面相当に適用する高規格製品(植生基材封入タイプ等)を使用する場合

２．費用内訳
・法面への植生シートの設置、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、残土等処分***は含まない。
・養生(散水養生)は含まない。

３．積算条件
植生シートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
規格(P)	施工数量(S)
標準品	500m2以上
	500m2未満
環境品	500m2以上
	500m2未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.標準品と環境品を使用する場合、施工数量はその合計施工数量とする。
3.植生マットと植生シートを使用する場合、施工数量は、1工事における植生マット、植生シートの合計施工数量とする。
4.植生シートの環境品とは、分解（腐食）型及び循環型（間伐材等使用）製品を対象とし、標準品とは環境品以外の製品を対象とする。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（3）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生シート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生シートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）植生工における法面への植生シートの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-33）表1.1以外の種子を用いる場合
（２）岩盤法面相当に適用する高規格製品(植生基材封入タイプ等)を使用する場合

２．費用内訳
・法面への植生シートの設置、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬、養生の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
植生シートユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生マット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生マットに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）肥料袋付で肥料袋の形状がパイプ状のもの
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）肥料袋付で肥料袋の形状がパイプ状でないもの
（２）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-34）表1.1以外の種子を用いる場合
（３）岩盤法面相当に適用する高規格製品(植生基材封入タイプ等)を使用する場合

２．費用内訳
・法面への植生マットの設置、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、残土等処分***は含まない。
・養生(散水養生)は含まない。

３．積算条件
植生マットユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
施工数量(S)
500m2以上
500m2未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.植生マットと植生シートを使用する場合、施工数量は、1工事における植生マット、植生シートの合計施工数量とする。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生マット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生マットに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）肥料袋付で肥料袋の形状がパイプ状のもの
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）肥料袋付で肥料袋の形状がパイプ状でないもの
（２）主体種子としてユニット区分種子散布（Ⅲ-直接-5-33）表1.1以外の種子を用いる場合
（３）岩盤法面相当に適用する高規格製品(植生基材封入タイプ等)を使用する場合

２．費用内訳
・法面への植生マットの設置、法面清掃、法面清掃で発生する残土の積込み・運搬、養生の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
植生マットユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、河川修繕
工　　種：植栽維持工、腹付工、側帯工
種　　別：樹木・芝生管理工、植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
野芝種子吹付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川維持等における野芝種子吹付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川工事(堤防、高水敷、低水部法面及びこれに準ずる箇所)の法面保護工のうち種子吹付機を使用して野芝種子、肥料、養生材等を同時に吹付ける場合

２．費用内訳
・法面部への野芝種子、肥料、養生材、土壌改良剤、土壌安定剤の吹付け、小型うず巻きポンプ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・法面清掃、被膜シート張、養生(散水養生)は含まない。
・***繊維ネット、法面整形、ラス張***は含まない。

３．積算条件
野芝種子吹付ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）繊維ネットについては、（Ⅲ-直接-5-50）による。
（２）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（３）ラス張については、（Ⅲ-直接-5-51）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生筋

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生筋に適用する。

２．費用内訳
・法面への人工筋芝(種子帯)の設置、土羽部分築立、土羽打・整形、散水養生、耳芝及び肥料等の必要な資材、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：法覆護岸工、法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
張芝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工、法覆護岸工における張芝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）野芝・高麗芝の全面張
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）切土法面に施工する場合
（２）部分張（目地張、千鳥張、市松張）の場合
（３）公園工事の場合
（４）道路植栽工事の場合
（５）耳芝のみの施工の場合

２．費用内訳
・法面への芝の全面張付け、耳芝、目串、施肥の他、現場内小運搬、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・土羽部分築立は含まない。
・***法面整形***は含まない。

３．積算条件
張芝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
芝形状(P)	施工規模(S)
切芝	300m2未満
	300m2以上500m2未満
	500m2以上
ロール芝	300m2未満
	300m2以上500m2未満
	500m2以上

（注）1.施工規模は１工事当りの全体数量とする。
2.土羽厚30cmを標準とする。
3.施工場所（法面部・平面部）に関わらず適用出来る。
4.北海道の張芝の形状はロール芝とし、かけ土作業は含まない（栽培土工芝も適用可）。

４．その他

（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、河川修繕、砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：植栽維持工、腹付工、側帯工、法面工
種　　別：樹木・芝生管理工、植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
張芝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工等における張芝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）野芝・高麗芝の全面張
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）切土法面に施工する場合
（２）部分張（目地張、千鳥張、市松張）の場合
（３）公園工事の場合
（４）道路植栽工事の場合
（５）耳芝のみの施工の場合

２．費用内訳
・法面への芝の全面張付け、耳芝、目串、施肥の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・土羽部分築立は含まない。
・養生（散水）は含まない。
・***法面整形***は含まない。

３．積算条件
張芝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
施工数量(S)
500m2以上
300m2以上500m2未満
300m2未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.土羽厚30cmを標準とする。
3.施工場所（法面部・平面部）に関わらず適用出来る。
4.北海道の張芝の形状はロール芝とし、かけ土作業は含まない（栽培土工芝も適用可）。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、河川維持、河川修繕、砂防えん堤、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法覆護岸工、植栽維持工、腹付工、側帯工、法面工
種　　別：植生工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
筋芝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、筋芝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）法面への筋芝の張付け
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）耳芝のみの施工の場合
（２）切土法面に施工する場合
（３）部分張（目地張、千鳥張、市松張）の場合
（４）公園工事の場合
（５）道路植栽工事の場合

２．費用内訳
・法面への筋芝の張付け、施肥、土羽部分築立、土羽打・整形、耳芝及び肥料等の資材、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、土材料***(土羽土材料費)は含まない。
・養生（散水）は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
施工数量(S)
500m2以上
300m2以上500m2未満
300m2未満

（注）1.施工数量は、筋芝工の１工事当りの全体数量とする。
2.設計数量は、芝の総面積ではなく、対象となる法面の面積とする。
3.土羽厚30cmを標準とする。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。

（３）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、河川維持、河川修繕、砂防えん堤、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法覆護岸工、植栽維持工、腹付工、側帯工、法面工
種　　別：植生工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
市松芝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、平面部に施工する市松芝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）平面部への高麗芝、野芝芝の市松張
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）公園工事の場合
（２）耳芝のみの施工の場合
（３）法面部への芝の市松張

２．費用内訳
・平面部への芝の市松張付け、耳芝、目串、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・養生(散水)、施肥は含まない。

３．積算条件
市松芝ユニットの積算条件区分はない。
（注）現場内小運搬は20m程度までとする。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、砂防えん堤、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法覆護岸工、法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
人工張芝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、人工張芝に適用する。

２．費用内訳
・法面への人工張芝（ネット又はワラ付張芝）の張付け等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（３）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植生穴

積算単位：m2(法面積)
契約単位：m2(法面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における植生穴に適用する。

２．費用内訳
・植生による法面保護における植生穴（地山への根の伸長目的）の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：植生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
繊維ネット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における繊維ネットに適用する。

２．費用内訳
・法面への繊維ネット張等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、斜面対策、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法覆護岸工、植栽維持工、腹付工、側帯工、裏法被覆工、法面工
種　　別：植生工、樹木・芝生管理工、法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ラス張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、ラス張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）吹付枠、客土吹付、種子散布で使用するラス張の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）法面垂直高が40ｍを超える場合

２．費用内訳
・ラス・アンカーピン(全面張)の設置、法面清掃(簡易清掃及び補修)、残土積込、残土運搬、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、吹付枠、客土吹付、種子散布、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
ラス張ユニット積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
施工数量(S)	法面清掃の有無(P)
1000m2以上	有り
	無し
500m2以上1000m2未満	有り
	無し
500m2未満	有り
	無し

（注）1.施工数量は1工事の全体数量とする。
2.法面清掃「有り」は吹付枠においてラス張を施工する場合に適用する。
3.法面清掃「無し」は、客土吹付、種子散布においてラス張を施工する場合に適用する。この場合、法面清掃と、その際発生する残土の積込み・運搬費用を含まない。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（３）吹付枠については、（Ⅲ-直接-5-59）による。

（４）客土吹付については、（Ⅲ-直接-5-35）による。
（５）種子散布については、（Ⅲ-直接-5-33）による。
（６）種子散布については、（Ⅲ-直接-5-34）による。
（７）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：法覆護岸工、法面工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
法面吹付工

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工、法覆護岸工における法面吹付工に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）法面垂直高が45m以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）法面垂直高が45mを超える場合
（２）溶接金網を使用する場合
（３）法枠工における中詰
（４）オーバーハングの法面への施工
（５）雪寒仮囲い等の特殊養生が必要な場合
（６）吹付けホースの延長が100mを超える場合

２．費用内訳
・法面へのモルタル吹付、コンクリート吹付、法面清掃、ラス張、アンカーピン設置、法面清掃で発生する残土積込・残土運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・補強鉄筋が必要な場合の補強鉄筋は含まない。
・***法面整形***は含まない。
・法枠工における***中詰***は含まない。
・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
法面吹付工ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
吹付厚(P)
5～7cm
8～10cm
15cm
20cm

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）中詰については、（Ⅲ-直接-5-61）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：法面吹付工、吹付工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
モルタル吹付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるモルタル吹付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）法面垂直高が45m以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）法面垂直高が45mを超える場合
（２）溶接金網を使用する場合
（３）法枠工における中詰
（４）オーバーハングの法面への施工
（５）雪寒仮囲い等の特殊養生が必要な場合
（６）吹付けホースの延長が100mを超える場合

２．費用内訳
・法面へのモルタル吹付、法面清掃、ラス張、アンカーピン設置、法面清掃で発生する残土積込・残土運搬、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・補強鉄筋が必要な場合の補強鉄筋は含まない。
・***法面整形***は含まない。
・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
モルタル吹付ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
吹付厚(P)	施工数量(S)
5cm	500m2以上
	500m2未満
6cm	500m2以上
	500m2未満
7cm	500m2以上
	500m2未満
8cm	500m2以上
	500m2未満
9cm	500m2以上
	500m2未満

積算条件	
吹付厚(P)	施工数量(S)
10cm	500m2以上
	500m2未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.1工事において、同種の吹付に限り、施工数量は合計施工数量で判定する。

４．その他

（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。

（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：法面吹付工、吹付工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート吹付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるコンクリート吹付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）法面垂直高が45mを以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）法面垂直高が45mを超える場合
（２）溶接金網を使用する場合
（３）法枠工における中詰
（４）オーバーハングの法面への施工
（５）雪寒仮囲い等の特殊養生が必要な場合
（６）吹付けホースの延長が100mを超える場合

２．費用内訳
・法面へのコンクリート吹付、法面清掃、ラス張、アンカーピン設置、法面清掃で発生する残土積込・残土運搬、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・補強鉄筋が必要な場合の補強鉄筋は含まない。
・***法面整形***は含まない。
・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
コンクリート吹付ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
吹付厚(P)	施工数量(S)
10cm	500m2以上
	500m2未満
15cm	500m2以上
	500m2未満
20cm	500m2以上
	500m2未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.1工事において、同種の吹付に限り、施工数量は合計施工数量で判定する。

４．その他

（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。

（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
法枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における法枠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャスト法枠の場合
（２）吹付枠の場合

２．費用内訳
・法枠の設置作業(コンクリート、型枠、鉄筋、吸出し防止材、アンカー設置、敷砂利、プレキャスト法枠設置、間詰コンクリート充填、ラス張、枠設置、枠吹付、足場の設置・撤去、養生)の他、バイブレータ、コンクリートバケット損料、養生材、型枠材、目地材、足場仮設材及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、中詰、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）中詰については、（Ⅲ-直接-5-61）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
法枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における法枠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャスト法枠の場合
（２）吹付枠の場合
（３）現場打法枠の場合

２．費用内訳
・法枠の設置作業(コンクリート、型枠、鉄筋、吸出し防止材、アンカー設置、敷砂利、プレキャスト法枠設置、間詰コンクリート充填、ラス張、枠設置、枠吹付、足場の設置・撤去、養生）、現場内小運搬の他、バイブレータ、コンクリートバケット損料、養生材、型枠材、目地材、足場仮設材及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***法面整形、中詰、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）中詰については、（Ⅲ-直接-5-61）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、法面工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場打法枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における現場打法枠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）吹付枠によらない現場打法枠の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャスト法枠の場合
（２）吹付枠の場合

２．費用内訳
・現場打法枠(法勾配1：0.3～1：2.0)の設置、吸出し防止材敷設・敷砂利投入、アンカー設置、型枠(水抜パイプの設置、はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋(荷卸、現場内小運搬、加工、組立)、コンクリート打設、養生、中詰材設置、シュート、ホッパの架設・移設の他、雑機械器具(シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット、電気ドリル、電動ノコギリ)の損料、養生材料、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、目地材、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水抜パイプの材料費は含まない。
・土羽部分築立、養生(散水養生)は含まない。
・***法面整形、土材料、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（２）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、法面工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャスト法枠

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるプレキャスト法枠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）プレキャストブロック（質量1,400kg／個未満）による法枠の場合

２．費用内訳
・プレキャスト法枠（質量1,400kg/個未満）の設置、敷砂利投入、間詰（充填コンクリート）投入、中詰材（ブロック、客土、植生土のう、割石又は栗石、砕石）設置、足場の設置・撤去、現場内小運搬の他、アンカー、吸出し防止材、間詰（充填コンクリート）材料費、目地材の費用、バイブレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、法面工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

吹付枠

積算単位:m(法枠長)
契約単位:m(法枠長)

１．適用範囲

本資料は、法面工における吹付枠に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）吹付枠による法枠

（２）金網メッシュ、プラスチック、ダンボール等の自由に変形可能な型枠鉄筋のプレハブ部材を用い、鉄筋を含む吹付枠

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）法面垂直高が 40m を超える場合

（２）梁の断面が正方形以外の場合

（３）基本的外観形状が矩形（正方形、長方形）以外の場合

（４）プレキャスト製品による場合

２．費用内訳

・吹付枠(モルタル・コンクリート)の設置作業、型枠、鉄筋、アンカー設置、養生、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・目地は含まない。
・ロックボルト、グランドアンカーは含まない。
・雪寒仮囲い等、特殊養生が必要な場合の特殊養生は含まない。
・***ラス張、中詰***は含まない。

３．積算条件

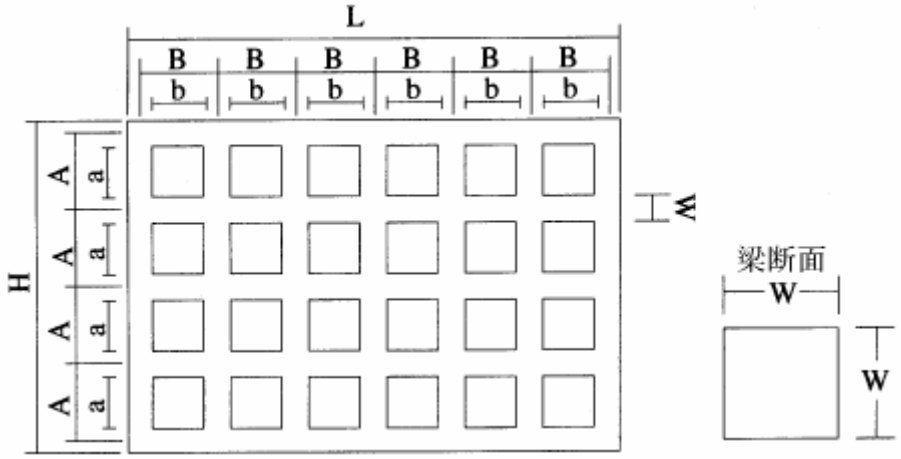
吹付枠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
梁断面 150×150	500m 以上
	250m 以上 500m 未満
	250m 未満
梁断面 200×200	500m 以上
	250m 以上 500m 未満
	250m 未満

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
梁断面 300×300	500m 以上
	250m 以上 500m 未満
	250m 未満
梁断面 400×400	500m 以上
	250m 以上 500m 未満
	250m 未満
梁断面 500×500	500m 以上
	250m 以上 500m 未満
	250m 未満
梁断面 600×600	500m 以上
	250m 以上 500m 未満
	250m 未満

（注）1. 施工数量は、コンクリート吹付、モルタル吹付を問わず 1 工事の全体数量とする。
2. 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。



計算方法

縦枠：Ｈ×｛(Ｌ－W)÷Ｂ＋1｝

横枠：ｂ×｛(Ｌ－W)÷Ｂ｝×｛(Ｈ－W)÷Ａ＋1｝

４．その他

（１）ラス張については、(Ⅲ-直接-5-51）による。

（２）中詰については、(Ⅲ-直接-5-62）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：法面施肥工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
法面施肥

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における法面施肥に適用する。

２．費用内訳
・法面施肥の他、給水用ポンプの損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：法覆護岸工、法面工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中詰

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工、法覆護岸工における中詰に適用する。

２．費用内訳
・法枠内への中詰コンクリート、中詰モルタル設置、植生基材吹付、養生、現場内小運搬、法面清掃、残土積込、残土運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・植生基材の場合の散水養生、モルタルの場合の特殊養生は含まない。
・補強鉄筋は含まない。
・***法面整形***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：裏法被覆工、法面工
種　　別：法枠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中詰

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における中詰に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）中詰め材がモルタル及び植生基材の場合
（２）法枠工の中詰
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）モルタルの場合は、法面垂直高が45mを超える場合、溶接金網を使用する場合
（２）吹付枠の梁断面が正方形以外の場合
（３）吹付枠の基本的外観形状が矩形(正方形、長方形)以外の場合
（４）中詰め材が客土、石材、コンクリート等の場合
（５）吹付けホースの延長が100mを超える場合

２．費用内訳
・吹付枠内への中詰モルタル設置、植生基材吹付、養生、現場内小運搬、法面清掃、残土積込、残土運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・植生基材の場合の散水養生、モルタルの場合の特殊養生は含まない。
・補強鉄筋は含まない。
・***法面整形、ラス張***は含まない。

３．積算条件
中詰ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
吹付材種類(P)	吹付厚(P)	施工数量(S)	法面垂直高(S)
モルタル	5cm	500m2以上	—
		500m2未満	—
	6cm	500m2以上	—
		500m2未満	—
	7cm	500m2以上	—
		500m2未満	—
	8cm	500m2以上	—
		500m2未満	—
	9cm	500m2以上	—
		500m2未満	—

積算条件			
吹付材種類(P)	吹付厚(P)	施工数量(S)	法面垂直高(S)
モルタル	10cm	500m2以上	—
		500m2未満	—
植生基材	3cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下
	4cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下
	5cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下
	6cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下
	7cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下
	8cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下
	10cm	500m2以上	40m以下
			40m超80m以下
		500m2未満	40m以下
			40m超80m以下

（注）1. 施工数量は、モルタル吹付、植生基材吹付のそれぞれ1工事の全体数量とする。
2. 法面垂直高は、施工基面から上面に施工する場合の高さとする。
3. モルタルの場合
・施工数量は中詰のみの1工事当りの数量であるが、モルタル吹付と中詰がある場合は、合計施工数量とする。
・補強鉄筋が必要な場合は別途計上する。
・オーバーハングの法面は別途積算とする。
4. 植生基材の場合
・施工数量は中詰のみの1工事当りの数量であるが、植生基材吹付と中詰がある場合は、合計施工数量とする。

・法面垂直高は施工基面（機械設置基面）から上面への施工の場合に考慮し、40m以下と40m超80m以下のそれぞれの面積について積算するものとする。
・施工基面から下面への施工については、全て「40m以下」の区分を適用する。
・法面部への施工を標準とするが、法面に一部平面部（小段等）が含まれる施工にも適用出来る。ただし、平面部のみの施工には適用出来ない。

４．その他

（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-23）による。

（２）ラス張については、（Ⅲ-直接-5-51）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アンカー

積算単位：m(削孔長)
契約単位：m(削孔長)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるアンカーに適用する。

２．費用内訳
・グランドアンカーの設置、アンカー孔の削孔、足場設置・撤去、ボーリングマシン移設の他、アンカー鋼材の加工・組立・挿入、緊張・定着・頭部処理、グラウト注入等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
削孔（アンカー）

積算単位：m(削孔長)
契約単位：m(削孔長)

１．適用範囲
本資料は、削孔（アンカー）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳
・アンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔水用ポンプ、給水用ポンプ、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・泥水処理は含まない。
・***ボーリングマシン移設(アンカー)、足場(アンカー)***は含まない。

３．積算条件
削孔（アンカー）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
材料区分(S)	呼び径(P)	土質(P)
単管方式	90㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土
		玉石混り土
	115㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土
		玉石混り土
	135㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土
		玉石混り土
二重管方式	90㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土
		玉石混り土
		軟岩
		硬岩(コンクリート含む)
	115㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土

積算条件		
材料区分(S)	呼び径(P)	土質(P)
二重管方式	115㎜	玉石混り土
		軟岩
		硬岩(コンクリート含む)
	135㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土
		玉石混り土
		軟岩
		硬岩(コンクリート含む)
	146㎜	粘性土･砂質土
		レキ質土
		玉石混り土
		軟岩
		硬岩(コンクリート含む)

４．その他

（１）ボーリングマシン移設(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-68）による。

（２）足場(アンカー)については、（Ⅲ-直接-16-2）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、アンカー鋼材加工・組立・挿入（アンカー）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳
・アンカー鋼材の現場加工・組立（シース、防錆剤、止水部及びスペーサの取付け）、孔内挿入、現場内小運搬の他、切断機損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***アンカー工材料費（アンカー）、削孔（アンカー）、アンカー鋼材挿入（工場加工・組立）（アンカー）***は含まない。

３．積算条件
アンカー鋼材加工・組立・挿入（アンカー）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
防食方式(P)	アンカー鋼材種類(P)	アンカー削孔長(P)	アンカー設計荷重(f)(P)
二重防食	PC鋼線より線	10m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)
		10mを超え20m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)
		20mを超える	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)
	複合PC鋼線より線束	10m以内	f＜400kN(40.8t)

積算条件			
防食方式(P)	アンカー鋼材種類(P)	アンカー削孔長(P)	アンカー設計荷重(f)(P)
二重防食	複合PC鋼線より線束	10m以内	400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
		10mを超え20m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
		20mを超える	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
各種	PC鋼線より線	10m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
		10mを超え20m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
		20mを超える	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
	複合PC鋼線より線束	10m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
		10mを超え20m以内	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)
		20mを超える	f＜400kN(40.8t)
			400kN(40.8t) ≦f＜1300kN(132.7t)
			1300kN(132.7t) ≦f＜2000kN(204.1t)

（注）積算条件：防食方式「各種」の選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
防食方式：各種（文字入力）

４．その他

（１）アンカー工材料費(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-70）による。

（２）削孔(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-64）による。

（３）アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-66）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

アンカー鋼材挿入（工場加工・組立）（アンカー）

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲

本資料は、アンカー鋼材挿入（工場加工・組立）（アンカー）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳

・アンカー鋼材(工場加工・組立)の孔内挿入、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***アンカー工材料費(アンカー)、削孔(アンカー)、アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)***は含まない。

３．積算条件

アンカー鋼材挿入（工場加工・組立）（アンカー）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
防食方式(P)
二重防食
簡易防食

４．その他

（１）アンカー工材料費(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-70）による。
（２）削孔(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-64）による。
（３）アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-65）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グラウト注入（アンカー）

積算単位：m3(注入量)
契約単位：m3(注入量)

１．適用範囲
本資料は、グラウト注入（アンカー）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳
・アンカー孔内へのグラウト注入打設、注入材料の他、グラウトミキサ、グラウトポンプ、水中ポンプ、サンドポンプ、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
グラウト注入（アンカー）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボーリングマシン移設（アンカー）

積算単位：回(回数)
契約単位：回(回数)

１．適用範囲
本資料は、ボーリングマシン移設(アンカー)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳
・スキッド型ボーリングマシンの移設(据付け・撤去及び上下移動)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***削孔(アンカー)、足場(アンカー)***は含まない。

３．積算条件
ボーリングマシン移設（アンカー）ユニットの積算条件区分はない。

（注）横移動は、削孔（アンカー）に含む。

４．その他
（１）削孔(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-64）による。
（２）足場(アンカー)については、（Ⅲ-直接-16-2）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
緊張・定着・頭部処理（アンカー）

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、緊張・定着・頭部処理（アンカー）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳
・アンカー鋼材の緊張(緊張ジャッキで所定の緊張力(荷重)をかける)、定着(クサビ及びナット等で定着)、頭部処理(頭部背面処理を含む)の他、緊張ジャッキ、油圧ポンプ損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
緊張・定着・頭部処理（アンカー）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
頭部処理の有無(P)	アンカー設計荷重(f)(P)
有り	f＜400kN(40.8t)
	400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)
	1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)
無し	f＜400kN(40.8t)
	400kN(40.8t)≦f＜1300kN(132.7t)
	1300kN(132.7t)≦f＜2000kN(204.1t)

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

アンカー工材料費（アンカー）

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、アンカー工材料費（アンカー）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達するグランドアンカー工法の場合

２．費用内訳
・アンカー工材料の購入に要する全ての費用(現着単価)を含む。

３．積算条件
アンカー工材料費（アンカー）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
鋼材種別(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
鋼材種別：各種（文字入力）

４．その他
（１）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストコンクリート板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるプレキャストコンクリート板に適用する。

２．費用内訳
・斜面の崩壊や地滑りの防止及び法面の安定化を図る施工におけるプレキャストコンクリート板の設置、特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***アンカー***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）アンカーについては、（Ⅲ-直接-5-63）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャストコンクリート板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるプレキャストコンクリート板に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）プレキャストコンクリート板が、クロスタイプ、セミスクエアタイプ、スクエアタイプの場合

２．費用内訳
・斜面の崩壊や地滑りの防止及び法面の安定化を図る施工におけるプレキャストコンクリート板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・裏込工は含まない。
・ジョイント処理及び目地工は含まない。
・特許使用料は含まない。
・***削孔(アンカー)、アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)、アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)(アンカー)、グラウト注入(アンカー)、ボーリングマシン移設(アンカー)、緊張・定着・頭部処理(アンカー)、アンカー工材料費(アンカー)、足場(アンカー)***は含まない。

３．積算条件
プレキャストコンクリート板ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
フレームタイプ(P)	1列当り平均据付枚数(S)
クロスタイプ	20枚未満
	20枚以上30枚未満
	30枚以上
セミスクエアタイプ・スクエアタイプ	20枚未満
	20枚以上30枚未満
	30枚以上

（注）1.1列当り平均据付枚数＝総据付枚数÷施工列数
2.1列当り平均据付枚数は1工事単位とする。

４．その他

（１）削孔(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-64）による。

（２）アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-65）による。

（３）アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-66）による。

（４）グラウト注入(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-67）による。

（５）ボーリングマシン移設(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-68）による。

（６）緊張・定着・頭部処理(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-69）による。

（７）アンカー工材料費(アンカー)については、（Ⅲ-直接-5-70）による。

（８）足場(アンカー)については、（Ⅲ-直接-16-2）による。

（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鉄筋挿入

積算単位：m(削孔長)
契約単位：m(削孔長)

１．適用範囲
本資料は、法面工における鉄筋挿入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）削孔に要する重機が搬入可能な場合：削孔長１ｍ以上５ｍ以下、削孔径42㎜以上65㎜以下、法面垂直高さ30ｍ以下の場合
（２）削孔が仮設足場（単管足場）又は土足場となる場合：削孔長１ｍ以上５ｍ以下、削孔径42㎜以上65㎜以下、法面垂直高さ40ｍ以下（ただし、機械設置基面から削孔位置までの高さが１ｍ以下）の場合
（３）削孔がロープ足場（命綱）となる場合：削孔長１ｍ以上２ｍ以下、削孔径42㎜以上50㎜以下、法面垂直高さ40ｍ以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自穿孔材による施工の場合
（２）逆巻き施工の場合
（３）土質が硬岩、玉石混土を含む場合
（４）削孔後の孔壁が自立しない場合

２．費用内訳
・法面における鉄筋挿入(斜面の崩壊を防ぐため、補強材として地中内へ設置)、削孔機械据付・移動(上下、横)・撤去、足場設置・撤去、削孔、グラウト注入、頭部処理(ナットの締付け費用を含む)、削孔用のドリルロッド、ビット、シャンクロッド及びスリーブ損耗費、鋼材、グラウト材、頭部処理の材料費、チェーンブロックの損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・削孔機械の現場への搬入・搬出は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鉄筋挿入

積算単位：m(削孔長)
契約単位：m(削孔長)

１．適用範囲
本資料は、法面工における鉄筋挿入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）削孔に要する重機が搬入可能な場合：削孔長１ｍ以上５ｍ以下、削孔径42㎜以上65㎜以下、法面垂直高さ30ｍ以下の場合
（２）削孔が仮設足場（単管足場）又は土足場となる場合：削孔長１ｍ以上５ｍ以下、削孔径42㎜以上65㎜以下、法面垂直高さ40ｍ以下（ただし、機械設置基面から削孔位置までの高さが１ｍ以下）の場合
（３）削孔がロープ足場（命綱）となる場合：削孔長１ｍ以上２ｍ以下、削孔径42㎜以上50㎜以下、法面垂直高さ40ｍ以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自穿孔材による施工の場合
（２）逆巻き施工の場合
（３）土質が硬岩、玉石混土を含む場合
（４）削孔後の孔壁が自立しない場合

２．費用内訳
・法面における鉄筋挿入(斜面の崩壊を防ぐため、補強材として地中内へ設置)、削孔機械据付・移動(上下、横)・撤去、削孔、グラウト注入、頭部処理(ナットの締付け費用を含む)、削孔用のドリルロッド、ビット、シャンクロッド及びスリーブ損耗費、鋼材、グラウト材、頭部処理の材料費、チェーンブロックの損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・削孔機械の現場への搬入・搬出は含まない。
・***足場(鉄筋挿入)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場(鉄筋挿入)については、（Ⅲ-直接-16-3）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：プレキャスト擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストＬ型擁壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲

本資料は、擁壁工、擁壁護岸工におけるプレキャストＬ型擁壁に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）プレキャストＬ型擁壁の設置

（２）製品長が２ｍの場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）天端勾配カット擁壁、ブロック分割型擁壁、嵩上品等の特殊な擁壁の設置

（２）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳

・プレキャストＬ型擁壁設置、基礎砕石(敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費)、均しコンクリート(コンクリート・養生材料費、打設・養生労務、電力に関する経費、シュート、ホッパ、バイブレータ損料)、型枠（型枠材料費、型枠製作・設置・撤去労務、はく離剤塗布及びケレン）養生、ブロック接合、現場内小運搬、敷モルタル、目地材、目地モルタル、排水材、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件

プレキャストＬ型擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
土質(P)	擁壁高さ(P)
土砂	0.5m超1.0m以下
	1.0m超1.5m以下
	1.5m超2.0m以下
	2.0m超2.5m以下
	2.5m超3.0m以下
	3.0m超3.5m以下
	3.5m超4.0m以下
	4.0m超4.5m以下
	4.5m超5.0m以下
	各種
岩塊・玉石混り土	0.5m超1.0m以下

積算条件	
土質(P)	擁壁高さ(P)
岩塊・玉石混り土	1.0m超1.5m以下
	1.5m超2.0m以下
	2.0m超2.5m以下
	2.5m超3.0m以下
	3.0m超3.5m以下
	3.5m超4.0m以下
	4.0m超4.5m以下
	4.5m超5.0m以下
	各種
軟岩	0.5m超1.0m以下
	1.0m超1.5m以下
	1.5m超2.0m以下
	2.0m超2.5m以下
	2.5m超3.0m以下
	3.0m超3.5m以下
	3.5m超4.0m以下
	4.0m超4.5m以下
	4.5m超5.0m以下
	各種
硬岩	0.5m超1.0m以下
	1.0m超1.5m以下
	1.5m超2.0m以下
	2.0m超2.5m以下
	2.5m超3.0m以下
	3.0m超3.5m以下
	3.5m超4.0m以下
	4.0m超4.5m以下
	4.5m超5.0m以下
	各種

（注）1.現場内小運搬の距離は10m程度とする。
2.積算条件：擁壁高さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
擁壁高さ：各種（実数入力（m））
3.土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記するものとする。

工事区分：斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工
種　　別：プレキャスト擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストＬ型擁壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工におけるプレキャストＬ型擁壁に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）擁壁の高さ：0.5m以上5.0m以下の場合
（２）ブロック単体の長さ：2.0m／個の場合

２．費用内訳
・プレキャストＬ型擁壁設置、基礎砕石(敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費)、均しコンクリート(コンクリート・養生材料費、打設・養生労務、電力に関する経費、シュート、ホッパ、バイブレータ損料)、型枠(型枠材料費、型枠製作・設置・撤去労務、はく離剤塗布及びケレン)、養生、ブロック接合、現場内小運搬、敷モルタル、目地モルタル、排水材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ペーラインコンクリートは含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
プレキャストＬ型擁壁ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
擁壁高さ(P)	擁壁高さ区分(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)
各種	0.5m以上1.0m以下	有り	有り
			無し
		無し	有り
			無し
	1.0m超2.0m以下	有り	有り
			無し
		無し	有り
			無し
	2.0m超3.5m以下	有り	有り
			無し
		無し	有り

積算条件			
擁壁高さ(P)	擁壁高さ区分(S)	基礎砕石の有無(P)	均しコンクリートの有無(P)
各種	2.0m超3.5m以下	無し	無し
	3.5m超5.0m以下	有り	有り
			無し
		無し	有り
			無し

（注）1.擁壁高さについて、製品を斜めにカットしたタイプの擁壁ブロック高さは中央値を採用する。
2.積算条件：各種の場合
擁壁高さ（m）：各種（実数入力）

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：プレキャスト擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャスト逆Ｔ型擁壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工におけるプレキャスト逆Ｔ型擁壁に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト逆Ｔ型擁壁設置、基礎砕石(敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費)、均しコンクリート(コンクリート・養生材料費、打設・養生労務、電力に関する経費、シュート、ホッパ、バイブレータ損料)、型枠（型枠材料費、型枠製作・設置・撤去労務、はく離剤塗布及びケレン）、養生、ブロック接合、現場内小運搬、敷モルタル、目地材、目地モルタル、排水材、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工
種　　別：プレキャスト擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャスト逆Ｔ型擁壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工におけるプレキャスト逆Ｔ型擁壁に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト逆Ｔ型擁壁設置、基礎砕石(敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費)、基礎栗石、均しコンクリート(コンクリート・養生材料費、打設・養生労務、電力に関する経費、シュート、ホッパ、バイブレータ損料)、型枠(型枠材料費、型枠製作・設置・撤去労務、はく離剤塗布及びケレン)、養生、ブロック接合、現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、排水材の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ペーラインコンクリートは含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良
工　　種：擁壁護岸工、擁壁工
種　　別：プレキャスト擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
側溝付プレキャスト擁壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工、擁壁護岸工における側溝付プレキャスト擁壁に適用する。

２．費用内訳
・側溝付プレキャスト擁壁設置、基礎砕石(敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費)、均しコンクリート(コンクリート・養生材料費、打設・養生労務、電力に関する経費、シュート、ホッパ、バイブレータ損料)、型枠(型枠材料費、型枠製作・設置・撤去労務、はく離剤塗布及びケレン）、養生、ブロック接合、現場内小運搬、敷モルタル、目地材、目地モルタル、排水材、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：擁壁工
種　　別：プレキャスト擁壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
側溝付プレキャスト擁壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工における側溝付プレキャスト擁壁に適用する。

２．費用内訳
・側溝付プレキャスト擁壁設置、基礎砕石(敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費)、基礎栗石、均しコンクリート(コンクリート・養生材料費、打設・養生労務、電力に関する経費、シュート、ホッパ、バイブレータ損料)、型枠（型枠材料費、型枠製作・設置・撤去労務、はく離剤塗布及びケレン）、養生、ブロック接合、現場内小運搬、敷モルタル、目地モルタル、排水材の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ペーラインコンクリートは含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：擁壁工
種　　別：補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
テールアルメ

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工におけるテールアルメに適用する。

２．費用内訳
・壁面材、補強材、排水材、基礎材の設置、補強土壁工盛土(敷均し、締固め)、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、消耗材、天端コンクリート(壁面上端処理)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・***路体(築堤)盛土***及び***路床盛土***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。
（５）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：擁壁工
種　　別：補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
多数アンカー

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工における多数アンカーに適用する。

２．費用内訳
・壁面材、補強材、排水材、基礎材の設置、補強土壁工盛土(敷均し、締固め)、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、消耗材、壁面上端処理等、その施工に要する全ての費用を含む。

・購入土の場合の***土材料***は含まない。
・土取場(仮置場)における採取土等の***積込(ルーズ)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・***路体(築堤)盛土***及び***路床盛土***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-18）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（４）路体(築堤)盛土については、（Ⅲ-直接-1-11）による。
（５）路床盛土については、（Ⅲ-直接-1-13）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：擁壁工
種　　別：補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
壁面材組立設置（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、補強土壁工における壁面材組立設置（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）補強土壁工（テールアルメ工、多数アンカー工）におけるコンクリート製壁面材（テールアルメ工においては薄型壁面材を含む）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）鋼製壁面材の場合

２．費用内訳
・テールアルメ、多数アンカーを用いた補強土壁における壁面材の組立・設置、透水防砂材設置の他、壁面材、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナット、クランプ、くさび、スペーサ、角材、支柱、カップラー、ワイヤ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)、敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)***は含まない。
・***暗渠排水管敷設(地下排水)***は含まない。
・***型枠、鉄筋、ガス圧接、コンクリート、足場***は含まない。
・***土材料、押土（ルーズ）、積込（ルーズ）、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
壁面材組立設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)については、（Ⅲ-直接-5-84）による。
（２）敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)については、（Ⅲ-直接-5-85）による。
（３）暗渠排水管敷設(地下排水)については、（Ⅲ-直接-5-157）による。
（４）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。
（７）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（８）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（９）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。

(10) 押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
(11) 積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
(12) 土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
(13) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：擁壁工
種　　別：補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
補強材取付（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、補強土壁工における補強材取付（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）補強土壁工（テールアルメ工、多数アンカー工）におけるコンクリート製壁面材（テールアルメ工においては薄型壁面材を含む）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）鋼製壁面材の場合

２．費用内訳
・テールアルメ、多数アンカーを用いた補強土壁における補強材の取付け、アンカープレートの設置調整の他、補強材、アングル、ターンバックル、アンカープレート等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***壁面材組立設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)、敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)***は含まない。
・***暗渠排水管敷設(地下排水)***は含まない。
・***型枠、鉄筋、ガス圧接、コンクリート、足場***は含まない。
・***土材料、押土（ルーズ）、積込（ルーズ）、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
　補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）壁面材組立・設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)については、（Ⅲ-直接-5-83）による。
（２）敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)については、（Ⅲ-直接-5-85）による。
（３）暗渠排水管敷設(地下排水)については、（Ⅲ-直接-5-157）による。
（４）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。
（７）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（８）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（９）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（10）押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。

(11) 積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
(12) 土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
(13) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：擁壁工
種　　別：補強土壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
敷均し・締固め（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、補強土壁工における敷均し・締固め（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）補強土壁工（テールアルメ工、多数アンカー工）におけるコンクリート製壁面材（テールアルメ工においては薄型壁面材を含む）の場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）鋼製壁面材の場合

２．費用内訳
・テールアルメ、多数アンカーを用いた補強土壁における敷均し、締固めの他、振動ローラ、タンパの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***壁面材組立設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)、補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)***は含まない。
・***暗渠排水管敷設(地下排水)***は含まない。
・***型枠、鉄筋、ガス圧接、コンクリート、足場***は含まない。
・***土材料、押土（ルーズ）、積込（ルーズ）、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
　敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)ユニットの積算条件区分はない。

（注）施工量の範囲は、壁面材上端までと補強材後部までの盛土を対象とする。

４．その他
（１）壁面材組立・設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)については、（Ⅲ-直接-5-83）による。
（２）敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)については、（Ⅲ-直接-5-85）による。
（３）暗渠排水管敷設(地下排水)については、（Ⅲ-直接-5-157）による。
（４）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。
（７）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（８）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（９）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。

(10) 押土(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-16）による。
(11) 積込(ルーズ)については、（Ⅲ-直接-1-19）による。
(12) 土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
(13) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：擁壁工
種　　別：井桁ブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
井桁ブロック基礎

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工における井桁ブロック基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）組立法長が20m以下の場合

２．費用内訳
・井桁ブロック基礎のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、圧送管の組立・撤去、現場内小運搬、養生の他、養生材、型枠材、組立支持材、はく離剤等の材料費、雑機械器具(シュート、ホッパ、バイブレータ、電気ドリル、電気ノコギリ等)の損料、電力に関する経費、型枠持上(下)げ機械運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・保温養生等の特別な養生に必要な費用は含まない。
・***法面整形、床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し***は含まない。
・***鉄筋***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（２）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（３）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（４）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：擁壁工
種　　別：井桁ブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
井桁ブロック

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、擁壁工における井桁ブロックに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）組立法長が20m以下の場合

２．費用内訳
・井桁ブロックの設置、鉄筋加工・組立、中詰材設置、吸出し防止材設置、裏込砕石、天端砕石、現場内小運搬、足場及び手摺の設置・撤去の他、足場材損料、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。
・***法面整形、基礎砕石(基礎材)、床掘り(岩石)、床掘り(土砂)、埋戻し***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）現場打基礎
（２）プレキャスト基礎
（３）天端コンクリート
（４）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（５）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（６）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（７）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（８）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（９）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装準備工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
不陸整正（車道部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における不陸整正（車道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）舗装準備工における車道部の路盤・路床面等の不陸整正
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部の路盤・路床面の不陸整正

２．費用内訳
・路盤・路床面等の不陸整正(補足材料がある場合も含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
不陸整正（車道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
補足材料の有無(P)	補足材料平均厚さ(P)	補足材料(P)
無し	―	―
有り	25㎜未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	25㎜以上75㎜未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	75㎜以上125㎜未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	125㎜以上175㎜未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	175㎜以上200㎜以下	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	200㎜超225㎜未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種

積算条件		
補足材料の有無(P)	補足材料平均厚さ(P)	補足材料(P)
有り	225㎜以上275㎜未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	各種	RC-40・30
		C-40・30
		各種

（注）積算条件：補足材料平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
補足材料平均厚さ：各種(実数入力（㎜））
積算条件：補足材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
補足材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付帯道路工
種　　別：舗装準備工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
不陸整正

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、付帯道路工における不陸整正に適用する。

２．費用内訳
・路盤・路床面等の不陸整正(補足材料がある場合も含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
不陸整正ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
補足材料の有無(P)	補足材料平均厚さ(P)	補足材料(P)
有り	25mm未満	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
	25mm以上75mm未満	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
	75mm以上125mm未満	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40

積算条件		
補足材料の有無(P)	補足材料平均厚さ(P)	補足材料(P)
有り	75mm以上125mm未満	M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
	125mm以上175mm未満	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
	175mm以上200mm以下	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
	200mm超225mm未満	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
	225mm以上275mm未満	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種

積算条件		
補足材料の有無(P)	補足材料平均厚さ(P)	補足材料(P)
有り	各種	C-30
		C-40
		RC-30
		RC-40
		M-30
		M-40
		RM-30
		RM-40
		各種
無し	―	―

（注）積算条件：各種の場合
補足材料平均厚さ：各種（実数入力（㎜））
補足材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：路面補修工
種　　別：不陸整正工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
不陸整正･締固め

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、路面補修工における不陸整正･締固めに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防の管理用通路における天端補修の場合

２．費用内訳
・管理用通路等の天端補修における不陸整正、補修材敷均し、締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装準備工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
調整コンクリート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における調整コンクリートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）橋梁の歩道部等の舗装準備として行う調整コンクリート
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・橋梁(歩道を含む)等の舗装準備として行う調整コンクリートのコンクリート、型枠、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
調整コンクリートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
平均敷厚(P)
25㎜未満
25㎜以上75㎜未満
75㎜以上125㎜未満
125㎜以上175㎜未満
175㎜以上225㎜未満
225㎜以上275㎜未満
275㎜以上325㎜未満
325㎜以上375㎜未満
375㎜以上425㎜未満
425㎜以上475㎜未満
各種

（注）積算条件：平均敷厚「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均敷厚：各種(実数入力（㎜））

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：橋面防水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
橋面防水

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における防水（橋梁の床版部に行なうものでドレーン又は目地材がある場合を含む）等に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）橋梁の床版部に行なう防水（ドレーン又は目地材がある場合を含む）等
（２）防水の種類は、シート防水、塗膜防水
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）シート防水、塗膜防水以外の防水の場合

２．費用内訳
・防水(橋梁の床版部に行うものでドレーン又は目地材がある場合も含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
橋面防水ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
防水工種類(P)
シート防水
塗膜防水

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

アスファルト舗装工(車道部)

積算単位：m2(表層面積)
契約単位：m2(表層面積)

１．適用範囲

本資料は、舗装工、付帯道路工におけるアスファルト舗装工（車道部）に適用する。

なお、路肩部については、舗装構成が車道部と同一の場合においてのみ路肩部に適用出来る。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）性能規定型発注の場合（材料を指定する場合を除く）

（２）アスファルト混合物が購入方式の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）仕様規定型発注の場合（材料を指定する性能規定型発注を含む）

（２）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合

（３）排水性舗装の場合

２．費用内訳

・アスファルト舗装工(車道部)における下層路盤(凍上抑制層がある場合も含む)の路盤材敷均し・締固め、上層路盤の路盤材敷均し・締固め又はアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布、基層(中間層)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布、表層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、散水、砂の散布、舗装用器具、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装準備工における***不陸整正(車道部)***は含まない。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）工事数量総括表におけるプライス条件に「舗装計画交通量」「平均幅員」「設計CBR」「耐用年数」を明記する。

（２）不陸整正(車道部)については、（Ⅲ-直接-5-88）による。

（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工、ブロック舗装工、半たわみ性舗装工、排水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下層路盤(車道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工等における下層路盤（凍上抑制層がある場合を含む。）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車道部の下層路盤又は舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部の路盤の施工

２．費用内訳
・車道部の下層路盤(凍上抑制層がある場合も含む)の路盤材敷均し・締固めの他、散水等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***不陸整正(車道部)***は含まない。

３．積算条件
下層路盤（車道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
75mm以上125mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
125mm以上175mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
175mm以上200mm以下	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
175mm以上200mm以下	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
200mm超225mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
225mm以上275mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
275mm以上325mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
325mm以上375mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
375mm以上400mm以下	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
400mm超425mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
425mm以上475mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
425mm以上475mm未満	1.4m未満	各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
475mm以上525mm未満	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種
各種	1.4m未満	RC-40・30
		C-40・30
		各種
	1.4m以上	RC-40・30
		C-40・30
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）不陸整正(車道部)については、（Ⅲ-直接-5-88）による。

（２）路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-101）による。

（３）路盤(路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-97）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下層路盤（車道・路肩部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における下層路盤（車道・路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）車道部の下層路盤又は舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤
（２）一層当りの仕上がり厚さが20cmまでの下層路盤
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部の路盤の施工

２．費用内訳
・車道部及び路肩部の下層路盤（凍上抑制層がある場合も含む）の路盤材敷均し・締固めの他、散水等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***不陸整正･締固め***は含まない。
・***下層路盤(歩道部)***は含まない。

３．積算条件
下層路盤（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
75mm以上125mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
125mm以上175mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
175mm以上200mm以下	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
200mm超225mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
225mm以上275mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
275mm以上325mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
325mm以上375mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
375mm以上400mm以下	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
400mm超425mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
425mm以上475mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
475mm以上525mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
525mm以上575mm未満	RC-40

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
525㎜以上575㎜未満	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
575㎜以上600㎜以下	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
600㎜超625㎜未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
625㎜以上675㎜未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
各種	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜））
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）不陸整正・締固めについては、（Ⅲ-直接-5-90）による。

（２）下層路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-96）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下層路盤（歩道部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における下層路盤（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）歩道部の路盤
（２）一層当りの仕上がり厚さが20cmまでの下層路盤
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）車道部及び路肩部の路盤の施工

２．費用内訳
・歩道部の下層路盤の路盤材敷均し・締固めの他、散水等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***下層路盤(車道・路肩部)***は含まない。

３．積算条件
下層路盤（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
75mm以上125mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
125mm以上175mm未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
175mm以上200mm以下	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
200mm超225mm未満	RC-40

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
200㎜超225㎜未満	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
225㎜以上275㎜未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
275㎜以上325㎜未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
325㎜以上375㎜未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
375㎜以上400㎜以下	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
400㎜超425㎜未満	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種
各種	RC-40
	RC-30
	C-40
	C-30
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）下層路盤(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-95）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工、ブロック舗装工、半たわみ性舗装工、排水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路盤(路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工等における路盤（路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車道部と舗装構成が異なる路肩部の下層路盤
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）車道部及び歩道部の路盤の施工

２．費用内訳
・路盤(路肩部)の路盤材敷均し・締固めの他、散水等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
路盤（路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
75㎜以上125㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
125㎜以上175㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
175㎜以上200㎜以下	RC-40・30
	C-40・30
	各種
200㎜超225㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
225㎜以上275㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
275㎜以上325㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
325㎜以上375㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
375㎜以上400㎜以下	RC-40・30
	C-40・30
	各種
400㎜超425㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
425㎜以上475㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
475㎜以上525㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
各種	RC-40・30
	C-40・30
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜））
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）下層路盤(車道部)については、（Ⅲ-直接-5-94）による。

（２）路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-101）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工、ブロック舗装工、半たわみ性舗装工、排水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
上層路盤(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工等における上層路盤（車道・路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車道・路肩部の上層路盤（瀝青安定処理路盤を含む）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部の路盤の施工

２．費用内訳
・上層路盤(車道部及び路肩部)の路盤材敷均し･締固め又はアスファルト混合物敷均し･締固め、アスファルト乳剤散布の他、散水、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装準備工における***不陸整正(車道部)***は含まない。

３．積算条件
上層路盤（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
45㎜以上55㎜未満	1.4m未満	再生瀝青安定処理
		各種
	1.4m以上	再生瀝青安定処理
		各種
55㎜以上65㎜未満	1.4m未満	再生瀝青安定処理
		各種
	1.4m以上	再生瀝青安定処理
		各種
65㎜以上75㎜未満	1.4m未満	再生瀝青安定処理
		各種
	1.4m以上	再生瀝青安定処理
		各種
75㎜以上85㎜未満	1.4m未満	再生瀝青安定処理
		各種
	1.4m以上	再生瀝青安定処理

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
75mm以上85mm未満	1.4m以上	各種
85mm以上125mm未満	1.4m未満	再生瀝青安定処理
		RM-40・30
		M-40・30
		各種
	1.4m以上	再生瀝青安定処理
		RM-40・30
		M-40・30
		各種
125mm以上175mm未満	1.4m未満	RM-40・30
		M-40・30
		各種
	1.4m以上	RM-40・30
		M-40・30
		各種
175mm以上200mm以下	1.4m未満	RM-40・30
		M-40・30
		各種
	1.4m以上	RM-40・30
		M-40・30
		各種
200mm超225mm未満	1.4m未満	RM-40・30
		M-40・30
		各種
	1.4m以上	RM-40・30
		M-40・30
		各種
225mm以上275mm未満	1.4m未満	RM-40・30
		M-40・30
		各種
	1.4m以上	RM-40・30
		M-40・30
		各種
275mm以上325mm未満	1.4m未満	RM-40・30
		M-40・30
		各種
	1.4m以上	RM-40・30
		M-40・30
		各種
各種	1.4m未満	再生瀝青安定処理
		RM-40・30

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
各種	1.4m未満	M-40・30
		各種
	1.4m以上	再生瀝青安定処理
		RM-40・30
		M-40・30
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm))
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力)
締固め後密度：各種(瀝青安定処理を採用した場合に実数入力)

４．その他

（１）不陸整正(車道部)については、（Ⅲ-直接-5-88）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

上層路盤(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における上層路盤（車道・路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車道・路肩部の上層路盤（瀝青安定処理路盤を含む）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部の路盤の施工

２．費用内訳
・上層路盤(車道及び路肩部)の路盤材敷均し・締固め又はアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、散水、砂の散布、舗装用器具、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***下層路盤(車道・路肩部)、上層路盤(歩道部)***は含まない。

３．積算条件
上層路盤（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
瀝青安定処理材使用の有無(P)	平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)	瀝青材料種類(P)
有り	45mm以上55mm未満	1.4m未満	表３．２参照	
		1.4m以上		
	55mm以上65mm未満	1.4m未満		
		1.4m以上		
	65mm以上75mm未満	1.4m未満		
		1.4m以上		
	75mm以上85mm未満	1.4m未満		
		1.4m以上		
	85mm以上95mm未満	1.4m未満		
		1.4m以上		
	95mm以上105mm未満	1.4m未満		
		1.4m以上		
	各種	1.4m未満		
		1.4m以上		
無し	75mm以上125mm未満	―		

積算条件				
瀝青安定処理材使用の有無(P)	平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)	瀝青材料種類(P)
無し	125mm以上175mm未満	―	表３．２参照	
	175mm以上200mm以下	―		
	200mm超225mm未満	―		
	225mm以上275mm未満	―		
	275mm以上325mm未満	―		
	各種	―		

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
材料(P)	瀝青安定処理(40)
	瀝青安定処理(30)
	瀝青安定処理(25)
	再生瀝青安定処理(40)
	RM-40
	RM-30
	RM-25
	M-40
	M-30
	M-25
	各種
瀝青材料種類(P)	タックコート PK-4(標準)
	プライムコート PK-3(標準)
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種(瀝青安定処理を採用した場合に実数入力)

４．その他

（１）下層路盤(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-95）による。

（２）上層路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-100）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
上層路盤(歩道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における上層路盤（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）歩道部の路盤
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）車道部及び路肩部の路盤の施工

２．費用内訳
・上層路盤(歩道部)の路盤材敷均し・締固めの他、散水、補助機械等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***下層路盤(歩道部)、上層路盤(車道・路肩部)***は含まない。

３．積算条件
上層路盤（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
75mm以上125mm未満	RM-40
	RM-30
	RM-25
	M-40
	M-30
	M-25
	各種
125mm以上175mm未満	RM-40
	RM-30
	RM-25
	M-40
	M-30
	M-25
	各種
175mm以上200mm以下	RM-40
	RM-30
	RM-25

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
175㎜以上200㎜以下	M-40
	M-30
	M-25
	各種
200㎜超225㎜未満	RM-40
	RM-30
	RM-25
	M-40
	M-30
	M-25
	各種
225㎜以上275㎜未満	RM-40
	RM-30
	RM-25
	M-40
	M-30
	M-25
	各種
各種	RM-40
	RM-30
	RM-25
	M-40
	M-30
	M-25
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）下層路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-96）による。

（２）上層路盤(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-99）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工、ブロック舗装工、透水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路盤(歩道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工等における路盤（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）歩道部の路盤
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）車道部及び路肩部の路盤の施工

２．費用内訳
・路盤(歩道部)の路盤材敷均し･締固めの他、散水等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
路盤（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
75㎜以上125㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
125㎜以上175㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
175㎜以上200㎜以下	RC-40・30
	C-40・30
	各種
200㎜超225㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
225㎜以上275㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種
275㎜以上325㎜未満	RC-40・30
	C-40・30
	各種

積算条件	
平均厚さ(P)	材料(P)
各種	RC-40・30
	C-40・30
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）

４．その他
（１）下層路盤(車道部)については、（Ⅲ-直接-5-94）による。
（２）上層路盤(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-98）による。
（３）路盤(路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-97）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：付帯道路工
種　　別：アスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路盤

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、付帯道路工における路盤に適用する。

２．費用内訳
・路盤の路盤材敷均し・締固めの他、散水等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工、半たわみ性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
基層(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における基層（車道部及び路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）排水性舗装における基層の施工

２．費用内訳
・**基層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散**布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
基層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35㎜以上45㎜未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35mm以上45mm未満	1.4m以上	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
45mm以上55mm未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
55mm以上65mm未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
各種	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工、コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中間層（車道・路肩部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における中間層（車道部及び路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）排水性舗装における中間層の施工

２．費用内訳
・**中間層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤**散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
中間層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35㎜以上45㎜未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35mm以上45mm未満	1.4m以上	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
45mm以上55mm未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
55mm以上65mm未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
各種	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、オーバーレイエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
基層・中間層（車道・路肩部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における基層・中間層（車道・路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）歩道部の基層・中間層の施工

２．費用内訳
・基層又は中間層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
基層・中間層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)	瀝青材料種類(P)
35mm以上45mm未満	表３．２参照		
45mm以上55mm未満			
55mm以上65mm未満			
各種			

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	区分
平均幅員(S)	1.4m未満
	1.4m以上
材料(P)	粗粒度アスファルト混合物(20)
	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ｾﾐﾌﾞﾛｰﾝｱｽﾌｧﾙﾄAC-100(20)
	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)DS3000

積算条件	区分
材料(P)	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)DS5000
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20)DS3000
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅱ型(20)DS5000
	各種
瀝青材料種類(P)	タックコート PK-4(標準)
	プライムコート PK-3(標準)
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜））
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、オーバーレイエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
基層・中間層（歩道部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における基層・中間層（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合

２．費用内訳
・基層又は中間層(歩道部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
基層・中間層（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)	瀝青材料種類(P)
25mm以上35mm未満	1.4m未満	表３．２参照	
	1.4m以上		
35mm以上45mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
45mm以上55mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
55mm以上65mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
各種	1.4m未満		
	1.4m以上		

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
材料(P)	粗粒度アスファルト混合物(20)
	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
	各種
瀝青材料種類(P)	タックコート PK-4(標準)
	プライムコート PK-3(標準)

積算条件	区分
瀝青材料種類(P)	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表層(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における表層（車道部及び路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）歩道部の表層の施工

２．費用内訳
・表層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し･締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
表層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35㎜以上 45㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
45㎜以上 55㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
45㎜以上 55㎜未満	1.4m未満	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
55㎜以上 65㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
各種	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度アスファルト混合物(20･13)
		密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）表層(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-109）による。

（２）排水性舗装・表層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-113）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、オーバーレイ工、アスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表層（車道・路肩部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における表層（車道・路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）排水性舗装における表層の施工
（３）グースアスファルト舗装における表層の施工
（４）コンクリート舗装における表層の施工
（５）歩道部の施工

２．費用内訳
・表層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
表層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)	瀝青材料種類(P)
35mm以上45mm未満	1.4m未満	表３．２参照	
	1.4m以上		
45mm以上55mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
55mm以上65mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
各種	1.4m未満		
	1.4m以上		

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
材料(P)	密粒度アスファルト混合物(20)
	密粒度アスファルト混合物(13)
	密粒度アスファルト混合物(13F)
	密粒度ギャップアスファルト混合物(20)
	密粒度ギャップアスファルト混合物(13)
	密粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
	再生密粒度アスファルト混合物(20)
	再生密粒度アスファルト混合物(13)
	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ｾﾐﾌﾞﾛｰﾝｱｽﾌｧﾙﾄAC-100(20)
	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)DS3000
	開粒度アスファルト混合物(13)
	各種
瀝青材料種類(P)	タックコート PK-4(標準)
	プライムコート PK-3(標準)
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜））
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表層(歩道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における表層（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）車道部及び道路の表層の施工

２．費用内訳
・表層(歩道部)のアスファルト混合物敷均し･締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
表層（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
25㎜以上35㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
35㎜以上45㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35㎜以上45㎜未満	1.4m以上	各種
45㎜以上55㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
55㎜以上65㎜未満	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
各種	1.4m未満	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種
	1.4m以上	再生密粒度アスファルト混合物(13･20)
		再生細粒度アスファルト混合物(13)
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、オーバーレイ工、アスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表層（歩道部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における表層（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）排水性舗装における表層の施工
（３）グースアスファルト舗装における表層の施工
（４）コンクリート舗装における表層の施工
（５）車道部及び路肩部の表層の施工

２．費用内訳
・表層(歩道部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
表層（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)	瀝青材料種類(P)
25mm以上35mm未満	1.4m未満	表３．２参照	
	1.4m以上		
35mm以上45mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
45mm以上55mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
55mm以上65mm未満	1.4m未満		
	1.4m以上		
各種	1.4m未満		
	1.4m以上		

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
材料(P)	密粒度アスファルト混合物(20)
	密粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生密粒度アスファルト混合物(20)
	再生密粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	各種
瀝青材料種類(P)	タックコート PK-4(標準)
	プライムコート PK-3(標準)
	各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：半たわみ性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
半たわみ性舗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における半たわみ性舗装に適用する。

２．費用内訳
・表層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布、浸透性セメントミルクの注入の他、砂の散布、舗装用器具、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護、浸透用セメントミルク敷き広げ、マスキング等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水性舗装工(車道部)

積算単位：m2(表層面積)
契約単位：m2(表層面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における排水性舗装工（車道部）に適用する。
なお、路肩部については、舗装構成が車道部と同一の場合においてのみ路肩部に適用出来る。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）性能規定型発注の場合（材料を指定する場合は除く）
（２）アスファルト混合物は購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）仕様性能規定型発注の場合（材料を指定する性能規定型発注を含む）
（２）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合

２．費用内訳
・排水性舗装工(車道部)における下層路盤(凍上抑制層がある場合も含む)の路盤材敷均し・締固め、上層路盤の路盤材敷均し・締固め又はアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布、基層・中間層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布、表層(導水パイプがある場合も含む)のポーラスアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、散水、砂の散布、舗装用器具、型枠、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装準備工における***不陸整正(車道部)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）工事数量総括表におけるプライス条件に「舗装計画交通量」「平均幅員」「設計CBR」「耐用年数」を明記する。
（２）不陸整正(車道部)については、（Ⅲ-直接-5-88）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：排水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水性舗装・表層(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における排水性舗装・表層（車道部及び路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合

２．費用内訳
・表層(車道部及び路肩部)のポーラスアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、導水パイプ、舗装用器具、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
排水性舗装・表層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35mm以上45mm未満	1.4m未満	ポーラスアスファルト混合物
		各種
	1.4m以上	ポーラスアスファルト混合物
		各種
45mm以上55mm未満	1.4m未満	ポーラスアスファルト混合物
		各種
	1.4m以上	ポーラスアスファルト混合物
		各種
55mm以上65mm未満	1.4m未満	ポーラスアスファルト混合物
		各種
	1.4m以上	ポーラスアスファルト混合物
		各種

<table>
<tr><th colspan="3">積算条件</th></tr>
<tr><th>平均厚さ(P)</th><th>平均幅員(S)</th><th>材料(P)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">各種</td><td rowspan="2">1.4m未満</td><td>ポーラスアスファルト混合物</td></tr>
<tr><td>各種</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1.4m以上</td><td>ポーラスアスファルト混合物</td></tr>
<tr><td>各種</td></tr>
</table>

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）表層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-107）による。

（２）排水性舗装・基層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-115）による。

（３）排水性舗装・中間層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-114）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：排水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水性舗装・中間層(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における排水性舗装・中間層（車道部及び路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合

２．費用内訳
・中間層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）排水性舗装・基層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-115）による。
（２）排水性舗装・表層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-113）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：排水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水性舗装・基層(車道・路肩部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における排水性舗装・基層（車道部及び路肩部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）アスファルト舗装工における基層の施工

２．費用内訳
・基層(車道部及び路肩部)のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
排水性舗装・基層（車道・路肩部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35㎜以上45㎜未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
35mm以上45mm未満	1.4m以上	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
45mm以上55mm未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
55mm以上65mm未満	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
各種	1.4m未満	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種
	1.4m以上	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
		粗粒度アスファルト混合物(20)
		再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
		粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（mm）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他
（１）排水性舗装・中間層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-114）による。
（２）排水性舗装・表層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-113）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：透水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
透水性舗装・フィルター層(歩道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における透水性舗装・フィルター層(歩道部）に適用する。

２．費用内訳
・透水性舗装におけるフィルター材(歩道部)の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）透水性舗装・表層(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-117）による。
（２）路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-101）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：透水性舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
透水性舗装・表層(歩道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工における透水性舗装・表層（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）アスファルト混合物が購入方式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
（２）アスファルト舗装工及び排水性舗装工における表層の施工

２．費用内訳
・表層(歩道部)の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
透水性舗装・表層（歩道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
25mm以上35mm未満	1.4m未満	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
	1.4m以上	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
35mm以上45mm未満	1.4m未満	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
	1.4m以上	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
45mm以上55mm未満	1.4m未満	透水性アスファルト混合物

積算条件		
平均厚さ(P)	平均幅員(S)	材料(P)
45㎜以上55㎜未満	1.4m未満	透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
	1.4m以上	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
各種	1.4m未満	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種
	1.4m以上	透水性アスファルト混合物
		透水性開粒度アスファルト混合物(13)改質Ⅱ型
		各種

（注）積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜）)
積算条件：材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
材料：各種（文字入力）
締固め後密度：各種（実数入力）

４．その他

（１）路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-101）による。

（２）透水性舗装・フィルター層(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-116）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：グースアスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グースアスファルト舗装・基層

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工におけるグースアスファルト舗装・基層に適用する。

２．費用内訳
・下地処理(素地調整、接着剤塗布)、アスファルト混合物敷均し・締固め、砕石散布、目地材の他、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：舗装工
種　　別：グースアスファルト舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グースアスファルト舗装・表層

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工におけるグースアスファルト舗装・表層に適用する。

２．費用内訳
・アスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布等の他、砂の散布、舗装用器具、型枠材料、加熱燃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート舗装（車道部）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工におけるコンクリート舗装（車道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車道部のコンクリート舗装
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）連続鉄筋によるコンクリート舗装の場合
（２）歩道部のコンクリート舗装の場合
（３）転圧コンクリート舗装の場合
（４）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）を行う場合

２．費用内訳
・コンクリート版の舗設、鉄筋鉄網、目地材の設置の他、石粉又は瀝青材料、型枠材料、舗設に使用する機械、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***中間層（車道・路肩部）***は含まない。

３．積算条件
コンクリート舗装（車道部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
施工条件・規制方法(P)	平均厚さ(P)
1車線	125mm以上175mm未満
	175mm以上225mm未満
	225mm以上275mm未満
	275mm以上285mm未満
	285mm以上315mm未満
	各種
1車線片側交互通行	125mm以上175mm未満
	175mm以上225mm未満
	225mm以上275mm未満
	275mm以上285mm未満
	285mm以上315mm未満
	各種
2車線	125mm以上175mm未満
	175mm以上225mm未満

積算条件	
施工条件・規制方法(P)	平均厚さ(P)
2車線	225㎜以上275㎜未満
	275㎜以上285㎜未満
	285㎜以上315㎜未満
	各種

（注）1.積算条件：平均厚さ「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
平均厚さ：各種(実数入力（㎜））
2.面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯
3.平均厚さ＝本線の平均厚さを適用

４．その他
（１）中間層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-104）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリート舗装(歩道部)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工におけるコンクリート舗装（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）歩道部のコンクリート舗装
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）車道部のコンクリート舗装の施工
（２）転圧コンクリート舗装の施工

２．費用内訳
・コンクリート版の舗設、鉄筋鉄網、目地材の設置の他、石粉又は瀝青材料、型枠材料、舗設に使用する機械、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付帯道路工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート舗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、砂防えん堤の付帯道路工におけるコンクリート舗装に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）特殊舗装（連続鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート舗装等）の場合
（２）両勾配における２車線同時施工の場合

２．費用内訳
・コンクリート版の舗設、鉄筋鉄網、目地材の設置の他、石粉又は瀝青材料、型枠材料、舗設に使用する機械、養生(初期・後期養生用）等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***基層・中間層(車道・路肩部)***、***基層・中間層(歩道部)***は含まない。
・***目地材料費***、***縦目地***、***横目地***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）基層・中間層(車道・路肩部)については、（Ⅲ-直接-5-105）による。
（２）基層・中間層(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-106）による。
（３）目地材料費については、（Ⅲ-直接-5-123）による。
（４）縦目地については、（Ⅲ-直接-5-124）による。
（５）横目地については、（Ⅲ-直接-5-125）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付帯道路工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
目地材料費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
　本資料は、砂防えん堤の付帯道路工におけるコンクリート舗装工の目地材料費に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート舗装における横・縦目地材料の購入に要する全ての費用を含む。

・***横目地、縦目地***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）縦目地については、（Ⅲ-直接-5-124）による。
（２）横目地については、（Ⅲ-直接-5-125）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付帯道路工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
縦目地

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、砂防えん堤の付帯道路工におけるコンクリート舗装工の縦目地に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート舗装における縦目地材料の購入に要する全ての費用を含む。

・***目地材料費、横目地***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）目地材料費については、（Ⅲ-直接-5-123）による。
（２）横目地については、（Ⅲ-直接-5-125）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付帯道路工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
横目地

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、砂防えん堤の付帯道路工におけるコンクリート舗装工の横目地に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート舗装における横目地材料の購入に要する全ての費用を含む。

・***目地材料費、縦目地***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）目地材料費については、（Ⅲ-直接-5-123）による。
（２）縦目地については、（Ⅲ-直接-5-124）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：コンクリート舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

転圧コンクリート舗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における転圧コンクリート舗装に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート舗装のRCCPによる敷均し、転圧、養生、散水、目地切り及び目地材の設置、型枠の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***建設機械運搬費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
薄層カラー舗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、薄層カラー舗装に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）樹脂モルタル舗装工における歩道橋、側道橋、歩道及び自転車道の舗装
（２）景観透水性舗装工における歩道及び遊歩道の舗装
（３）樹脂系すべり止め舗装工における車道及び歩道（路側帯、スクールゾーンを含む）の舗装。
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）加熱混合系薄層カラー舗装
（２）型枠式カラータイル舗装
（３）壁面、階段の立ち上がり部（垂直面）を施工する場合

２．費用内訳
・薄層カラー舗装(樹脂系)の設置、下地処理(施工面にあるゴミ、泥、ほこり等を除去する簡単な作業)、プライマー塗布、樹脂バインダー散布、骨材の散布、トップコート塗布、舗設材の混合・敷設、仕上げ・養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・はつり、サンダー掛け、錆落し及び不陸整正のための下地調整は含まない。

３．積算条件
薄層カラー舗装ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
舗装区分(P)	施工箇所(S)	規格・仕様(P)	階段ステップの有無(P)	施工数量(S)
樹脂モルタル舗装	―	厚6㎜以下	無し	50m2以上
				50m2未満
			有り	―
		厚6㎜超え8㎜以下	無し	50m2以上
				50m2未満
			有り	―
		厚8㎜超え10㎜以下	無し	50m2以上
				50m2未満
			有り	―
景観透水性舗装	―	厚10㎜以下	―	50m2以上

積算条件				
舗装区分(P)	施工箇所(S)	規格・仕様(P)	階段ステップの有無(P)	施工数量(S)
景観透水性舗装	―	厚10mm以下	―	50m2未満
		厚10mm超え15mm以下	―	50m2以上
				50m2未満
樹脂系すべり止め舗装	車道	RPN-1	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-1-2	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-2	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-3	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-4	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-5	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-6	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-7	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-7-2	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-8	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-8-2	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-9	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-10	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-11	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-12	―	100m2以上
				100m2未満
	歩道(路側帯・スクールゾーン含む)	RPN-13	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-14	―	100m2以上
				100m2未満
		RPN-15	―	100m2以上
				100m2未満

（注）1.舗装区分

樹脂モルタル舗装：樹脂系材料（エポキシ樹脂）と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。

景観透水性舗装：樹脂系材料（エポキシ樹脂）と骨材(自然石等)を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。

樹脂系すべり止め舗装：樹脂系材料（エポキシ樹脂）を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。

2.斜路部の施工の場合は、階段ステップの有無を「無し」とする。

3.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：ブロック舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

インターロッキングブロック舗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、舗装工、付帯道路工におけるインターロッキングブロック舗装に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）インターロッキングブロック舗装の設置

（２）インターロッキングブロック舗装の撤去・設置

２．費用内訳

(1)設置の場合（材料込みの新設設置）

・敷材料敷均し、インターロッキングブロックの設置、転圧及び目地材の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

(2)撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）

・インターロッキングブロックの撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(製品費は含まない)。

・***路盤(歩道部)***は含まない。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-101）による。

（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、舗装工
種　　別：ブロック舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
特殊ブロック舗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工、付帯道路工における特殊ブロック舗装に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）特殊ブロック設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
（３）撤去のみの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部の路盤の施工

２．費用内訳
(1)設置の場合（材料込みの新設設置）
・透水シート設置、敷材料敷均し・締固め、特殊ブロックの設置、転圧及び目地材の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・特殊ブロックの再利用設置に要する全ての費用を含む(特殊ブロック本体の製品費を含まない）。
(3)撤去の場合
・特殊ブロックの撤去に要する全ての費用を含む。

・*路盤(歩道部)*は含まない。

３．積算条件
特殊ブロック舗装ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
作業区分(P)	ブロック種類(P)	ブロック規格(cm)(P)
設置	平板ブロック	30×30×6
		30×30×8
		各種
	透水性平板ブロック	30×30×6
		30×30×8
		各種
	洗出・擬石平板ブロック	30×30×6
		30×30×8
		各種

積算条件		
作業区分(P)	ブロック種類(P)	ブロック規格(cm)(P)
設置	点字ブロック	30×30×3
		30×30×6
		各種
撤去	―	―
再利用設置	―	―

（注）積算条件：各種の場合
　　ブロック規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）インターロッキングブロック舗装については、（Ⅲ-直接-5-128）による。
（２）路盤(歩道部)については、（Ⅲ-直接-5-101）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３.積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、排水構造物工、縁石工
種　　別：側溝工、分離帯工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

Ｌ型側溝

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工、付帯道路工におけるＬ型側溝に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）側溝工におけるＬ型側溝の設置（材料込みの新設設置）

（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）

（４）仕上方式が、現場打ちの場合とプレキャスト製品の場合（参考図を参照）

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）撤去のみの場合

２．費用内訳

（１）設置の場合（材料込みの新設設置）

・Ｌ型側溝の基礎材、エプロン部コンクリート、基礎コンクリート、型枠、敷モルタル、目地材、歩車道境界ブロック又はプレキャスト側溝の設置、作業土工（床掘り・埋戻し）、小運搬の他、目地モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。

（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

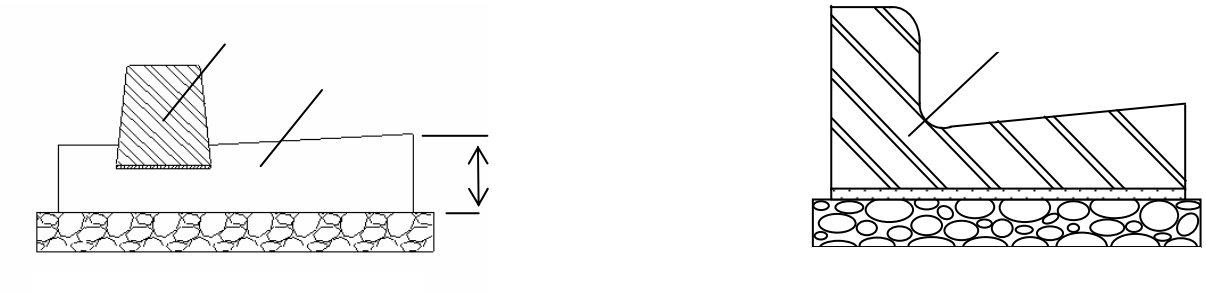
・上記（１）の設置費のみを含む（歩車道境界ブロック又はプレキャスト側溝の製品費は含まない）。

（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）

・Ｌ型側溝の撤去に要する全ての費用及び上記（１）を含む（Ｌ型側溝の製品費は含まない）。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

（１）現場打ち　　（２）プレキャスト製品



＜参考図：仕上方式による分類＞

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（５）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（６）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路工、排水構造物工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
L型側溝

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工におけるL型側溝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、製品長が0.6mの場合であって、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）排水構造物工におけるL型側溝の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・プレキャスト製品によるL型側溝の設置、基礎砕石、現場内小運搬の他、コンクリートカッタ運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、コンクリートカッタブレードの損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(L型側溝本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・プレキャスト製品によるL型側溝の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・均し***コンクリート***、均しコンクリート用***型枠***は含まない。
・***床掘り(土砂)***、***床掘り(岩石)***、***埋戻し***、***土砂等運搬***、***残土運搬***、***残土等処分***は含まない。
・***殻運搬***、***殻処分***、***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
Ｌ型側溝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
作業区分(P)	基礎砕石の有無(P)	L型側溝の種類(P)
設置	有り	C250A コンクリートL型 (350×175×600)
		C250B コンクリートL型 (450×175×600)
		250A 鉄筋コンクリートL型 (350×155×600)
		250B 鉄筋コンクリートL型 (450×155×600)

積算条件		
作業区分(P)	基礎砕石の有無(P)	L型側溝の種類(P)
設置	有り	300 鉄筋コンクリートL型 (500×155×600)
		350 鉄筋コンクリートL型 (550×155×600)
		500A 鉄筋コンクリートL型 (665×270×600)
		500B 鉄筋コンクリートL型 (700×320×600)
		500C 鉄筋コンクリートL型 (705×370×600)
		各種
	無し	C250A コンクリートL型 (350×175×600)
		C250B コンクリートL型 (450×175×600)
		250A 鉄筋コンクリートL型 (350×155×600)
		250B 鉄筋コンクリートL型 (450×155×600)
		300 鉄筋コンクリートL型 (500×155×600)
		350 鉄筋コンクリートL型 (550×155×600)
		500A 鉄筋コンクリートL型 (665×270×600)
		500B 鉄筋コンクリートL型 (700×320×600)
		500C 鉄筋コンクリートL型 (705×370×600)
		各種
撤去	―	―
再利用設置	有り	各種
	無し	各種

（注）1.基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は、基礎砕石の有無で「無し」を選択し、別途、基礎砕石(基礎材)を計上する。
2.積算条件：各種の場合
L型側溝の種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（３）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（４）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（５）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（９）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
(10) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
(11) 現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：水路工、管理用通路工、排水構造物工、付帯道路工
種　　別：側溝工、排水構造物工、排水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストU型側溝

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物における長尺製品を含むプレキャスト製品のU型側溝に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）プレキャスト製品によるU型（落蓋型、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む）側溝の設置

（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

（３）再利用を目的とした撤去の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置

２．費用内訳

（１）設置の場合(材料込みの新設設置)

・プレキャスト製品によるU型側溝(落蓋型、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む)の設置、基礎砕石、敷モルタル、クレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタルの費用、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

（２）撤去の場合

・プレキャスト製品によるU型側溝の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

（３）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)

・上記（１）の設置費のみを含む(U型側溝本体の製品費は含まない)。

・***側溝蓋、蓋版撤去***は含まない。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、基面整正、埋戻し、残土運搬、残土等処分、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件

プレキャストU型側溝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件						
作業区分 (P)	U 型側溝の種類 (P)	U 型側溝の規格 (P)	施工数量 (S)	施工箇所 (P)	基礎砕石の有無 (P)	基礎砕石の種類 (P)
設置	表３．２参照		50m 以上	側溝部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				小断面部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				縦排水部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
			50m 未満	側溝部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				小断面部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				縦排水部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
撤去			50m 以上	側溝部	―	―
				小断面部	―	―
				縦排水部	―	―
			50m 未満	側溝部	―	―
				小断面部	―	―
				縦排水部	―	―
再利用設置			50m 以上	側溝部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				小断面部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				縦排水部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
			50m 未満	側溝部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				小断面部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―
				縦排水部	有り	C-40
						RC-40
					無し	―

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
U 型側溝の種類(P)	鉄筋コンクリート U 型
	道路用鉄筋コンクリート側溝 1 種
	道路用鉄筋コンクリート側溝 3 種
	各種
U 型側溝の規格(P)	240(240×240×600)
	300A(300×240×600)
	300B(300×300×600)
	300C(300×360×600)
	360A(360×300×600)
	360B(360×360×600)
	450(450×450×600)
	600(600×600×600)
	250(250×250×2000)
	300A(300×300×2000)
	300B(300×400×2000)
	300C(300×500×2000)
	400A(400×400×2000)
	400B(400×500×2000)
	500A(500×500×2000)
	500B(500×600×2000)

(注) 1. 複数の規格区分を含む工事の施工数量の判定は、1 工事における全規格の全体数量で判定する。(1 工事において、設置と再利用設置がある場合も含む)

2. 積算条件：各種の場合

U型側溝の種類：各種（文字入力）

４．その他

（１）側溝蓋については、（Ⅲ-直接-5-155）による。

（２）蓋版撤去については、（Ⅲ-直接-15-16）による。

（３）床掘り（土砂）については、（Ⅲ-直接-1-28）による。

（４）床掘り（岩石）については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（５）基面整正については、（Ⅲ-直接-1-34）による。

（６）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。

（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（８）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（９）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

(10) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

(11) 現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：付帯道路工、排水構造物工
種　　別：側溝工、排水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストU型側溝(本体)

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工、付帯道路工におけるプレキャスト製品のU型側溝（本体）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）プレキャスト製品によるU型側溝（落蓋型、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む）の設置

（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）撤去のみの場合

（２）現場打ちのU型側溝の場合

２．費用内訳

(1)設置の場合(材料込みの新設設置)

・プレキャスト製品によるU型側溝(落蓋式、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む)の設置、基礎砕石、敷きモルタル、均しコンクリート、クレーン及びカッターブレード、コンクリートカッタ、目地モルタル、現場内小運搬、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)

・プレキャストU型側溝の再利用設置に要する全ての費用を含む(プレキャストU型側溝本体の製品費は含まない)。

(3)撤去・設置の場合(同一物を撤去して、設置〔移設〕)

・プレキャストU型側溝の撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(プレキャストU型側溝本体の製品費は含まない)。

・***U型側溝（蓋）***は含まない。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件

プレキャストU型側溝(本体)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

<table>
<tr><th colspan="7">積算条件</th></tr>
<tr><th>作業区分(P)</th><th>土質(P)</th><th>U型側溝の種類(P)</th><th>U型側溝の規格(P)</th><th>施工箇所 (P)</th><th>均しコンクリートの有無(P)</th><th>シールコンクリートの有無(P)</th></tr>
<tr><td rowspan="24">表3．2参照</td><td rowspan="24">表3．3参照</td><td colspan="2" rowspan="8">表3．4参照</td><td rowspan="2">側溝部</td><td>有り</td><td>－</td></tr>
<tr><td>無し</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">小段面部</td><td rowspan="2">有り</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無し</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">縦排水部</td><td rowspan="2">有り</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無し</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">表3．5参照</td><td rowspan="2">－</td><td>有り</td><td>－</td></tr>
<tr><td>無し</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="8">各種</td><td rowspan="8">－</td><td rowspan="2">側溝部</td><td>有り</td><td>－</td></tr>
<tr><td>無し</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">小段面部</td><td rowspan="2">有り</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無し</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">縦排水部</td><td rowspan="2">有り</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無し</td><td>有り</td></tr>
<tr><td>無し</td></tr>
</table>

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
作業区分(P)	設置
	再利用設置
	撤去・設置

表３．３(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	軟岩
	硬岩
	作業土工無し

表３．４(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
U型側溝の種類(P)	鉄筋コンクリートU型
U型側溝の規格(P)	240(240×240×600)
	300A(300×240×600)
	300B(300×300×600)
	300C(300×360×600)
	360A(360×300×600)
	360B(360×360×600)
	450(450×450×600)
	600(600×600×600)

表３．５(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
U型側溝の種類(P)	道路用鉄筋コンクリート側溝１種
	道路用鉄筋コンクリート側溝３種
U型側溝の規格(P)	250(250×250×2000)
	300A(300×300×2000)
	300B(300×400×2000)
	300C(300×500×2000)
	400A(400×400×2000)
	400B(400×500×2000)
	500A(500×500×2000)
	500B(500×600×2000)

（注）1.土質は、作業土工での土質区分をいう。
2.積算条件：U型側溝の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
U型側溝の種類：各種（文字入力）

４．その他

（１）U型側溝（蓋）については、(Ⅲ-直接-5-134）による。
（２）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：付帯道路工、排水構造物工
種　　別：側溝工、場所打水路工、排水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

U型側溝(蓋)

積算単位:枚(枚数)
契約単位:枚(枚数)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工、付帯道路工におけるU型側溝（蓋）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）U型側溝（蓋）の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）撤去のみの場合
（２）蓋版の重量が 170kg を超える場合

２．費用内訳

(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・U型側溝の蓋の設置（鋼製蓋の場合は受枠の設置を含む)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・U型側溝の蓋の再利用設置に要する全ての費用を含む(蓋本体の製品費は含まない)。
(3)撤去・設置の場合(同一物を撤去して、設置〔移設〕)
・U型側溝の蓋の撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(蓋本体の製品費は含まない)。

３．積算条件

U型側溝（蓋）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件			
作業区分(P)	蓋版の種類(P)	蓋版の規格(P)	蓋版の質量(S)
表3．2参照	鉄筋コンクリートU型 1種 JIS A 5372	240(33×4.5×60)	－
		300(40×6×60)	－
		360(46×6.5×60)	－
		450(56×7×60)	－
		600(74×7.5×60)	－
	鉄筋コンクリートU型 2種 JIS A 5372	240(33×10×60)	－
		300(40×10×60)	－
		360(46×10×60)	－
		450(56×12×60)	－
		600(74×15×60)	－

積算条件			
作業区分(P)	蓋版の種類(P)	蓋版の規格(P)	蓋版の質量(S)
表3．2参照	道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 JIS A 5372	250(36.2×9×50)	－
		300(41.2×9.5×50)	－
		400(51.2×11×50)	－
		500(62.2×12.5×50)	－
	道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 JIS A 5372	250(36.2×9×50)	－
		300(41.2×9.5×50)	－
		400(51.2×11×50)	－
		500(62.2×12.5×50)	－
	各種	－	40kg/枚以下
			40kg/枚を超え170kg/枚以下

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
作業区分(P)	設置
	再利用設置
	撤去・設置

（注）1.鋼製蓋版を使用する場合は「各種」を選択する。なお、受枠設置を含む。
2.積算条件：蓋版の種類「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
蓋版の種類：各種（文字入力）

４．その他

（1）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：現場打水路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場打水路

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における現場打水路に適用する。

２．費用内訳
・排水構造物における現場打水路の基礎材、型枠、横取り、コンクリート、鉄筋、養生(散水・練炭)、現場内小運搬、打設面清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場板、単管、自在クランプ、型枠材、はく離材、雑機械器具(空気圧縮機、コンクリートバケット、シュート、ホッパ、バイブレータ、計量車)の損料、さく岩機、高圧洗浄機、水中ポンプの運転経費及び損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***採取小割***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***目地材、止水板***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。
（２）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（３）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（４）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（６）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（７）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（８）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（９）止水板については、（Ⅲ-直接-3-31）による。
(10)「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：排水構造物工
種　　別：場所打水路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場打水路

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における現場打水路に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）排水構造物工における現場打水路の設置

２．費用内訳
・排水構造物における現場打水路設置の他、基礎砕石、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、コンクリート、鉄筋、圧送管組立・撤去、シュート、ホッパの架設・移設、目地材、止水板、足場の設置・撤去、養生(特殊養生を含む)、現場内小運搬、つき固め機械等の損料及び燃料の費用、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用、シュート、ホッパ、バイブレータ損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り（土砂）、床掘り（岩石）、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***蓋***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）蓋については、（Ⅲ-直接-5-154）による。
（８）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、舗装
工　　種：排水構造物工
種　　別：場所打水路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

現場打ち水路(本体)

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工における現場打ちのＵ型側溝（本体）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（1）現場打ちのU型側溝（落蓋型を含む）の設置

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（1）撤去のみの場合

（2）プレキャスト製品のU型側溝の場合

２．費用内訳

・現場打ちによるU型側溝のコンクリート打設、型枠、差し筋、基礎砕石、均しコンクリート、目地材、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***U型側溝（蓋）***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・足場は含まない。

３．積算条件

現場打ち水路(本体)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件		
土質(P)	内空高(P)	コンクリート使用量(P)
表３．２参照	1.0m以下	0.1 m3/m以下
		0.1 m3/mを超え0.2 m3/m以下
		0.2 m3/mを超え0.3 m3/m以下
		0.3 m3/mを超え0.4 m3/m以下
		0.4 m3/mを超え0.5 m3/m以下
		0.5 m3/mを超え0.6 m3/m以下
		0.6 m3/mを超え0.7 m3/m以下
		0.7 m3/mを超え0.8 m3/m以下
		0.8 m3/mを超え0.9 m3/m以下
		各種
	1.0m超	0.5 m3/mを超え0.6 m3/m以下
		0.6 m3/mを超え0.7 m3/m以下
		0.7 m3/mを超え0.8 m3/m以下
		各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	軟岩
	硬岩
	作業土工無し

（注）1.土質は、作業土工での土質区分をいう。
2.積算条件：コンクリート使用量「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
コンクリート使用量(m3/m)：各種（実数入力）

４．その他

（１）Ｕ型側溝（蓋）については、(Ⅲ-直接-5-134）による。
（２）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：水路工、排水構造物工、付帯道路工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

自由勾配側溝

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工における自由勾配側溝に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）自由勾配側溝（本体）の設置（材料込みの新設設置）

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置工事
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置［移設］）
（４）撤去のみの場合

２．費用内訳

・自由勾配側溝の設置、基礎砕石、基礎コンクリート、底部コンクリート打設、クレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタルの費用、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、基面整正、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***側溝蓋***は含まない。
・雪寒仮囲いは含まない。

３．積算条件

自由勾配側溝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件						
内幅(P)	内高(P)	自由勾配側溝の質量(S)	基礎及び底部コンクリートの種類(P)	基礎及び底部コンクリート設計数量(m3/10m)(P)	基礎砕石の有無(P)	基礎砕石の種類(P)
各種	各種	1000kg/個以下	表３．２参照	0.1m3/10m以上 0.6m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	－

積算条件						
内幅(P)	内高(P)	自由勾配側溝の質量(S)	基礎及び底部コンクリートの種類(P)	基礎及び底部コンクリート設計数量(m3/10m)(P)	基礎砕石の有無(P)	基礎砕石の種類(P)
各種	各種	1000kg/個以下	表3．2参照	0.6m3/10m以上1.2m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				1.2m3/10m以上1.8m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				1.8m3/10m以上2.4m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				各種	有り	RC-40
						各種
					無し	―
		1000を超え2000kg/個以下		0.1m3/10m以上0.6m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				0.6m3/10m以上1.2m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				1.2m3/10m以上1.8m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				1.8m3/10m以上2.4m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				各種	有り	RC-40
						各種
					無し	―
		2000を超え2900kg/個以下		0.1m3/10m以上0.6m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				0.6m3/10m以上1.2m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				1.2m3/10m以上1.8m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				1.8m3/10m以上2.4m3/10m未満	有り	RC-40
						各種
					無し	―
				各種	有り	RC-40
						各種
					無し	―

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
基礎及び底部コンクリートの種類(P)	18-8-40(普通)
	18-8-40(高炉)
	各種

（注）積算条件：基礎及び底部コンクリート設計数量(m3/10m)「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
基礎及び底部コンクリート設計数量(m3/10m)：各種（実数入力）
積算条件：内幅（mm)、内高（mm）及び基礎及び底部コンクリートの種類「各種」の選択の場合、以下の項目を入力する。
内幅（mm)：各種（実数入力）
内高（mm)：各種（実数入力）
基礎及び底部コンクリートの種類：各種（文字入力）

４．その他

（１）床掘り（土砂）については、(Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り（岩石）については、(Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）基面整正については、(Ⅲ-直接-1-34）による。
（４）埋戻しについては、(Ⅲ-直接-1-31）による。
（５）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-7）による。
（６）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-26）による。
（７）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（８）側溝蓋については、(Ⅲ-直接-5-155）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：付帯道路工、排水構造物工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

自由勾配側溝（本体）

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工、付帯道路工における自由勾配側溝（本体）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）自由勾配側溝（本体）の設置（材料込みの新設設置）

（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）撤去のみの場合

（２）自由勾配側溝の質量が 2,900kg/個を超える場合

２．費用内訳

(1)設置の場合(材料込みの新設設置)

・自由勾配側溝の設置、目地材、基礎砕石、均しコンクリート、底部コンクリート打設、作業土工（床掘り・埋戻し)、クレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタル、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)

・自由勾配側溝の再利用設置に要する全ての費用を含む(自由勾配側溝本体の製品費は含まない)。

・***自由勾配側溝（蓋）***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・雪寒仮囲いは含まない。

３．積算条件

自由勾配側溝(本体)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件					
作業区分(P)	土質(P)	内幅(P)	内高 (P)	内空断面積(S)	自由勾配側溝の質量(S)
表3．2参照	表3．3参照	各種	各種	0.25m2 以下	1,000kg/個以下
					各種
				0.25m2 を超え 0.5m2 以下	1,000kg/個以下
					1,000kg/個を超え 2,000kg/個以下
					各種

積算条件					
作業区分(P)	土質(P)	内幅(P)	内高 (P)	内空断面積(S)	自由勾配側溝の質量(S)
表3．2参照	表3．3参照	各種	各種	0.5m2 超	1,000 を超え 2,000kg/個以下
					各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
作業区分(P)	設置
	再利用設置

表３．３(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	軟岩
	硬岩
	作業土工無し

（注）1.土質は、作業土工での土質区分をいう。
2.積算条件：内幅、内高、自由勾配側溝の質量「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。
内幅（㎜）：各種（実数入力）
内高（㎜）：各種（実数入力）
自由勾配側溝質量（kg/個）：各種（実数入力）

４．その他
（１）自由勾配側溝（蓋）については、(Ⅲ-直接-5-140）による。
（２）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：付帯道路工、排水構造物工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
自由勾配側溝（蓋）

積算単位：枚（枚数）
契約単位：枚（枚数）

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工、付帯道路工における自由勾配側溝（蓋）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）自由勾配側溝（蓋）の設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・自由勾配側溝の蓋の設置(鋼製蓋の場合は受枠の設置を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：排水構造物工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
管(函)渠型側溝

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における管（函）渠型側溝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）管（函）渠型側溝の設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・プレキャスト管(函)渠型側溝の設置、基礎材、蓋の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、コンクリートカッタ運転経費、カッタブレードの損耗費、目地モルタル、敷モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
管(函)渠型側溝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
土質(P)	製品規格（製品長・内径又は内空幅）(P)
土砂	L=2000㎜φ300
	L=2000㎜φ400
	各種
岩塊・玉石混り土	L=2000㎜φ300
	L=2000㎜φ400
	各種
軟岩	L=2000㎜φ300
	L=2000㎜φ400
	各種
硬岩	L=2000㎜φ300
	L=2000㎜φ400
	各種

（注）1.現場内小運搬の距離は30ｍ程度とする。
2.製品規格（製品長・内径又は内空幅）：円形以外の側溝の場合は「各種」とする。
3.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
製品規格（製品長・内径又は内空幅）：各種（実数入力（㎜））
4.土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：排水構造物工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

管(函)渠型側溝

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における製品長2.0m/個の管（函）渠型側溝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
（２）撤去の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・プレキャスト製管(函)渠型側溝の設置、基礎材、現場内小運搬の他、コンクリートカッタ運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、カッタブレードの損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・プレキャスト製管(函)渠型側溝の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・均しコンクリート用の***コンクリート、型枠***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
管（函）渠型側溝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
内径又は内空幅(P)	作業区分(P)	内径又は内空幅(mm)区分(S)	基礎砕石の有無(P)
各種	設置	200以上400以下	無し
			有り
		400を超え600以下	無し
			有り
	撤去	200以上400以下	―
		400を超え600以下	―

（注）1.基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準とし、これにより難い場合は、別途積算する。
2.積算条件：各種の場合
内径又は内空幅（mm）：各種（実数入力）

3.「設置」選択時
材　　料：各種（文字入力）

４．その他
（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（３）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（４）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（５）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（９）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
(10) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
(11) 現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：排水構造物工
種　　別：側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コルゲートフリューム

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工におけるコルゲートフリュームに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合（材料込みの設置）
・水路として用いるコルゲートフリュームの設置、現場内小運搬及び組立等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(コルゲートフリューム管の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・コルゲートフリュームの撤去に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コルゲートパイプ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、樋門・樋管本体工及び水路工におけるコルゲートパイプに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）設置のみの場合(材料込みの新設設置)
（２）撤去のみの場合
（３）設置・撤去の場合(材料込みの新設設置をして撤去)
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
（２）撤去・設置の場合(同一物を撤去して、設置［移設］)
（３）規格が「フランジ型」で型式が「アーチ形」の場合

２．費用内訳
（１）設置の場合
・簡易な排水路として用いるコルゲートパイプの設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）撤去の場合
・簡易な排水路として用いるコルゲートパイプの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・敷砂、均しコンクリート用の***コンクリート、型枠***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***は含まない。

３．積算条件
コルゲートパイプユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	規格(P)	パイプ径(P)	型式(P)
設置	フランジ型	300㎜	―
		400㎜	―
		500㎜	―
		600㎜	―
		800㎜	―
		1000㎜	―
		1200㎜	―

積算条件			
作業区分(P)	規格(P)	パイプ径(P)	型式(P)
設置	フランジ型	1350mm	―
		1500mm	―
		1650mm	―
		1800mm	―
	ラップ型	2000mm	円形
			アーチ形
		2500mm	円形
			アーチ形
		3000mm	円形
			アーチ形
		3500mm	円形
			アーチ形
		4000mm	円形
			アーチ形
		4500mm	円形
			アーチ形
撤去	フランジ型	250mm以上600mm未満	―
		750mm以上900mm未満	―
		1000mm以上1200mm未満	―
		1300mm以上1350mm未満	―
		1500mm以上1650mm未満	―
		1800mm以上2200mm未満	―
	ラップ型	2000mm	円形
			アーチ形
		2500mm	円形
			アーチ形
		3000mm	円形
			アーチ形
		3500mm	円形
			アーチ形
		4000mm	円形
			アーチ形
		4500mm	円形
			アーチ形

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（５）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（９）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
(10) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：排水構造物工
種　　別：管渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コルゲートパイプ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工におけるコルゲートパイプに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）排水構造物工におけるコルゲートパイプの設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置［移設］）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・簡易な排水路として用いるコルゲートパイプの設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・敷砂、均しコンクリート用の***コンクリート、型枠***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***は含まない。

３．積算条件
コルゲートパイプユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
規格(P)	コルゲートパイプ径(P)	パイプ径(S)	型式(P)
フランジ型	各種	250～600mm	円形
			アーチ
		750～900mm	円形
			アーチ
		1000～1200mm	円形
			アーチ
		1300mm	円形
			アーチ
		1500～1600mm	円形
			アーチ
		1800～2200mm	円形

積算条件			
規格(P)	コルゲートパイプ径(P)	パイプ径(S)	型式(P)
フランジ型	各種	1800～2200㎜	アーチ
ラップ型	各種	2000㎜	円形
			アーチ
		2500㎜	円形
			アーチ
		3000㎜	円形
			アーチ
		3500㎜	円形
			アーチ
		4000㎜	円形
			アーチ
		4500㎜	円形
			アーチ

（注）積算条件：各種の場合
　　コルゲートパイプ径（㎜）：各種（実数入力）

４．その他
（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（３）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（４）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（５）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（９）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（10）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、道路改良、舗装
工　　種：付帯道路工、排水構造物工
種　　別：側溝工、管渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

管渠

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工、付帯道路工における管渠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）管渠の設置（材料込みの新設設置）
（２）基礎砕石の敷均し厚が 20cm 以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・管渠(ヒューム管・ＰＣ管・鉄筋コンクリート台付管等)の設置、鉄筋コンクリート台付管の基礎砕石、鉄筋、現場内小運搬、基礎コンクリート、コンクリート、型枠、鉄筋、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、緊結用器具､コンクリートカッタ運転、目地モルタルの費用、コンクリートカッタブレードの損耗費、レバーブロック損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
管渠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件			
土質(P)	管種類(P)	管径(P)	巻きコンクリート(P)
表３．２参照	ヒューム管１種	200mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		250mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		300mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し

積算条件			
土質(P)	管種類(P)	管径(P)	巻きコンクリート(P)
表３．２参照	ヒューム管１種	350mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		400mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		450mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		500mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		600mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		700mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		800mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		900mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		1,000mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		1,100mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		各種	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し

積算条件			
土質(P)	管種類(P)	管径(P)	巻きコンクリート(P)
表３．２参照	ヒューム管２種	200mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		250mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		300mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		350mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		400mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		450mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		500mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		600mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		700mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		800mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		900mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		1,000mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		1,100mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		各種	90°巻き
			180°巻き
			無し

積算条件			
土質(P)	管種類(P)	管径(P)	巻きコンクリート(P)
表３．２参照	PC 管	600mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		700mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		800mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		900mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		1,000mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		1,100mm	90°巻き
			180°巻き
			無し
		各種	90°巻き
			180°巻き
			無し
	鉄筋コンクリート台付管	200mm	―
		250mm	―
		300mm	―
		350mm	―
		400mm	―
		450mm	―
		500mm	―
		600mm	―
		700mm	―
		800mm	―
		900mm	―
		1,000mm	―
		1,100mm	―
		各種	―
	各種	200mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		250mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し

積算条件			
土質(P)	管種類(P)	管径(P)	巻きコンクリート(P)
表３．２参照	各種	300mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		350mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		400mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		450mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		500mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		600mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		700mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		800mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		900mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		1,000mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し
		1,100mm	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き

積算条件			
土質(P)	管種類(P)	管径(P)	巻きコンクリート(P)
表３．２参照	各種	1,100㎜	無し
		各種	90°巻き
			180°巻き
			360°巻き
			無し

表３.２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	岩塊・玉石混り土
	軟岩
	硬岩

（注）1. 現場内小運搬は30m程度とする。
2. 鉄筋コンクリート台付管の断面が卵形の場合、管径は内幅とする。
3. 積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
管種類：各種（文字入力）
管種類で各種を選択した場合、管種類以外の積算条件は、他の管種類の選択肢から選択する。
管　径：(実数入力(㎜))
管径で各種を選択した場合、巻きコンクリートは、90°、180°、360°、無し、から選択する。
4. 土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他
（１）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：水路工、管理用通路工、排水構造物工、付帯道路工
種　　別：暗渠工、排水構造物工、管渠工、側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
管渠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における管渠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）管渠の設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

２．費用内訳
(1)設置の場合
・管渠(ヒューム管・PC管・鉄筋コンクリート台付管等)の設置、鉄筋コンクリート台付管の基礎砕石、鉄筋、現場内小運搬、緊結用器具、コンクリートカッタ運転、目地モルタルの費用、コンクリートカッタブレードの損耗費、レバーブロック損料等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・管渠(ヒューム管・PC管・鉄筋コンクリート台付管等)の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。
・鉄筋コンクリート台付管使用時以外の***基礎砕石(基礎材)***は含まない。
・均し***コンクリート***、均しコンクリート用***型枠、巻きコンクリート(管渠)***は含まない。

３．積算条件
管渠ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	管種類(P)	管径(P)	基礎砕石の有無(P)
設置	ヒューム管1種	150㎜	―
		200㎜	―
		250㎜	―
		300㎜	―
		350㎜	―
		400㎜	―
		450㎜	―

積算条件			
作業区分(P)	管種類(P)	管径(P)	基礎砕石の有無(P)
設置	ヒューム管1種	500mm	―
		600mm	―
		700mm	―
		800mm	―
		900mm	―
		1000mm	―
		1100mm	―
		1200mm	―
		1350mm	―
	ヒューム管2種	150mm	―
		200mm	―
		250mm	―
		300mm	―
		350mm	―
		400mm	―
		450mm	―
		500mm	―
		600mm	―
		700mm	―
		800mm	―
		900mm	―
		1000mm	―
		1100mm	―
		1200mm	―
		1350mm	―
	PC管	500mm	―
		600mm	―
		700mm	―
		800mm	―
		900mm	―
		1000mm	―
		1100mm	―
	鉄筋コンクリート台付管	200mm	有り
			無し
		250mm	有り
			無し
		300mm	有り
			無し
		350mm	有り
			無し
		400mm	有り

積算条件			
作業区分(P)	管種類(P)	管径(P)	基礎砕石の有無(P)
設置	鉄筋コンクリート台付管	400㎜	無し
		450㎜	有り
			無し
		500㎜	有り
			無し
		600㎜	有り
			無し
		700㎜	有り
			無し
		800㎜	有り
			無し
		900㎜	有り
			無し
		1000㎜	有り
			無し
		1100㎜	有り
			無し
		1200㎜	有り
			無し
	各種	―	―
撤去	ヒューム管1種	150㎜	―
		200㎜	―
		250㎜	―
		300㎜	―
		350㎜	―
		400㎜	―
		450㎜	―
		500㎜	―
		600㎜	―
		700㎜	―
		800㎜	―
		900㎜	―
		1000㎜	―
		1100㎜	―
		1200㎜	―
		1350㎜	―
	ヒューム管2種	150㎜	―
		200㎜	―
		250㎜	―
		300㎜	―
		350㎜	―

積算条件			
作業区分(P)	管種類(P)	管径(P)	基礎砕石の有無(P)
撤去	ヒューム管2種	400㎜	―
		450㎜	―
		500㎜	―
		600㎜	―
		700㎜	―
		800㎜	―
		900㎜	―
		1000㎜	―
		1100㎜	―
		1200㎜	―
		1350㎜	―
	PC管	500㎜	―
		600㎜	―
		700㎜	―
		800㎜	―
		900㎜	―
		1000㎜	―
		1100㎜	―
	鉄筋コンクリート台付管	200㎜	―
		250㎜	―
		300㎜	―
		350㎜	―
		400㎜	―
		450㎜	―
		500㎜	―
		600㎜	―
		700㎜	―
		800㎜	―
		900㎜	―
		1000㎜	―
		1100㎜	―
		1200㎜	―
	各種	―	―

（注）1.現場内小運搬は30m程度とする。
2.ヒューム管及び鉄筋コンクリート台付管について、基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。
3.鉄筋コンクリート台付管の断面が卵形の場合の管径は内幅とする。
4.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
管種類：各種（文字入力）

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（８）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（９）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
(10) コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
(11) 型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
(12) 巻きコンクリート(管渠)については、（Ⅲ-直接-5-148）による。
(13) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：水路工、管理用通路工、排水構造物工、付帯道路工
種　　別：暗渠工、排水構造物工、管渠工、側溝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

巻きコンクリート(管渠)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、付帯道路工における巻きコンクリート（管渠）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）管渠（ヒューム管、PC管）設置に伴う巻きコンクリートの設置

２．費用内訳
・ヒューム管及びPC管用巻きコンクリートの設置、基礎砕石、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、養生、現場内小運搬、型枠持上(下)げの他、養生材、型枠材、組立支持材、はく離剤等の材料費、雑機械器具(シュート、ホッパ、バイブレータ、電気ドリル、電気ノコギリ等)の損料、電力に関する経費、型枠持上(下)げ機械運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***鉄筋***は含まない。
・***管渠***は含まない。

３．積算条件
巻きコンクリート（管渠）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
管径(P)	基礎砕石の有無(P)	巻きコンクリート(P)	コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
150㎜	有り	90°巻き	表３．２参照	
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
200㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
250㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
300㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		

積算条件				
管径(P)	基礎砕石の有無(P)	巻きコンクリート(P)	コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
300㎜	有り	360°巻き	表３．２参照	
	無し	―		
350㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
400㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
450㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
500㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
600㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
700㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
800㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
900㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
1000㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
1100㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		

積算条件				
管径(P)	基礎砕石の有無(P)	巻きコンクリート(P)	コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
1100㎜	無し	―	表３．２参照	
1200㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		
1350㎜	有り	90°巻き		
		180°巻き		
		360°巻き		
	無し	―		

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	区分
コンクリート規格(P)	18-8-40(高炉)
	18-8-25(20)(高炉)
	18-8-40(普通)
	各種
養生工の種類(S)	一般養生
	各種

（注）1.コンクリート養生において、一般養生以外の特殊な養生を行う場合は、養生工「各種」を選択する。
2.基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は、基礎砕石の有無で「無し」を選択し、別途、基礎砕石(基礎材)を計上する。
3.積算条件：養生工の種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
養生工の種類：各種（文字入力）
積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（２）管渠については、（Ⅲ-直接-5-147）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：水路工、管理用通路工、排水構造物工、付帯道路工
種　　別：集水桝工、排水構造物工、集水桝・マンホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト集水桝・街渠桝

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工におけるプレキャスト集水桝・街渠桝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）排水構造物工における集水桝・街渠桝の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置［移設］）
（４）撤去のみの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・プレキャスト集水桝及びプレキャスト街渠桝の設置(蓋を含む)、基礎材、敷モルタル、敷砂、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・プレキャスト集水桝及びプレキャスト街渠桝の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。
(3)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む。

・均しコンクリート用の***コンクリート、型枠***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
プレキャスト集水桝・街渠桝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
桝種類(P)	作業区分(P)	製品質量(kg/基)(S)	基礎砕石の有無(P)
各種	設置	50以上80以下	有り
			無し
		80を超え400以下	有り
			無し
		400を超え800以下	有り
			無し
		800を超え1200以下	有り
			無し

積算条件			
桝種類(P)	作業区分(P)	製品質量(kg/基)(S)	基礎砕石の有無(P)
各種	設置	1200を超え1600以下	有り
			無し
		1600を超え2200以下	有り
			無し
	撤去	50以上80以下	―
		80を超え400以下	―
		400を超え800以下	―
		800を超え1200以下	―
		1200を超え1600以下	―
		1600を超え2200以下	―
	再利用設置	50以上80以下	有り
			無し
		80を超え400以下	有り
			無し
		400を超え800以下	有り
			無し
		800を超え1200以下	有り
			無し
		1200を超え1600以下	有り
			無し
		1600を超え2200以下	有り
			無し

（注）1.基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準とし、これにより難い場合は、基礎砕石の有無で「無し」を選択し、別途、基礎砕石(基礎材)を計上する。
2.積算条件：各種の場合
桝種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（３）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（４）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（５）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（６）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（７）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（８）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：集水桝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト集水桝

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工におけるプレキャスト集水桝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）プレキャスト集水桝(製品質量150kg/個を超え1,700kg/個以下)を設置する場合

２．費用内訳
・山腹水路工におけるプレキャスト集水桝の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎材、遮水シート、吸出し防止材、現場内小運搬の他、締固め機械等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***蓋***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）蓋については、（Ⅲ-直接-5-154）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（４）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、舗装
工　　種：排水構造物工
種　　別：集水桝・マンホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

集水桝・街渠桝(本体)

積算単位:箇所(箇所数)
契約単位:箇所(箇所数)

１．適用範囲

本資料は、排水構造物工における集水桝・街渠桝（本体）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）集水桝・街渠桝（本体）の設置（材料込みの新設設置）

（２）仕上方式が現場打ちの場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）

（３）撤去のみの場合

２．費用内訳

・集水桝又は街渠桝の基礎材、均しコンクリート、コンクリート、養生、型枠、鉄筋、敷モルタル、ステップ、プレキャスト桝の設置（蓋を含む）、作業土工（床掘り・埋戻し）、現場内小運搬の他、敷砂材料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・桝（本体）が現場打ちの場合の***蓋***は含まない。
・足場は含まない。

３．積算条件

集水桝・街渠桝(本体)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件		
土質(P)	仕上げ方式(P)	コンクリート総体積(P)
表３．２参照	プレキャスト製品	－
	現場打ち	0.2m3 以下
		0.2 m3 を超え 0.4m3 以下
		0.4 m3 を超え 0.6m3 以下
		0.6 m3 を超え 0.8m3 以下
		0.8 m3 を超え 1.0m3 以下
		1.0 m3 を超え 1.2m3 以下
		1.2 m3 を超え 1.4m3 以下
		1.4 m3 を超え 1.6m3 以下
		1.6 m3 を超え 1.8m3 以下

積算条件		
土質(P)	仕上げ方式(P)	コンクリート総体積(P)
表３．２参照	現場打ち	1.8 m3 を超え 2.0m3 以下
		2.0 m3 を超え 2.2m3 以下
		2.2 m3 を超え 2.4m3 以下
		2.4 m3 を超え 2.6m3 以下
		2.6 m3 を超え 2.8m3 以下
		2.8 m3 を超え 3.0m3 以下
		3.0 m3 を超え 3.2m3 以下
		3.2 m3 を超え 3.4m3 以下
		各種

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	軟岩
	硬岩
	作業土工無し

(注) 1.土質は、作業土工での土質区分をいう。
2.積算条件：仕上げ方式「プレキャスト製品」、コンクリートの総体積「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6) による。

（２）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-25) による。

（３）残土等処分については、(Ⅲ-直接-1-27) による。

（４）蓋については、(Ⅲ-直接-5-154) による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：付帯道路工
種　　別：集水桝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集水桝(本体)

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、付帯道路工における集水桝(本体)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）集水桝（本体）の設置（材料込みの新設設置）
（２）仕上方式が現場打ちの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・集水桝の基礎材、基礎コンクリート、コンクリート、養生、型枠、鉄筋、敷モルタル、ステップ、プレキャスト桝の設置(蓋を含む)、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、敷砂材料、足場等、その施工に要する全ての費用を含む。

・桝(本体)が現場打ちの場合の***蓋***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）蓋については、（Ⅲ-直接-5-154）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：集水桝工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集水桝

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における集水桝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現場打ち集水桝(内空積1m3/基以下)の設置の場合

２．費用内訳
・山腹水路工における現場打ち集水桝、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎材、コンクリート、現場内小運搬の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、仮設材の持上(下)げ機械、締固め機械に要する費用の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***蓋***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）蓋については、（Ⅲ-直接-5-154）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（４）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、斜面対策、道路改良、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路工、水路工、付属物設置工、管理用通路工、排水構造物工、山腹水路工、斜面対策付属物設置工
種　　別：集水桝工、点検施設工、排水構造物工、集水桝・マンホール工、場所打水路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
蓋

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
　本資料は、排水構造物工等における現場打ち水路、集水桝、街渠桝及びマンホールに設置する蓋に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）水路（側溝）集水桝・街渠桝、マンホール本体が現場打ちの場合
１－２．　本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）本体がプレキャスト製品の場合

２．費用内訳
・現場打ちの水路（側溝）、集水桝、街渠桝又はマンホールの蓋の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：水路工、管理用通路工、排水構造物工、付帯道路工
種　　別：側溝工、排水構造物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
側溝蓋

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における側溝蓋に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、蓋版の質量が170kg以下の場合で、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）排水構造物工におけるプレキャスト側溝に設置する側溝蓋の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去のみの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）集水桝、街渠桝、マンホールの蓋の場合
（２）現場打水路（側溝）の蓋の場合
（３）蓋版の重量が170kgを超える場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・側溝蓋の設置(鋼製蓋版の場合は受枠の設置を含む)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(蓋版本体の製品費は含まない)
(3)撤去の場合
・側溝蓋の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・撤去後の蓋版の積込みは含まない。
・***殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
側溝蓋ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	蓋版の種類(P)	蓋版の規格(P)	蓋版の質量(S)
設置	鉄筋コンクリートU型 1種 JIS A 5372	240(33×4.5×60)	―
		300(40×6×60)	―
		360(46×6.5×60)	―
		450(56×7×60)	―
		600(74×7.5×60)	―

積算条件			
作業区分(P)	蓋版の種類(P)	蓋版の規格(P)	蓋版の質量(S)
設置	鉄筋コンクリートU型 2種 JIS A 5372	240(33×10×60)	—
		300(40×10×60)	—
		360(46×10×60)	—
		450(56×12×60)	—
		600(74×15×60)	—
	道路用鉄筋コンクリート側溝1種 JIS A 5372	250(36.2×9×50)	—
		300(41.2×9.5×50)	—
		400(51.2×11×50)	—
		500(62.2×12.5×50)	—
	道路用鉄筋コンクリート側溝3種 JIS A 5372	250(36.2×9×50)	—
		300(41.2×9.5×50)	—
		400(51.2×11×50)	—
		500(62.2×12.5×50)	—
	各種	—	40kg/枚以下
			40を超え170kg/枚以下
撤去	鉄筋コンクリートU型 1種 JIS A 5372	240(33×4.5×60)	—
		300(40×6×60)	—
		360(46×6.5×60)	—
		450(56×7×60)	—
		600(74×7.5×60)	—
	鉄筋コンクリートU型 2種 JIS A 5372	240(33×10×60)	—
		300(40×10×60)	—
		360(46×10×60)	—
		450(56×12×60)	—
		600(74×15×60)	—
	道路用鉄筋コンクリート側溝1種 JIS A 5372	250(36.2×9×50)	—
		300(41.2×9.5×50)	—
		400(51.2×11×50)	—
		500(62.2×12.5×50)	—
	道路用鉄筋コンクリート側溝3種 JIS A 5372	250(36.2×9×50)	—
		300(41.2×9.5×50)	—
		400(51.2×11×50)	—
		500(62.2×12.5×50)	—
	各種	—	40kg/枚以下
			40を超え170kg/枚以下
再利用設置	各種	—	40kg/枚以下
			40を超え170kg/枚以下

（注）1.鋼製蓋版は受枠設置を含む。
2.積算条件：各種の場合
蓋版の種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、舗装
工　　種：排水構造物工
種　　別：地下排水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
暗渠排水管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における暗渠排水管に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）暗渠排水管の設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・暗渠排水管(浅層地下排水排除のために行う)・フィルター材(砂及び砕石等)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、継手材料、締固め機械運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川修繕、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：河川土工、水路工、砂防土工、擁壁工、排水構造物工
種　　別：盛土補強工、暗渠工、補強土壁工、地下排水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

暗渠排水管敷設(地下排水)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工における暗渠排水管敷設（地下排水）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）地下排水工における暗渠排水管の設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置［移設］）
（３）撤去のみの場合
（４）埋設を行わない地上露出配管の場合

２．費用内訳
・暗渠排水管(浅層地下排水除去のために行う)の敷設、継手材料、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***フィルター材敷設(地下排水)***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
暗渠排水管敷設（地下排水）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
管径(P)	管種別(P)	呼び径区分(S)	継手材料(P)
各種	直管	50～150mm	―
		200～400mm	―
	波状管及び網状管	50～150mm	要
			不要
		200～400mm	要
			不要
		450～600mm	要
			不要

（注）1.継手材料「要」は継手接合の場合であり、継手を必要としない場合及び排水管価格に含まれる場合は「不要」とする。
2.積算条件：各種の場合
管径（mm）：各種（実数入力）

４．その他

（１）フィルター材敷設(地下排水)については、（Ⅲ-直接-5-158）による。

（２）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。

（３）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（４）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。

（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（６）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（７）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：排水構造物工
種　　別：地下排水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
フィルター材敷設(地下排水)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、排水構造物工における暗渠排水管据付のフィルター材敷設（地下排水）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）暗渠排水管敷設を伴うフィルター材敷設の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）暗渠排水管敷設を伴わないフィルター材敷設の場合

２．費用内訳
・暗渠排水管敷設に伴うフィルター材(クラッシャラン及び単粒度砕石等)の設置、締固め、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
　フィルター材敷設（地下排水）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
フィルター材の種類(P)
C-80
C-40
C-30
コンクリート用骨材 砕石 40-5
単粒度砕石 4号 30-20
RC-80
RC-40
RC-30
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　フィルター材の種類：各種（文字入力）

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（５）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：排水構造物工
種　　別：集水桝・マンホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャストマンホール

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工におけるプレキャストマンホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャストマンホールの設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）再利用設置（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

２．費用内訳
(1)設置の場合
・プレキャストマンホールの設置、蓋、基礎砕石、現場内小運搬の他、敷砂、敷モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・プレキャストマンホールの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・均し***コンクリート***、均しコンクリート用***型枠***は含まない。

３．積算条件
プレキャストマンホールユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
規格(P)	作業区分(P)	製品質量(S)	基礎砕石の有無(P)
各種	設置	2000kg/基以下	有り
			無し
		2000kg/基を超え 4000kg/基以下	有り
			無し
	撤去	2000kg/基以下	―
		2000kg/基を超え 4000kg/基以下	―

（注）1.基礎砕石の有無
有：基礎砕石の敷厚20cm以下の場合までとする。
2.積算条件：各種の場合
規　　格：各種（文字入力）

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（８）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、舗装
工　　種：排水構造物工
種　　別：集水桝・マンホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
マンホール

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物工におけるマンホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）マンホールの設置（材料込みの新設設置）
（２）仕上方式が現場打ちの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・マンホールの基礎材、基礎コンクリート、コンクリート、型枠、鉄筋、敷モルタル、プレキャストマンホール設置、蓋の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、養生、足場等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：カルバート工
種　　別：―
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストカルバート工

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲
本資料は、カルバート工におけるプレキャストカルバート工に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）プレキャストカルバートの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ブロック分割等による特殊なプレキャストカルバートの設置
（２）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合
（３）アーチカルバートの場合

２．費用内訳
・プレキャストカルバートの基礎材、均しコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む)、養生、現場内小運搬、プレキャストボックスカルバート設置、鉄筋、縦締(PC 鋼材、定着金具)、目地材、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、敷モルタル、目地モルタル、グラウト、雑機械器具(レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)、グラウトポンプ、ミキサ）の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
プレキャストカルバート工ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件		
土質(P)	内空寸法(幅(B)×高さ(H)) (P)	材料(P)
表３．２参照	600mm≦B≦750mm、 600mm≦H≦670mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	600mm≦B≦750mm、 670mm＜H≦850mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	750mm＜B≦950mm、 600mm≦H≦670mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種

積算条件		
土質(P)	内空寸法(幅(B)×高さ(H)) (P)	材料(P)
表３．２参照	750mm＜B≦950mm、 670mm＜H≦850mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	750mm＜B≦950mm、 850mm＜H≦980mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	950mm＜B≦1150mm、 670mm＜H≦850mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	950mm＜B≦1150mm、 980mm＜H≦1150mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	950mm＜B≦1150mm、 1150mm＜H≦1350mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	950mm＜B≦1150mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1150mm＜B≦1350mm、 670mm＜H≦850mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1150mm＜B≦1350mm、 850mm＜H≦980mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1150mm＜B≦1350mm、 980mm＜H≦1150mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1150mm＜B≦1350mm、 1150mm＜H≦1350mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種

積算条件		
土質(P)	内空寸法(幅(B)×高さ(H)) (P)	材料(P)
表３．２参照	1150mm＜B≦1350mm、 1350mm＜H≦1470mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1150mm＜B≦1350mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1350mm＜B≦1650mm、 980mm＜H≦1150mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1350mm＜B≦1650mm、 1150mm＜H≦1350mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1350mm＜B≦1650mm、 1350mm＜H≦1470mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1350mm＜B≦1650mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1650mm＜B≦2100mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1650mm＜B≦2100mm、 1900mm＜H≦2180mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	1650mm＜B≦2100mm、 2350mm＜H≦2570mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2100mm＜B≦2350mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種

積算条件		
土質(P)	内空寸法(幅(B)×高さ(H)) (P)	材料(P)
表３．２参照	2100mm＜B≦2350mm、 1900mm＜H≦2180mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2100mm＜B≦2350mm、 2180mm＜H≦2350mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2100mm＜B≦2350mm、 2570mm＜H≦2900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2350mm＜B≦2650mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2350mm＜B≦2650mm、 1900mm＜H≦2180mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2350mm＜B≦2650mm、 2350mm＜H≦2570mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2350mm＜B≦2650mm、 2900mm＜H≦3200mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2650mm＜B≦3250mm、 1470mm＜H≦1900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2650mm＜B≦3250mm、 1900mm＜H≦2180mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2650mm＜B≦3250mm、 2350mm＜H≦2570mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種

積算条件		
土質(P)	内空寸法(幅(B)×高さ(H)) (P)	材料(P)
表３．２参照	2650mm＜B≦3250mm、 2570mm＜H≦2900mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	2650mm＜B≦3250mm、 2900mm＜H≦3200mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	3250mm＜B≦3500mm、 1900mm＜H≦2180mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	3250mm＜B≦3500mm、 2350mm＜H≦2570mm	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種
	各種	RC,PC(150,300 型)、ハイテンション
		PC(600 型)
		可とう
		各種

表３.２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	岩塊・玉石混り土
	軟岩
	硬岩

（注）1．現場内小運搬は 30m程度とする。

2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。

内空寸法（幅×高さ）：各種（実数入力（mm））

材料：各種（文字入力）

3.土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。

（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸
工　　種：水路工、カルバート工
種　　別：暗渠工、プレキャストカルバート工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャストボックス

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、水路工、カルバート工におけるプレキャストボックスに適用する。

２．費用内訳
・プレキャストボックスカルバートの基礎材、均しコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、養生、現場内小運搬、プレキャストカルバートの設置、縦締(PC鋼材、定着金具)、敷モルタル、目地モルタル、グラウト、雑機械器具(レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)、グラウトポンプ、ミキサ)の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：カルバート工
種　　別：プレキャストカルバート工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャストボックス

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、カルバート工におけるプレキャストボックスに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）1ブロックを1部材で構成するプレキャストボックスカルバートの設置（材料込みの新設設置）
（２）製品長が、1.0m/個、1.5m/個又は2.0m/個の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置［移設］）
（２）アーチカルバートの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・プレキャストボックスカルバートの基礎材、均しコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、養生、現場内小運搬、プレキャストカルバートの設置、縦締(PC鋼材、定着金具)、敷モルタル、目地モルタル、グラウト、雑機械器具(レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)、グラウトポンプ、ミキサ）の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・プレキャストボックスカルバートの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・PC鋼材による縦締工法での、PC鋼材、定着金具は含まない。
・***床掘り（土砂）***、***床掘り（岩石）***、***埋戻し***、***土砂等運搬***、***残土運搬***、***残土等処分***は含まない。
・***鉄筋***は含まない。

３．積算条件
プレキャストボックスユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件							
内幅(P)	内高(P)	材料種類(P)	作業区分(P)	製品長(S)	内空幅・内空高（m)(S)	基礎材種別(P)	PC鋼材による縦締の有無(P)
各種	各種	各種	設置	1.0m/個	1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5	基礎砕石+均しコンクリート	―
						基礎砕石	―
						均しコンクリート	―
						無し	―
					2.5＜B≦3.75 1.25＜H≦2.5	基礎砕石+均しコンクリート	―

積算条件							
内幅(P)	内高(P)	材料種類(P)	作業区分(P)	製品長(S)	内空幅・内空高 (m)(S)	基礎材種別(P)	PC鋼材による縦締の有無(P)
各種	各種	各種	設置	1.0m/個	2.5＜B≦3.75 1.25＜H≦2.5	基礎砕石	―
						均しコンクリート	―
						無し	―
				1.5m/個	1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
					1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
					2.5＜B≦3.75 1.25＜H≦2.5	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
					2.5≦B≦3.75 2.5＜H≦3.75	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
				2.0m/個	0＜B≦1.25 0＜H≦1.25	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り

積算条件							
内幅(P)	内高(P)	材料種類(P)	作業区分(P)	製品長(S)	内空幅・内空高 (m)(S)	基礎材種別(P)	PC鋼材による縦締の有無(P)
各種	各種	各種	設置	2.0m/個	0＜B≦1.25 0＜H≦1.25	無し	無し
							有り
					1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
					0＜B≦1.25 1.25＜H≦2.5	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
					1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5	基礎砕石+均しコンクリート	無し
							有り
						基礎砕石	無し
							有り
						均しコンクリート	無し
							有り
						無し	無し
							有り
			撤去	1.0m/個	1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5	―	―
					2.5＜B≦3.75 1.25＜H≦2.5	―	―
				1.5m/個	1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25	―	無し
							有り
					1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5	―	無し
							有り
					2.5＜B≦3.75 1.25＜H≦2.5	―	無し
							有り
					2.5≦B≦3.75 2.5＜H≦3.75	―	無し
							有り
				2.0m/個	0＜B≦1.25 0＜H≦1.25	―	無し
							有り
					1.25＜B≦2.5 0＜H≦1.25	―	無し
							有り

積算条件							
内幅(P)	内高(P)	材料種類(P)	作業区分(P)	製品長(S)	内空幅・内空高（m)(S)	基礎材種別(P)	PC鋼材による縦締の有無(P)
各種	各種	各種	撤去	2.0m/個	0＜B≦1.25 1.25＜H≦2.5	―	無し
							有り
					1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5	―	無し
							有り

（注）1.PC鋼材、定着金具は、別途必要量を計上する。
2.基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は、基礎砕石の有無で「無し」を選択し、別途、基礎砕石(基礎材)を計上する。
3.積算条件：各種の場合
内幅（m）：各種（実数入力）
内高（m）：各種（実数入力）
材料種類 ：各種（文字入力）

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、縁石工
種　　別：縁石工、分離帯工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
歩車道境界ブロック

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工、付帯道路工における歩車道境界ブロック（道路の車道と歩道との分離等のために用いる）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、製品長2m以下の場合で、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）縁石工等における歩車道境界ブロックの設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）撤去のみの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合（材料込みの新設設置）
・歩車道境界ブロック(道路の車道と歩道等を分離するために用いる)の基礎材、基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、敷モルタル､目地モルタル､器具等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
・歩車道境界ブロック(道路の車道と歩道等を分離するために用いる)の撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(歩車道境界ブロック本体の製品費は含まない)。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
歩車道境界ブロックユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	ブロック規格(P)	基礎コンクリートの有無(P)	基礎コンクリート厚さ(P)
設置	A種	無し	―
		有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
	B種	無し	―
		有り	5cm未満

積算条件			
作業区分(P)	ブロック規格(P)	基礎コンクリートの有無(P)	基礎コンクリート厚さ(P)
設置	B種	有り	5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
	C種	無し	―
		有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
	各種	無し	―
		有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
撤去・設置	A種	無し	―
		有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
	B種	無し	―
		有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
	C種	無し	―
		有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種
	各種	無し	―

積算条件			
作業区分(P)	ブロック規格(P)	基礎コンクリートの有無(P)	基礎コンクリート厚さ(P)
撤去・設置	各種	有り	5cm未満
			5cm以上10cm未満
			10cm以上15cm未満
			15cm以上20cm未満
			20cm以上25cm未満
			各種

（注）1.直線部、曲線部、擦付部、乗入部に関わらず適用出来る。
2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
ブロック規格：各種（文字入力）
基礎コンクリート厚さ：各種(実数入力（cm））

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（５）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路修繕
工　　種：管理用通路工、付帯道路工、縁石工
種　　別：道路付属物工、縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
歩車道境界ブロック

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工における歩車道境界ブロックに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・プレキャスト製品による歩車道境界ブロック(道路の車道と歩道等を分離するために用いる)の設置、目地モルタル、敷モルタル、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(歩車道境界ブロック本体の製品費は含まない)。
(3)撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
・歩車道境界ブロック(道路の車道と歩道等を分離するために用いる)の撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(歩車道境界ブロック本体の製品費は含まない)。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***、均しコンクリート用***型枠***、均し***コンクリート、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
歩車道境界ブロックユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	ブロック規格(P)
設置	A種(150/170×200×600)
	B種(180/205×250×600)
	C種(180/210×300×600)
	各種
再利用設置	A種(150/170×200×600)
	B種(180/205×250×600)
	C種(180/210×300×600)

積算条件	
作業区分(P)	ブロック規格(P)
再利用設置	各種
撤去・設置	A種(150/170×200×600)
	B種(180/205×250×600)
	C種(180/210×300×600)
	各種

（注）積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
ブロック規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（８）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（９）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
(10) 殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
(11) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、縁石工
種　　別：縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
地先境界ブロック

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工、付帯道路工における地先境界ブロックに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）地先境界ブロックの設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（２）撤去のみの場合
（３）現場打ちの場合

２．費用内訳
・地先境界ブロック(地先境界に道路の舗装止めとして用いる)の基礎材、基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、作業土工(床掘り・埋戻し）、現場内小運搬の他、敷モルタル､目地モルタル､器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
地先境界ブロックユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
ブロック規格(P)	基礎コンクリートの有無(P)
A種(120×120×600)	有り
	無し
B種(150×120×600)	有り
	無し
C種(150×150×600)	有り
	無し
各種	有り
	無し

（注）積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
ブロック規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。

（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、道路修繕
工　　種：付帯道路工、縁石工
種　　別：縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
地先境界ブロック

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、プレキャスト製品による地先境界ブロックに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）地先境界ブロックの設置(材料込みの新設設置)
（２）地先境界ブロックの再利用設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）現場打ちの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・地先境界ブロック(地先境界に道路の舗装止めとして用いる)のプレキャストブロックの設置、現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(プレキャストブロック本体の製品費は含まない)。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***、均しコンクリート用***型枠***、均し***コンクリート、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
地先境界ブロックユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	ブロック規格(P)
設置	A種(120×120×600)
	B種(150×120×600)
	C種(150×150×600)
	各種
再利用設置	A種(120×120×600)
	B種(150×120×600)
	C種(150×150×600)
	各種

（注）積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
ブロック規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（８）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（９）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
(10) 殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
(11) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：縁石工
種　　別：縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植樹ブロック

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工における植樹ブロックに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）植樹ブロックの設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（２）撤去のみの場合
（３）現場打ちの場合

２．費用内訳
・道路植栽の植栽桝に用いる植樹ブロックの設置、基礎材、型枠、コンクリート、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、敷モルタル、目地モルタル、補助機械費用、つき固め機械等の損料及び燃料の費用、型枠材、はく離剤、シュート、ホッパ、バイブレータ損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：縁石工
種　　別：縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植樹ブロック

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工における植樹ブロックに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）植樹ブロックの設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（２）撤去のみの場合
（３）現場打ちの場合

２．費用内訳
・道路植栽の植樹桝に用いる植樹ブロックの設置、基礎材、型枠、コンクリートの他、敷モルタル、目地モルタル、器具、補助機械費用、つき固め機械等の損料及び燃料の費用、型枠材、はく離剤、シュート、ホッパ、バイブレータ損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り（土砂）、床掘り（岩石）、埋戻し***は含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：縁石工
種　　別：分離帯工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間詰コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、縁石工における間詰コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・間詰コンクリートのコンクリート、型枠、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：縁石工
種　　別：分離帯工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間詰砕石

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、縁石工における間詰砕石に適用する。

２．費用内訳
・間詰砕石の敷均し等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路修繕
工　　種：縁石工、道路植栽工
種　　別：分離帯工、道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
客土

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、縁石工等における客土に適用する。

２．費用内訳
・植樹帯の客土(上層30cm)による盛土(植栽作業と同時に行う場合は除く)、土壌改良材の混合の他、土壌改良材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路修繕
工　　種：縁石工、道路植栽工
種　　別：分離帯工、道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植樹帯盛土

積算単位：m3(土量)
契約単位：m3(土量)

１．適用範囲
本資料は、縁石工等における植樹帯盛土に適用する。

２．費用内訳
・植樹帯の盛土の敷均し等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土材料、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、縁石工
種　　別：縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アスカーブ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工、付帯道路工におけるアスカーブに適用する。

２．費用内訳
・アスカーブの設置の他、瀝青材料、瀝青材料の散布及び加熱燃料の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
アスカーブユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
材料(P)
再生細粒度アスファルト混合物(13)
細粒度アスファルト混合物(13)

４．その他
（１）「１.適用範囲」で定義された範囲から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、道路修繕
工　　種：付帯道路工、縁石工
種　　別：縁石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アスカーブ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石工におけるアスカーブに適用する。

２．費用内訳
・アスカーブ設置の他、瀝青材料、瀝青材料の散布及び加熱燃料等の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
アスカーブユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
断面積(P)	材料(P)
125cm2以上140cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
140cm2以上155cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
155cm2以上175cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
175cm2以上195cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
195cm2以上215cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
215cm2以上235cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)

積算条件	
断面積(P)	材料(P)
215cm2以上235cm2未満	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
235cm2以上255cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
255cm2以上280cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
280cm2以上300cm2未満	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)
各種	細粒度アスファルト混合物(13)
	細粒度アスファルト混合物(13F)
	再生細粒度アスファルト混合物(13)
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)

（注）積算条件：断面積「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
断面積：各種(実数入力（cm2）)

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：踏掛版工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
踏掛版工

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、踏掛版工に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）踏掛版工における現場打ちの踏掛版の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャスト踏掛版の設置
（２）一般養生以外の特殊養生(練炭養生、ジェットヒーター養生)を行う場合

２．費用内訳
・踏掛版工におけるコンクリート、型枠、鉄筋、目地材、ゴム支承、アンカーボルト、縦・横目地、養生、路盤紙、敷砂、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・路盤材の敷設は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
踏掛版ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
鉄筋量(P)
0.12t/m3以上0.16t/m3未満
0.16t/m3以上0.20t/m3未満
0.20t/m3以上0.24t/m3未満
0.24t/m3以上0.28t/m3未満
各種

(注)1.鉄筋量は1脚当りの鉄筋量
2.積算条件：各種の場合
鉄筋量（t/m3）：各種（実数入力）

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
溶融式区画線

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、区画線工、付帯道路工における溶融式区画線に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）溶融式（手動）の場合
（２）道路に設置する区画線、道路標示の場合
（３）実線、ゼブラ、破線のいずれかの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ペイント式区画線の場合
（２）水性ペイント式の場合
（３）高視認性区画線の場合
（４）構成する線幅が10cm未満の矢印・文字・記号及びシール等の貼付式の場合
（５）溶融式（手動）のうち、非鉛系の路面標示用塗料（黄色）を使用して施工する場合。

２．費用内訳
・道路への溶融式区画線設置の他、プライマー、プロパンガス、雑器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
溶融式区画線ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
塗布厚(P)	規格・仕様(P)	表層種類(P)	施工数量(S)
1.5㎜	15㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	20㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満

積算条件			
塗布厚(P)	規格・仕様(P)	表層種類(P)	施工数量(S)
1.5㎜	20㎝	排水性舗装	100m以上500m未満
			500m以上
	30㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	45㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	矢印・文字・記号	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
各種	15㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	20㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	30㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	45㎝	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上

積算条件			
塗布厚(P)	規格・仕様(P)	表層種類(P)	施工数量(S)
各種	45㎝	排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
	矢印・文字・記号	排水性舗装以外	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上
		排水性舗装	100m未満
			100m以上500m未満
			500m以上

（注）1.施工数量は溶融式区画線の1工事当りの全体数量とする。
2.破線の場合の延長は、塗布延長とする。
3.矢印・記号・文字において15cm換算する。
例）線幅30cm・設計数量20mの場合　20×30／15＝40ｍ（換算数量）
4.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、他の積算条件は、塗布厚1.5mの選択肢より選択し、積算条件として以下の項目を記載する。
塗布厚：各種（実数入力（mm））

４．その他
（１）ペイント式区画線については、（Ⅲ-直接-5-179）による。
（２）区画線消去については、（Ⅲ-直接-5-182）による。
（３）高視認性区画線については、（Ⅲ-直接-5-181）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、道路修繕
工　　種：付帯道路工、区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

溶融式区画線

積算単位:m(延長)
契約単位:m(延長)

１．適用範囲

本資料は、区画線工における溶融式区画線に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）溶融式（手動）の場合
（２）道路に設置する区画線、道路標示の場合
（３）線色が白色又は黄色の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）ペイント式区画線の場合
（２）水性ペイント式の場合
（３）高視認性区画線の場合
（４）構成する線幅が 10cm 未満の矢印・文字・記号及びシール等の貼付式の場合

２．費用内訳

・道路への溶融式区画線設置の他、プライマー、プロパンガス、雑器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

溶融式区画線ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件				
施工箇所(S)	塗布厚(P)	規格・仕様(P)	表層種類(P)	施工数量(S)
供用区間	1.5mm	表３．２参照		100m 未満
				100m 以上 500m 未満
				500m 以上
	1.0mm			100m 未満
				100m 以上 500m 未満
				500m 以上
未供用区間	1.5mm			100m 未満
				100m 以上 500m 未満
				500m 以上
	1.0mm			100m 未満
				100m 以上 500m 未満
				500m 以上

表３．２(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件	区分
規格仕様(P)	実線・ゼブラ 15cm
	実線・ゼブラ 20cm
	実線・ゼブラ 30cm
	実線・ゼブラ 45cm
	破線 15cm
	破線 20cm
	破線 30cm
	破線 45cm
	矢印・記号・文字
表層種類(P)	排水性舗装以外
	排水性舗装

（注）1.施工箇所

・供用区間

維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事

現道拡幅工事等：現道拡幅工に伴う区画線工事

交通安全工事（1 種）：交差点改良、停車帯等の交通安全工事（1 種）に伴う区画線工事

交通安全工事（2 種）：現道のラインの補修工事

・未供用区間

バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事

2.破線は、塗布延長とする。

3.施工数量は、溶融式区画線の 1 工事当りの全体数量とする。

4.仮区画線を施工する場合、規格・仕様が同じであれば、適用出来る。

5.横断線は、ゼブラを適用する。

6.矢印・文字・記号において 15cm 換算する。

例)線幅 30cm・設計数量 20m の場合　20×30／15＝40m（換算数量）

４．その他

（１）ペイント式区画線については、(Ⅲ-直接-5-180）による。

（２）区画線消去については、(Ⅲ-直接-5-183）による。

（３）高視認性区画線については、(Ⅲ-直接-5-181）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ペイント式区画線

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、区画線工、付帯道路工（舗装の種別を問わない）におけるペイント式区画線に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ペイント式区画線（車載式）の設置
（２）線色が白色又は黄色の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）溶融式の場合

２．費用内訳
・道路へのペイント式区画線設置の他、プライマー、プロパンガス、雑器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水性型ペイント式による区画線設置で発生した塗料廃液の処理に要する費用は含まない。

３．積算条件
　ペイント式区画線ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
常温式15cm	500m未満
	500m以上2000m未満
	2000m以上
加熱式15cm	500m未満
	500m以上2000m未満
	2000m以上
加熱式30cm	500m未満
	500m以上2000m未満
	2000m以上
各種	500m未満
	500m以上2000m未満
	2000m以上

（注）1. 施工数量はペイント式区画線の1工事当りの全体数量とする。
2. 破線の場合の延長は塗布延長とする。
3. 水性型を使用する場合は「各種」とする。

４．その他

（１）溶融式区画線については、（Ⅲ-直接-5-177）による。

（２）区画線消去については、（Ⅲ-直接-5-182）による。

（３）高視認性区画線については、（Ⅲ-直接-5-181）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、道路修繕
工　　種：付帯道路工、区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ペイント式区画線

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、区画線工（舗装の種別を問わない）におけるペイント式区画線に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ペイント式区画線（車載式）の場合
（２）線色が白色又は黄色の場合
（３）仮区画線を施工する場合で、区画線工と規格・仕様が同じ場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）溶融式の場合

２．費用内訳
・道路へのペイント式区画線設置の他、プライマー、プロパンガス、雑器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水性型ペイント式による区画線設置で発生した塗料廃液の処理に要する費用は含まない。

３．積算条件
ペイント式区画線ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
施工箇所(S)	施工方法(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
供用区間	溶剤型	実線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		実線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式30cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 常温式15cm	500m未満

積算条件			
施工箇所(S)	施工方法(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
供用区間	溶剤型	破線 常温式15cm	500m以上2000m未満
			2000m以上
	水性型	実線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		実線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式30cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
未供用区間	溶剤型	実線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		実線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式30cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
	水性型	実線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		実線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 加熱式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上

積算条件			
施工箇所(S)	施工方法(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
未供用区間	水性型	破線 加熱式30cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上
		破線 常温式15cm	500m未満
			500m以上2000m未満
			2000m以上

（注）1.施工数量は、ペイント式区画線の1工事の全体数量とする。
2.破線の場合の延長は塗布延長とする。

４．その他

（１）溶融式区画線については、（Ⅲ-直接-5-178）による。

（２）区画線消去については、（Ⅲ-直接-5-183）による。

（３）高視認性区画線については、（Ⅲ-直接-5-181）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路修繕
工　　種：区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
高視認性区画線

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、区画線工における高視認性区画線に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）高視認性区画線の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）リブ式で突起部（リブ）とライン部の施工が別となる場合
（２）排水性舗装における施工の場合
（３）溶融式のうち、非鉛系の路面標示用塗料（黄色）を使用して施工する場合

２．費用内訳
・道路への高視認性区画線設置の他、プライマー、プロパンガス、雑器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
高視認性区画線ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
施工箇所(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
供用区間	リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線 15cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線 20cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線 30cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 15cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 20cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 30cm	100m未満
		100m以上500m未満

積算条件		
施工箇所(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
供用区間	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 30cm	500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 15cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 20cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 30cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 45cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	貼付式 白色･黄色	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
未供用区間	リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線 15cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線 20cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線 30cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 15cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 20cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	リブ式(2液反応式) 白色･黄色 実線 30cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 15cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 20cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上

積算条件		
施工箇所(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
未供用区間	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 30cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	非リブ式(溶融式) 白色･黄色 実線･ゼブラ 45cm	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上
	貼付式 白色･黄色	100m未満
		100m以上500m未満
		500m以上

（注）1.施工数量は、リブ式（溶融式）、リブ式（2液反応式）、非リブ式（溶融式）、貼付式 白色・黄色のそれぞれ1工事の全体数量とする。

2.施工箇所

(1)供用区間

維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事

現道拡幅工事等：現道拡幅工に伴う区画線工事

交通安全工事（1種）：交差点改良、停車帯等の交通安全工事（1種）に伴う区画線工事

交通安全工事（2種）：現道の区画線の補修工事

(2)未供用区間

バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事

４．その他

（１）溶融式区画線については、（Ⅲ-直接-5-177）による。

（２）溶融式区画線については、（Ⅲ-直接-5-178）による。

（３）区画線消去については、（Ⅲ-直接-5-182）による。

（４）区画線消去については、（Ⅲ-直接-5-183）による。

（５）ペイント式区画線については、（Ⅲ-直接-5-179）による。

（６）ペイント式区画線については、（Ⅲ-直接-5-180）による。

（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
区画線消去

積算単位：m(延長(15cm換算))
契約単位：m(延長(15cm換算))

１．適用範囲
本資料は、区画線工における区画線消去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）区画線工（高視認性の場合は、溶融式、２液反応式）における区画線の消去
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）高視認性区画線の貼付式の場合
（２）コンクリート舗装上の区画線の消去

２．費用内訳
・区画線(高視認性区画線を含む)の消去の他、路面清掃、消去後に発生した削りかす・廃材等の運搬・処分、汚泥吸引・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・消去後のバーナー仕上げ及び黒ペイント塗りは含まない。
・消去後に発生した汚泥の処理・処分費は含まない。

３．積算条件
区画線消去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
消去方式(S)
削取り式
各種

（注）1.排水性舗装上の区画線の消去は「各種」とする。
2.区画線消去における施工数量は、15cm換算をする。なお、換算方法は、溶融式区画線を参照。
3.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
消去方式：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：区画線工
種　　別：区画線工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
区画線消去

積算単位：m(延長(15cm換算))
契約単位：m(延長(15cm換算))

１．適用範囲
本資料は、区画線工における区画線消去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）区画線工（高視認性区画線の場合は溶融式、2液反応式）における区画線の消去
（２）削取り式の場合、排水性舗装を除く一般的なアスファルト舗装上の区画線消去
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）高視認性区画線の貼付式の場合
（２）コンクリート舗装上の区画線の消去
（３）削取り式の場合、排水性舗装上の区画線消去
（４）ウォータージェット式で施工数量が100m未満の場合

２．費用内訳
・区画線(高視認性区画線を含む)の消去の他、路面清掃、消去後に発生した削りかす・廃材等の運搬・処分、汚泥吸引・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・消去後のバーナー仕上げ及び黒ペイント塗りは含まない。
・消去後に発生した汚泥の処理・処分費は含まない。

３．積算条件
区画線消去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
消去方式(S)	施工数量(S)
削取り式	―
ウォータージェット式	600m以上
	300m以上600m未満
	300m未満

（注）1. ウォータージェット式の施工数量は、1工事当り全体数量である。ただし、交通規制等の制約により、1日当りの施工数量が標準施工数量に満たない場合については、1工事当りの全体数量ではなく、1日当りの施工数量とする。
2. 排水性舗装上に施工された区画線の消去は、ウォータージェット式とする。
3. 区画線消去における施工数量は、15cm換算をする。なお、換算方法は、溶融式区画線を参照。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川維持、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、流路付属物設置工、道路付属施設工
種　　別：境界工、境界杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
境界杭

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、境界杭に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）境界杭（コンクリート製）の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）メーカーのオリジナル製品を用いる場合

２．費用内訳
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
・境界杭(河川境界杭を含む)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
・上記（１）の設置費のみを含む（境界杭の製品費は含まない）。

・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
境界杭ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
作業区分(P)	根巻き基礎の有無(P)	材料区分(P)
設置	有り	標準(120㎜×120㎜)
		各種
	無し	標準(120㎜×120㎜)
		各種
再利用設置	有り	各種
	無し	各種

（注）1.積算条件：各種を選択の場合、以下の項目を入力する。
境界杭規格：各種（文字入力）
2.根巻き基礎一体型の境界杭を用いる場合には、根巻き基礎の有無で「無し」を選択する。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、河川維持、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、付属物設置工、道路付属施設工
種　　別：境界工、付属物設置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
境界鋲

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、境界鋲に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）金属製の境界鋲の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）メーカーのオリジナル製品を用いる場合
（２）自発光式及び電気式の製品を用いる場合

２．費用内訳
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
・境界鋲の設置(穿孔・充填を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
・上記（１）の設置費のみを含む（境界鋲の製品費は含まない）。

３．積算条件
境界鋲ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	材料区分(P)
設置	標準(40×100×2)(足付)
	各種
再利用設置	各種

（注）積算条件：各種の場合
境界鋲規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、道路付属施設工
種　　別：道路付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
視線誘導標

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工における視線誘導標に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）視線誘導標の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）反射体材質がポリカーボネート及び同等品の場合
（４）支柱材質が鋼管、樹脂及び同等品（ただし、アルミは除く）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）メーカーのオリジナル製品を用いる場合
（２）自発光式及び電気式の製品を用いる場合
（３）二眼視線誘導標
（４）三眼視線誘導標
（５）線形視線誘導標

２．費用内訳
（１）設置の場合(材料込みの新設設置)
・視線誘導標(スノーポール併用型含む)の設置、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、コンクリート建込の場合は穿孔・充填、構造物取付の場合は穿孔・アンカー取付等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記（１）の設置費のみを含む(視線誘導標本体の製品費は含まない)。

・***土砂等運搬***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
視線誘導標ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型（反射体 径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	有り さや管	30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	土中建込	―	片面	反射体径φ300 支柱径φ60.5	有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	コンクリート建込	有り	片面	反射体径φ100以下 支柱径φ89	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	コンクリート建込	無し	片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	有り さや管	30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
		防護柵取付	―	両面	反射体径φ100以下 バンド式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	無し	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	防護柵取付	―	両面	反射体径φ300 バンド式	有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 バンド式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
		構造物取付	―	両面	反射体径φ100以下 側壁用	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	構造物取付	—	両面	反射体径φ300 ベースプレート式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 側壁用	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 ベースプレート式	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ300)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
	視線誘導標(スノーポール併用型)	土中建込	—	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数1個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標(スノーポール併用型)	土中建込	―	片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	有り さや管	30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数1個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数1個	無し	30本以上
							30本未満
						有り 防塵型(反射体 径φ100以下)	30本以上
							30本未満
						有り さや管	30本以上
							30本未満
再利用設置	視線誘導標	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	―	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
再利用設置	視線誘導標	土中建込	—	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
再利用設置	視線誘導標	コンクリート建込	無し	片面	反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	―	30本以上
							30本未満
		防護柵取付	―	両面	反射体径φ100以下 バンド式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 バンド式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	―	30本以上
							30本未満
		構造物取付	―	両面	反射体径φ100以下 側壁用	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 ベースプレート式	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 側壁用	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 ベースプレート式	―	30本以上
							30本未満
	視線誘導標(スノーポール併用型)	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
再利用設置	視線誘導標(スノーポール併用型)	コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満

（注）1. 施工数量は1工事の全体数量である。
2. 基礎を使用する場合は、設置方式：土中建込を適用する。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、道路付属施設工、道路付属物復旧工
種　　別：付属物設置工、道路付属物工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
距離標

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属物工のうち、距離標（百米標、キロ標）の人力による設置及び撤去作業における距離標に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）距離標（百米標、キロ標）の設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）接着剤による貼り付けの場合

２．費用内訳
・距離標の設置・撤去、作業土工(土中埋込の場合)、穿孔(構造物取付の場合)、プレキャスト基礎、アンカーボルト、電気ドリル損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・土中埋込用の撤去に伴うコンクリート基礎の***コンクリート構造物取壊し***は含まない。
・***コンクリート、型枠***は含まない。

３．積算条件
距離標ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	基礎形式(P)
設置	土中埋込用
	構造物取付用
撤去	土中埋込用
	構造物取付用

４．その他
（１）コンクリート構造物取壊しについては、（Ⅲ-直接-15-12）による。
（２）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（３）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、道路付属施設工
種　　別：道路付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
道路鋲

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工における道路鋲に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）道路鋲の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）交差点鋲の場合
（２）メーカーのオリジナル製品を用いる場合
（３）自発光式及び電気式の製品を用いる場合

２．費用内訳
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
・道路上の道路鋲設置(穿孔式の場合は、穿孔・充填を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
・上記（１）の設置費のみを含む（道路鋲本体の製品費は含まない）。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
道路鋲ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	設置方式(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
設置	穿孔式	大型鋲 両面反射 アルミ製 設置幅30cm	30個以上
			30個未満
		大型鋲 両面反射 アルミ製 設置幅20cm	30個以上
			30個未満
		大型鋲 片面反射 アルミ製 設置幅30cm	30個以上
			30個未満
		大型鋲 片面反射 アルミ製 設置幅20cm	30個以上
			30個未満
		小型鋲 両面反射 アルミ製 設置幅15cm	30個以上
			30個未満

積算条件			
作業区分(P)	設置方式(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
設置	穿孔式	小型鋲 片面反射 アルミ製 設置幅15cm	30個以上
			30個未満
	貼付式	小型鋲 両面反射 樹脂製 設置幅10cm	30個以上
			30個未満
		小型鋲 片面反射 樹脂製 設置幅10cm	30個以上
			30個未満
再利用設置	穿孔式	大型鋲 両面反射 アルミ製 設置幅30cm	30個以上
			30個未満
		大型鋲 両面反射 アルミ製 設置幅20cm	30個以上
			30個未満
		大型鋲 片面反射 アルミ製 設置幅30cm	30個以上
			30個未満
		大型鋲 片面反射 アルミ製 設置幅20cm	30個以上
			30個未満
		小型鋲 両面反射 アルミ製 設置幅15cm	30個以上
			30個未満
		小型鋲 片面反射 アルミ製 設置幅15cm	30個以上
			30個未満
	貼付式	小型鋲 両面反射 樹脂製 設置幅10cm	30個以上
			30個未満
		小型鋲 片面反射 樹脂製 設置幅10cm	30個以上
			30個未満

（注）1.施工数量は1工事の全体数量とする。
2.規格・仕様：設置幅は本体の寸法ではなく、道路上に設置したときの幅とする。

４．その他

（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路施設工、道路付属施設工
種　　別：道路付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
車線分離標

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工、付帯道路施設工における車線分離標に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車線分離標（ラバーポール高さ 400㎜、650㎜、800㎜）の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）上記の規格以外の車線分離標の設置
（２）メーカーのオリジナル製品を用いる場合
（３）自発光式及び電気式の製品を用いる場合

２．費用内訳
・車線分離標(ラバーポール)の設置(穿孔、充填又はアンカーの設置を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
車線分離標ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
設置方式(P)	車線分離標規格(P)
穿孔式	高さ400㎜
	高さ650㎜
	高さ800㎜
	各種
貼付式	高さ400㎜
	高さ650㎜
	高さ800㎜
	各種

（注）ベース径φ250㎜以外を使用する場合は「各種」とし、積算は土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、道路付属施設工
種　　別：道路付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
車線分離標

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、車線分離標に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車線分離標（ラバーポール、高さ400㎜、650㎜、800㎜）の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）上記の規格以外の車線分離標の設置
（２）メーカーのオリジナル製品を用いる場合
（３）自発光式及び電気式の製品を用いる場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・車線分離標(ラバーポール)の設置(穿孔、充填又はアンカーの設置を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(車線分離標本体の製品費は含まない)。

３．積算条件
車線分離標ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	施工区分(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
設置	可変式(穿孔式・1本脚)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ400㎜	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650㎜	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ800㎜	30本以上
			30本未満
		各種	30本以上
			30本未満
	着脱式(穿孔式・3本脚)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ400㎜	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650㎜	30本以上
			30本未満

積算条件			
作業区分(P)	施工区分(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
設置	着脱式(穿孔式・3本脚)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ800mm	30本以上
			30本未満
		各種	30本以上
			30本未満
	固定式(貼付式)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ400mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ800mm	30本以上
			30本未満
		各種	30本以上
			30本未満
再利用設置	可変式(穿孔式・1本脚)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ400mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ800mm	30本以上
			30本未満
		各種	30本以上
			30本未満
	着脱式(穿孔式・3本脚)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ400mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ800mm	30本以上
			30本未満
		各種	30本以上
			30本未満
	固定式(貼付式)	本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ400mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650mm	30本以上
			30本未満
		本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ800mm	30本以上
			30本未満
		各種	30本以上
			30本未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
規格・仕様：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、標識工、道路付属物復旧工
種　　別：標識工、小型標識工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識柱（路側式）

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、標識工における標識柱（路側式）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）コンクリート基礎及び標識柱の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品使用）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）支給品の場合
（２）道路管理者以外が行なう標識工事
（３）白色以外の塗装色製品を購入し設置する場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・道路標識(路側式)の標識柱・基礎設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎砕石、コンクリート、型枠(スパイラル形式を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(標識柱本体の製品費は含まない)。

・道路標識における基礎杭の設置は含まない。
・舗装版撤去、土留に要する費用、舗装版復旧は含まない。
・特殊養生、雪寒仮囲いの費用は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***舗装版破砕***は含まない。
・***標識板(案内)、標識板(警戒等)***は含まない。

３．積算条件
標識柱(路側式)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件					
作業区分(P)	柱の種類(P)	柱の規格(P)	施工数量(S)	曲支柱の有無(P)	塗装仕様(P)
設置	単柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装

積算条件					
作業区分(P)	柱の種類(P)	柱の規格(P)	施工数量(S)	曲支柱の有無(P)	塗装仕様(P)
設置	単柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ76.3	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ89.1	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ101.6	5基以上	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
			4基以下	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
	複柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品

積算条件					
作業区分(P)	柱の種類(P)	柱の規格(P)	施工数量(S)	曲支柱の有無(P)	塗装仕様(P)
設置	複柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	有り	下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ76.3	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ89.1	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ101.6	5基以上	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
			4基以下	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
再利用設置	単柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装

積算条件					
作業区分(P)	柱の種類(P)	柱の規格(P)	施工数量(S)	曲支柱の有無(P)	塗装仕様(P)
再利用設置	単柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	無し	静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ76.3	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ89.1	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ101.6	5基以上	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
			4基以下	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
	複柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	無し	メッキ品

積算条件					
作業区分(P)	柱の種類(P)	柱の規格(P)	施工数量(S)	曲支柱の有無(P)	塗装仕様(P)
再利用設置	複柱式(基礎含む)	柱径φ60.5	5基以上	無し	下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ76.3	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ89.1	5基以上	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
			4基以下	無し	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
				有り	メッキ品
					下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
					静電粉体塗装
		柱径φ101.6	5基以上	無し	メッキ品
				有り	メッキ品
			4基以下	無し	メッキ品

積算条件					
作業区分(P)	柱の種類(P)	柱の規格(P)	施工数量(S)	曲支柱の有無(P)	塗装仕様(P)
再利用設置	複柱式(基礎含む)	柱径φ101.6	4基以下	有り	メッキ品

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（４）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（６）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（７）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（８）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-3）による。
（９）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-5）による。
(10) 標識板(案内)については、（Ⅲ-直接-5-192）による。
(11) 標識板(警戒等)については、（Ⅲ-直接-5-193）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、標識工、道路付属物復旧工
種　　別：標識工、小型標識工、大型標識工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識板(案内)

積算単位：m2(標識板面積)
契約単位：m2(標識板面積)

１．適用範囲
本資料は、標識工における標識板(案内)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）案内標識板(路線番号は除く)の設置(材料込みの新設設置)
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）内部照明式の標識板(案内)の設置
（２）外部照明式の標識板(案内)の設置
（３）道路管理者以外が行う道路工事
（４）着雪防止板の設置
（５）移設等で材料費を含まない場合

２．費用内訳
・標識板(案内標識であり、路線番号除く)の設置(クランプ型ブラケットを使用する場合を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***標識板(警戒等)、添架式標識板取付金具、標識基礎、標識柱(路側式)、片持標識柱、門型標識柱***は含まない。
・クランプ型ブラケットの材料費は含まない。

３．積算条件
標識板（案内）ユニット積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
標識板の規格(S)	反射シートの種類(P)	裏面塗装の有無(P)
2.0m2未満	広角プリズム	無し
		有り
	カプセルプリズム、カプセルレンズ	無し
		有り
	封入レンズ	無し
		有り
2.0m2以上	広角プリズム	無し
		有り
	カプセルプリズム、カプセルレンズ	無し
		有り
	封入レンズ	無し

積算条件		
標識板の規格(S)	反射シートの種類(P)	裏面塗装の有無(P)
2.0m2以上	封入レンズ	有り

（注）1.溶接型ブラケットを標準とし、溶接型ブラケットは、標識柱の重量に含めて、片持標識柱等の標識柱関連ユニットで計上する。
2.補助標識板を設置する場合の設置手間は、本ユニットに含まれている。そのため、補助標識板を設置する場合は、材料費(取付金具含む)のみ別途計上すること。
3.クランプ型ブラケットを使用する場合のブラケット設置手間は、本ユニットに含まれている。そのため、クランプ型ブラケットを使用する場合は、材料費のみ別途計上すること。

４．その他
（１）標識板(警戒等)については、（Ⅲ-直接-5-193）による。
（２）添架式標識板取付金具については、（Ⅲ-直接-5-194）による。
（３）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-195）による。
（４）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-196）による。
（５）標識柱(路側式)については、（Ⅲ-直接-5-191）による。
（６）片持標識柱については、（Ⅲ-直接-5-199）による。
（７）門型標識柱については、（Ⅲ-直接-5-197）による。
（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、標識工、道路付属物復旧工
種　　別：標識工、小型標識工、大型標識工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識板(警戒等)

積算単位：基(標識基数)
契約単位：基(標識基数)

１．適用範囲
本資料は、標識工における標識板(警戒等・規制・指示・路線番号)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）警戒等標識板の設置(材料込みの新設設置)の場合。
（２）再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)の場合。
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）内部照明式の標識板(警戒・規制・指示・路線番号)の設置
（２）外部照明式の標識板(警戒・規制・指示・路線番号)の設置
（３）道路管理者以外が行う道路工事
（４）着雪防止板の設置

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・標識板(警戒・規制・指示・路線番号)の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(標識板本体の製品費は含まない)。

・***標識板(案内)、添架式標識板取付金具、標識基礎、標識柱(路側式)、片持標識柱、門型標識柱***は含まない。

３．積算条件
標識板(警戒等)ユニット積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	施工数量(S)
設置	5基以上
	3～4基
	2基以下
再利用設置	5基以上
	3～4基
	2基以下

（注）1.施工数量は1工事の全体数量とする。
2.施工数量は板の枚数及び補助板の有無に関わらず、1基当りとして計上する。

４．その他

（１）標識板(案内)については、（Ⅲ-直接-5-192）による。

（２）添架式標識板取付金具については、（Ⅲ-直接-5-194）による。

（３）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-195）による。

（４）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-196）による。

（５）標識柱(路側式)については、（Ⅲ-直接-5-191）による。

（６）片持標識柱については、（Ⅲ-直接-5-199）による。

（７）片持標識柱については、（Ⅲ-直接-5-200）による。

（８）門型標識柱については、（Ⅲ-直接-5-197）による。

（９）門型標識柱については、（Ⅲ-直接-5-198）による。

(10) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸、砂防えん堤、舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：付帯道路施設工、標識工、道路付属物復旧工
種　　別：標識工、小型標識工、大型標識工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
添架式標識板取付金具

積算単位：基(標識1枚当り基数)
契約単位：基(標識1枚当り基数)

１．適用範囲
本資料は、標識工における添架式標識板取付金具に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）添架式標識板取付金具の設置(材料込みの新設設置)
（２）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品使用)
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）支給品の場合
（２）道路管理者以外が行う道路工事の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・添架式標識板の取付金具設置等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(取付金具の製品費を含まない)。

・***標識板(案内)、標識板(警戒等)、標識基礎、標識柱(路側式)、片持標識柱、門型標識柱***は含まない。

３．積算条件
添架式標識板取付金具ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	設置箇所(P)
設置	信号アーム部
	照明柱・既設標識柱
	歩道橋
再利用設置	信号アーム部
	照明柱・既設標識柱
	歩道橋

（注）1.取付金具の基数は、標識1枚当りの取付金具一式を1基とする。
2.既設標識柱への設置は、支柱部に設置する場合のみ適用する。

４．その他

（１）標識板(案内)については、（Ⅲ-直接-5-192）による。
（２）標識板(警戒等)については、（Ⅲ-直接-5-193）による。
（３）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-195）による。
（４）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-196）による。
（５）標識柱(路側式)については、（Ⅲ-直接-5-191）による。
（６）片持標識柱については、（Ⅲ-直接-5-199）による。
（７）片持標識柱については、（Ⅲ-直接-5-200）による。
（８）門型標識柱については、（Ⅲ-直接-5-197）による。
（９）門型標識柱については、（Ⅲ-直接-5-198）による。
(10) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識基礎

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、標識工における標識基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路標識（片持標識柱・門型標識柱）の標識基礎の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）道路管理者以外が行う標識工事
（２）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・道路標識(片持標識柱・門型標識柱)の標識基礎の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、基礎砕石、コンクリート、型枠(スパイラル形式を含む)、鉄筋、アンカーボルト等、その施工に要する全ての費用を含む。

・道路標識における基礎杭の設置は含まない。
・雪寒仮囲いの費用は含まない。
・建柱は含まない。
・舗装版とりこわし、土留に要する費用、舗装版復旧、***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
標識基礎ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
基礎の規格(S)
4.0m3未満
4.0m3以上6.0m3未満
6.0m3以上

（注）門型式における基礎の規格の対象は、左右各々の数量とする。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（５）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識基礎

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、標識工における標識基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路標識（片持標識柱・門型標識柱）の標識基礎の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）道路管理者以外が行う標識工事
（２）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・道路標識(片持標識柱・門型標識柱)の標識基礎の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎砕石、コンクリート、型枠(スパイラル形式を含む)、鉄筋、アンカーボルト等、その施工に要する全ての費用を含む。

・道路標識における基礎杭の設置は含まない。
・舗装版撤去、土留に関する費用、舗装版復旧は含まない。
・雪寒仮囲いの費用は含まない。
・建柱は含まない。
・***舗装版破砕***は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
標識基礎ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
基礎の型式(P)	基礎の規格(S)	アンカーボルト設置の有無(P)
片持式の基礎	4.0m3未満	無し
		有り
	4.0m3以上6.0m3未満	無し
		有り
	6.0m3以上	無し
		有り
門型式の基礎	4.0m3未満	無し
		有り
	4.0m3以上6.0m3未満	無し
		有り

積算条件		
基礎の型式(P)	基礎の規格(S)	アンカーボルト設置の有無(P)
門型式の基礎	6.0m3以上	無し
		有り

（注）門型式における基礎の規格の対象は、左右各々の数量とする。

４．その他

（１）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-3）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（４）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
門型標識柱

積算単位：kg(標識柱質量)
契約単位：kg(標識柱質量)

１．適用範囲
本資料は、標識工における門型標識柱に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）門型標識柱の設置
（２）塗装品又はメッキ品(仕様にかかわらない)の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）道路管理者以外が行なう標識工事の場合

２．費用内訳
・門型標識柱の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***標識基礎***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-195）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
門型標識柱

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、標識工における門型標識柱に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）門型標識柱の設置
（２）塗装品又はメッキ品(仕様にかかわらない)の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）道路管理者以外が行なう標識工事の場合

２．費用内訳
・門型標識柱の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***標識基礎***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-196）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
片持標識柱

積算単位：kg(標識柱質量)
契約単位：kg(標識柱質量)

１．適用範囲
本資料は、標識工における片持標識柱に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）片持標識柱の設置
（２）塗装品又はメッキ品(仕様にかかわらない)の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）道路管理者以外が行なう標識工事の場合

２．費用内訳
・片持標識柱の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***標識基礎***は含まない。

３．積算条件
片持標識柱ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
1基当り質量(P)
400kg未満
400kg以上

４．その他
（１）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-195）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
片持標識柱

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、標識工における片持標識柱に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）片持標識柱の設置
（２）塗装品又はメッキ品(仕様にかかわらない)の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）道路管理者以外が行なう標識工事の場合

２．費用内訳
・片持標識柱の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***標識基礎***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）標識基礎については、（Ⅲ-直接-5-196）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：標識工
種　　別：大型標識工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
着雪防止板

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、標識工における着雪防止板に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）着雪防止板の設置

２．費用内訳
・標識に付ける着雪防止板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
着雪防止板ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防止網工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
金網・ロープ(ロックネット)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における金網・ロープ（ロックネット）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）資材持上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置及びポケット式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置のうち支柱がアンカー固定式による場合の新設工事における金網及びロープの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）繊維網の設置
（２）ロープ伏工及び密着型安定ネット工による落石予防工における金網及びロープの設置
（３）支柱が埋め込み式及びミニポケット式（支柱据置式）による場合
（４）アンカー及び支柱の設置がコンクリートの基礎による場合

２．費用内訳
・落石を防止するためのロックネットの金網・ロープ設置、クロスクリップ・結合コイル等の必要部材の設置、材料の現場内小運搬・持上げ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***支柱(ロックネット)、アンカー(ロックネット)***は含まない。

３．積算条件
金網・ロープ（ロックネット）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格・仕様(P)	金網仕様(P)	施工数量(S)
線径 2.6mm	亜鉛メッキ・亜鉛メッキカラー・厚メッキ	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満
	厚メッキカラー	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満
線径 3.2mm	亜鉛メッキ・亜鉛メッキカラー・厚メッキ	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満
	厚メッキカラー	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満
線径 4.0mm	亜鉛メッキ・亜鉛メッキカラー・厚メッキ	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満

積算条件		
規格・仕様(P)	金網仕様(P)	施工数量(S)
線径 4.0mm	厚メッキカラー	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満
線径 5.0mm	亜鉛メッキ・亜鉛メッキカラー・厚メッキ	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満
	厚メッキカラー	金網設置面積500m2以上
		金網設置面積500m2未満

（注）1.金網仕様
亜鉛メッキ・亜鉛メッキカラー・厚メッキ：亜鉛メッキ3・4種（Z-GS3,4）、亜鉛メッキカラー3・4種（C-GS3,4）、厚メッキ7種（Z-GS7）
厚メッキカラー：厚メッキカラー7種（C-GS7）
2.施工数量は、1工事における金網の設置面積の合計数量とする。

４．その他
（１）支柱(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-204）による。
（２）支柱(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-206）による。
（３）アンカー(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-203）による。
（４）アンカー(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-205）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防止網工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アンカー(ロックネット)

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工におけるロックネット（アンカー）に適用する。

２．費用内訳
・落石を防止するためのロックネットのアンカー設置(削孔・アンカー打込み及び充填材注入等の一連作業)、材料の現場内小運搬、持上げ、残土の積込み・運搬、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***残土等処分***は含まない。
・***金網・ロープ(ロックネット)、支柱(ロックネット)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（２）金網・ロープ(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-202）による。
（３）支柱(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-204）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防止網工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支柱(ロックネット)

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工におけるロックネット（支柱）に適用する。

２．費用内訳
・落石を防止するためのロックネットの支柱設置、支柱設置用アンカーの設置、材料の現場内小運搬、持上げ、残土の積込み・運搬、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***残土等処分***は含まない。
・***金網・ロープ(ロックネット)、アンカー(ロックネット)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（２）金網・ロープ(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-202）による。
（３）アンカー(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-203）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防止網工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アンカー(ロックネット)

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工におけるアンカー（ロックネット）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）資材持上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置及びポケット式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置のうち支柱がアンカー固定式による場合の新設工事におけるアンカー設置の場合
（２）岩盤用又は土中用のアンカーの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）落石防止網（繊維網）設置におけるアンカー設置の場合
（２）ロープ伏工及び密着型安定ネット工による落石予防工におけるアンカーの設置
（３）支柱が埋め込み式及びミニポケット式（支柱据置式）による場合
（４）コンクリートの基礎による場合

２．費用内訳
・落石を防止するためのロックネットのアンカー設置、削孔、充填材注入、材料の現場内小運搬・持上げ、残土の積込み・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***残土等処分***は含まない。
・***支柱(ロックネット)、金網・ロープ(ロックネット)***は含まない。

３．積算条件
アンカー（ロックネット）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
岩盤用 径22×長1000mm	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
岩盤用 径25×長1000mm	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
岩盤用 径28×長1000mm	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
岩盤用 径32×長1000mm	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
土中用 羽根付アンカー 径25mm×長1500mm	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
土中用 高耐力アンカー(プレート羽付) 長1500㎜	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
土中用 高耐力アンカー(プレート羽付) 長2000㎜	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
土中用 高耐力アンカー(溝形鋼羽付) 長1500㎜	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
土中用 高耐力アンカー(溝形鋼羽付) 長2000㎜	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満

（注）施工数量は、1工事における金網の設置面積の合計数量とする。

４．その他

（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（２）支柱(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-206）による。

（３）金網・ロープ(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-202）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防止網工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支柱(ロックネット)

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における支柱（ロックネット）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）資材持上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置及びポケット式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置のうち支柱がアンカー固定式による場合の新設工事における支柱（ポケット式支柱）の設置
（２）岩盤用又は土中用アンカー固定式支柱の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）落石防止網（繊維網）設置における支柱設置の場合
（２）ロープ伏工及び密着型安定ネット工による落石予防工における支柱の設置の場合
（３）支柱が埋め込み式及びミニポケット式（支柱据置式）による場合
（４）コンクリートの基礎による支柱の設置の場合

２．費用内訳
・落石を防止するためのロックネットの支柱設置、支柱設置用アンカーの設置、材料の現場内小運搬・持上げ、残土の積込み・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***残土等処分***は含まない。
・***アンカー(ロックネット)、金網・ロープ(ロックネット)***は含まない。

３．積算条件
支柱（ロックネット）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
支柱高 2.0m	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
支柱高 2.5m	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
支柱高 3.0m	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
支柱高 3.5m	金網設置面積500m2以上
	金網設置面積500m2未満
支柱高 4.0m	金網設置面積500m2以上

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
支柱高 4.0m	金網設置面積500m2未満

（注）施工数量は、1工事における金網の設置面積の合計数量とする。

４．その他

（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（２）アンカー(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-205）による。

（３）金網・ロープ(ロックネット)については、（Ⅲ-直接-5-202）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良、道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防止網工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
繊維網

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における繊維網に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）繊維網の設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合（本設置・仮設置）

２．費用内訳
(1)設置の場合（材料込みの本設置・仮設置）
・落石防止における繊維網の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去・設置の場合（同一物を撤去して本設置・仮設置〔移設〕）
・落石防止における繊維網の上記(1)及び下記(3)を含む。
(3)撤去の場合（本設置・仮設置）
・落石防止における繊維網の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：落石防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
落石防護柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における落石防護柵に適用する。

２．費用内訳
・落石防護柵(ステーにH形鋼を使用する場合を除く)の支柱、ロープ、金網・間隔保持材、ステーロープ設置、現場内小運搬、持上げ等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策、道路修繕
工　　種：擁壁工、落石雪害防止工
種　　別：落石防護工、落石防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ロープ・金網

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、落石防護柵(ストーンガード)で用いるロープ・金網(支柱間幅にかかわらない)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）標準型の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）落雪（せり出し）防護柵の場合
（２）材料の持上げが10mを超える場合

２．費用内訳
・落石防護柵(柵高は4m以下、支柱間隔は制限無し)のロープ、金網・間隔保持材の現場内小運搬、持上げ、設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・耐雪型落石防護柵(ロープ・金網設置)は含まない。
・***支柱、ステーロープ***は含まない。

３．積算条件
ロープ・金網ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
間隔保持材の有無(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
有り	柵高1.50m ロープ本数5本	15m以上
		15m未満
	柵高2.00m ロープ本数7本	15m以上
		15m未満
	柵高2.50m ロープ本数8本	15m以上
		15m未満
	柵高3.00m ロープ本数10本	15m以上
		15m未満
	柵高3.50m ロープ本数12本	15m以上
		15m未満
	柵高4.00m ロープ本数13本	15m以上
		15m未満
無し	柵高1.55m ロープ本数5本	15m以上
		15m未満

積算条件		
間隔保持材の有無(P)	規格・仕様(P)	施工数量(S)
無し	柵高2.00m ロープ本数6本	15m以上
		15m未満
	柵高2.50m ロープ本数8本	15m以上
		15m未満
	柵高3.00m ロープ本数9本	15m以上
		15m未満
	柵高3.50m ロープ本数11本	15m以上
		15m未満
	柵高4.00m ロープ本数13本	15m以上
		15m未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.落石防護柵（ロープ・金網）と耐雪型落石防護柵（ロープ・金網）を設置する場合、施工数量は、1工事における落石防護柵（ロープ・金網）と耐雪型落石防護柵（ロープ・金網）の合計施工数量とする。

４．その他

（１）支柱については、（Ⅲ-直接-5-210）による。

（２）ステーロープについては、（Ⅲ-直接-5-211）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策、道路修繕
工　　種：擁壁工、落石雪害防止工
種　　別：落石防護工、落石防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支柱

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
　本資料は、落石防護柵（ストーンガード）で用いる支柱(工場メッキ仕上げ、現場塗装にかかわらない)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）柵高1.5mから4.0m以下までの落石防止柵における支柱の場合
（２）支柱間隔3m（耐雪型（上弦材付）は2m、3m）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）落雪（せり出し）防護柵の場合
（２）資材の持上げ範囲が10mを超える場合

２．費用内訳
・落石防護柵の支柱設置(建込み、塗装)、材料の現場内小運搬・持上げ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・*ロープ・金網、ステーロープ*は含まない。

３．積算条件
　支柱ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
支柱区分(P)	規格・仕様(P)
中間支柱	柵高1.50m メッキ・塗装品
	柵高2.00m メッキ・塗装品
	柵高2.50m メッキ・塗装品
	柵高3.00m メッキ・塗装品
	柵高3.50m メッキ・塗装品
	柵高4.00m メッキ・塗装品
端末支柱	柵高1.50m メッキ・塗装品
	柵高2.00m メッキ・塗装品
	柵高2.50m メッキ・塗装品
	柵高3.00m メッキ・塗装品
	柵高3.50m メッキ・塗装品
	柵高4.00m メッキ・塗装品
各種	―

（注）1.中間支柱（特殊品）の場合及び曲げ支柱の場合は、施工区分「各種」とする。
2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
支柱区分：各種（文字入力）

４．その他

（１）ロープ・金網については、（Ⅲ-直接-5-209）による。

（２）ステーロープについては、（Ⅲ-直接-5-211）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策、道路修繕
工　　種：擁壁工、落石雪害防止工
種　　別：落石防護工、落石防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

ステーロープ

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、落石防護柵(ストーンガード)におけるステーロープに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）ステーにH形鋼を使用した場合

２．費用内訳
・落石防護柵におけるステーロープ・アンカーの設置、材料の現場内小運搬・持上げ等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）1.アンカーの規格・仕様は、φ25×1000を標準とする。
2.ステーはφ18　3×7G／Oを標準とする。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：遮音壁工
種　　別：遮音壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
遮音壁

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、遮音壁工における遮音壁に適用する。

２．費用内訳
・遮音板・透光板、支柱アンカー、支柱、笠木、水切り板、外装板、土留板の設置の他、直接基礎の場合のコンクリート・基礎材、均しコンクリート・型枠・鉄筋の設置、鋼管基礎の場合の杭の打込み、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、中詰コンクリート等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。
・遮音壁に設置する遮音板及び透光板以外の***騒音低減装置***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）騒音低減装置については、（Ⅲ-直接-5-213）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：遮音壁工
種　　別：遮音壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
騒音低減装置

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、遮音壁工における騒音低減装置に適用する。

２．費用内訳
・騒音低減装置の設置の他、消耗材等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
騒音低減装置ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、防護柵工
種　　別：路側防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードレール

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工、付帯道路工におけるガードレールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ガードレールの設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）撤去のみの場合
（２）景観配慮型ガードレールを使用する場合
＊景観配慮型：良好な景観形成に配慮したものをいう
（３）塩害対策仕様を使用する場合
（４）橋梁建込の場合
（５）事故後の復旧工事の場合
（６）白色以外の塗装色の場合

２．費用内訳
⑴設置の場合（材料込みの新設設置）
・ガードレール(白塗装、亜鉛メッキ)の設置の他、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、作業土工の現場内小運搬、耐雪型の場合はビーム補強金具、根巻きコンクリート等、その施工に要する全ての費用を含む。
⑵再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
・上記⑴の設置費のみを含む(ガードレール本体の製品費は含まない)。
⑶撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
・ガードレールの撤去に要する全ての費用及び上記⑴を含む(ガードレール本体の製品費は含まない)。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
ガードレールユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
作業区分(P)	ガードレール規格(P)	ガードレール型式(P)
設置	A種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
	B種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
	C種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
	Am種(中央分離帯用)	標準型
	Bm種(中央分離帯用)	標準型
	各種	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
再利用設置	A種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
	B種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
	C種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
	Am種(中央分離帯用)	標準型
	Bm種(中央分離帯用)	標準型
	各種	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
撤去・設置	A種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
	B種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)

積算条件		
作業区分(P)	ガードレール規格(P)	ガードレール型式(P)
撤去・設置	B種(路側用)	耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)
	C種(路側用)	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
	Am種(中央分離帯用)	標準型
	Bm種(中央分離帯用)	標準型
	各種	標準型
		耐雪型(積雪ランク2)
		耐雪型(積雪ランク3)
		耐雪型(積雪ランク4・5)

（注）積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
ガードレール規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、管理用通路工、付帯道路工、防護柵工
種　　別：防護柵工、路側防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードレール

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるガードレールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ガードレールの設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去のみの場合
（２）景観配慮型ガードレールを使用する場合
＊景観配慮型：良好な景観形成に配慮したものをいう
（３）塩害対策仕様を使用する場合
（４）橋梁建込の場合
（５）事故後の復旧工事の場合
（６）白色以外の塗装色の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(耐雪型を含む)
・ガードレール(白塗装、亜鉛メッキ)の設置、土中建込の場合は、作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト、砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト、砂)、現場内小運搬、耐雪型の場合はビーム補強金具、根巻きコンクリート等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(ガードレール本体の製品費は含まない)。
(3)撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
・ガードレールの撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(ガードレール本体の製品費は含まない)。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・耐雪型においてビーム補強金具材は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
ガードレールユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
設置	土中建込	塗装品	A種	—	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
			B種	—	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
			C種	—	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
			Am種	—	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
			Bm種	—	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
		メッキ品	A種	—	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
			B種	—	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
設置	土中建込	メッキ品	B種	—	100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
			Am種	—	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
			Bm種	—	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
	コンクリート建込	塗装品	A種	—	—	無し	—
						有り	—
			B種	—	—	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
			C種	—	—	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
			Am種	—	—	無し	—
						有り	—
			Bm種	—	—	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
		メッキ品	A種	—	—	無し	—
						有り	—
			B種	—	—	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
			Am種	—	—	無し	—
						有り	—
			Bm種	—	—	無し	標準

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
設置	コンクリート建込	メッキ品	Bm種	―	―	無し	各種
						有り	標準
							各種
設置(耐雪型)	土中建込	塗装品	―	A2種	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
				A3種	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
				A4～5種	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
				B2種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
				B3種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
				B4種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
				C2種	100m以上	無し	標準
							各種

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
設置(耐雪型)	土中建込	塗装品	—	C2種	100m以上	有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
				C3種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
		メッキ品	—	A2種	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
				A3種	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
				A4～5種	100m以上	無し	—
						有り	—
					100m未満	無し	—
						有り	—
				B2種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
				B3種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
設置(耐雪型)	土中建込	メッキ品	―	B3種	100m未満	有り	各種
				B4種	100m以上	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
					100m未満	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
	コンクリート建込	塗装品	―	A2～5種	―	無し	―
						有り	―
				B2～4種	―	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
				C2～3種	―	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
		メッキ品	―	A2～5種	―	無し	―
						有り	―
				B2～4種	―	無し	標準
							各種
						有り	標準
							各種
再利用設置	土中建込	塗装品	A種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			B種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			C種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Am種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
再利用設置	土中建込	塗装品	Bm種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
		メッキ品	A種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			B種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Am種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Bm種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
	コンクリート建込	塗装品	A種	―	―	無し	―
						有り	―
			B種	―	―	無し	―
						有り	―
			C種	―	―	無し	―
						有り	―
			Am種	―	―	無し	―
						有り	―
			Bm種	―	―	無し	―
						有り	―
		メッキ品	A種	―	―	無し	―
						有り	―
			B種	―	―	無し	―
						有り	―
			Am種	―	―	無し	―
						有り	―
			Bm種	―	―	無し	―
						有り	―
再利用設置(耐雪型)	―	―	―	各種	―	―	―
撤去・設置	土中建込	塗装品	A種	―	100m以上	無し	―
						有り	―

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
撤去・設置	土中建込	塗装品	A種	―	100m未満	無し	―
						有り	―
			B種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			C種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Am種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Bm種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
		メッキ品	A種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			B種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Am種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
			Bm種	―	100m以上	無し	―
						有り	―
					100m未満	無し	―
						有り	―
	コンクリート建込	塗装品	A種	―	―	無し	―
						有り	―
			B種	―	―	無し	―
						有り	―
			C種	―	―	無し	―
						有り	―
			Am種	―	―	無し	―

積算条件							
設置区分(P)	建込方式(P)	塗装区分(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
撤去・設置	コンクリート建込	塗装品	Am種	―	―	有り	―
			Bm種	―	―	無し	―
						有り	―
		メッキ品	A種	―	―	無し	―
						有り	―
			B種	―	―	無し	―
						有り	―
			Am種	―	―	無し	―
						有り	―
			Bm種	―	―	無し	―
						有り	―

（注）1.耐雪型ガードレールの設置において、ガードレールB種・積雪ランク5、ガードレールC種・積雪ランク4及び5は上級種別の規格を適用する。
2.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
3.支柱長等：
標準：①A種の場合。②B、C種で支柱長が標準支柱長以内で曲げ支柱でない場合。
各種：①B、C種で支柱長が標準支柱長より長い場合。②B、C種で曲げ支柱の場合。
4.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
支柱長等：各種（文字入力）
耐雪型規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：防護柵工
種　　別：路側防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードケーブル

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるガードケーブルに適用する。

２．費用内訳
・ガードケーブルにおける支柱・ケーブルの設置、端末支柱又は中間支柱の建込み及びそれに伴う作業土工(床掘り・埋戻し)、コンクリート基礎の設置(基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋)、コンクリート建込の場合の充填材(アスファルト又はモルタル、砂)、作業土工の現場内小運搬、ケーブル引伸・取付け・ブラケット取付け等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：防護柵工、道路付属物復旧工
種　　別：路側防護柵工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードケーブル

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるガードケーブルに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ガードケーブル設置の場合（材料込みの設置）
（２）撤去の場合
（３）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）耐雪型を用いる場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・ガードケーブルにおける支柱・ケーブルの設置、端末支柱又は中間支柱の建込み及びそれに伴う作業土工(床掘り・埋戻し)、コンクリート建込の場合の充填材、ケーブル引伸・ブラケット取付け、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・ガードケーブルにおける支柱・ケーブルの撤去、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(3)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(支柱・ケーブル(ガードケーブル)本体の製品費は含まない)。

・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、舗装
工　　種：付帯道路工、防護柵工
種　　別：路側防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードパイプ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工、付帯道路工におけるガードパイプに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ガードパイプの設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）撤去のみの場合
（２）事故後の復旧工事の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合（材料込みの新設設置）
・ガードパイプの設置の他、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、作業土工の現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
・上記(1)の設置費のみを含む(ガードパイプ本体の製品費は含まない)。
(3)撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
・ガードパイプの撤去に要する全ての費用及び上記(1)を含む(ガードパイプ本体の製品費は含まない)。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、管理用通路工、付帯道路工、防護柵工
種　　別：防護柵工、路側防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードパイプ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるガードパイプに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ガードパイプの設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）事故後の復旧工事の場合
（２）耐雪型を用いる場合
（３）白色以外の塗装色の場合

２．費用内訳
・ガードパイプの設置、土中建込の場合は、作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト、砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト、砂)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
ガードパイプユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
施工区分(P)	ガードパイプ規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
土中建込	Gp-Ap-2E 塗装品	100m以上	無し	―
			有り	―
		100m未満	無し	―
			有り	―
	Gp-Bp-2E 塗装品	100m以上	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
		100m未満	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種

積算条件				
施工区分(P)	ガードパイプ規格(P)	施工数量(S)	曲線部の有無(P)	支柱長等(P)
土中建込	Gp-Cp-2E 塗装品	100m以上	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
		100m未満	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
	Gp-Ap-2E メッキ品	100m以上	無し	―
			有り	―
		100m未満	無し	―
			有り	―
	Gp-Bp-2E メッキ品	100m以上	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
		100m未満	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
コンクリート建込	Gp-Ap-2B 塗装品	―	無し	―
			有り	―
	Gp-Bp-2B 塗装品	―	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
	Gp-Cp-2B 塗装品	―	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種
	Gp-Ap-2B メッキ品	―	無し	―
			有り	―
	Gp-Bp-2B メッキ品	―	無し	標準
				各種
			有り	標準
				各種

（注）1.施工数量は、1工事の全体数量とする。
2.支柱長等
標準：①A種の場合。②B、C種で支柱長が標準支柱長以内で曲げ支柱でない場合。

各種：①B、C種で支柱長が標準支柱長より長い場合。②B、C種で曲げ支柱の場合。

3.積算条件：支柱長等「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
支柱長等：各種（文字入力）

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：防護柵工
種　　別：ボックスビームエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボックスビーム

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるボックスビームに適用する。

２．費用内訳
・ボックスビームの設置の他、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(アスファルト又はモルタル､砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(アスファルト又はモルタル､砂)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：防護柵工
種　　別：ボックスビームエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボックスビーム

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるボックスビームに適用する。

２．費用内訳
・ボックスビームの支柱建込、レール取付け、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・充填は含まない。
・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（６）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：防護柵工
種　　別：車止めポスト工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
車止めポスト

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工における車止めポストに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）車止めポスト（φ114.3㎜　L=1.4m程度）の設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・車止めポスト(φ114.3㎜　L=1.4m程度)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、防護柵工
種　　別：付属物設置工、車止めポスト工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
車止めポスト

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、車止めポストに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）設置の場合（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合

２．費用内訳
（１）設置の場合(材料込みの新設設置)
・車止めポスト(φ114.3㎜　L=1.4m程度)の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記（１）の設置費のみを含む(車止めポスト本体の製品費は含まない)。
（３）撤去の場合
・車止めポスト(φ114.3㎜　L=1.4m程度)の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・基礎ブロック設置は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
車止めポストユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
作業区分(P)
設置
撤去
再利用設置

（注）車止めポストは、φ114.3㎜、L=1.4m程度のものとする。

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。

（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。

（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：防護柵工
種　　別：防止柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
立入防止柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防止柵工における立入防止柵に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）歩行者用の立入防止柵の設置（材料込みの新設設置）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（２）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（３）撤去のみの場合

２．費用内訳
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)の設置の他、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ及び穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、コンクリート基礎もしくはプレキャスト基礎ブロックの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、充填材(モルタル)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、防護柵工
種　　別：防止柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
基礎ブロック(立入防止柵)

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、防止柵工における基礎ブロック（立入防止柵）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）立入防止柵用のプレキャスト基礎ブロックの設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)のプレキャスト基礎ブロックの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(基礎ブロック本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)のプレキャスト基礎ブロックの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***支柱(立入防止柵)、金網(フェンス)(立入防止柵)***は含まない。

３．積算条件
基礎ブロック（立入防止柵）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
寸法(P)	作業区分(P)
各種	設置
	撤去
	再利用設置

（注）積算条件：各種の場合
寸法：各種（文字入力）

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（５）支柱(立入防止柵)については、（Ⅲ-直接-5-226）による。

（６）金網(フェンス)(立入防止柵)については、（Ⅲ-直接-5-227）による。

（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、防護柵工
種　　別：防止柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支柱（立入防止柵）

積算単位：本（支柱本数）
契約単位：本（支柱本数）

１．適用範囲
本資料は、防止柵工における支柱（立入防止柵）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）立入防止柵の支柱設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)の支柱設置、充填材(モルタル)の混練及び打設等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(支柱本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)の支柱撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***基礎ブロック(立入防止柵)、金網(フェンス)(立入防止柵)***は含まない。

３．積算条件
支柱（立入防止柵）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
柵高(P)	作業区分(P)
各種	設置
	撤去
	再利用設置

（注）積算条件：各種の場合
柵高：各種（実数入力（m））

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（５）基礎ブロック(立入防止柵)については、（Ⅲ-直接-5-225）による。

（６）金網(フェンス)(立入防止柵)については、（Ⅲ-直接-5-227）による。

（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、防護柵工
種　　別：防止柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
金網(フェンス)(立入防止柵)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防止柵工における金網（フェンス）（立入防止柵）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）立入防止柵の金網（フェンス）設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合

２．費用内訳
（１）設置の場合(材料込みの新設設置)
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)の金網設置(胴縁取付・金網張立)等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記（１）の設置費のみを含む(支柱本体の製品費は含まない)。
（３）撤去の場合
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)の金網撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***基礎ブロック(立入防止柵)、支柱(立入防止柵)***は含まない。

３．積算条件
金網（フェンス）（立入防止柵）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
柵高(P)	作業区分(P)
各種	設置
	撤去
	再利用設置

（注）積算条件：各種の場合
柵高：各種（実数入力（m））

４．その他

（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（２）基礎ブロック(立入防止柵)については、（Ⅲ-直接-5-225）による。

（３）支柱(立入防止柵)については、（Ⅲ-直接-5-226）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、流路付属物設置工、防護柵工、道路付属物復旧工
種　　別：防止柵工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
転落(横断)防止柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工における転落（横断）防止柵に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）柵高70cm以上125cm以下の転落（横断）防止柵の設置の場合（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）事故後の復旧工事の場合
（２）良好な景観形成に配慮したもの
（３）防護柵（SP種）の場合
（４）ビーム又はパネルのみの設置、撤去、再利用設置の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵の設置の他、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル､砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル、砂)、プレキャスト基礎ブロックの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、充填材(モルタル)、根巻きコンクリート、アンカーボルト（穿孔費を含む）、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(転落防止柵・横断防止柵本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・コンクリート基礎は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
転落（横断）防止柵ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件					
作業区分(P)	建込方式(P)	形状区分(P)	支柱間隔(P)	根巻きコンクリートの有無(P)	施工数量(S)
設置	土中建込	ビーム式・パネル式	1m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
			1.5m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
			2m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
			3m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
	プレキャストコンクリートブロック建込	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
		門型	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
	コンクリート建込	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
		門型	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
	アンカーボルト固定	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
撤去	土中建込	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—

積算条件					
作業区分(P)	建込方式(P)	形状区分(P)	支柱間隔(P)	根巻きコンクリートの有無(P)	施工数量(S)
撤去	プレキャストコンクリートブロック建込	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
		門型	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
	コンクリート建込	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
		門型	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
	アンカーボルト固定	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
再利用設置	土中建込	ビーム式・パネル式	1m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
			1.5m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
			2m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
			3m	無し	100m以上
					100m未満
				有り	100m以上
					100m未満
	プレキャストコンクリートブロック建込	ビーム式・パネル式	1m	—	—
			1.5m	—	—
			2m	—	—
			3m	—	—
		門型	1m	—	—

積算条件					
作業区分(P)	建込方式(P)	形状区分(P)	支柱間隔(P)	根巻きコンクリートの有無(P)	施工数量(S)
再利用設置	プレキャストコンクリートブロック建込	門型	1.5m	―	―
			2m	―	―
			3m	―	―
	コンクリート建込	ビーム式・パネル式	1m	―	―
			1.5m	―	―
			2m	―	―
			3m	―	―
		門型	1m	―	―
			1.5m	―	―
			2m	―	―
			3m	―	―
	アンカーボルト固定	ビーム式・パネル式	1m	―	―
			1.5m	―	―
			2m	―	―
			3m	―	―

（注）1.施工数量は、1工事の全体数量とする。
2.ビーム又はパネルのみの設置、撤去、再利用設置については「ビーム・パネル（転落（横断）防止柵）」による。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：防護柵工
種　　別：防止柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
転落(横断)防止柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工における転落（横断）防止柵に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）歩行者用の転落防止柵・横断防止柵の設置（材料込みの新設設置）
（２）ビーム型式の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）パネル型式の場合
（２）事故後の復旧工事の場合
（３）ビームのみの設置の場合
（４）良好な景観形成に配慮したもの
（５）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（６）撤去・設置の場合（同一物を撤去して、設置〔移設〕）
（７）撤去のみの場合

２．費用内訳
・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵の設置の他、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル、砂)、コンクリート建込の場合は穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト又はモルタル、砂)、コンクリート基礎もしくはプレキャスト基礎ブロックの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、充填材(モルタル)、根巻きコンクリート、アンカーボルト(穿孔費を含む)、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・支柱建込箇所がコンクリート、岩盤、舗装版などの場合の穴あけ及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
転落（横断）防止柵ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
防止柵種類(P)	支柱間隔(P)	建込方式(P)
転落防止柵(柵高1.1m)	1m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
	1.5m	土中建込

積算条件		
防止柵種類(P)	支柱間隔(P)	建込方式(P)
転落防止柵(柵高1.1m)	1.5m	コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
	2m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
	3m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
横断防止柵(柵高0.7～0.8m)	1m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
	1.5m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
	2m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込
	3m	土中建込
		コンクリート建込
		プレキャストコンクリートブロック建込

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、道路維持、道路修繕
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、流路付属物設置工、防護柵工、道路付属物復旧工
種　　別：防止柵工、付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ビーム・パネル（転落(横断)防止柵）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工におけるビーム・パネル（転落（横断）防止柵）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）転落（横断）防止柵（柵高70cm以上125cm以下）のビーム又はパネルのみの設置の場合（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）事故後の復旧工事
（２）良好な景観形成に配慮したもの
（３）防護柵（SP種）の場合
（４）支柱建込を含んだ転落（横断）防止柵の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵のビーム又はパネルのみの設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(ビーム又はパネル本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵のビーム又はパネルのみの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む

・支柱建込を含んだ***転落(横断)防止柵***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
ビーム・パネル（転落(横断)防止柵）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	支柱間隔(P)
設置	1m
	1.5m
	2m
	3m

積算条件	
作業区分(P)	支柱間隔(P)
撤去	1m
	1.5m
	2m
	3m
再利用設置	1m
	1.5m
	2m
	3m

４．その他

（１）転落(横断)防止柵については、（Ⅲ-直接-5-228）による。

（２）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：防護柵工
種　　別：防止柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
遮光フェンス

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵工における遮光フェンスに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）遮光フェンスの設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去・設置の場合（材料込みの新設設置）
（３）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）再利用設置（設置手間のみの流用品・支給品等使用）

２．費用内訳
(1)設置の場合
・中央分離帯等への遮光フェンスの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、プレキャストコンクリートブロック設置、支柱建込、充填、パネル取付、ガードレールへの取付金具設置、現場内小運搬の他、充填材(ブロンアスファルト、砂)等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去・設置の場合(同一物を撤去して、設置〔移設〕)
・下記(3)及び上記(1)の設置費のみを含む(遮光フェンス本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・遮光フェンス(パネル、支柱)の撤去、プレキャストコンクリートブロック撤去、ガードレール取付金具撤去、支柱等の撤去作業に必要な作業土工等、その施工に要する全ての費用を含む。

・コンクリート建込の場合の現場打ちコンクリートの基礎、コンクリートの削孔は含まない。
・プレキャストコンクリートブロックの材料費は含まない。
・***土砂等運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：道路植栽工
種　　別：道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植樹

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路植栽工における植樹に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹（コンテナ樹木（コンテナプランツ又はポット樹木）を含む）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）移植のうち、あらかじめ根切りを行い、埋戻しておき、後日移植する場合
（２）公園における植栽
（３）地被類（グランドカバー類）及び草花類の植樹

２．費用内訳
・植樹帯への植樹、植穴掘、土壌改良材の混入、埋戻し、養生（水きめ）、残土積込又は敷均し（現場付近）、枯木の撤去・運搬、現場内小運搬、支柱設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・枯木処分は含まない。
・***残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：植栽維持工、道路植栽工
種　　別：樹木・芝生管理工、道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植樹

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路植栽工における植樹に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹（コンテナ樹木（コンテナプランツ又はポット樹木）を含む）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）移植のうち、あらかじめ根切りを行い、埋戻しておき、後日移植する場合
（２）公園における植栽
（３）地被類（グランドカバー類）及び草花類の植樹
（４）高木の幹周60cm以上90cm未満で機械施工が困難な場合

２．費用内訳
・植樹帯への植樹、植穴掘、土壌改良材の混入、埋戻し、養生(水きめ)、残土積込又は敷均し（現場付近）、枯木の撤去・運搬、現場内小運搬の他、新植樹木の植樹保険等、その施工に要する全ての費用を含む。

・枯木処分は含まない。
・植穴の埋戻しにあたって客土を使用する場合の***土材料***は含まない。
・***残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***支柱***は含まない。

３．積算条件
植樹ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
規格・仕様(P)	施工数量(S)	施工場所(S)	土壌改良材の有無(P)
低木樹高60cm未満	低木100本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	低木100本以上1000本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り

積算条件			
規格・仕様(P)	施工数量(S)	施工場所(S)	土壌改良材の有無(P)
低木樹高60cm未満	低木100本以上1000本未満	供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	低木1000本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
中木樹高60cm以上100cm未満	中木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	中木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	中木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
中木樹高100cm以上200cm未満	中木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	中木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り

積算条件			
規格・仕様(P)	施工数量(S)	施工場所(S)	土壌改良材の有無(P)
中木樹高100cm以上200cm未満	中木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
中木樹高200cm以上300cm未満	中木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	中木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	中木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
高木幹周20cm未満	高木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り

積算条件			
規格・仕様(P)	施工数量(S)	施工場所(S)	土壌改良材の有無(P)
高木幹周20cm未満	高木50本以上	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
高木幹周20cm以上40cm未満	高木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
高木幹周40cm以上60cm未満	高木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
高木幹周60cm上90cm未満	高木10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り

積算条件			
規格・仕様(P)	施工数量(S)	施工場所(S)	土壌改良材の有無(P)
高木幹周60cm上90cm未満	高木10本未満	供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り
	高木50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	無し
			有り
		供用区間 中央分離地帯	無し
			有り
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	無し
			有り

（注）1.規格・仕様
高木：樹高3m以上
中木：樹高60cm以上3m未満
幹周：根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。

2.施工数量は、次項に注意し決定すること。
1)低木は、1工事の低木数量（補植の数量も含める）とする。
2)中木及び高木は、1工事の中木及び高木の合計数量（補植の数量も含める）とする。

3.施工場所
供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記の通り区分する。
・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地
・交通島＝交差点において車道を道流するための道流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地
・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地
・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地
未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所
※現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他

（１）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（２）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（３）支柱については、（Ⅲ-直接-14-55）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：道路植栽工
種　　別：道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
樹名板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、道路植栽工における樹名板に適用する。

２．費用内訳
・道路植栽における樹名板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：道路付属施設工
種　　別：ケーブル配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ケーブル配管(歩道部)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工におけるケーブル配管（歩道部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）管種（FEP）
（２）管径（φ30、φ40）
（３）埋設深さ（200㎜以上　300㎜以下）
（４）条数（1条）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）交差点横断部におけるケーブル配管
（２）光ケーブル用の配管

２．費用内訳
・ケーブル配管(歩道部)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎材、型枠、均しコンクリート、巻きコンクリート、鉄筋、埋設表示テープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：道路付属施設工
種　　別：ケーブル配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ケーブル配管(交差点横断部)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工におけるケーブル配管（交差点横断部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）管種（FEP）
（２）管径（φ40、φ50、φ65）
（３）条数（2、3、4、5）
（４）埋設深さ（300㎜以上　500㎜以下）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）歩道部におけるケーブル配管
（２）光ケーブル用の配管

２．費用内訳
・ケーブル配管(交差点横断部、車道部)の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎材、型枠、均しコンクリート、巻きコンクリート、鉄筋、埋設表示テープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・購入土の場合の***土材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：道路付属施設工
種　　別：ケーブル配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ケーブル配管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、道路沿いに地中埋設されるケーブル配管に適用する。

２．費用内訳
・道路沿いに地中埋設されるケーブル管の設置、作業土工（床掘り・埋戻し・積込み・運搬）、埋戻材（購入土使用の場合）、基礎材、型枠、均しコンクリート、巻きコンクリート、鉄筋等、その施工に要する全ての費用を含む。

・復旧は含まない。
・***舗装版切断、舗装版破砕***は含まない。
・***残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）舗装版切断については、（Ⅲ-直接-13-2）による。
（２）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-3）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（４）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：道路付属施設工
種　　別：ケーブル配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ハンドホール

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工におけるハンドホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）内空寸法600㎜×600㎜又は900㎜×900㎜の場合
（２）深さ1100㎜以上1600㎜以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去のみの場合
（２）現場打ちハンドホールの場合
（３）情報ボックスにおけるハンドホールの場合

２．費用内訳
・ハンドホールの作業土工(床掘り・埋戻し)、プレキャストハンドホールの設置、蓋の設置、基礎砕石、現場内小運搬の他、敷砂、敷モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：道路付属施設工
種　　別：ケーブル配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ハンドホール

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工におけるハンドホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャストハンドホールの設置（材料込みの新設設置）
（２）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）現場打ちハンドホールの場合
（２）情報ボックスにおけるハンドホールの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・プレキャストハンドホール(蓋付)の設置、現場内小運搬の他、敷砂、敷モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・プレキャストハンドホールの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***基礎砕石(基礎材)***、均し***コンクリート***、均しコンクリート用***型枠***は含まない。
・***床掘り(土砂)***、***床掘り(岩石)***、***埋戻し***、***土砂等運搬***、***残土運搬***、***残土等処分***は含まない。
・***殻運搬***、***殻処分***、***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
ハンドホールユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
ハンドホール規格(P)	作業区分(P)	製品質量(S)
各種	設置	2000kg/基以下
		2000kg/基を超え4000kg/基以下
	撤去	2000kg/基以下
		2000kg/基を超え4000kg/基以下

（注）積算条件：各種の場合
ハンドホール規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（２）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（３）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（４）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（５）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（６）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（８）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（９）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
(10) 殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
(11) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
(12) 現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
(13) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：道路付属施設工
種　　別：照明工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
照明柱基礎

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工における照明柱基礎に適用する。

２．費用内訳
・道路照明柱の基礎の設置、作業土工（床掘り・埋戻し）、基礎材、型枠(スパイラルダクト含む)、コンクリートの他、つき固め機械等の損料及び燃料の費用、シュート、ホッパ、バイブレータ損料及び電力に関する経費の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（３）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（５）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路維持、道路修繕
工　　種：道路付属施設工
種　　別：照明工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
照明柱

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設工における照明柱に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）高さがＧＬ8～12m、重量が350kg以下もしくは350kg超1000kg以下の道路照明灯建柱の場合

２．費用内訳
・道路照明柱（個別製作照明柱、鋼管引込ポール含む）の設置、灯具・安定器取付、ポール内配線の他、各種回路測定、ケーブル敷設・結線、点灯試験・照度測定、アンカーボルトの材料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***照明柱基礎***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）照明柱基礎については、（Ⅲ-直接-5-240）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防雪柵工

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における防雪柵工に適用する。

２．費用内訳
・道路上の吹溜りの防止のために行う防雪柵の設置、現場内小運搬、現場打ち基礎の設置（プレキャスト基礎は含まない）、作業土工（床掘り・埋戻し）の他、脚立及び工具の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***鋼管杭***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）鋼管杭については、（Ⅲ-直接-4-9）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：冬期対策施設工、落石雪害防止工
種　　別：冬期安全施設工、防雪柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防雪柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における防雪柵に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）防雪柵の設置（材料込みの新設設置）
（２）再利用設置の場合（設置手間のみの流用品・支給品等使用）
（３）撤去の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合
・道路上の吹溜りの防止のために行う防雪柵の設置、現場内小運搬の他、脚立及び工具の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(防雪柵本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・道路上の吹溜りの防止のために行う防雪柵の撤去、現場内小運搬の他、脚立及び工具の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・コンクリート基礎設置・撤去は含まない。

３．積算条件
防雪柵ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	形式(P)	取付方式(P)	柵高(P)
設置	吹溜式	仮設式(支柱+張立材)	3.5m以下
			3.5超6.0m下
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下
			3.5超6.0m下
		固定式(支柱+張立材)	5.0m以下
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下
	吹払式	仮設式(支柱+張立材)	4.0m以下
		仮設式(張立材のみ)	4.0m以下
		固定式(支柱+張立材)	4.0m以下
		固定式(張立材のみ)	4.0m以下
撤去	吹溜式	仮設式(支柱+張立材)	3.5m以下

積算条件			
作業区分(P)	形式(P)	取付方式(P)	柵高(P)
撤去	吹溜式	仮設式(支柱+張立材)	3.5超6.0m下
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下
			3.5超6.0m下
		固定式(支柱+張立材)	5.0m以下
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下
	吹払式	仮設式(支柱+張立材)	4.0m以下
		仮設式(張立材のみ)	4.0m以下
		固定式(支柱+張立材)	4.0m以下
		固定式(張立材のみ)	4.0m以下
再利用設置	吹溜式	仮設式(支柱+張立材)	3.5m以下
			3.5超6.0m下
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下
			3.5超6.0m下
		固定式(支柱+張立材)	5.0m以下
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下
	吹払式	仮設式(支柱+張立材)	4.0m以下
		仮設式(張立材のみ)	4.0m以下
		固定式(支柱+張立材)	4.0m以下
		固定式(張立材のみ)	4.0m以下

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路改良
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
雪崩予防柵工

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における雪崩予防柵工に適用する。

２．費用内訳
・基礎材、基礎コンクリート、雪崩予防柵の設置(アンカーの設置も含む)、固定柵の場合は、基礎金物の設置、資材、型枠の運搬、吊柵の場合はワイヤの加工、資材の運搬、作業土工(床掘り・埋戻し)、機械器具等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：雪崩予防柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
雪崩予防柵基礎

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における雪崩予防柵基礎に適用する。

２．費用内訳
・雪崩発生予防柵における基礎の設置、基礎材、型枠、鉄筋、コンクリートの他、つき固め機械等の損料及び燃料の費用、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット、電気ドリル、電動ノコギリ損料及び電力に関する経費等の費用、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：雪崩予防柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
雪崩予防柵

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における鋼製の雪崩予防柵に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）固定基礎を有する固定柵及び固定アンカーを有しワイヤで柵を吊っている吊柵のうち1基当り柵長が6m以下、柵高が3m以下の鋼製の雪崩発生予防柵の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）吊枠の場合

２．費用内訳
・雪崩予防柵の組立・設置、ワイヤの加工・設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・簡易ケーブルクレーンの設置・撤去は含まない。
・***足場***は含まない。
・***雪崩予防柵基礎、雪崩予防柵アンカー***は含まない。

３．積算条件
雪崩予防柵ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
柵高(P)	柵長(P)	柵種類(P)	クレーン機種(S)	持上範囲(S)
各種	各種	固定柵	トラッククレーン	15m未満
				15m以上20m未満
				20m以上25m未満
				25m以上45m以下
			簡易ケーブルクレーン	130m以下
		吊柵	トラッククレーン	15m未満
				15m以上20m未満
				20m以上25m未満
				25m以上45m以下
			簡易ケーブルクレーン	130m以下

（注）1.持上範囲は、トラッククレーンの場合は機械設置地盤からの最大持上げ高までの直高とし、簡易ケーブルクレーンの場合は資材仮置面から最大持上げ高までの直高とする。

2.当該ユニット区分使用時
　　材　　料：各種（文字入力）
3.積算条件：各種の場合
　　柵高（m）：各種（実数入力）
　　柵長（m）：各種（実数入力）

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）雪崩予防柵基礎については、（Ⅲ-直接-5-245）による。
（３）雪崩予防柵アンカーについては、（Ⅲ-直接-5-247）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：落石雪害防止工
種　　別：雪崩予防柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
雪崩予防柵アンカー

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止工における雪崩予防柵アンカーに適用する。

２．費用内訳
・雪崩発生予防柵における吊柵アンカーのうちパイプアンカー及び樹脂アンカーの設置、アンカー材料の他、空気圧縮機の運転経費及び打込用架台、さく岩機、動噴ポンプ、水タンク、エアーインパクトの損料、エアホース、水ホース、ロッド、ビットの損耗費、モルタル、セメントミルクの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０６河川編

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工、法覆護岸工
種　　別：基礎工、コンクリートブロック工、緑化ブロック工、環境護岸ブロック工、石積(張)工、多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場打基礎

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工、法覆護岸工等における現場打基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現場打基礎の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）練炭養生以外の特殊養生（ジェットヒーター養生）の場合

２．費用内訳
・基礎材、均しコンクリート、コンクリート、鉄筋、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、目地材、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリート打設機器損料、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***矢板工(護岸基礎)、一本土台、片梯子土台、梯子土台、止杭一本土台***は含まない。

３．積算条件
現場打基礎ユニットの積算条件は、次表のとおりである。
なお、打設地上高さ2m超は土木工事標準積算基準書による。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
土質(P)	打設地上高さ(S)	特殊養生の有無(S)
土砂	2m以下	無し
		有り（練炭養生）
	2m超	無し
		有り（練炭養生）
岩塊・玉石混り土	2m以下	無し
		有り（練炭養生）
	2m超	無し
		有り（練炭養生）
軟岩	2m以下	無し
		有り（練炭養生）
	2m超	無し
		有り（練炭養生）

積算条件		
土質(P)	打設地上高さ(S)	特殊養生の有無(S)
硬岩	2m以下	無し
		有り（練炭養生）
	2m超	無し
		有り（練炭養生）

（注）土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）矢板工(護岸基礎)については、（Ⅲ-直接-6-8）による。
（５）一本土台については、（Ⅲ-直接-6-10）による。
（６）片梯子土台については、（Ⅲ-直接-6-11）による。
（７）梯子土台については、（Ⅲ-直接-6-12）による。
（８）止杭一本土台については、（Ⅲ-直接-6-13）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸、道路維持、道路修繕
工　　種：護岸基礎工、護岸工、裏法被覆工、石・ブロック積(張)工
種　　別：基礎工、石積(張)工、コンクリートブロックエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場打基礎

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリートブロック積（張）及び石積（張）における現場打基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現場打基礎の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）練炭養生以外の特殊養生（ジェットヒータ養生）の場合

２．費用内訳
・コンクリート、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリート打設機器損料、コンクリート打設、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***基礎砕石(基礎材)***、均しコンクリート用の***コンクリート、型枠、目地板、鉄筋***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
現場打基礎ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
18-8-25(普通)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	養生工なし
18-8-25(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	養生工なし
18-8-40(高炉)	一般養生
	特殊養生(練炭)
	養生工なし
各種	一般養生
	特殊養生(練炭)
	養生工なし

（注）1.雪寒仮囲いの養生が必要な場合は、養生工の種類「養生工なし」により積算し、雪寒仮囲いについては別途計上する。
2.積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（３）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（４）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（７）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（８）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（９）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
(10) 残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
(11) 残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：流路護岸工
種　　別：基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
場所打基礎

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、流路護岸工における場所打基礎に適用する。

２．費用内訳
・流路工事における現場打基礎のコンクリート打設、基礎材、目地材、横取り、鉄筋、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、シュート、ホッパ、コンクリートバケット、バイブレータ、計量車、高圧洗浄機、電気ドリル、電動ノコギリ、水中ポンプ運転経費及び損料、つき固め機械等の損料及び燃料費、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場材、単管、自在クランプ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、角パイプ、フォームタイ、座金、プラスチックコン、セパレータ、丸鋼、仮設材の持上(下)げ機械に要する費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工、法覆護岸工
種　　別：基礎工、コンクリートブロック工、緑化ブロック工、環境護岸ブロック工、石積(張)工、多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト基礎

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工、法覆護岸工におけるプレキャスト基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（1）プレキャスト基礎の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（1）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒータ養生）の場合

２．費用内訳
・基礎材、プレキャスト基礎ブロック（据付け、連結、目地材）、中詰材（コンクリート、コンクリート殻等）の設置、作業土工（床掘り・埋戻し）の他、養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
プレキャスト基礎ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
土質(P)	中詰材種類(P)	基礎断面積(P)
土砂	コンクリート	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	コンクリート殻	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	各種	―
岩塊・玉石混り土	コンクリート	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満

積算条件		
土質(P)	中詰材種類(P)	基礎断面積(P)
岩塊・玉石混り土	コンクリート	各種
	コンクリート殻	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	各種	―
軟岩	コンクリート	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	コンクリート殻	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	各種	―
硬岩	コンクリート	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	コンクリート殻	0.25m2未満
		0.25m2以上0.5m2未満
		0.5m2以上0.75m2未満
		0.75m2以上1.0m2未満
		各種
	各種	―

（注）1.積算条件：中詰材種類で各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、中詰材種類以外の積算条件は、他の中詰材種類の選択肢から選択し、積算条件として以下の項目を記入する。
中詰材種類：各種（文字入力）
基礎断面積：各種（実数入力（m2））
2.土質は、作業土工での土質区分をいう。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト基礎

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工におけるプレキャスト基礎に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト基礎ブロック設置、連結、目地材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***中詰(プレキャスト基礎)、基礎砕石(基礎材)***は含まない。

３．積算条件
プレキャスト基礎ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
ブロック製品長(P)
2000㎜
3300㎜
4000㎜
5000㎜

４．その他
（１）中詰(プレキャスト基礎)については、（Ⅲ-直接-6-7）による。
（２）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：流路護岸工
種　　別：基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト基礎

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、流路護岸工におけるプレキャスト基礎に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ブロック長2m、3.3m、4m、5mの場合

２．費用内訳
・基礎材、プレキャスト基礎ブロック(据付け、連結、目地材)、中詰コンクリート、養生、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、コンクリートバケット、バイブレータ、計量車損料、つき固め機械等の損料及び燃料費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***採取小割***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：堤防・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中詰(プレキャスト基礎)

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工における中詰(プレキャスト基礎)に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト基礎における中詰コンクリート投入、養生の他、バイブレータ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・中詰材(コンクリート殻)投入は含まない。
・***プレキャスト基礎、基礎砕石(基礎材)***は含まない。

３．積算条件
中詰(プレキャスト基礎)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
コンクリート規格(P)
19.5-8-40(高炉)
18-5-40(高炉)
18-8-40(高炉)
18-8-25(高炉)
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-5）による。
（２）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：―
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

矢板工(護岸基礎)

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、護岸基礎工における矢板工（護岸基礎）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）鋼矢板による護岸基礎

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）コンクリート矢板による護岸基礎

２．費用内訳

・矢板工の鋼矢板打込み、タイロッド・腹起し・控え版設置、敷鉄板及び導材（ガイド）の設置･撤去･移設、作業土工（溝掘り）等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件

矢板工(護岸基礎)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件				
土質(P)	矢板長(P)	矢板形式(P)	環境対策(無振動施工)(P)	施工場所(S)
表３．２参照	1m 超 2m 以下	Ⅱ型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅱw型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上

積算条件				
土質(P)	矢板長(P)	矢板形式(P)	環境対策(無振動施工)(P)	施工場所(S)
表３．２参照	1m 超 2m 以下	Ⅱw 型	必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅲw 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅳw 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		10H 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		25H 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		各種	－	陸上
				水上

積算条件				
土質(P)	矢板長(P)	矢板形式(P)	環境対策(無振動施工)(P)	施工場所(S)
表３．２参照	2m 超 4m 以下	Ⅱ型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅱw型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅲw型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅳw型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		10H 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上

積算条件				
土質(P)	矢板長(P)	矢板形式(P)	環境対策(無振動施工)(P)	施工場所(S)
表３．２参照	2m 超 4m 以下	25H 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		各種	―	陸上
				水上
	4m 超 25m 以下	Ⅱ型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅱw 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		Ⅲw 型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100 又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50 又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上

積算条件				
土質(P)	矢板長(P)	矢板形式(P)	環境対策(無振動施工)(P)	施工場所(S)
表３．２参照	4m超 25m以下	Ⅳw型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		10H型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		25H型	必要なし (Nmax<50)	陸上
				水上
			必要なし (50≦Nmax＜100又は転石あり)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (Nmax≦25)	陸上
				水上
			必要あり(無振動) (25<Nmax≦50又は転石あり)	陸上
				水上
			各種	陸上
				水上
		各種	－	陸上
				水上
	各種	－	－	陸上
				水上

表３.２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
土質(P)	土砂
	岩塊・玉石混り土
	軟岩
	硬岩

(注)1. タイロッド・腹起し・控え版設置を伴う場合は、矢板長、矢板形式及び環境対策及び現場条件で「各種」を選択する。

2. 積算条件：矢板長又は矢板形式で各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、それ以外の積算条件は、各選択肢から選択し、積算条件として以下の項目を記入する。
矢板長：各種(実数入力(m))
矢板形式：各種(文字入力)
環境対策及び現場条件：各種(文字入力)

3. 土質は、作業土工での土質区分をいう。

表３．１における矢板形式ごとの打込長さは、環境対策及び現場条件ごと、次表のとおりとする。(各種を除く)

表３．２　打込長(m)

矢板形式 / 環境対策 (無振動施工)	Ⅱ型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	10H型	25H型
必要なし (Nmax＜50)	15以下	15以下	19以下	25以下	15以下	19以下
必要なし (50≦Nmax＜100又は転石あり)					19以下	25以下
必要あり(無振動) (Nmax≦25)	10以下	12以下	25以下		12以下	
必要あり(無振動) (25＜Nmax≦50又は転石あり)	12以下	14以下			14以下	

４．その他

（１）土砂等運搬については、(Ⅲ-直接-1-6) による。
（２）残土運搬については、(Ⅲ-直接-1-25) による。
（３）建設機械運搬費については、(Ⅲ-間接-1-1) による。
（４）重建設機械分解組立費については、(Ⅲ-間接-1-2) による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、(Ⅲ-間接-1-3) による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：矢板護岸工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
矢板工(矢板護岸)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、矢板護岸工における矢板工（矢板護岸）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）コンクリート矢板による矢板護岸
（２）鋼矢板による矢板護岸
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）軽量鋼矢板による矢板護岸

２．費用内訳
・矢板工の鋼矢板(又はコンクリート矢板)打込み、タイロッド・腹起し・控え版設置、敷鉄板及び導材(ガイド)の設置･撤去･移設、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬***は含まない。
・***笠コンクリート、プレキャスト笠コンクリート***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（３）笠コンクリートについては、（Ⅲ-直接-6-14）による。
（４）プレキャスト笠コンクリートについては、（Ⅲ-直接-6-15）による。
（５）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（６）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（７）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（８）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：土台基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
一本土台

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工における一本土台に適用する。

２．費用内訳
・土台木の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：土台基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
片梯子土台

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工における片梯子土台に適用する。

２．費用内訳
・桟木及び土台木の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：土台基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
梯子土台

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工における梯子土台に適用する。

２．費用内訳
・**桟木及び土台木の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。**

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：護岸基礎工
種　　別：土台基礎工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

止杭一本土台

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、護岸基礎工における止杭一本土台に適用する。

２．費用内訳
・止杭及び土台木の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：矢板護岸工
種　　別：笠コンクリートエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
笠コンクリート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、矢板護岸工における笠コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・笠コンクリートの製作(現地で製作するコンクリート、型枠、鉄筋)、設置の他、基礎材、コンクリート打設小器材、養生材及び型枠はく離剤等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、堤防・護岸
工　　種：矢板護岸工、護岸基礎工
種　　別：笠コンクリートエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャスト笠コンクリート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲

本資料は、矢板護岸工におけるプレキャスト笠コンクリートに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）重量1.1ｔ未満のプレキャスト笠コンクリートブロック

２．費用内訳

・プレキャスト笠コンクリートブロックの設置(高さ調整金具取付、ブロック連結、中詰コンクリート打設、型枠設置・撤去を含む)、基礎材、目地材、調整金具、連結金具、コンクリート打設小器材、養生材及び型枠はく離剤、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

プレキャスト笠コンクリートブロックユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
ブロック規格(P)	中詰コンクリート型枠の有無(P)	中詰コンクリート規格(P)	中詰コンクリート100m当り設計量(S)	笠コンクリートブロック100m当り使用量(S)
各種	有り	18-8-40(高炉)	各種	各種
		21-8-25(20)(高炉)	各種	各種
		各種	各種	各種
	無し	18-8-40(高炉)	各種	各種
		21-8-25(20)(高炉)	各種	各種
		各種	各種	各種

（注）1.中詰コンクリート100ｍ当り設計量及び笠コンクリートブロック100ｍ当り使用量は、ブロック規格より計算する。
2.現場内小運搬は、30ｍまでとする。
3.積算条件：各種の場合
ブロック規格：各種（文字入力）
中詰コンクリート規格：各種（文字入力）
中詰コンクリート100m当り設計量：各種（実数入力（m3／100m））
笠コンクリートブロック100m当り使用量：各種（実数入力（個／100m））

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：流路護岸工
種　　別：護岸付属物工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャスト横帯コンクリート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工におけるプレキャスト横帯コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト横帯コンクリートの設置、基礎材、敷きモルタル、現場内小運搬の他、つき固め機械等の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
巨石張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における巨石張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）石材料径40cm以上～100cm以下の場合

２．費用内訳
・巨石張(法勾配1割以上)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、バイブレータ、つき固め機械損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。
・***巨石採取***は含まない。
・***水抜パイプ***は含まない。
・***遮水シート***は含まない。

３．積算条件
巨石張ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件								
空張・練張(P)	石材径区分(P)	裏込材の有無(P)	胴込・裏込材規格区分(P)	胴込・裏込コンクリートの規格(P)	吸出し防止材の有無(P)	胴込・裏込材の10m2当りの使用量(S)	胴込・裏込コンクリート10m2当りの使用量(S)	吸出し防止材10m2当りの使用量(S)
空張	40cm以上60cm未満	有り	RC-40	―	有り	各種	―	各種
					無し	各種	―	―
			各種	―	有り	各種	―	各種
					無し	各種	―	―
		無し	―	―	有り	―	―	各種
					無し	―	―	―
	60cm以上80cm未満	有り	RC-40	―	有り	各種	―	各種
					無し	各種	―	―
			各種	―	有り	各種	―	各種
					無し	各種	―	―
		無し	―	―	有り	―	―	各種
					無し	―	―	―

積算条件								
空張・練張(P)	石材径区分(P)	裏込材の有無(P)	胴込・裏込材規格区分(P)	胴込・裏込コンクリートの規格(P)	吸出し防止材の有無(P)	胴込・裏込材の10m2当りの使用量(S)	胴込・裏込コンクリート10m2当りの使用量(S)	吸出し防止材10m2当りの使用量(S)
空張	80cm以上100cm以下	有り	RC-40	―	有り	各種	―	各種
					無し	各種	―	―
			各種	―	有り	各種	―	各種
					無し	各種	―	―
		無し	―	―	有り	―	―	各種
					無し	―	―	―
練張	40cm以上60cm未満	有り	RC-40	18-8-40(高炉)	―	各種	各種	―
				各種	―	各種	各種	―
			各種	18-8-40(高炉)	―	各種	各種	―
				各種	―	各種	各種	―
		無し	―	18-8-40(高炉)	―	―	各種	―
				各種	―	―	各種	―
	60cm以上80cm未満	有り	RC-40	18-8-40(高炉)	―	各種	各種	―
				各種	―	各種	各種	―
			各種	18-8-40(高炉)	―	各種	各種	―
				各種	―	各種	各種	―
		無し	―	18-8-40(高炉)	―	―	各種	―
				各種	―	―	各種	―
	80cm以上100cm以下	有り	RC-40	18-8-40(高炉)	―	各種	各種	―
				各種	―	各種	各種	―
			各種	18-8-40(高炉)	―	各種	各種	―
				各種	―	各種	各種	―
		無し	―	18-8-40(高炉)	―	―	各種	―
				各種	―	―	各種	―

（注）1.現場内小運搬は20m程度とする。

2.積算条件：各種の場合

胴込・裏込材規格：各種（文字入力）

胴込・裏込コンクリートの規格：各種（文字入力）

胴込・裏込材の10m2当りの使用量：各種（実数入力（m3／10m2））

胴込・裏込コンクリート10m2当りの使用量：各種（実数入力（m3／10m2））

吸出し防止材10m2当りの使用量：各種（実数入力（m2／10m2））

3.石材料の単位換算は、以下のとおり

体積(m3/個)：$V=\pi D^3/6$

占有面積(m2/個)：$A'=(3^{1/2})D^2/2$

※D：径(m)

４．その他

（１）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。

（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。

（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。

（４）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。

（５）巨石採取については、（Ⅲ-直接-6-20）による。

（６）水抜パイプについては、（Ⅲ-直接-3-32）による。

（７）遮水シートについては、（Ⅲ-直接-3-33）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：床固め工
種　　別：垂直壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
巨石張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、床固め工における巨石張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）石材料径40cm以上～100cm以下の場合

２．費用内訳
・巨石張(法勾配1割以上)、裏込材、胴込・裏込コンクリート、吸出し防止材、遮水シート、止水シート、水抜パイプ、かみ合わせによる石の加工、巨石採取・運搬、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、バイブレータ、つき固め機械損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）場所打基礎については、（Ⅲ-直接-6-3）による。
（２）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-6）による。
（３）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-4）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
巨石積

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における巨石積に適用する。

２．費用内訳
・巨石積(法勾配1割未満)、かみ合わせによる石の加工、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、吸出し防止材、水抜パイプ、遮水・止水シート張、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、バイブレータ、つき固め機械損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・***現場打基礎、プレキャスト基礎、天端コンクリート***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）現場打基礎については、（Ⅲ-直接-6-1）による。
（３）プレキャスト基礎については、（Ⅲ-直接-6-4）による。
（４）天端コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-1）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
巨石採取

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における巨石採取に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）石材料径40cm以上～100cm以下の場合

２．費用内訳
・多自然型護岸工事における巨石材(径40cm以上～100cm以下)の掘削、採取、積込み、洗浄、選別、現場内小運搬の他、高圧洗浄機、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・機械類による破砕作業や火薬類による発破作業は含まない。
・***石材料***は含まない。

３．積算条件
巨石採取ユニットの積算条件はない。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
巨石据付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における巨石据付に適用する。

２．費用内訳
・巨石の据付け、運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：床固め工
種　　別：垂直壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
巨石据付

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、床固め工における巨石据付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）多自然型護岸工事の施工で、巨石(0.5～1.5m)を据付(水平置)ける場合

２．費用内訳
・巨石(0.5～1.5m)設置(水平置)、採取・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、床固め工
種　　別：コンクリート側壁工、側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
植石張

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植石張に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）玉石及び雑割石（控長25cm～50cm）の積工（勾配１割未満）及び張工（勾配１割以上）の場合

２．費用内訳
・多自然型護岸として、巨石を埋込む場合の石材の設置(石材料含む)、裏込材、胴込・裏込コンクリート、目地材、吸出防止材の他、現場内小運搬、コンクリートバケット、つき固め機械、バイブレータ損料、油脂類、型枠等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）人力による20m程度の現場内小運搬を含む。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
かごマット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工におけるかごマットに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）一般部又は曲線部の場合
（２）粗面のカゴ蓋を使用する場合

２．費用内訳
・かごマットの設置、詰石、吸出し防止材設置、補強材設置、法面整形・床拵えの他、補強材(単管パイプ、鉄筋等)、消耗材料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料(かごマット)***は含まない。

３．積算条件
かごマットユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
かごマット種別(P)	かご厚(P)	かご本体材質(P)
スロープ式	30cm	亜鉛アルミメッキ
		各種
	50cm	亜鉛アルミメッキ
		各種
	各種	―
各種	―	―

(注)積算条件：かごマット種別又はかご厚で各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、それ以外の積算条件は、各選択肢から選択し、積算条件として以下の項目を記入する
かごマット種別：各種（文字入力）
かご厚：各種（実数入力(cm)）
かご本体材質：各種（文字入力）

４．その他
（１）石材料(かごマット)については、（Ⅲ-直接-6-38）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：護床工
種　　別：かご工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
かごマット

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工におけるかごマットに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）鉄線篭を使用した護岸で法勾配1:2.0以上の場合
（２）一般部又は曲線部の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鉄線篭を使用した護岸で法勾配1:2.0未満の場合
（２）多段積みの場合

２．費用内訳
・かごマットの設置、詰石、吸出し防止材設置、補強材設置、法面整形・床拵えの他、補強材(単管パイプ、鉄筋等)、消耗材料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・*石材料(かごマット)*は含まない。

３．積算条件
かごマットユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
かごの厚さ(P)	かご本体材質(P)
t=30cm	亜鉛アルミメッキ
	各種
t=50cm	亜鉛アルミメッキ
	各種

（注）1.現場内小運搬は20m程度とする。
2.積算条件：各種の場合
かご本体材質：各種（文字入力）

４．その他
（１）石材料(かごマット)については、（Ⅲ-直接-6-38）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
柳枝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における柳枝に適用する。

２．費用内訳
・柳枝(柳粗朶・帯梗・小杭)設置、土砂及び砕石投入、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
玉石階段

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における玉石階段に適用する。

２．費用内訳
・玉石材設置、胴込・裏込コンクリート打設、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
杭柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における杭柵に適用する。

２．費用内訳
・杭柵(柵、止杭、詰石等)設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
連柴柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における連柴柵に適用する。

２．費用内訳
・連柴柵(柵、止杭、詰石等)設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
粗朶法覆

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における粗朶法覆に適用する。

２．費用内訳
・粗朶法覆(格子枠、止杭、詰石等)設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：多自然型護岸工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
玉石柳枝

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工における玉石柳枝に適用する。

２．費用内訳
・玉石柳枝(格子枠、止杭、詰石等)設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川修繕、砂防えん堤、流路、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法覆護岸工、根固め工、水制工、護床工、側帯工、法面工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：羽口工、かご工、縁切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
じゃかご

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、じゃかごに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設以外におけるじゃかごの設置

２．費用内訳
・じゃかご設置のための法面整形、床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・設置、詰石、かご緊結、埋戻し及び現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・止杭設置は含まない。

３．積算条件
じゃかごユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
じゃかご径(P)	吸出し防止材の有無(P)
径45cm	有り
	無し
径60cm	有り
	無し

(注)現場内小運搬は30m程度とする。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：法面工
種　　別：かご工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
じゃかご

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設におけるじゃかごに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）かご径45～60cmの場合

２．費用内訳
・斜面対策工事におけるじゃかご設置のための床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・設置、詰石、止杭設置、埋戻し及び現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削(砂防)、盛土(砂防)、整地、法面整形***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）掘削(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-4）による。
（２）盛土(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-15）による。
（３）整地については、（Ⅲ-直接-1-10）による。
（４）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、砂防えん堤、流路、道路改良、道路維持、道路修繕
工　　種：法覆護岸工、根固め工、水制工、護床工、法面工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：羽口工、かご工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ふとんかご

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、ふとんかごに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設以外におけるふとんかごの設置

２．費用内訳
・ふとんかご設置のための床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・設置、詰石、蓋設置、埋戻し及び現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・止杭設置は含まない。

３．積算条件
ふとんかごユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
ふとんかご種別(P)	ふとんかご規格(P)	吸出し防止材の有無(P)
スロープ式	40cm×120cm	有り
		無し
	50cm×120cm	有り
		無し
	60cm×120cm	有り
		無し
階段式	40cm×120cm	有り
		無し
	50cm×120cm	有り
		無し
	60cm×120cm	有り
		無し

（注）現場内小運搬は30m程度とする。

４．その他

（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：法面工
種　　別：かご工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ふとんかご

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、法面工におけるふとんかごに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）階段式又はパネル式の場合
（２）高さ40～100cmの場合
（３）幅120～200cmの場合

２．費用内訳
・法面工におけるふとんかご設置のための床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・設置、止杭設置、詰石、埋戻し及び現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***掘削(砂防)、盛土(砂防)、整地、法面整形***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）掘削(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-4）による。
（２）盛土(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-15）による。
（３）整地については、（Ⅲ-直接-1-10）による。
（４）法面整形については、（Ⅲ-直接-1-24）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：法覆護岸工
種　　別：羽口工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
かご枠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工におけるかご枠に適用する。

２．費用内訳
・かご枠の設置、詰石等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１.適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、河川修繕、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、道路改良、道路維持、道路修繕

工　　種：法覆護岸工、根固め工、水制工、護床工、側帯工、堤脚保護工、護岸基礎工、護岸工、裏法被覆工、法面工、護床工・根固め工、流路護岸工、根固め・水制工、石・ブロック積(張)工

種　　別：石積(張)工、多自然型護岸工、羽口工、根固めブロック工、沈床工、捨石工、かご工、間詰工、縁切工、石積工、石積擁壁工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

石材料

積算単位：m3(石量)
契約単位：m3(石量)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工、石ブロック積（張）工等における石材料に適用する。

２．費用内訳
・石積(張)工等における石材料の購入に要する全ての費用(現着単価)を含む。

３．積算条件
石材料ユニットの積算条件は次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
石種別(S)
各種

（注）積算条件：各種の場合
石種別：各種（文字入力）

４．その他
（１）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管
工　　種：法覆護岸工、護床工
種　　別：多自然型護岸工、かご工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
石材料(かごマット)

積算単位：m3(石量)
契約単位：式orm3(石量)

１．適用範囲
本資料は、法覆護岸工、護床工における石材料(かごマット)に適用する。

２．費用内訳
・かごマットに用いる石材料の購入に要する全ての費用(現着単価)を含む。

３．積算条件
石材料(かごマット)ユニットの積算条件は次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
詰石種類(S)	詰石規格(S)	詰石設計量(S)
栗石	50～150mm	各種
	各種	各種
割栗石	50～150mm	各種
	150～200mm	各種
	各種	各種

（注）１．石量は、設計数量とする。
２．詰石設計量は、かごマット容量の90%とする。
３．積算条件：各種の場合
詰石規格：各種（文字入力）
詰石設計量：各種（実数入力（m3/100m2））

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、堤防・護岸、流路
工　　種：根固め工、水制工、護床工、護岸基礎工、根固め・水制工
種　　別：捨石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
石材料(捨石)

積算単位：m3(石量)
契約単位：式orm3(石量)

１．適用範囲
本資料は、捨石工における石材料(捨石)に適用する。

２．費用内訳
・捨石に用いる石材料の購入に要する全ての費用(現着単価)を含む。

３．積算条件
石材料(捨石)ユニットの積算条件は次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
石種別(S)
各種

（注）１．石量は、設計量とする。
２．積算条件：各種の場合
石種別：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：根固め工
種　　別：根固めブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
消波根固めブロック製作

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における消波根固めブロック製作に適用する。

２．費用内訳
・消波根固めブロックの製作(現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の組立・脱型及び清掃、はく離剤塗布、鉄筋加工・組立(連結用フック含む))、横取り、養生の他、コンクリート打設小器材、養生材、型枠はく離剤、ワイヤーロープ及び特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・特許使用料は含まない。
・***消波根固めブロック運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）消波根固めブロック運搬については、（Ⅲ-直接-6-44）による。
（２）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（３）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（４）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（５）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、流路
工　　種：護床工、護岸基礎工、護岸工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：根固めブロック工、海岸コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
消波根固めブロック製作

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における消波根固めブロック製作に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川、砂防工事に使用する11t以下（実質量）の消波根固めブロックを現地製作する場合

２．費用内訳
・消波根固めブロックの製作(現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の組立・脱型及び清掃、はく離剤塗布)、横取り、養生の他、コンクリート打設小器材、型枠はく離剤、インパクトレンチ損料、養生シート、ワイヤーロープ、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・特許使用料は含まない。
・***消波根固めブロック運搬***は含まない。
・***鉄筋***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
消波根固めブロック製作ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件						
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック規格(P)	コンクリート規格(P)	1個当り型枠面積（m2／個）(S)	1個当りコンクリート設計量（m3／個）(S)	養生工の種類(S)	消波根固めブロック規格（給熱養生）(S)
鉄筋ブロック	2.5t以下	18-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		18-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		19.5-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		21-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下

積算条件						
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック規格(P)	コンクリート規格(P)	1個当り型枠面積（m2／個）(S)	1個当りコンクリート設計量（m3／個）(S)	養生工の種類(S)	消波根固めブロック規格（給熱養生）(S)
鉄筋ブロック	2.5t以下	21-5-40(高炉)	各種	各種	給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
		21-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		各種	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
	2.5tを超え5.5t以下	18-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		18-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		19.5-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		21-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		21-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		各種	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
	5.5tを超え11.0t以下	18-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		18-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		19.5-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		21-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―

積算条件						
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック規格(P)	コンクリート規格(P)	1個当り型枠面積（m2／個）(S)	1個当りコンクリート設計量（m3／個）(S)	養生工の種類(S)	消波根固めブロック規格（給熱養生）(S)
鉄筋ブロック	5.5tを超え11.0t以下	21-5-40(高炉)	各種	各種	給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		21-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		各種	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
無筋ブロック	2.5t以下	18-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		18-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		19.5-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		21-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		21-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
		各種	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	0.25t以上2.2t以下
						2.2tを超え4.5t以下
	2.5tを超え5.5t以下	18-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		18-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		19.5-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下

積算条件						
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック規格(P)	コンクリート規格(P)	1個当り型枠面積（m2／個）(S)	1個当りコンクリート設計量（m3／個）(S)	養生工の種類(S)	消波根固めブロック規格（給熱養生）(S)
無筋ブロック	2.5tを超え5.5t以下	19.5-8-40(高炉)	各種	各種	給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
		21-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		21-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
		各種	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	2.2tを超え4.5t以下
						4.5tを超え6.5t以下
	5.5tを超え11.0t以下	18-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		18-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		19.5-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		21-5-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		21-8-40(高炉)	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下
		各種	各種	各種	一般養生	―
					給熱養生	4.5tを超え6.5t以下
						6.5tを超え11.0t以下

（注）積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）
1個当り型枠面積：各種（実数入力（m2／個））
1個当りコンクリート設計量：各種（実数入力（m3／個））

４．その他

（１）消波根固めブロック運搬については、（Ⅲ-直接-6-44）による。

（２）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。

（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：根固め工
種　　別：根固めブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
消波根固めブロック据付

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における消波根固めブロック据付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川工事に使用する11t以下（実質量）の消波根固めブロックの据付で、陸上から敷設する場合

２．費用内訳
・消波根固めブロックの横取り・積込み・荷卸・据付け、作業土工(床掘り・埋戻し)の他、連結金具、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***消波根固めブロック運搬***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）消波根固めブロック運搬については、（Ⅲ-直接-6-44）による。
（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（６）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、流路
工　　種：護床工、護岸基礎工、護岸工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：根固めブロック工、海岸コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
消波根固めブロック据付

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における消波根固めブロック据付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川、砂防工事に使用する11t以下（実質量）の消波根固めブロックの据付で、陸上から敷設する場合

２．費用内訳
・消波根固めブロックの横取り・積込み・荷卸・据付けの他、ブロック購入費、連結金具、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***消波根固めブロック運搬***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
消波根固めブロック据付ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件										
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック購入の有無(P)	消波根固めブロック規格(P)	据付箇所(P)	仮置きヤードでの横取り作業の有無(P)	積込作業の有無(P)	荷卸作業の有無(P)	据付現場ヤードでの横取り作業の有無(P)	据付方法(S)	連結金具設置の有無(P)	ブロック10個当り連結金具設置数量(S)
鉄筋ブロック	有り	2.5t以下	陸上	表３．２参照						
			水中							
		2.5tを超え5.5t以下	陸上							
			水中							
		5.5tを超え11.0t以下	陸上							
			水中							
	無し	2.5t以下	陸上							
			水中							
		2.5tを超え5.5t以下	陸上							
			水中							
		5.5tを超え11.0t以下	陸上							
			水中							
無筋ブロック	有り	2.5t以下	陸上							
			水中							

積算条件										
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック購入の有無(P)	消波根固めブロック規格(P)	据付箇所(P)	仮置きヤードでの横取り作業の有無(P)	積込作業の有無(P)	荷卸作業の有無(P)	据付現場ヤードでの横取り作業の有無(P)	据付方法(S)	連結金具設置の有無(P)	ブロック10個当り連結金具設置数量(S)
無筋ブロック	有り	2.5tを超え5.5t以下	陸上	表３．２参照						
			水中							
		5.5tを超え11.0t以下	陸上							
			水中							
	無し	2.5t以下	陸上							
			水中							
		2.5tを超え5.5t以下	陸上							
			水中							
		5.5tを超え11.0t以下	陸上							
			水中							

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	区分
仮置きヤードでの横取り作業の有無(P)	有り（1回）
	無し
積込作業の有無(P)	有り（1回）
	無し
荷卸作業の有無(P)	有り（1回）
	無し
据付現場ヤードでの横取り作業の有無(P)	有り（1回）
	無し
据付方法(S)	乱積み
	層積み
連結金具設置の有無(P)	有り
	無し
ブロック10個当り連結金具設置数量(S)	各種

※仮置きヤードでの横取り作業の有無、積込作業の有無、荷卸作業の有無及び据付現場ヤードでの横取り作業の有無については、消波根固めブロック購入の有無で「無し」を選択した場合のみ選択する。

（注）1. 据付箇所
　　水中：据付作業の内、玉外し作業を水中で行う場合に適用する。
2. 横取り作業の有無
　　有り：クレーンによる50m未満の範囲とする。
3. 積算条件：各種の場合
　　ブロック10個当り連結金具設置数量：各種（実数入力（個／10個））

４．その他

（１）消波根固めブロック運搬については、（Ⅲ-直接-6-44）による。

（２）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（３）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（４）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、流路
工　　種：根固め工、護床工、護岸基礎工、護岸工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：根固めブロック工、海岸コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
消波根固めブロック運搬

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における消波根固めブロック運搬に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）河川、砂防工事に使用する11t以下（実質量）の消波根固めブロックを運搬する場合
（２）運搬距離が50m以上の場合

２．費用内訳
・消波根固めブロックの仮置時又は据付時の運搬、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
消波根固めブロック運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
消波根固めブロック規格(P)	作業区分(P)	トラック1台当りブロック積載個数(S)	トラック1台当り運搬距離(P)
2.5t以下	積込・荷卸	各種	表３．２参照
	積込・据付(乱積)	各種	
	積込・据付(層積)	各種	
2.5tを超え5.5t以下	積込・荷卸	各種	
	積込・据付(乱積)	各種	
	積込・据付(層積)	各種	
5.5tを超え11.0t以下	積込・荷卸	各種	
	積込・据付(乱積)	各種	
	積込・据付(層積)	各種	

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
トラック1台当り運搬距離(P)	0.5km以下
	1.0km以下
	1.5km以下
	2.0km以下
	2.5km以下
	3.0km以下

積算条件	区分
トラック1台当り運搬距離(P)	3.5km以下
	4.0km以下
	4.5km以下
	5.0km以下
	5.5km以下
	6.0km以下
	6.5km以下
	7.0km以下
	7.5km以下
	8.5km以下
	9.5km以下
	10.5km以下
	11.5km以下
	12.5km以下
	14.0km以下
	15.0km以下

（注）1.積算条件：各種の場合
トラック1台当たりブロック積載個数：各種（実数入力（個／台））

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤、流路
工　　種：根固め工、護床工、護岸基礎工、護岸工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：根固めブロック工、海岸コンクリートブロック工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
消波根固めブロック仮置

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における消波根固めブロック仮置に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川、砂防工事に使用する11t以下（実質量）の消波根固めブロックの仮置で、陸上から敷設する場合

２．費用内訳
・消波根固めブロックの仮置時の積込み・荷卸・横取り、ワイヤーロープ、仮置きヤードでの養生等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***消波根固めブロック運搬***は含まない。

３．積算条件
消波根固めブロック仮置ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
消波根固めブロック種類(P)	消波根固めブロック規格(P)	仮置きヤードでの横取り作業の有無(P)
鉄筋ブロック	2.5t以下	有り
		無し
	2.5tを超え5.5t以下	有り
		無し
	5.5tを超え11.0t以下	有り
		無し
無筋ブロック	2.5t以下	有り
		無し
	2.5tを超え5.5t以下	有り
		無し
	5.5tを超え11.0t以下	有り
		無し

（注）1.横取り作業の有無
有り：クレーンによるブロックの移動距離50m未満の範囲とする。
2.横取り作業は1回のみとする。

４．その他

（１）消波根固めブロック運搬については、（Ⅲ-直接-6-44）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管
工　　種：根固め工、護床工
種　　別：根固めブロック工、沈床工、間詰工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
袋詰玉石

積算単位：袋(袋数)
契約単位：袋(袋数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工等における袋詰玉石に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）袋材(袋規格2t用及び3t用)に詰石したものを現地で製作し、根固め・床固めとして据付ける場合
（２）中詰材料が50㎜～300㎜程度の玉石、割栗石、コンクリート殻の場合
（３）積み方法は、乱積み及び多段積みの場合

２．費用内訳
・袋詰玉石の製作枠設置・袋固定、中詰材投入、横移動・仮置き、据付けの他、製作枠、連結ロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・濁水予防のための洗いは含まない。
・***石材料***は含まない。

３．積算条件
袋詰玉石ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
袋材規格(P)
2t用
3t用

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、砂防えん堤、流路
工　　種：護床工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：間詰工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
間詰石

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、間詰工における間詰石に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）根固めブロック、捨石等の隙間に詰める間詰石の設置作業の場合

２．費用内訳
・根固めブロック、捨石等の隙間に詰める間詰石の設置の他、つき固め機械等の損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***採取小割***は含まない。

３．積算条件
間詰石ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
栗石の厚さ(P)	栗石の種類(P)	作業区分(P)	敷並べ間隙充填材料の有無(P)	敷並べ間隙充填材料(S)
各種	栗石（50～150mm）	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40
				砕石（各種）
				栗石（各種）
			無し	―
	割栗石（50～150mm）	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40
				砕石（各種）
				栗石（各種）
			無し	―
	割栗石（150～200mm）	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40

積算条件				
栗石の厚さ(P)	栗石の種類(P)	作業区分(P)	敷並べ間隙充填材料の有無(P)	敷並べ間隙充填材料(S)
各種	割栗石 (150～200mm)	敷並べ	有り	C-30
				C-20
				RC-40
				砕石（各種）
				栗石（各種）
			無し	―
	各種	敷均し	―	―
		敷並べ	有り	C-40
				C-30
				C-20
				RC-40
				砕石（各種）
				栗石（各種）
			無し	―

（注）積算条件：各種の場合
栗石の厚さ：各種（実数入力（m））
栗石の種類：各種（文字入力）
敷並べ間隙充填材料：砕石・栗石（各種）（文字入力）

４．その他

（１）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、砂防えん堤、流路
工　　種：護床工、護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：間詰工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
採取小割

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、間詰工における採取小割に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）根固めブロック、捨石等の隙間に詰める間詰石の採取小割作業の場合

２．費用内訳
・根固めブロック、捨石等の隙間に詰める間詰石の採取、小割等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***間詰石***は含まない。

３．積算条件
採取小割（間詰石）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
採取小割区分(P)	岩分類(S)
採取	軟岩
	硬岩
小割	軟岩
	硬岩
採取＋小割	軟岩
	硬岩

４．その他
（１）間詰石については、（Ⅲ-直接-6-47）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、砂防えん堤
工　　種：根固め工、水制工、護床工、護床工・根固め工
種　　別：沈床工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
粗朶沈床

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、水制工における粗朶沈床に適用する。

２．費用内訳
・粗朶沈床(格子枠に粗朶を用いた沈床)の組立、沈設、沈石投入、間詰石投入、現場内小運搬の他、粗朶、柵粗朶、杭木、二子縄、鉄線等の材料費、吊込金具、玉掛ワイヤー、オレンジピールバケット等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。
・***建設機械運搬費、建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（３）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（４）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（５）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、砂防えん堤
工　　種：根固め工、水制工、護床工、護床工・根固め工
種　　別：沈床工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
木工沈床

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、水制工における木工沈床（方格材の種類(杉又は松丸太)にかかわらない）に適用する。

２．費用内訳
・木工沈床(格子枠に方格材を用いた沈床)の設置、詰石投入等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、樋門・樋管、砂防えん堤
工　　種：根固め工、水制工、護床工、護床工・根固め工
種　　別：沈床工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
改良沈床

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、水制工における改良沈床（敷成木材の種類(杉又は松丸太)にかかわらない）に適用する。

２．費用内訳
・改良沈床(格子枠にコンクリート方格材、コンクリートブロックを用いた沈床)の設置、詰石投入等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料については、（Ⅲ-直接-6-37）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、砂防えん堤
工　　種：護床工、護床工・根固め工
種　　別：沈床工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
粗朶単床

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、沈床工における粗朶単床に適用する。

２．費用内訳
・粗朶単床(格子枠に粗朶を用いた沈床)の組立、設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、砂防えん堤
工　　種：護床工、護床工・根固め工
種　　別：沈床工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
粗朶柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、沈床工における粗朶柵に適用する。

２．費用内訳
・粗朶柵(柵粗朶、止杭、木杭等)の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：根固め工、水制工
種　　別：捨石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
捨石

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、根固め工等における捨石工に適用する。

２．費用内訳
・捨石の投入、表面均しの他、ワイヤモッコ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***石材料(捨石)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）石材料(捨石)については、（Ⅲ-直接-6-39）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、流路
工　　種：護床工、護岸基礎工、根固め・水制工
種　　別：捨石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
捨石

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、河川及び海岸工事における護岸の根固めを目的とした捨石に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）　捨石質量1,000kg以下／個の陸上からの施工を行う場合

２．費用内訳
・捨石の投入の他、ワイヤモッコ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・床掘基礎・床揃えは含まない。
・***石材料(捨石)***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)***は含まない。
・***表面均し***は含まない。

３．積算条件
捨石ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
最大作業半径(P)
9m以下
9mを超え24m以下

４．その他
（１）石材料(捨石)については、（Ⅲ-直接-6-39）による。
（２）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（３）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（４）表面均しについては、（Ⅲ-直接-6-56）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、流路
工　　種：護床工、護岸基礎工、根固め・水制工
種　　別：捨石工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表面均し

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、河川及び海岸工事における根固め等のために投入した捨石の表面均しに適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）施工期間中の平均水位以上の陸上を均す場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）潜水士等を用いて水中部の表面を均す場合

２．費用内訳
・根固め等のために投入した捨石の表面均し、人力による間詰、中詰石の現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　表面均しユニットの積算条件区分はない。

４．その他
　（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：水制工
種　　別：元付工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
元付

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、水制工における元付に適用する。

２．費用内訳
・護岸の基礎と根固めの高低差を解消するためにすりつけるコンクリートの打設、型枠、養生の他、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「1．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：護床工・根固め工、根固め・水制工
種　　別：元付工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
元付

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、砂防工事における元付に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事における基礎と根固めの高低差を解消するためにすりつけるコンクリート打設、横取り、型枠(鋼製型枠含む)、養生(散水・練炭)、打設面清掃、チッピング、岩盤清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、空気圧縮機、さく岩機、高圧洗浄機、工事用水中ポンプ、コンクリートバケット、シュート、ホッパ、バイブレータ、計量車の損料、さく岩機、高圧洗浄機、水中ポンプ運転経費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：水制工
種　　別：杭出し水制工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
杭出し水制

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、水制工における杭出し水制に適用する。

２．費用内訳
・杭出し水制(流速緩和、堤脚部の浸食防止等のために行う杭材を用いた透過性水制)設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：光ケーブル配管工
種　　別：配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
配管設置（埋設部）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、光ケーブル配管工における配管設置(埋設部)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）設置条数2～4条までの管径φ50～80㎜のFEP管類の埋設部における配管設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）露出部の配管
（２）河川維持における光ケーブル用以外の配管

２．費用内訳
・河川堤防に布設する光ケーブル配管における埋設部の配管設置、配管付属品・配管継手材等の取付け、通線確認、管内清掃の他、配管継手材料、敷砂・保護砂設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装版破砕積込、***殻運搬***、***殻処分***は含まない。
・***土材料***は含まない。
・***ハンドホール***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）対象延長(設計数量)は配管設置場所の掘削延長(継手含む)とし、配管の条数に関係なく算出する。ただし、ハンドホール幅を除く。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（４）ハンドホールについては、（Ⅲ-直接-6-63）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：光ケーブル配管工
種　　別：配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
配管設置（埋設部）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、光ケーブル配管工における配管設置（埋設部）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）設置条数2～4条までの管径φ50～80㎜のFEP管類の埋設部における配管設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）露出部の配管
（２）河川維持における光ケーブル用以外の配管

２．費用内訳
・河川堤防に布設する光ケーブル配管における埋設部の配管設置、配管付属品・配管継手材等の取付け、通線確認、管内清掃の他、配管継手材料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装版破砕積込、***殻運搬、殻処分***は含まない。
・***掘削、埋戻し、ハンドホール***は含まない。

３．積算条件
配管設置（埋設部）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
配管材の材質(P)	配管材の径(P)	多孔保護管の有無(P)	設置条数(P)	多孔保護管必要量(S)
各種	各種	無し	2条	―
			3条	―
			4条	―
		有り	2条	100組
				200組
				各種
			3条	100組
				200組
				各種
			4条	100組
				200組
				各種

（注）1. 対象延長(設計数量)は配管設置場所の掘削延長(継手含む)とし、配管の条数に関係なく算出する。ただし、ハンドホール幅を除く。
2. 積算条件：多孔保護管必要量「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
多孔保護管必要量：各種（実数入力（㎜））
積算条件：配管材の材質及び配管材の径「各種」の選択の場合、以下の項目を入力する。
配管材の材質：各種（文字入力）
配管材の径：各種（実数入力（組））

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）掘削については、（Ⅲ-直接-1-3）による。
（４）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（５）ハンドホールについては、（Ⅲ-直接-6-64）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸、河川維持
工　　種：光ケーブル配管工
種　　別：配管工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
配管設置（露出部）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、光ケーブル配管工における配管設置(露出部)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）設置条数（2～4）の厚鋼電線管類（φ50程度、φ70程度、φ80程度）の露出部における設置

２．費用内訳
・河川堤防に布設する光ケーブル配管における露出部の管支持金具設置、配管設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：築堤・護岸
工　　種：光ケーブル配管工
種　　別：ハンドホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ハンドホール

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、光ケーブル配管工におけるハンドホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）プレキャストハンドホールの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去のみの場合
（２）現場打ちハンドホールの場合

２．費用内訳
・河川堤防に布設する光ケーブル配管におけるプレキャストハンドホール及び蓋の設置、ベルマウス、敷砂・保護砂設置、作業土工(床掘り・埋戻し)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装版破砕積込、***殻運搬***、***殻処分***は含まない。
・***土材料***は含まない。
・***配管設置(埋設部)***は含まない。
・***土砂等運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。
（４）配管設置(埋設部)については、（Ⅲ-直接-6-60）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合は、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：光ケーブル配管工
種　　別：ハンドホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ハンドホール

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防に付設するハンドホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ハンドホール規格が、高さ1500㎜以下、質量2500㎏以下の場合

２．費用内訳
・河川堤防に布設する光ケーブル配管におけるプレキャストハンドホール及び蓋の設置、ベルマウス等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装版破砕積込、***殻運搬***、***殻処分***は含まない。
・***掘削***は含まない。
・***配管設置(埋設部)***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***は含まない。

３．積算条件
ハンドホールユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）掘削については、（Ⅲ-直接-1-3）による。
（４）配管設置(埋設部)については、（Ⅲ-直接-6-61）による。
（５）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ヒューム管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工及び水路工におけるヒューム管に適用する。

２．費用内訳
・ヒューム管及び巻きコンクリートの設置、基礎砕石、鉄筋、型枠、養生、現場内小運搬の他、養生材、型枠材、組立支持材、はく離剤等の材料費、雑機械器具(シュート、ホッパ、バイブレータ、電気ドリル、電気ノコギリ、レバーブロック等)の損料、目地モルタル、カッタブレード損耗費、型枠持上(下)げ機械、締固め機械、コンクリートカッタ運転経費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***均しコンクリート***、均しコンクリート用***型枠***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（８）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（９）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
(10)「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ＰＣ管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工及び水路工におけるPC管の設置に適用する。

２．費用内訳
・PC管の設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***は含まない。
・***均しコンクリート、***均しコンクリート用***型枠***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（６）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（７）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（８）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（９）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
(10)「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ダクタイル鋳鉄管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工、水路工におけるダグタイル鋳鉄管に適用する。

２．費用内訳
・ダクタイル鋳鉄管の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ＰＣ函渠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工、水路工におけるPC函渠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）軟弱地盤上の河川堤防内に設置するPCプレキャスト構造の樋門・樋管(1,800□～2,100□×1,700～2,000L)の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）特殊な構造の樋管や函体の沈下を許容することが困難な樋管等の場合

２．費用内訳
・樋門・樋管工事におけるPC函渠設置、PCケーブル組立、加工、PCケーブル挿入、グラウト材料、目地板、据付調整用塩ビ材、型枠材、ゴム目地用コーキング材、グラウトポンプ及びグラウトミキサの損料、電力に関する経費、ビニールホース、流出防止用パッキン等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***型枠、鉄筋、基礎砕石(基礎材)、均しコンクリート***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（２）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（３）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。
（４）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（５）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（６）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（７）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（８）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（９）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
(10) 残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
(11) 建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
(12) 重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
(13) 重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
(14) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
可とう継手

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、樋門・樋管本体工及び水路工における可とう継手に適用する。

２．費用内訳
・函渠等における可とう継手の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***目地板***は含まない。
・***函渠接続***は含まない。

３．積算条件
可とう継手ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
可とう継手規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
可とう継手規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）目地板については、（Ⅲ-直接-3-30）による。
（２）函渠接続については、（Ⅲ-直接-6-71）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

取替式止水板

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工、水路工における取替式止水板に適用する。

２．費用内訳
・取替可能型の止水板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：**樋門・樋管**
工　　種：**樋門・樋管本体工、水路工**
種　　別：**函渠工、樋門接続暗渠工**
ユニットコード：**参考資料「索引」参照**

ユニット区分：
函渠接続

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工、水路工における函渠接続に適用する。

２．費用内訳
・樋門・樋管本体等の既設コンクリート部への打継作業で、削孔、チッピング、アンカーボルト設置、コンクリート接着の他、ビッド、ロッド、ハンマドリル損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：樋門・樋管本体工
種　　別：翼壁工、水叩工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
スリップバー

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、樋門･樋管本体工におけるスリップバーに適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物におけるジョイント部分のスリップバーの設置、さや管、充填材等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
スリップバーユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工
種　　別：銘板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
銘板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、銘板に適用する。

２．費用内訳
・各種構造物の銘板の購入、設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
銘板ユニットの積算条件は次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
材質(P)	寸法(P)
各種	各種

（注）積算条件：各種の場合
材質：各種（文字入力）
寸法：各種（実数入力（㎜））

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、砂防えん堤
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工
種　　別：銘板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表示板

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、各種の構造物の記事等を記載した表示板に適用する。

２．費用内訳
・各種構造物の記事等を記載した表示パネル等の購入、設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
表示板ユニットの積算条件は次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
表示板規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
表示板規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、砂防えん堤、斜面対策
工　　種：付属物設置工、砂防えん堤付属物設置工、斜面対策付属物設置工
種　　別：点検施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ステップ

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、各種の構造物の管理用に用いるステップに適用する。

２．費用内訳
・各種構造物の管理用に用いるステップの購入、設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
ステップユニットの積算条件は次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
ステップ規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
ステップ規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、堤防・護岸、流路
工　　種：付属物設置工、流路付属物設置工
種　　別：階段工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト階段

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、階段工におけるプレキャスト階段に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト階段ブロックの設置、遮水シート(基礎、隔壁、小口止等含む)、吸出し防止材、裏込材、胴込・裏込コンクリート、目地材、足場、現場内小運搬の他、つき固め機械等に要する費用、足場仮設材、コンクリートバケット、バイブレータ、型枠、止水シート(基礎、隔壁、小口止の端部継手)及び接着剤の費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・保温養生等の特別な養生に必要な費用は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：付属物設置工
種　　別：観測施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
量水標

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、付属物設置工における量水標に適用する。

２．費用内訳
・観測施設として設ける量水標の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：付属物設置工
種　　別：観測施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
水位計

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、付属物設置工における水位計に適用する。

２．費用内訳
・観測施設として設ける水位計の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：付属物設置工
種　　別：観測施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
流量計

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、付属物設置工における流量計に適用する。

２．費用内訳
・観測施設として設ける流量計の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管
工　　種：付属物設置工
種　　別：グラウトホールエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グラウトホール

積算単位：組(組数)
契約単位：組(組数)

１．適用範囲
本資料は、付属物設置工におけるグラウトホールに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）樋門・樋管のグラウトホール

２．費用内訳
・樋門・樋管におけるグラウトホール設置、沈下板設置の他、グラウトホール、沈下板等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
グラウトホールユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
径(P)	長さ(P)
各種	各種

（注）1.積算条件：各種の場合
径：各種（実数入力（㎜））
長さ：各種（実数入力（㎜））

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０７砂防編

工事区分：砂防えん堤
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工
種　　別：作業土工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
岩盤清掃

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、砂防えん堤における岩盤清掃に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事における岩盤清掃とチッピングの他、空気圧縮機損料、高圧洗浄機、工事用水中ポンプ、さく岩機の運転経費及び損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、コンクリート側壁工、間詰工、水叩工、鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
砂防ソイルセメント

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、砂防ソイルセメントに適用する。

２．費用内訳
・砂防工(本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の基礎及び中詰めにおける施工位置周辺ヤードでの現地発生土とセメントの撹拌混合、運搬、敷均し、締固めの他、スケルトンバケットの損料、タンパ及びランマの運転経費、養生材料、打継面処理、用水及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・撹拌混合枡の設置・撤去は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、床固め工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、床固め本体工、垂直壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
堤冠コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、床固め本体工、垂直壁工における堤冠コンクリートに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）平均打設高30m以下のコンクリート打設の場合
（２）容量1m3のコンクリートバケットを使用する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）現場コンクリートプラントを使用する場合
（２）ケーブルクレーン打設の場合
（３）ジェットヒーター養生の場合

２．費用内訳
・砂防工事における堤冠コンクリートのコンクリート打設、養生の他、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場板、単管、自在クランプの費用、雑機械器具(コンクリートバケット、バイブレータ、水中ポンプ、高圧洗浄機)の損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***コンクリート、型枠、足場(砂防)、止水板(砂防)***は含まない。

３．積算条件
堤冠コンクリートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
コンクリート混合物(P)	コンクリート規格(P)	養生工の種類(S)
鉄材3(m3/ブロック)未満	各種	一般養生
		特殊養生(練炭)
グラノリシック20(m3/ブロック)未満	各種	一般養生
		特殊養生(練炭)
富配合30(m3/ブロック)未満	各種	一般養生
		特殊養生(練炭)

（注）積算条件：各種の場合
コンクリート規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-20）による。

（２）型枠については、（Ⅲ-直接-3-26）による。

（３）足場(砂防)については、（Ⅲ-直接-16-4）による。

（４）止水板(砂防)については、（Ⅲ-直接-7-24）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、床固め工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、コンクリート側壁工、
　　鋼製えん堤本体工、垂直壁工、側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
水抜暗渠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、砂防えん堤等で用いる水抜暗渠に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事等における水抜ヒューム管設置の他、目地モルタル、スペーサの費用、カッタブレード、レバーブロック損料、コンクリートカッタ運転経費、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床掘り(砂防)、埋戻し(砂防)、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）30m程度の現場内小運搬を含む。

４．その他
（１）床掘り(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-30）による。
（２）埋戻し(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-32）による。
（３）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（４）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（５）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：鋼製えん堤工
種　　別：鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼製枠

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、鋼製えん堤工における鋼製枠に適用する。

２．費用内訳
・鋼製えん堤の本体・側壁部に用いる鋼製枠の鋼材、設置(ケーブルクレーンによる運搬を含む)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：鋼製えん堤工
種　　別：鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼製枠（格子・スリット）

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、鋼製えん堤工における鋼製枠（格子・スリット）に適用する。

２．費用内訳
・鋼製砂防工の透過型のうち、格子形鋼製砂防えん堤、鋼製スリットえん堤B型を施工する場合における鋼製枠の組立・据付、本締め、アンカー、現場塗装の他、組立工具、足場(安全ネット含む)、削孔機、グラウトミキサ損料、ドリフトピン、仮締めボルト、刷毛、ハンドミキサの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：鋼製えん堤工
種　　別：鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

隔壁コンクリート基礎

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、鋼製えん堤工における隔壁コンクリート基礎（ケーブルクレーン打設を含む）に適用する。

２．費用内訳

・砂防工事における隔壁コンクリート基礎のコンクリート打設、横取り、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、チッピング、岩盤清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、空気圧縮機、さく岩機、高圧洗浄機、工事用水中ポンプ、コンクリートバケット、ホッパ、バイブレータ、計量車の損料、さく岩機、高圧洗浄機、水中ポンプ運転経費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：鋼製えん堤工
種　　別：鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
枠内中詰

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、鋼製えん堤工における枠内中詰に適用する。

２．費用内訳
・鋼製えん堤の本体・側壁部に用いる鋼製枠への石材等の中詰、中詰材の採取地からの積込・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：山腹集水路・排水路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
山腹Ｕ型側溝

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における山腹U型側溝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）プレキャストU型側溝(製品質量450kg/個以下)を設置する場合

２．費用内訳
・山腹水路工におけるU型側溝の基礎材、プレキャスト側溝、フィルター材(砕石)、遮水シート、吸出し防止材、止杭、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、締固め機械、目地モルタルの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・表面コンクリートは含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：山腹集水路・排水路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
山腹コルゲートフリューム

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における山腹コルゲートフリュームに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）コルゲートフリューム(製品質量100kg/個以下)を設置する場合

２．費用内訳
・山腹水路工におけるコルゲートフリュームの設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎材、吸出し防止材、フィルター材設置、遮水シート設置、現場内小運搬の他、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・表面コンクリートは含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：山腹明暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
山腹Ｕ型側溝明暗渠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における山腹U型側溝明暗渠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）プレキャストU型側溝(製品質量450kg/個以下)を設置する場合
（２）暗渠管(製品質量100kg/個以下)を設置する場合

２．費用内訳
・山腹水路工におけるU型側溝の基礎材、プレキャスト側溝・暗渠管、フィルター材(砕石)、遮水シート、吸出し防止材、止杭、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、締固め機械、目地モルタルの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・表面コンクリートは含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：山腹明暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
山腹コルゲートフリューム明暗渠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における山腹コルゲートフリューム明暗渠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）コルゲートフリューム及び暗渠管(製品質量100kg/個以下)を設置する場合

２．費用内訳
・山腹水路工におけるコルゲートフリューム明暗渠の設置、作業土工(床掘り・埋戻し)、基礎材、吸出し防止材、フィルター材、遮水シート、止杭、現場内小運搬の他、締固め機械、目地モルタルの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・表面コンクリートは含まない。
・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：山腹水路工
種　　別：山腹暗渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
山腹暗渠

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、山腹水路工における山腹暗渠に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）暗渠管(製品質量100kg/個以下)を設置する場合

２．費用内訳
・山腹水路工における暗渠管の設置、遮水シート、吸出し防止材、フィルター材(砕石)、作業土工(床掘り・埋戻し)、現場内小運搬の他、締固め機械、目地モルタルの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集排水ボーリング工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボーリング

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、集排水ボーリング工におけるボーリングに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）地表及び集水井内の場合
（２）ロータリーパーカッション式ボーリングマシン(二重管方式)の場合
（３）削孔呼び径90～135㎜、削孔長80m/本以下、削孔角度は水平±10度以内の場合
（４）粘性土・砂質土、レキ質土、岩塊玉石、軟岩の削孔の場合
（５）給水用及び排水用ポンプの台数が1台の場合

２．費用内訳
・地すべり防止として行う集排水ボーリングにおける削孔、同一足場上での移動の他、ファン、水槽等、その施工に要する全ての費用を含む

・***ボーリング洗浄、保孔管、ボーリング仮設機材、足場***は含まない。

３．積算条件
ボーリングユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
施工場所(P)	土質区分(P)	呼び径(P)	削孔長区分(S)
地表	粘性土・砂質土	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
	レキ質土	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下

積算条件			
施工場所(P)	土質区分(P)	呼び径(P)	削孔長区分(S)
地表	レキ質土	φ135㎜	50m/本を超え80m/本以下
	岩塊玉石	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
	軟岩	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
集水井内	粘性土・砂質土	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
	レキ質土	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
	岩塊玉石	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下

積算条件			
施工場所(P)	土質区分(P)	呼び径(P)	削孔長区分(S)
集水井内	岩塊玉石	φ135㎜	50m/本を超え80m/本以下
	軟岩	φ90㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ115㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下
		φ135㎜	50m/本以下
			50m/本を超え80m/本以下

（注）呼び径とは、ドリル外径(㎜)をいう。

４．その他

（１）ボーリング洗浄については、（Ⅲ-直接-7-15）による。

（２）保孔管については、（Ⅲ-直接-7-16）による。

（３）ボーリング仮設機材については、（Ⅲ-直接-7-18）による。

（４）足場については、（Ⅲ-直接-16-11）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集排水ボーリング工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボーリング洗浄

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地下水排除工におけるボーリング洗浄に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔(φ30㎜～φ150㎜、延長130m以下／本)の高圧ポンプによる洗浄工の場合
（２）洗浄工程数が、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までの場合

２．費用内訳
・ボーリング孔の洗浄、足場設置・撤去の他、工事用高圧洗浄機、水中ポンプ賃料、ファン(軸流式)損料、水槽損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
ボーリング洗浄ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集排水ボーリング工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
保孔管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、集排水ボーリング工における保孔管加工・挿入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）地表及び集水井内の場合
（２）ロータリーパーカッション式ボーリングマシン(二重管方式)の場合
（３）削孔呼び径90～135㎜、削孔長80m/本以下、削孔角度は水平±10度以内の場合

２．費用内訳
・地すべり防止として行う集排水ボーリングにおける保孔管加工・挿入の他、工事用水中ポンプ、ファンの運転経費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ボーリング、ボーリング洗浄、ボーリング仮設機材、足場***は含まない。

３．積算条件
保孔管ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
施工場所(P)	保孔管規格(P)	ストレーナ加工の有無(P)
地表	VP40	有り
	VP50	有り
	VP65	有り
	VP75	有り
	各種(VP)	有り
	SGP40A	有り
		無し
	SGP50A	有り
		無し
	SGP65A	有り
		無し
	SGP80A	有り
		無し
	SGP90A	有り
		無し
	各種(SGP)	有り

積算条件		
施工場所(P)	保孔管規格(P)	ストレーナ加工の有無(P)
地表	各種(SGP)	無し
集水井内	VP40	有り
	VP50	有り
	VP65	有り
	VP75	有り
	各種(VP)	有り
	SGP40A	有り
		無し
	SGP50A	有り
		無し
	SGP65A	有り
		無し
	SGP80A	有り
		無し
	SGP90A	有り
		無し
	各種(SGP)	有り
		無し

（注）1.積算条件：各種の場合
保孔管規格：各種（文字入力）
2.保孔管材料は、VP管(JISK6741)を標準とするが、活動中の地すべり地区等で、挿入後剪断、よじれ等により保孔管破損のおそれがある場合はSGP管とする。

４．その他
（１）ボーリングについては、（Ⅲ-直接-7-14）による。
（２）ボーリング洗浄については、（Ⅲ-直接-7-15）による。
（３）ボーリング仮設機材については、（Ⅲ-直接-7-18）による。
（４）足場については、（Ⅲ-直接-16-11）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：井戸中詰工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
井戸中詰

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、地下水排除工における井戸中詰に適用する。

２．費用内訳
・地すべり防止として行う集水井工における井戸の中詰の他、中詰材の仮置場等からの積込・運搬、埋戻し、人力盛土等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
井戸中詰ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集排水ボーリング工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボーリング仮設機材

積算単位：回(回数)
契約単位：式or回(回数)

１．適用範囲
本資料は、集排水ボーリング工におけるボーリング仮設機材に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）地表及び集水井内の場合
（２）ロータリーパーカッション式ボーリングマシン(二重管方式)の場合
（３）削孔呼び径90～135㎜、削孔長80m/本以下、削孔角度は水平±10度以内の場合

２．費用内訳
・地すべり防止として行う集排水ボーリングにおけるボーリングマシン機械の据付・撤去、集水井内の足場設置・撤去、集水井内の足場材賃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・同一足場上での移動は含まない。
・***ボーリング、ボーリング洗浄、保孔管、足場***は含まない。

３．積算条件
ボーリング仮設機材の積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
施工場所(P)
地表
集水井内

４．その他
（１）ボーリングについては、（Ⅲ-直接-7-14）による。
（２）ボーリング洗浄については、（Ⅲ-直接-7-15）による。
（３）保孔管については、（Ⅲ-直接-7-16）による。
（４）足場については、（Ⅲ-直接-16-11）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集水井工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘削土留(集水井掘削)

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、集水井工における掘削土留(集水井掘削)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）ライナープレートの公称径が3.5m、かつ掘削深40m以下の場合
（２）人力併用クラムシェル掘削・排土、人力併用小型バックホウ掘削・クレーン排土、人力併用小型バックホウ掘削・簡易やぐら排土の場合
（３）掘削土を集水井の井戸脇に仮置きする場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）岩掘削で火薬類等を使用する場合
（２）プレキャスト土留工法による場合

２．費用内訳
・集水井(ライナープレート土留工法)における掘削、排土(集水井の井戸脇に仮置き)の他、土留材(ライナープレート、補強リング、補強材)、ファン(軸流式)、水中ポンプ、ピックハンマ、コンクリートブレーカ、排土バケット、工事用昇降梯子、安全ネット、空気圧縮機の機械損料・運転経費及び電力に要する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・昇降用設備設置は含まない。
・掘削作業設備組立・解体は含まない。
・***掘削土運搬、掘削土処分***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。
・***井戸蓋***は含まない。

３．積算条件
掘削土留(集水井掘削)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
現場制約の有無(P)	掘削深さ(P)	砂・砂質土、粘性土、レキ質土の掘削延長(P)	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩の掘削延長(P)	土留材料の有無(S)
無し	20m未満	各種	各種	有り
				無し
	20m以上40m以下	各種	各種	有り
				無し
有り	―	各種	各種	有り

積算条件				
現場制約の有無(P)	掘削深さ(P)	砂・砂質土、粘性土、レキ質土の掘削延長(P)	岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩の掘削延長(P)	土留材料の有無(S)
有り	―	各種	各種	無し

（注）1.積算条件：各種の場合
砂･砂質土，粘性土､レキ質土の掘削長：各種（実数入力（m））
岩塊・玉石混じり土、軟岩，中硬岩の掘削長：各種（実数入力（m））
2.現場制約の有無
無し：クラムシェルまたはクレーンが搬入可能
有り：クラムシェルまたはクレーンが搬入困難

４．その他
（１）掘削土運搬については、（Ⅲ-直接-4-14）による。
（２）掘削土処分については、（Ⅲ-直接-4-15）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（６）井戸蓋については、（Ⅲ-直接-7-23）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集水井工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト井筒

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地下水排除工におけるプレキャスト井筒に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト製品による集水井筒の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集水井工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
固定基礎コンクリート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、地下水排除工における固定基礎コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・斜面対策工事における集水井の基礎コンクリートの打設、基礎材、コンクリート、型枠、鉄筋等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集水井工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
底張コンクリート

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、地下水排除工における底張コンクリートに適用する。

２．費用内訳
・斜面対策工事における集水井の底張コンクリートの打設、養生の他、バイブレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・保温養生等の特別な養生に必要な費用は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集水井工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
井戸蓋

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は，ライナープレート土留工法による集水井の井戸蓋に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）コンクリート製蓋、鉄製蓋の場合
（２）ライナープレート土留工法の場合
（３）ライナープレートの公称径(ボルト穴間の径)3.5mの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）プレキャスト土留工法の場合

２．費用内訳
・地すべり防止として行う集水井上における井戸蓋設置の他、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
井戸蓋ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
蓋型式(P)
コンクリート
鋼板
鉄網

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、流路護岸工、床固め工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、水叩工、コンクリート擁壁工、床固め本体工、垂直壁工、側壁工、魚道工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

止水板（砂防）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲

本資料は、砂防工（本えん堤、副えん堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）における止水板（砂防）に適用する。

２．費用内訳

・砂防工事における止水板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***コンクリート、堤冠コンクリート、足場、足場(砂防)***は含まない。

３．積算条件

止水板（砂防）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
止水板規格(P)
CF 300×7
CC 300×7
UC 200×6
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　止水板規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（２）堤冠コンクリートについては、（Ⅲ-直接-7-3）による。
（３）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（４）足場(砂防)については、（Ⅲ-直接-16-4）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工
種　　別：コンクリート側壁工、鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
均しコンクリート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、砂防工事における均しコンクリート（ケーブルクレーン打設を含む）に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事における均しコンクリートのコンクリート打設、横取り、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、チッピング、岩盤清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、空気圧縮機、コンクリートバケット、バイブレータ、計量車の損料、さく岩機、高圧洗浄機、水中ポンプ運転経費及び損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：流路
工　　種：流路護岸工、床固め工
種　　別：コンクリート擁壁工、側壁工、水叩工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
均しコンクリート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、流路工事における均しコンクリートに適用する。

２．費用内訳
・流路工事における均しコンクリートのコンクリート打設、横取り、型枠、養生(散水・練炭)、打設面清掃、岩盤清掃、現地でのミキサ及びコンクリートプラント(簡易傾胴型)によるコンクリート生産、運搬(投入)の他、養生マット、シート(耐火性)、練炭、コンロ、足場板、単管、自在クランプ、型枠材、はく離材、雑機械器具(空気圧縮機、コンクリートバケット、シュート、ホッパ、バイブレータ、計量車)の損料、さく岩機、高圧洗浄機、水中ポンプの運転経費及び損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０８工場製作・塗装編

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：鋼製えん堤製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
製作加工

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、鋼製えん堤製作工における各種鋼製部材の製作加工に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事で用いる鋼製えん堤の製作加工作業で、鋼材費、副資材費、製作加工費、間接労務費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：鋼製えん堤仮設材製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
製作加工

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、鋼製えん堤仮設材製作工における各種鋼製部材の製作加工に適用する。

２．費用内訳
・砂防工事で用いる鋼製えん堤の仮設材製作加工作業で、鋼材費、副資材費、製作加工費、間接労務費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：工場製作工
種　　別：床版補強材製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
製作加工

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、床版補強における床版補強材の製作加工に適用する。

２．費用内訳
・RC床版の補強に鋼板接着工法や増桁架設工法を行う場合の工場製作における鋼製部材の製作加工作業で、鋼材費、副資材費、運搬費、製作加工費、間接労務費、現場取卸費用等、その製作に要する全ての費用を含む。

・***ボルト・ナット***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ボルト・ナットについては、（Ⅲ-直接-8-8）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：工場製作工
種　　別：桁補強材製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
製作加工

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、桁補強における桁補強材の製作加工に適用する。

２．費用内訳
・鋼橋の桁補強を行う場合の工場製作における鋼製部材の製作加工作業で、鋼材費、副資材費、運搬費、製作加工費、間接労務費、現場取卸費用等、その製作に要する全ての費用を含む。

・***ボルト・ナット***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ボルト・ナットについては、（Ⅲ-直接-8-8）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：工場製作工
種　　別：落橋防止装置製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
製作加工

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、桁連結における桁連結装置の製作加工に適用する。

２．費用内訳
・桁連結装置の工場製作作業で、鋼材費、副資材費、運搬費、製作加工費、間接労務費、現場取卸費用等、その製作に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：工場製作工
種　　別：ＲＣ橋脚巻立て鋼板製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
製作加工

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
　本資料は、RC橋脚の補強に鋼板巻立てを行う場合の、工場製作工における鋼製部材の製作・加工に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）離島の場合

２．費用内訳
・RC橋脚の補強に鋼板巻立てを行う場合の鋼製部材の製作加工作業で、鋼材費、副資材費、運搬費、製作加工費、間接労務費、現場取卸費用等、その製作に要する全ての費用を含む。

・取付アンカーボルト、取付ボルトは含まない。
・現場での組立、溶接作業は含まない。
・***スタッドジベル***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
　（１）スタッドジベルについては、（Ⅲ-直接-8-9）による。
　（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：鋼製えん堤製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボルト・ナット

積算単位：組(組数)
契約単位：組(組数)

１．適用範囲
本資料は、鋼製えん堤製作工におけるボルト・ナットに適用する。

２．費用内訳
・砂防工事で用いる鋼製えん堤の製作に用いるボルト・ナット(ワッシャ含む)の購入に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：工場製作工
種　　別：床版補強材製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボルト・ナット

積算単位：組(組数)
契約単位：組(組数)

１．適用範囲
　本資料は、橋梁等で用いるボルト・ナット（ワッシャ含む）における工場製作に適用する。

２．費用内訳
・橋梁等で用いるボルト・ナット(ワッシャ含む)の購入に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：工場製作工
種　　別：ＲＣ橋脚巻立て鋼板製作工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
スタッドジベル

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、工場製作工におけるスタッドジベルに適用する。

２．費用内訳
・RC橋脚の補強で用いるスタッドジベルの購入に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：橋梁塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

素地調整

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、現場塗装工における素地調整に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）鋼橋の現場での塗替塗装の場合

（２）高欄部の単独施工の塗替塗装の場合

（３）1 種ケレンはブラスト法（ブラスト処理 ISO　Sa2　1/2（ガーネット））により行う作業の場合

（４）2 種ケレン、3 種ケレン、4 種ケレンは動力工具と種工具の併用（動力工具処理 ISO　St3）により行う作業の場合

２．費用内訳

・橋梁塗装における塗替塗装を行う際の素地調整(ケレン)、動力工具及び手工具によるケレンかすの処分等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ブラスト処理によるケレンかす及び研掃材の処分に要する費用は含まない。
・ケレン粉塵飛散防止のための防護及び安全に要する費用は含まない。
・足場は含まない。
・***清掃・水洗い（素地調整）***は含まない。

３．積算条件

素地調整ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す)

積算条件		
構造物区分(S)	施工数量(S)	素地調整区分(P)
一般的な構造	1000m2 以上	1 種ケレン
		2 種ケレン
		3 種ケレン A
		3 種ケレン B
		3 種ケレン C
		4 種ケレン

積算条件		
構造物区分(S)	施工数量(S)	素地調整区分(P)
一般的な構造	1000m2 未満	1 種ケレン
		2 種ケレン
		3 種ケレン A
		3 種ケレン B
		3 種ケレン C
		4 種ケレン
箱桁構造の密閉部	1000m2 以上	1 種ケレン
		2 種ケレン
		3 種ケレン A
		3 種ケレン B
		3 種ケレン C
		4 種ケレン
	1000m2 未満	1 種ケレン
		2 種ケレン
		3 種ケレン A
		3 種ケレン B
		3 種ケレン C
		4 種ケレン
横断歩道橋・側道橋	―	1 種ケレン
		2 種ケレン
		3 種ケレン A
		3 種ケレン B
		3 種ケレン C
		4 種ケレン
高欄部単独施工	―	1 種ケレン
		2 種ケレン
		3 種ケレン A
		3 種ケレン B
		3 種ケレン C
		4 種ケレン

（注）1.面積は塗装面積とする。
2.施工数量は、1 工事における塗装対象面積（一層）とする。
3.適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。
鋼桁構造・・・プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。
箱桁構造・・・単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。
弦材を有する構造・・・トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。
横断歩道橋・・・各種横断歩道橋。
側道橋・・・各種側道橋。

4.3 種ケレンについては、補修塗装作業を含むものとする。なお、2 種及び 4 種ケレンについては、補修塗装作業を含まないものとする。

5.素地調整（ケレン）工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。

1)さびが発生している場合

素地調整区分	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容
1種	－	－	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。
3種A	点錆がかなり点在している。	15～30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび･われ･ふくれ)は除去する。
3種B	点錆が少し点在している。	5～15	同上
3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上

2)さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合。

素地調整区分	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容
3種A	発錆はないが、われ･ふくれ･はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。
3種B	同上	15～30	同上
3種C	同上	5～15	同上
4種	同上	5以下	同上
	白亜化･変退色の著しい場合。		粉化物･汚れ等を除去する。

４．その他

（１）清掃・水洗い（素地調整）については、(Ⅲ-直接-13-23）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：道路付属構造物塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
素地調整

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物の現地塗替作業のうち素地調整に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）最大地上高12m以下のポール類（道路標識柱、道路照明柱等）、防護柵類（ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等）、落石防護柵類（防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等）の現地塗替作業における素地調整
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）橋梁（横断歩道橋を含む）の場合
（２）コンクリート構造物の塗替の場合

２．費用内訳
・道路付属構造物(道路標識柱、道路照明柱、防護柵等)の現場塗装を行う際の素地調整(ケレン)、電力に関する経費、ディスクサンダ、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ等、その施工に要する全ての費用を含む。

・素地調整にともなう対象物の撤去・設置は含まない。
・全高2m以上4m未満のポール類への作業に必要な場合の足場は含まない。

３．積算条件
素地調整ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
構造物区分(P)	機械使用区分(S)
全高4m未満のポール類	―
全高4m以上10m未満のポール類	持込
	貸与
全高10m以上12m以下のポール類	持込
	貸与
防護柵類	―
落石防護柵類	―
各種	―

（注）積算条件：構造物区分「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
構造物区分：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：張紙防止塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
素地調整

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、張紙防止塗装を行う場合の素地調整に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）鋼構造物への張紙を防止する塗装作業における素地調整の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）対象がコンクリート構造物である場合

２．費用内訳
・鋼構造物への張紙を防止する現場塗装を行う際の素地調整（ケレン）、ディスクサンダ、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***張紙防止塗装***は含まない。

３．積算条件
素地調整ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）張紙防止塗装については、（Ⅲ-直接-13-24）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：工場塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
前処理

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、工場塗装における前処理に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）動力工具により原板ブラスト・エッチングプライマー作業を行う場合
（２）製品ブラストと動力工具により原板ブラスト・ジンクリッチプライマー作業を行う場合

２．費用内訳
・工場塗装を行う際の前処理(原板ブラスト・プライマー)の他、処理後のプライマー補修等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
前処理ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
原板ブラスト・プライマーの区分(P)	二次素地調整の区分(P)
原板ブラスト・エッチングプライマー	動力工具処理
	二次素地調整無し
原板ブラスト・ジンクリッチプライマー	動力工具処理
	製品ブラスト
	二次素地調整無し
原板ブラストのみ	―

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：コンクリート面塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、道路付属物（コンクリートバリヤ等）のコンクリート面塗装の下塗に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）橋梁の鋼製部材の下塗

２．費用内訳
・道路付属物（コンクリートバリヤ等）のコンクリート面における下塗、塗料等の他、ハケの工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***コンクリート面清掃***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
　（１）コンクリート面清掃については、（Ⅲ-直接-13-22）による。
　（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：工場塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、工場塗装における下塗に適用する。

２．費用内訳
・工場塗装を行う際の下塗の他、工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***前処理***は含まない。

３．積算条件
下塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
塗装種類(P)	塗装回数(P)	構造(S)
無機ジンクリッジペイント	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
エポキシ樹脂塗料	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
変性エポキシ樹脂塗料	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
鉛・クロムフリーさび止めペイント	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
ミストコート(エポキシ樹脂塗料)	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
各種	1回	箱桁構造内面(密閉部)

積算条件		
塗装種類(P)	塗装回数(P)	構造(S)
各種	1回	箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外

（注）積算条件：各種の場合
塗装種類：各種（文字入力）
塗装使用量：各種（実数入力（kg／100m2））

４．その他
（１）前処理については、（Ⅲ-直接-8-13）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：橋梁塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現場塗装工における下塗に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鋼橋の現場での塗替塗装の場合
（２）高欄部の単独施工の塗替塗装の場合

２．費用内訳
・橋梁塗装における塗替塗装を行う際の下塗等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場・防護***の費用は含まない。
・***清掃・水洗い（素地調整）、素地調整***は含まない。

３．積算条件
下塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)
一般的な構造	1000m2以上	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
	500m2以上1000m2未満	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー

積算条件			
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)
一般的な構造	500m2以上1000m2未満	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
	500m2未満	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
箱桁構造の密閉部	1000m2以上	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
	500m2以上1000m2未満	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー

積算条件			
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)
箱桁構造の密閉部	500m2以上1000m2未満	鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
	500m2未満	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
横断歩道橋・側道橋	—	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー
高欄部単独施工	—	有機ジンクリッジペイント	スプレー
			はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(1回塗り)	はけ・ローラー
		弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	スプレー
			はけ・ローラー
		鉛・クロムフリーさび止めペイント(1回塗り)	はけ・ローラー

積算条件			
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)
高欄部単独施工	―	鉛・クロムフリーさび止めペイント(2回塗り)	はけ・ローラー
		無溶剤系変性エポキシ樹脂塗料(2回塗り)	はけ・ローラー

（注）1.施工数量は、1工事における塗装対象面積（一層）とする。
2.適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。
鋼桁構造・・・プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。
箱桁構造・・・単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。
弦材を有する構造・・・トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。
横断歩道橋・・・各種横断歩道橋。
側道橋・・・各種側道橋。
3.スプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策が必要な場合は、別途計上する。

４．その他
（１）足場・防護については、（Ⅲ-直接-16-13）による。
（２）清掃・水洗い(素地調整)については、（Ⅲ-直接-13-23）による。
（３）素地調整については、（Ⅲ-直接-8-10）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：道路付属構造物塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物の現地塗替作業のうち下塗に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）最大地上高12m以下のポール類（道路標識柱、道路照明柱等）、防護柵類（ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等）、落石防護柵類（防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等）の現地塗替作業における下塗
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）橋梁（横断歩道橋を含む）の場合
　（２）コンクリート構造物の塗替の場合

２．費用内訳
・道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物への現場塗替を行う際の下塗の他、希釈剤、ハケ等の損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・対象構造物の撤去・設置は含まない。
・全高2m以上4m未満のポール類への作業に必要な場合の足場は含まない。

３．積算条件
　下塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
塗装種別(P)	構造物区分(P)
鉛系さび止めペイント 淡彩色	全高4m未満のポール類
	全高4m以上10m未満のポール類
	全高10m以上12m以下のポール類
	防護柵類
	落石防護柵類
	各種
フェノール樹脂MIO塗装 淡彩色	全高4m未満のポール類
	全高4m以上10m未満のポール類
	全高10m以上12m以下のポール類
	防護柵類
	落石防護柵類
	各種

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：工場塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、工場塗装における中塗に適用する。

２．費用内訳
・工場塗装を行う際の中塗等の他、工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
中塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
塗装種類(P)	構造(S)
ふっ素樹脂塗料 赤系	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 青・緑系	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 黄・オレンジ系	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 中彩A	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 中彩B	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 淡彩	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 白	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
各種	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外

（注）積算条件：各種の場合
塗装種類：各種（文字入力）
塗装使用量：各種（実数入力（kg／100m2））

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：工場塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、工場塗装における中塗に適用する。

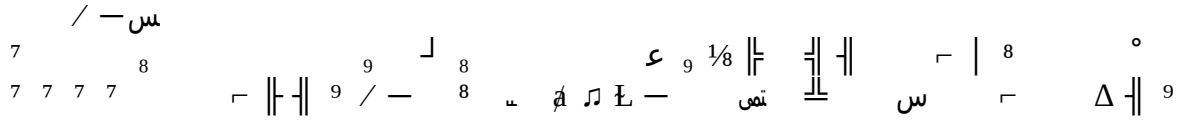
２．費用内訳
・工場塗装を行う際の中塗等の他、工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
中塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
塗装種類(P)	構造(S)
ふっ素樹脂塗料 赤系	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 青・緑系	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 黄・オレンジ系	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 中彩A	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 中彩B	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 淡彩	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
ふっ素樹脂塗料 白	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外
各種	箱桁構造内面（密閉部）
	箱桁構造内面（密閉部）以外

（注）積算条件：各種の場合
塗装種類：各種（文字入力）
塗装使用量：各種（実数入力（kg／100m2））



工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：橋梁塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現場塗装工における中塗に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鋼橋の現場での塗替塗装の場合
（２）高欄部の単独施工の塗替塗装の場合

２．費用内訳
・橋梁塗装における塗替塗装を行う際の中塗等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場・防護***の費用は含まない。

３．積算条件
中塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)	色彩(P)
一般的な構造	1000m2以上	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2以上1000m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩

積算条件				
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)	色彩(P)
一般的な構造	500m2未満	長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
箱桁構造の密閉部	1000m2以上	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2以上1000m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
横断歩道橋・側道橋	—	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
高欄部単独施工	—	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩

（注）1. 施工数量は、1工事における塗装対象面積（一層）とする。
2. 適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。
鋼桁構造・・・プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。
箱桁構造・・・単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。
弦材を有する構造・・・トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。
横断歩道橋・・・各種横断歩道橋。
側道橋・・・各種側道橋。
3. 濃彩とは、青、緑系及びオレンジ系のことであり、赤系、濃彩以外を淡彩とする。
4. スプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策が必要な場合は、別途計上する。

４．その他
（１）足場・防護については、（Ⅲ-直接-16-13）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：道路付属構造物塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
中塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現場塗装工における中塗に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）最大地上高12m以下のポール類（道路標識柱、道路照明柱等）、防護柵類（ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等）、落石防護柵類（防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等）の現地塗替作業における下塗
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）橋梁（横断歩道橋を含む）の場合
（２）コンクリート構造物の塗替の場合

２．費用内訳
・道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物への現場塗替を行う際の中塗の他、希釈剤、ハケ等の損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・対象構造物の撤去・設置は含まない。
・全高2m以上4m未満のポール類への作業に必要な場合の足場は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：コンクリート面塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
上塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート面塗装工における上塗に適用する。

２．費用内訳
・道路付属物のコンクリート面の現場塗装における上塗の他、ハケ等の工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：工場塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
上塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、工場塗装における上塗に適用する。

２．費用内訳
・工場塗装を行う際の上塗の他、工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
上塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
塗装種類(P)	塗装回数(P)	構造(S)
ふっ素樹脂塗料 赤系	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
ふっ素樹脂塗料 青・緑系	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
ふっ素樹脂塗料 黄・オレンジ系	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
ふっ素樹脂塗料 中彩A	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
ふっ素樹脂塗料 中彩B	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
ふっ素樹脂塗料 淡彩	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)

積算条件		
塗装種類(P)	塗装回数(P)	構造(S)
ふっ素樹脂塗料 淡彩	2回	箱桁構造内面(密閉部)以外
ふっ素樹脂塗料 白	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
各種	1回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外
	2回	箱桁構造内面(密閉部)
		箱桁構造内面(密閉部)以外

（注）積算条件：各種の場合
塗装種類：各種（文字入力）
塗装使用量：各種（実数入力（kg／100m2））

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：橋梁塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
上塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現場塗装工における上塗に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鋼橋の現場での塗替塗装の場合
（２）高欄部の単独施工の塗替塗装の場合

２．費用内訳
・橋梁塗装における塗替塗装を行う際の上塗等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場・防護***の費用は含まない。

３．積算条件
上塗ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)	色彩(P)
一般的な構造	1000m2以上	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2以上1000m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩

積算条件				
構造物区分(S)	施工数量(S)	塗料規格(P)	塗装方法(S)	色彩(P)
一般的な構造	500m2未満	長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
箱桁構造の密閉部	1000m2以上	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2以上1000m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
	500m2未満	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
横断歩道橋・側道橋	—	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩
高欄部単独施工	—	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	スプレー	淡彩
				濃彩
			はけ・ローラー	淡彩
				濃彩
		長油フタル酸樹脂塗料	はけ・ローラー	赤系
				淡彩
				濃彩

（注）1. 施工数量は、1工事における塗装対象面積（一層）とする。
2. 適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。
鋼桁構造・・・プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。
箱桁構造・・・単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。
弦材を有する構造・・・トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。
横断歩道橋・・・各種横断歩道橋。
側道橋・・・各種側道橋。
3. 濃彩とは、青、緑系及びオレンジ系のことであり、赤系、濃彩以外を淡彩とする。
4. スプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策が必要な場合は、別途計上する。

４．その他
（１）足場・防護については、（Ⅲ-直接-16-13）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：道路付属構造物塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
上塗

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現場塗装工における上塗に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）最大地上高12m以下のポール類（道路標識柱、道路照明柱等）、防護柵類（ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等）、落石防護柵類（防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等）の現地塗替作業における下塗
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）橋梁（横断歩道橋を含む）の場合
（２）コンクリート構造物の塗替の場合

２．費用内訳
・道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物への現場塗替を行う際の上塗の他、希釈剤、ハケ等の損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・対象構造物の撤去・設置は含まない。
・全高2m以上4m未満のポール類への作業に必要な場合の足場は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：工場製作工
種　　別：工場塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
メッキ

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、工場塗装におけるメッキに適用する。

２．費用内訳
・工場塗装を行う際の溶融亜鉛メッキ等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
メッキユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
メッキ種別(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
メッキ種別：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、道路修繕
工　　種：工場製品輸送工
種　　別：輸送工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
小運搬

積算単位：t(質量)
契約単位：式ort(質量)

１．適用範囲
本資料は、工場製品輸送工における小運搬に適用する。

２．費用内訳
・工場製作品の輸送における仮置きを行う場合の小運搬、積込み、取卸し等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***輸送、重建設機械分解組立費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）輸送については、（Ⅲ-直接-8-27）による。
（２）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、道路修繕
工　　種：工場製品輸送工
種　　別：輸送工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
輸送

積算単位：t(輸送質量)
契約単位：t(輸送質量)

１．適用範囲
　本資料は鋼橋等工場製作品の輸送に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）鋼橋等工場製作品の輸送
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）沖縄地区の場合

２．費用内訳
　・工場製作製品の輸送作業で、運搬に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
　（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）０９橋梁上部編

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：排水施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水管

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工等における排水管に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）鋼管、VP管(φ100㎜～φ200㎜)による各種系統タイプ及び溝部における橋梁排水管の設置

２．費用内訳
・橋梁、シェッド等の排水管(直管、曲管、伸縮管及び取付金具等付属品)の設置作業等、その施工に要する全ての費用を含む。

・排水管製作は含まない。
・***足場、防護***は含まない。
・***アンカーボルト穿孔及び設置(排水管)***は含まない。

３．積算条件
排水管ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
管材規格(P)	管径(P)
VP管	各種
鋼管	各種

（注）積算条件：各種の場合
管径：各種（実数入力（㎜））

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-7）による。
（２）防護については、（Ⅲ-直接-16-20）による。
（３）アンカーボルト穿孔及び設置(排水管)については、（Ⅲ-直接-9-3）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：排水施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水桝

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工等における排水桝に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）排水桝の重量が20kg/個以上～110kg/個以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）鋼床版を同時施工する場合

２．費用内訳
・橋梁、シェッド等の排水桝の設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
排水桝ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
排水桝種類(P)	排水桝規格(P)
各種	各種

（注）積算条件：各種の場合
排水桝種類：各種（文字入力）
排水桝規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：排水施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

アンカーボルト穿孔及び設置(排水管)

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲

本資料は、橋梁付属物工等におけるアンカーボルト穿孔及び設置（排水管）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）橋梁、シェッド等の排水管の設置におけるアンカーボルト穿孔及び設置

２．費用内訳

・橋梁、シェッド等の排水管の設置に必要なアンカーボルト穿孔及び設置の他、ハンマドリル、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場、防護***は含まない。
・***排水管***は含まない。

３．積算条件

アンカーボルト穿孔及び設置(排水管)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
コンクリートアンカーボルト種類(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　コンクリートアンカーボルト：各種（文字入力）

４．その他

（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-7）による。
（２）防護については、（Ⅲ-直接-16-20）による。
（３）排水管については、（Ⅲ-直接-9-1）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：伸縮装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼・ゴム製伸縮装置

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工における鋼・ゴム製伸縮装置に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）橋梁用の鋼製及びゴム製伸縮装置の設置作業で伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が、1.8m当り180kg以下の伸縮装置の新設工事の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）打設コンクリートに超速硬コンクリートを使用する場合
（２）ボルト固定による取替え可能な伸縮装置（シーペックジョイント等）の場合
（３）鋼床版の場合

２．費用内訳
・鋼製及びゴム製伸縮装置の設置(本体材料含む)、ジョイント設置（型枠、コンクリート含む）、仕上げ・養生、カッタ、箱抜部の充填材除去、廃材の積込みの他、打設コンクリート、補強鉄筋、削孔式アンカー、その他作業に必要な資材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・廃材の処分費は含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
鋼・ゴム製伸縮装置ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
伸縮装置規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
伸縮装置規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：伸縮継手工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼・ゴム製伸縮装置

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工における鋼・ゴム製伸縮装置に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）橋梁用の鋼製及びゴム製伸縮装置の設置作業で、伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が、1.8m当り180kg以下の伸縮装置の新設及び補修工事で、以下の工事の場合
（２）未供用部の橋梁及び拡幅部等の伸縮装置を新たに設置する場合
（３）1日で完了する急速施工の既設橋の伸縮装置補修（取替）の場合
（４）上記（２）～（３）に該当する工事で、縦目地を施工する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）旧伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が、1.8m当り180kgを超える補修工事
（２）旧伸縮装置が、先付鋼製フィンガー式及びスライド式伸縮装置の場合
（３）打設コンクリートに樹脂コンクリート、あるいは樹脂モルタルを使用する場合
（４）新設工事で打設コンクリートに超速硬コンクリートを使用する場合
（５）補修において、はつり部に補強鉄筋のある樹脂コンクリートの場合
（６）仮復旧等を伴う場合
（７）ボルト固定による取替え可能な伸縮装置（シーペックジョイント等）の場合
（８）鋼床版の場合

２．費用内訳
(1)新設の場合
・鋼製及びゴム製伸縮装置の設置（本体材料含む）、ジョイント設置(型枠、コンクリート含む)、仕上げ・養生、カッタ、箱抜部の充填材除去、廃材の積込みの他、補強鉄筋、削孔式アンカー等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)補修の場合
・鋼製及びゴム製伸縮装置の取替え（本体材料含む）、旧ジョイント撤去、新ジョイント設置(型枠、コンクリート含む)、仕上げ・養生、カッタ、はつり、廃材の積込みの他、補強鉄筋、削孔式アンカー等、その施工に要する全ての費用を含む。

・廃材の処分は含まない。
・***殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
鋼・ゴム製伸縮装置ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
伸縮装置規格(P)	作業区分(P)	伸縮装置本体型式(P)	仕様(P)
各種	新設	軽量型	―
		普通型	―
	補修	軽量型	1車線相当
			2車線相当
		普通型	1車線相当
			2車線相当

（注）1.伸縮装置本体型式
（１）軽量型：伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が1.8m当り50kg未満
（２）普通型：伸縮装置本体質量（ボルト後締めの場合は、本体に付属するアンカーボルトを除く）が1.8m当り50kg以上180kg以下

2.仕様
（１）1車線相当：1日当りの施工が、1班編成で1車線相当（3.6m標準）
（２）2車線相当：1日当りの施工が、1班編成で2車線相当（7.2m標準）

3.補修工事の場合、1日あたり1班編成で施工出来る車線相当数は、交通規制等の施工条件によるものとする。

4.補修工事において、床版打抜き等の床版に影響のある場合は、床版補修の費用を別途計上する。

5.積算条件：各種の場合
伸縮装置規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：伸縮装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
埋設ジョイント

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁用付属物工における埋設ジョイントに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）伸縮量が50㎜(±25㎜)以下の橋梁を対象とし、主に特殊合材(弾性合材)により桁の伸縮を吸収する構造を持つ埋設型伸縮継手で、未供用部の橋梁及び拡幅部等の埋設型伸縮継手装置を新たに設置する工事の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）特殊合材(弾性合材)を用いない鋼製金物による荷重指示型の橋梁用埋設型伸縮継手装置(埋設型ジョイント)の場合
（２）仮復旧を行う作業の場合
（３）打設コンクリートに樹脂コンクリートあるいは樹脂モルタルを使用する場合
（４）特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合
（５）その他、規格・仕様等が適合しない場合

２．費用内訳
・橋梁用埋設型伸縮継ぎ手装置(埋設型ジョイント)の設置、カッタ、アスファルト除去、付属品の設置、合材混合・加熱、合材打設、仕上げ・養生、廃材の積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・廃材の処分費は含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
埋設ジョイントユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
取付部位(P)	工法区分(S)	伸縮装置断面積(P)
舗装厚内型	後付工法	0.005m2以上0.007m2未満
		0.007m2以上0.009m2未満
		0.009m2以上0.011m2未満
		0.011m2以上0.013m2未満
		0.013m2以上0.015m2未満
		0.015m2以上0.017m2未満
		0.017m2以上0.020m2未満
		0.020m2以上0.023m2未満

積算条件		
取付部位(P)	工法区分(S)	伸縮装置断面積(P)
舗装厚内型	後付工法	0.023m2以上0.026m2未満
		0.026m2以上0.029m2未満
		0.029m2以上0.032m2未満
		0.032m2以上0.035m2未満
		0.035m2以上0.038m2未満
		0.038m2以上0.042m2未満
		0.042m2以上0.046m2未満
		0.046m2以上0.050m2未満
		0.050m2以上0.054m2未満
		0.054m2以上0.058m2未満
		0.058m2以上0.063m2未満
		0.063m2以上0.068m2未満
		各種
床版箱抜型	先付工法	0.005m2以上0.007m2未満
		0.007m2以上0.009m2未満
		0.009m2以上0.011m2未満
		0.011m2以上0.013m2未満
		0.013m2以上0.015m2未満
		0.015m2以上0.017m2未満
		0.017m2以上0.020m2未満
		0.020m2以上0.023m2未満
		0.023m2以上0.026m2未満
		0.026m2以上0.029m2未満
		0.029m2以上0.032m2未満
		0.032m2以上0.035m2未満
		0.035m2以上0.038m2未満
		0.038m2以上0.042m2未満
		0.042m2以上0.046m2未満
		0.046m2以上0.050m2未満
		0.050m2以上0.054m2未満
		0.054m2以上0.058m2未満
		0.058m2以上0.063m2未満
		0.063m2以上0.068m2未満
		各種
	後付工法	0.005m2以上0.007m2未満
		0.007m2以上0.009m2未満
		0.009m2以上0.011m2未満
		0.011m2以上0.013m2未満
		0.013m2以上0.015m2未満
		0.015m2以上0.017m2未満
		0.017m2以上0.020m2未満

積算条件		
取付部位(P)	工法区分(S)	伸縮装置断面積(P)
床版箱抜型	後付工法	0.020m2以上0.023m2未満
		0.023m2以上0.026m2未満
		0.026m2以上0.029m2未満
		0.029m2以上0.032m2未満
		0.032m2以上0.035m2未満
		0.035m2以上0.038m2未満
		0.038m2以上0.042m2未満
		0.042m2以上0.046m2未満
		0.046m2以上0.050m2未満
		0.050m2以上0.054m2未満
		0.054m2以上0.058m2未満
		0.058m2以上0.063m2未満
		0.063m2以上0.068m2未満
		各種

（注）積算条件：各種の場合
伸縮装置断面積：各種（実数入力（m2））

４．その他

（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ベント設備

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、ベント設備に適用する。

２．費用内訳
・ベント設備の設置・撤去、ベント用足場の設置・撤去、架設工具、ベント設備損料の他、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ベント基礎***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）ベント基礎については、（Ⅲ-直接-9-8）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ベント基礎

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、ベント基礎に適用する。

２．費用内訳
(1)設置の場合
・ベント基礎設置のうち鋼板設置、鋼板損耗費、現地整地(鉄板基礎の場合を除く)、枕木基礎設置、枕木基礎設置における整地、枕木材、基礎砕石、コンクリート（コンクリートポンプ車による打設の場合の圧送管組立・撤去）、型枠、均しコンクリート、均し基礎コンクリート型枠、鉄筋組立、杭打機によるH形鋼杭基礎設置、プレボーリング、先端根固め、導枠設置の他、燃料、型枠材及びはく離剤、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、仮設材の持上（下）げ機械に要する費用、ウォータージェット併用施工用付属機器(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機、水中ポンプ、水槽、配管損料)、溶接棒、電気溶接機、つき固め機械、シュート、ホッパ、バイブレータ、コンクリートバケット、電気ドリル、電動ノコギリ、オーガスクリュ、オーガヘッド損料、導材(ガイド)、敷鉄板賃料、現場内小運搬、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・ベント基礎の鋼板撤去、枕木撤去、コンクリート撤去（とりこわし作業・破砕片除去・積込み・運搬・処分）、H形鋼杭撤去（引抜き）等、その施工に要する全ての費用を含む。

・鉄筋組立におけるガス圧接費、機械継手費、架台は含まない。
・基礎砕石設置において現場発生材を使用する場合の***採取小割***は含まない。
・型枠設置における水抜パイプ材料費は含まない。
・コンクリート撤去における機械施工のための、施工基面（機械設置基面）造成（作業構台、盛土、掘削等）作業は含まない。
・***ベント設備***は含まない。
・***建設機械運搬費、重建設機械分解組立費、重建設機械分解組立輸送費***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）採取小割については、（Ⅲ-直接-6-48）による。

（２）ベント設備については、（Ⅲ-直接-9-7）による。

（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（４）重建設機械分解組立費については、（Ⅲ-間接-1-2）による。

（５）重建設機械分解組立輸送費については、（Ⅲ-間接-1-3）による。

（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：地覆工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャスト地覆

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工におけるプレキャスト地覆に適用する。

２．費用内訳
・橋梁付属物におけるプレキャスト地覆設置の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場・防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場・防護については、（Ⅲ-直接-16-13）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：橋梁用防護柵工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
橋梁用防護柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、橋梁等からの落下物により沿道に支障がある場合において設置する橋梁用防護柵に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）金網が、エキスパンドメタル・菱形金網の場合
　（２）支柱の設置方法が埋込型・取付型の場合

２．費用内訳
・落下物等防止柵の設置におけるアンカーボルト設置、支柱建込、金網設置、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　橋梁用防護柵ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
橋梁用防護柵(落下物等防止柵)規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
　　橋梁用防護柵(落下物等防止柵)規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：橋梁用高欄工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
橋梁用高欄

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁用高欄の設置作業における橋梁用高欄に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）橋梁用高欄の設置(材料込みの新設設置)、再利用設置(設置手間のみの流用品･支給品等使用)の場合。
（２）鋼製の高欄の設置
（３）ダクタイル製の高欄の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）橋梁用ガードレール高欄の設置
（２）側道橋用高欄の設置
（３）飾り高欄の設置

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・橋梁用高欄の設置の他、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(橋梁用高欄本体の製品費を含まない。)

・基礎は含まない。
・飾り高欄設置は含まない。

３．積算条件
橋梁用高欄ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
作業区分(P)	設置方式(P)	材料種別(P)
設置	組立式	各種
	一体式	各種
再利用設置	組立式	各種
	一体式	各種

（注）1.設置方式
組立式とは、支柱と横枠部を分割出来る市販品であり、一体式とは、形鋼等による工場製作品をいう。
2.別途製作した橋梁用高欄を支給する場合は再利用設置を選択し、支給品扱いとして材料費を計上する。

3.積算条件：各種の場合
材料種別：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：検査路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
検査路

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、橋梁の維持管理用の検査路に適用する。

２．費用内訳
・橋梁の維持・修繕における検査路の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・材料費・製作加工費は含まない。
・***足場、防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-8）による。
（２）防護については、（Ⅲ-直接-16-20）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
側板

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、既設歩道橋(側道橋)の維持・修繕で生じる側板に適用する。

２．費用内訳
・既設歩道橋(側道橋)の維持・修繕で生じる側板の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：落橋防止装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

芯出し素地調整（落橋防止装置）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、落橋防止装置工における芯出し素地調整（落橋防止装置）に適用する。

２．費用内訳
・落橋防止装置設置における芯出し素地調整の他、工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
芯出し素地調整（落橋防止装置）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：落橋防止装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場孔明(落橋防止装置)

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、落橋防止装置工における現場孔明（落橋防止装置）に適用する。

２．費用内訳
・落橋防止装置設置における現場孔明の他、電気ドリル及びドリル刃損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ボルト締（落橋防止装置）***は含まない。
・***足場、設置・撤去（防護）、損料（防護）***は含まない。

３．積算条件
現場孔明（落橋防止装置）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
作業条件(S)
10本以上/箇所
作業性の悪い箇所等

（注）作業条件：「作業性の悪い箇所等」は、構造的に複雑なもの、1箇所当りの孔明本数の少ない場合（10本／箇所未満）とする。

４．その他
（１）ボルト締(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-18）による。
（２）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（３）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（４）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：落橋防止装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
連結板取付（落橋防止装置）

積算単位：箇所（箇所数）
契約単位：箇所（箇所数）

１．適用範囲
本資料は、落橋防止装置工における連結板取付（落橋防止装置）に適用する。

２．費用内訳
・落橋防止装置設置における連結板の取付け、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場、設置・撤去(防護)、損料(防護)***は含まない。

３．積算条件
連結板取付（落橋防止装置）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（２）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（３）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：落橋防止装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場溶接（落橋防止装置）

積算単位：m(溶接延長)
契約単位：m(溶接延長)

１．適用範囲
本資料は、落橋防止装置工における現場溶接（落橋防止装置）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）溶接脚長が8～12㎜の場合

２．費用内訳
・落橋防止装置設置における鋼製部材の現場溶接作業の他、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場、設置・撤去（防護）、損料（防護）***は含まない。

３．積算条件
現場溶接（落橋防止装置）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（２）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（３）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：落橋防止装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ボルト締(落橋防止装置)

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、落橋防止装置工におけるボルト締（落橋防止装置）に適用する。

２．費用内訳
・落橋防止装置設置におけるボルト締の他、トルクレンチ等工具損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場孔明（落橋防止装置）***は含まない。
・***足場、設置・撤去（防護）、損料（防護）***は含まない。

３．積算条件
ボルト締（落橋防止装置）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
作業条件(S)
10本以上/箇所
作業性の悪い箇所等

（注）作業条件：「作業性の悪い箇所等」は、構造的に複雑なもの、1箇所当りのボルト本数の少ない場合（10本／箇所未満）とする。

４．その他
（１）現場孔明(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-15）による。
（２）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（３）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（４）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：落橋防止装置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アンカー（落橋防止装置）

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、落橋防止装置工におけるアンカー（落橋防止）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）横方向へのアンカー打ち込みの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）上方向へのアンカー打ち込みの場合
（２）ＰＣ中間貫通鋼材や沓座拡幅のアンカーボルト挿入工、注入材が不要なアンカー材及びその他注入材

２．費用内訳
・落橋防止装置設置における橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー打込み、不達孔の充填補修の他、エポキシ樹脂系シール材（横方向アンカー施工時）、ロッド、ビット、ハンマドリル、削孔機、さく岩機、集塵機、水中ポンプ損料、コアボーリングマシン固定用アンカー打込費用、空気圧縮機の費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理）は含まない。
・***芯出し素地調整（落橋防止装置）、現場孔明（落橋防止装置）、連結板取付（落橋防止装置）、現場溶接（落橋防止装置）、ボルト締（落橋防止装置）***は含まない。
・***足場、設置・撤去（防護）、損料（防護）***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）芯出し素地調整(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-14）による。
（２）現場孔明(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-15）による。
（３）連結板取付(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-16）による。
（４）現場溶接(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-17）による。
（５）ボルト締(落橋防止装置)については、（Ⅲ-直接-9-18）による。
（６）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（７）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（８）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（９）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）１０橋梁下部編

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場溶接

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、RC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強に鋼板巻立てを行う場合（矩形：支柱幅10m以下、奥行6m以下、円形：支柱径6m以下）の、被覆アーク溶接による板厚6㎜から22㎜までの現場溶接に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）すみ肉溶接　脚長6㎜の場合
（２）補強橋版部の溶接（V型・L型）で、　板厚6㎜～22㎜の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）被覆アーク溶接以外の現場溶接の場合

２．費用内訳
・RC橋脚補強鋼板巻立てにおける現場溶接作業で、被覆アーク溶接、グラインダ仕上の他、電気溶接機、グラインダ運転経費、溶接棒、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
現場溶接ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
溶接種別(P)	板厚区分(P)
すみ肉(脚長6㎜)	―
補強橋版部(V型・L型)	6㎜～10㎜
	12㎜～13㎜
	14㎜～15㎜
	16㎜～19㎜
	21㎜～22㎜

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）１１トンネル編

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：トンネル工
種　　別：裏込注入工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
裏込注入

積算単位：m3(注入量)
契約単位：m3(注入量)

１．適用範囲
本資料は、水路及び道路トンネルの裏込注入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）ＮＡＴＭ、シールド工法の場合

２．費用内訳
・水路及び道路トンネルにおける地山の安定や覆工への偏荷重防止のために行う裏込材（エアモルタル、可塑性エアモルタル）の注入、無収縮モルタルによる目詰、注入のための削孔、足場（道路トンネルの場合）の他、アジテータ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、発泡装置、エア混合機、工事用水中ポンプ、ポータブルベルトコンベア、グラウト流量圧力測定装置の損料、電力に関する経費、特許使用料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・水路トンネルにおける足場は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）
１２共同溝・電線共同溝・情報ボックス・地下横断歩道・地下駐車場編

工事区分：道路改良
工　　種：カルバート工
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防水工

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、カルバート工における防水工に適用する。

２．費用内訳
・防水シート設置、ボード張(予め撤去しない埋設型枠等に貼付)及び防水層の保護のために行うモルタル打設、養生の他、底頂部はモルタルポンプ等、側部についてはモルタルポンプ及びワイヤラスの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・足場工は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：カルバート工
種　　別：防水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防水

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、カルバート工における防水に適用する。

２．費用内訳
・防水シート設置、ボード張（予め撤去しない埋設型枠等に貼付）等、その施工に要する全ての費用を含む。

・足場工は含まない。
・***防水保護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）防水保護については、（Ⅲ-直接-12-3）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：カルバート工
種　　別：防水工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防水保護

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、カルバート工における防水保護に適用する。

２．費用内訳
・防水層の保護のために行うモルタル打設、養生の他、底頂部はモルタルポンプ等、側部については、モルタルポンプ及びワイヤラスの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・足場工は含まない。
・***防水***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）防水については、（Ⅲ-直接-12-2）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：電線共同溝工
種　　別：管路工(管路部)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
埋設管路

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工における埋設管路に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）管路呼び径150㎜以下の単管設置の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）多条管、多孔管を設置する場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事における埋設管路(呼び径150㎜以下の単管)の設置、接続、管路受台(スペーサ)の設置、管路清掃、導通試験の他、清掃及び導通検査機械(コンプレッサー等)の損料及び運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・接続継手、分岐管、滑剤料は含まない。
・***露出管路、埋設表示シート***は含まない。

３．積算条件
埋設管路ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
管路材の材質(P)	管路材の径(P)
各種	各種

（注）積算条件：各種の場合
管路材の材質：各種（文字入力）
管路材の径：各種（実数入力（㎜））

４．その他
（１）露出管路については、（Ⅲ-直接-12-5）による。
（２）埋設表示シートについては、（Ⅲ-直接-12-6）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：電線共同溝工
種　　別：管路工(管路部)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
露出管路

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工における露出管路に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）管路呼び径150㎜以下の単管設置の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）多条管、多孔管を設置する場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事における橋梁添架及びトンネル内等設置により露出する管路(呼び径150㎜以下)の設置、受・支持金具の設置、管路清掃、導通試験の他、清掃及び導通検査機械(コンプレッサー等)の損料及び運転経費の他、その施工に要する全ての費用を含む。

・接続継手、分岐管、滑剤料は含まない。
・***埋設管路***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）埋設管路については、（Ⅲ-直接-12-4）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：電線共同溝工
種　　別：管路工(管路部)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
埋設表示シート

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工における埋設表示シートに適用する。

２．費用内訳
・管路の埋設表示シートの設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
埋設表示シートユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
シート規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
シート規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：電線共同溝工
種　　別：プレキャストボックス工(特殊部)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
プレキャストボックス

積算単位：個(個数)
契約単位：個(個数)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝の特殊部におけるプレキャストボックスに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ボックスブロック1個当り質量が11,000kg以下の場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事のプレキャストボックス(特殊部)におけるプレキャストボックスの設置、継壁(妻壁、端壁)の設置、水抜ドレーンの設置、敷モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。

・均し***コンクリート***、均しコンクリート用***型枠***は含まない。
・***基礎砕石(基礎材)***は含まない。
・***蓋***は含まない。

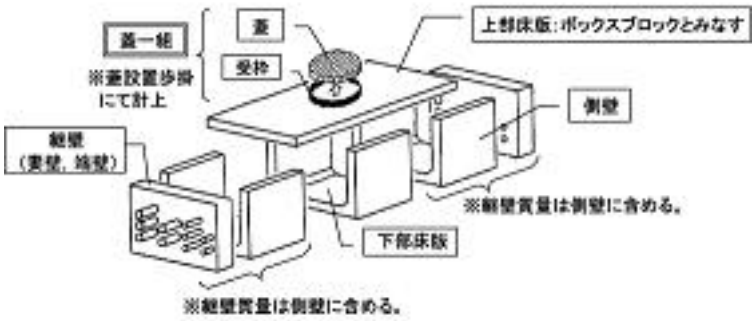
３．積算条件
プレキャストボックスユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
ボックスブロック規格(P)	ボックスブロック1個当り質量(S)
各種	1,000kg以下
	1,000kg超～4,000kg以下
	4,000kg超～11,000kg以下

（注）1.ボックスブロック個数は、継壁、蓋、受枠を除くブロック数を計上する。なお、継壁質量は隣接する側壁に含めるものとする。
また、上部床版質量に蓋及び受枠質量は含めないものとする。
2.水抜ドレーン材費は別途計上する。
3.積算条件：各種の場合
ボックスブロック規格：各種（文字入力）

(プレキャストボックス参考図)



４．その他

（１）基礎砕石(基礎材)については、（Ⅲ-直接-5-20）による。

（２）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。

（３）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。

（４）蓋については、（Ⅲ-直接-12-8）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：電線共同溝工
種　　別：プレキャストボックス工(特殊部)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
蓋

積算単位：組(組数)
契約単位：組(組数)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝の特殊部における蓋に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）蓋1組当り質量（受枠も含めた1組当り質量）が2,000kg以下の場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事のプレキャストボックス(特殊部)における蓋(受枠を含む)の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
蓋ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
材質(P)	寸法(P)	蓋1組当り質量(S)
各種	各種	200kg以下
		200kg超～800kg以下
		800kg超～2,000kg以下

（注）積算条件：各種の場合
材質：各種（文字入力）
寸法：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：付帯設備工
種　　別：ハンドホール工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ハンドホール

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工におけるハンドホールに適用する。

２．費用内訳
・電線共同溝工事におけるハンドホールの設置、現場内小運搬の他、敷きモルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。

・*蓋*は含まない。

３．積算条件
ハンドホールユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
ハンドホール規格(P)
各種

（注）積算条件：各種の場合
ハンドホール規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）蓋については、（Ⅲ-直接-12-8）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）１３修繕編

工事区分：河川修繕、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、舗装工
種　　別：路面切削工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路面切削

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業における平均切削深さ12cm以下の路面切削に適用する。また、段差すりつけ作業の有無に関わらず適用出来るものとする。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）路面切削機によるアスファルト舗装の切削作業で平均切削深さ12cm以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）複数の路面切削機による並列切削作業
（２）特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削作業
（３）帯状切削作業に段差すりつけを含む場合

２．費用内訳
・路面の切削・廃材積込み、清掃・散水、移動(自走)、切削に伴う段差すりつけ設置・撤去にかかる積込み作業の他、切削用器具、路面切削機のビット損耗費、路面清掃車のブラシの損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬(路面切削)***、***殻処分***は含まない。
・***建設機械運搬費***は含まない。

３．積算条件
路面切削ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
施工区分・平均切削深さ (P)
全面切削6cm以下
全面切削6cmを超え12cm以下
帯状切削3cm以下

（注）1.平均切削深さは次式による。
Ｈ＝Ａｖ/Ｗ×100
Ｈ　：１現場の平均切削深さ（cm）
Ａｖ：１現場の平均切削断面積（m2）
Ｗ　：平均切削幅員（m）
なお、帯状切削の場合はW＝2mとする。

2.帯状切削とは、不陸部の切削幅が路面切削機の切削幅より狭い場合をいう。
3.帯状切削の施工面積は、次式による。
延べ施工面積＝切削機の作業幅（2m）×延べ施工延長

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、電線共同溝、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、舗装版撤去工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、舗装版破砕工、薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
舗装版切断

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版における舗装版切断に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）アスファルト舗装版厚が40cm以下の場合
（２）コンクリート舗装版厚が35cm以下の場合
（３）重複舗装版（コンクリート+アスファルト（カバー））厚が45cm以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版の場合、全体厚が45cmを超える場合
（２）コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50％を超える場合

２．費用内訳
・舗装版切断、水タンク運搬、ブレード損耗費、水タンク、ホース、ほうき等、その施工に要する全ての費用を含む。

・舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処理が必要な場合の処理等は含まない。

３．積算条件
舗装版切断ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件			
舗装版種別(P)	アスファルト舗装版厚(P)	コンクリート舗装版厚(P)	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚(P)
アスファルト舗装版	20cm以下	—	—
	20cmを超え30cm以下	—	—
	30cmを超え40cm以下	—	—
コンクリート舗装版	—	20cm以下	—
		20cmを超え30cm以下	—
		30cmを超え35cm以下	—
コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	—	20cm以下	20cm以下
			20cmを超え30cm以下
			30cmを超え45cm以下
		20cmを超え30cm以下	20cmを超え30cm以下

積算条件			
舗装版種別(P)	アスファルト舗装版厚(P)	コンクリート舗装版厚(P)	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚(P)
コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	―	20cmを超え30cm以下	30cmを超え45cm以下
		30cmを超え35cm以下	30cmを超え45cm以下

（注）舗装版種別でコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版を選択した場合、コンクリート舗装版厚の選択肢は、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版のうちのコンクリート舗装版のみの厚さとする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、舗装工
種　　別：舗装打換え工、薄層カラー舗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
舗装版破砕

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの作業である舗装版破砕に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）機械によるコンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合
（２）　人力によるアスファルト舗装版の破砕作業及び掘削、積込みまでの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）急速施工、橋梁舗装版撤去の場合
（２）コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版において、全体厚が45cmを超える場合又は舗装版厚のうちアスファルト層が占める割合が50%を超える場合

２．費用内訳
・舗装版とりこわし・掘削・積込みの他、大型ブレーカのチゼル損耗費(大型ブレーカによる破砕の場合)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***舗装版切断***は含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
舗装版破砕ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件					
舗装版種別(P)	障害等の有無(P)	騒音振動対策(P)	舗装版厚(P)	Co+As(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚(P)	積込作業の有無(P)
アスファルト舗装版	無し	不要	10cm以下	―	有り
			10cmを超え15cm以下	―	有り
			15cmを超え40cm以下	―	有り
		必要	15cm以下	―	有り
			15cmを超え35cm以下	―	有り
	有り	―	4cm以下	―	有り
					無し
			4cmを超え10cm以下	―	有り
					無し
			10cmを超え15cm以下	―	有り

積算条件					
舗装版種別(P)	障害等の有無(P)	騒音振動対策(P)	舗装版厚(P)	Co+As(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚(P)	積込作業の有無(P)
アスファルト舗装版	有り	―	10cmを超え15cm以下	―	無し
			15cmを超え30cm以下	―	有り
					無し
コンクリート舗装版	―	不要	10cm以下	―	有り
			10cmを超え15cm以下	―	有り
			15cmを超え35cm以下	―	有り
		必要	15cm以下	―	有り
			15cmを超え35cm以下	―	有り
コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	―	不要	15cm以上35cm以下	15cm以下	有り
				15cmを超え22.5cm以下	有り

（注）障害等の有無の「有り」は障害物等がある場合又は幅1.0m以下の場合等に適用する。

４．その他

（１）舗装版切断については、（Ⅲ-直接-13-2）による。

（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：電線共同溝
工　　種：舗装版撤去工
種　　別：舗装版破砕工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
舗装版破砕

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、電線共同溝工における舗装版破砕に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）アスファルト舗装版破砕積込作業の場合
（２）アスファルト舗装厚さ15cm以下の場合

２．費用内訳
・電線共同溝工事における舗装版とりこわし・積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***舗装版切断、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
舗装版破砕ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
舗装版種別(P)	舗装版厚(P)
アスファルト舗装版	15cm以下
	各種
各種	15cm以下
	各種

（注）積算条件：各種の場合
舗装版種別：各種（文字入力）
舗装版厚：各種（文字入力）

４．その他
（１）舗装版切断については、（Ⅲ-直接-13-2）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版取替工、旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
舗装版破砕

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工における舗装版破砕に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）床版上のアスファルト舗装版の破砕の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）横断歩道撤去、床版打ち換え時のブロック施工の場合

２．費用内訳
・床版取替等におけるアスファルト舗装版破砕・積込みの他、チゼルの損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***舗装版運搬処理、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）舗装版運搬処理については、（Ⅲ-直接-15-28）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：舗装工
種　　別：切削オーバーレイ工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
切削オーバーレイ

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から舗装までを即日で急速施工する場合における切削オーバーレイに適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
　（１）即日で急速施工する切削オーバーレイの場合
　（２）アスファルト混合物が購入方式の場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削
　（２）排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等の場合
　（３）アスファルト混合物がプラント方式の場合

２．費用内訳
・路面の切削・廃材積込み、清掃、瀝青材散布、舗装材料敷均し、締固め、切削に伴う段差すりつけ設置・撤去の他、切削用器具、路面切削機のビット、路面清掃車のブラシの損耗費、舗装用器具及び加熱燃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬(路面切削)、殻処分***は含まない。
・***建設機械運搬費***は含まない。

３．積算条件
　切削オーバーレイユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件						
平均切削深さ(P)	即日舗設の層数(P)	舗装厚(一層目)(P)	舗装厚(二層目)(P)	アスファルト材料(一層目)(P)	アスファルト材料(二層目)(P)	瀝青材種類(P)
6cm以下	一層	25mm以上35mm未満	―	表３．２参照		
		35mm以上45mm未満	―			
		45mm以上55mm未満	―			
		55mm以上65mm未満	―			
		各種	―			
	二層	25mm以上35mm未満	35mm以上45mm未満			
			45mm以上55mm未満			

<table>
<tr><th colspan="7">積算条件</th></tr>
<tr><th>平均切削深さ(P)</th><th>即日舗設の層数(P)</th><th>舗装厚(一層目)(P)</th><th>舗装厚(二層目)(P)</th><th>アスファルト材料(一層目)(P)</th><th>アスファルト材料(二層目)(P)</th><th>瀝青材種類(P)</th></tr>
<tr><td rowspan="9">6cm以下</td><td rowspan="9">二層</td><td rowspan="2">35mm以上45mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td><td rowspan="17" colspan="3">表３．２参照</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td rowspan="2">45mm以上55mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td rowspan="2">55mm以上65mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td>各種</td><td>各種</td></tr>
<tr><td rowspan="17">6cmを超え12cm以下</td><td rowspan="5">一層</td><td>25mm以上35mm未満</td><td>―</td></tr>
<tr><td>35mm以上45mm未満</td><td>―</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td><td>―</td></tr>
<tr><td>55mm以上65mm未満</td><td>―</td></tr>
<tr><td>各種</td><td>―</td></tr>
<tr><td rowspan="12">二層</td><td rowspan="2">25mm以上35mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td rowspan="2">35mm以上45mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td rowspan="2">45mm以上55mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td rowspan="2">55mm以上65mm未満</td><td>35mm以上45mm未満</td></tr>
<tr><td>45mm以上55mm未満</td></tr>
<tr><td>各種</td><td>各種</td></tr>
</table>

表３．２（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	区分
アスファルト材料(一層目)(P)	密粒度アスファルト混合物(20)
	密粒度アスファルト混合物(13)
	再生密粒度アスファルト混合物(20)
	再生密粒度アスファルト混合物(13)
	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ｾﾐﾌﾞﾛｰﾝｱｽﾌｧﾙﾄAC-100(20)
	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)DS3000
	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)DS3000
	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)DS5000
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20)DS3000
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅱ型(20)DS5000
	開粒度アスファルト混合物(13)

積算条件	区分
アスファルト材料(一層目)(P)	各種
アスファルト材料(二層目)(P)	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
	密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型(20)DS3000
	粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型(20)
	再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20)DS3000
	各種
瀝青材種類(P)	タックコート
	各種

（注）1.平均切削深さは次式による。

$$H=Av/w\times100$$

H ：1現場の平均切削深さ（cm）

Av：1現場の平均切削断面積（m2）

w ：平均切削幅員（m）

2.アスファルト舗装材の締固め密度は2.35t/m3（開粒度アスコンのみ1.94t/m3）を標準としているため、標準以外の場合は各種を選択する。なお、瀝青材散布量は、材料ロス分を含め入力する。

3.積算条件：舗装厚及び瀝青材種類「各種」を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。

舗装厚：各種(実数入力（mm）)

瀝青材種類：各種(文字入力)

積算条件：アスファルト材料「各種」を選択の場合、以下の項目を入力する。

アスファルト材料：各種（文字入力）

４．その他

（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（３）建設機械運搬費については、（Ⅲ-間接-1-1）による。

（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：舗装工
種　　別：路上再生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路上路盤再生

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、路上再生工における路上路盤再生に適用する。

２．費用内訳
・路上混合による路盤再生(混合深さ40cm以下)の設置、添加剤散布、破砕混合、乳剤又は水散布、不陸整正、締固めの他、小器材(スコップ、竹ぼうき等)、養生(プライムコート材料、エンジンスプレーヤ等)、砂の散布等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***舗装版切断***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）舗装版切断については、（Ⅲ-直接-13-2）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：舗装工
種　　別：路上再生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路上表層再生

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、路上再生工における路上表層再生に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
リペーブ工法又はリミックス工法による路上表層再生
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
既設アスファルト舗装版に特殊結合材料（エポキシ樹脂）及び、特殊骨材（エメリー）を含む場合

２．費用内訳
・路上混合によるアスファルト混合物の表層再生(舗装全厚45～60㎜・かきおこし厚20～40㎜)、既設表層の加熱、既設表層混合物かきおこし及び新規アスファルト混合物との混合、再生表層混合物敷均し、新規アスファルト混合物敷均し、転圧、清掃の他、舗装用器具(スムーサ、レーキ、スコップ、コテ、カッタ等)の損料、加熱用燃料、ビット損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・添加剤は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：舗装工
種　　別：グルービングエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グルービング

積算単位：m2(施工対象面積)
契約単位：m2(施工対象面積)

１．適用範囲
本資料は、舗装工におけるグルービングに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）道路に設置する乾式及び湿式グルービングの場合
（２）直線部及び道路曲線に伴う、曲線部の施工の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）路面排水を目的とする場合のグルービングの場合

２．費用内訳
・道路(供用区間)に設置する乾式及び湿式グルービングの設置、位置出し、溝切り、廃材積込み、路面清掃等、その施工に要する全ての費用を含む。

・廃材運搬・処分は含まない。

３．積算条件
グルービングユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格・仕様(P)	施工数量(S)	舗装面種類(P)
縦方向・幅9mm-深さ6mm-間隔60mm	100m2以上	アスファルト舗装
		コンクリート舗装
	100m2未満	アスファルト舗装
		コンクリート舗装
縦方向・幅9mm-深さ4mm-間隔60mm	100m2以上	アスファルト舗装
		コンクリート舗装
	100m2未満	アスファルト舗装
		コンクリート舗装
横方向・幅9mm-深さ6mm-間隔60mm	100m2以上	アスファルト舗装
		コンクリート舗装
	100m2未満	アスファルト舗装
		コンクリート舗装

（注）1.施工対象面積＝施工延長×施工幅
2.施工数量は、1工事におけるアスファルト舗装及びコンクリート舗装のそれぞれの合計数量である。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：舗装工
種　　別：グルービングエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
グルービング（路面排水用）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、舗装工におけるグルービング（路面排水用）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路に設置する乾式及び湿式グルービングの場合

２．費用内訳
・道路(供用区間)に設置する乾式及び湿式の路面排水用のグルービング(横方向：幅36㎜-深さ10㎜)の位置出し、溝切り、廃材積込み、路面清掃等、その施工に要する全ての費用を含む。

・廃材運搬・処分は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版補強工(鋼板接着工法)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼板接着

積算単位：m2(鋼板接着面積)
契約単位：m2(鋼板接着面積)

１．適用範囲
本資料は、ＲＣ床版の補強工における注入工法による鋼板接着に適用する。

２．費用内訳
・既設橋梁ＲＣ床版補強のための接着による鋼板設置、下地処理、アンカー設置、スプライス板取付、シール、樹脂注入、表面仕上の他、材料費(ディスクサンドペーパー、シンナー、コンクリートアンカー、ドリル刃、注入パイプ、エア抜きパイプ)、機械器具費(ディスクサンダ、振動ドリル、グラウト注入機、ハンドミキサ)、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***クラック処理***は含まない。
・***足場、設置・撤去（防護）、損料（防護）***は含まない。
・***素地調整、下塗、中塗、上塗***は含まない。
・***製作加工、ボルト・ナット***は含まない。
・***輸送、小運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）クラック処理については、（Ⅲ-直接-13-12）による。
（２）足場については、（Ⅲ-直接-16-6）による。
（３）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（４）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（５）素地調整については、（Ⅲ-直接-8-10）による。
（６）下塗については、（Ⅲ-直接-8-16）による。
（７）中塗については、（Ⅲ-直接-8-19）による。
（８）上塗については、（Ⅲ-直接-8-23）による。
（９）製作加工については、（Ⅲ-直接-8-3）による。
(10) ボルト・ナットについては、（Ⅲ-直接-8-8）による。
(11) 輸送については、（Ⅲ-直接-8-27）による。
(12) 小運搬については、（Ⅲ-直接-8-26）による。
(13) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版補強工(鋼板接着工法)、床版補強工(増桁架設工法)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
クラック処理

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、既設橋梁ＲＣ床版の鋼板接着時におけるクラック処理に適用する。

２．費用内訳
・既設橋梁RC床版の補強(鋼板接着(注入工法))のために行う、クラック部への注入処理の他、注入パイプ、エア抜パイプ、シンナー及び機械器具費(ハンドミキサ、グラウト注入機)等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
クラック処理ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
100m当りシール材使用量(P)	100m当り注入材使用量(P)
0.0kgを超え10.0kg以下	0.0kgを超え5.0kg以下
	5.0kgを超え10.0kg以下
	10.0kgを超え15.0kg以下
	15.0kgを超え20.0kg以下
	20.0kgを超え25.0kg以下
	25.0kgを超え30.0kg以下
10.0kgを超え20.0kg以下	0.0kgを超え5.0kg以下
	5.0kgを超え10.0kg以下
	10.0kgを超え15.0kg以下
	15.0kgを超え20.0kg以下
	20.0kgを超え25.0kg以下
	25.0kgを超え30.0kg以下
20.0kgを超え30.0kg以下	0.0kgを超え5.0kg以下
	5.0kgを超え10.0kg以下
	10.0kgを超え15.0kg以下
	15.0kgを超え20.0kg以下
	20.0kgを超え25.0kg以下
	25.0kgを超え30.0kg以下
各種	―

（注）1.シール材又は注入材の使用量が100ｍあたり30kgを超える場合は、「各種」

により積算する。

2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
100m当りシール材使用量：各種(実数入力（kg）)

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版補強工(増桁架設工法)、床版取替工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
増桁架設

積算単位：t(増桁質量)
契約単位：t(増桁質量)

１．適用範囲
本資料は、床版補強工における増桁架設に適用する。

２．費用内訳
・既設橋梁RC床版補強のための増桁設置、現場削孔、下地処理、ボルト締め、シール、樹脂注入、表面仕上の他、材料費(ディスクサンドペーパー、シンナー、ドリル刃、注入パイプ、エア抜きパイプ、スペーサ)、機械器具費(ディスクサンダ、電気ドリル、チェンブロック、ウィンチ、ドリフトピン、仮締めボルト、トルクレンチ、キャリブレーター、グラウト注入機、ハンドミキサ)、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・既設部材撤去は含まない。
・***クラック処理***は含まない。
・***床版破砕及び撤去、プレキャストPC床版取替、鋼製高欄取替***は含まない。
・***床版足場、足場、設置・撤去（防護）、損料（防護）***は含まない。
・***素地調整、清掃・水洗い(素地調整)、下塗、中塗、上塗***は含まない。
・***製作加工、ボルト・ナット***は含まない。
・***輸送、小運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）クラック処理については、（Ⅲ-直接-13-12）による。
（２）床版破砕及び撤去については、（Ⅲ-直接-15-24）による。
（３）プレキャストＰＣ床版取替については、（Ⅲ-直接-13-15）による。
（４）鋼製高欄取替については、（Ⅲ-直接-13-16）による。
（５）床版足場については、（Ⅲ-直接-16-12）による。
（６）足場については、（Ⅲ-直接-16-6）による。
（７）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（８）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（９）素地調整については、（Ⅲ-直接-8-10）による。
(10) 清掃・水洗い(素地調整)については、（Ⅲ-直接-13-23）による。
(11) 下塗については、（Ⅲ-直接-8-16）による。
(12) 中塗については、（Ⅲ-直接-8-19）による。
(13) 上塗については、（Ⅲ-直接-8-23）による。
(14) 製作加工については、（Ⅲ-直接-8-3）による。

(15) ボルト・ナットについては、（Ⅲ-直接-8-8）による。
(16) 輸送については、（Ⅲ-直接-8-27）による。
(17) 小運搬については、（Ⅲ-直接-8-26）による。
(18) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版増厚補強工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表面荒らし

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、床版増厚補強工における表面荒らしに適用する。

２．費用内訳
・既設橋梁床版の補強のために行う床版増厚時における床版表面の表面荒らし等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版取替工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

プレキャストＰＣ床版取替

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工におけるプレキャストPC床版取替に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）プレキャストPC床版の取替工事の場合
（２）撤去する床版厚さが420㎜までの場合
（３）プレキャストPC床版（1枚当り質量9,000kg以下）の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）ループ継手等の橋軸方向の縦締を行わない床版設置の場合
（２）プレキャストPC床版の新設の場合
（３）床版の一次破砕に大型ブレーカを用いる場合

２．費用内訳
・既設鋼橋鈑桁におけるプレキャストPC床版（1枚当り質量9,000kg以下）の設置(床版架設、床版連結、桁床版連結、床版コンクリート打設)、既設床版の撤去(床版切断、床版解体、伸縮継手装置撤去、床版撤去、二次破砕、桁フランジ処理)の他、大型ブレーカ(二次破砕用)、空気圧縮機の機械損料及び運転経費、コンクリートブレーカ、ディスクサンダ、ガス切断機、コアドリル、緊張ジャッキポンプ、ハンドミキサ、スタッド溶接機、グラウトポンプ、コンクリートバイブレータの損料、チゼル・ビットの損耗費、撤去用機械器具経費、プレキャストPC床版設置用の雑機械器具費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・切断水に対しての防護は含まない。
・交通仮開放のための結合金具(板バネ等)は含まない。
・車線継手コンクリート(型枠・配筋・コンクリート打設)、舗装、塗装は含まない。
・***殻運搬***（一次破砕後の二次破砕場までの運搬も含む）は含まない。
・***増桁架設、舗装版破砕、鋼製高欄取替***は含まない。
・***床版足場、設置・撤去（防護）、賃料（防護）***は含まない。
・***鋼製伸縮継手補修***は含まない。
・***床版運搬処理、舗装版運搬処理、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

7

４．その他

（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）増桁架設については、（Ⅲ-直接-13-13）による。
（３）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-5）による。
（４）鋼製高欄取替については、（Ⅲ-直接-13-16）による。
（５）床版足場については、（Ⅲ-直接-16-12）による。
（６）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-22）による。
（７）賃料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-24）による。
（８）鋼製伸縮継手補修については、（Ⅲ-直接-13-18）による。
（９）床版運搬処理については、（Ⅲ-直接-13-17）による。
(10) 舗装版運搬処理については、（Ⅲ-直接-15-28）による。
(11) 殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
(12) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版取替工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼製高欄取替

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工における鋼製高欄取替に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）橋梁用高欄（鋼製・ダイクタイル製）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）橋梁用ガードレール高欄及び測道橋用高欄の場合

２．費用内訳
・橋梁付属施設における鋼製（ダクタイル製）高欄取替え、現場内小運搬の他、高欄の切断に必要なガス切断機損料、酸素、アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・橋梁用ガードレール高欄、側道橋用高欄、基礎は含まない。
・***床版足場***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床版足場については、（Ⅲ-直接-16-12）による。
（２）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版取替工、旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
床版運搬処理

積算単位：m3(殻体積)
契約単位：m3(殻体積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工における床版運搬処理に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・床版取替等における床版破砕後に生じるコンクリート塊の運搬(運搬距離60km以内)、処分等、その施工に要する全ての費用を含む。

・積込みは含まない。
・***舗装版破砕、床版破砕及び撤去、舗装版運搬処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-5）による。
（２）床版破砕及び撤去については、（Ⅲ-直接-15-24）による。
（３）舗装版運搬処理については、（Ⅲ-直接-15-28）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：伸縮継手工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼製伸縮継手補修

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工における鋼製伸縮継手補修に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）1日で補修が完了する急速施工をする場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）仮復旧等を伴う作業の場合

２．費用内訳
・橋梁の維持・修繕における鋼製伸縮継手装置の取替え（カッタ、はつり、旧ジョイント撤去、設置、型枠、コンクリート打設、殻積込）、打継用接着材、補強鉄筋及びコンクリートアンカ材料費、仕上げ（新旧構造物のすり合せ仕上げ、現場塗装、橋台・脚天端上及び足場兼用落下物養生工上に散乱したコンクリート塊等の終結袋詰、片付け、清掃並びに型枠解体等）の他、コンクリートカッタ、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、ジャッキ、レバーブロック、シュート、ホッパ、バイブレータ損料、チゼル、バイブレータ、コンクリート仕上コテ、ディスクサンダ、塗装用ハケ、その他必要な雑器具類等の費用、遊間型枠用材料、切断用ガス、溶接棒、カッタブレード損耗費、塗料、砂、セメント、燃料費、油脂類等の費用、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての費用を含む。

・地覆、歩道部等の取替えは含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：伸縮継手工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
埋設ジョイント補修

積算単位：m(設置延長)
契約単位：m(設置延長)

１．適用範囲
本資料は、特殊合材(弾性合材)により桁の伸縮を吸収する構造を持つ既設橋の埋設ジョイント取替における埋設ジョイント補修に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）１日で完了する急速施工の既設橋の伸縮装置補修（取替）工事で、旧伸縮装置が下記の場合
①橋梁用伸縮継手装置（ジョイント）である場合
②突合わせ目地（無処理目地又は瀝青系目地の単純なもの）である場合
③埋設型伸縮装置（伸縮量が50㎜（±25㎜）以下の橋梁）である場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）未供用部の橋梁及び拡幅部等の埋設型伸縮継手装置を新たに設置する工事
（２）特殊合材（弾性合材）を用いない鋼製金物による荷重支持型の橋梁用埋設型伸縮継手装置（埋設型ジョイント）
（３）仮復旧を行う作業
（４）打設コンクリートに樹脂コンクリート、あるいは樹脂モルタルを使用する場合
（５）旧伸縮装置が、先付鋼製フィンガー式及びスライド式伸縮装置の場合

２．費用内訳
・橋梁修繕における埋設ジョイントの補修作業で、カッタ、はつり、旧ジョイント撤去、床版断面修正、付属品の設置、合材の混合加熱、合材打設、仕上養生、廃材積込みの他、床版断面修正工(レベル調整)に用いるジェットモルタル、あるいはジェットコンクリート(手練り)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
高欄・手摺

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、横断歩道橋工における高欄・手摺に適用する。

２．費用内訳
・既設歩道橋の修繕等で生じる高欄及び手摺の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***手摺先行型足場設置・撤去(足場)、手摺先行型足場損料(足場)、吊足場設置・撤去(足場)、吊足場損料(足場)、設置・撤去(防護)、賃料(防護)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）手摺先行型足場設置・撤去(足場)については、（Ⅲ-直接-16-14）による。
（２）手摺先行型足場損料(足場)については、（Ⅲ-直接-16-15）による。
（３）吊足場設置・撤去(足場)については、（Ⅲ-直接-16-16）による。
（４）吊足場損料(足場)については、（Ⅲ-直接-16-17）による。
（５）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-22）による。
（６）賃料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-24）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ノンスリップ

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、横断歩道橋工におけるノンスリップに適用する。
１-１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）横断歩道橋における階段部の補修作業の場合
（２）ノンスリップ設置の穴あけピッチ250～300㎜、ノンスリップの幅45㎜～50㎜の場合

２．費用内訳
・横断歩道橋（橋面・階段部）補修におけるノンスリップの設置、表面処理（2種ケレン同等の作業（電気ディスクグラインダ運転を含む））、プライマー塗布、穴あけの費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：コンクリート面塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリート面清掃

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート面塗装工におけるコンクリート面清掃に適用する。

２．費用内訳
・道路付属物（コンクリートバリヤ等）のコンクリート面塗装時におけるコンクリート面の塵埃清掃等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：橋梁塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
清掃・水洗い（素地調整）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現場塗装工における清掃・水洗い（素地調整）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鋼橋の現場での塗替塗装の場合
（２）高欄部の単独施工の塗替塗装の場合

２．費用内訳
・橋梁塗装における塗替塗装を行う際の清掃(粉塵、ばい煙、土砂等の除去)、水洗い(塩分等の除去)、ケレンかすの処分等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ブラスト処理によるケレンかす及び研掃材の処分に要する費用は含まない。
・足場、防護の費用は含まない。
・***素地調整***は含まない。

３．積算条件
清掃・水洗い（素地調整）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
構造物区分(S)	施工数量(S)
一般的な構造	1000m2以上
	500m2以上1000m2未満
	500m2未満
箱桁構造の密閉部	1000m2以上
	500m2以上1000m2未満
	500m2未満
横断歩道橋・側道橋	―
高欄部単独施工	―

（注）1.面積は塗装面積とする。
2.施工数量は、1工事における塗装対象面積（一層）とする。
3.適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。
鋼桁構造・・・プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。
箱桁構造・・・単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。

弦材を有する構造・・・トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。
横断歩道橋・・・各種横断歩道橋。
側道橋・・・各種側道橋。

４．その他

（１）素地調整については、（Ⅲ-直接-8-10）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：現場塗装工
種　　別：張紙防止塗装工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
張紙防止塗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、構造物への張紙を防止する張紙防止塗装に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）構造物への張紙を防止する塗装の場合

２．費用内訳
・構造物への貼り紙を防止するための塗装、希釈剤及びハケ、ローラー等の損耗費、その施工に必要な全ての費用を含む。

・***素地調整***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）素地調整については、（Ⅲ-直接-8-12）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：トンネル工
種　　別：内装板工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
内装板

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、トンネル工における内装板に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）トンネル内装版の設置で内装板施工面積500m2以上の場合

２．費用内訳
・側壁用トンネル内装板の設置(削孔、アンカー設置、支持材設置を含む)の他、脚立、トラック、フォークリフト、ハンマドリル、インパクトレンチ損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・機械足場(高所作業車)は含まない。
・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：トンネル工
種　　別：漏水対策工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
線導水

積算単位：m(導水材設置延長)
契約単位：m(導水材設置延長)

１．適用範囲
本資料は、既設道路トンネルの漏水対策として行なう線導水に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）漏水範囲が線状で、縦・横方向の漏水箇所に沿って導水材（ゴム系又は樹脂系）又は伸縮性充填材を溝状に設置する漏水対策の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）覆工表面に樋を設置する場合

２．費用内訳
・既設道路トンネルの局所的線状漏水対策における導水材(ゴム系又は樹脂系)又は伸縮性充填材の溝状設置、コンクリート切断・はつりの他、シート等飛散防止材、コンクリートカッタ、ピックハンマ、ディスクサンダ損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：トンネル工
種　　別：漏水対策工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
面導水

積算単位：m2(導水材設置面積)
契約単位：m2(導水材設置面積)

１．適用範囲
本資料は、既設道路トンネルの漏水対策として行なう面導水に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）漏水範囲が面状で、幅2mの防水板を設置する面的な漏水対策の場合

２．費用内訳
・既設道路トンネルの面状漏水対策における幅2mの防水板の設置、アンカー取付けの他、シート等飛散防止材、ハンマドリル、電気ドリル、ディスクサンダ、インパクトドライバ、インパクトレンチ、電動リベッタ損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：鋼桁工
種　　別：鋼桁補強工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場溶接鋼桁補強

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、鋼桁補強工における現場溶接鋼桁補強に適用する。

２．費用内訳
・橋梁補修における桁補強を目的とする部材取付（補剛材、ガセットプレート）等の現場溶接、塗装の除去の他、電力に関する経費、電気溶接機、ディスクグラインダの損料、溶接棒等、その施工に要する全ての費用を含む。

・現場補修塗装は含まない。
・***製作加工***は含まない。
・***足場、設置・撤去(防護)、損料(防護)は含まない。***

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）設計数量は、すみ肉脚長6㎜換算値とする。

４．その他
（１）製作加工については、（Ⅲ-直接-8-4）による。
（２）足場については、（Ⅲ-直接-16-6）による。
（３）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（４）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁支承工
種　　別：鋼橋支承工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支承取替

積算単位：基(支承基数)
契約単位：基(支承基数)

１．適用範囲
本資料は、鋼橋補修工における鋼橋の金属支承からの支承取替に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）金属支承からの支承取替の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）RC橋の支承取替の場合

２．費用内訳
・橋梁修繕時に行う鋼橋の支承取替の他、コンクリート殻の仮置場又は運搬用トラックまでの運搬、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、油圧ジャッキ、手動油圧ポンプ、ガス切断機、ディスクサンダ、電気ドリル、空気圧縮機の損料、鉄筋、型枠材、溶接棒、アンカー材、無収縮モルタル、チゼル等の材料費、損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
支承取替ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
支承形式(P)	現場条件(S)
形式Ⅰ	―
形式Ⅱ	鈑桁
	1箱桁2沓
	1箱桁1沓
形式Ⅲ	鈑桁
	1箱桁2沓
	1箱桁1沓
形式Ⅳ	―

（注）1.形式Ⅰ：金属支承、作用する反力kN（t）　1,471.0kN（150t）以下の場合
2.形式Ⅱ：金属支承、作用する反力kN（t）　1,471.0kN（150t）を超え 2,451.7kN（250t）以下の場合
3.形式Ⅲ：金属支承、作用する反力kN（t）　2,451.7kN（250t）を超え 3,138.1kN（320t）以下の場合
4.形式Ⅳ：ゴム支承、作用する反力kN（t）　1,471.0kN（150t）以下の場合

４．その他

（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁支承工
種　　別：ＰＣ橋支承工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支承取替

積算単位：基(支承基数)
契約単位：基(支承基数)

１．適用範囲
本資料は、橋梁支承工における支承取替に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）支承形式V(PC橋-ゴム支承 1961.3kN(200t)以下)の場合

２．費用内訳
・橋梁補修におけるPC橋の支承取替、アンカーボルト孔明・取付け、反力受替、沓座コンクリートはつり、支承撤去・据付け、沓座鉄筋組立、沓座型枠、沓座モルタル打設、仮設材の撤去・仕上げ、現場内小運搬の他、電力に関する経費、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、油圧ジャッキ、手動油圧ポンプ、ガス切断機、ディスクサンダ、電気ドリル、空気圧縮機の損料及び運転経費、鉄筋、型枠材、溶接棒、アンカー材、無収縮モルタル、チゼル等の材料費、損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・現場補修塗装は含まない。
・***足場、防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（２）防護については、（Ⅲ-直接-16-20）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
チッピング

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、沓座拡幅工におけるチッピングに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）沓座拡幅時に行うはつり作業
（２）チッピング厚さが1～2cmの場合

２．費用内訳
・チッピング作業の他、空気圧縮機、ピックハンマ等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
チッピングユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
削孔

積算単位：孔(孔数)
契約単位：孔(孔数)

１．適用範囲
本資料は、沓座拡幅工における削孔に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）ハンマドリル、削岩機(ハンドハンマ)を用いた上方向へのコンクリート削孔の場合

２．費用内訳
・沓座拡幅におけるコンクリート削孔の他、不達孔(削孔ロス)、ロッド、ビット、ハンマドリル、削孔機、さく岩機、水中ポンプ損料、コアボーリングマシン固定用アンカー打込み、空気圧縮機の費用、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・泥水処理は含まない。
・***チッピング、アンカーボルト挿入***は含まない。
・***足場、設置・撤去(防護)、損料(防護)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）チッピングについては、（Ⅲ-直接-13-31）による。
（２）アンカーボルト挿入については、（Ⅲ-直接-13-33）による。
（３）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（４）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（５）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
アンカーボルト挿入

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、沓座拡幅工におけるアンカーボルト挿入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）沓座拡幅工におけるアンカーボルトの設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）落橋防止装置工におけるアンカーボルト設置の場合

２．費用内訳
・沓座拡幅におけるアンカーボルトの設置、注入材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***削孔***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）削孔については、（Ⅲ-直接-13-32）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼製沓座設置

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、橋梁付属物工における鋼製沓座設置に適用する。

２．費用内訳
・沓座拡幅における鋼製沓座設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***チッピング、削孔、アンカーボルト挿入、コンクリート、型枠、鉄筋、ガス圧接***は含まない。
・***足場、設置・撤去(防護)、損料(防護)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）チッピングについては、（Ⅲ-直接-13-31）による。
（２）削孔については、（Ⅲ-直接-13-32）による。
（３）アンカーボルト挿入については、（Ⅲ-直接-13-33）による。
（４）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
（５）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（６）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（７）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。
（８）足場については、（Ⅲ-直接-16-9）による。
（９）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
(10) 損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
(11) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

鋼板巻立て

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、RC 橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強に鋼板巻立てを行う場合における鋼板巻立てに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）RC 橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強に鋼板巻立て工を行う場合の矩形、小判型支柱（幅 1～10m、奥行 1～6m)、円形支柱（径 1～6m）の橋脚の場合。ただし、鋼板取付工の注入材が無収縮モルタルの場合とする。

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）梁の補強の場合

（２）注入材材質がエポキシ樹脂の場合

２．費用内訳

・RC 橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)補強鋼板巻立てにおけるフーチングアンカー削孔、手摺先行型枠組足場設置･撤去、下地処理、鋼板取付、フーチングアンカー定着、固定アンカー、現場溶接、シール、注入、仕上げ、材料(皿ボルト、ホールインアンカー、寸切りボルト、注入パイプ)、電力に関する経費、機械器具(ディスクサンダ、振動ドリル、グラウトポンプ、グラウトミキサ、グラウト注入機、ハンドミキサ、クレーン付トラック、トラッククレーン、ラフテレーンクレーン)、足場材等その施工に要する全ての費用を含む。

・***製作加工***は含まない。
・土留設置・撤去は含まない。
・根巻きコンクリートに関わる***型枠***は含まない。
・***スタッドジベル、現場溶接***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し***は含まない。
・***鉄筋、ガス圧接、コンクリート***は含まない。
・***定着用アンカー、現場塗装***は含まない。

３．積算条件

鋼板巻立てユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件		
支柱区分(P)	シール材数量(P)	注入材数量(P)
A 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
B 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下

積算条件		
支柱区分(P)	シール材数量(P)	注入材数量(P)
B 支柱	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
C 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
D 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下

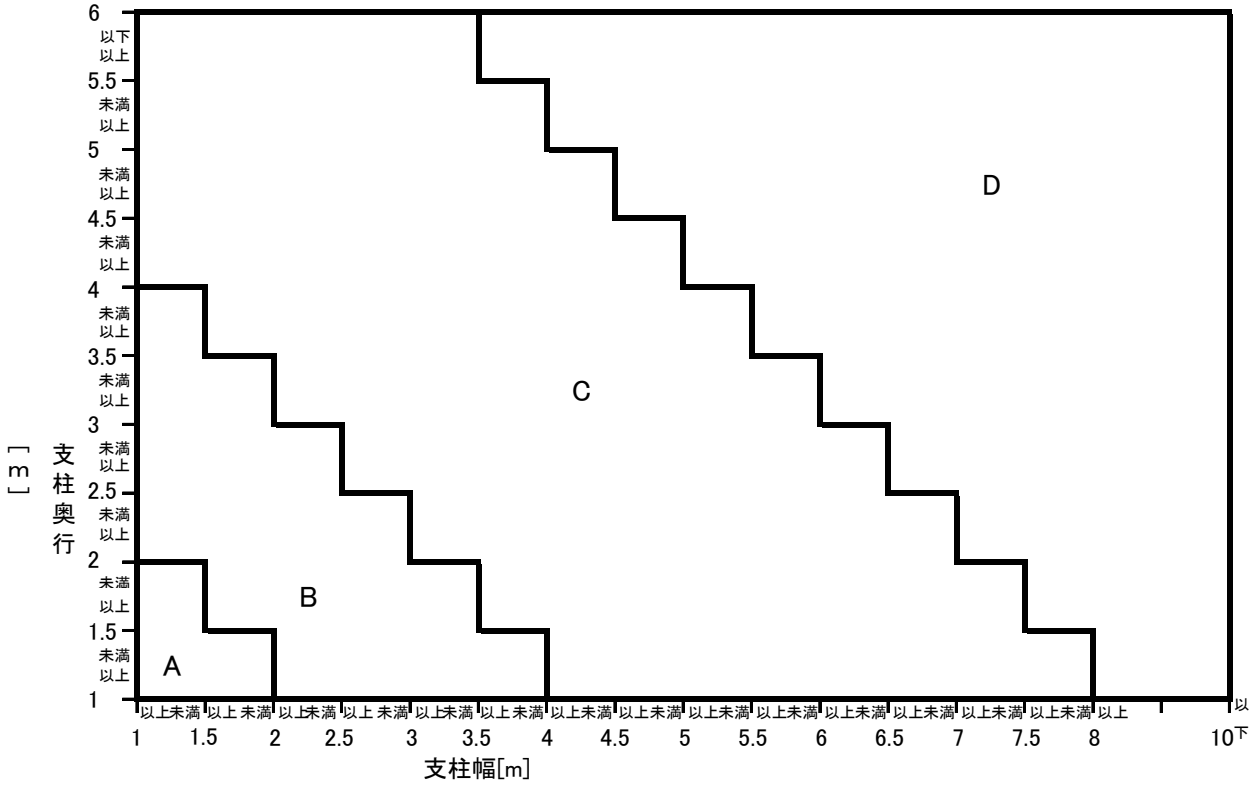
積算条件		
支柱区分(P)	シール材数量(P)	注入材数量(P)
D 支柱	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
E 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
F 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下

積算条件		
支柱区分(P)	シール材数量(P)	注入材数量(P)
F 支柱	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
G 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
H 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下

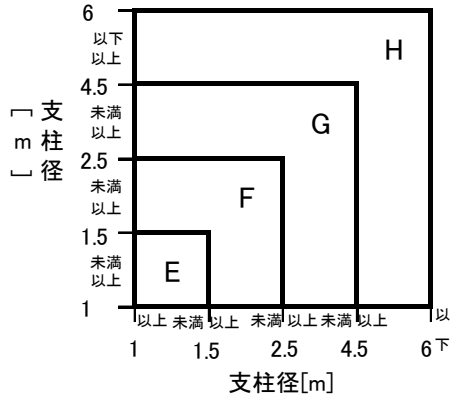
積算条件		
支柱区分(P)	シール材数量(P)	注入材数量(P)
H 支柱	1.5kg/10m2 以上 6kg/10m2 以下	710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	6kg/10m2 超え 11kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	11kg/10m2 超え 16kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下
	16kg/10m2 超え 21.5kg/10m2 以下	550kg/10m2 以上 630kg/10m2 以下
		630kg/10m2 超え 710kg/10m2 以下
		710kg/10m2 超え 800kg/10m2 以下

（注）適用出来る支柱区分については、下記を参照（支柱幅、支柱奥行、支柱径は、補強前の支柱寸法とする)。

〇矩形(小判型を含む)支柱



○円形支柱



4．その他

（1）製作加工については、(Ⅲ-直接-8-6）による。

（2）型枠については、(Ⅲ-直接-3-23）による。

（3）スタッドジベルについては、(Ⅲ-直接-8-9）による。

（4）現場溶接については、(Ⅲ-直接-10-1）による。

（5）床掘り(土砂）については、(Ⅲ-直接-1-28）による。

（6）床掘り(岩石）については、(Ⅲ-直接-1-29）による。

（7）埋戻しについては、(Ⅲ-直接-1-31）による。

（8）鉄筋については、(Ⅲ-直接-3-26）による。

（9）ガス圧接については、(Ⅲ-直接-3-27）による。

(10) コンクリートについては、(Ⅲ-直接-3-19）による。

(11) 定着用アンカーについては、(Ⅲ-直接-13-36）による。

(12) 現場塗装については、(Ⅲ-直接-13-38）による。

(13)「1．適用範囲」及び「3．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：ＲＣ橋脚鋼板巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼板取付

積算単位：m2(鋼板取付面積)
契約単位：m2(鋼板取付面積)

１．適用範囲
本資料は、ユニット区分「鋼板巻立て」に該当しないRC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強に鋼板巻立てを行う場合の鋼板取付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強に鋼板巻立てを行う場合の矩形、小判型支柱(幅1～10m、奥行き1～6m)、円形支柱(径1～6m)以外の橋脚の場合。ただし、鋼板取付の注入材が無収縮モルタルの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）梁の補強の場合
（２）注入材材質がエポキシ樹脂の場合

２．費用内訳
・RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)補強の鋼板巻立てにおける鋼板取付、下地処理、固定アンカー、シール、注入の他、皿ボルト、ホールインアンカー、寸切りボルト、注入パイプ及び電力に関する経費、ディスクサンダ、振動ドリル、グラウト注入機、グラウトポンプ、グラウトミキサ、ハンドミキサ、クレーン付トラック、トラッククレーン等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***製作加工、スタッドジベル***は含まない。
・***現場溶接、定着用アンカー、鉄筋、ガス圧接***は含まない。
・***現場塗装***は含まない。
・***型枠、コンクリート***は含まない。
・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）製作加工については、（Ⅲ-直接-8-6）による。
（２）スタッドジベルについては、（Ⅲ-直接-8-9）による。
（３）現場溶接については、（Ⅲ-直接-10-1）による。
（４）定着用アンカーについては、（Ⅲ-直接-13-36）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。
（７）現場塗装については、（Ⅲ-直接-13-38）による。
（８）型枠については、（Ⅲ-直接-3-25）による。
（９）コンクリートについては、（Ⅲ-直接-3-17）による。
(10) 足場については、（Ⅲ-直接-16-10）による。
(11) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：ＲＣ橋脚鋼板巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼板取付

積算単位：m2(鋼板取付面積)
契約単位：m2(鋼板取付面積)

１．適用範囲
本資料は、ユニット区分「鋼板巻立て」に該当しないRC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強に鋼板巻立てを行う場合の鋼板取付に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強に鋼板巻立てを行う場合の矩形、小判型支柱(幅1～10m、奥行き1～6m)、円形支柱(径1～6m)以外の橋脚の場合。ただし、鋼板取付の注入材が無収縮モルタルの場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）梁の補強の場合
（２）注入材材質がエポキシ樹脂の場合

２．費用内訳
・RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)補強の鋼板巻立てにおける鋼板取付、下地処理、固定アンカー、シール、注入の他、皿ボルト、ホールインアンカー、寸切りボルト、注入パイプ及び電力に関する経費、ディスクサンダ、振動ドリル、グラウト注入機、グラウトポンプ、グラウトミキサ、ハンドミキサ、クレーン付トラック、トラッククレーン等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***製作加工、スタッドジベル***は含まない。
・***現場溶接、定着用アンカー、鉄筋、ガス圧接***は含まない。
・***現場塗装***は含まない。
・***型枠、コンクリート***は含まない。
・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）製作加工については、（Ⅲ-直接-8-6）による。
（２）スタッドジベルについては、（Ⅲ-直接-8-9）による。
（３）現場溶接については、（Ⅲ-直接-10-1）による。
（４）定着用アンカーについては、（Ⅲ-直接-13-36）による。
（５）鉄筋については、（Ⅲ-直接-3-28）による。
（６）ガス圧接については、（Ⅲ-直接-3-29）による。

Ⅲ-直接-13-37

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)、ＲＣ橋脚鋼板巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場塗装

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、RC橋脚鋼板巻立て工における現場塗装に適用する。

２．費用内訳
・RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)補強の鋼板巻立てにおける現場塗装の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-10）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：橋脚コンクリート巻立て工(構造物単位)、橋脚コンクリート巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート削孔

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強用コンクリート巻立て工におけるコンクリート削孔に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）フーチング及び支柱のコンクリート削孔の場合
（２）エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）梁の補強のためのコンクリート削孔の場合
（２）フーチングの補強のためのコンクリート削孔の場合
（３）PC中間貫通鋼材貫入のための削孔の場合
（４）注入が不要なアンカー材を使用する場合の場合
（５）エポキシ樹脂系以外の注入材を使用する場合

２．費用内訳
・RC橋脚コンクリート巻立てにおけるコンクリート削孔、注入材、加工・組立が不要なアンカー材(製品)、ハンドハンマ、ハンマドリル、空気圧縮機損料、燃料、エポキシ樹脂注入器具、ロッド、ビット損耗費、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
コンクリート削孔ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
アンカー材の有無(P)	アンカー材径(P)
有り	D16
	D19
	D22
	D25
	D29
	D32
	D35
無し	D16
	D19
	D22
	D25

積算条件	
アンカー材の有無(P)	アンカー材径(P)
無し	D29
	D32
	D35

（注）1.鉄筋（異径棒鋼）をアンカー材とする場合は、鉄筋工により別途計上する。
2.アンカー材の有無「有り」選択時
材　　料：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：橋脚コンクリート巻立て工(構造物単位)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリート巻立て

積算単位:m3(体積)
契約単位:m3(体積)

１．適用範囲

本資料は、RC 橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）における補強用のコンクリート巻立てに適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）矩形、小判型支柱（幅 0.8～15.0m、奥行 0.7～4.0m)、巻立て厚 0.25m の補強用コンクリート巻立ての場合。ただし、幅・奥行は補強前の支柱寸法とする。

（２）円形支柱（径 1.5～4.0m)、巻立て厚 0.25m の補強用コンクリート巻立ての場合。ただし、径は補強前の支柱寸法とする。

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）梁の補強の場合

（２）フーチングの補強の場合

（３）一般養生以外の特殊養生（練炭養生、ジェットヒータ養生）を行う場合

２．費用内訳

・橋脚コンクリート巻立てにおける手摺先行型枠組足場設置･撤去、下地処理、型枠、コンクリート打設、養生、下地処理に使用するピックハンマ、空気圧縮機損料及び燃料、バイブレータ、ポンプ損料、養生マット、足場、一般型枠、合板円形型枠、仮設材持上(下)げ機械に要する費用、既設排水管の撤去・設置(新設は除く)、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・雪寒仮囲いは含まない。
・***コンクリート削孔***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、鉄筋、ガス圧接***は含まない。

３．積算条件

コンクリート巻立てユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す)

積算条件		
支柱区分(P)	施工内容(P)	コンクリート規格(P)
A 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種

積算条件		
支柱区分(P)	施工内容(P)	コンクリート規格(P)
A 支柱	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
B 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
C 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種

積算条件		
支柱区分(P)	施工内容(P)	コンクリート規格(P)
D 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
E 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
F 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種

積算条件		
支柱区分(P)	施工内容(P)	コンクリート規格(P)
F 支柱	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
G 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
H 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
I 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種

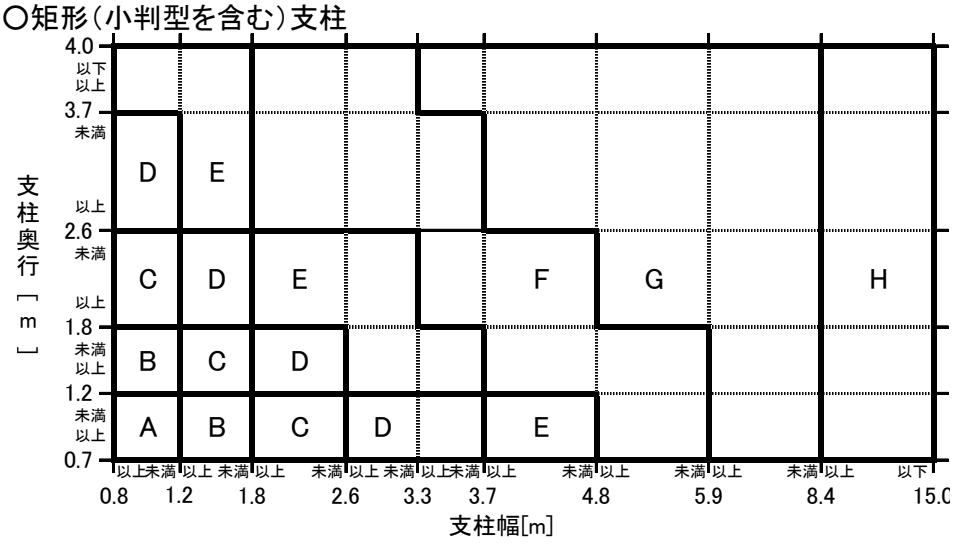
積算条件		
支柱区分(P)	施工内容(P)	コンクリート規格(P)
I 支柱	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
J 支柱	a 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	b 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	c 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種
	d 施工	24-8-20(25)(普通)
		24-8-20(25)(高炉)
		24-8-40(高炉)
		各種

（注）1.支柱区分については、下記を参照（支柱幅、支柱奥行、支柱径は、補強前の支柱寸法とする)。

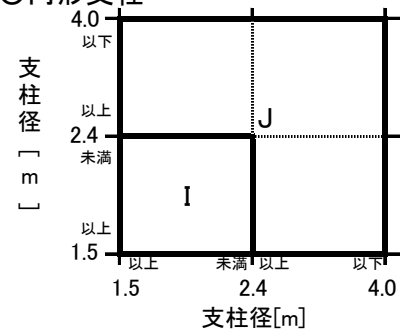
2.施工内容については、下記を参照。

3.積算条件：各種の場合

コンクリート規格：各種（文字入力）



○円形支柱



○施工区分

施工区分 / 施工内容	a施工	b施工	c施工	d施工
足場設置・撤去	○	○	―	―
下地処理	○	―	○	―
型枠設置・撤去	○	○	○	○
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設・養生	○	○	○	○

(注)「○」の作業が費用内訳に含んでいる。

4．その他

（1）コンクリート削孔については、(Ⅲ-直接-13-39）による。

（2）床掘り(土砂)については、(Ⅲ-直接-1-28）による。

（3）床掘り(岩石)については、(Ⅲ-直接-1-29）による。

（4）埋戻しについては、(Ⅲ-直接-1-31）による。

（5）鉄筋については、(Ⅲ-直接-3-28）による。

（6）ガス圧接については、(Ⅲ-直接-3-29）による。

（7）「1．適用範囲」及び「3．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）１４維持編

工事区分：河川維持
工　　種：巡視・巡回工
種　　別：河川巡視工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
緊急巡視

積算単位：回(回数)
契約単位：回(回数)

１．適用範囲
本資料は、河川巡視工における緊急巡視に適用する。

２．費用内訳
・河川維持のために行う河川構造物、堤防等の緊急時の巡視等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：巡視・巡回工
種　　別：道路巡回工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
通常巡回

積算単位：回(回数)
契約単位：回(回数)

１．適用範囲
本資料は、道路巡回工における通常巡回に適用する。

２．費用内訳
・道路維持のために行う通常時の巡視巡回等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
通常巡回ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：巡視・巡回工
種　　別：道路巡回工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
緊急巡回

積算単位：回(回数)
契約単位：回(回数)

１．適用範囲
本資料は、道路巡回工における緊急巡回に適用する。

２．費用内訳
・道路維持のために行う緊急時の巡回等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
緊急巡回ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：除草工、植栽維持工
種　　別：堤防除草工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
除草

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防及び高水敷等における除草に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防及び高水敷等での機械除草の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）芝育成を目的とした芝堤除草（芝刈）、芝養生（抜取り）、薬剤散布の場合

２．費用内訳
・河川堤防及び高水敷等での除草における除草作業の他、燃料、補助刈りに使用する機械経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・梱包は含まない。
・飛散防止設置は含まない。
・***集草(1)(除草)、集草(2)(除草)、積込・荷卸(除草)、運搬(除草)***は含まない。
・***収集・集積(散在塵芥処理)、運搬(散在塵芥処理)、収集・集積(1)(堆積塵芥処理)、収集・集積(2)(堆積塵芥処理)、運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
除草ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
機械使用条件(S)	除草機種(S)
持込	大型自走式(ロングリーチ式)
	大型自走式(ゴム履帯式)
	大型自走式(ｱﾙﾐ履帯式),遠隔操縦式(刈幅185,120㎝)
	ハンドガイド式(刈幅150㎝)
	肩掛式(刈幅カッタ径255㎜)
貸与	大型自走式(ゴム履帯式)
	大型自走式(ロングリーチ式),遠隔操縦式(刈幅120㎝)
	大型自走式(アルミ履帯式)
	遠隔操縦式(刈幅185㎝)

４．その他

（１）集草(1)(除草)については、（Ⅲ-直接-14-6）による。
（２）集草(2)(除草)については、（Ⅲ-直接-14-7）による。
（３）積込・荷卸(除草)については、（Ⅲ-直接-14-9）による。
（４）運搬(除草)については、（Ⅲ-直接-14-11）による。
（５）収集・集積(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-42）による。
（６）運搬(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-43）による。
（７）収集・集積(1)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-44）による。
（８）収集・集積(2)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-45）による。
（９）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
(10) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：除草工
種　　別：道路除草工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
除草

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現道及び道路予定地における除草に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現道及び道路予定地の除草

２．費用内訳
・道路除草工における障害物の除去、除草作業、補助刈り(機械除草にかかわる人力による仕上げ除草)の他、燃料、かま、飛び石防護材等、その施工に要する全ての費用を含む。

・処分費は含まない。
・***集草(除草)、積込・運搬(除草)***は含まない。

３．積算条件
除草ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
作業形態(S)	飛び石防護の有無(S)
肩掛け式	有り
	無し
ハンドガイド式	―
人力除草	―

４．その他
（１）集草(除草)については、（Ⅲ-直接-14-8）による。
（２）積込・運搬(除草)については、（Ⅲ-直接-14-10）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：除草工、植栽維持工
種　　別：堤防除草工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集草(1)(除草)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防及び高水敷等の除草における機械による集草作業である、集草(1)(除草)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防及び高水敷での除草における集草の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）芝育成を目的とした芝堤除草（芝刈）、芝養生（抜取り）、薬剤散布の場合
（２）人力による集草の場合

２．費用内訳
・河川堤防及び高水敷等での除草における集草の他、集草機械、燃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・梱包は含まない。
・処分費は含まない。
・***除草、積込・荷卸(除草)、運搬(除草)***は含まない。
・***収集・集積(散在塵芥処理)、運搬(散在塵芥処理)、収集・集積(1)(堆積塵芥処理)、収集・集積(2)(堆積塵芥処理)、運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
集草(1)(除草)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
機械使用条件(S)	集草機種(S)
持込	大型自走式(アルミ履帯式)
	遠隔操縦式(集草幅180cm)
	遠隔操縦式(集草幅160cm)
	ハンドガイド式(集草幅200cm)
貸与	大型自走式(アルミ履帯式)
	遠隔操縦式(集草幅180cm)
	遠隔操縦式(集草幅160cm)

（注）集草機械は各除草機械のアタッチメントでレーキ式（タイン式）を標準とする。なお、遠隔操縦式の集草幅180cmは刈幅185cm、集草幅160cmは刈幅120cmの除草機械アタッチメントである。

４．その他

（１）除草については、（Ⅲ-直接-14-4）による。
（２）積込・荷卸(除草)については、（Ⅲ-直接-14-9）による。
（３）運搬(除草)については、（Ⅲ-直接-14-11）による。
（４）収集・集積(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-42）による。
（５）運搬(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-43）による。
（６）収集・集積(1)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-44）による。
（７）収集・集積(2)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-45）による。
（８）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：除草工、植栽維持工
種　　別：堤防除草工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集草(2)(除草)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防及び高水敷等の除草における人力による集草作業である、集草(2)(除草)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防及び高水敷での除草における集草の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）芝育成を目的とした芝堤除草（芝刈）、芝養生（抜取り）、薬剤散布の場合
（２）機械による集草の場合

２．費用内訳
・河川堤防及び高水敷等での除草における集草等、その施工に要する全ての費用を含む。

・梱包は含まない。
・処分費は含まない。
・***除草、積込・荷卸(除草)、運搬(除草)***は含まない。
・***収集・集積(散在塵芥処理)、運搬(散在塵芥処理)、収集・集積(1)(堆積塵芥処理)、収集・集積(2)(堆積塵芥処理)、運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
集草(2)(除草)ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）除草については、（Ⅲ-直接-14-4）による。
（２）積込・荷卸(除草)については、（Ⅲ-直接-14-9）による。
（３）運搬(除草)については、（Ⅲ-直接-14-11）による。
（４）収集・集積(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-42）による。
（５）運搬(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-43）による。
（６）収集・集積(1)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-44）による。
（７）収集・集積(2)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-45）による。
（８）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
（９）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：除草工
種　　別：道路除草工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集草(除草)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現道及び道路予定地における除草後の集草（除草）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現道及び道路予定地の除草
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）除草を伴わない集草のみの場合

２．費用内訳
・道路除草工における集草作業の他、くまで、竹ほうき、フォーク等、その施工に要する全ての費用を含む。

・処分費は含まない。
・***除草、積込・運搬(除草)***は含まない。

３．積算条件
集草（除草）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）除草については、（Ⅲ-直接-14-4）による。
（２）積込・運搬(除草)については、（Ⅲ-直接-14-10）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：除草工、植栽維持工
種　　別：堤防除草工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
積込・荷卸(除草)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防及び高水敷等の除草における積込・荷卸に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防及び高水敷での除草における積込・荷卸の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）芝育成を目的とした芝堤除草（芝刈）、芝養生（抜取り）、薬剤散布の場合
（２）運搬機械が現地（天端や法尻等）に入れない場合

２．費用内訳
・河川堤防及び高水敷等での除草における積込み・荷卸し等、その施工に要する全ての費用を含む。

・梱包は含まない。
・処分費は含まない。
・***除草、集草(1)(除草)、集草(2)(除草)、運搬(除草)***は含まない。
・***収集・集積(散在塵芥処理)、運搬(散在塵芥処理)、収集・集積(1)(堆積塵芥処理)、収集・集積(2)(堆積塵芥処理)、運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
積込･荷卸(除草)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
機種(S)
ダンプトラック2t(梱包無し)
ダンプトラック2t(梱包有り)
パッカー車(回転式)8m3

（注）運搬機械はダンプトラックを標準とし、処分場等受入れ側の指定機械がパッカー車のみに限られる場合は、パッカー車を選定する。

４．その他
（１）除草については、（Ⅲ-直接-14-4）による。
（２）集草(1)(除草)については、（Ⅲ-直接-14-6）による。
（３）集草(2)(除草)については、（Ⅲ-直接-14-7）による。
（４）運搬(除草)については、（Ⅲ-直接-14-11）による。
（５）収集・集積(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-42）による。

（６）運搬(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-43）による。
（７）収集・集積(1)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-44）による。
（８）収集・集積(2)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-45）による。
（９）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
(10) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：除草工
種　　別：道路除草工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
積込・運搬(除草)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、現道及び道路予定地における除草後の積込・運搬（除草）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現道及び道路予定地の除草における積込・運搬の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）除草を伴わない運搬のみの場合
（２）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・道路除草工における積込運搬作業の他、くまで、竹ほうき、フォーク等、その施工に要する全ての費用を含む。

・処分費は含まない。
・***除草、集草(除草)***は含まない。

３．積算条件
積込・運搬（除草）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
運搬機種(S)	ダンプトラック運搬距離(S)	パッカー車運搬距離(S)
ダンプトラック2t積	6.5km以下	—
	11.5km以下	—
	14.5km以下	—
	17.5km以下	—
	19.5km以下	—
	21.5km以下	—
	23.5km以下	—
	26.0km以下	—
	28.0km以下	—
	30.0km以下	—
	32.0km以下	—
	34.5km以下	—
	35.0km以下	—

積算条件		
運搬機種(S)	ダンプトラック運搬距離(S)	パッカー車運搬距離(S)
ダンプトラック2t積	各種	―
パッカー車4m3積	―	4.0km以下
		7.0km以下
		10.0km以下
		14.0km以下
		17.5km以下
		21.0km以下
		25.0km以下
		29.0km以下
		33.0km以下
		35.0km以下
		各種

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は平均値とする。
2.運搬距離が35kmを超える場合は各種とする。
3.積算条件：各種の場合
運搬距離(片道)：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他
（１）除草については、（Ⅲ-直接-14-4）による。
（２）集草(除草)については、（Ⅲ-直接-14-8）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：除草工、植栽維持工
種　　別：堤防除草工、樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
運搬（除草）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防及び高水敷等の除草における運搬（除草）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防及び高水敷での除草における運搬の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・河川堤防及び高水敷等での除草における運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・処分費は含まない。
・***除草、集草(1)(除草)、集草(2)(除草)、積込・荷卸(除草)***は含まない。

３．積算条件
運搬（除草）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
運搬機種(S)	梱包の有無(P)	DID区間の有無(S)	運搬距離(片道)(S)
ダンプトラック2t積	有り	無し	1.0km以下
			2.5km以下
			4.0km以下
			6.0km以下
			7.5km以下
			9.5km以下
			11.0km以下
			13.0km以下
			17.0km以下
			22.0km以下
			25.0km以下
			32.5km以下
			40.0km以下
			各種
		有り	1.0km以下

積算条件			
運搬機種(S)	梱包の有無(P)	DID区間の有無(S)	運搬距離(片道)(S)
ダンプトラック2t積	有り	有り	2.5km以下
			4.0km以下
			5.5km以下
			7.0km以下
			8.5km以下
			10.0km以下
			12.0km以下
			15.5km以下
			19.0km以下
			21.5km以下
			26.0km以下
			40.0km以下
			各種
	無し	無し	1.0km以下
			2.5km以下
			4.0km以下
			6.0km以下
			7.5km以下
			9.5km以下
			11.0km以下
			13.0km以下
			17.0km以下
			22.0km以下
			25.0km以下
			32.5km以下
			40.0km以下
			各種
		有り	1.0km以下
			2.5km以下
			4.0km以下
			5.5km以下
			7.0km以下
			8.5km以下
			10.0km以下
			12.0km以下
			15.5km以下
			19.0km以下
			21.5km以下
			26.0km以下
			40.0km以下
			各種

積算条件			
運搬機種(S)	梱包の有無(P)	DID区間の有無(S)	運搬距離(片道)(S)
パッカー車(回転式) 8m3	―	無し	5.0km以下
			6.5km以下
			8.0km以下
			10.0km以下
			12.0km以下
			14.0km以下
			16.0km以下
			18.0km以下
			20.5km以下
			26.5km以下
			35.0km以下
			40.0km以下
			各種
		有り	5.0km以下
			6.0km以下
			7.5km以下
			9.0km以下
			11.0km以下
			12.5km以下
			14.5km以下
			16.0km以下
			18.0km以下
			22.0km以下
			27.0km以下
			40.0km以下
			各種

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は平均値とする。
2.DID(人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3.運搬距離が40kmを超える場合は各種とする。
4.積算条件：各種の場合
運搬距離(片道)：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他
（１）除草については、（Ⅲ-直接-14-4）による。
（２）集草(1)(除草)については、（Ⅲ-直接-14-6）による。
（３）集草(2)(除草)については、（Ⅲ-直接-14-7）による。
（４）積込・荷卸(除草)については、（Ⅲ-直接-14-9）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：芝養生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
施肥

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、芝養生工における施肥に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）化学肥料の散布量が300kg/10,000m2以上1,000kg/10,000m2未満の場合

２．費用内訳
・堤防養生のための芝の施肥作業の他、現場内小運搬、肥料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
施肥ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）施肥については、積算条件は、なしであるが、プライス条件は「肥料種類」となっている。そのため、工事数量総括表におけるプライス条件並びに特記仕様書に「肥料種類」を明記する。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：芝養生工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
抜根

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、芝養生工における抜根に適用する。

２．費用内訳
・芝の繁茂している河川堤防、高水敷等において、芝育成を目的とした芝養生工における抜根、集草、積込運搬作業の他、運搬に必要な機械等、その施工に要する全ての費用を含む。

・処分費は含まない。
・***収集・集積(散在塵芥処理)、運搬(散在塵芥処理)、収集・集積(1)(堆積塵芥処理)、収集・集積(2)(堆積塵芥処理)、運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
抜根ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
作業区分(P)
抜根
集草
積込運搬

（注）積込運搬は、運搬距離15km（片道）以下の場合とする。

４．その他
（１）収集・集積(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-42）による。
（２）運搬(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-43）による。
（３）収集・集積(1)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-44）による。
（４）収集・集積(2)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-45）による。
（５）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
伐木・伐竹（伐木除根）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工における伐木・伐竹（伐木除根）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
(1) 河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹の場合

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹の他、伐木・伐竹を運搬可能な大きさに切断する作業、除草(下草刈り)及び草刈り機(肩掛式)、チェンソーの運転経費、損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・刈草及び***集積(1)(伐木除根)***、***集積(2)(伐木除根)***は含まない。
・***除根(伐木除根)***、***整地(伐木除根)***、***積込(伐木除根)***、***運搬(伐木除根)***は含まない。

３．積算条件
伐木・伐竹（伐木除根）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
樹木・竹の区分(S)	樹木密集度(S)
伐木	粗
	密
伐竹	―

（注）樹木密集度は下記のとおりとする。
・粗とは、概ね50（本／100m2）未満とする。
・密とは、概ね50（本／100m2）以上とする。

４．その他
（１）集積(1)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-17）による。
（２）集積(2)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-18）による。
（３）除根(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-15）による。
（４）整地(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-16）による。
（５）積込(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-19）による。
（６）運搬(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-20）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
除根（伐木除根）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工において除根（伐木除根）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木や竹の除根の場合

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の除根等、その施工に要する全ての費用を含む。

・掘った根の集積は含まない。
・***伐木・伐竹(伐木除根)、整地(伐木除根)、集積(1)(伐木除根)、集積(2)(伐木除根)、積込(伐木除根)、運搬(伐木除根)***は含まない。

３．積算条件
　除根（伐木除根）ユニットの積算条件区分はない。

（注）対象面積は、伐木・伐竹面積とする。

４．その他
（１）伐木・伐竹(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-14）による。
（２）整地(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-16）による。
（３）集積(1)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-17）による。
（４）集積(2)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-18）による。
（５）積込(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-19）による。
（６）運搬(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-20）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
整地（伐木除根）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工おける除根後の整地（伐木除根）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の除根後の整地の場合

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の除根後の整地等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***伐木・伐竹(伐木除根)、除根(伐木除根)、集積(1)(伐木除根)、集積(2)(伐木除根)、積込(伐木除根)、運搬(伐木除根)***は含まない。

３．積算条件
整地（伐木除根）ユニットの積算条件区分はない。

（注）対象面積は、伐木・伐竹面積とする。

４．その他
（１）伐木・伐竹(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-14）による。
（２）除根(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-15）による。
（３）集積(1)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-17）による。
（４）集積(2)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-18）による。
（５）積込(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-19）による。
（６）運搬(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-20）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集積(1)(伐木除根)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工における除根後の機械による集積(1)(伐木除根)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹後の集積の場合

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹後の集積、人力による補助作業、現場内小運搬、現場外搬出の積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***伐木・伐竹(伐木除根)、除根(伐木除根)、整地(伐木除根)、運搬(伐木除根)***は含まない。

３．積算条件
集積(1)(伐木除根)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
除根作業の有無(S)
有り
無し

（注）1.対象面積は、伐木・伐竹面積とする。
2.現場内小運搬は200m程度とする。

４．その他
（１）伐木・伐竹(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-14）による。
（２）除根(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-15）による。
（３）整地(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-16）による。
（４）運搬(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-20）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
集積(2)(伐木除根)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工における除根後の人力による集積(2)(伐木除根)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹後の集積の場合

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹後の集積、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***伐木・伐竹(伐木除根)、除根(伐木除根)、整地(伐木除根)、積込(伐木除根)、運搬(伐木除根)***は含まない。
・現場外搬出時の積込みは含まない。

３．積算条件
集積(2)(伐木除根)ユニットの積算条件区分はない。

（注）1.対象面積は、伐木・伐竹面積とする。
2.現場内小運搬は100m程度とする。

４．その他
（１）伐木・伐竹(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-14）による。
（２）除根(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-15）による。
（３）整地(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-16）による。
（４）積込(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-19）による。
（５）運搬(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-20）による。
（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
積込（伐木除根）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工における集積後の積込(伐木除根)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹後の集積物の積込みの場合
（２）機械が搬入できずに、人力により集積した場合

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹後の集積物の積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***伐木・伐竹(伐木除根)、除根(伐木除根)、整地(伐木除根)、集積(1)(伐木除根)、集積(2)(伐木除根)、運搬(伐木除根)***は含まない。

３．積算条件
積込(伐木除根)ユニットの積算条件区分はない。

（注）対象面積は、伐木・伐竹面積とする。

４．その他
（１）伐木・伐竹(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-14）による。
（２）除根(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-15）による。
（３）整地(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-16）による。
（４）集積(1)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-17）による。
（５）集積(2)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-18）による。
（６）運搬(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-20）による。
（７）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：堤防養生工
種　　別：伐木除根工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
運搬（伐木除根）

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工において現場外搬出に伴う運搬（伐木除根）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹の運搬

２．費用内訳
・河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹の運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・集積物の処分費は含まない。
・***伐木・伐竹(伐木除根)、除根(伐木除根)、整地(伐木除根)、集積(1)(伐木除根)、集積(2)(伐木除根)、積込(伐木除根)***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

（注）対象面積は、伐木・伐竹面積とする。

４．その他
（１）伐木・伐竹(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-14）による。
（２）除根(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-15）による。
（３）整地(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-16）による。
（４）集積(1)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-17）による。
（５）集積(2)(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-18）による。
（６）積込(伐木除根)については、（Ⅲ-直接-14-19）による。
（７）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：クラック補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下地処理

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、クラック補修工における下地処理（クラック補修）に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物のクラック補修を行う際の下地処理等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。
・***表面処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）表面処理については、（Ⅲ-直接-14-27）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：橋脚コンクリート巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
下地処理

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、ユニット区分「コンクリート巻立て」に該当しないRC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強用コンクリート巻立てにおける下地処理に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）チッピングによる下地処理の場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）梁の補強の場合
　（２）フーチングの補強の場合
　（３）支柱幅0.8m以上15m以下、奥行0.7m以上4.0m以下の矩形（小判型を含む）支柱を施工する場合。ただし、幅・奥行は補強前の支柱寸法とする。
　（４）支柱径1.5m以上4.0m以下の円形支柱を施工する場合。ただし、径は補強前の支柱寸法とする。

２．費用内訳
・RC橋脚コンクリート巻立てを行う際の下地処理の他、ピックハンマ、空気圧縮機の機械損料及び燃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
　下地処理ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
　（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-10）による。
　（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：クラック補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鉄筋防錆処理

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、クラック補修工における鉄筋防錆処理に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物のクラック補修を行う際の鉄筋防錆処理等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：クラック補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ひび割れ注入

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、クラック補修工におけるひび割れ注入に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）小さなクラックへのエポキシ樹脂注入等の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）大きなクラック部への充填補修の場合

２．費用内訳
・コンクリート構造物の小さなクラックへのエポキシ樹脂注入等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。
・***下地処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）下地処理については、（Ⅲ-直接-14-21）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：クラック補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ひび割れ充填

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、クラック補修工におけるひび割れ充填に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）大きなクラック部への充填補修の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）小さなクラックにエポキシ樹脂等を注入する作業の場合

２．費用内訳
・コンクリート構造物の大きなクラックへの充填（パテ等)、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。
・***コンクリートはつり、下地処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）コンクリートはつりについては、（Ⅲ-直接-15-13）による。
（３）下地処理については、（Ⅲ-直接-14-21）による。
（４）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：クラック補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
断面修復

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、クラック補修工における断面修復に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物のクラック補修を行う際のはつり断面の修復等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。
・***コンクリートはつり***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）コンクリートはつりについては、（Ⅲ-直接-15-13）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：クラック補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
表面処理

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、クラック補修工における下地処理部の表面処理に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物のクラック補修を行う際の下地処理部の表面処理等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。
・***下地処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）下地処理については、（Ⅲ-直接-14-21）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：ボーリンググラウトエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
削孔

積算単位：孔(孔数)
契約単位：孔(孔数)

１．適用範囲
　本資料は、注入設備２セット施工により、河川構造物（樋管・樋門・水門・堤防等）周辺の止水、空洞充填等を目的にセメントベントナイトを注入するボーリンググラウト工の削孔に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれの条件に該当する場合
（１）堤体上から、土を削孔し注入するロッド工法
（２）構造物内空断面が、おおむね高さ1.2×幅1.5m以上の構造物（樋管等）内コンクリート床版を削孔してその裏側に注入するパッカー工法

２．費用内訳
・ボーリンググラウトにおける削孔、削孔準備、移動、削孔片付、注入準備の他、グラウトミキサ、グラウトポンプ、グラウト流量圧力測定装置、給水用水中ポンプ、水槽損料、ボーリングロッド、カップリング、シングルコアチューブ、コアビット、コアカップリング、コアチューブ、アンカー損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***注入、注入設備据付・解体、足場***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）注入については、（Ⅲ-直接-14-29）による。
（２）注入設備据付・解体については、（Ⅲ-直接-14-30）による。
（３）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：ボーリンググラウトエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
注入

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、注入設備２セット施工により、河川構造物（樋管・樋門・水門・堤防等）周辺の止水、空洞充填等を目的にセメントベントナイトを注入するボーリンググラウト工の注入に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれの条件に該当する場合。
（１）堤体上から、土を削孔し注入するロッド工法
（２）構造物内空断面が、おおむね高さ1.2×幅1.5m以上の構造物（樋管等）内コンクリート床版を削孔してその裏側に注入するパッカー工法

２．費用内訳
・ボーリンググラウトにおける注入の他、グラウトミキサ、グラウトポンプ、グラウト流量圧力測定装置、給水用水中ポンプ、ホース、注入機材の損料、記録紙等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***削孔、注入設備据付・解体、足場***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）削孔については、（Ⅲ-直接-14-28）による。
（２）注入設備据付・解体については、（Ⅲ-直接-14-30）による。
（３）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：ボーリンググラウトエ
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
注入設備据付・解体

積算単位：回(回数)
契約単位：式or回(回数)

１．適用範囲
　本資料は、注入設備２セット施工により、河川構造物周辺の止水、空洞充填等を目的にセメントベントナイトを注入するボーリンググラウト工を施工する場合の、注入設備据付・撤去に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ロッド工法における注入設備据付・解体
（２）パッカー工法における注入設備据付・解体

２．費用内訳
・ボーリンググラウトにおける注入設備の据付・解体の他、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　注入設備据付・解体ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：欠損部補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
欠損部取壊し

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、欠損部補修工における欠損部取壊しに適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物補修時の欠損部のとりこわし等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（３）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：構造物補修工
種　　別：欠損部補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
欠損部補修

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
本資料は、欠損部補修工における欠損部補修に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート構造物補修時の欠損部補修、清掃、防錆剤塗布、モルタル復旧、現場内小運搬の他、機械経費、鉄筋防錆剤等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：路面補修工、舗装工
種　　別：コンクリート舗装補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

アスファルト注入

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲

本資料は、コンクリート舗装及びオーバーレイされたコンクリート舗装補修工におけるアスファルト注入に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）コンクリート舗装及びオーバーレイされたコンクリート舗装補修（コンクリート版厚20cm～25cm）におけるアスファルト注入

２．費用内訳

・コンクリート舗装版及びオーバーレイされた舗装版の削孔、アスファルト注入の他、ビット及びロッド損耗費、布栓、木栓、モルタル等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：路面補修工、舗装工
種　　別：コンクリート舗装補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

目地補修(舗装版目地補修)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、コンクリート舗装版の充填材による目地補修（舗装版目地補修）に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート舗装版における目地補修の他、ジョイントクリーナカッタ、充填材料、空気圧縮機運転、ジョイントクリーナ、ジョイントシーラ、アスファルトケットル、ほうき、ハケ、プライマー等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：路面補修工、舗装工
種　　別：コンクリート舗装補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

クラック防止シート張(舗装版目地補修)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲

本資料は、コンクリート舗装版の目地補修のうちクラック防止シート張（舗装版目地補修）に適用する。

２．費用内訳

・コンクリート舗装版等における目地補修の他、空気圧縮機運転、ほうき、ハケ、プライマー等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。

４．その他

（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：路面補修工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
わだち掘れ補修

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、アスファルト舗装版のわだち掘れ補修に適用する。

２．費用内訳
・連続的に発生するわだち掘れ補修等、その施工に要する全ての費用を含む。

・車線中央部の舗設は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：路面補修工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
パッチング

積算単位：t(質量)
契約単位：t(質量)

１．適用範囲
本資料は、道路維持作業における舗装面の欠損部補修であるパッチングに適用する。

２．費用内訳
・アスファルト舗装補修工における舗装面の欠損部補修作業の他、瀝青材、舗装用石灰粉、プロパンガス、コテ、レーキ、バーナー、振動ローラ、振動コンパクタ、燃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・欠損部の舗装版等のカッタ切断、とりこわしは含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
パッチングユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
材料種類(P)	日当り施工量(S)
再生密粒度アスファルト混合物(13)	5t未満
	5t以上
密粒度アスファルト混合物(13)	5t未満
	5t以上
常温型	5t未満
	5t以上
各種	―

（注）積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
材料種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：路面補修工、舗装工
種　　別：アスファルト舗装補修工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
クラック処理

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、アスファルト舗装版のクラック処理に適用する。

２．費用内訳
・アスファルト舗装のクラック補修におけるクラック清掃、乾燥（湿っている場合）、注入、プライマー塗布、充填、クラック防止シート張の他、空気圧縮機、アスファルトケットル損料及び運転経費、ほうき、ハケ、プライマー、クラック防止シート等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：付属物復旧工、道路付属物復旧工
種　　別：付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードレール復旧

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、損傷等によるガードレールの撤去・設置におけるガードレール復旧に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）ガードレール撤去・設置一式の復旧の場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）新設又は損傷等を受けていない更新・撤去工事の場合
　（２）損傷を受けていない場合の部材設置・撤去

２．費用内訳
　(1)材料費有りの場合(材料込みの撤去・設置)
　・損傷したガードレールの撤去及び設置の他、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ガス切断機等の損料及び運転経費、両柄ショベル、ツルハシ、スコップ、バール、工具等の損耗費及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。
　(2)材料費無しの場合(撤去・設置手間のみの流用品・支給品等使用)
　・上記(1)の撤去・設置費のみを含む(ガードレール本体の製品費は含まない)。

　・舗装版の削孔は含まない。
　・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し***は含まない。
　・***土砂等運搬、残土運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
　ガードレール復旧ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
ガードレール規格(P)	作業区分(P)	材料費の有無(P)
各種	コンクリート、土中建込用支柱及びレール	有り
		無し
	レールのみ	有り
		無し

（注）積算条件：各種の場合
　　ガードレール規格：各種（文字入力）

４．その他

（１）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。

（２）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。

（３）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。

（４）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（５）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（６）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（７）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（８）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：付属物復旧工、道路付属物復旧工
種　　別：付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードパイプ復旧

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
　本資料は、損傷等によるガードパイプの撤去・設置におけるガードパイプ復旧に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）ガードパイプ撤去・設置一式の復旧の場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）新設又は損傷等を受けていない更新・撤去工事の場合
　（２）損傷を受けていない場合の部材設置・撤去

２．費用内訳
　(1)材料費有の場合(材料込みの撤去・設置)
　・損傷したガードパイプの撤去及び設置、舗装版の削孔、作業土工(床掘り・埋戻し)、仮置場への運搬、仮置場での整地、仮置場での積込み、仮置場からの運搬の他、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ガス切断機等の損料及び運転経費、両柄ショベル、ツルハシ、スコップ、バール、工具等の損耗費及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。
　(2)材料費無の場合(撤去・設置手間のみの流用品・支給品等使用)
　・上記(1)の撤去・設置費のみを含む(ガードパイプ本体の製品費は含まない)。

　・***土砂等運搬、残土運搬、殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
　（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
　（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
　（３）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
　（４）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
　（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：付属物設置工
種　　別：付属物設置工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識

積算単位：基(基数)
契約単位：基(基数)

１．適用範囲
本資料は、付属物設置工における標識に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
河川維持工事における標識の設置
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
道路工事等における標識の設置

２．費用内訳
・河川維持における標識の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：清掃工
種　　別：塵芥処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
収集・集積(散在塵芥処理)

積算単位：千m2(面積)
契約単位：千m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等の陸上部にある散在している塵芥の収集・集積（散在塵芥処理）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）散在している塵芥（空き缶・木片等）を人力によりビニール袋等に拾い集める場合
（２）作業場所の草丈が、0.5m程度以下の場合
（３）塵芥量が1m3／1000m2程度以下の場合

２．費用内訳
・散在塵芥の収集・集積、現場内小運搬、分別作業、運搬車への積込み等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***運搬(散在塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
　収集・集積（散在塵芥処理）ユニットの積算条件区分はない。

（注）現場内小運搬は30m程度とする

４．その他
（１）運搬(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-43）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：清掃工
種　　別：塵芥処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
運搬(散在塵芥処理)

積算単位：千m2(面積)
契約単位：千m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等の陸上部にある集積された塵芥の処分地までの運搬（散在塵芥処理）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）収集・集積(散在塵芥処理)により集積された場合
（２）　集積される塵芥量が1m3／1000m2程度以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・収集・集積(散在塵芥処理)により積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての費用を含む。

・塵芥の処分費は含まない。
・***収集・集積(散在塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
　運搬（散在塵芥処理）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
DID区間の有無(S)	運搬距離(DID無し)(S)	運搬距離(DID有り)(S)
無し	1.0km以下	—
	2.0km以下	—
	3.0km以下	—
	4.5km以下	—
	6.0km以下	—
	7.5km以下	—
	9.5km以下	—
	12.0km以下	—
	14.5km以下	—
	17.5km以下	—
	21.5km以下	—
	26.5km以下	—
	34.5km以下	—
	46.0km以下	—

積算条件		
DID区間の有無(S)	運搬距離(DID無し)(S)	運搬距離(DID有り)(S)
無し	60.0km以下	―
	各種	―
有り	―	1.0km以下
		2.0km以下
		3.0km以下
		4.0km以下
		5.0km以下
		7.0km以下
		8.5km以下
		10.5km以下
		13.0km以下
		15.5km以下
		18.0km以下
		22.5km以下
		25.5km以下
		29.5km以下
		60.0km以下
		各種

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
2.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3.運搬距離が60kmを超える場合は各種とする。
4.積算条件：各種の場合
運搬距離(片道)：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他
（１）収集・集積(散在塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-42）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：清掃工
種　　別：塵芥処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
収集・集積(1)（堆積塵芥処理）

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は、中州等の陸上部にある機械による塵芥の収集・集積作業である、収集・集積(1)（堆積塵芥処理）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）塵芥量が1m3／1,000m2程度以上を機械により収集・集積する場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）搬入口が狭隘な場合で、機械搬入が出来ない場合

２．費用内訳
・堆積した塵芥の収集・集積の他、運搬車への積込み、分別作業等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
　収集・集積(1)（堆積塵芥処理）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
　（１）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
　（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：清掃工
種　　別：塵芥処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
収集・集積(2)（堆積塵芥処理）

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は、中州等の陸上部にある人力による塵芥の収集・集積作業である、収集・集積(2)（堆積塵芥処理）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）塵芥量が1m3／1,000m2程度以上を人力により収集・集積する場合
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）機械施工が可能な場合

２．費用内訳
・堆積した塵芥の収集・集積の他、運搬車への積込み、現場内小運搬及び分別作業等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***運搬(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
　収集・集積(2)（堆積塵芥処理）ユニットの積算条件区分はない。

（注）本ユニットに含む現場内小運搬は30m程度である。

４．その他
（１）運搬(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-46）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：清掃工
種　　別：塵芥処理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
運搬（堆積塵芥処理）

積算単位：m3(体積)
契約単位：m3(体積)

１．適用範囲
　本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等の陸上部にある集積された塵芥処分地までの運搬（堆積塵芥処理）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）収集・集積（堆積塵芥処理）により集積された塵芥を運搬する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・収集・集積(堆積塵芥処理)により積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・塵芥の処分費は含まない。
・***収集・集積(1)(堆積塵芥処理)、収集・集積(2)(堆積塵芥処理)***は含まない。

３．積算条件
　運搬（堆積塵芥処理）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件						
作業区分(S)	塵芥の種類(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(かさ高物・DID無し)(S)	運搬距離(かさ高物・DID有り)(S)	運搬距離(重量物・DID無し)(S)	運搬距離(重量物・DID有り)(S)
機械	木片・空缶・枯草等のかさ高物	無し	0.5km以下	―	―	―
			1.0km以下	―	―	―
			2.0km以下	―	―	―
			3.0km以下	―	―	―
			4.0km以下	―	―	―
			5.0km以下	―	―	―
			6.5km以下	―	―	―
			8.0km以下	―	―	―
			9.5km以下	―	―	―
			11.5km以下	―	―	―
			13.5km以下	―	―	―
			16.0km以下	―	―	―
			19.0km以下	―	―	―
			22.5km以下	―	―	―
			27.5km以下	―	―	―

積算条件						
作業区分(S)	塵芥の種類(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(かさ高物・DID無し)(S)	運搬距離(かさ高物・DID有り)(S)	運搬距離(重量物・DID無し)(S)	運搬距離(重量物・DID有り)(S)
機械	木片・空缶・枯草等のかさ高物	無し	35.0km以下	—	—	—
			46.0km以下	—	—	—
			60.0km以下	—	—	—
			各種	—	—	—
		有り	—	0.5km以下	—	—
				1.0km以下	—	—
				2.0km以下	—	—
				3.0km以下	—	—
				4.0km以下	—	—
				5.0km以下	—	—
				6.0km以下	—	—
				7.5km以下	—	—
				8.5km以下	—	—
				10.5km以下	—	—
				12.0km以下	—	—
				14.5km以下	—	—
				16.5km以下	—	—
				19.0km以下	—	—
				23.0km以下	—	—
				27.0km以下	—	—
				29.5km以下	—	—
				60.0km以下	—	—
				各種	—	—
	コンクリート塊等の重量物	無し	—	—	0.5km以下	—
					1.0km以下	—
					2.0km以下	—
					3.0km以下	—
					4.0km以下	—
					5.0km以下	—
					6.0km以下	—
					7.5km以下	—
					9.0km以下	—
					11.0km以下	—
					13.0km以下	—
					15.5km以下	—
					18.5km以下	—
					22.0km以下	—
					26.5km以下	—
					33.0km以下	—
					46.0km以下	—
					60.0km以下	—

積算条件						
作業区分(S)	塵芥の種類(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(かさ高物・DID無し)(S)	運搬距離(かさ高物・DID有り)(S)	運搬距離(重量物・DID無し)(S)	運搬距離(重量物・DID有り)(S)
機械	コンクリート塊等の重量物	無し	—	—	各種	—
		有り	—	—	—	0.5km以下
						1.0km以下
						2.0km以下
						3.0km以下
						4.0km以下
						5.0km以下
						6.0km以下
						7.0km以下
						8.5km以下
						10.5km以下
						12.0km以下
						14.0km以下
						17.0km以下
						19.5km以下
						22.5km以下
						26.5km以下
						29.5km以下
						60.0km以下
						各種
人力	木片・空缶・枯草等のかさ高物	無し	0.5km以下	—	—	—
			1.0km以下	—	—	—
			2.0km以下	—	—	—
			3.0km以下	—	—	—
			4.0km以下	—	—	—
			5.0km以下	—	—	—
			6.5km以下	—	—	—
			8.0km以下	—	—	—
			9.5km以下	—	—	—
			11.5km以下	—	—	—
			13.5km以下	—	—	—
			16.0km以下	—	—	—
			19.0km以下	—	—	—
			22.5km以下	—	—	—
			27.5km以下	—	—	—
			35.0km以下	—	—	—
			46.0km以下	—	—	—
			60.0km以下	—	—	—
			各種	—	—	—
		有り	—	0.5km以下	—	—
				1.0km以下	—	—

積算条件						
作業区分(S)	塵芥の種類(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(かさ高物・DID無し)(S)	運搬距離(かさ高物・DID有り)(S)	運搬距離(重量物・DID無し)(S)	運搬距離(重量物・DID有り)(S)
人力	木片・空缶・枯草等のかさ高物	有り	—	2.0km以下	—	—
				3.0km以下	—	—
				4.0km以下	—	—
				5.0km以下	—	—
				6.0km以下	—	—
				7.5km以下	—	—
				8.5km以下	—	—
				10.5km以下	—	—
				12.0km以下	—	—
				14.5km以下	—	—
				16.5km以下	—	—
				19.0km以下	—	—
				23.0km以下	—	—
				27.0km以下	—	—
				29.5km以下	—	—
				60.0km以下	—	—
				各種	—	—
	コンクリート塊等の重量物	無し	—	—	0.5km以下	—
					1.0km以下	—
					2.0km以下	—
					3.0km以下	—
					4.0km以下	—
					5.0km以下	—
					6.0km以下	—
					7.5km以下	—
					9.0km以下	—
					11.0km以下	—
					13.0km以下	—
					15.5km以下	—
					18.5km以下	—
					22.0km以下	—
					26.5km以下	—
					33.0km以下	—
					46.0km以下	—
					60.0km以下	—
					各種	—
		有り	—	—	—	0.5km以下
						1.0km以下
						2.0km以下
						3.0km以下
						4.0km以下

積算条件						
作業区分(S)	塵芥の種類(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(かさ高物・DID無し)(S)	運搬距離(かさ高物・DID有り)(S)	運搬距離(重量物・DID無し)(S)	運搬距離(重量物・DID有り)(S)
人力	コンクリート塊等の重量物	有り	―	―	―	5.0km以下
						6.0km以下
						7.0km以下
						8.5km以下
						10.5km以下
						12.0km以下
						14.0km以下
						17.0km以下
						19.5km以下
						22.5km以下
						26.5km以下
						29.5km以下
						60.0km以下
						各種

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
2.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3.運搬距離が60kmを超える場合は各種とする。
4.積算条件：各種の場合
運搬距離(片道)：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他
（１）収集・集積(1)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-44）による。
（２）収集・集積(2)(堆積塵芥処理)については、（Ⅲ-直接-14-45）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：清掃工
種　　別：水面清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
水面清掃

積算単位：日（日数）
契約単位：日（日数）

１．適用範囲
本資料は、水面清掃工における水面清掃に適用する。

２．費用内訳
・河川水面の清掃等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
樹木剪定

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における樹木剪定に適用する。

２．費用内訳
・河川維持における植栽維持のための樹木の剪定、集積・積込・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・剪定後の処分費は含まない。
・***寄植剪定***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）寄植剪定については、（Ⅲ-直接-14-50）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
樹木剪定

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植樹管理における高、低、中木の樹木剪定に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）公園の植樹管理の場合

２．費用内訳
・植栽維持のために行う樹木(高・低・中木)の剪定、剪定枝の積込み・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・剪定後の処分費は含まない。
・***寄植剪定***は含まない。

３．積算条件
樹木剪定ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
高木夏期 幹周60cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
高木夏期 幹周120cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
高木夏期 幹周120cm未満	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
高木冬期 幹周60cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
高木冬期 幹周120cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
低・中木 球形樹高 100cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
低・中木 球形樹高 100cm以上200cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
低・中木 球形樹高 200cm以上300cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
低・中木 球形樹高 200cm以上300cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
低・中木 円筒樹高 100cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
低・中木 円筒樹高 100cm以上200cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
低・中木 円筒樹高 200cm以上300cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 中央分離帯	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
		10本以上50本未満
		50本以上

（注）1.規格・仕様

高木：樹高3m以上

中木：樹高60cm以上3m未満

低木：樹高60cm未満

幹周：根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。

樹木の規格・仕様は、剪定後の高さで判定する。

2.施工数量は1工事の低木、中木及び高木の合計数量とする。

3.施工場所は、下記のとおりとする。

供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。

・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地

・交通島＝交差点において車道を道流するための道流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地

・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地

・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯(駐車帯、道の駅等)に設けられた植栽地

未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所

なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所は(通行止区間等)は未供用区間とする。

４．その他

（１）寄植剪定については、（Ⅲ-直接-14-51）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
寄植剪定

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における寄植剪定に適用する。

２．費用内訳
・河川維持における植栽維持のための寄植の剪定・集積・積込み・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・剪定後の処分費は含まない。
・***樹木剪定***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）樹木剪定については、（Ⅲ-直接-14-48）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
寄植剪定

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植樹管理における寄植剪定に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）公園の植樹管理の場合

２．費用内訳
・植栽維持のために行う樹木(寄植)の剪定、剪定枝の積込み・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・剪定後の処分費は含まない。
・***樹木剪定***は含まない。

３．積算条件
寄植剪定ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
低木	供用区間 標準(歩道及び交通島)	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 中央分離帯	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
中木	供用区間 標準(歩道及び交通島)	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 中央分離帯	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
中木	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上

（注）1.規格・仕様
中木：樹高60cm以上3m未満
低木：樹高60cm未満
低木には、株物、一本立を含む。
樹木の規格・仕様は、剪定後の高さで判定する。
2.施工数量は1工事の低木、中木及び高木の合計数量とする。
3.施工場所は、下記のとおりとする。
供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。
・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地
・交通島＝交差点において車道を道流するための道流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地
・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地
・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地
未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所
なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所は（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他
（１）樹木剪定については、（Ⅲ-直接-14-49）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
補植

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における補植に適用する。

２．費用内訳
・河川維持における植栽維持のための樹木の補植、枯木の撤去・積込み・運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・枯木等の処分費は含まない。
・***支柱***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）支柱については、（Ⅲ-直接-14-54）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
補植

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における補植に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理における補植の場合

２．費用内訳
・樹木・芝生管理工における樹木の補植作業に要する全ての費用を含む。

・枯木等の処分費は含まない。
・***支柱***は含まない。

３．積算条件
補植ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
規格(P)	土壌改良材の有無(P)
低木樹高60cm未満	無し
	有り
中木樹高60cm以上100cm未満	無し
	有り
中木樹高100cm以上200cm未満	無し
	有り
中木樹高200cm以上300cm未満	無し
	有り

（注）規格
中木：樹高60cm以上3m未満
低木：樹高60cm未満

４．その他
（１）支柱については、（Ⅲ-直接-14-55）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支柱

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における支柱に適用する。

２．費用内訳
・河川維持における植栽維持のための樹木の支柱設置、支柱補修、支柱撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：植栽維持工、道路植栽工
種　　別：樹木・芝生管理工、道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

支柱

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における支柱に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）樹木・芝生管理工における道路及び道路施設の植樹管理のうち、支柱設置(材料込みの新設設置)、支柱補修（部分取替）、支柱撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）中木布掛（竹）樹高100cm以上及び中木生垣形樹高100cm以上の支柱設置・撤去及び補修の場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・樹木の支柱の設置に要する全ての費用を含む。
(2)補修の場合
・樹木の支柱の補修(部分取替)に要する全ての費用を含む。
(3)撤去の場合
・樹木の支柱の撤去の他、発生材処分における運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・発生材の処分費は含まない。

３．積算条件
支柱ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
作業区分(P)	規格(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
設置	二脚鳥居添木付中木高250cm以上､高木幹周30cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上

積算条件			
作業区分(P)	規格(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
設置	中木八ツ掛(竹)樹高100cm以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	中木添柱形(1本形・竹)高100cm以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	高木二脚鳥居添木無幹周30cm以上40cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	高木三脚鳥居幹周30cm以上60cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	高木十字鳥居幹周30cm以上、二脚鳥居組合せ50cm以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満

積算条件			
作業区分(P)	規格(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
設置	高木十字鳥居幹周30cm以上、二脚鳥居組合せ50cm以上	供用区間 中央分離地帯	50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	高木八ツ掛幹周40cm未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	高木八ツ掛幹周40cm以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
補修	二脚鳥居添木付中木高250cm以上、高木幹周30cm未満	—	—
	中木八ツ掛(竹)樹高100cm以上	—	—
	中木添柱形(1本形・竹)高100cm以上	—	—
	高木二脚鳥居添木無幹周30cm以上40cm未満	—	—
	高木三脚鳥居幹周30cm以上60cm未満	—	—
	高木十字鳥居幹周30cm以上、二脚鳥居組合せ50cm以上	—	—
	高木八ツ掛幹周40cm未満	—	—
	高木八ツ掛幹周40cm以上	—	—
撤去	中木 各種	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満

積算条件			
作業区分(P)	規格(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
撤去	中木 各種	供用区間 標準(歩道及び交通島)	50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
	高木 各種	供用区間 標準(歩道及び交通島)	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 中央分離地帯	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	10本未満
			10本以上50本未満
			50本以上

（注）1.規格

高木：樹高3m以上

中木：樹高60cm以上3m未満

幹周：根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。

2.施工数量は１工事当りの全体数量とする。

3.支柱設置は、１工事の支柱を設置する中木及び高木の合計数量（補修の数量も含める）で判定する。

4.支柱撤去は、１工事の支柱を撤去する中木及び高木の合計数量で判定する。

5.支柱補修には、支柱の撤去を含んでいる。

6.支柱設置は、下記の仕様とする。

支柱の材質は、スギ又はヒノキとし、防腐加工（焼きは除く）がほどこされたものとする。ただし、北海道はカラマツの焼丸太とする。また、間伐材であっても材質が同一で、防腐加工（焼きは除く）がほどこされていれば適用出来る。

7.施工場所は、下記のとおりとする。

供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。

・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地

・交通島＝交差点において車道を道流するための道流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地

・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地

・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地

未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を

受けない施工場所

なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
樹木施肥

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における樹木施肥に適用する。

２．費用内訳
・樹木管理における樹木（高木・中木・低木）への施肥等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***寄植・芝施肥***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）寄植・芝施肥については、（Ⅲ-直接-14-57）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
寄植・芝施肥

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における寄植・芝施肥に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理における寄植・芝施肥の場合

２．費用内訳
・樹木・芝生管理工における寄植の中木・低木(株物)や芝への施肥等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
寄植・芝施肥ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
寄植 中木・低木	100m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	100m2以上1000m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	1000m2以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
芝	100m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	100m2以上1000m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
芝	100m2以上1000m2未満	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	1000m2以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

（注）1.規格

中木：樹高60cm以上3m未満

低木：樹高60cm未満

2.施工数量は１工事当りの全体数量とする。

3.施肥寄植は、１工事の寄植の数量で判定する。

4.低木には、株物、一本立を含む。

5.施肥での寄植の面積は植地面積（投影面積）とする。

6.施肥芝は、１工事の芝の数量とする。

7.施工場所は、下記のとおりとする。

供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。

・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地

・交通島＝交差点において車両を導流するための導流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地

・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地

・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地

未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所

なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
潅水

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における潅水に適用する。

２．費用内訳
・植栽維持における潅水等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防除

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における防除に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理工のうち、高木・中木・低木に対する防除の場合

２．費用内訳
・樹木・芝生管理工における樹木(高木・中木・低木)への防除等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
防除ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
低木樹高60cm未満	10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
中木樹高60cm以上100cm未満	10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
中木樹高60cm以上100cm未満	10本以上50本未満	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
中木樹高100cm以上200cm未満	10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
中木樹高200cm以上300cm未満	10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
高木幹周60cm未満	10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
高木幹周60cm未満	10本以上50本未満	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
高木幹周60cm以上120cm未満	10本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上50本未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	50本以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

（注）1.規格

高木：樹高3m以上

中木：樹高60cm以上3m未満

低木：樹高60cm未満

幹周：根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。

2.施工数量は１工事当りの全体数量とする。

3.高木、中木及び低木は、１工事の高木、中木及び低木の合計数量で判定する。

4.低木には株物、一本立を含む。

5.施工場所は、下記のとおりとする。

供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記の通り区分する。

・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地

・交通島＝交差点において車両を導流するための導流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地

・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地

・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地

未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所

なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な

施工場所（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
芝刈

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における芝刈に適用する。

２．費用内訳
・芝生管理における芝刈、集積、積込み、運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・刈り取った芝の処分費は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
抜根除草

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植樹管理における抜根除草に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）公園の植樹管理の場合

２．費用内訳
・植栽維持のために行う抜根除草、除草の積込み、運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・処分費は含まない。

３．積算条件
抜根除草ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
植込み地	供用区間 標準(歩道及び交通島)	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 中央分離帯	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
芝生	供用区間 標準(歩道及び交通島)	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 中央分離帯	100m2未満
		100m2以上1000m2未満
		1000m2以上
	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	100m2未満
		100m2以上1000m2未満

積算条件		
規格・仕様(P)	施工場所(S)	施工数量(S)
芝生	供用区間 環境緑地帯及び未供用区間	1000m2以上

（注）1.施工数量は1工事の抜根除草の全体数量とする。
2.施工場所は、下記のとおりとする。
供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。
・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地
・交通島＝交差点において車道を道流するための道流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地
・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地
・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地
未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所
なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所は(通行止区間等)は未供用区間とする。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

寄植・芝薬剤散布

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における寄植・芝薬剤散布に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路及び道路施設の植樹管理工のうち、寄植・芝への薬剤散布の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（２）植樹時に防除を行う場合

２．費用内訳
・樹木・芝生管理工における寄植・芝への薬剤散布等、その施工に要する全て費用を含む。

３．積算条件
寄植・芝薬剤散布ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
寄植 低木	100m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	100m2以上1000m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	1000m2以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
寄植 中木	100m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
寄植 中木	100m2以上1000m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	1000m2以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
芝	100m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	100m2以上1000m2未満	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	1000m2以上	供用区間 標準(歩道及び交通島)
		供用区間 中央分離地帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

（注）1.規格

中木：樹高60cm以上3m未満

低木：樹高60cm未満

2.施工数量は１工事当りの全体数量とする。

3.防除寄植は、1工事の寄植の数量で判定する。

4.防除芝は、1工事の芝の数量で判定する。

5.低木には、株物、一本立を含む。

6.寄植低木の面積は植地面積とし、寄植中木の面積は表面積とする。

7.施工場所は下記のとおりとする。

供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。

・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地

・交通島＝交差点において車両を導流するための導流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地

・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地

・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地

未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所

なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
掘取（移植）

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における掘取（移植）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）道路及び道路施設の移植における掘取の場合
（２）仮植地からの掘取り作業の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）あらかじめ根切りを行い、埋戻しておき、後日移植する場合
（２）樹木の運搬距離が30ｋｍを超える場合

２．費用内訳
・樹木の移植における掘取りの他、幹巻き、樹木運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・掘取り後の埋戻土(不足土)の***土材料、土砂等運搬***は含まない。
・移植工における植樹は含まない。
・低木の根巻きは含まない。

３．積算条件
掘取（移植）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
低木樹高60㎝未満	6本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	6本以上10本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
中木樹高60cm以上100cm未満	6本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	6本以上10本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
中木樹高100cm以上200cm未満	6本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	6本以上10本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
中木樹高200cm以上300cm未満	6本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	6本以上10本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	10本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

積算条件		
規格(P)	施工数量(S)	施工場所(S)
高木幹周30cm未満	3本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	3本以上5本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	5本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
高木幹周30cm以上60cm未満	3本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	3本以上5本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	5本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
高木幹周60cm以上90cm未満	3本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	3本以上5本未満	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間
	5本以上	供用区間 標準（歩道及び交通島）
		供用区間 中央分離帯
		供用区間 環境緑地帯及び未供用区間

（注）1.規格

高木：樹高3m以上

中木：樹高60cm以上3m未満

低木：樹高60cm未満

幹周：根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。

2.施工数量は1工事当りの全体数量とする。

3.高木は1工事の数量で判定する。

4.中木及び低木は、1工事の中木、低木の合計数量で判定する。

5.低木には、株物、一本立を含む。

6.施工場所は下記のとおりとする。

供用区間：車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受ける現道上の施工場所で、下記のとおり区分する。

・歩道＝歩道又は車道と歩道の間に設置した植栽地

・交通島＝交差点において車道を道流するための道流島及び歩行者の安全を確保するために設けられた安全島及び植栽地

・中央分離帯＝交通の分流制御を目的とした中央分離帯等に設けられた植栽地

・環境緑地帯＝幹線道路の沿道の生活環境を保全するための環境施設帯（駐車帯、道の駅等）に設けられた植栽地

未供用区間：バイパス施工中等で、車両、自転車、歩行者等一般交通の影響を受けない施工場所

なお、現道上であっても、一般交通の影響をほとんど受けずに作業実施可能な施工場所（通行止区間等）は未供用区間とする。

４．その他

（１）土材料については、（Ⅲ-直接-1-22）による。

（２）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持
工　　種：植栽維持工
種　　別：樹木・芝生管理工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
地被類植付

積算単位：m2(植付面積)
契約単位：m2(植付面積)

１．適用範囲
本資料は、植栽維持工における地被類植付に適用する。

２．費用内訳
・河川維持のために行う地被類植付等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：舗装、道路修繕
工　　種：道路植栽工
種　　別：道路植栽工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
地被類植付

積算単位：鉢(鉢数)
契約単位：鉢(鉢数)

１．適用範囲
本資料は、道路植栽工における地被類植付に適用する。

２．費用内訳
・道路及び道路施設への地被類植付、地拵え、土壌改良材等の混入、養生（水きめ）、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
地被類植付ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
土壌改良材の有無(P)
有り
無し

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路付属物復旧工
種　　別：付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
視線誘導標復旧

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、付属物復旧工における視線誘導標復旧に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）反射体材質がポリカーボネート及び同等品の場合
（２）支柱材質が鋼管、樹脂及び同等品（ただし、アルミは除く）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）メーカーのオリジナル製品を用いる場合
（２）自発光式及び電気式の製品を用いる場合
（３）二眼視線誘導標
（４）三眼視線誘導標
（５）線形視線誘導標

２．費用内訳
（１）設置の場合(材料込みの新設設置)
・視線誘導標(スノーポール併用型含む)の設置、土中建込の場合は作業土工(床掘り・埋戻し)、コンクリート建込の場合は穿孔、充填、構造物取付の場合は穿孔・アンカー取付等、その施工に要する全ての費用を含む。
（２）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記（１）の設置費のみを含む(視線誘導標本体の製品費は含まない)。
（３）撤去の場合
・視線誘導標の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂等運搬***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
視線誘導標復旧ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	有 さや管	30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	土中建込	―	片面	反射体径φ300 支柱径φ60.5	有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	コンクリート建込	有り	片面	反射体径φ100以下 支柱径φ89	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	コンクリート建込	無し	片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	有 さや管	30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
		防護柵取付	—	両面	反射体径φ100以下 バンド式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	無	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	防護柵取付	―	両面	反射体径φ300 バンド式	有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 バンド式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
		構造物取付	―	両面	反射体径φ100以下 側壁用	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標	構造物取付	―	両面	反射体径φ300 ベースプレート式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 側壁用	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 ベースプレート式	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ300）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
	視線誘導標(スノーポール併用型)	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数2個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
設置	視線誘導標(スノーポール併用型)	土中建込	―	片面	反射体径φ100以下 反射体数2個	有 さや管	30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数2個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数2個	無	30本以上
							30本未満
						有 防塵型（反射体径φ100以下）	30本以上
							30本未満
						有 さや管	30本以上
							30本未満
撤去	―	土中建込	―	―	―	―	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
撤去	—	コンクリート建込	—	—	—	—	30本以上
							30本未満
		防護柵取付	—	—	—	—	30本以上
							30本未満
		構造物取付	—	—	—	—	30本以上
							30本未満
再利用設置	視線誘導標	土中建込	—	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
再利用設置	視線誘導標	コンクリート建込	無し	両面	反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 支柱径φ34	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 支柱径φ89	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 支柱径φ60.5	—	30本以上
							30本未満
		防護柵取付	—	両面	反射体径φ100以下 バンド式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 バンド式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ボルト式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 かぶせ式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 バンド式	—	30本以上
							30本未満
		構造物取付	—	両面	反射体径φ100以下 側壁用	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ300 ベースプレート式	—	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 側壁用	—	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 ベースプレート式	—	30本以上
							30本未満

積算条件							
作業区分(P)	視線誘導標区分(P)	設置方式(P)	穿孔の有無(P)	反射体の種類(P)	規格・仕様(P)	付属品の有無(P)	施工数量(S)
再利用設置	視線誘導標	構造物取付	―	片面	反射体径φ300 ベースプレート式	―	30本以上
							30本未満
	視線誘導標(スノーポール併用型)	土中建込	―	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数2個	―	30本以上
							30本未満
		コンクリート建込	有り	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数2個	―	30本以上
							30本未満
			無し	両面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
				片面	反射体径φ100以下 反射体数1個	―	30本以上
							30本未満
					反射体径φ100以下 反射体数2個	―	30本以上
							30本未満

（注）1.施工数量は、1工事当りの全体数量とする。
2.基礎を使用する場合は、設置方式：土中建込を適用する。

４．その他

（１）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。

（２）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路付属物復旧工
種　　別：付属物復旧工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
張紙防止シート

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、道路付属物復旧工における張紙防止シートに適用する。

２．費用内訳
(1)設置の場合（材料込みの設置）
・道路付属物における張紙防止シートの設置、接着剤等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去の場合
・道路付属物における張紙防止シートの撤去、下地処理及び下塗（工具損料、希釈剤含む）等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：路面清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路面清掃（１）

積算単位：km(延長)
契約単位：km(延長)

１．適用範囲
　本資料は、道路清掃工における真空式及びブラシ式路面清掃車による路面清掃（１）に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）路肩部単独清掃作業

２．費用内訳
・路面清掃車による清掃作業、事前の路肩掃出し（締固まった土砂の掘起こし、粗大塵埃の除去、掃残し処理、障害物の除去等）、歩道掃出し、給水作業、塵埃処理の他、スコップ、ほうき及びブラシの損耗費（ブラシ交換含む）等、その作業に要する全ての費用を含む。

・塵埃の処分に要する費用は含まない。
・用水に関する経費は含まない。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
　（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：路面清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

路面清掃(2)

積算単位:km(延長)
契約単位:km(延長)

１．適用範囲

本資料は、路肩部における塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等）の路面清掃(2)に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）路肩部の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等）の清掃作業

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）路面清掃車による道路清掃作業

２．費用内訳

・路肩部の塵埃(土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等)の清掃作業(塵埃の収集、袋詰め、作業車等への積込み及び現場内移動)の他、ゴミ袋、ほうき、ちりとり等、その作業に要する全ての費用を含む。

・塵埃の処分に要する費用は含まない。

３．積算条件

路面清掃(2)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件
塵埃量(S)
少ない
普通
多い

表３．２塵埃量の判定

塵埃量	作業内容	塵埃量	
		単位	範囲
少ない	塵埃量が比較的少なく、土砂、紙屑等が散在している場合	m3/km	2.0未満
普通	塵埃量が多く、土砂、紙屑等の散在に加え部分的に土砂が堆積している場合		2.0以上 6.0未満
多い	塵埃が極めて多く、土砂、紙屑等の散在に加え土砂が連続的に堆積している場合		6.0以上

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：路面清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

路面清掃(歩道等)

積算単位:m2(面積)
契約単位:m2(面積)

１．適用範囲

本資料は、歩道、横断歩道橋、地下道等における塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等）の路面清掃（歩道等）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）歩道、横断歩道橋、地下道等の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等）の清掃作業

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）路面清掃車による道路清掃作業

２．費用内訳

・歩道、横断歩道橋、地下道等の塵埃(土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等)の清掃作業(塵埃の収集、袋詰め、作業車等への積込み及び現場内移動)の他、ゴミ袋、ほうき、ちりとり等その作業に要する全ての費用を含む。

・塵埃の運搬・処理等に要する費用は含まない。

３．積算条件

路面清掃（歩道等）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件
施工場所・塵埃量(S)
歩道　少ない
歩道　普通
歩道　多い
横断歩道橋・地下道　少ない
横断歩道橋・地下道　普通
横断歩道橋・地下道　多い
中央分離帯　普通
中央分離帯　多い
歩道(草の処理)　普通
歩道(草の処理)　多い

表 3．2塵埃量の判定

施工場所	塵埃量	作業内容	塵埃量	
			単位	範囲
歩道部	少ない	塵埃量が比較的少なく、土砂、紙屑等が散在している場合	m3/100m2	0.3 未満
	普通	塵埃量が多く、土砂、紙屑等の散在に加え部分的に土砂が堆積している場合		0.3 以上 1.0 未満
	多い	塵埃が極めて多く、土砂、紙屑等の散在に加え土砂が連続的に堆積している場合		1.0 以上
	（草の処理）	上記の作業区分（[普通]、[多い]）に加え路側からの草のせり上がり処理が必要な場合		-
横断歩道橋 地下道	少ない	塵埃量が少なく、紙屑、吸殻等が部分的に散在している場合	m3/100m2	0.01 未満
	普通	塵埃量が比較的少なく、紙屑、吸殻等の散在に加え部分的に土砂が堆積している場合		0.01 以上 0.03 未満
	多い	塵埃が多く、紙屑、吸殻等の散在に加え土砂が連続的に堆積している場合		0.03 以上
中央分離帯	普通	塵埃量が少なく、紙屑、空カン等が部分的に散在している場合	m3/100m2	0.05 未満
	多い	塵埃量が多く、紙屑、空カン等が連続的に散在している場合		0.05 以上

４．その他

（1）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：路肩整正工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路肩整正（１）

積算単位：km(路肩延長)
契約単位：km(路肩延長)

１．適用範囲
本資料は、道路維持作業における機械による路肩整正（１）に適用する。

２．費用内訳
・路肩に堆積した泥等の機械による整正等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：路肩整正工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
路肩整正(2)

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
　本資料は、道路維持作業における人力による土はね、厚さ10cmまで、幅1.0mまでの路肩整正(2)に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）道路維持作業における人力による路肩整正作業
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
　（１）機械による路肩整正作業

２．費用内訳
・路肩に堆積した泥等の人力による整正、ダンプトラックへの積込み、運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
　路肩整正(2)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
運搬距離(S)
DID無し 2.0km以下
DID無し 3.0km以下
DID無し 5.0km以下
DID無し 6.5km以下
DID無し 8.5km以下
DID無し 11.0km以下
DID無し 16.0km以下
DID無し 27.5km以下
DID無し 60.0km以下
DID無し 各種
DID有り 1.5km以下
DID有り 2.5km以下
DID有り 4.5km以下
DID有り 6.0km以下
DID有り 8.0km以下
DID有り 10.5km以下

積算条件
運搬距離(S)
DID有り 14.5km以下
DID有り 23.0km以下
DID有り 60.0km以下
DID有り 各種

（注）1.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
2.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。
3.残土は、5m3／100m2を標準とする。
4.運搬距離が60kmを超える場合は各種とする。
5.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を記載する。
運搬距離(片道)：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他

（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
清掃作業(1)(側溝清掃)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水施設清掃工における人力による側溝の清掃作業である、清掃作業(1)(側溝清掃)に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）側溝の内幅20～70cm、内深さ20～100cm、蓋の質量、コンクリート蓋30～120kg/枚、鋼蓋15～50kg/枚、堆積土砂量は、0.15m3/m以内の人力による側溝清掃作業の場合

２．費用内訳
・側溝蓋の取外し・設置、蓋設置後の清掃、後片付け、土砂積込等、その作業に要する全ての費用を含む。

・***清掃作業(2)(側溝清掃)***は含まない。
・***移動(側溝清掃)***は含まない。

３．積算条件
清掃作業(1)(側溝清掃)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
側溝蓋の有無(P)	側溝蓋規格(P)
無し	―
有り	コンクリート蓋
	鋼蓋

４．その他
（１）清掃作業(2)(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-74）による。
（２）移動(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-76）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
清掃作業(2)(側溝清掃)

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水施設清掃工における機械による側溝の清掃作業である、清掃作業(2)(側溝清掃)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）側溝（蓋付）幅20～100cm（断面積0.5m2未満）の排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる側溝清掃作業の場合
（２）側溝幅30～70cm、深さ30～90cmの側溝清掃車単独による側溝清掃作業の場合

２．費用内訳
・側溝蓋(一部)の開閉、清掃区間内にある集水桝内部の清掃、給水作業の他、スコップ、ほうき等、その作業に要する全ての費用を含む。

・***清掃作業(1)(側溝清掃)***は含まない。
・***移動(側溝清掃)***は含まない。
・清掃範囲の蓋を全数撤去・設置する場合の***側溝蓋撤去・設置(側溝清掃)***は含まない。
・用水に関する経費は含まない。

３．積算条件
清掃作業(2)(側溝清掃)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件					
清掃方式(S)	側溝断面積(P)	堆積率(P)	散水車機種(S)	清掃車使用区分(S)	散水車使用区分(S)
機械組合せ清掃	0.125m2未満	50%未満	1800Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5500～6500Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			7500～8000Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5800～6500Ｌ(貸与)	持込	貸与

積算条件					
清掃方式(S)	側溝断面積(P)	堆積率(P)	散水車機種(S)	清掃車使用区分(S)	散水車使用区分(S)
機械組合せ清掃	0.125m2未満	50%未満	5800～6500Ｌ(貸与)	貸与	貸与
			散水車なし	持込	―
				貸与	―
		50%以上	1800Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5500～6500Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			7500～8000Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5800～6500Ｌ(貸与)	持込	貸与
				貸与	貸与
			散水車なし	持込	―
				貸与	―
	0.125m2以上0.5m2未満	50%未満	1800Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5500～6500Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			7500～8000Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5800～6500Ｌ(貸与)	持込	貸与
				貸与	貸与
			散水車なし	持込	―
				貸与	―
		50%以上	1800Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5500～6500Ｌ	持込	持込
					貸与

積算条件					
清掃方式(S)	側溝断面積(P)	堆積率(P)	散水車機種(S)	清掃車使用区分(S)	散水車使用区分(S)
機械組合せ清掃	0.125m2以上0.5m2未満	50%以上	5500～6500Ｌ	貸与	持込
					貸与
			7500～8000Ｌ	持込	持込
					貸与
				貸与	持込
					貸与
			5800～6500Ｌ(貸与)	持込	貸与
				貸与	貸与
			散水車なし	持込	―
				貸与	―
機械単独清掃	各種	―	―	持込	―
				貸与	―

（注）1.散水車機種で5,800～6,500Ｌ（貸与）を選択した場合、散水車機械使用区分は貸与となる。
2.散水車機種で散水車なしを選択した場合、散水車機械使用区分は選択不要。
3.堆積率は次式による。
堆積率＝堆積土厚(mm)÷側溝深さ(mm)×100
4.積算条件：機械単独清掃の選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
側溝断面積：各種（実数入力（m2））

４．その他

（１）清掃作業(1)(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-73）による。
（２）移動(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-76）による。
（３）側溝蓋撤去・設置(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-77）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
視線誘導標清掃

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属物清掃工におけるキングライト等を含む視線誘導標清掃に適用する。

２．費用内訳
・キングライト等を含む視線誘導標の清掃の他、水、洗剤、ウェス、スポンジ等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
視線誘導標清掃ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
清掃対象(P)
デリニェータ(支柱付)
デリニェータ(ガードレール用及び頭部のみ)
各種

(注)積算条件：各種の場合
清掃対象：各種（文字入力）

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
移動（側溝清掃）

積算単位：km(移動距離)
契約単位：式orkm(移動距離)

１．適用範囲

本資料は、排水施設清掃工における機械による側溝の清掃作業のうち、側溝清掃（清掃作業）に伴い発生する現場と給水場所、現場と現場の間（清掃を必要としない部分で１箇所の延長が50m以上の区間）、基地と現場の間の排水管清掃車、散水車、側溝清掃車の移動である、移動（側溝清掃）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる側溝清掃作業の移動の場合

（２）側溝清掃車単独による側溝清掃作業の移動の場合

２．費用内訳

・側溝清掃作業に伴い発生する、現場と給水場所、現場と現場の間、基地と現場の間の移動等に要する全ての費用を含む。

・***清掃作業(1)(側溝清掃)***は含まない。
・***清掃作業(2)(側溝清掃)***は含まない。
・***側溝蓋撤去・設置(側溝清掃)***は含まない。

３．積算条件

移動（側溝清掃）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
清掃方式(S)	散水車機種(S)	清掃車使用区分(S)	散水車使用区分(S)
機械組合せ清掃	1800Ｌ	持込	持込
			貸与
		貸与	持込
			貸与
	5500～6500Ｌ	持込	持込
			貸与
		貸与	持込
			貸与
	7500～8000Ｌ	持込	持込
			貸与
		貸与	持込
			貸与
	5800～6500Ｌ(貸与)	持込	貸与

積算条件			
清掃方式(S)	散水車機種(S)	清掃車使用区分(S)	散水車使用区分(S)
機械組合せ清掃	5800～6500Ｌ(貸与)	貸与	貸与
	散水車なし	持込	―
		貸与	―
機械単独清掃	―	持込	―
		貸与	―

（注）1.散水車機種で5800～6500Ｌ（貸与）を選択した場合、散水車機械使用区分は貸与となる。
2.散水車機種で散水車なしを選択した場合、散水車機械使用区分は選択不要。
3.移動距離（ℓ）について
(1)排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる側溝清掃作業
①移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。
1)現場と給水場所の間
2)現場と現場の間（清掃を必要としない部分で、1箇所の延長が50m以上の区間）
3)基地と現場の間
②上記の移動距離（ℓ）の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。
排水管清掃車の給水回数（n）
$n = L \times Q / q$
Ｌ：清掃延長（m）
Ｑ：清掃1m当り使用水量（m3／m）
ｑ：排水管清掃車のタンク容量（m3）
(2)側溝清掃車単独による側溝清掃作業
①移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。
1)現場と残土処分場の間
2)現場と現場の間（清掃を必要としない部分で、1箇所の延長が50m以上の区間）
3)基地と現場の間
②上記の移動距離（ℓ）の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。
側溝清掃車による泥土の排出回数（ｎ）
$n = q \cdot L / Q \cdot K$
ｑ：側溝１ｍ当り平均泥土量（m3／m）
Ｌ：清掃延長（m）
Ｑ：ホッパ容量（m3）
Ｋ：ホッパ係数　0.67

４．その他
（１）清掃作業(1)(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-73）による。
（２）清掃作業(2)(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-74）による。
（３）側溝蓋撤去・設置(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-77）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
側溝蓋撤去・設置（側溝清掃）

積算単位：枚（枚数）
契約単位：枚（枚数）

１．適用範囲

本資料は、排水施設清掃工における機械による側溝の清掃作業のうち、側溝清掃車単独による有蓋側溝清掃（清掃作業）の清掃範囲の側溝蓋を全数撤去・設置する側溝蓋設置・撤去（側溝清掃）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）側溝清掃車単独による側溝清掃作業において、有蓋の場合で清掃範囲の側溝蓋を全数撤去・設置する場合

２．費用内訳

・清掃範囲の側溝蓋(コンクリート製)の全数撤去・設置の他、その作業に要する全ての費用を含む。

・***清掃作業(1)(側溝清掃)***は含まない。
・***清掃作業(2)(側溝清掃)***は含まない。
・***移動(側溝清掃)***は含まない。

３．積算条件

側溝蓋撤去・設置（側溝清掃）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
側溝蓋1枚当り質量(P)
40kg以上80kg以下
80kgを超え120kg以下

４．その他

（１）清掃作業(1)(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-73）による。
（２）清掃作業(2)(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-74）による。
（３）移動(側溝清掃)については、（Ⅲ-直接-14-76）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
清掃作業（管渠清掃）

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水施設清掃工における清掃作業（管渠清掃）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）管径200㎜以上、1，000㎜以下の管渠の清掃の場合

２．費用内訳
・管渠の清掃作業、蓋の開閉、清掃区間内にある集水桝内部の清掃、給水作業の他、スコップ、ほうき等、その作業に要する全ての費用を含む。

・***移動（管渠清掃）***は含まない。
・用水に関する経費は含まない。

３．積算条件
清掃作業（管渠清掃）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件				
管径(P)	堆積率(P)	排水管清掃車使用区分(S)	散水車機種(S)	散水車使用区分(S)
200㎜以上400㎜未満	50%未満	持込	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
		貸与	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
	50%以上	持込	1800L	持込

積算条件				
管径(P)	堆積率(P)	排水管清掃車使用区分(S)	散水車機種(S)	散水車使用区分(S)
200㎜以上400㎜未満	50%以上	持込	1800L	貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
		貸与	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
400㎜以上800㎜未満	50%未満	持込	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
		貸与	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
	50%以上	持込	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
		貸与	1800L	持込
				貸与

積算条件				
管径(P)	堆積率(P)	排水管清掃車使用区分(S)	散水車機種(S)	散水車使用区分(S)
400㎜以上800㎜未満	50%以上	貸与	5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
800㎜以上1000㎜以下	50%未満	持込	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
		貸与	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
	50%以上	持込	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―
		貸与	1800L	持込
				貸与
			5500～6500L	持込
				貸与
			7500～8000L	持込
				貸与
			5800～6500L(貸与)	貸与
			散水車なし	―

（注）1.「散水車機種」において5800～6500L（貸与）を選択した場合、「散水車使用区分」は貸与となる。
2.「散水車機種」において散水車なしを選択した場合、「散水車使用区分」は選択不要。
3.堆積率は次式による。
堆積率＝堆積土厚(㎜)÷管径(㎜)×100

４．その他
（１）移動(管渠清掃)については、（Ⅲ-直接-14-79）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
移動(管渠清掃)

積算単位：km(移動距離)
契約単位：式orkm(移動距離)

１．適用範囲
本資料は排水施設清掃工における管渠の清掃作業のうち、管渠清掃（清掃作業）に伴い発生する現場と給水場所、現場と現場の間（清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間）、基地と現場の間の移動である、移動（管渠清掃）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる側溝清掃作業の移動

２．費用内訳
・管渠清掃作業に伴い発生する現場と給水場所、現場と現場の間、基地と現場の間の排水管清掃車、散水車、側溝清掃車の移動等に要する全ての費用を含む。

・***清掃作業(管渠清掃)***は含まない。

３．積算条件
移動（管渠清掃）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
散水車機種(S)	排水管清掃車使用区分(S)	散水車使用区分(S)
1800L	持込	持込
		貸与
	貸与	持込
		貸与
5500～6500L	持込	持込
		貸与
	貸与	持込
		貸与
7500～8000L	持込	持込
		貸与
	貸与	持込
		貸与
5800～6500L(貸与)	持込	貸与
	貸与	貸与
散水車なし	持込	―
	貸与	―

（注）1.「散水車機種」において5800～6500L（貸与）を選択した場合、「散水車使用区分」は貸与となる。
2.「散水車機種」において散水車なしを選択した場合、「散水車使用区分」は選択不要。
3.移動距離（ℓ）について
①移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。
1)現場と給水場所の間
2)現場と現場の間（清掃を必要としない部分で、1箇所の延長が50m以上の区間）
3)基地と現場の間
②上記の移動距離（ℓ）の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。
排水管清掃車の給水回数（n）
$n = L \times Q / q$
Ｌ：清掃延長（m）
Ｑ：清掃1m当り使用水量（m3/m）
ｑ：排水管清掃車のタンク容量（m3）

４．その他
（１）清掃作業(管渠清掃)については、（Ⅲ-直接-14-78）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
桝清掃(1)

積算単位：箇所
契約単位：箇所

１．適用範囲
本資料は、排水施設清掃工における人力による桝清掃である、桝清掃(1)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）桝の内寸法70cm以下、桝深100cm以下の人力による集水桝及び街渠桝の清掃作業

２．費用内訳
・蓋の取外し・設置、土砂積込み、蓋設置後の清掃、後片付けの他、その作業に要する全ての費用を含む。

・汚泥砂捨場の状態による敷均し処理等の付帯作業は含まない。
・***残土運搬***は含まない。
・***桝清掃(2)***は含まない。

３．積算条件
桝清掃(1)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
蓋の有無(P)	土砂厚(P)
無し	25cm未満
	25cm以上
有り	25cm未満
	25cm以上

４．その他
（１）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（２）桝清掃(2)については、（Ⅲ-直接-14-81）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：排水施設清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
桝清掃(2)

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、排水施設清掃工における機械による桝清掃である、桝清掃(2)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）ターボファン型及びロータリー（ルーツ）ブロワ型真空吸込式側溝清掃車による機械清掃

２．費用内訳
・桝蓋の開閉、蓋の周囲の清掃、吸入管の操作及び桝の周囲の洗浄の他、その作業に要する全ての費用を含む。

・汚泥砂捨場の状態による敷均し処理等の付帯作業は含まない。
・***残土運搬***は含まない。
・***桝清掃(1)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）1.側溝清掃車１箇所当りの運転時間（h／箇所）の算出は、次式による。

$$T1 = N \cdot t1 \cdot K + \ell / v + N \cdot q \cdot t2 + t3 \cdot n$$

T1：側溝清掃車の運転時間（h）
N　：集水桝清掃数（個）
t1：集水桝１個当り清掃時間（h／個）
K　：清掃時間の補正係数
ℓ　：移動距離（km）
v　：移動速度（km／h）
q　：集水桝１個当り清掃に要する洗浄推量（m3／個）
t2：水１m3当り給水時間（h／m3）
t3：１回当りの泥土排出に要する時間（h／回）
n　：泥土排出回数（回）

４．その他
（１）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（２）桝清掃(1)については、（Ⅲ-直接-14-80）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：橋梁清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
伸縮継手清掃

積算単位：m(継手延長)
契約単位：式orm(継手延長)

１．適用範囲
本資料は、道路清掃工における伸縮継手清掃に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）ジョイント幅140～850㎜の櫛型ジョイント清掃
（２）排水管清掃車及び側溝清掃車を無償貸与する場合

２．費用内訳
・櫛型ジョイント(ジョイント幅140～850㎜)の清掃、ジョイント部・受皿部の清掃、汚水処理、受皿部・ドレーンパイプのゴミづまり除去、ジョイント周囲の清掃、給水作業等、その作業に要する全ての費用を含む。

・足場は含まない。
・泥土砂捨場の状態により敷均し処理が必要な場合の付帯作業は含まない。
・用水に関する経費は含まない。
・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：橋梁清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
排水管清掃

積算単位：m(排水管延長)
契約単位：m(排水管延長)

１．適用範囲
本資料は、橋梁排水管清掃に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）管径φ60.5～200ｍｍの橋梁排水管清掃の場合
（２）排水管清掃車及び側溝清掃車を無償貸与する場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）河川等に直に排水処理する形式の排水管の清掃の場合

２．費用内訳
・橋梁排水管(管径φ60.5～200㎜)の清掃、発生土砂・汚水処理、排水管のゴミづまり除去、桝周囲の清掃、給水作業等、その作業に要する全ての費用を含む。

・足場は含まない。
・泥土砂捨場の状態により敷均し処理が必要な場合の付帯作業は含まない。
・用水に関する経費は含まない。
・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードレール清掃

積算単位：km(清掃延長)
契約単位：km(清掃延長)

１．適用範囲
本資料は、ガードレール清掃に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）回転ブラシ式自動追従形ガードレール清掃車によるガードレール清掃作業の場合

２．費用内訳
・機械によるガードレール清掃（支柱・巻そでレールを含む）、移動の他、給水作業、洗剤等、その作業に要する全ての費用を含む。

・ガードレール裏面の清掃は含まない。
・用水に関する経費は含まない。
・***残土等処分***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）清掃延長＝清掃対象のガードレール総延長(現場間の移動1箇所の移動距離が50m未満は清掃延長に含む)

４．その他
（１）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

ガードパイプ清掃

積算単位：m(清掃延長)
契約単位：m(清掃延長)

１．適用範囲
本資料は、ガードパイプ清掃に適用する。

２．費用内訳
・ガードパイプ(支柱・ビーム)の人力による清掃の他、洗剤等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）清掃延長＝清掃対象のガードパイプ設置長

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識清掃(1)

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
　本資料は、道路付属物清掃工における人力による標識清掃である、標識清掃(1)に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）人力による道路標識板（路側式、片持式、門型式）の清掃作業の場合

２．費用内訳
・道路標識板の清掃作業の他、洗剤等、その作業に必要な全ての費用を含む。

・***標識清掃(2)***は含まない。

３．積算条件
　標識清掃(1)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
標識型式(P)	高所作業車使用区分(S)
路側式	―
片持式・門型式	貸与
	リース

（注）標識型式において路側式を選択した場合、高所作業車使用区分は選択不要。

４．その他
（１）標識清掃(2)については、（Ⅲ-直接-14-87）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識清掃(2)

積算単位：枚(枚数)
契約単位：枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属物清掃工における機械による標識清掃である、標識清掃(2)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）片持式、門型式の道路標識板の場合
（２）標識清掃車が貸与の場合

２．費用内訳
・道路標識板の清掃作業、移動、給水作業の他、その作業に必要な全ての費用を含む。

・***標識清掃(1)***は含まない。
・用水に関する経費は含まない。

３．積算条件
標識清掃(2)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
標識板幅(P)
2.5m以下
2.5mを超えるもの

（注）ブラシの損耗費が必要な場合は、別途計上する。

４．その他
（１）標識清掃(1)については、（Ⅲ-直接-14-86）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

トンネル照明器具清掃（１）

積算単位：km(延長)
契約単位：km(延長)

１．適用範囲
本資料は、機械によるトンネル照明器具清掃（１）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）トンネル清掃車が無償貸与の場合

２．費用内訳
・機械によるトンネル照明の灯具表面清掃の他、清掃用ブラシ（官給品）、洗剤、ウエス等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：道路付属物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

トンネル照明器具清掃（２）

積算単位：灯(照明灯数)
契約単位：灯(照明灯数)

１．適用範囲
本資料は、人力によるトンネル照明器具清掃（２）に適用する。

２．費用内訳
・人力によるトンネル照明の灯具表面清掃、内面清掃（ランプ清掃、反射板清掃）の他、洗剤、ウエス、ブラシ等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：道路清掃工
種　　別：構造物清掃工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

トンネル壁面清掃

積算単位：m2(清掃面積)
契約単位：m2(清掃面積)

１．適用範囲
本資料は、回転ブラシ式トンネル清掃車によるトンネル壁面清掃に適用する。

２．費用内訳
・トンネル清掃における壁面清掃、洗浄、給水作業の他、消火器・電話ボックス等の補助清掃の他、洗剤の費用等、その作業に要する全ての費用を含む。

・用水に関する経費は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：冬期対策施設工
種　　別：冬期安全施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
スノーポール設置

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路の冬期安全対策におけるスノーポール設置に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）単柱を土中に差し込む「土中型タイプ」の場合
（２）既存の視線誘導標支柱のサヤ管等に単柱を挿入する「挿入型タイプ」の場合
（３）既存の視線誘導標にスノーポールを取付ける「かぶせ型タイプ」
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）二段式デリニェータポール等の引き上げの場合

２．費用内訳
・積雪寒冷地等の冬期視線誘導対策におけるスノーポール（土中単柱型、挿入単柱型、かぶせ型）の路側等への設置、アスファルト削孔、コンクリート削孔、削孔機械の移動、現場内小運搬の他、コアボーリングマシン固定用のアンカー打込費用、ダイヤモンドビット、コアボーリングマシン損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分***を含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：冬期対策施設工
種　　別：冬期安全施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
落雪（せり出し）防護柵

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、冬期対策施設工における落雪（せり出し）防護柵に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鋼製及びＰＣ製の落雪（せり出し）防止を目的とした落雪防護柵の場合
（２）落雪（せり出し）防護柵設置（材料込みの新設設置）
（３）再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
（４）撤去のみの場合

２．費用内訳
(1)設置の場合(材料込みの新設設置)
・冬期安全施設における落雪(せり出し)防護柵の設置(金網ロープ、中間支柱、端末支柱、上弦材、現場内小運搬、充填)、基礎材、型枠、鉄筋、基礎コンクリート、ステー取付、アンカー設置の他、アンカー設置に伴うハンドハンマの損料、空気圧縮機の運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)再利用設置の場合(設置手間のみの流用品・支給品等使用)
・上記(1)の設置費のみを含む(落雪(せり出し)防護柵本体の製品費は含まない)。
(3)撤去の場合
・落雪(せり出し)防護柵の撤去(金網ロープ、中間支柱、端末支柱、上弦材)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***コンクリート構造物取壊し***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、土砂等運搬、残土運搬、殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）コンクリート構造物取壊しについては、（Ⅲ-直接-15-12）による。
（２）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（３）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（４）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（５）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（６）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（７）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（８）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（９）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

(10) 足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
(11) 「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：冬期対策施設工
種　　別：冬期安全施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

防雪柵現地張出し・収納

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲

本資料は、吹払式及び吹止式の現地収納式防雪柵（支柱・防雪板下部収納方式（連動型・単動型））における張出し・収納に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合

（１）柵高 4.3m以下の場合。ただし、柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。

（２）支間長 4.0m以下の場合。ただし、支間長は支柱の中心間長さとする。

（３）吹払式又は吹止式の防雪柵の場合

（４）支柱・防雪板下部収納方式（連動型・単動型）の場合

２．費用内訳

・冬期安全施設における現地収納式防雪柵の張出し・収納の他、脚立及び工具等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件

防雪柵現地張出し・収納ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
作業区分(P)
張出し
収納

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、道路維持
工　　種：応急処理工
種　　別：応急処理作業工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
応急作業

積算単位：日（日数）
契約単位：日（日数）

１．適用範囲
本資料は、応急処理作業工における応急作業に適用する。

２．費用内訳
・河川及び道路維持における応急作業等、その作業に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）１５撤去編

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：参考資料『索引』参照
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

転落(横断)防止柵撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵撤去工における転落（横断）防止柵撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）事故後の復旧工事の場合
（２）良好な景観形成に配慮したもの
（３）防護柵（SP種）の場合
（４）ビーム又はパネルのみの撤去の場合

２．費用内訳
・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵の撤去（ビーム又はパネル、支柱)、根巻きコンクリートブロック（土中建込の場合)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
転落（横断）防止柵撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
建込方式(P)	形状区分(P)	支柱間隔(P)
土中建込	ビーム式・パネル式	1.0m
		1.5m
		2.0m
		3.0m
プレキャストコンクリートブロック建込	ビーム式・パネル式	1.0m
		1.5m
		2.0m
		3.0m
	門型	1.0m
		1.5m
		2.0m
		3.0m
コンクリート建込	ビーム式・パネル式	1.0m
		1.5m
		2.0m
		3.0m

積算条件		
建込方式(P)	形状区分(P)	支柱間隔(P)
コンクリート建込	門型	1.0m
		1.5m
		2.0m
		3.0m
アンカーボルト固定	ビーム式・パネル式	1.0m
		1.5m
		2.0m
		3.0m

４．その他

（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（３）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（４）ビーム・パネル（転落(横断)防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-2）による。

（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：防止柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

ビーム・パネル(転落(横断)防止柵)撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲

本資料は、防護柵工におけるビーム・パネル（転落（横断）防止柵）撤去に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）転落（横断）防止柵（柵高70cm以上125cm以下）のビーム又はパネルのみの撤去の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）事故後の復旧工事
（２）良好な景観形成に配慮したもの
（３）防護柵（SP種）の場合
（４）支柱建込みを含んだ転落（横断）防止柵の場合

２．費用内訳

・歩行者用の転落防止柵・横断防止柵のビーム又はパネルのみの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件

ビーム・パネル（転落（横断）防止柵）撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
支柱間隔(P)
1.0m
1.5m
2.0m
3.0m

４．その他

（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：防止柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

基礎ブロック(立入防止柵)撤去

積算単位：個(個数)
契約単位：式or個(個数)

１．適用範囲
本資料は、防護柵撤去工における基礎ブロック（立入防止柵）撤去に適用する。

２．費用内訳
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)のプレキャスト基礎ブロックの撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬、殻処分***は含まない。
・***支柱(立入防止柵)撤去、金網(フェンス)(立入防止柵)撤去***は含まない。

３．積算条件
基礎ブロック（立入防止柵）撤去ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）支柱（立入防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-4）による。
（４）金網（フェンス）（立入防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-5）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：防止柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

支柱（立入防止柵）撤去

積算単位：本（支柱本数）
契約単位：式or本（支柱本数）

１．適用範囲
本資料は、防護柵撤去工における支柱（立入防止柵）撤去に適用する。

２．費用内訳
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵（柵高2m以下、支柱間隔2m）の支柱撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***基礎ブロック（立入防止柵）撤去、金網（フェンス）（立入防止柵）撤去***は含まない。

３．積算条件
支柱（立入防止柵）撤去ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）基礎ブロック（立入防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-3）による。
（３）金網（フェンス）（立入防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-5）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：防止柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

金網(フェンス)(立入防止柵)撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵撤去工における金網（フェンス）（立入防止柵）撤去に適用する。

２．費用内訳
・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵(柵高2m以下、支柱間隔2m)の金網撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***基礎ブロック(立入防止柵)撤去、支柱(立入防止柵)撤去***は含まない。

３．積算条件
金網（フェンス）（立入防止柵）撤去ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）基礎ブロック（立入防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-3）による。
（３）支柱（立入防止柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-4）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：防護柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードレール撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵撤去工におけるガードレール撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）事故後の復旧工事の場合

２．費用内訳
・ガードレール(レール、支柱)の撤去(耐雪型を含む)、支柱等の撤去作業に必要な作業土工等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
ガードレール撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件					
ガードレール形式(P)	撤去部材(P)	建込方式(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	レール規格(P)
標準型	支柱及びレール	土中建込	旧S種	―	―
			A・B・C種	―	―
			Am・Bm種	―	―
			旧Ap・Bp・Cp種	―	―
		コンクリート建込	旧S種	―	―
			A・B・C種	―	―
			Am・Bm種	―	―
			旧Ap・Bp・Cp種	―	―
	レールのみ	―	―	―	旧路側用 S種
					路側用A・B・C種(歩車道境界用　旧Ap・Bp・Cp種)
					分離帯用Am・Bm種
耐雪型	支柱及びレール	土中建込	―	旧S2・S3・S4・S5種	―
				A4・A5・B4・C3種	―
				A3・B3・C2種	―
				A2・B2種	―
		コンクリート建込	―	旧S2・S3・S4・S5種	―
				A2・A3・A4・A5・B2・B3・B4・C2・C3種	―

積算条件					
ガードレール形式(P)	撤去部材(P)	建込方式(P)	標準型規格(P)	耐雪型規格(P)	レール規格(P)
耐雪型	レールのみ	―	―	―	旧路側用 S種
					路側用A・B・C種(歩車道境界用　旧Ap・Bp・Cp種)
					分離帯用Am・Bm種

（注）1.旧の規格は、防護柵設置要綱(昭和47年10月)対応のもの。
その他の規格は、防護柵の設置基準・同解説(平成10年11月)対応のもの。
2.レール規格は、撤去部材がレールの場合の条件である。

４．その他

（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：防護柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
ガードパイプ撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、防護柵撤去工におけるガードパイプ撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）支柱及びパイプ撤去の場合
（２）部材（パイプ）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）事故後の復旧工事（撤去）の場合

２．費用内訳
・ガードパイプ(パイプ、支柱)の撤去、支柱等の撤去作業に必要な作業土工等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
ガードパイプ撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
撤去部材(P)	建込方式(P)
支柱及びパイプ	土中建込
	コンクリート建込
パイプのみ	―

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：標識撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識柱・基礎撤去（路側式）

積算単位：基(基数)
契約単位：式or基(基数)

１．適用範囲
本資料は、道路標識の標識柱・基礎撤去（路側式）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路標識の標識柱撤去及びコンクリート基礎撤去

２．費用内訳
・標識柱・基礎撤去(路側式)、撤去作業に必要な作業土工、コンクリート基礎撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・撤去後において、撤去柱は仮置きまで、撤去コンクリート殻は積込みまでとし、ともに処分費は含まない。
・舗装版破砕及び撤去、土留に要する費用、舗装版復旧は含まない。
・杭基礎の撤去は含まない。
・***残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***標識板(警戒等)撤去（路側式）***は含まない。

３．積算条件
標識柱・基礎撤去（路側式）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
形式(P)	施工数量(S)
単柱式	5基以上
	3～4基
	2基以下
複柱式	5基以上
	3～4基
	2基以下

（注）施工数量は、1工事当りの全体数量とする。

４．その他
（１）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
（４）標識板(警戒等)撤去(路側式)については、（Ⅲ-直接-15-9）による。
（５）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：標識撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識板（警戒等）撤去（路側式）

積算単位：基（基数）
契約単位：式or基（基数）

１．適用範囲
本資料は、道路標識の標識板（警戒等）撤去（路側式）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路標識の路側式標識板（警戒・規制・指示・路側番号標識）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）片持式・門型式及び添架式の場合
（２）内部照明式の標識板の場合
（３）外部照明式の標識板の場合

２．費用内訳
・標識板撤去(路側式)の他、その施工に要する全ての費用を含む。

・撤去後において、撤去板は仮置きまでとし、処分費は含まない。

３．積算条件
標識板（警戒等）撤去（路側式）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
施工数量(S)
5基以上
3～4基
2基以下

（注）施工数量は、1工事当りの全体数量とする。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：標識撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
標識板(案内)撤去(片持式・門型式)

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、道路標識の標識板（案内）撤去（片持式・門型式）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路標識の片持式・門柱式標識板（案内標識）の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）案内標識のうち路線番号の場合
（２）路側式及び添架式標識板の撤去の場合
（３）内部照明式の標識板の場合
（４）外部照明式の標識板の場合

２．費用内訳
・標識板撤去(片持式・門型式)の他、補助板及び取付金具の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・撤去後において、撤去板は仮置きまでとし、処分費は含まない。

３．積算条件
標識板(案内)撤去(片持式・門型式)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
標識板の規格(S)
2.0m2未満
2.0m2以上

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：道路付属物撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
視線誘導標撤去

積算単位：本(本数)
契約単位：式or本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属物撤去工における視線誘導標撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）道路に設置する視線誘導標及びスノーポール併用型視線誘導標の撤去

２．費用内訳
・視線誘導標の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
視線誘導標撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
設置方式(P)	施工数量(S)
土中建込	30本以上
	30本未満
コンクリート建込	30本以上
	30本未満
防護柵取付	30本以上
	30本未満
構造物取付	30本以上
	30本未満

（注）施工数量は、1工事当りの全体数量とする。

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：構造物取壊し工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート構造物取壊し

積算単位：m3(体積)
契約単位：式orm3(体積)

１．適用範囲
本資料は、既設のコンクリート構造物取壊しに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）河川、海岸、砂防、道路工事等の既設コンクリート構造物のとりこわし作業
（２）とりこわし作業の主たる機械が、大型ブレーカ、コンクリートブレーカ、コンクリート圧砕機の場合
（３）機械施工については、施工基面（機械設置面）より上下5m以内の作業の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）建築物、舗装版のとりこわし作業及びブロック施工による旧橋撤去
（２）とりこわし作業機械が、大型ブレーカ、コンクリートブレーカ、コンクリート圧砕機以外の場合（火薬、ワイヤーソーイング、静的破砕及び大型ブレーカ、コンクリート圧砕機を使用する場合で、施工基面（機械設置基面）より上下5mを超える作業能力を有する機種等）
（３）橋梁地覆補修工にともなうとりこわし工

２．費用内訳
・既設コンクリート構造物のとりこわし作業、鉄筋の切断、コンクリート殻破砕(径30cm程度)、破砕片の除去・積込等、その施工に要する全ての費用を含む。

・施工基面の造成作業は含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。
・破砕したコンクリート殻を新たに二次破砕する費用は含まない。

３．積算条件
コンクリート構造物取壊しユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
構造物区分(P)	工法区分(S)	施工数量(S)	低騒音・低振動対策(P)
無筋構造物	機械施工	10m3以上	必要
			不要
		10m3未満	必要
			不要
	人力施工	3m3以上	―
		3m3未満	―

積算条件			
構造物区分(P)	工法区分(S)	施工数量(S)	低騒音・低振動対策(P)
鉄筋構造物	機械施工	10m3以上	必要
			不要
		10m3未満	必要
			不要
	人力施工	3m3以上	―
		3m3未満	―

（注）1.施工数量は、工法ごとの数量とする。
2.PC・RC橋上部、鋼橋床版は鉄筋構造物を適用する。
3.施工数量は、構造物のとりこわし前の体積とする。
4.人力施工については、重機の使用出来ない狭い場所、部分的なこわしが必要な場合に適用する。
5.鉄筋を有する構造物は、鉄筋構造物を適用する。

４．その他

（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。

（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、共通
工　　種：構造物補修工、構造物撤去工
種　　別：クラック補修工、構造物取壊し工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

コンクリートはつり

積算単位：m2(面積)
契約単位：m2(面積)

１．適用範囲
本資料は、コンクリート構造物のコンクリートはつりに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）河川、海岸、砂防、道路工事の既設コンクリート構造物のコンクリートはつりの場合
（２）はつり厚が6cm以下の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）沓座拡幅工等で、土木工事標準積算基準書又はユニットプライス型積算基準において別途、チッピング等の基準が設定されている工種の場合
（２）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳にはつり（チッピング）作業が含まれている場合。
（３）建築物及び舗装版のはつりの場合
（４）ブロック施工による旧橋の撤去の場合
（５）はつり厚が6cmを超える場合

２．費用内訳
・既設のコンクリート構造物表面部のはつり作業、破砕片の除去の他、ピックハンマ損料、チゼルの損耗費等、その施工に要する全ての費用を含む。

・運搬車への積込みは含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
コンクリートはつりユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
はつり厚(S)
3cm以下
3cmを超え6cm以下

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：構造物取壊し工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
根固めブロック撤去

積算単位：個(ブロック個数)
契約単位：個(ブロック個数)

１．適用範囲
本資料は、根固め工における根固めブロック撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）撤去・仮置きの場合（撤去したブロック（0.25t以上35.5t以下）を直接河川敷等のヤードに仮置きする場合）
（２）撤去・据付けの場合（既設ブロック又は仮設的に設置されたブロック（0.25t以上35.5t以下）を仮置きせずに据直す場合）
（３）撤去・積込みの場合（撤去したブロック（0.25t以上35.5t以下）を直接トレーラ等に積込む場合）

２．費用内訳
(1)撤去・仮置きの場合
・消波根固めブロック(0.25t以上35.5t以下)の撤去・仮置きの他、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。
(2)撤去・据付け(乱積)の場合
・消波根固めブロック(0.25t以上35.5t以下)の撤去・据付け(乱積)の他、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。
(3)撤去・据付け(層積)の場合
・消波根固めブロック(0.25t以上35.5t以下)の撤去・据付け(層積)の他、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。
(4)撤去・積込みの場合
・消波根固めブロック(0.25t以上35.5t以下)の撤去・積込みの他、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
根固めブロック撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

<table>
<tr><th colspan="4">積算条件</th></tr>
<tr><th>作業区分(P)</th><th>ブロック実質量(S)</th><th>堆砂の有無(P)</th><th>クレーン機種(S)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">撤去・仮置き</td><td rowspan="3">0.25t以上6.5t以下</td><td rowspan="2">無し</td><td>ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊</td></tr>
<tr><td>各種</td></tr>
<tr><td>有り</td><td>ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊</td></tr>
</table>

積算条件			
作業区分(P)	ブロック実質量(S)	堆砂の有無(P)	クレーン機種(S)
撤去・仮置き	0.25t以上6.5t以下	有り	各種
	各種	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
		有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
撤去・据付け(乱積)	0.25t以上6.5t以下	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
		有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
	各種	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
		有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
撤去・据付け(層積)	0.25t以上6.5t以下	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
		有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
	各種	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
		有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
撤去・積込み	0.25t以上6.5t以下	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種

積算条件			
作業区分(P)	ブロック実質量(S)	堆砂の有無(P)	クレーン機種(S)
撤去・積込み	0.25t以上6.5t以下	有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
	各種	無し	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種
		有り	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 20t吊～25t吊
			各種

（注）1.作業区分

「撤去・仮置き」：撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合である。直接トレーラ等に積込む場合は「撤去・積込み」を適用する。

「撤去・据付け」：既設ブロック又は仮設的に設置（仮置きを含む）されたブロックを仮置きせずに直接据直す（据付ける）場合である。「乱積、層積」の区分は、既存の積形状によらず、新たに据付ける積形状により判断する。

2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。

ブロック実質量（t）：各種（実数入力）

クレーン機種：各種（文字入力）

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：排水構造物撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
U型側溝撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物撤去工における長尺製品を含むプレキャスト製品のU型側溝撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）再利用を目的とした撤去の場合

２．費用内訳
・プレキャストU型側溝の撤去、集積、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・基礎部分の撤去は含まない。
・***蓋版撤去***は含まない。
・***床掘り(土砂)、床掘り(岩石)、埋戻し、殻運搬、殻処分、土砂等運搬、残土運搬、残土等処分***は含まない。

３．積算条件
U型側溝撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
U型側溝の種類(P)	U型側溝の規格(P)	施工数量(S)	施工箇所(P)
鉄筋コンクリートU型	240 (240×240×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300A (300×240×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300B (300×300×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部

積算条件			
U型側溝の種類(P)	U型側溝の規格(P)	施工数量(S)	施工箇所(P)
鉄筋コンクリートU型	300B (300×300×600)	50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300C (300×360×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	360A (360×300×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	360B (360×360×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	450 (450×450×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	600 (600×600×600)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
道路用鉄筋コンクリート側溝1種	250 (250×250×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300A (300×300×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部

積算条件			
U型側溝の種類(P)	U型側溝の規格(P)	施工数量(S)	施工箇所(P)
道路用鉄筋コンクリート側溝1種	300A (300×300×2000)	50m以上	縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300B (300×400×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300C (300×500×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	400A (400×400×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	400B (400×500×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	500A (500×500×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	500B (500×600×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部

積算条件			
U型側溝の種類(P)	U型側溝の規格(P)	施工数量(S)	施工箇所(P)
道路用鉄筋コンクリート側溝3種	250 (250×250×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300A (300×300×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300B (300×400×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	300C (300×500×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	400A (400×400×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	400B (400×500×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
	500A (500×500×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部

積算条件			
U型側溝の種類(P)	U型側溝の規格(P)	施工数量(S)	施工箇所(P)
道路用鉄筋コンクリート側溝3種	500A (500×500×2000)	50m未満	縦排水部
	500B (500×600×2000)	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部
各種	―	50m以上	側溝部
			小断面部
			縦排水部
		50m未満	側溝部
			小断面部
			縦排水部

（注）1.複数の規格区分を含む工事の施工数量の判定は、1工事における全規格の全体数量で判定する。
2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
U型側溝の種類・規格：各種（文字入力）

４．その他
（１）蓋版撤去については、（Ⅲ-直接-15-16）による。
（２）床掘り(土砂)については、（Ⅲ-直接-1-28）による。
（３）床掘り(岩石)については、（Ⅲ-直接-1-29）による。
（４）埋戻しについては、（Ⅲ-直接-1-31）による。
（５）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（６）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（７）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-6）による。
（８）土砂等運搬については、（Ⅲ-直接-1-7）による。
（９）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-25）による。
(10) 残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。
(11) 残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。
(12) 「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。
(13) 床掘り(土砂)、床掘り(岩石)及び埋戻しについては、維持･修繕工事のみに適用可。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：排水構造物撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
蓋版撤去

積算単位：枚(枚数)
契約単位：式or枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、排水構造物撤去工における蓋版撤去に適用する。

２．費用内訳
・排水構造物（側溝、集水桝、街渠桝、マンホール）の蓋の撤去、集積、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・撤去における掘削・埋戻し、蓋版の積込みは含まない。
・***殻運搬、殻処分、現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
蓋版撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
蓋版の種類(P)	蓋版の質量(S)
プレキャスト側溝蓋	40kg/枚以下
	40を超え170kg/枚以下
各種	―

（注）1.プレキャスト側溝蓋で170kg/枚を超える場合は各種とする。
2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
蓋版の種類：各種（文字入力）

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（４）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：落石防護柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

ロープ・金網(落石防護柵)撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲

本資料は、落石雪害防止撤去工におけるロープ・金網（落石防護柵）撤去に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）柵高4m以下、支柱間隔3m(耐雪型（上弦材付）は3m、2m）の落石防護柵（ロープ・金網）撤去の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）落雪（せり出し）防護柵の場合

２．費用内訳

・落石防護柵(ストーンガード)のロープ、金網・間隔保持材の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***支柱(落石防護柵)撤去***は含まない。

３．積算条件

ロープ・金網（落石防護柵）撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
規格・仕様(P)	施工数量(S)
柵高1.50m ロープ本数5本	15m以上
	15m未満
柵高2.00m ロープ本数7本	15m以上
	15m未満
柵高2.50m ロープ本数8本	15m以上
	15m未満
柵高3.00m ロープ本数10本	15m以上
	15m未満
柵高3.50m ロープ本数12本	15m以上
	15m未満
柵高4.00m ロープ本数13本	15m以上
	15m未満

（注）1.支柱間隔に関わらず適用出来る。
2.施工数量は、1工事における落石防護柵撤去（ロープ・金網）と耐雪型落石防護柵撤去（ロープ・金網）の合計施工数量とする。

４．その他

（１）支柱（落石防護柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-18）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：落石防護柵撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支柱（落石防護柵）撤去

積算単位：本(本数)
契約単位：式or本(本数)

１．適用範囲
本資料は、落石雪害防止撤去工における支柱（落石防護柵）撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）柵高4m以下、支柱間隔3m（耐雪型（上弦材付）は3m、2m）の落石防護柵（支柱）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）落雪（せり出し）防護柵の場合
（２）資材の持上げ範囲が10mを超える場合

２．費用内訳
・落石防護柵(ストーンガード)の支柱の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***ロープ・金網（落石防護柵）撤去***は含まない。
・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
支柱（落石防護柵）撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
支柱区分(P)	規格・仕様(P)
中間支柱	柵高1.50m メッキ・塗装品
	柵高2.00m メッキ・塗装品
	柵高2.50m メッキ・塗装品
	柵高3.00m メッキ・塗装品
	柵高3.50m メッキ・塗装品
	柵高4.00m メッキ・塗装品
端末支柱	柵高1.50m メッキ・塗装品
	柵高2.00m メッキ・塗装品
	柵高2.50m メッキ・塗装品
	柵高3.00m メッキ・塗装品
	柵高3.50m メッキ・塗装品
	柵高4.00m メッキ・塗装品

（注）ステーロープの撤去の有無を問わずに適用出来る。

４．その他

（１）ロープ・金網（落石防護柵）撤去については、（Ⅲ-直接-15-17）による。

（２）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。

（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：道路付属施設撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
道路鋲撤去

積算単位：個(個数)
契約単位：式or個(個数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属施設撤去工における道路鋲撤去に適用する。

２．費用内訳
・道路上の道路鋲撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。

３．積算条件
道路鋲撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
設置方式(P)	施工数量(S)
穿孔式	30個以上
	30個未満
貼付式	30個以上
	30個未満

（注）施工数量は、1工事の全体数量とする。

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：道路付属施設撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

車線分離標撤去

積算単位：本(本数)
契約単位：本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路付属物撤去工における車線分離標撤去に適用する。

２．費用内訳
・車線分離標(ラバーポール)の撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
車線分離標撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
設置方式(P)	施工数量(S)
可変式(穿孔式・1本脚)	30本以上
	30本未満
着脱式(穿孔式・3本脚)	30本以上
	30本未満
固定式(貼付式)	30本以上
	30本未満

（注）施工数量は、1工事当りの全体数量とする。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：ブロック舗装撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

インターロッキングブロック撤去

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲

本資料は、ブロック舗装撤去工におけるとりこわしによるインターロッキングブロック撤去に適用する。

２．費用内訳

・インターロッキングブロックのとりこわしによる撤去、現場内集積等、その施工に要する全ての費用を含む。

・積込みは含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件

インターロッキングブロック撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
施工数量(S)
100m2以上
100m2未満

（注）施工数量は、1工事における全規格・仕様の全体数量とする。

４．その他

（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：共通
工　　種：構造物撤去工
種　　別：縁石撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
歩車道境界ブロック撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、縁石撤去工における歩車道境界ブロック撤去に適用する。

２．費用内訳
・プレキャスト製品による歩車道境界ブロック(道路の車道と歩道等を分離するために用いる)の撤去、敷モルタル・目地モルタルの取外し、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・基礎コンクリートのとりこわしは含まない。
・***殻運搬、殻処分***は含まない。

３．積算条件
歩車道境界ブロック撤去ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
撤去区分(P)
再利用
撤去・処分

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
鋼製高欄撤去

積算単位：m(延長)
契約単位：m(延長)

１．適用範囲
本資料は、旧橋撤去時に行なう鋼製高欄撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）鋼橋鈑桁（合成桁及び非合成桁）の高欄（鋼製、橋梁用ガードレール、アルミ）撤去の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）横断歩道橋撤去の場合
（２）コンクリート高欄（壁高欄を含む）撤去の場合

２．費用内訳
・旧橋撤去における高欄撤去（鋼製、橋梁用ガードレール、アルミ）切断、運搬車両への積込みの他、ガス切断機損料、酸素、アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***床版足場、防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

（注）延長＝高欄撤去の総延長（両車線の総撤去延長）

４．その他
（１）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（２）床版足場については、（Ⅲ-直接-16-12）による。
（３）防護については、（Ⅲ-直接-16-19）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
床版破砕及び撤去

積算単位：m3(床版体積)
契約単位：m3(床版体積)

１．適用範囲
本資料は、旧橋撤去時に行なう床版破砕及び撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）横断歩道橋撤去、床版打換え時のブロック施工などの場合

２．費用内訳
・鋼橋鈑桁における床版分割（ブロック施工）のための一次破砕・撤去（2m×5m程度への床版分割撤去及び床版分割ブロックの作業半径内における一次仮置場への仮置き又は直接積込み）、床版二次破砕（一次破砕後おおよそ30cm×30cm程度に破砕及び積込み）の他、チゼルの損耗費、切断作業に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床版運搬処理、桁材撤去、舗装版破砕、舗装版運搬処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床版運搬処理については、（Ⅲ-直接-13-17）による。
（２）桁材撤去については、（Ⅲ-直接-15-25）による。
（３）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-5）による。
（４）舗装版運搬処理については、（Ⅲ-直接-15-28）による。
（５）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
桁材撤去

積算単位：t(桁質量)
契約単位：t(桁質量)

１．適用範囲
本資料は、旧橋撤去時に行なう桁材撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）横断歩道橋撤去、床版打換え時のブロック施工などの場合

２．費用内訳
・鋼橋鈑桁における桁一次切断・撤去（桁材の撤去及び積込み）、桁二次切断（切断・積込み）の他、切断作業に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床版破砕及び撤去、現場発生品・支給品運搬***は含まない。
・***ベント設備、床版足場、防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床版破砕及び撤去については、（Ⅲ-直接-15-24）による。
（２）現場発生品・支給品運搬については、（Ⅲ-直接-15-31）による。
（３）ベント設備については、（Ⅲ-直接-9-7）による。
（４）床版足場については、（Ⅲ-直接-16-12）による。
（５）防護については、（Ⅲ-直接-16-19）による。
（６）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持
工　　種：冬期対策施設工
種　　別：冬期安全施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

スノーポール撤去

積算単位：本(本数)
契約単位：式or本(本数)

１．適用範囲
本資料は、道路の冬期安全対策のためスノーポール撤去に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）単柱を土中に差し込む「土中型タイプ」の場合
（２）既存の視線誘導標支柱のサヤ管等に単柱を挿入する「挿入型タイプ」の場合
（３）既存の視線誘導標にスノーポールを取付ける「かぶせ型タイプ」
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）二段式デリニェータポール等の引き上げ場合

２．費用内訳
・積雪寒冷地等の冬期視線誘導対策におけるスノーポール（土中単柱型、挿入単柱型、かぶせ型）の撤去、現場内小運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川修繕、道路維持、道路修繕
工　　種：管理用通路工、舗装工
種　　別：路面切削工、切削オーバーレイ工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
殻運搬（路面切削）

積算単位：m3(殻体積)
契約単位：m3(殻体積)

１．適用範囲
本資料は、路面切削工における殻運搬（路面切削）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）段差すりつけの撤去後に発生した廃材運搬
（２）舗装版破砕工に伴い発生したコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬
（３）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・舗装路面の切削作業によって発生するアスファルト殻の運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***殻処分***は含まない。

３．積算条件
殻運搬（路面切削）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
無し	0.2km以下
	0.5km以下
	1.0km以下
	1.5km以下
	2.0km以下
	2.5km以下
	3.0km以下
	3.5km以下
	4.0km以下
	4.5km以下
	5.0km以下
	5.5km以下
	6.5km以下
	7.5km以下
	9.0km以下

積算条件	
DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
無し	10.5km以下
	12.0km以下
	13.5km以下
	16.0km以下
	18.5km以下
	21.5km以下
	26.0km以下
	32.0km以下
	39.5km以下
	47.0km以下
	55.5km以下
	60.0km以下
	各種
有り	0.2km以下
	0.5km以下
	1.0km以下
	1.5km以下
	2.0km以下
	2.5km以下
	3.0km以下
	3.5km以下
	4.0km以下
	4.5km以下
	5.0km以下
	5.5km以下
	6.0km以下
	6.5km以下
	7.5km以下
	8.5km以下
	9.5km以下
	11.0km以下
	12.5km以下
	14.5km以下
	16.5km以下
	19.0km以下
	22.0km以下
	25.5km以下
	30.0km以下
	36.0km以下
	46.0km以下
	60.0km以下

積算条件	
DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
有り	各種

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
2.DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3.運搬距離が60kmを超える場合は各種とする。
4.積算条件：各種を選択の場合、以下の項目を入力する。
運搬距離：各種（実数入力(ｋｍ)）

４．その他
（１）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版取替工、旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
舗装版運搬処理

積算単位：m3(殻体積)
契約単位：m3(殻体積)

１．適用範囲
本資料は、床版取替等における舗装版運搬処理に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳
・床版取替等におけるアスファルト舗装版破砕で生じるアスファルト塊等の運搬(運搬距離60km以内)、処分等、その施工に要する全ての費用を含む。

・積込みは含まない。
・***舗装版破砕、床版破砕及び撤去、床版運搬処理***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）舗装版破砕については、（Ⅲ-直接-13-5）による。
（２）床版破砕及び撤去については、（Ⅲ-直接-15-24）による。
（３）床版運搬処理については、（Ⅲ-直接-13-17）による。
（４）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、斜面対策、道路改良、電線共同溝、道路維持、道路修繕、共通

工　　種：樋門・樋管本体工、撤去物処理工、管理用通路工、地盤改良工、擁壁工、抑止杭工、カルバート工、舗装版撤去工、舗装工、橋梁付属物工、構造物撤去工

種　　別：既製杭工、場所打杭工、運搬処理工、舗装打換え工、パイルネット工、舗装版破砕工、薄層カラー舗装工、伸縮継手工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

殻運搬

積算単位：m3(殻体積)
契約単位：m3(殻体積)

１．適用範囲

本資料は、構造物撤去工における殻運搬に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合

（２）コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版の破砕作業により発生した殻の運搬の場合

（３）バックホウを用いて行う平均施工幅1m未満の舗装版破砕（舗装厚5cm以内）により発生した殻の運搬の場合

（４）電線共同溝におけるアスファルト舗装版の破砕作業により発生した殻の運搬の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬

（２）自動車専用道路を利用する場合

２．費用内訳

・既設構造物等のとりこわし、舗装版の破砕によって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬等、その施工に要する全ての費用を含む。

・コンクリート殻又はアスファルト殻の積込みは含まない。

・***殻処分***は含まない。

３．積算条件

殻運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
殻発生作業(S)	積込・運搬機種(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
構造物とりこわし	バックホウ山積0.8m3 積込10ｔダンプ運搬	無し	0.3km以下
			0.5km以下
			1.0km以下
			1.5km以下
			2.0km以下
			3.0km以下

積算条件			
殻発生作業(S)	積込・運搬機種(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
構造物とりこわし	バックホウ山積0.8m3 積込10ｔダンプ運搬	無し	4.0km以下
			5.5km以下
			6.5km以下
			7.5km以下
			9.5km以下
			11.5km以下
			15.5km以下
			22.5km以下
			49.5km以下
			60.0km以下
			各種
		有り	0.3km以下
			0.5km以下
			1.0km以下
			1.5km以下
			2.0km以下
			3.0km以下
			3.5km以下
			5.0km以下
			6.0km以下
			7.0km以下
			8.5km以下
			11.0km以下
			14.0km以下
			19.5km以下
			31.5km以下
			60.0km以下
			各種
	人力積込2ｔダンプ運搬	無し	0.3km以下
			0.5km以下
			1.5km以下
			2.0km以下
			2.5km以下
			3.0km以下
			4.0km以下
			5.0km以下
			6.5km以下
			8.5km以下
			11.0km以下
			16.0km以下
			27.5km以下

積算条件			
殻発生作業(S)	積込・運搬機種(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
構造物とりこわし	人力積込2ｔダンプ運搬	無し	60.0km以下
			各種
		有り	0.3km以下
			0.5km以下
			1.0km以下
			1.5km以下
			2.0km以下
			2.5km以下
			3.5km以下
			4.5km以下
			6.0km以下
			8.0km以下
			10.5km以下
			14.5km以下
			23.0km以下
			60.0km以下
			各種
舗装版の破砕後掘削積込み	バックホウ山積0.45m3積込10ｔダンプ運搬	無し	0.5km以下
			1.0km以下
			2.0km以下
			2.5km以下
			3.5km以下
			4.5km以下
			6.0km以下
			7.5km以下
			10.0km以下
			13.5km以下
			19.5km以下
			39.0km以下
			60.0km以下
			各種
		有り	0.5km以下
			1.0km以下
			1.5km以下
			2.0km以下
			3.0km以下
			4.0km以下
			5.5km以下
			7.0km以下
			9.0km以下
			12.0km以下

積算条件			
殻発生作業(S)	積込・運搬機種(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
舗装版の破砕後掘削積込み	バックホウ山積0.45m3積込10ｔダンプ運搬	有り	17.5km以下
			28.5km以下
			60.0km以下
			各種
舗装版の直接掘削積込み	バックホウ山積0.45m3積込10ｔダンプ運搬	無し	0.3km以下
			1.5km以下
			3.5km以下
			6.5km以下
			11.5km以下
			22.0km以下
			60.0km以下
			各種
		有り	0.3km以下
			1.5km以下
			3.5km以下
			6.0km以下
			10.5km以下
			19.5km以下
			60.0km以下
			各種
	バックホウ山積0.13m3積込2ｔダンプ運搬	無し	0.3km以下
			1.0km以下
			1.5km以下
			2.5km以下
			3.0km以下
			3.5km以下
			4.5km以下
			5.5km以下
			7.0km以下
			9.0km以下
			12.0km以下
			17.0km以下
			28.5km以下
			60.0km以下
			各種
		有り	0.3km以下
			1.0km以下
			1.5km以下
			2.5km以下
			3.0km以下
			3.5km以下

積算条件			
殻発生作業(S)	積込・運搬機種(S)	DID区間の有無(S)	運搬距離(S)
舗装版の直接掘削積込み	バックホウ山積0.13m3積込2ｔダンプ運搬	有り	4.5km以下
			5.0km以下
			6.5km以下
			8.0km以下
			11.0km以下
			15.0km以下
			24.0km以下
			60.0km以下
			各種
舗装版破砕積込み(電線共同溝)	バックホウ山積0.28m3積込4ｔダンプ運搬	無し	0.5km以下
			2.0km以下
			3.5km以下
			6.5km以下
			11.5km以下
			26.5km以下
			60.0km以下
			各種
		有り	0.5km以下
			2.0km以下
			3.5km以下
			6.0km以下
			10.5km以下
			22.5km以下
			60.0km以下
			各種

（注）1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
2.ＤＩＤ（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3.運搬距離が60kmを超える場合は各種とする。
4.積算条件：各種の場合
運搬距離（片道）：各種（実数入力（km））

４．その他
（１）殻処分については、（Ⅲ-直接-15-30）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：**樋門・樋管、河川維持、河川修繕、堤防・護岸、斜面対策、道路改良、電線共同溝、道路維持、道路修繕、共通**
工　　種：**樋門・樋管本体工、撤去物処理工、管理用通路工、地盤改良工、擁壁工、抑止杭工、カルバート工、舗装版撤去工、舗装工、橋梁付属物工、構造物撤去工**
種　　別：**既製杭工、場所打杭工、運搬処理工、路面切削工、舗装打換え工、パイルネット工、舗装版破砕工、切削オーバーレイ工、薄層カラー舗装工、伸縮継手工**
ユニットコード：**参考資料「索引」参照**

ユニット区分：
殻処分

積算単位：m3(殻体積)
契約単位：m3(殻体積)

１．適用範囲
本資料は、構造物撤去工における殻処分に適用する。

２．費用内訳
・運搬処理工における殻(既設構造物等のとりこわしによって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻)の処分場での処分に要する全ての費用を含む。

・***殻運搬***は含まない。

３．積算条件
殻処分ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）殻運搬については、（Ⅲ-直接-15-29）による。
（２）「1. 適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：河川維持、河川修繕、道路維持、道路修繕、共通
工　　種：撤去物処理工、管理用通路工、橋梁床版工、構造物撤去工
種　　別：運搬処理工、防護柵工、排水構造物工、道路付属物工、旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
現場発生品・支給品運搬

積算単位：回(片道運搬回数)
契約単位：式or回(片道運搬回数)

１．適用範囲
本資料は、現場発生品・支給品運搬に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）現場発生品又は支給品の積込み、指定箇所までの運搬
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）4t積車を超える車種を使用する場合
（２）現場発生品又は支給品以外の積込み、運搬

２．費用内訳
・構造物等撤去に伴う現場発生材や防護柵、コンクリート二次製品等の現場発生品又は支給品の積込み、指定箇所までの運搬、取卸し等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
現場発生品・支給品運搬ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件			
発生品・支給品種類(P)	トラック機種(S)	片道運搬距離(S)	1回当り平均積載質量(S)
各種	クレーン装置付2t積 2t吊	各種	各種
	クレーン装置付4t積 2.9t吊	各種	各種

（注）積算条件：各種の場合
発生品・支給品種類　：各種（文字入力）
片道運搬距離　　：各種（実数入力（km））
1回当り平均積載質量：各種（実数入力（t））

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編（本編）１６仮設編

工事区分：樋門・樋管、河川維持、堤防・護岸、砂防えん堤、流路、斜面対策、道路維持、道路修繕

工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、構造物補修工、擁壁工、排水構造物工、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、流路護岸工、床固め工、地下水遮断工、カルバート工、落石雪害防止工

種　　別：函渠工、翼壁工、樋門接続暗渠工、クラック補修工、ボーリンググラウト工、場所打擁壁工、場所打水路工、コンクリート側壁工、鋼製側壁工、コンクリート擁壁工、床固め本体工、垂直壁工、側壁工、補強土壁工、落石防護工、場所打函渠工、落石防護柵工

ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

足場

積算単位：掛 m2(掛面積)
契約単位：式 or 掛 m2(掛面積)

１．適用範囲

本資料は、一般土木工事の構造物施工にかかる足場に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）一般土木工事の構造物施工にかかる平均設置高 30m 以下の足場工の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合

（１）高さ 2m 未満の構造物の場合

（２）鋼橋床版、砂防、ダム、トンネル等で、土木工事標準積算基準書又はユニットプライス型積算基準において別途、足場の基準が設定されている工種の場合

（３）ユニットプライス規定集において、ユニットの費用内訳に足場が含まれている場所打擁壁工、函渠工の場合。

（４）共同溝工の場合【土留覆工方式及び土留開放方式による掘削深さ 16m までの共同溝】の場合。ただし、電線共同溝等の歩道部に設置する簡易なものを除く。

（５）橋台・橋脚工【構造物高さ 5m 以上 25m 未満の T 形橋脚、構造物高さ 5m 以上 20m 未満の壁式橋脚、構造物高さ 12m 未満かつ翼壁厚さ 0.4m 以上 0.6m 以下の逆 T 式橋台】の場合

２．費用内訳

・各種の構造物施工にかかる足場の設置・撤去の他、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠、幅木、階段、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、足場材、養生ネット、安全ネット等、その施工に要する全ての費用を含む。

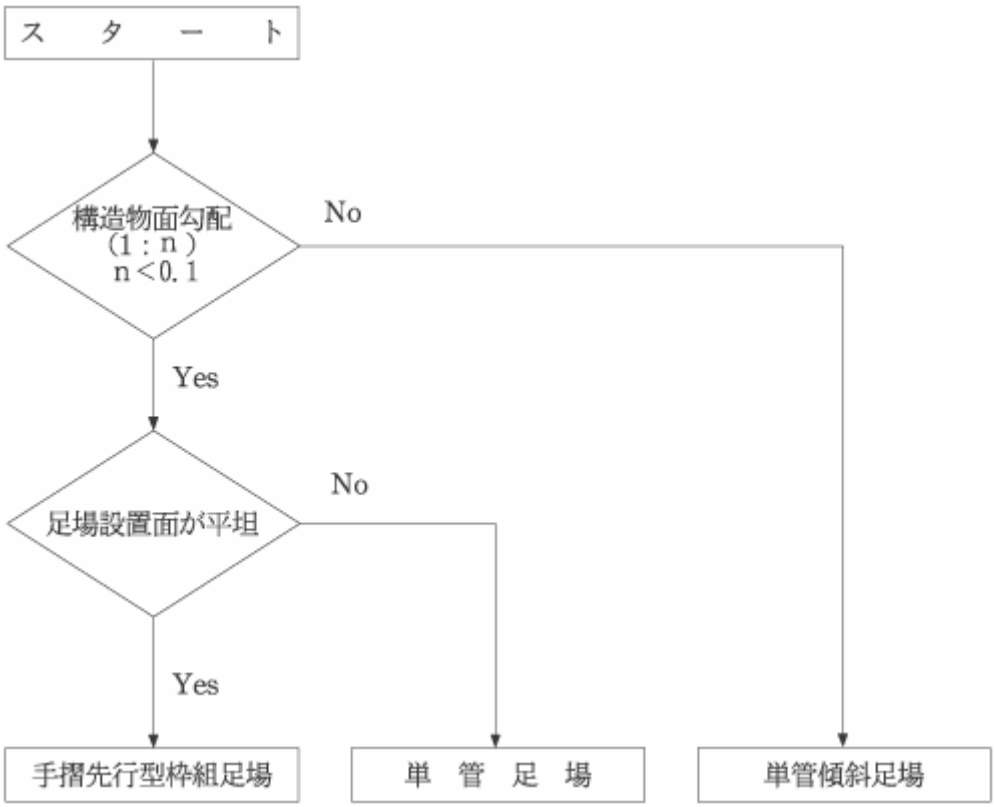
３．積算条件

足場ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件	
形式(S)	安全ネット(S)
手摺先行型枠組足場	必要
	不要
単管足場	必要
	不要
単管傾斜足場	必要
	不要

（注）1.形式の選定



2.安全ネット

・必要：構造物と足場の作業床との間隔が 30cm 以上となるなど、安全ネットが必要な場合

・不要：上記以外の場合

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、斜面対策、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工、アンカー工(プレキャストコンクリート板)、抑止アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場(アンカー)

積算単位：空m3(内空体積)
契約単位：式or空m3(内空体積)

１．適用範囲
本資料は、アンカー施工時における足場（アンカー）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）スキッド型ボーリングマシンの架台となる足場の設置・撤去
（２）作業面の足場幅が4.5mの場合

２．費用内訳
・アンカー施工時の足場の設置・撤去作業の他、パイプ、クランプ、足場板、ベース等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
足場（アンカー）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、道路維持、道路修繕
工　　種：法面工
種　　別：アンカー工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場(鉄筋挿入)

積算単位：空m3(内空体積)
契約単位：式or空m3(内空体積)

１．適用範囲
本資料は、法面工における足場（鉄筋挿入）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）削孔が仮設足場（単管足場）又は土足場となる場合：削孔長1m以上5m以下、削孔径42mm以上65mm以下、法面垂直高さ40m以下（ただし、機械設置基面から削孔位置までの高さが1m以下）
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）自穿孔材による施工の場合
（２）逆巻き施工の場合
（３）土質が硬岩、玉石混り土を含む場合
（４）削孔後の孔穴が自立しない場合

２．費用内訳
・鉄筋挿入時の仮設足場の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤、流路
工　　種：コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工、床固め工
種　　別：コンクリートえん堤本体工、コンクリート副えん堤工、コンクリート側壁工、鋼製えん堤本体工、鋼製側壁工、垂直壁工、側壁工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場（砂防）

積算単位：m(延長)
契約単位：式orm(延長)

１．適用範囲
本資料は、コンクリートえん堤工、鋼製えん堤工おける足場（砂防）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）砂防えん堤本体における高さ2m以上の足場設置及び撤去作業の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）キャットウォーク以外の足場を使用する場合
（２）基礎地盤より高さ2m以下の足場の場合

２．費用内訳
・砂防えん堤本体における外部型枠、内部型枠の設置・撤去用足場の設置・撤去の他、キャットウォーク、丸パイプ、直交クランプ、板付布枠、番線等、その施工に要する全ての費用を含む。

・ケーブルクレーンによる運搬は含まない。

３．積算条件
足場（砂防）ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-1）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：シャフト工(深礎工)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：掛m2(掛面積)
契約単位：式or掛m2(掛面積)

１．適用範囲
　本資料は、オープンケーソン基礎工、ニューマチックケーソン基礎工及び深礎工における足場に適用する。

２．費用内訳
・オープンケーソン基礎、ニューマチックケーソン基礎及び鋼製橋脚の深礎工の施工にかかる枠組足場の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版補強工(鋼板接着工法)、床版補強工(増桁架設工法)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：m2(必要橋面積)
契約単位：式orm2(必要橋面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工における足場に適用する。

２．費用内訳
・既設橋梁RC床版の補強・補修のための足場設置、朝顔等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***設置・撤去(防護)、損料(防護)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（２）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：排水施設工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁排水施設維持・修繕における足場に適用する。

２．費用内訳
・橋梁排水施設における維持修繕のための足場設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）防護については、（Ⅲ-直接-16-20）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：検査路工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、支承廻りの検査路架設における足場に適用する。

２．費用内訳
・支承廻りの検査路架設における吊足場（地上からの場合は枠組足場）の設置・撤去、足場材損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***防護***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）防護については、（Ⅲ-直接-16-20）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋梁支承工、橋梁付属物工
種　　別：鋼橋支承工、ＰＣ橋支承工、落橋防止装置工、沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、鋼橋及びPC橋の金属支承からの支承取替における足場に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）支承取替における足場設置及び撤去作業
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）現場条件等により橋脚廻り足場が採用出来ない場合
（２）RC橋の支承取替の場合

２．費用内訳
・支承取替時又は支承座面拡幅時の足場及び防護の設置・撤去の他、足場材損料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
足場ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
供用日数(S)
16日以下
33日以下
51日以下
69日以下
89日以下
109日以下
131日以下
154日以下
177日以下
202日以下
各種

（注）1.足場面積は、現場条件、施工条件等を考慮して必要面積を算定するものとするが、一般には次式により算定する。
足場面積の算定
足場面積Ａ＝（Ｌ+2）×1.0×2×ｎ
Ｌ：橋台及び橋脚の長さ（ｍ）
ｎ：橋台及び橋脚の数（ただし、橋台の場合は1/2とする）

2.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
供用日数：各種（実数入力（日））

４．その他

（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路修繕
工　　種：橋脚巻立て工
種　　別：ＲＣ橋脚鋼板巻立て工、橋脚コンクリート巻立て工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：掛m2(掛面積)
契約単位：式or掛m2(掛面積)

１．適用範囲
　本資料は、ユニット区分「コンクリート巻立て」及び「鋼板巻立て」に該当しないRC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）補強における足場に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
　（１）矩形（小判型を含む）及び円形支柱の足場の設置・撤去
　１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）梁の補強の場合
　（２）フーチングの補強の場合
　（３）単管足場及び単管傾斜足場を使用する場合
　（４）コンクリート巻立て工における奥行0.7m以上4.0m以下、支柱幅0.8m以上15m以下の矩形（小判型を含む）支柱を施工する場合
　（５）コンクリート巻立て工における支柱径1.5m以上4.0m以下の円形支柱を施工する場合
　（６）鋼板巻立て工における奥行1.0m以上6.0m以下、支柱幅1.0m以上10.0m以下の矩形（小判型を含む）支柱を施工する場合
　（７）鋼板巻立て工における支柱径1.0m以上6.0m以下の円形支柱を施工する場合

２．費用内訳
　・RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)に鋼板巻立て及びコンクリート巻立てを施工する際の足場の設置・撤去の他、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、ジャッキベース、手摺柱、手摺、階段、安全ネット等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
　足場ユニットの積算条件区分はない。

４．その他
　（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：地下水排除工
種　　別：集排水ボーリング工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
足場

積算単位：空m3(内空体積)
契約単位：式or空m3(内空体積)

１．適用範囲
本資料は、集排水ボーリング工における足場に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）地表における足場の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）集水井内における足場の場合

２．費用内訳
・集排水ボーリング工に伴う地表における足場の設置・撤去の他、足場材の賃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
足場ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
施工場所(P)
平地
傾斜地

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：床版取替工、旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
床版足場

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工における床版足場に適用する。

２．費用内訳
・橋梁工事における床版施工(取替え、撤去を含む)時に必要な足場の設置・撤去、足場賃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***設置・撤去(防護)、損料(防護)***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-22）による。
（２）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（３）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工
種　　別：地覆工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

足場・防護

積算単位:m2(面積)
契約単位:式 orm2(面積)

１．適用範囲

本資料は、地覆工におけるパイプ吊り足場でシート等により防護を行う、足場・防護に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）足場の架設は、地覆の撤去・復旧に必要な幅の吊足場を設置し、鋼橋に片側朝顔の防護をする場合

２．費用内訳

・足場並びに防護(シート及び板張)の設置・撤去及び器材等、その施工に必要な全ての費用を含む。

３．積算条件

足場・防護ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件(積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す)

積算条件	
足場使用回数(S)	足場架設総月数(S)
1回	0.5以下
	0.5超1.0以下
	1.0超1.5以下
	1.5超2.0以下
	2.0超2.5以下
	2.5超3.0以下
	3.0超3.5以下
	3.5超4.0以下
2回	1.0以下
	1.0超2.0以下
	2.0超3.0以下
	3.0超4.0以下

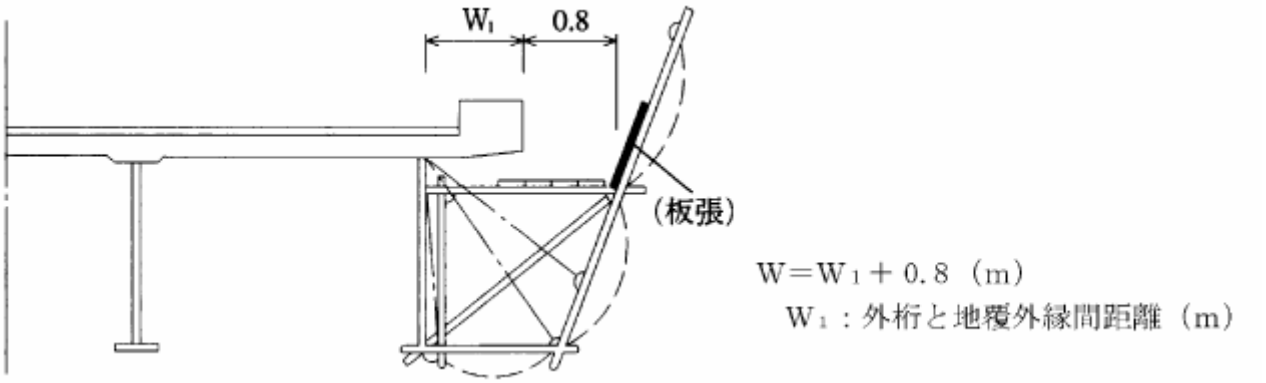
（注）1.防護種類は「シート」、「シート＋板張」のどちらにも適用出来る。
2.使用回数(回)は、工程等により決定するが、不明な場合は下表による。

表３．２施工延長と使用回数

施工延長	使用回数
500m 未満	1
500m 以上	2

3.積算単位となる m2(面積)は以下のとおりとする。
m2(面積)＝Ｗ×Ｌ
Ｗ：足場必要幅（m）(図-1 による)
Ｌ：地覆補修延長（m）

図-1 足場・防護標準図



４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

手摺先行型足場設置・撤去（足場）

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：式or箇所(箇所数)

１．適用範囲

本資料は、横断歩道橋の主桁用支柱・階段用支柱に設置する手摺先行型足場設置･撤去（足場）に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）横断歩道橋の主桁用支柱、階段用支柱の場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲

（１）側道橋（架設後、人道用として使用する橋で構造系として本橋（車道用）とは独立したもの）の場合

２．費用内訳

・手摺先行型足場の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***手摺先行型足場損料(足場)***は含まない。

３．積算条件

手摺先行型足場設置･撤去（足場）ユニットの積算条件区分はない。

（注）支柱１本１箇所（両側）とする。

４．その他

（１）手摺先行型足場損料(足場)については、（Ⅲ-直接-16-15）による。

（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
手摺先行型足場損料（足場）

積算単位：箇所(箇所数)
契約単位：式or箇所(箇所数)

１．適用範囲
本資料は、横断歩道橋の主桁用支柱・階段用支柱に設置する場合における手摺先行型足場損料(足場)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）横断歩道橋の主桁用支柱、階段用支柱の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）側道橋（架設後、人道用として使用する橋で構造系として本橋（車道用）とは独立したもの）の場合

２．費用内訳
・手摺先行型足場の足場損料等に要する全ての費用を含む。

・***手摺先行型足場設置・撤去(足場)***は含まない。

３．積算条件
手摺先行型足場損料（足場）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
足場使用日数（日）(S)
各種

（注）1.支柱1本1箇所（両側）とする。
2.積算条件：各種の場合
足場使用日数：各種（実数入力（日））

４．その他
（１）手摺先行型足場設置・撤去(足場)については、（Ⅲ-直接-15-11）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
吊足場設置・撤去（足場）

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、横断歩道橋（側道橋）工における吊足場設置・撤去（足場）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）側道橋（架設後、人道用として使用する橋で構造系として本橋（車道用）とは独立したもの）の場合
（２）横断歩道橋で防護を必要とする場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）横断歩道橋の主桁用支柱、階段用支柱の場合

２．費用内訳
・吊足場の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***吊足場損料(足場)***は含まない。

３．積算条件
吊足場設置・撤去（足場）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
足場面積(S)
28m2以上～30m2未満
30m2以上～33m2未満
33m2以上～37m2未満
37m2以上～41m2未満
41m2以上～46m2未満
46m2以上～52m2未満
52m2以上～60m2未満
60m2以上～70m2未満
70m2以上～82m2未満
82m2以上～99m2未満
99m2以上～123m2未満
123m2以上～161m2以下
各種

（注）1.足場面積は１橋当りの数量とする。
2.側道橋の吊足場は、架設工・床版工・塗装工の兼用する場合に適用するものとし、各々単独作業の場合は、別途考慮する。ただし、横断歩道橋は、単独作業にも適用する。
3.積算条件：各種を選択の場合、積算は土木工事標準積算基準書によるが、積算条件として以下の項目を入力する。
足場面積：各種（実数入力（m2））

４．その他
（１）吊足場損料(足場)については、（Ⅲ-直接-16-17）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：横断歩道橋工
種　　別：横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
吊足場損料（足場）

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、横断歩道橋（側道橋）工に設置する場合における吊足場損料（足場）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）側道橋（架設後、人道用として使用する橋で構造系として本橋（車道用）とは独立したもの）の場合
（２）横断歩道橋で防護を必要とする場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）横断歩道橋の主桁用支柱、階段用支柱の場合

２．費用内訳
・吊足場の足場損料等に要する全ての費用を含む。

・***吊足場設置・撤去(足場)***は含まない。

３．積算条件
吊足場損料（足場）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
足場使用日数（日）(S)
各種

（注）1.側道橋の吊足場は、架設工・床版工・塗装工の兼用する場合に適用するものとし、各々単独作業の場合は、別途考慮する。ただし、横断歩道橋は、単独作業にも適用する。
2.積算条件：各種の場合
足場使用日数：各種（実数入力（日））

４．その他
（１）吊足場損料(足場)については、（Ⅲ-直接-16-17）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：樋門・樋管、道路維持、道路修繕
工　　種：樋門・樋管本体工、水路工、カルバート工
種　　別：函渠工、樋門接続暗渠工、場所打函渠工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
支保

積算単位：空m3(内空体積)
契約単位：式or空m3(内空体積)

１．適用範囲
本資料は、一般土木工事の構造物施工にかかる支保に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下の全ての条件に該当する場合
（１）平均設置高30m以下の支保工
（２）パイプサポート支保・くさび結合支保
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）鋼橋床版、砂防、ダム、トンネル等で別途定めのある支保
（２）場所打擁壁工、場所打函渠工、共同溝工、橋台・橋脚工で、別途定めのある支保

２．費用内訳
・各種構造物の施工に伴う支保の設置・撤去の他、仮設材等、その施工に要する全ての費用を含む。

３．積算条件
支保ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
平均設置高(H)・支保耐力(f)(P)
H＜4m､f≦40kN/m2(4.1t/m2)
H＜4m､40kN/m2(4.1t/m2)＜f≦60kN/m2(6.1t/m2)
4m≦H≦30m､f≦40kN/m2(4.1t/m2)
H≦30m､40kN/m2(4.1t/m2)＜f≦80kN/m2(8.2t/m2)

（注）H≦30m、40kN/m2(4.1t/m2)＜f≦80kN/m2(8.2t/m2) については、上の３区分に該当しない場合とする。

４．その他
（１）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工
種　　別：旧橋撤去工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防護

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁床版工における防護に適用する。

２．費用内訳
・旧橋撤去における第三者を保護するために行う落下防止及び転落防護を目的とする防護施設の設置・撤去、防護材賃料等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***床版足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）床版足場については、（Ⅲ-直接-16-12）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁付属物工、橋梁支承工
種　　別：排水施設工、検査路工、鋼橋支承工、ＰＣ橋支承工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
防護

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁支承工、排水施設工及び検査路工における防護に適用する。

２．費用内訳
・橋梁修繕における橋梁支承工、排水施設工及び検査路工の施工に際し、第三者を保護するために行う落下防止及び塗料の飛散を防止する防護施設の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***足場***は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）足場については、（Ⅲ-直接-16-7）による。
（２）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工、橋梁付属物工
種　　別：床版補強工(鋼板接着工法)、床版補強工(増桁架設工法)、落橋防止装置工、沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
設置・撤去(防護)

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、既設橋梁RC床版（橋種は、プレートガータ､ボックス､トラス､アーチ橋等各橋種共通）の補強に鋼板接着工法・増桁工法、塗装作業（現場塗装）を行う場合における設置･撤去（防護）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）防護工の設置・撤去

２．費用内訳
・橋梁修繕における第三者を保護するために行う落下防止、塗料の飛散を防止する防護施設の設置・撤去作業で、橋梁防護設置・撤去等、その施工に要する費用を含む。

・***損料(防護)***は含まない。

３．積算条件
設置･撤去（防護）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
朝顔区分(P)	防護区分(P)
両側朝顔	板張防護
	シート張防護
片側朝顔	板張防護
	シート張防護

（注）数量は、防護工の必要橋面積とする。

４．その他
（１）損料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-23）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工、横断歩道橋工
種　　別：床版取替工、横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
設置・撤去(防護)

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁架設及び修繕における朝顔を含む設置・撤去（防護）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）板張防護の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）シート張防護の場合
（２）ワイヤーブリッジ防護の場合

２．費用内訳
・橋梁架設及び修繕における第三者を保護するために行う落下防止及び塗料の飛散を防止する板張防護施設(朝顔を含む)の設置・撤去作業の他、その施工に要する全ての費用を含む。

・***賃料(防護)***は含まない。

３．積算条件
設置・撤去（防護）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
作業区分(P)	朝顔区分(P)
設置	両側朝顔
	片側朝顔
撤去	両側朝顔
	片側朝顔

４．その他
（１）賃料(防護)については、（Ⅲ-直接-16-24）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工、橋梁付属物工
種　　別：床版補強工(鋼板接着工法)、床版補強工(増桁架設工法)、落橋防止装置工、沓座拡幅工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
損料（防護）

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、既設橋梁ＲＣ床版(橋種は、プレートガータ、ボックス、トラス､アーチ橋等各橋種共通)の補強に鋼板接着工法・増桁工法、塗装作業（現場塗装）を行う場合における防護工の損料（防護）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）防護工の損料

２．費用内訳
・橋梁修繕における第三者を保護するために行う落下防止及び塗料の飛散を防止する防護施設の損料等に要する全ての費用を含む。

・***設置・撤去(防護)***は含まない。

３．積算条件
損料（防護）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
朝顔区分(P)	防護区分(P)	供用月数(S)
両側朝顔	板張防護	各種
	シート張防護	各種
片側朝顔	板張防護	各種
	シート張防護	各種

（注）1.数量は、防護工の必要橋面積である。
2.供用月数は少数第2位を四捨五入し、1位止めとする。
3.積算条件：各種の場合
供用月数（月）：各種（実数入力）

４．その他
（１）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-21）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：道路維持、道路修繕
工　　種：橋梁床版工、横断歩道橋工
種　　別：床版取替工、横断歩道橋工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
賃料(防護)

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、橋梁架設及び修繕における板張防護部の賃料（防護）に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）板張防護の場合
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）シート張防護の場合
（２）ワイヤーブリッジ防護の場合

２．費用内訳
・橋梁架設及び修繕における第三者を保護するために行う落下防止及び塗料の飛散を防止する板張防護施設の賃料に要する全ての費用を含む。

・***設置・撤去(防護)***は含まない。

３．積算条件
賃料（防護）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
朝顔区分(P)	供用月数(S)
両側朝顔	各種
片側朝顔	各種

（注）1.積算条件：各種の場合
供用月数（月）：各種（実数入力）
※供用月数は少数第2位を四捨五入し、1位止めとする。

４．その他
（１）設置・撤去(防護)については、（Ⅲ-直接-16-22）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：場所打杭工、合成杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
設置・撤去(敷鉄板)

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、場所打杭工及び合成杭工における工事用道路等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の設置・撤去(敷鉄板)に適用する。

２．費用内訳
・抑止杭工の工事用道路等に用いる敷鉄板の設置・撤去等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***賃料(敷鉄板)***は含まない。

３．積算条件
設置・撤去(敷鉄板)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件
作業区分(P)
設置
撤去

４．その他
（１）賃料(敷鉄板)については、（Ⅲ-直接-16-26）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：斜面対策
工　　種：抑止杭工
種　　別：場所打杭工、合成杭工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
賃料(敷鉄板)

積算単位：枚(枚数)
契約単位：式or枚(枚数)

１．適用範囲
本資料は、場所打杭工及び合成杭工における工事用道路等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の賃料(敷鉄板)に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）不足弁償金がない場合

２．費用内訳
・抑止杭工の工事用道路等に用いる敷鉄板の賃料に要する全ての費用を含む。

・***設置・撤去(敷鉄板)***は含まない。

３．積算条件
賃料(敷鉄板)ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
敷鉄板の種類(P)	供用日数(S)	整備費の有無(S)
22×1524×6096	各種	無し
		有り
22×1524×3048	各種	無し
		有り
25×1524×6096	各種	無し
		有り
各種	各種	無し
		有り

（注）積算条件：各種の場合
敷鉄板の種類：各種（文字入力）
供用日数：各種（実数入力（日））

４．その他
（１）設置・撤去(敷鉄板)については、（Ⅲ-直接-16-25）による。
（２）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：仮締切工
種　　別：土砂・土のう締切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
土砂締切

積算単位：m3(土量)
契約単位：式orm3(土量)

１．適用範囲
本資料は、砂防仮締切工における土砂締切に適用する。

２．費用内訳
・現地土砂を用いた土砂締切の設置・撤去の他、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土のう積、大型土のう***は含まない。

３．積算条件
土砂締切ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件		
土の状態(P)	土質(P)	押土の有無(S)
地山	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	有り
		無し
	岩塊玉石	有り
		無し
ルーズ	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	有り
		無し
	岩塊玉石	有り
		無し
	破砕岩	有り
		無し

（注）1.土量は、地山土量とする。
2.押土の有無「有り」選択時は、60ｍまでの押土作業を含む。

４．その他
（１）土のう積については、（Ⅲ-直接-16-29）による。
（２）大型土のうについては、（Ⅲ-直接-16-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：仮締切工
種　　別：コンクリート締切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
コンクリート締切

積算単位：m3(体積)
契約単位：式orm3(体積)

１．適用範囲
本資料は、砂防仮締切工等におけるコンクリート締切に適用する。

２．費用内訳
・コンクリート仮締切の型枠組立・設置・撤去、コンクリート打設・締固め及び養生の他、チッピング、岩盤清掃等、その施工に要する全ての費用を含む。

・型枠材の搬入・搬出は含まない。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）「１．適用範囲」から外れる場合には、その費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：仮締切工
種　　別：土砂・土のう締切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
土のう積

積算単位：m2(面積)
契約単位：式orm2(面積)

１．適用範囲
本資料は、簡易な仮締切工における土のう積に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）土のう袋材寸法が62×48cmの場合

２．費用内訳
・簡易な仮締切工における土のう積の製作・設置・撤去の他、土のう、詰土(土砂)等、その施工に要する全ての費用を含む。

・***土砂締切、大型土のう***は含まない。

３．積算条件
土のう積ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件	
並べ方(P)	作業区分(P)
小口並べ	製作･設置・撤去
	製作･設置
	撤去
側面並べ	製作･設置・撤去
	製作･設置
	撤去

（注）施工面積は、直高×延長の面積を入力する。

４．その他
（１）土砂締切については、（Ⅲ-直接-16-27）による。
（２）大型土のうについては、（Ⅲ-直接-16-30）による。
（３）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

工事区分：砂防えん堤
工　　種：仮締切工
種　　別：土砂・土のう締切工
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
大型土のう

積算単位：袋(袋数)
契約単位：袋(袋数)

１．適用範囲
本資料は、大型土のうに適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）大型土のう袋材容量が1m3の場合

２．費用内訳
・大型土のうの製作・横取り・設置・撤去(中詰材排出を含む)の他、製作枠等、その施工に要する全ての費用を含む。

・撤去後の袋材の処分費は含まない。
・製作現場と設置現場が異なる場合の積込み・荷卸し・運搬は含まない。
・***土砂等運搬(砂防)、残土運搬、残土等処分***は含まない。
・***土砂締切、土のう積***は含まない。

３．積算条件
大型土のうユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件を示す）

積算条件		
作業区分(P)	袋詰土区分(P)	設置作業半径(P)
製作・設置	購入土	6m以下
		6mを超え20m以下
	流用土	6m以下
		6mを超え20m以下
製作	購入土	―
	流用土	―
設置	―	6m以下
		6mを超え20m以下
撤去	―	6m以下
		6mを超え20m以下

（注）横取り作業は、12mまで（製作現場～仮置場）とする。

４．その他

（１）土砂等運搬(砂防)については、（Ⅲ-直接-1-8）による。

（２）残土運搬については、（Ⅲ-直接-1-26）による。

（３）残土等処分については、（Ⅲ-直接-1-27）による。

（４）土砂締切については、（Ⅲ-直接-16-27）による。

（５）土のう積については、（Ⅲ-直接-16-29）による。

（６）「１．適用範囲」及び「３．積算条件」から外れる場合には、土木工事標準積算基準書による。その際、本ユニットの費用内訳を特記仕様書に明記する。

第Ⅲ編 間接工事費(ユニット)

第Ⅲ編　間接工事費（ユニット）

【目次】

間接工事費ユニット…… 目次(間接工事費(ユニット))-1
間接工事費…… Ⅲ-目次(間接工事費)-1 ～ 2

【本編】

共通仮設 …… Ⅲ-間接-1-1 ～ 36

3.2 間接工事費（ユニット）

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
共通仮設	
建設機械運搬費	Ⅲ-間接-1-1
重建設機械分解組立費	Ⅲ-間接-1-2
重建設機械分解組立輸送費	Ⅲ-間接-1-3
仮設材運搬費	Ⅲ-間接-1-4
砂防えん堤土工機械分解組立費	Ⅲ-間接-1-5
木根等処分費	Ⅲ-間接-1-6
家屋調査費	Ⅲ-間接-1-7
騒音調査費	Ⅲ-間接-1-8
振動調査費	Ⅲ-間接-1-9
沈下観測費	Ⅲ-間接-1-10
傾斜観測費	Ⅲ-間接-1-11
水質調査費	Ⅲ-間接-1-12
地下水観測費	Ⅲ-間接-1-13
事業損失防止施設費	Ⅲ-間接-1-14
交通誘導員	Ⅲ-間接-1-15
呼吸用防護具等費用	Ⅲ-間接-1-16
機械誘導員	Ⅲ-間接-1-17
安全管理員	Ⅲ-間接-1-18
高圧線防護施設費	Ⅲ-間接-1-19
救急設備費	Ⅲ-間接-1-20
保安管理費	Ⅲ-間接-1-21
借地料	Ⅲ-間接-1-22
電力基本料金	Ⅲ-間接-1-23
電力設備工事負担金	Ⅲ-間接-1-24
用水基本料金	Ⅲ-間接-1-25
土質試験費	Ⅲ-間接-1-26
地質試験費	Ⅲ-間接-1-27
軟弱地盤調査費	Ⅲ-間接-1-28
施工調査費	Ⅲ-間接-1-29
各種台帳作成費	Ⅲ-間接-1-30
監督員詰所	Ⅲ-間接-1-31
火薬庫類	Ⅲ-間接-1-32
イメージアップ経費(積上計上)	Ⅲ-間接-1-33
イメージアップ経費(率計上)	Ⅲ-間接-1-34
共通仮設費(率計上)	Ⅲ-間接-1-35
一時中止に伴う費用	Ⅲ-間接-1-36

間接工事費（ユニット）

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
共通仮設費	運搬費		－	－	
		建設機械運搬費	建設機械運搬費	99009910	Ⅲ-間接-1-1
		重建設機械分解組立費	重建設機械分解組立費	99012912	Ⅲ-間接-1-2
		重建設機械分解組立輸送費	重建設機械分解組立輸送費	99012913	Ⅲ-間接-1-3
		仮設材運搬費	仮設材運搬費	99006910	Ⅲ-間接-1-4
		砂防えん堤土工機械分解組立費	砂防えん堤土工機械分解組立費	99011910	Ⅲ-間接-1-5
		浚渫船回航費	浚渫船回航費		
		作業船等回航費	作業船等回航費		
		作業船等えい航費	作業船等えい航費		
		交通船	交通船		
	準備費		－	－	
		木根等処分費	木根等処分費	99035910	Ⅲ-間接-1-6
		繋船費（河川）	繋船費（河川）		
		繋船費（海岸）	繋船費（海岸）		
		退避	退避		
	事業損失防止施設費		－	－	
		家屋調査費	家屋調査費	99006913	Ⅲ-間接-1-7
		騒音調査費	騒音調査費	99015910	Ⅲ-間接-1-8
		振動調査費	振動調査費	99012914	Ⅲ-間接-1-9
		沈下観測費	沈下観測費	99017911	Ⅲ-間接-1-10
		傾斜観測費	傾斜観測費	99009911	Ⅲ-間接-1-11
		水質調査費	水質調査費	99013910	Ⅲ-間接-1-12
		地下水観測費	地下水観測費	99017912	Ⅲ-間接-1-13
		事業損失防止施設費	事業損失防止施設費	99012910	Ⅲ-間接-1-14
	安全費		－	－	
		交通誘導員	交通誘導員	99010910	Ⅲ-間接-1-15
		呼吸用防護具	呼吸用防護具	99010913	Ⅲ-間接-1-16
		機械誘導員	機械誘導員	99007911	Ⅲ-間接-1-17
		安全管理員	安全管理員	99001910	Ⅲ-間接-1-18
		高圧線防護施設費	高圧線防護施設費	99010912	Ⅲ-間接-1-19
		救急設備費	救急設備費	99007912	Ⅲ-間接-1-20
		保安管理費	保安管理費	99030910	Ⅲ-間接-1-21
	役務費		－	－	
		借地料	借地料	99012911	Ⅲ-間接-1-22
		電力基本料金	電力基本料金	99019910	Ⅲ-間接-1-23
		電力設備工事負担金	電力設備工事負担金	99019911	Ⅲ-間接-1-24
		用水基本料金	用水基本料金	99040910	Ⅲ-間接-1-25

間接工事費（ユニット）

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
共通仮設費	技術管理費		－	－	
		土質試験費	土質試験費	99020910	Ⅲ-間接-1-26
		地質試験費	地質試験費	99017910	Ⅲ-間接-1-27
		軟弱地盤調査費	軟弱地盤調査費	99021910	Ⅲ-間接-1-28
		計測 B	計測 B		
		施工調査費	施工調査費	99014910	Ⅲ-間接-1-29
		各種台帳作成費	各種台帳作成費	99006914	Ⅲ-間接-1-30
	営繕費		－	－	
		監督員詰所	監督員詰所	99006911	Ⅲ-間接-1-31
		火薬庫類	火薬庫類	99006912	Ⅲ-間接-1-32
	イメージアップ経費（積上計上）	イメージアップ経費（積上計上）	イメージアップ経費（積上計上）	99002914	Ⅲ-間接-1-33
	イメージアップ経費（率計上）	イメージアップ経費（率計上）	イメージアップ経費（率計上）	99002911	Ⅲ-間接-1-34
共通仮設費（率計上）	共通仮設費（率計上）	共通仮設費（率計上）	共通仮設費（率計上）	99007910	Ⅲ-間接-1-35
一時中止に伴う費用			一時中止に伴う費用	99002910	Ⅲ-間接-1-36

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：運搬費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
建設機械運搬費

積算単位：台(台数)
契約単位：式or台(台数)

１．適用範囲
本資料は、運搬費における建設機械運搬費に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）貨物自動車による質量20t以上の建設機械器具の搬入、又は搬出
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）質量20t未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場内小運搬
（２）質量20t未満の建設機械の自走による運搬
（３）質量20t以上の建設機械の自走による運搬
（４）質量20t以上の建設機械等の日々回送（分解・組立・輸送）に要する費用
（５）質量20t以上の建設機械の現場内小運搬

２．費用内訳
・質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬費、運搬中の賃料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。なお、積算にあたっては適切な運搬機械区分を設定する。

４．その他
（１）質量20t以上の建設機械の自走による運搬、日々回送(分解・組立・輸送）に要する費用、現場内小運搬は、直接工事費ユニット区分に含む。
（２）質量20t未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場内小運搬、自走による運搬は、共通仮設費(率計上)（Ⅲ-間接-1-29）による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：運搬費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

重建設機械分解組立費

積算単位:回(回数)
契約単位:式 or 回(回数)

１．適用範囲

本資料は、運搬費における重建設機械分解組立費に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）本ユニットが適用出来る重建設機械は次表とする。

表１．１　適用建設機械

機　械　区　分	適　　用　　建　　設　　機　　械
ブルドーザ	ブルドーザ(リッパ装置付を含む) 普通　21t 級以上～63t 級以下 湿地　20t 級以上～28t 級以下
バックホウ系	バックホウ山積 1.0m3 以上～2.1m3 以下 (平積 0.7m3 以上～1.5m3 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m3 以上～0.6m3 以下
クローラクレーン系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16t 以上～300t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・機械ロープ式〕 平積 0.6m3 以上～3.0m3 以下 バイブロハンマ〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・50t～55t 吊〕
トラッククレーン	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力　80t 以上～500t 以下
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ(防音カバー装置除く) 油圧ハンマ アースオーガ(二軸同軸式含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量　20t 以上～150t 以下

機　械　区　分	適　　用　　建　　設　　機　　械
オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径　2,000mm 以下 オールケーシング掘削機〔据置式〕 掘削径　2,000mm 以下
地盤改良機械	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機(付属機器除く) 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量　20t 以上～170t 以下
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ 機械質量　20t 以上～60t 以下
連続地中壁用機械	地下連続壁施工機(回転水平多軸・クローラ式) 壁厚　1,200～2,400mm 壁厚　650～1,500mm クローラ式アースオーガ〔三軸式・直結３点支持式〕 オーガ出力　90kW

２．費用内訳

・工事現場に搬入・搬出する標準的な重建設機械の分解・組立費の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。なお、積算にあたっては適切な機械区分を設定する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：運搬費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

重建設機械分解組立輸送費

積算単位:回(回数)
契約単位:式 or 回(回数)

１．適用範囲

本資料は、運搬費における重建設機械分解組立輸送費に適用する。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲

（１）本ユニットが適用出来る重建設機械は次表とする。

表１．１　適用建設機械

機　械　区　分	適　　用　　建　　設　　機　　械
ブルドーザ	ブルドーザ(リッパ装置付を含む) 普通　21t 級以上～63t 級以下 湿地　20t 級以上～28t 級以下
バックホウ系	バックホウ山積 1.0m3 以上～2.1m3 以下 (平積 0.7m3 以上～1.5m3 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m3 以上～0.6m3 以下
クローラクレーン系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16t 以上～300t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・機械ロープ式〕 平積 0.6m3 以上～3.0m3 以下 バイブロハンマ〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・50t～55t 吊〕
トラッククレーン	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力　80t 以上～500t 以下
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ(防音カバー装置除く) 油圧ハンマ アースオーガ(二軸同軸式含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量　20t 以上～150t 以下

機　械　区　分	適　　用　　建　　設　　機　　械
オールケーシング掘削機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径　2,000mm 以下 オールケーシング掘削機〔据置式〕 掘削径　2,000mm 以下
地盤改良機械	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機(付属機器除く) 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量　20t 以上～170t 以下
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ 機械質量　20t 以上～60t 以下
連続地中壁用機械	地下連続壁施工機(回転水平多軸・クローラ式) 壁厚　1,200～2,400mm 壁厚　650～1,500mm クローラ式アースオーガ〔三軸式・直結３点支持式〕 オーガ出力　90kW

２．費用内訳

・工事現場に搬入・搬出する標準的な重建設機械の分解・組立費、分解部品の輸送費の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件

土木工事標準積算基準書による。なお、積算にあたっては適切な機械区分を設定する。

４．その他

対応するユニット区分は、次表のとおり。

ユニット区分	積算基準頁
掘削	Ⅲ－直接－1－1
掘削	Ⅲ－直接－1－2
掘削	Ⅲ－直接－1－3
整地	Ⅲ－直接－1－9
整地	Ⅲ－直接－1－10
路体(築堤)盛土	Ⅲ－直接－1－11
路体(築堤)盛土	Ⅲ－直接－1－12
路床盛土	Ⅲ－直接－1－13
路床盛土	Ⅲ－直接－1－14
押土(ルーズ)	Ⅲ－直接－1－16
積込(ルーズ)	Ⅲ－直接－1－18
積込(ルーズ)	Ⅲ－直接－1－19
床掘り(土砂)	Ⅲ－直接－1－28
床掘り(岩石)	Ⅲ－直接－1－29
覆土	Ⅲ－直接－1－48
覆土(採取土)	Ⅲ－直接－1－49
覆土(購入土)	Ⅲ－直接－1－50
既製杭	Ⅲ－直接－2－5
置換	Ⅲ－直接－2－9
サンドドレーン	Ⅲ－直接－2－10
袋詰式サンドドレーン	Ⅲ－直接－2－11
ペーパードレーン	Ⅲ－直接－2－12
サンドコンパクションパイル	Ⅲ－直接－2－13
粉体噴射撹拌	Ⅲ－直接－2－14
スラリー撹拌	Ⅲ－直接－2－15
スラリー撹拌	Ⅲ－直接－2－16
高圧噴射撹拌	Ⅲ－直接－2－17
高圧噴射撹拌	Ⅲ－直接－2－18
間詰コンクリート	Ⅲ－直接－3－20
小口止矢板	Ⅲ－直接－4－7
鋼管杭	Ⅲ－直接－4－8
場所打杭	Ⅲ－直接－4－12
場所打杭	Ⅲ－直接－4－13
既製コンクリート杭	Ⅲ－直接－4－20
既製コンクリート杭	Ⅲ－直接－4－22
連接ブロック張	Ⅲ－直接－5－6
矢板工(護岸基礎)	Ⅲ－直接－6－8
矢板工(矢板護岸)	Ⅲ－直接－6－9
消波根固めブロック製作	Ⅲ－直接－6－38
消波根固めブロック製作	Ⅲ－直接－6－39
消波根固めブロック据付	Ⅲ－直接－6－40
消波根固めブロック据付	Ⅲ－直接－6－41
粗朶沈床	Ⅲ－直接－6－47

ユニット区分	積算基準頁
ＰＣ函渠	Ⅲ－直接－6－66
掘削土留(集水井掘削)	Ⅲ－直接－7－19
底張コンクリート	Ⅲ－直接－7－22
ベント基礎	Ⅲ－直接－9－8

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：運搬費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
仮設材運搬費

積算単位：t(質量)
契約単位：式ort(質量)

１．適用範囲
本資料は、運搬費における仮設材運搬費に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
（１）貨物の規格が1個の長さ13m未満で、かつ幅2,500mm未満及び質量15t未満のもの。〔鋼板（ｺｲﾙを含む）、条鋼、線材（ﾊﾞｰｲﾝｺｲﾙを含む）、形鋼、鋼管、銑鉄、半製品〕
（２）貨物の規格が1個の長さ13m以上17m未満、又は幅2,500mm以上3,000mm未満、又は質量15t以上20t未満のもの。〔鋼板（ｺｲﾙを含む）、条鋼、形鋼、鋼管〕
（３）貨物の規格が1個の長さ17m以上、又は幅3,000mm以上、又は質量20t以上のもの。〔鋼板（ｺｲﾙを含む）、条鋼、形鋼、鋼管〕
１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）積込み、取卸しに要する費用

２．費用内訳
・仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板等)の運搬の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

４．その他
（１）仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の積込み、取卸しに要する費用は直接工事費ユニット区分に含む。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：運搬費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
砂防えん堤土工機械分解組立費

積算単位：台(台数)
契約単位：式or台(台数)

１．適用範囲
本資料は、運搬費における砂防えん堤土工機械分解組立費に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）えん堤本体掘削土工機械の分解・組立を実施する場合

２．費用内訳
・砂防工事におけるえん堤本体掘削用土工機械の分解・組立の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：準備費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
木根等処分費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、準備費における木根等処分費に適用する。

２．費用内訳
・工事の準備作業における伐開、除根等に伴い発生する木根等の建設廃棄物を工事現場外に搬出する運搬費及び処分に要する費用、立木伐採、試掘等に要する費用、その他準備に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
家屋調査費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における家屋調査費に適用する。

２．費用内訳
・工事に伴う不等沈下等により沿道家屋に影響を及ぼすような事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
騒音調査費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における騒音調査費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する騒音に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
振動調査費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における振動調査費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する振動に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
沈下観測費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における沈下観測費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する地盤沈下に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる沈下観測費用で、沈下観測施設費、沈下観測費の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
傾斜観測費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における傾斜観測費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する事業損失を未然に防止するために行う傾斜観測施設の設置・撤去、観測費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
水質調査費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における水質調査費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する水質の変化等に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
地下水観測費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費における地下水観測費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するために必要となる調査費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：事業損失防止施設費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
事業損失防止施設費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、事業損失防止施設費に適用する。

２．費用内訳
・工事施工に伴って発生する騒音、振動等に起因する事業損失を未然に防止するための仮施設に要する費用(仮施設の設置・撤去、維持管理等)の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
交通誘導員

積算単位：人日(総人数)
契約単位：式or人日(総人数)

１．適用範囲
本資料は、安全費における交通誘導員に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）警備会社の警備員（警備業法第２条第４項に規定する警備員をいう。）で交通誘導業務に従事するもの。

２．費用内訳
・交通管理のための交通誘導員の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
交通誘導員ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(P)はプライス条件、(S)は積算条件を示す）

積算条件	
勤務形態(P)	交通誘導員区分(S)
昼間勤務（交替要員無し）	交通誘導員A
	交通誘導員B
昼間勤務（交替要員有り）	交通誘導員A
	交通誘導員B
夜間勤務（交替要員無し）	交通誘導員A
	交通誘導員B
夜間勤務（交替要員有り）	交通誘導員A
	交通誘導員B
24時間勤務（交替要員無し）	交通誘導員A
	交通誘導員B
24時間勤務（交替要員有り）	交通誘導員A
	交通誘導員B

（注）「交替要員有り」は、休憩、休息時間についても交通整理を行う場合に適用する。

４．その他
（１）日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。
（２）24時間勤務は２交替制勤務とする。
（３）設計変更は警察協議等により総人数、プライス条件の区分に変更が生じた場合に行う。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
呼吸用防護具等費用

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、安全費のうち呼吸用防護具等費用に適用する。

２．費用内訳
・トンネル建設工事における掘削及び支保工に使用する呼吸用保護具等費用(電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等)の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
機械誘導員

積算単位：人日(総人数)
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、安全費のうち機械誘導員に適用する。

２．費用内訳
・交通管理のための機械誘導員の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
機械誘導員ユニットの積算条件区分はない。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
安全管理員

積算単位：人日(総人数)
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、安全費のうちの安全管理員に適用する。

２．費用内訳
・鉄道等に近接した工事現場の出入口等に配置する安全管理員の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
安全管理員ユニットの積算条件区分はない。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
高圧線防護施設費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、安全費のうち高圧線防護施設費に適用する。

２．費用内訳
・高圧線防護施設の設置・撤去、防護材料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
救急設備費

積算単位：台(台数)
契約単位：台(台数)

１．適用範囲
本資料は、安全費のうち救急設備費に適用する。

２．費用内訳
・ニューマチックケーソン設備におけるホスピタルロック、自記気圧計損料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：安全費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
保安管理費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、安全費のうち保安管理費に適用する。

２．費用内訳
・火薬庫、火工品庫における夜間巡回等に配置する見張人の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：役務費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
借地料

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
　本資料は、役務費における借地料で、国土交通省直轄の公共事業の施工に伴う損失補償基準第24条、同運用に係わる場合に適用する。
　１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
　（１）宅地・宅地見込地及び農地
　（２）林地及びその他の土地

２．費用内訳
・土地の借上げを必要とする場合に計上する借地料の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
　土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：役務費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
電力基本料金

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、役務費における電力基本料金に適用する。

２．費用内訳
・工事の施工に必要な電力の基本料金の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：役務費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
電力設備工事負担金

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、役務費における電力設備工事負担金に適用する。
１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）臨時電力（１年未満の契約の契約期間の場合に適用）の臨時工事費及び高圧電力甲等（１年以上の契約期間で１年間までは負荷を増減しない場合に適用）の工事費負担金

２．費用内訳
・臨時電力の臨時工事費及び高圧電力甲等の工事費負担金の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：役務費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

用水基本料金

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、役務費における用水基本料金に適用する。

２．費用内訳
・工事の施工に必要となる用水の基本料金の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：技術管理費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
土質試験費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、技術管理費における土質試験費に適用する。

２．費用内訳
・品質管理基準に記載されている項目以外の試験に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土質試験費ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
土質試験費(S)
(円)

４．その他
（１）当ユニットが発生する場合は特記仕様書に明記する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：技術管理費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
地質試験費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、技術管理費における地質試験費に適用する。

２．費用内訳
・工事の施工に伴い必要となる平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他の原位置試験に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
地質試験費ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
地質試験費(S)
(円)

４．その他
（１）当ユニットが発生する場合は特記仕様書に明記する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：技術管理費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
軟弱地盤調査費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、技術管理費における軟弱地盤調査費に適用する。

２．費用内訳
・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
軟弱地盤調査費ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
軟弱地盤調査費(S)
(円)

４．その他
（１）当ユニットが発生する場合は特記仕様書に明記する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：技術管理費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
施工調査費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、技術管理費における施工調査費に適用する。

２．費用内訳
・施工形態動向調査(ユニットプライス型積算)の一部を施工業者等に委託する場合の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
施工調査費ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
施工調査費(S)
(円)

４．その他
（１）当ユニットが発生する場合は特記仕様書に明記する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：技術管理費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
各種台帳作成費

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、技術管理費における各種台帳作成費に適用する。

２．費用内訳
・各種台帳の作成、修正に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
各種台帳作成費ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
各種台帳作成費(S)
(円)

４．その他
（１）当ユニットが発生する場合は特記仕様書に明記する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：営繕費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
監督員詰所

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、営繕費における監督員詰所に適用する。

２．費用内訳
・監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・修繕)に要する費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：営繕費
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
火薬庫類

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、営繕費のうち火薬庫類に適用する。

２．費用内訳
・火薬庫類の設置・撤去・損料、立入防止柵、警報装置等の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件
土木工事標準積算基準書による。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：イメージアップ経費(積上計上)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：

イメージアップ経費(積上計上)

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲

本資料は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業への広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、全ての屋外工事を対象とするイメージアップ経費におけるイメージアップ経費（積上計上）に適用する。但し、維持工事等で、イメージアップの実施が困難なもの及び効果が期待出来ないものについては、対象外とすることが出来る。

２．費用内訳

・土木工事のイメージアップのために行うイメージアップのうち費用が巨額となるため、イメージアップ経費(率計上)で行うことが適当でないと判断されるものの費用であり、当該費用に関する現場管理費を含む。

３．積算条件

イメージアップ経費（積上計上）ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
イメージアップ経費（積上計上）(S)
(円)

４．その他

（１）当ユニットが発生する場合は特記仕様書に明記する。

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費
種　　別：イメージアップ経費(率計上)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
イメージアップ経費(率計上)

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲

本資料は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業への広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、全ての屋外工事を対象とするイメージアップ経費におけるイメージアップ経費（率計上）に適用する。但し、維持工事等で、イメージアップの実施が困難なもの及び効果が期待出来ないものについては、対象外とすることが出来る。

２．費用内訳

・工事に伴い実施する仮設備、安全設備、営繕施設等を対象にして、標準的なイメージアップを行う場合及び地域とのコミュニケーションに関する費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

(1)仮設備関係

1.用水・電力等の供給設備、2.緑化・花壇、3.ライトアップ施設、4.見学路及び椅子の設置、5.昇降設備の充実、6.環境負荷の低減

(2)営繕関係

1.現場事務所の快適化、2.労働者宿舎の快適化、3.デザインボックス(交通誘導員待機室)、4.現場休憩所の快適化、5.健康関連設備及び厚生施設の充実等

(3)安全関係

1.工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等)、2.盗難防止対策(警報機等)、3.避暑・防寒対策

(4)地域とのコミュニケーション

1.完成予想図、2.工法説明図、3.工事工程表、4.デザイン工事看板(各工事PR看板含む)、5.見学会等の開催(イベント等の実施を含む)、6.見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営、7.パンフレット・工法説明ビデオ、8.地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9.社会貢献

３．積算条件

イメージアップ経費(率計上)の算定は、工事区分に従って求めた率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。

イメージアップ経費(率計上)＝対象額(P)×率(i)

ただし、率(i)は下記算定式により算出された率による。

算定式　$i = A \cdot P^{b}$

ｉ：イメージアップ経費(率計上）の率(%)

Ｐ：対象額(円）＝直接工事費(ユニット）の合計額＋支給品費（共通仮設費対象額）＋無償貸付機械等評価額

Ａ，ｂ:変数値（表１）

注１）ｉの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

注２)対象額から、処分費等を除く。

表１ イメージアップ経費（率計上）

工事区分（レベル１）		変数値	
		A	b
築堤・護岸		64.367	-0.2537
河川維持		11.166	-0.1388
河川修繕		10.74	-0.1371
砂防えん堤		10.111	-0.134
道路改良		24.638	-0.2059
舗装		114.15	-0.2949
電線共同溝		12.519	-0.1443
道路維持		10.15	-0.1327
道路修繕	コンクリート構造物修繕	7.6797	-0.1198
	舗装修繕	10.374	-0.1353
	鋼構造物修繕	8.6379	-0.1265

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：共通仮設費(率計上)
種　　別：共通仮設費(率計上)
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
共通仮設費(率計上)

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、共通仮設費（率計上）に適用する。

２．費用内訳
・共通仮設費のうち、工種区分に従って所定の率計算により算定される費用で、以下の費用の他、当該費用に関する現場管理費を含む。
(1)運搬費
・質量20t未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場内小運搬
・質量20t未満の建設機械の自走による運搬
・重建設機械(トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型20～50t吊)・ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型20～70吊))の分解、組立及び輸送に要する費用
(2)安全費
・工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用
・不稼動日の保安要員等の費用
・表示板、標識、保安燈、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料
・夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用
(大規模な照明設備を必要とする広範な工事(ダム・トンネル工事)は除く)
・安全用品等の費用
・安全委員会等に要する費用
(3)営繕費
・現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
・労働者宿舎の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
・倉庫、材料保管場所の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用
・上記に係る土地・建物の借上げに要する費用

３．積算条件
共通仮設費(率計上)の算定は工事区分に従って求めた率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。

共通仮設費(率計上)＝対象額(P)×率(i)

ただし、率(ｋr)は下記算定式により算出された率による。

算定式　$kr = A \cdot P^{b}$

ｋr：共通仮設費(率計上）の率(%)
Ｐ：対象額(円）＝直接工事費(ユニット）の合計額＋支給品費＋無償貸付機械等評価額
Ａ, ｂ:変数値（表１）

注１）ｋrの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

注２）対象額から片持標識柱（舗装の場合）の材料費を除く必要はない。

表１　共通仮設費（率計上）

工事区分（レベル１）		変数値	
		A	b
築堤・護岸		586.95	-0.2961
河川維持		7.415	-0.0494
河川修繕		112.56	-0.1894
砂防えん堤		281.14	-0.2388
道路改良		20.213	-0.1022
舗装		313.34	-0.2342
電線共同溝		26.970	-0.0917
道路維持		1545.2	-0.3276
道路修繕	コンクリート構造物修繕	2806.8	-0.3423
	舗装修繕	251.17	-0.2065
	鋼構造物修繕	260.01	-0.1936

工事区分：間接工事費(ユニット)
工　　種：一時中止に伴う費用
種　　別：一時中止に伴う費用
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
一時中止に伴う費用

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
本資料は、請負工事全体の一時中止又は工程上クリティカルパスとなる工種において一時中止をした場合の増加費用等に適用する。
取扱いについては、「工事の一時中止に伴う増加費用等の積算上の取扱いについて」(昭和57年3月29日付け建設省官技発第116号)」による。

１－１．本ユニット区分が適用出来る範囲
（１）発注者が工事全体の一時中止又は工程上クリティカルパスとなる工種において一時中止（一部一時中止）を指示し、それに伴う増加費用等について請負者から請求があった場合

１－２．本ユニット区分が適用出来ない範囲
（１）道路維持工事又は河川維持工事のうち経常的な維持工事である場合

２．費用内訳
・発注者が工事全体の一時中止又は工程上クリティカルパスとなる工種において一時中止（一部一時中止）を指示し、それに伴い発生する現場維持等に要する費用（工事現場の維持に要する費用、工事体制の縮小に要する費用、工事の再開・準備に要する費用）の他、当該費用に関する現場管理費を含む。

・本支店における増加費用は含まない。

３．積算条件
一時中止に伴う費用ユニットの積算条件は、次表のとおりである。

表３．１積算条件（積算条件の項目名称で、(S)は積算条件を示す）

積算条件
一時中止に伴う費用(S)
(千円単位)

第Ⅲ編　一般管理費等

第Ⅲ編　一般管理費等

【目次】

一般管理費等 …… 目次(一般管理費等)-1
一般管理費等 …… Ⅲ-目次(一般管理費等)-1

【本編】

一般管理費等 …… Ⅲ- 一般-1-1

3.3 一般管理費等

＜目　次＞

ユニット区分	積算基準頁
一般管理費等	
一般管理費等	Ⅲ-一般-1-1

一般管理費等

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ユニット区分	ﾕﾆｯﾄｺｰﾄﾞ	積算基準頁
一般管理費等			一般管理費等	99015911	Ⅲ-般-1-1

工事区分：一般管理費等
工　　種：一般管理費等
種　　別：ー
ユニットコード：参考資料「索引」参照

ユニット区分：
一般管理費等

積算単位：式
契約単位：式

１．適用範囲
　本資料は、工事における企業の継続運営に必要な一般管理費及び付加利益に適用する。

２．費用内訳
・当該工事における企業の継続運営に必要な一般管理費及び付加利益の全ての費用を含む。

３．積算条件
　一般管理費等ユニットの算定は、以下により行う。

工事原価	500万円以下	500万円を超え 30億円以下	30億円を超えるもの
一般管理費等率	14.38%	一般管理費等率算定式 により算出された率	7.22%

算定式
　Gp＝-2.57651×LOG(Cp)＋31.63531(%)
　ただし、Ｇｐ：一般管理費等率(%)
　Ｃｐ：工事原価(円) ＝直接工事費(ユニット) ＋間接工事費(ユニット)
注)Ｇｐの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

４．その他
（１）一般管理費等率の補正については、第Ｉ編総則第３章一般管理費等及び消費税相当額①一般管理費等4一般管理費等率の補正により行う。

索　引

索　　引

あ

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
足場	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10301100	Ⅲ-直接-16-1
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10301100	
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10301100	
	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10801100	
	河川維持	構造物補修工	ボーリンググラウト工	10801100	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20101100	
	堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20101100	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30101100	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30101100	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30101100	
	流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30201100	
	流路	床固め工	床固め本体工	30201100	
	流路	床固め工	垂直壁工	30201100	
	流路	床固め工	側壁工	30201100	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30301100	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30301100	
	斜面対策	擁壁工	落石防護工	30301100	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30301100	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51401100	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51401100	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51501100	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51501100	
	道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51501100	
足場	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51401101	Ⅲ-直接-16-6
	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51401101	
	道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51501101	
	道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51501101	
足場	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	51401102	Ⅲ-直接-16-7
	道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	51501102	
足場	道路維持	橋梁付属物工	検査路工	51401103	Ⅲ-直接-16-8
	道路修繕	橋梁付属物工	検査路工	51501103	
足場	道路修繕	橋梁支承工	鋼橋支承工	51501104	Ⅲ-直接-16-9
	道路修繕	橋梁支承工	ＰＣ橋支承工	51501104	
	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51501104	
	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51501104	
足場	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51501105	Ⅲ-直接-16-10
	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51501105	
足場	斜面対策	抑止杭工	シャフト工(深礎工)	30301109	Ⅲ-直接-16-5
足場	斜面対策	地下水排除工	集排水ボーリング工	30301200	Ⅲ-直接-16-11
足場(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30101106	Ⅲ-直接-16-2
	斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30301106	
	斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30301106	
	道路維持	法面工	アンカー工	51401106	
	道路修繕	法面工	アンカー工	51501106	
足場(砂防)	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30101108	Ⅲ-直接-16-4
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30101108	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
あ	足場(砂防)	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30101108	Ⅲ-直接-16-4
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30101108	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30101108	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30101108	
		流路	床固め工	垂直壁工	30201108	
		流路	床固め工	側壁工	30201108	
	足場(鉄筋挿入)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30101107	Ⅲ-直接-16-3
		道路維持	法面工	アンカー工	51401107	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51501107	
	足場・防護	道路維持	橋梁付属物工	地覆工	51401140	Ⅲ-直接-16-13
		道路修繕	橋梁付属物工	地覆工	51501140	
	アスカーブ	築堤・護岸	付帯道路工	縁石工	10101040	Ⅲ-直接-5-174
		舗装	縁石工	縁石工	50201040	
	アスカーブ	堤防・護岸	付帯道路工	縁石工	20101041	Ⅲ-直接-5-175
		砂防えん堤	付帯道路工	縁石工	30101041	
		道路修繕	縁石工	縁石工	51501041	
	アスファルト注入	河川維持	路面補修工	コンクリート舗装補修工	10801110	Ⅲ-直接-14-33
		道路維持	舗装工	コンクリート舗装補修工	51401110	
	アスファルト舗装工(車道部)	築堤・護岸	付帯道路工		10101010	Ⅲ-直接-5-93
		舗装	舗装工		50201010	
	アンカー	道路改良	法面工	アンカー工	50101050	Ⅲ-直接-5-63
	アンカー(落橋防止装置)	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51501160	Ⅲ-直接-9-19
	アンカー(ロックネット)	道路修繕	落石雪害防止工	落石防止網工	51501150	Ⅲ-直接-5-205
	アンカー(ロックネット)	道路改良	落石雪害防止工	落石防止網工	50145070	Ⅲ-直接-5-203
	アンカー鋼材加工・組立・挿入(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30101051	Ⅲ-直接-5-65
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30301051	
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30301051	
		道路維持	法面工	アンカー工	51401051	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51501051	
	アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30101053	Ⅲ-直接-5-66
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30301053	
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30301053	
		道路維持	法面工	アンカー工	51401053	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51501053	
	アンカー工材料費(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30101052	Ⅲ-直接-5-70
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30301052	
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30301052	
		道路維持	法面工	アンカー工	51401052	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51501052	
	アンカーボルト穿孔及び設置(排水管)	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	51401130	Ⅲ-直接-9-3
		道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	51501130	
	アンカーボルト挿入	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51501170	Ⅲ-直接-13-33
	暗渠排水管	道路改良	排水構造物工	地下排水工	50101030	Ⅲ-直接-5-156
		舗装	排水構造物工	地下排水工	50201030	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
あ	暗渠排水管敷設(地下排水)	樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10301031	Ⅲ-直接-5-157
		樋門・樋管	水路工	暗渠工	10301031	
		河川修繕	河川土工	盛土補強工	10901031	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30101031	
		流路	砂防土工	盛土補強工	30201031	
		斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30301031	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30301031	
		道路維持	排水構造物工	地下排水工	51401031	
		道路修繕	排水構造物工	地下排水工	51501031	
	安全管理員	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99001910	Ⅲ-間接-1-18
	安定処理	築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10101080	Ⅲ-直接-2-7
		堤防・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	20101080	
	安定シート・ネット	築堤・護岸	河川土工	盛土補強工	10101060	Ⅲ-直接-2-1
		築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10101060	
		築堤・護岸	地盤改良工	パイルネット工	10101060	
		樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10301060	
		河川修繕	河川土工	盛土補強工	10901060	
		堤防・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	20101060	
		堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	20101060	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30101060	
		流路	砂防土工	盛土補強工	30201060	
		斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30301060	
		道路改良	地盤改良工	サンドマット工	50101060	
い	井桁ブロック	斜面対策	擁壁工	井桁ブロック工	30302180	Ⅲ-直接-5-87
	井桁ブロック基礎	斜面対策	擁壁工	井桁ブロック工	30302170	Ⅲ-直接-5-86
	石材料	築堤・護岸	法覆護岸工	石積(張)工	10102070	Ⅲ-直接-6-37
		築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10102070	
		築堤・護岸	法覆護岸工	羽口工	10102070	
		築堤・護岸	根固め工	根固めブロック工	10102070	
		築堤・護岸	根固め工	沈床工	10102070	
		築堤・護岸	根固め工	かご工	10102070	
		築堤・護岸	水制工	沈床工	10102070	
		築堤・護岸	水制工	かご工	10102070	
		樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10302070	
		樋門・樋管	護床工	間詰工	10302070	
		樋門・樋管	護床工	沈床工	10302070	
		樋門・樋管	護床工	かご工	10302070	
		河川修繕	側帯工	縁切工	10902070	
		河川修繕	堤脚保護工	石積工	10902070	
		堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20102070	
		堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20102070	
		砂防えん堤	法面工	かご工	30102070	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	かご工	30102070	
		流路	流路護岸工	石積擁壁工	30102070	
		流路	根固め・水制工	かご工	30202070	
		道路改良	法面工	かご工	50102070	
		道路改良	石・ブロック積(張)工	石積工	50102070	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
い	石材料	道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51402070	Ⅲ-直接-6-37
		道路維持	法面工	かご工	51402070	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51502070	
		道路修繕	法面工	かご工	51502070	
	石材料(かごマット)	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10102071	Ⅲ-直接-6-38
		樋門・樋管	護床工	かご工	10302071	
	石材料(捨石)	築堤・護岸	根固め工	捨石工	10102072	Ⅲ-直接-6-39
		築堤・護岸	水制工	捨石工	10102072	
		樋門・樋管	護床工	捨石工	10302072	
		堤防・護岸	護岸基礎工	捨石工	20102072	
		流路	根固め・水制工	捨石工	30202072	
	石積	道路改良	石・ブロック積(張)工	石積工	50102090	Ⅲ-直接-5-27
	石積	築堤・護岸	法覆護岸工	石積(張)工	10102100	Ⅲ-直接-5-28
	石積・張	河川修繕	側帯工	縁切工	10902120	Ⅲ-直接-5-30
		河川修繕	堤脚保護工	石積工	10902120	
		堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20102120	
		堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20102120	
		流路	流路護岸工	石積擁壁工	30202120	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51402120	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51502120	
	石張	築堤・護岸	法覆護岸工	石積(張)工	10102110	Ⅲ-直接-5-29
	一時中止に伴う費用	間接工事費(ユニット)	一時中止に伴う費用	一時中止に伴う費用	99002910	Ⅲ-間接-1-36
	市松芝	築堤・護岸	法覆護岸工	植生工	10102080	Ⅲ-直接-5-47
		河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10802080	
		河川修繕	腹付工	植生工	10902080	
		河川修繕	側帯工	植生工	10902080	
		砂防えん堤	法面工	植生工	30102080	
		道路改良	法面工	植生工	50102080	
		道路維持	法面工	植生工	51402080	
		道路修繕	法面工	植生工	51502080	
	一般管理費等	一般管理費等	一般管理費等		99015911	Ⅲ-一般-1-1
	一本土台	築堤・護岸	護岸基礎工	土台基礎工	10102050	Ⅲ-直接-6-10
	移動(管渠清掃)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51402140	Ⅲ-直接-14-79
	移動(側溝清掃)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51402130	Ⅲ-直接-14-76
	井戸中詰	斜面対策	地下水排除工	井戸中詰工	30302190	Ⅲ-直接-7-17
	井戸蓋	斜面対策	地下水排除工	集水井工	30302200	Ⅲ-直接-7-23
	イメージアップ経費(積上計上)	間接工事費(ユニット)	共通仮設費		99002914	Ⅲ-間接-1-33
	イメージアップ経費(率計上)	間接工事費(ユニット)	共通仮設費		99002911	Ⅲ-間接-1-34
	インターロッキングブロック撤去	共通	構造物撤去工	ブロック舗装撤去工	90102060	Ⅲ-直接-15-21
	インターロッキングブロック舗装	築堤・護岸	付帯道路工	ブロック舗装工	10102010	Ⅲ-直接-5-128
		舗装	舗装工	ブロック舗装工	50202010	
う	埋戻し	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10303020	Ⅲ-直接-1-31

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
う	埋戻し	樋門・樋管	護床工	作業土工	10303020	Ⅲ-直接-1-31
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10303020	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10303020	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10803020	
		河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10803020	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10903020	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10903020	
		堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20103020	
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20103020	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20103020	
		堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20103020	
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20103020	
		砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30103020	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30103020	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30103020	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30103020	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30103020	
		砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30103020	
		流路	砂防土工	埋戻し工	30203020	
		流路	流路護岸工	作業土工	30203020	
		流路	床固め工	作業土工	30203020	
		流路	根固め・水制工	作業土工	30203020	
		斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30303020	
		斜面対策	擁壁工	作業土工	30303020	
		斜面対策	山腹水路工	作業土工	30303020	
		斜面対策	地下水排除工	作業土工	30303020	
		斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30303020	
		斜面対策	抑止杭工	作業土工	30303020	
		道路維持	排水構造物工	作業土工	51403020	
		道路維持	防護柵工	作業土工	51403020	
		道路維持	道路付属施設工	作業土工	51403020	
		道路維持	擁壁工	作業土工	51403020	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51403020	
		道路維持	カルバート工	作業土工	51403020	
		道路修繕	排水構造物工	作業土工	51503020	
		道路修繕	縁石工	作業土工	51503020	
		道路修繕	防護柵工	作業土工	51503020	
		道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51503020	
		道路修繕	擁壁工	作業土工	51503020	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51503020	
		道路修繕	カルバート工	作業土工	51503020	
		道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51503020	
		道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51503020	
	埋戻し	電線共同溝	開削土工	埋戻し工	51203022	Ⅲ-直接-1-33
	埋戻し(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30103021	Ⅲ-直接-1-32

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
う 埋戻し(砂防)	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30103021	Ⅲ-直接-1-32
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30103021	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30103021	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30103021	
	砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30103021	
	流路	砂防土工	埋戻し工	30203021	
	流路	流路護岸工	作業土工	30203021	
	流路	床固め工	作業土工	30203021	
	流路	根固め・水制工	作業土工	30203021	
	斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30303021	
裏込材(石積(張))	河川修繕	側帯工	縁切工	10903060	Ⅲ-直接-5-32
	河川修繕	堤脚保護工	石積工	10903060	
	堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20103060	
	堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20103060	
	流路	流路護岸工	石積擁壁工	30203060	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51403060	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51503060	
裏込砕石	樋門・樋管	軽量盛土工	軽量盛土工	10303050	Ⅲ-直接-1-46
	河川修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	10903050	
	堤防・護岸	軽量盛土工	軽量盛土工	20103050	
	砂防えん堤	軽量盛土工	軽量盛土工	30103050	
	流路	軽量盛土工	軽量盛土工	30203050	
	斜面対策	軽量盛土工	軽量盛土工	30303050	
	道路維持	軽量盛土工	軽量盛土工	51403050	
	道路修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	51503050	
裏込砕石	堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20103051	Ⅲ-直接-1-47
	堤防・護岸	護岸工	コンクリート被覆工	20103051	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20103051	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20103051	
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリート被覆工	20103051	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30303051	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30303051	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51403051	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51503051	
裏込注入	道路維持	トンネル工	裏込注入工	51403080	Ⅲ-直接-11-1
	道路修繕	トンネル工	裏込注入工	51503080	
上塗	河川修繕	現場塗装工	コンクリート面塗装工	10903071	Ⅲ-直接-8-21
	道路維持	現場塗装工	コンクリート面塗装工	51403071	
	道路修繕	現場塗装工	コンクリート面塗装工	51503071	
上塗	道路維持	現場塗装工	橋梁塗装工	51403072	Ⅲ-直接-8-23
	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	51503072	
上塗	道路維持	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51403073	Ⅲ-直接-8-24
	道路修繕	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51503073	
上塗	砂防えん堤	工場製作工	工場塗装工	30103074	Ⅲ-直接-8-22
運搬(散在塵芥処理)	河川維持	清掃工	塵芥処理工	10803042	Ⅲ-直接-14-43

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
う	運搬(除草)	河川維持	除草工	堤防除草工	10803040	Ⅲ-直接-14-11
		河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10803040	
	運搬(堆積塵芥処理)	河川維持	清掃工	塵芥処理工	10830343	Ⅲ-直接-14-46
	運搬(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10803041	Ⅲ-直接-14-20
え	Ｌ型側溝	築堤・護岸	付帯道路工	側溝工	10104010	Ⅲ-直接-5-130
		舗装	排水構造物工	側溝工	50204010	
		舗装	縁石工	分離帯工	50204010	
	Ｌ型側溝	堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20104011	Ⅲ-直接-5-131
		道路維持	排水構造物工	側溝工	51404011	
		道路修繕	排水構造物工	側溝工	51504011	
	Ｌ型擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	場所打擁壁工	10104020	Ⅲ-直接-3-13
		道路改良	擁壁工	場所打擁壁工	50104020	
	Ｌ型擁壁	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20104021	Ⅲ-直接-3-14
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30304021	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30304021	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51404021	
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51504021	
お	応急作業	河川維持	応急処理工	応急処理作業工	10805100	Ⅲ-直接-14-94
		道路維持	応急処理工	応急処理作業工	51405100	
	大型階段ブロック張	築堤・護岸	法覆護岸工	環境護岸ブロック工	10105050	Ⅲ-直接-5-9
	大型コンクリートブロック積	河川修繕	堤脚保護工	コンクリートブロック工	10905110	Ⅲ-直接-5-17
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20105110	
		流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30205110	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51405110	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51505110	
	大型土のう	砂防えん堤	仮締切工	土砂・土のう締切工	30105081	Ⅲ-直接-16-30
	大型緑化ブロック積	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10105060	Ⅲ-直接-5-18
		築堤・護岸	法覆護岸工	緑化ブロック工	10105060	
	大型緑化ブロック積	道路改良	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	50105061	Ⅲ-直接-5-19
	大型連節ブロック張	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10105070	Ⅲ-直接-5-8
	置換	築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10105030	Ⅲ-直接-2-8
		道路改良	地盤改良工	置換工	50105030	
		舗装	地盤改良工	置換工	50205030	
	置換	堤防・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	20105031	Ⅲ-直接-2-9
	押土(ルーズ)	樋門・樋管	河川土工	掘削工	10305090	Ⅲ-直接-1-16
		樋門・樋管	河川土工	盛土工	10305090	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10305090	
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10305090	
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10305090	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10305090	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10805090	
		河川修繕	河川土工	掘削工	10905090	
		河川修繕	河川土工	盛土工	10905090	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10905090	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10905090	
		堤防・護岸	海岸土工	掘削工	20105090	
		堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20105090	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
お	押土(ルーズ)	堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20105090	Ⅲ-直接-1-16
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20105090	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20105090	
		堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20105090	
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20105090	
		砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30105090	
		砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30105090	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30105090	
		流路	砂防土工	掘削工	30205090	
		流路	砂防土工	埋戻し工	30205090	
		流路	砂防土工	盛土工	30205090	
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30305090	
		斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30305090	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30305090	
		斜面対策	擁壁工	作業土工	30305090	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30305090	
		斜面対策	山腹水路工	作業土工	30305090	
		斜面対策	地下水排除工	作業土工	30305090	
		斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30305090	
		斜面対策	抑止杭工	作業土工	30305090	
		道路維持	道路土工	掘削工	51405090	
		道路維持	道路土工	路体盛土工	51405090	
		道路維持	道路土工	路床盛土工	51405090	
		道路維持	排水構造物工	作業土工	51405090	
		道路維持	防護柵工	作業土工	51405090	
		道路維持	道路付属施設工	作業土工	51405090	
		道路維持	擁壁工	作業土工	51405090	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51405090	
		道路維持	カルバート工	作業土工	51405090	
		道路修繕	道路土工	掘削工	51505090	
		道路修繕	道路土工	路体盛土工	51505090	
		道路修繕	道路土工	路床盛土工	51505090	
		道路修繕	排水構造物工	作業土工	51505090	
		道路修繕	縁石工	作業土工	51505090	
		道路修繕	防護柵工	作業土工	51505090	
		道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51505090	
		道路修繕	擁壁工	作業土工	51505090	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51505090	
		道路修繕	カルバート工	作業土工	51505090	
		道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51505090	
		道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51505090	
	押土(ルーズ)(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30105091	Ⅲ-直接-1-17
		砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30105091	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30105091	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30105091	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30105091	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30105091	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
お	押土(ルーズ)(砂防)	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30105091	Ⅲ-直接-1-17
		砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30105091	
		流路	砂防土工	掘削工	30205091	
		流路	砂防土工	埋戻し工	30205091	
		流路	砂防土工	盛土工	30205091	
		流路	流路護岸工	作業土工	30205091	
		流路	床固め工	作業土工	30205091	
		流路	根固め・水制工	作業土工	30205091	
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30305091	
		斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30305091	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30305091	
か	開削掘削	電線共同溝	開削土工	掘削工	51206370	Ⅲ-直接-1-5
	改良沈床	築堤・護岸	根固め工	沈床工	10106150	Ⅲ-直接-6-51
		築堤・護岸	水制工	沈床工	10106150	
		樋門・樋管	護床工	沈床工	10306150	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	沈床工	30106150	
	家屋調査費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99006913	Ⅲ-間接-1-7
	各種台帳作成費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	技術管理費	99006914	Ⅲ-間接-1-30
	隔壁コンクリート基礎	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30106390	Ⅲ-直接-7-7
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30106390	
	かごマット	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10106160	Ⅲ-直接-6-24
	かごマット	樋門・樋管	護床工	かご工	10306161	Ⅲ-直接-6-25
	かご枠	築堤・護岸	法覆護岸工	羽口工	10106170	Ⅲ-直接-6-36
	笠コンクリート	築堤・護岸	矢板護岸工	笠コンクリート工	10106180	Ⅲ-直接-6-14
	ガス圧接	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10306290	Ⅲ-直接-3-29
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10306290	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10306290	
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10306290	
		堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	20106290	
		堤防・護岸	護岸基礎工	場所打コンクリート工	20106290	
		堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20106290	
		堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20106290	
		堤防・護岸	波返工	波返工	20106290	
		流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30106290	
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30306290	
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30306290	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30306290	
		斜面対策	擁壁工	落石防護工	30306290	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30306290	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30306290	
		斜面対策	抑止杭工	シャフト工(深礎工)	30306290	
		道路維持	防護柵工	防護柵基礎工	51406290	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51406290	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51406290	
		道路維持	カルバート工	場所打函渠工(構造物単位)	51406290	
		道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51406290	
		道路修繕	防護柵工	防護柵基礎工	51506290	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
か ガス圧接	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51506290	Ⅲ-直接-3-29
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51506290	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工(構造物単位)	51506290	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51506290	
	道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51506290	
	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51506290	
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51506290	
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51506290	
	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51506290	
仮設材運搬費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	運搬費	99006910	Ⅲ-間接-1-4
下層路盤(車道部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10106010	Ⅲ-直接-5-94
	築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10106010	
	築堤・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	10106010	
	築堤・護岸	付帯道路工	ブロック舗装工	10106010	
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50206010	
	舗装	舗装工	半たわみ性舗装工	50206010	
	舗装	舗装工	排水性舗装工	50206010	
	舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50206010	
	舗装	舗装工	薄層カラー舗装工	50206010	
	舗装	舗装工	ブロック舗装工	50206010	
下層路盤(車道・路肩部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10906011	Ⅲ-直接-5-95
	堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20106011	
	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20106011	
	堤防・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	20106011	
	砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30106011	
	砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30106011	
	砂防えん堤	付帯道路工	薄層カラー舗装工	30106011	
	道路維持	舗装工	舗装打換え工	51406011	
	道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51506011	
下層路盤(歩道部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10906012	Ⅲ-直接-5-96
	堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20106012	
	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20106012	
	堤防・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	20106012	
	砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30106012	
	砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30106012	
	砂防えん堤	付帯道路工	薄層カラー舗装工	30106012	
	道路維持	舗装工	舗装打換え工	51406012	
	道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51506012	
片梯子土台	築堤・護岸	護岸基礎工	土台基礎工	10106190	Ⅲ-直接-6-11
片持標識柱	舗装	標識工	大型標識工	50206080	Ⅲ-直接-5-199
片持標識柱	道路維持	標識工	大型標識工	51406081	Ⅲ-直接-5-200
	道路修繕	標識工	大型標識工	51506081	
型枠	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10306270	Ⅲ-直接-3-25
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10306270	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10306270	
	樋門・樋管	水路工	集水桝工	10306270	
	樋門・樋管	水路工	暗渠工	10306270	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
か	型枠	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10306270	Ⅲ-直接-3-25
		樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10306270	
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10906270	
		河川修繕	管理用通路工	道路付属物工	10906270	
		堤防・護岸	護岸基礎工	場所打コンクリート工	20106270	
		堤防・護岸	護岸基礎工	笠コンクリート工	20106270	
		堤防・護岸	護岸工	コンクリート被覆工	20106270	
		堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20106270	
		堤防・護岸	天端被覆工	コンクリート被覆工	20106270	
		堤防・護岸	波返工	波返工	20106270	
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリート被覆工	20106270	
		堤防・護岸	排水構造物工	集水桝工	20106270	
		堤防・護岸	排水構造物工	管渠工	20106270	
		堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20106270	
		堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20106270	
		堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20106270	
		堤防・護岸	付帯道路工	集水桝工	20106270	
		堤防・護岸	付帯道路工	縁石工	20106270	
		砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30106270	
		砂防えん堤	付帯道路工	集水桝工	30106270	
		砂防えん堤	付帯道路工	縁石工	30106270	
		流路	流路付属物設置工	階段工	30206270	
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30306270	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30306270	
		斜面対策	擁壁工	落石防護工	30306270	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30306270	
		電線共同溝	電線共同溝工	プレキャストボックス工(特殊部)	51206270	
		電線共同溝	電線共同溝工	現場打ボックス工(特殊部)	51206270	
		電線共同溝	付帯設備工	土留壁工	51206270	
		道路維持	排水構造物工	側溝工	51406270	
		道路維持	排水構造物工	管渠工	51406270	
		道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51406270	
		道路維持	防護柵工	防護柵基礎工	51406270	
		道路維持	道路付属施設工	ケーブル配管工	51406270	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51406270	
		道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51406270	
		道路維持	橋梁付属物工	地覆工	51406270	
		道路修繕	排水構造物工	側溝工	51506270	
		道路修繕	排水構造物工	管渠工	51506270	
		道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51506270	
		道路修繕	縁石工	縁石工	51506270	
		道路修繕	防護柵工	防護柵基礎工	51506270	
		道路修繕	道路付属施設工	ケーブル配管工	51506270	
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51506270	
		道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51506270	
		道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51506270	
		道路修繕	橋梁付属物工	地覆工	51506270	
		道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51506270	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
か 型枠	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51506270	Ⅲ-直接-3-25
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51506270	
型枠	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51506271	Ⅲ-直接-3-27
型枠	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30106272	Ⅲ-直接-3-26
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30106272	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30106272	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	間詰工	30106272	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	水叩工	30106272	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30106272	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30106272	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30106272	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	間詰工	30106272	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	水叩工	30106272	
	流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30206272	
	流路	床固め工	床固め本体工	30206272	
	流路	床固め工	垂直壁工	30206272	
	流路	床固め工	側壁工	30206272	
	流路	床固め工	水叩工	30206272	
	流路	床固め工	魚道工	30206272	
可とう鋼矢板	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	矢板工	10306420	Ⅲ-直接-4-16
可とう継手	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10306470	Ⅲ-直接-6-69
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10306470	
金網(フェンス)(立入防止柵)	樋門・樋管	付属物設置工	防止柵工	10306280	Ⅲ-直接-5-227
	堤防・護岸	付属物設置工	防止柵工	20106280	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	防止柵工	30106280	
	道路維持	防護柵工	防止柵工	51406280	
	道路修繕	防護柵工	防止柵工	51506280	
金網（フェンス）（立入防止柵）撤去	共通	構造物撤去工	防止柵撤去工	90106340	Ⅲ-直接-15-5
金網・ロープ(ロックネット)	道路改良	落石雪害防止工	落石防止網工	50106330	Ⅲ-直接-5-202
	道路修繕	落石雪害防止工	落石防止網工	51506330	
火薬庫類	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	営繕費	99006912	Ⅲ-間接-1-32
殻運搬	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	90106100	Ⅲ-直接-15-29
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	90106100	
	河川維持	撤去物処理工	運搬処理工	90106100	
	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	90106100	
	堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	90106100	
	斜面対策	擁壁工	既製杭工	90106100	
	斜面対策	抑止杭工	既製杭工	90106100	
	斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	90106100	
	道路改良	擁壁工	既製杭工	90106100	
	道路改良	擁壁工	場所打杭工	90106100	
	道路改良	カルバート工	既製杭工	90106100	
	道路改良	カルバート工	場所打杭工	90106100	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
か 殻運搬	電線共同溝	舗装版撤去工	舗装版破砕工	90106100	Ⅲ-直接-15-29
	道路維持	舗装工	舗装打換え工	90106100	
	道路維持	舗装工	薄層カラー舗装工	90106100	
	道路維持	橋梁付属物工	伸縮継手工	90106100	
	道路修繕	舗装工	舗装打換え工	90106100	
	道路修繕	舗装工	薄層カラー舗装工	90106100	
	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	90106100	
	共通	構造物撤去工	運搬処理工	90106100	
殻運搬(路面切削)	河川修繕	管理用通路工	路面切削工	10906260	Ⅲ-直接-15-27
	道路維持	舗装工	路面切削工	51406260	
	道路維持	舗装工	切削オーバーレイ工	51406260	
	道路修繕	舗装工	路面切削工	51506260	
	道路修繕	舗装工	切削オーバーレイ工	51506260	
殻処分	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	90106110	Ⅲ-直接-15-30
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	90106110	
	河川維持	撤去物処理工	運搬処理工	90106110	
	河川修繕	管理用通路工	路面切削工	90106110	
	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	90106110	
	堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	90106110	
	斜面対策	擁壁工	既製杭工	90106110	
	斜面対策	抑止杭工	既製杭工	90106110	
	斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	90106110	
	道路改良	擁壁工	既製杭工	90106110	
	道路改良	擁壁工	場所打杭工	90106110	
	道路改良	カルバート工	既製杭工	90106110	
	道路改良	カルバート工	場所打杭工	90106110	
	電線共同溝	舗装版撤去工	舗装版破砕工	90106110	
	道路維持	舗装工	路面切削工	90106110	
	道路維持	舗装工	舗装打換え工	90106110	
	道路維持	舗装工	切削オーバーレイ工	90106110	
	道路維持	舗装工	薄層カラー舗装工	90106110	
	道路維持	橋梁付属物工	伸縮継手工	90106110	
	道路修繕	舗装工	路面切削工	90106110	
	道路修繕	舗装工	舗装打換え工	90106110	
	道路修繕	舗装工	切削オーバーレイ工	90106110	
	道路修繕	舗装工	薄層カラー舗装工	90106110	
	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	90106110	
	共通	構造物撤去工	運搬処理工	90106110	
管(函)渠型側溝	舗装	排水構造物工	側溝工	50206090	Ⅲ-直接-5-141
管(函)渠型側溝	道路維持	排水構造物工	側溝工	51406091	Ⅲ-直接-5-142
	道路修繕	排水構造物工	側溝工	51506091	
管渠	築堤・護岸	付帯道路工	側溝工	10106040	Ⅲ-直接-5-146
	道路改良	排水構造物工	管渠工	50106040	
	舗装	排水構造物工	管渠工	50206040	
管渠	樋門・樋管	水路工	暗渠工	10306041	Ⅲ-直接-5-147
	河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10906041	
	堤防・護岸	排水構造物工	管渠工	20106041	
	堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20106041	
	砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30106041	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
か	管渠	道路維持	排水構造物工	管渠工	51406041	Ⅲ-直接-5-147
		道路修繕	排水構造物工	管渠工	51506041	
	函渠	道路維持	カルバート工	場所打函渠工(構造物単位)	51406300	Ⅲ-直接-3-16
		道路修繕	カルバート工	場所打函渠工(構造物単位)	51506300	
	函渠接続	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10306430	Ⅲ-直接-6-71
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10306430	
	潅水	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10806250	Ⅲ-直接-14-58
		道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51406250	
	監督員詰所	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	営繕費	99006911	Ⅲ-間接-1-31
	岩盤清掃	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30106410	Ⅲ-直接-7-1
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30106410	
	ガードケーブル	舗装	防護柵工	路側防護柵工	50206060	Ⅲ-直接-5-216
	ガードケーブル	道路維持	防護柵工	路側防護柵工	51406061	Ⅲ-直接-5-217
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51406061	
		道路修繕	防護柵工	路側防護柵工	51506061	
	ガードパイプ	築堤・護岸	付帯道路工	路側防護柵工	10106070	Ⅲ-直接-5-218
		舗装	防護柵工	路側防護柵工	50206070	
	ガードパイプ	河川維持	付属物設置工	防護柵工	10806071	Ⅲ-直接-5-219
		河川修繕	管理用通路工	防護柵工	10906071	
		堤防・護岸	付帯道路工	路側防護柵工	20106071	
		砂防えん堤	付帯道路工	路側防護柵工	30106071	
		道路維持	防護柵工	路側防護柵工	51406071	
		道路修繕	防護柵工	路側防護柵工	51506071	
	ガードパイプ清掃	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51406320	Ⅲ-直接-14-85
	ガードパイプ撤去	共通	構造物撤去工	防護柵撤去工	90106130	Ⅲ-直接-15-7
	ガードパイプ復旧	河川維持	付属物復旧工	付属物復旧工	10806240	Ⅲ-直接-14-40
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51406240	
	ガードレール	築堤・護岸	付帯道路工	路側防護柵工	10106050	Ⅲ-直接-5-214
		舗装	防護柵工	路側防護柵工	50206050	
	ガードレール	河川維持	付属物設置工	防護柵工	10806051	Ⅲ-直接-5-215
		河川修繕	管理用通路工	防護柵工	10906051	
		堤防・護岸	付帯道路工	路側防護柵工	20106051	
		砂防えん堤	付帯道路工	路側防護柵工	30106051	
		道路維持	防護柵工	路側防護柵工	51406051	
		道路修繕	防護柵工	路側防護柵工	51506051	
	ガードレール清掃	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51406310	Ⅲ-直接-14-84
	ガードレール撤去	共通	構造物撤去工	防護柵撤去工	90106350	Ⅲ-直接-15-6
	ガードレール復旧	河川維持	付属物復旧工	付属物復旧工	10806230	Ⅲ-直接-14-39
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51406230	
き	機械誘導員	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99007911	Ⅲ-間接-1-17
	木杭	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10107070	Ⅲ-直接-4-23
		堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	20107070	
	既製杭	築堤・護岸	地盤改良工	パイルネット工	10107080	Ⅲ-直接-2-5
	既製コンクリート杭	道路改良	擁壁工	既製杭工	50107090	Ⅲ-直接-4-22
		道路改良	カルバート工	既製杭工	50107090	
	既製コンクリート杭	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	10307091	Ⅲ-直接-4-20
		斜面対策	擁壁工	既製杭工	30307091	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
き	既製コンクリート杭	斜面対策	抑止杭工	既製杭工	30307091	Ⅲ-直接-4-20
	既製コンクリート杭	堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	20107092	Ⅲ-直接-4-21
	基層(車道・路肩部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10107020	Ⅲ-直接-5-103
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50207020	
		舗装	舗装工	半たわみ性舗装工	50207020	
	基層・中間層(車道・路肩部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10907021	Ⅲ-直接-5-105
		堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20107021	
		堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20107021	
		砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30107021	
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30107021	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51407021	
		道路維持	舗装工	オーバーレイ工	51407021	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51507021	
		道路修繕	舗装工	オーバーレイ工	51507021	
	基層・中間層(歩道部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10907022	Ⅲ-直接-5-106
		堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20107022	
		堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20107022	
		砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30107022	
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30107022	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51407022	
		道路維持	舗装工	オーバーレイ工	51407022	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51507022	
		道路修繕	舗装工	オーバーレイ工	51507022	
	基礎栗石(基礎材)	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30307251	Ⅲ-直接-5-21
	基礎コンクリート	樋門・樋管	軽量盛土工	軽量盛土工	10307220	Ⅲ-直接-1-39
		河川修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	10907220	
		堤防・護岸	軽量盛土工	軽量盛土工	20107220	
		砂防えん堤	軽量盛土工	軽量盛土工	30107220	
		流路	軽量盛土工	軽量盛土工	30207220	
		斜面対策	軽量盛土工	軽量盛土工	30307220	
		道路維持	軽量盛土工	軽量盛土工	51407220	
		道路修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	51507220	
	基礎砕石(基礎材)	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10307250	Ⅲ-直接-5-20
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10307250	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10307250	
		樋門・樋管	水路工	集水桝工	10307250	
		樋門・樋管	水路工	暗渠工	10307250	
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10307250	
		樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10307250	
		河川維持	光ケーブル配管工	ハンドホール工	10807250	
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10907250	
		河川修繕	管理用通路工	道路付属物工	10907250	
		堤防・護岸	護岸基礎工	笠コンクリート工	20107250	
		堤防・護岸	護岸基礎工	基礎工	20107250	
		堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20107250	
		堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20107250	
		堤防・護岸	天端被覆工	コンクリート被覆工	20107250	
		堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20107250	
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20107250	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
き	基礎砕石(基礎材)	堤防・護岸	排水構造物工	集水桝工	20107250	Ⅲ-直接-5-20
		堤防・護岸	排水構造物工	管渠工	20107250	
		堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20107250	
		堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20107250	
		堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20107250	
		堤防・護岸	付帯道路工	集水桝工	20107250	
		堤防・護岸	付帯道路工	縁石工	20107250	
		砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30107250	
		砂防えん堤	付帯道路工	集水桝工	30107250	
		砂防えん堤	付帯道路工	縁石工	30107250	
		流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30207250	
		流路	流路付属物設置工	階段工	30207250	
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30307250	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30307250	
		斜面対策	擁壁工	落石防護工	30307250	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30307250	
		電線共同溝	電線共同溝工	プレキャストボックス工(特殊部)	51207250	
		電線共同溝	電線共同溝工	現場打ボックス工(特殊部)	51207250	
		道路維持	排水構造物工	管渠工	51407250	
		道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51407250	
		道路維持	防護柵工	防護柵基礎工	51407250	
		道路維持	道路付属施設工	ケーブル配管工	51407250	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51407250	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51407250	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51407250	
		道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51407250	
		道路修繕	排水構造物工	管渠工	51507250	
		道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51507250	
		道路修繕	縁石工	縁石工	51507250	
		道路修繕	防護柵工	防護柵基礎工	51507250	
		道路修繕	道路付属施設工	ケーブル配管工	51507250	
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51507250	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51507250	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51507250	
		道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51507250	
		道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51507250	
	基礎ブロック(立入防止柵)	樋門・樋管	付属物設置工	防止柵工	10307270	Ⅲ-直接-5-225
		堤防・護岸	付属物設置工	防止柵工	20107270	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	防止柵工	30107270	
		道路維持	防護柵工	防止柵工	51407270	
		道路修繕	防護柵工	防止柵工	51507270	
	基礎ブロック（立入防止柵）撤去	共通	構造物撤去工	防止柵撤去工	90107310	Ⅲ-直接-15-3
	基面整正	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10307200	Ⅲ-直接-1-34
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10307200	

索　　引

き

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
基面整正	樋門・樋管	水路工	作業土工	10307200	Ⅲ-直接-1-34
	樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10307200	
	河川維持	付属物設置工	作業土工	10807200	
	河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10907200	
	河川修繕	管理用通路工	作業土工	10907200	
	堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20107200	
	堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20107200	
	堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20107200	
	堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20107200	
	堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20107200	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30107200	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30107200	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30107200	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30107200	
	砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30107200	
	流路	流路護岸工	作業土工	30207200	
	流路	床固め工	作業土工	30207200	
	流路	根固め・水制工	作業土工	30207200	
	斜面対策	擁壁工	作業土工	30307200	
	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30307200	
	斜面対策	地下水排除工	作業土工	30307200	
	斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30307200	
	斜面対策	抑止杭工	作業土工	30307200	
	道路維持	排水構造物工	作業土工	51407200	
	道路維持	防護柵工	作業土工	51407200	
	道路維持	道路付属施設工	作業土工	51407200	
	道路維持	道路付属施設工	ケーブル配管工	51407200	
	道路維持	擁壁工	作業土工	51407200	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51407200	
	道路維持	カルバート工	作業土工	51407200	
	道路修繕	排水構造物工	作業土工	51507200	
	道路修繕	縁石工	作業土工	51507200	
	道路修繕	防護柵工	作業土工	51507200	
	道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51507200	
	道路修繕	道路付属施設工	ケーブル配管工	51507200	
	道路修繕	擁壁工	作業土工	51507200	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51507200	
	道路修繕	カルバート工	作業土工	51507200	
	道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51507200	
	道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51507200	
逆Ｔ型擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	場所打擁壁工	10107100	Ⅲ-直接-3-11
	道路改良	擁壁工	場所打擁壁工	50107100	
逆Ｔ型擁壁	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20107101	Ⅲ-直接-3-12
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30307101	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30307101	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51407101	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
き	逆Ｔ型擁壁	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51507101	Ⅲ-直接-3-12
	客土	舗装	縁石工	分離帯工	50207060	Ⅲ-直接-5-172
		舗装	道路植栽工	道路植栽工	50207060	
		道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51507060	
	客土吹付	砂防えん堤	法面工	植生工	30107140	Ⅲ-直接-5-35
		流路	流路護岸工	植生工	30207140	
		斜面対策	法面工	植生工	30307140	
		道路改良	法面工	植生工	50107140	
		道路維持	法面工	植生工	51407140	
		道路修繕	法面工	植生工	51507140	
	救急設備費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99007912	Ⅲ-間接-1-20
	境界杭	築堤・護岸	付帯道路施設工	境界工	10107040	Ⅲ-直接-5-184
		樋門・樋管	付属物設置工	境界工	10307040	
		河川維持	付属物設置工	境界杭工	10807040	
		堤防・護岸	付属物設置工	境界工	20107040	
		堤防・護岸	付帯道路施設工	境界工	20107040	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	境界工	30107040	
		砂防えん堤	付帯道路施設工	境界工	30107040	
		流路	流路付属物設置工	境界工	30207040	
		舗装	道路付属施設工	境界工	50207040	
		道路維持	道路付属施設工	境界工	51407040	
		道路修繕	道路付属施設工	境界工	51507040	
	境界鋲	築堤・護岸	付帯道路施設工	境界工	10107050	Ⅲ-直接-5-185
		河川維持	付属物設置工	付属物設置工	10807050	
		舗装	道路付属施設工	境界工	50207050	
		道路維持	道路付属施設工	境界工	51407050	
		道路修繕	道路付属施設工	境界工	51507050	
	共通仮設費(率計上)	間接工事費(ユニット)	共通仮設費(率計上)		99007910	Ⅲ-間接-1-35
	橋面防水	舗装	舗装工	橋面防水工	50207010	Ⅲ-直接-5-92
	橋梁用高欄	道路維持	橋梁付属物工	橋梁用高欄工	51407290	Ⅲ-直接-9-11
		道路修繕	橋梁付属物工	橋梁用高欄工	51507290	
	橋梁用防護柵	道路維持	橋梁付属物工	橋梁用防護柵工	51407300	Ⅲ-直接-9-10
		道路修繕	橋梁付属物工	橋梁用防護柵工	51507300	
	巨石採取	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10107350	Ⅲ-直接-6-20
	巨石据付	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10107120	Ⅲ-直接-6-21
	巨石据付	流路	床固め工	垂直壁工	30207121	Ⅲ-直接-6-22
	巨石積	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10107150	Ⅲ-直接-6-19
	巨石張	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10107160	Ⅲ-直接-6-17
	巨石張	流路	床固め工	垂直壁工	30207161	Ⅲ-直接-6-18
	距離標	河川維持	付属物設置工	付属物設置工	10807210	Ⅲ-直接-5-187
		道路維持	道路付属施設工	道路付属物工	51407210	
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51407210	
		道路修繕	道路付属施設工	道路付属物工	51507210	
	緊急巡回	道路維持	巡視・巡回工	道路巡回工	51407260	Ⅲ-直接-14-3
	緊急巡視	河川維持	巡視・巡回工	河川巡視工	10807190	Ⅲ-直接-14-1
	緊張・定着・頭部処理(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30107280	Ⅲ-直接-5-69

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
き	緊張・定着・頭部処理(アンカー)	斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30307280	Ⅲ-直接-5-69
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30307280	
		道路維持	法面工	アンカー工	51407280	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51507280	
く	杭柵	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10108060	Ⅲ-直接-6-28
	杭出し水制	築堤・護岸	水制工	杭出し水制工	10108070	Ⅲ-直接-6-59
	杭頭処理溶接(鋼管杭)	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	10310072	Ⅲ-直接-4-10
		斜面対策	擁壁工	既製杭工	30310072	
		斜面対策	抑止杭工	既製杭工	30310072	
	区画線消去	舗装	区画線工	区画線工	50208030	Ⅲ-直接-5-182
	区画線消去	道路修繕	区画線工	区画線工	51508031	Ⅲ-直接-5-183
	掘削	築堤・護岸	河川土工	掘削工	10108010	Ⅲ-直接-1-1
		道路改良	道路土工	掘削工	50108010	
		舗装	道路土工	掘削工	50208010	
	掘削	河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10808011	Ⅲ-直接-1-3
	掘削	樋門・樋管	河川土工	掘削工	10308012	Ⅲ-直接-1-2
		河川修繕	河川土工	掘削工	10908012	
		堤防・護岸	海岸土工	掘削工	20108012	
		砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30108012	
		流路	砂防土工	掘削工	30208012	
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30308012	
		道路維持	道路土工	掘削工	51408012	
		道路修繕	道路土工	掘削工	51508012	
	掘削(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30108013	Ⅲ-直接-1-4
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30108013	
		流路	砂防土工	掘削工	30208013	
		流路	砂防土工	盛土工	30208013	
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30308013	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30308013	
	掘削土運搬	道路改良	擁壁工	場所打杭工	50108080	Ⅲ-直接-4-14
		道路改良	カルバート工	場所打杭工	50108080	
	掘削土処分	道路改良	擁壁工	場所打杭工	50108090	Ⅲ-直接-4-15
		道路改良	カルバート工	場所打杭工	50108090	
	掘削土留	斜面対策	抑止杭工	シャフト工(深礎工)	30308210	Ⅲ-直接-4-17
	掘削土留(集水井掘削)	斜面対策	地下水排除工	集水井工	30312900	Ⅲ-直接-7-19
	掘削補助機械搬入搬出	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10308150	Ⅲ-直接-1-35
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10308150	
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10308150	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10308150	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10808150	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10908150	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10908150	
		堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20108150	
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20108150	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20108150	
		堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20108150	
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20108150	
		斜面対策	擁壁工	作業土工	30308150	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
く	掘削補助機械搬入搬出	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30308150	Ⅲ-直接-1-35
		斜面対策	地下水排除工	作業土工	30308150	
		斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30308150	
		斜面対策	抑止杭工	作業土工	30308150	
		道路維持	排水構造物工	作業土工	51408150	
		道路維持	防護柵工	作業土工	51408150	
		道路維持	道路付属施設工	作業土工	51408150	
		道路維持	擁壁工	作業土工	51408150	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51408150	
		道路維持	カルバート工	作業土工	51408150	
		道路修繕	排水構造物工	作業土工	51508150	
		道路修繕	縁石工	作業土工	51508150	
		道路修繕	防護柵工	作業土工	51508150	
		道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51508150	
		道路修繕	擁壁工	作業土工	51508150	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51508150	
		道路修繕	カルバート工	作業土工	51508150	
		道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51508150	
		道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51508150	
	グラウト注入	斜面対策	抑止杭工	シャフト工(深礎工)	30308220	Ⅲ-直接-4-18
	グラウト注入(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30108180	Ⅲ-直接-5-67
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30308180	
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30308180	
		道路維持	法面工	アンカー工	51408180	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51508180	
	グラウトホール	樋門・樋管	付属物設置工	グラウトホール工	10308230	Ⅲ-直接-6-80
	クラック処理	河川維持	路面補修工	アスファルト舗装補修工	10808140	Ⅲ-直接-14-38
		道路維持	舗装工	アスファルト舗装補修工	51408140	
	クラック処理	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51408141	Ⅲ-直接-13-12
		道路維持	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51408141	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51508141	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51508141	
	クラック防止シート張(舗装版目地補修)	河川維持	路面補修工	コンクリート舗装補修工	10808130	Ⅲ-直接-14-35
		道路維持	舗装工	コンクリート舗装補修工	51408130	
	車止めポスト	舗装	防護柵工	車止めポスト工	50208020	Ⅲ-直接-5-222
	車止めポスト	河川維持	付属物設置工	付属物設置工	10808021	Ⅲ-直接-5-223
		道路維持	防護柵工	車止めポスト工	51408021	
		道路修繕	防護柵工	車止めポスト工	51508021	
	グルービング	道路維持	舗装工	グルービング工	51408160	Ⅲ-直接-13-9
		道路修繕	舗装工	グルービング工	51508160	
	グルービング(路面排水用)	道路維持	舗装工	グルービング工	51408170	Ⅲ-直接-13-10
		道路修繕	舗装工	グルービング工	51508170	
	グースアスファルト舗装・基層	舗装	舗装工	グースアスファルト舗装工	50208040	Ⅲ-直接-5-118
	グースアスファルト舗装・表層	舗装	舗装工	グースアスファルト舗装工	50208050	Ⅲ-直接-5-119
け	傾斜観測費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99009911	Ⅲ-間接-1-11

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
け 軽量盛土工	築堤・護岸	軽量盛土工		10109040	Ⅲ-直接-1-36
	道路改良	軽量盛土工		50109040	
桁材撤去	道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51409160	Ⅲ-直接-15-25
	道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51509160	
欠損部取壊し	河川維持	構造物補修工	欠損部補修工	10809100	Ⅲ-直接-14-31
欠損部補修	河川維持	構造物補修工	欠損部補修工	10809110	Ⅲ-直接-14-32
検査路	道路維持	橋梁付属物工	検査路工	51409170	Ⅲ-直接-9-12
	道路修繕	橋梁付属物工	検査路工	51509170	
建設機械運搬費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	運搬費	99009910	Ⅲ-間接-1-1
間知ブロック積	道路改良	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	50109070	Ⅲ-直接-5-13
間知ブロック積	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10109080	Ⅲ-直接-5-11
間知ブロック積	河川修繕	堤脚保護工	コンクリートブロック工	10909081	Ⅲ-直接-5-12
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20109081	
	流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30209081	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51409081	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51509081	
間知ブロック張	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10109060	Ⅲ-直接-5-1
間知ブロック張	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20109061	Ⅲ-直接-5-2
	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51409061	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51509061	
現場孔明(落橋防止装置)	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51509190	Ⅲ-直接-9-15
現場打基礎	築堤・護岸	護岸基礎工	基礎工	10109050	Ⅲ-直接-6-1
	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10109050	
	築堤・護岸	法覆護岸工	緑化ブロック工	10109050	
	築堤・護岸	法覆護岸工	環境護岸ブロック工	10109050	
	築堤・護岸	法覆護岸工	石積(張)工	10109050	
	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10109050	
現場打基礎	堤防・護岸	護岸基礎工	基礎工	20109051	Ⅲ-直接-6-2
	堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20109051	
	堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20109051	
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20109051	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51409051	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51409051	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51509051	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51509051	
現場打水路	道路維持	排水構造物工	場所打水路工	51409120	Ⅲ-直接-5-136
	道路修繕	排水構造物工	場所打水路工	51509120	
現場打水路	斜面対策	山腹水路工	現場打水路工	30309121	Ⅲ-直接-5-135
現場打ち水路(本体)	道路改良	排水構造物工	場所打水路工	50138032	Ⅲ-直接-5-137
	舗装	排水構造物工	場所打水路工	50238032	
現場打法枠	堤防・護岸	裏法被覆工	法枠工	20109150	Ⅲ-直接-5-57
	砂防えん堤	法面工	法枠工	30109150	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
け	現場打法枠	斜面対策	法面工	法枠工	30309150	Ⅲ-直接-5-57
		道路維持	法面工	法枠工	51409150	
		道路修繕	法面工	法枠工	51509150	
	現場塗装	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51509220	Ⅲ-直接-13-38
		道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51509220	
	現場取卸(鋼管杭)	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	10310073	Ⅲ-直接-4-11
		斜面対策	擁壁工	既製杭工	30310073	
		斜面対策	抑止杭工	既製杭工	30310073	
	現場発生品・支給品運搬	河川維持	撤去物処理工	運搬処理工	90109030	Ⅲ-直接-15-31
		河川修繕	管理用通路工	防護柵工	90109030	
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	90109030	
		河川修繕	管理用通路工	道路付属物工	90109030	
		道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	90109030	
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	90109030	
		共通	構造物撤去工	運搬処理工	90109030	
	現場溶接	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51509210	Ⅲ-直接-10-1
		道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51509210	
	現場溶接(落橋防止装置)	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51509200	Ⅲ-直接-9-17
	現場溶接鋼桁補強	道路修繕	鋼桁工	鋼桁補強工	51509180	Ⅲ-直接-13-28
	ケーブル配管	道路維持	道路付属施設工	ケーブル配管工	51409021	Ⅲ-直接-5-237
		道路修繕	道路付属施設工	ケーブル配管工	51509021	
	ケーブル配管(交差点横断部)	舗装	道路付属施設工	ケーブル配管工	50209020	Ⅲ-直接-5-236
	ケーブル配管(歩道部)	舗装	道路付属施設工	ケーブル配管工	50209010	Ⅲ-直接-5-235
こ	高圧線防護施設費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99010912	Ⅲ-間接-1-19
	高圧噴射撹拌	築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10110060	Ⅲ-直接-2-17
		道路改良	地盤改良工	固結工	50110060	
	高圧噴射撹拌	樋門・樋管	地盤改良工	固結工	10310061	Ⅲ-直接-2-18
		堤防・護岸	地盤改良工	固結工	20110061	
	鋼管杭	道路改良	擁壁工	既製杭工	50110070	Ⅲ-直接-4-9
		道路改良	カルバート工	既製杭工	50110070	
	鋼管杭	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	10310071	Ⅲ-直接-4-8
		斜面対策	擁壁工	既製杭工	30310071	
		斜面対策	抑止杭工	既製杭工	30310071	
	高視認性区画線	舗装	区画線工	区画線工	50210040	Ⅲ-直接-5-181
		道路修繕	区画線工	区画線工	51510040	
	合成杭	斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30310500	Ⅲ-直接-4-19
	鋼製高欄撤去	道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51410300	Ⅲ-直接-15-23
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51510300	
	鋼製高欄取替	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51410290	Ⅲ-直接-13-16
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51510290	
	鋼製沓座設置	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51510340	Ⅲ-直接-13-34
	鋼製伸縮継手補修	道路維持	橋梁付属物工	伸縮継手工	51410310	Ⅲ-直接-13-18
		道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	51510310	
	鋼製枠	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30110420	Ⅲ-直接-7-5
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30110420	
	鋼製枠(格子・スリット)	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30110430	Ⅲ-直接-7-6
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30110430	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
こ 交通誘導員	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99010910	Ⅲ-間接-1-15
鋼板接着	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51410280	Ⅲ-直接-13-11
	道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51510280	
鋼板取付	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51510360	Ⅲ-直接-13-37
鋼板巻立て	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51510350	Ⅲ-直接-13-35
鋼矢板	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	矢板工	10310161	Ⅲ-直接-4-1
	堤防・護岸	護岸基礎工	矢板工	20110161	
	斜面対策	地下水遮断工	矢板工	30310161	
高欄・手摺	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51410320	Ⅲ-直接-13-20
	道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51510320	
小運搬	砂防えん堤	工場製品輸送工	輸送工	30110330	Ⅲ-直接-8-26
	道路修繕	工場製品輸送工	輸送工	51510330	
鋼・ゴム製伸縮装置	舗装	橋梁付属物工	伸縮装置工	50210050	Ⅲ-直接-9-4
鋼・ゴム製伸縮装置	道路維持	橋梁付属物工	伸縮継手工	51410051	Ⅲ-直接-9-5
	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	51510051	
小型擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	場所打擁壁工	10110080	Ⅲ-直接-3-5
	道路改良	擁壁工	場所打擁壁工	50110080	
小型擁壁	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20110081	Ⅲ-直接-3-6
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30310081	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30310081	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51410081	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51510081	
呼吸用防護具等費用	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99010913	Ⅲ-間接-1-16
小口止コンクリート	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20110260	Ⅲ-直接-3-23
	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51410260	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51510260	
小口止矢板	築堤・護岸	法覆護岸工	護岸付属物工	10110090	Ⅲ-直接-4-7
固定基礎コンクリート	斜面対策	地下水排除工	集水井工	30310490	Ⅲ-直接-7-21
コルゲートパイプ	道路維持	排水構造物工	管渠工	51410250	Ⅲ-直接-5-145
	道路修繕	排水構造物工	管渠工	51510250	
コルゲートパイプ	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10310251	Ⅲ-直接-5-144
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10310251	
コルゲートフリューム	堤防・護岸	排水構造物工	側溝工	20110240	Ⅲ-直接-5-143
	道路維持	排水構造物工	側溝工	51410240	
	道路修繕	排水構造物工	側溝工	51510240	
コンクリート	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	10310220	Ⅲ-直接-3-17
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10310220	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10310220	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10310220	
	樋門・樋管	護床工	間詰工	10310220	
	樋門・樋管	水路工	集水桝工	10310220	
	樋門・樋管	水路工	暗渠工	10310220	
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10310220	
	樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10310220	
	河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10910220	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
こ コンクリート	河川修繕	管理用通路工	道路付属物工	10910220	Ⅲ-直接-3-17
	堤防・護岸	護岸基礎工	場所打コンクリート工	20110220	
	堤防・護岸	護岸基礎工	笠コンクリート工	20110220	
	堤防・護岸	護岸基礎工	基礎工	20110220	
	堤防・護岸	護岸工	コンクリート被覆工	20110220	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20110220	
	堤防・護岸	天端被覆工	コンクリート被覆工	20110220	
	堤防・護岸	波返工	波返工	20110220	
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリート被覆工	20110220	
	堤防・護岸	排水構造物工	集水桝工	20110220	
	堤防・護岸	排水構造物工	管渠工	20110220	
	堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20110220	
	堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20110220	
	堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20110220	
	堤防・護岸	付帯道路工	集水桝工	20110220	
	堤防・護岸	付帯道路工	縁石工	20110220	
	砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30110220	
	砂防えん堤	付帯道路工	集水桝工	30110220	
	砂防えん堤	付帯道路工	縁石工	30110220	
	流路	流路付属物設置工	階段工	30210220	
	斜面対策	擁壁工	既製杭工	30310220	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30310220	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30310220	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30310220	
	斜面対策	抑止杭工	既製杭工	30310220	
	斜面対策	抑止杭工	シャフト工(深礎工)	30310220	
	電線共同溝	電線共同溝工	プレキャストボックス工(特殊部)	51210220	
	電線共同溝	電線共同溝工	現場打ボックス工(特殊部)	51210220	
	電線共同溝	付帯設備工	土留壁工	51210220	
	道路維持	排水構造物工	側溝工	51410220	
	道路維持	排水構造物工	管渠工	51410220	
	道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51410220	
	道路維持	防護柵工	防護柵基礎工	51410220	
	道路維持	道路付属施設工	ケーブル配管工	51410220	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51410220	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51410220	
	道路維持	橋梁床版工	床版増厚補強工	51410220	
	道路維持	橋梁付属物工	地覆工	51410220	
	道路修繕	排水構造物工	側溝工	51510220	
	道路修繕	排水構造物工	管渠工	51510220	
	道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51510220	
	道路修繕	縁石工	縁石工	51510220	
	道路修繕	防護柵工	防護柵基礎工	51510220	
	道路修繕	道路付属施設工	ケーブル配管工	51510220	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51510220	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51510220	
	道路修繕	橋梁床版工	床版増厚補強工	51510220	
	道路修繕	橋梁付属物工	地覆工	51510220	

索　　引

こ

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
コンクリート	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51510220	Ⅲ-直接-3-17
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51510220	
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51510220	
コンクリート	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51510221	Ⅲ-直接-3-21
コンクリート	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30110222	Ⅲ-直接-3-20
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30110222	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30110222	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	間詰工	30110222	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	水叩工	30110222	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30110222	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30110222	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30110222	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	間詰工	30110222	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	水叩工	30110222	
	流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30210222	
	流路	床固め工	床固め本体工	30210222	
	流路	床固め工	垂直壁工	30210222	
	流路	床固め工	側壁工	30210222	
	流路	床固め工	水叩工	30210222	
	流路	床固め工	魚道工	30210222	
コンクリート(場所打函渠)	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10310225	Ⅲ-直接-3-19
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10310225	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10310225	
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10310225	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51410225	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51510225	
コンクリート(場所打擁壁)	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20110224	Ⅲ-直接-3-18
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30310224	
	斜面対策	擁壁工	落石防護工	30310224	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30310224	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51410224	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51510224	
	道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51510224	
コンクリート構造物取壊し	共通	構造物撤去工	構造物取壊し工	90110100	Ⅲ-直接-15-12
コンクリート削孔	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工(構造物単位)	51510370	Ⅲ-直接-13-39
	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51510370	
コンクリート締切	砂防えん堤	仮締切工	コンクリート締切工	30110460	Ⅲ-直接-16-28
コンクリート床版	樋門・樋管	軽量盛土工	軽量盛土工	10310200	Ⅲ-直接-1-38
	河川修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	10910200	
	堤防・護岸	軽量盛土工	軽量盛土工	20110200	
	砂防えん堤	軽量盛土工	軽量盛土工	30110200	
	流路	軽量盛土工	軽量盛土工	30210200	
	斜面対策	軽量盛土工	軽量盛土工	30310200	
	道路維持	軽量盛土工	軽量盛土工	51410200	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
こ	コンクリート床版	道路修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	51510200	Ⅲ-直接-1-38
	コンクリートはつり	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	90110190	Ⅲ-直接-15-13
		共通	構造物撤去工	構造物取壊し工	90110190	
	コンクリート吹付	砂防えん堤	法面工	法面吹付工	30110270	Ⅲ-直接-5-54
		斜面対策	法面工	吹付工	30310270	
		道路維持	法面工	法面吹付工	51410270	
		道路修繕	法面工	法面吹付工	51510270	
	コンクリートブロック張	河川修繕	側帯工	縁切工	10910210	Ⅲ-直接-5-10
	コンクリート舗装	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20110470	Ⅲ-直接-5-122
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30110470	
	コンクリート舗装(車道部)	築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10110020	Ⅲ-直接-5-120
		舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50210020	
	コンクリート舗装(歩道部)	築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10110030	Ⅲ-直接-5-121
		舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50210030	
	コンクリート巻立て	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工(構造物単位)	51510380	Ⅲ-直接-13-40
	コンクリート面清掃	河川修繕	現場塗装工	コンクリート面塗装工	10910230	Ⅲ-直接-13-22
		道路維持	現場塗装工	コンクリート面塗装工	51410230	
		道路修繕	現場塗装工	コンクリート面塗装工	51510230	
	コンクリート矢板	堤防・護岸	護岸基礎工	矢板工	20110480	Ⅲ-直接-4-2
さ	採取小割	樋門・樋管	護床工	間詰工	30111120	Ⅲ-直接-6-48
		砂防えん堤	護床工・根固め工	間詰工	30111120	
		流路	根固め・水制工	間詰工	30111120	
	削孔	河川維持	構造物補修工	ボーリンググラウト工	10811090	Ⅲ-直接-14-28
	削孔	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51511091	Ⅲ-直接-13-32
	削孔(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30111092	Ⅲ-直接-5-64
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30311092	
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30311092	
		道路維持	法面工	アンカー工	51411092	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51511092	
	砂防えん堤土工機械分解組立費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	運搬費	99011910	Ⅲ-間接-1-5
	砂防ソイルセメント	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30111130	Ⅲ-直接-7-2
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30111130	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30111130	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	間詰工	30111130	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	水叩工	30111130	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30111130	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30111130	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30111130	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	間詰工	30111130	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	水叩工	30111130	
	残土運搬	築堤・護岸	河川土工	残土処理工	10111010	Ⅲ-直接-1-25
		道路改良	道路土工	残土処理工	50111010	
		道路改良	地盤改良工	固結工	50111010	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
さ	残土運搬	舗装	道路土工	残土処理工	50211010	Ⅲ-直接-1-25
	残土運搬	樋門・樋管	河川土工	残土処理工	10311011	Ⅲ-直接-1-26
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10311011	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10311011	
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10311011	
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10311011	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10311011	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10811011	
		河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10811011	
		河川修繕	河川土工	残土処理工	10911011	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10911011	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10911011	
		堤防・護岸	海岸土工	残土処理工	20111011	
		堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20111011	
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20111011	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20111011	
		堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20111011	
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20111011	
		砂防えん堤	砂防土工	残土処理工	30111011	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30111011	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30111011	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30111011	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30111011	
		砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30111011	
		流路	砂防土工	残土処理工	30211011	
		流路	流路護岸工	作業土工	30211011	
		流路	床固め工	作業土工	30211011	
		流路	根固め・水制工	作業土工	30211011	
		斜面対策	砂防土工	残土処理工	30311011	
		斜面対策	擁壁工	作業土工	30311011	
		斜面対策	山腹水路工	作業土工	30311011	
		斜面対策	地下水排除工	作業土工	30311011	
		斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30311011	
		斜面対策	抑止杭工	作業土工	30311011	
		斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30311011	
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30311011	
		電線共同溝	開削土工	残土処理工	51211011	
		道路維持	道路土工	残土処理工	51411011	
		道路維持	排水構造物工	作業土工	51411011	
		道路維持	防護柵工	作業土工	51411011	
		道路維持	道路付属施設工	作業土工	51411011	
		道路維持	擁壁工	作業土工	51411011	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51411011	
		道路維持	カルバート工	作業土工	51411011	
		道路修繕	道路土工	残土処理工	51511011	
		道路修繕	排水構造物工	作業土工	51511011	
		道路修繕	縁石工	作業土工	51511011	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
さ	残土運搬	道路修繕	防護柵工	作業土工	51511011	Ⅲ-直接-1-26
		道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51511011	
		道路修繕	擁壁工	作業土工	51511011	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51511011	
		道路修繕	カルバート工	作業土工	51511011	
		道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51511011	
		道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51511011	
	サンドコンパクションパイル	築堤・護岸	地盤改良工	締固め改良工	10111040	Ⅲ-直接-2-13
		堤防・護岸	地盤改良工	締固め改良工	20111040	
		道路改良	地盤改良工	締固め改良工	50111040	
	残土等処分	築堤・護岸	河川土工	残土処理工	10111020	Ⅲ-直接-1-27
		築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10111020	
		樋門・樋管	河川土工	残土処理工	10311020	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10311020	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10311020	
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10311020	
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10311020	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10311020	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10811020	
		河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10811020	
		河川修繕	河川土工	残土処理工	10911020	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10911020	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10911020	
		堤防・護岸	海岸土工	残土処理工	20111020	
		堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20111020	
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20111020	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20111020	
		堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20111020	
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20111020	
		砂防えん堤	砂防土工	残土処理工	30111020	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30111020	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30111020	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30111020	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30111020	
		砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30111020	
		流路	砂防土工	残土処理工	30211020	
		流路	流路護岸工	作業土工	30211020	
		流路	床固め工	作業土工	30211020	
		流路	根固め・水制工	作業土工	30211020	
		斜面対策	砂防土工	残土処理工	30311020	
		斜面対策	擁壁工	作業土工	30311020	
		斜面対策	山腹水路工	作業土工	30311020	
		斜面対策	地下水排除工	作業土工	30311020	
		斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30311020	
		斜面対策	抑止杭工	作業土工	30311020	
		斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30311020	
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30311020	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
さ	残土等処分	道路改良	道路土工	残土処理工	50111020	Ⅲ-直接-1-27
		道路改良	地盤改良工	固結工	50111020	
		道路改良	擁壁工	場所打杭工	50111020	
		道路改良	カルバート工	場所打杭工	50111020	
		舗装	道路土工	残土処理工	50211020	
		電線共同溝	開削土工	残土処理工	51211020	
		道路維持	道路土工	残土処理工	51411020	
		道路維持	排水構造物工	作業土工	51411020	
		道路維持	防護柵工	作業土工	51411020	
		道路維持	道路付属施設工	作業土工	51411020	
		道路維持	擁壁工	作業土工	51411020	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51411020	
		道路維持	カルバート工	作業土工	51411020	
		道路修繕	道路土工	残土処理工	51511020	
		道路修繕	排水構造物工	作業土工	51511020	
		道路修繕	縁石工	作業土工	51511020	
		道路修繕	防護柵工	作業土工	51511020	
		道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51511020	
		道路修繕	擁壁工	作業土工	51511020	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51511020	
		道路修繕	カルバート工	作業土工	51511020	
		道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51511020	
		道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51511020	
	サンドドレーン	築堤・護岸	地盤改良工	バーチカルドレーン工	10111050	Ⅲ-直接-2-10
		堤防・護岸	地盤改良工	バーチカルドレーン工	20111050	
		道路改良	地盤改良工	バーチカルドレーン工	50111050	
	サンドマット	築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10111060	Ⅲ-直接-2-2
		道路改良	地盤改良工	サンドマット工	50111060	
	サンドマット	堤防・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	20111071	Ⅲ-直接-2-4
		堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	20111071	
	サンドマット(パイルネット)	築堤・護岸	地盤改良工	パイルネット工	10111070	Ⅲ-直接-2-3
	山腹暗渠	斜面対策	山腹水路工	山腹暗渠工	30311180	Ⅲ-直接-7-13
	山腹コルゲートフリューム	斜面対策	山腹水路工	山腹集水路・排水路工	30311150	Ⅲ-直接-7-10
	山腹コルゲートフリューム明暗渠	斜面対策	山腹水路工	山腹明暗渠工	30311170	Ⅲ-直接-7-12
	山腹U型側溝	斜面対策	山腹水路工	山腹集水路・排水路工	30311140	Ⅲ-直接-7-9
	山腹U型側溝明暗渠	斜面対策	山腹水路工	山腹明暗渠工	30311160	Ⅲ-直接-7-11
し	ジオテキスタイル	築堤・護岸	河川土工	盛土補強工	10112290	Ⅲ-直接-1-41
		道路改良	擁壁工	補強土壁工	50112290	
	ジオテキスタイル材料(ジオテキスタイル補強土壁)	樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10312530	Ⅲ-直接-1-43
		河川修繕	河川土工	盛土補強工	10912530	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30112530	
		流路	砂防土工	盛土補強工	30212530	
		斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30312530	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30312530	
	ジオテキスタイル敷設・まきだし・敷均し・締固め	樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10312540	Ⅲ-直接-1-44

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
し ジオテキスタイル敷設・まきだ	河川修繕	河川土工	盛土補強工	10912540	Ⅲ-直接-1-44
	砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30112540	
	流路	砂防土工	盛土補強工	30212540	
	斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30312540	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30312540	
敷均し・締固め(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30329033	Ⅲ-直接-5-85
事業損失防止施設費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99012910	Ⅲ-間接-1-14
支承取替	道路修繕	橋梁支承工	鋼橋支承工	51512710	Ⅲ-直接-13-29
支承取替	道路修繕	橋梁支承工	ＰＣ橋支承工	51512711	Ⅲ-直接-13-30
止水板	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10312610	Ⅲ-直接-3-31
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10312610	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10312610	
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10312610	
	堤防・護岸	護岸基礎工	場所打コンクリート工	20112610	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20112610	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20112610	
	堤防・護岸	波返工	波返工	20112610	
	堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20112610	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30312610	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30312610	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30312610	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30312610	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51412610	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51412610	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51412610	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51512610	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51512610	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51512610	
止水板(砂防)	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30112611	Ⅲ-直接-7-24
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30112611	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	水叩工	30112611	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	水叩工	30112611	
	流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30112611	
	流路	床固め工	床固め本体工	30112611	
	流路	床固め工	垂直壁工	30112611	
	流路	床固め工	側壁工	30112611	
	流路	床固め工	水叩工	30112611	
	流路	床固め工	魚道工	30112611	
視線誘導標	築堤・護岸	付帯道路施設工	道路付属物工	10112070	Ⅲ-直接-5-186
	堤防・護岸	付帯道路施設工	道路付属物工	20112070	
	砂防えん堤	付帯道路施設工	道路付属物工	30112070	
	舗装	道路付属施設工	道路付属物工	50212070	
	道路維持	道路付属施設工	道路付属物工	51412070	
	道路修繕	道路付属施設工	道路付属物工	51512070	
視線誘導標清掃	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51412700	Ⅲ-直接-14-75

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
し 視線誘導標撤去	共通	構造物撤去工	道路付属物撤去工	90112760	Ⅲ-直接-15-11
視線誘導標復旧	道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51412680	Ⅲ-直接-14-66
下地処理	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10812470	Ⅲ-直接-14-21
下地処理	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51512471	Ⅲ-直接-14-22
下塗	河川修繕	現場塗装工	コンクリート面塗装工	10912561	Ⅲ-直接-8-14
	道路維持	現場塗装工	コンクリート面塗装工	51412561	
	道路修繕	現場塗装工	コンクリート面塗装工	51512561	
下塗	道路維持	現場塗装工	橋梁塗装工	51412562	Ⅲ-直接-8-16
	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	51512562	
下塗	道路維持	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51412563	Ⅲ-直接-8-17
	道路修繕	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51512563	
下塗	砂防えん堤	工場製作工	工場塗装工	30112564	Ⅲ-直接-8-15
支柱	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812500	Ⅲ-直接-14-54
支柱	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51412501	Ⅲ-直接-14-55
	道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51512501	
支柱	斜面対策	擁壁工	落石防護工	30312502	Ⅲ-直接-5-210
	道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51512502	
支柱(立入防止柵)	樋門・樋管	付属物設置工	防止柵工	10312590	Ⅲ-直接-5-226
	堤防・護岸	付属物設置工	防止柵工	20112590	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	防止柵工	30112590	
	道路維持	防護柵工	防止柵工	51412590	
	道路修繕	防護柵工	防止柵工	51512590	
支柱（立入防止柵）撤去	共通	構造物撤去工	防止柵撤去工	90112740	Ⅲ-直接-15-4
支柱（落石防護柵）撤去	共通	構造物撤去工	落石防護柵撤去工	90112770	Ⅲ-直接-15-18
支柱(ロックネット)	道路修繕	落石雪害防止工	落石防止網工	51512720	Ⅲ-直接-5-206
支柱(ロックネット)	道路改良	落石雪害防止工	落石防止網工	50145090	Ⅲ-直接-5-204
芝刈	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812520	Ⅲ-直接-14-60
	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51412520	
支保	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10312630	Ⅲ-直接-16-18
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10312630	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51412630	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51512630	
遮音壁	道路改良	遮音壁工	遮音壁工	50112140	Ⅲ-直接-5-212
じゃかご	築堤・護岸	法覆護岸工	羽口工	10112150	Ⅲ-直接-6-32
	築堤・護岸	根固め工	かご工	10112150	
	築堤・護岸	水制工	かご工	10112150	
	樋門・樋管	護床工	かご工	10312150	
	河川修繕	側帯工	縁切工	10912150	
	砂防えん堤	法面工	かご工	30112150	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	かご工	30112150	
	流路	根固め・水制工	かご工	30212150	
	道路改良	法面工	かご工	50112150	
	道路維持	法面工	かご工	51412150	
	道路修繕	法面工	かご工	51512150	
じゃかご	斜面対策	法面工	かご工	30312151	Ⅲ-直接-6-33
借地料	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	役務費	99012911	Ⅲ-間接-1-22
遮光フェンス	道路維持	防護柵工	防止柵工	51412600	Ⅲ-直接-5-231

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
し 遮光フェンス	道路修繕	防護柵工	防止柵工	51512600	Ⅲ-直接-5-231
遮水シート	樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10312620	Ⅲ-直接-3-33
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20112620	
	堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20112620	
	流路	流路付属物設置工	階段工	30212620	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51412620	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51512620	
車線分離標	築堤・護岸	付帯道路施設工	道路付属物工	10112080	Ⅲ-直接-5-189
	舗装	道路付属施設工	道路付属物工	50212080	
車線分離標	堤防・護岸	付帯道路施設工	道路付属物工	20112081	Ⅲ-直接-5-190
	砂防えん堤	付帯道路施設工	道路付属物工	30112081	
	道路維持	道路付属施設工	道路付属物工	51412081	
	道路修繕	道路付属施設工	道路付属物工	51512081	
車線分離標撤去	共通	構造物撤去工	道路付属施設撤去工	90112160	Ⅲ-直接-15-20
重建設機械分解組立費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	運搬費	99012912	Ⅲ-間接-1-2
重建設機械分解組立輸送費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	運搬費	99012913	Ⅲ-間接-1-3
自由勾配側溝	樋門・樋管	水路工	側溝工	10312381	Ⅲ-直接-5-138
	堤防・護岸	排水構造物工	側溝工	20112381	
	堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20112381	
	道路維持	排水構造物工	側溝工	51412381	
	道路修繕	排水構造物工	側溝工	51512381	
自由勾配側溝(蓋)	築堤・護岸	付帯道路工	側溝工	10112370	Ⅲ-直接-5-140
	道路改良	排水構造物工	側溝工	50112370	
	舗装	排水構造物工	側溝工	50212370	
自由勾配側溝(本体)	築堤・護岸	付帯道路工	側溝工	10112380	Ⅲ-直接-5-139
	道路改良	排水構造物工	側溝工	50112380	
	舗装	排水構造物工	側溝工	50212380	
収集・集積(1)(堆積塵芥処理)	河川維持	清掃工	塵芥処理工	10812481	Ⅲ-直接-14-44
収集・集積(2)(堆積塵芥処理)	河川維持	清掃工	塵芥処理工	10812482	Ⅲ-直接-14-45
収集・集積(散在塵芥処理)	河川維持	清掃工	塵芥処理工	10812480	Ⅲ-直接-14-42
集水桝	斜面対策	山腹水路工	集水桝工	30312181	Ⅲ-直接-5-153
集水桝(本体)	築堤・護岸	付帯道路工	集水桝工	10112180	Ⅲ-直接-5-152
集水桝・街渠桝(本体)	道路改良	排水構造物工	集水桝・マンホール工	50112020	Ⅲ-直接-5-151
	舗装	排水構造物工	集水桝・マンホール工	50212020	
集積(1)(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10812450	Ⅲ-直接-14-17
集積(2)(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10812460	Ⅲ-直接-14-18
集草(1)(除草)	河川維持	除草工	堤防除草工	10812430	Ⅲ-直接-14-6
	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812430	
集草(2)(除草)	河川維持	除草工	堤防除草工	10812431	Ⅲ-直接-14-7
	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812431	
集草(除草)	道路維持	除草工	道路除草工	51412432	Ⅲ-直接-14-8
重力式擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	場所打擁壁工	10112190	Ⅲ-直接-3-7
	道路改良	擁壁工	場所打擁壁工	50112190	
重力式擁壁	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20112191	Ⅲ-直接-3-8
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30312191	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30312191	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
し	重力式擁壁	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51412191	Ⅲ-直接-3-8
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51512191	
	種子散布	築堤・護岸	法覆護岸工	植生工	10112300	Ⅲ-直接-5-33
		道路改良	法面工	植生工	50112300	
	種子散布	砂防えん堤	法面工	植生工	30112301	Ⅲ-直接-5-34
		流路	流路護岸工	植生工	30212301	
		斜面対策	法面工	植生工	30312301	
		道路維持	法面工	植生工	51412301	
		道路修繕	法面工	植生工	51512301	
	樹名板	道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51512061	Ⅲ-直接-5-234
	樹木施肥	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812510	Ⅲ-直接-14-56
		道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51412510	
	樹木剪定	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812490	Ⅲ-直接-14-48
	樹木剪定	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51412491	Ⅲ-直接-14-49
	上層路盤(車道・路肩部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10112010	Ⅲ-直接-5-98
		築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10112010	
		築堤・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	10112010	
		築堤・護岸	付帯道路工	ブロック舗装工	10112010	
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50212010	
		舗装	舗装工	半たわみ性舗装工	50212010	
		舗装	舗装工	排水性舗装工	50212010	
		舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50212010	
		舗装	舗装工	薄層カラー舗装工	50212010	
		舗装	舗装工	ブロック舗装工	50212010	
	上層路盤(車道・路肩部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10912011	Ⅲ-直接-5-99
		堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20112011	
		堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20112011	
		堤防・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	20112011	
		砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30112011	
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30112011	
		砂防えん堤	付帯道路工	薄層カラー舗装工	30112011	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51412011	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51512011	
	上層路盤(歩道部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10912012	Ⅲ-直接-5-100
		堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20112012	
		堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20112012	
		堤防・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	20112012	
		砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30112012	
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30112012	
		砂防えん堤	付帯道路工	薄層カラー舗装工	30112012	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51412012	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51512012	
	消波根固めブロック運搬	築堤・護岸	根固め工	根固めブロック工	10112200	Ⅲ-直接-6-44
		樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10312200	
		堤防・護岸	護岸基礎工	海岸コンクリートブロック工	20112200	
		堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20112200	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	根固めブロック工	30112200	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
し	消波根固めブロック運搬	流路	根固め・水制工	根固めブロック工	30212200	Ⅲ-直接-6-44
	消波根固めブロック仮置	築堤・護岸	根固め工	根固めブロック工	10112310	Ⅲ-直接-6-45
		樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10312310	
		堤防・護岸	護岸基礎工	海岸コンクリートブロック工	20112310	
		堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20112310	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	根固めブロック工	30112310	
		流路	根固め・水制工	根固めブロック工	30212310	
	消波根固めブロック据付	築堤・護岸	根固め工	根固めブロック工	10112210	Ⅲ-直接-6-42
	消波根固めブロック据付	樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10312211	Ⅲ-直接-6-43
		堤防・護岸	護岸基礎工	海岸コンクリートブロック工	20112211	
		堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20112211	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	根固めブロック工	30112211	
		流路	根固め・水制工	根固めブロック工	30212211	
	消波根固めブロック製作	築堤・護岸	根固め工	根固めブロック工	10112220	Ⅲ-直接-6-40
	消波根固めブロック製作	樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10312221	Ⅲ-直接-6-41
		堤防・護岸	護岸基礎工	海岸コンクリートブロック工	20112221	
		堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20112221	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	根固めブロック工	30112221	
		流路	根固め・水制工	根固めブロック工	30212221	
	床版足場	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51412650	Ⅲ-直接-16-12
		道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51412650	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51512650	
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51512650	
	床版運搬処理	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51412660	Ⅲ-直接-13-17
		道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51412660	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51512660	
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51512660	
	床版破砕及び撤去	道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51412670	Ⅲ-直接-15-24
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51512670	
	照明柱	舗装	道路付属施設工	照明工	50212101	Ⅲ-直接-5-241
		道路維持	道路付属施設工	照明工	51412101	
		道路修繕	道路付属施設工	照明工	51512101	
	照明柱基礎	舗装	道路付属施設工	照明工	50212091	Ⅲ-直接-5-240
		道路維持	道路付属施設工	照明工	51412091	
		道路修繕	道路付属施設工	照明工	51512091	
	植樹	舗装	道路植栽工	道路植栽工	50212050	Ⅲ-直接-5-232
	植樹	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51412051	Ⅲ-直接-5-233
		道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51512051	
	植樹帯盛土	舗装	縁石工	分離帯工	50212040	Ⅲ-直接-5-173
		舗装	道路植栽工	道路植栽工	50212040	
		道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51512040	
	植樹ブロック	舗装	縁石工	縁石工	50212030	Ⅲ-直接-5-168
	植樹ブロック	道路修繕	縁石工	縁石工	51512031	Ⅲ-直接-5-169
	植生穴	道路維持	法面工	植生工	51412640	Ⅲ-直接-5-49
		道路修繕	法面工	植生工	51512640	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
し	植生基材吹付	道路改良	法面工	植生工	50112320	Ⅲ-直接-5-37
	植生基材吹付	砂防えん堤	法面工	植生工	30112321	Ⅲ-直接-5-36
		流路	流路護岸工	植生工	30212321	
		斜面対策	法面工	植生工	30312321	
		道路維持	法面工	植生工	51412321	
		道路修繕	法面工	植生工	51512321	
	植生筋	砂防えん堤	法面工	植生工	30112340	Ⅲ-直接-5-43
		斜面対策	法面工	植生工	30312340	
		道路改良	法面工	植生工	50112340	
		道路維持	法面工	植生工	51412340	
		道路修繕	法面工	植生工	51512340	
	植生シート	道路改良	法面工	植生工	50112330	Ⅲ-直接-5-39
	植生シート	砂防えん堤	法面工	植生工	30112331	Ⅲ-直接-5-38
		斜面対策	法面工	植生工	30312331	
		道路維持	法面工	植生工	51412331	
		道路修繕	法面工	植生工	51512331	
	植生マット	道路改良	法面工	植生工	50112350	Ⅲ-直接-5-41
	植生マット	砂防えん堤	法面工	植生工	30112351	Ⅲ-直接-5-40
		斜面対策	法面工	植生工	30312351	
		道路維持	法面工	植生工	51412351	
		道路修繕	法面工	植生工	51512351	
	植石張	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30112550	Ⅲ-直接-6-23
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30112550	
		流路	床固め工	側壁工	30212550	
	除根(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10812440	Ⅲ-直接-14-15
	除草	河川維持	除草工	堤防除草工	10812420	Ⅲ-直接-14-4
		河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10812420	
	除草	道路維持	除草工	道路除草工	51412421	Ⅲ-直接-14-5
	人工張芝	築堤・護岸	法覆護岸工	植生工	10112360	Ⅲ-直接-5-48
		砂防えん堤	法面工	植生工	30112360	
		道路改良	法面工	植生工	50112360	
		道路維持	法面工	植生工	51412360	
		道路修繕	法面工	植生工	51512360	
	伸縮継手清掃	道路維持	道路清掃工	橋梁清掃工	51412690	Ⅲ-直接-14-82
	芯出し素地調整(落橋防止装置)	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51512730	Ⅲ-直接-9-14
	振動調査費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99012914	Ⅲ-間接-1-9
す	水位計	樋門・樋管	付属物設置工	観測施設工	10313130	Ⅲ-直接-6-78
	水質調査費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99013910	Ⅲ-間接-1-12
	吸出し防止材	築堤・護岸	根固め工	沈床工	10113010	Ⅲ-直接-5-24
		築堤・護岸	水制工	沈床工	10113010	
		樋門・樋管	護床工	間詰工	10313010	
		樋門・樋管	護床工	沈床工	10313010	
		樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10313010	
		河川修繕	側帯工	縁切工	10913010	
		河川修繕	堤脚保護工	石積工	10913010	
		堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20113010	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
す 吸出し防止材	堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20113010	Ⅲ-直接-5-24
	堤防・護岸	護岸工	コンクリート被覆工	20113010	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20113010	
	堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20113010	
	堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20113010	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30113010	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30113010	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30113010	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30113010	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30113010	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	間詰工	30113010	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	沈床工	30113010	
	流路	流路護岸工	石積擁壁工	30213010	
	流路	床固め工	垂直壁工	30213010	
	流路	床固め工	側壁工	30213010	
	流路	根固め・水制工	間詰工	30213010	
	流路	流路付属物設置工	階段工	30213010	
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51413010	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51413010	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51513010	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51513010	
吸出し防止材(コンクリートブロック)	河川修繕	堤脚保護工	コンクリートブロック工	10913011	Ⅲ-直接-5-25
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20113011	
	流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30213011	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51413011	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51513011	
水面清掃	河川維持	清掃工	水面清掃工	10813050	Ⅲ-直接-14-47
筋芝	築堤・護岸	法覆護岸工	植生工	10113040	Ⅲ-直接-5-46
	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10813040	
	河川修繕	腹付工	植生工	10913040	
	河川修繕	側帯工	植生工	10913040	
	砂防えん堤	法面工	植生工	30113040	
	道路改良	法面工	植生工	50113040	
	道路維持	法面工	植生工	51413040	
	道路修繕	法面工	植生工	51513040	
スタッドジベル	道路修繕	工場製作工	ＲＣ橋脚巻立て鋼板製作工	51513080	Ⅲ-直接-8-9
捨石	築堤・護岸	根固め工	捨石工	10113020	Ⅲ-直接-6-54
	築堤・護岸	水制工	捨石工	10113020	
捨石	樋門・樋管	護床工	捨石工	10313021	Ⅲ-直接-6-55
	堤防・護岸	護岸基礎工	捨石工	20113021	
	流路	根固め・水制工	捨石工	30213021	
ステップ	樋門・樋管	付属物設置工	点検施設工	10313100	Ⅲ-直接-6-75
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	点検施設工	30113100	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
す	ステップ	斜面対策	斜面対策付属物設置工	点検施設工	30313100	Ⅲ-直接-6-75
	ステーロープ	斜面対策	擁壁工	落石防護工	30313090	Ⅲ-直接-5-211
		道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51513090	
	スノーポール設置	道路維持	冬期対策施設工	冬期安全施設工	51413060	Ⅲ-直接-14-91
	スノーポール撤去	道路維持	冬期対策施設工	冬期安全施設工	51413070	Ⅲ-直接-15-26
	スラリー撹拌	築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10113030	Ⅲ-直接-2-15
		道路改良	地盤改良工	固結工	50113030	
	スラリー撹拌	樋門・樋管	地盤改良工	固結工	10313031	Ⅲ-直接-2-16
		堤防・護岸	地盤改良工	固結工	20113031	
	スリップバー	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10313120	Ⅲ-直接-6-72
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10313120	
せ	製作加工	道路修繕	工場製作工	床版補強材製作工	51514140	Ⅲ-直接-8-3
	製作加工	道路修繕	工場製作工	桁補強材製作工	51514141	Ⅲ-直接-8-4
	製作加工	道路修繕	工場製作工	落橋防止装置製作工	51514142	Ⅲ-直接-8-5
	製作加工	道路修繕	工場製作工	ＲＣ橋脚巻立て鋼板製作工	51514143	Ⅲ-直接-8-6
	製作加工	砂防えん堤	工場製作工	鋼製えん堤製作工	30114147	Ⅲ-直接-8-1
	製作加工	砂防えん堤	工場製作工	鋼製えん堤仮設材製作工	30114148	Ⅲ-直接-8-2
	清掃作業(1)(側溝清掃)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51414110	Ⅲ-直接-14-73
	清掃作業(2)(側溝清掃)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51414120	Ⅲ-直接-14-74
	清掃作業(管渠清掃)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51414130	Ⅲ-直接-14-78
	清掃・水洗い(素地調整)	道路維持	現場塗装工	橋梁塗装工	51414090	Ⅲ-直接-13-23
		道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	51514090	
	整地	築堤・護岸	河川土工	掘削工	10114010	Ⅲ-直接-1-9
		築堤・護岸	河川土工	残土処理工	10114010	
		道路改良	道路土工	掘削工	50114010	
		道路改良	道路土工	残土処理工	50114010	
		舗装	道路土工	掘削工	50214010	
		舗装	道路土工	残土処理工	50214010	
	整地	樋門・樋管	河川土工	掘削工	10314011	Ⅲ-直接-1-10
		樋門・樋管	河川土工	盛土工	10314011	
		樋門・樋管	河川土工	残土処理工	10314011	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10314011	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10314011	
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10314011	
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10314011	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10314011	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10814011	
		河川修繕	河川土工	掘削工	10914011	
		河川修繕	河川土工	盛土工	10914011	
		河川修繕	河川土工	残土処理工	10914011	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10914011	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10914011	
		堤防・護岸	海岸土工	掘削工	20114011	
		堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20114011	
		堤防・護岸	海岸土工	残土処理工	20114011	
		堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20114011	
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20114011	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20114011	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
せ	整地	堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20114011	Ⅲ-直接-1-10
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20114011	
		砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30114011	
		砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30114011	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30114011	
		砂防えん堤	砂防土工	残土処理工	30114011	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30114011	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30114011	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30114011	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30114011	
		砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30114011	
		流路	砂防土工	掘削工	30214011	
		流路	砂防土工	埋戻し工	30214011	
		流路	砂防土工	盛土工	30214011	
		流路	砂防土工	残土処理工	30214011	
		流路	流路護岸工	作業土工	30214011	
		流路	床固め工	作業土工	30214011	
		流路	根固め・水制工	作業土工	30214011	
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30314011	
		斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30314011	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30314011	
		斜面対策	砂防土工	残土処理工	30314011	
		斜面対策	擁壁工	作業土工	30314011	
		斜面対策	山腹水路工	作業土工	30314011	
		斜面対策	地下水排除工	作業土工	30314011	
		斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30314011	
		斜面対策	抑止杭工	作業土工	30314011	
		斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30314011	
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30314011	
		電線共同溝	開削土工	掘削工	51214011	
		電線共同溝	開削土工	残土処理工	51214011	
		道路維持	道路土工	掘削工	51414011	
		道路維持	道路土工	路体盛土工	51414011	
		道路維持	道路土工	路床盛土工	51414011	
		道路維持	道路土工	残土処理工	51414011	
		道路維持	排水構造物工	作業土工	51414011	
		道路維持	防護柵工	作業土工	51414011	
		道路維持	道路付属施設工	作業土工	51414011	
		道路維持	擁壁工	作業土工	51414011	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51414011	
		道路維持	カルバート工	作業土工	51414011	
		道路修繕	道路土工	掘削工	51514011	
		道路修繕	道路土工	路体盛土工	51514011	
		道路修繕	道路土工	路床盛土工	51514011	
		道路修繕	道路土工	残土処理工	51514011	
		道路修繕	排水構造物工	作業土工	51514011	
		道路修繕	縁石工	作業土工	51514011	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
せ	整地	道路修繕	防護柵工	作業土工	51514011	Ⅲ-直接-1-10
		道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51514011	
		道路修繕	擁壁工	作業土工	51514011	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51514011	
		道路修繕	カルバート工	作業土工	51514011	
		道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51514011	
		道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51514011	
	整地(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10814012	Ⅲ-直接-14-16
	施工調査費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	技術管理費	99014910	Ⅲ-間接-1-29
	切削オーバーレイ	道路維持	舗装工	切削オーバーレイ工	51414070	Ⅲ-直接-13-6
		道路修繕	舗装工	切削オーバーレイ工	51514070	
	設置・撤去(敷鉄板)	斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30314082	Ⅲ-直接-16-25
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30314082	
	設置・撤去(防護)	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51414080	Ⅲ-直接-16-21
		道路維持	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51414080	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51514080	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51514080	
		道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51514080	
		道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51514080	
	設置・撤去(防護)	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51414081	Ⅲ-直接-16-22
		道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51414081	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51514081	
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51514081	
	施肥	河川維持	堤防養生工	芝養生工	10814060	Ⅲ-直接-14-12
	繊維ネット	道路改良	法面工	植生工	50114030	Ⅲ-直接-5-50
		道路維持	法面工	植生工	51414030	
		道路修繕	法面工	植生工	51514030	
	繊維網	道路改良	落石雪害防止工	落石防止網工	50114021	Ⅲ-直接-5-207
		道路修繕	落石雪害防止工	落石防止網工	51514021	
	線導水	道路維持	トンネル工	漏水対策工	51414100	Ⅲ-直接-13-26
		道路修繕	トンネル工	漏水対策工	51514100	
そ	騒音調査費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99015910	Ⅲ-間接-1-8
	騒音低減装置	道路改良	遮音壁工	遮音壁工	50115020	Ⅲ-直接-5-213
	側板	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51415110	Ⅲ-直接-9-13
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51515110	
	底張コンクリート	斜面対策	地下水排除工	集水井工	30315130	Ⅲ-直接-7-22
	素地調整	道路維持	現場塗装工	橋梁塗装工	51415091	Ⅲ-直接-8-10
		道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	51515091	
	素地調整	道路維持	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51415092	Ⅲ-直接-8-11
		道路修繕	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51515092	
	素地調整	道路維持	現場塗装工	張紙防止塗装工	51415093	Ⅲ-直接-8-12
		道路修繕	現場塗装工	張紙防止塗装工	51515093	
	粗朶柵	樋門・樋管	護床工	沈床工	10315031	Ⅲ-直接-6-53
		砂防えん堤	護床工・根固め工	沈床工	30115031	
	粗朶単床	樋門・樋管	護床工	沈床工	10315041	Ⅲ-直接-6-52
		砂防えん堤	護床工・根固め工	沈床工	30115041	
	粗朶沈床	築堤・護岸	根固め工	沈床工	10115050	Ⅲ-直接-6-49

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
そ	粗朶沈床	築堤・護岸	水制工	沈床工	10115050	Ⅲ-直接-6-49
		樋門・樋管	護床工	沈床工	10315050	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	沈床工	30115050	
	粗朶法覆	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10115060	Ⅲ-直接-6-30
	側溝付プレキャスト擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	プレキャスト擁壁工	10115080	Ⅲ-直接-5-79
		道路改良	擁壁工	プレキャスト擁壁工	50115080	
	側溝付プレキャスト擁壁	斜面対策	擁壁工	プレキャスト擁壁工	30315081	Ⅲ-直接-5-80
		道路維持	擁壁工	プレキャスト擁壁工	51415081	
		道路修繕	擁壁工	プレキャスト擁壁工	51515081	
	側溝蓋	樋門・樋管	水路工	側溝工	10328220	Ⅲ-直接-5-155
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10928220	
		堤防・護岸	排水構造物工	側溝工	20128220	
		堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20128220	
		砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30128220	
		道路維持	排水構造物工	側溝工	51428220	
		道路修繕	排水構造物工	側溝工	51528220	
	側溝蓋撤去・設置(側溝清掃)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51415120	Ⅲ-直接-14-77
	損料(防護)	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51415100	Ⅲ-直接-16-23
		道路維持	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51415100	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(鋼板接着工法)	51515100	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51515100	
		道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51515100	
		道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51515100	
た	タイロッド	堤防・護岸	護岸基礎工	矢板工	20116080	Ⅲ-直接-4-5
	ダクタイル鋳鉄管	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10316130	Ⅲ-直接-6-67
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10316130	
	多数アンカー	道路改良	擁壁工	補強土壁工	50116040	Ⅲ-直接-5-82
	立入防止柵	舗装	防護柵工	防止柵工	50216010	Ⅲ-直接-5-224
	縦目地	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20116120	Ⅲ-直接-5-124
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30116120	
	玉石階段	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10116020	Ⅲ-直接-6-27
	玉石柳枝	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10116030	Ⅲ-直接-6-31
	断面修復	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10816060	Ⅲ-直接-14-26
ち	地下水観測費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99017912	Ⅲ-間接-1-13
	地先境界ブロック	築堤・護岸	付帯道路工	縁石工	10117030	Ⅲ-直接-5-166
		舗装	縁石工	縁石工	50217030	
	地先境界ブロック	堤防・護岸	付帯道路工	縁石工	20117031	Ⅲ-直接-5-167
		砂防えん堤	付帯道路工	縁石工	30117031	
		道路修繕	縁石工	縁石工	51517031	
	地質試験費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	技術管理費	99017910	Ⅲ-間接-1-27
	チッピング	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51517100	Ⅲ-直接-13-31
	地被類植付	舗装	道路植栽工	道路植栽工	50217050	Ⅲ-直接-14-65
		道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51517050	
	地被類植付	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10817051	Ⅲ-直接-14-64
	着雪防止板	舗装	標識工	大型標識工	50217040	Ⅲ-直接-5-201
		道路維持	標識工	大型標識工	51417040	
		道路修繕	標識工	大型標識工	51517040	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ち	中間層(車道・路肩部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10117020	Ⅲ-直接-5-104
		築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10117020	
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50217020	
		舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50217020	
	注入	河川維持	構造物補修工	ボーリンググラウト工	10817080	Ⅲ-直接-14-29
	注入設備据付・解体	河川維持	構造物補修工	ボーリンググラウト工	10817090	Ⅲ-直接-14-30
	調整コンクリート	築堤・護岸	付帯道路工	舗装準備工	10117010	Ⅲ-直接-5-91
		舗装	舗装工	舗装準備工	50217010	
	沈下観測費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	事業損失防止施設費	99017911	Ⅲ-間接-1-10
	賃料(敷鉄板)	斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30317111	Ⅲ-直接-16-26
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30317111	
	賃料(防護)	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51417110	Ⅲ-直接-16-24
		道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51417110	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51517110	
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51517110	
つ	通常巡回	道路維持	巡視・巡回工	道路巡回工	51418060	Ⅲ-直接-14-2
	土材料	築堤・護岸	河川土工	盛土工	10118020	Ⅲ-直接-1-22
		築堤・護岸	河川土工	盛土補強工	10118020	
		築堤・護岸	河川土工	法面整形工	10118020	
		築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10118020	
		築堤・護岸	法覆護岸工	覆土工	10118020	
		樋門・樋管	河川土工	盛土工	10318020	
		樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10318020	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10318020	
		樋門・樋管	護床工	作業土工	10318020	
		樋門・樋管	水路工	作業土工	10318020	
		樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10318020	
		河川維持	付属物設置工	作業土工	10818020	
		河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10818020	
		河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10818020	
		河川修繕	河川土工	盛土工	10918020	
		河川修繕	河川土工	盛土補強工	10918020	
		河川修繕	腹付工	植生工	10918020	
		河川修繕	側帯工	植生工	10918020	
		河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10918020	
		河川修繕	管理用通路工	作業土工	10918020	
		堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20118020	
		堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20118020	
		堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20118020	
		堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20118020	
		堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20118020	
		堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20118020	
		砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30118020	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30118020	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30118020	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30118020	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30118020	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
つ 土材料	砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30118020	Ⅲ-直接-1-22
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30118020	
	砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30118020	
	流路	砂防土工	埋戻し工	30218020	
	流路	砂防土工	盛土工	30218020	
	流路	砂防土工	盛土補強工	30218020	
	流路	流路護岸工	作業土工	30218020	
	流路	床固め工	作業土工	30218020	
	流路	根固め・水制工	作業土工	30218020	
	斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30318020	
	斜面対策	砂防土工	盛土工	30318020	
	斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30318020	
	斜面対策	擁壁工	作業土工	30318020	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30318020	
	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30318020	
	斜面対策	地下水排除工	作業土工	30318020	
	斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30318020	
	斜面対策	抑止杭工	作業土工	30318020	
	道路改良	道路土工	路体盛土工	50118020	
	道路改良	道路土工	路床盛土工	50118020	
	道路改良	道路土工	法面整形工	50118020	
	道路改良	地盤改良工	置換工	50118020	
	道路改良	擁壁工	補強土壁工	50118020	
	舗装	道路土工	路体盛土工	50218020	
	舗装	道路土工	路床盛土工	50218020	
	舗装	道路土工	法面整形工	50218020	
	舗装	地盤改良工	置換工	50218020	
	舗装	縁石工	分離帯工	50218020	
	舗装	道路植栽工	道路植栽工	50218020	
	電線共同溝	開削土工	埋戻し工	51218020	
	道路維持	道路土工	路体盛土工	51418020	
	道路維持	道路土工	路床盛土工	51418020	
	道路維持	排水構造物工	作業土工	51418020	
	道路維持	防護柵工	作業土工	51418020	
	道路維持	道路付属施設工	作業土工	51418020	
	道路維持	擁壁工	作業土工	51418020	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51418020	
	道路維持	カルバート工	作業土工	51418020	
	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51418020	
	道路修繕	道路土工	路体盛土工	51518020	
	道路修繕	道路土工	路床盛土工	51518020	
	道路修繕	排水構造物工	作業土工	51518020	
	道路修繕	縁石工	作業土工	51518020	
	道路修繕	防護柵工	作業土工	51518020	
	道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51518020	
	道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51518020	
	道路修繕	擁壁工	作業土工	51518020	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
つ 土材料	道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51518020	Ⅲ-直接-1-22
	道路修繕	カルバート工	作業土工	51518020	
	道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51518020	
	道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51518020	
積込(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10818050	Ⅲ-直接-14-19
積込(ルーズ)	築堤・護岸	河川土工	盛土工	10118010	Ⅲ-直接-1-18
	築堤・護岸	河川土工	盛土補強工	10118010	
	築堤・護岸	河川土工	法面整形工	10118010	
	築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10118010	
	築堤・護岸	法覆護岸工	覆土工	10118010	
	道路改良	道路土工	路体盛土工	50118010	
	道路改良	道路土工	路床盛土工	50118010	
	道路改良	道路土工	法面整形工	50118010	
	道路改良	地盤改良工	置換工	50118010	
	道路改良	擁壁工	補強土壁工	50118010	
	舗装	道路土工	路体盛土工	50218010	
	舗装	道路土工	路床盛土工	50218010	
	舗装	道路土工	法面整形工	50218010	
	舗装	地盤改良工	置換工	50218010	
	舗装	道路植栽工	道路植栽工	50218010	
積込(ルーズ)	樋門・樋管	河川土工	掘削工	10318011	Ⅲ-直接-1-19
	樋門・樋管	河川土工	盛土工	10318011	
	樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10318011	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10318011	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10318011	
	樋門・樋管	護床工	作業土工	10318011	
	樋門・樋管	水路工	作業土工	10318011	
	樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10318011	
	河川維持	付属物設置工	作業土工	10818011	
	河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10818011	
	河川修繕	河川土工	掘削工	10918011	
	河川修繕	河川土工	盛土工	10918011	
	河川修繕	河川土工	盛土補強工	10918011	
	河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10918011	
	河川修繕	管理用通路工	作業土工	10918011	
	堤防・護岸	海岸土工	掘削工	20118011	
	堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20118011	
	堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20118011	
	堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20118011	
	堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20118011	
	堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20118011	
	堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20118011	
	砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30118011	
	砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30118011	
	砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30118011	
	砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30118011	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30118011	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
つ 積込(ルーズ)	砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30118011	Ⅲ-直接-1-19
	砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30118011	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30118011	
	砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30118011	
	流路	砂防土工	掘削工	30218011	
	流路	砂防土工	埋戻し工	30218011	
	流路	砂防土工	盛土工	30218011	
	流路	砂防土工	盛土補強工	30218011	
	流路	流路護岸工	作業土工	30218011	
	流路	床固め工	作業土工	30218011	
	流路	根固め・水制工	作業土工	30218011	
	斜面対策	砂防土工	掘削工	30318011	
	斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30318011	
	斜面対策	砂防土工	盛土工	30318011	
	斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30318011	
	斜面対策	擁壁工	作業土工	30318011	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30318011	
	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30318011	
	斜面対策	地下水排除工	作業土工	30318011	
	斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30318011	
	斜面対策	抑止杭工	作業土工	30318011	
	斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30318011	
	斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30318011	
	道路維持	道路土工	掘削工	51418011	
	道路維持	道路土工	路体盛土工	51418011	
	道路維持	道路土工	路床盛土工	51418011	
	道路維持	排水構造物工	作業土工	51418011	
	道路維持	防護柵工	作業土工	51418011	
	道路維持	道路付属施設工	作業土工	51418011	
	道路維持	擁壁工	作業土工	51418011	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51418011	
	道路維持	カルバート工	作業土工	51418011	
	道路修繕	道路土工	掘削工	51518011	
	道路修繕	道路土工	路体盛土工	51518011	
	道路修繕	道路土工	路床盛土工	51518011	
	道路修繕	排水構造物工	作業土工	51518011	
	道路修繕	縁石工	作業土工	51518011	
	道路修繕	防護柵工	作業土工	51518011	
	道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51518011	
	道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51518011	
	道路修繕	擁壁工	作業土工	51518011	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51518011	
	道路修繕	カルバート工	作業土工	51518011	
	道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51518011	
	道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51518011	
積込(ルーズ)	電線共同溝	開削土工	埋戻し工	51218013	Ⅲ-直接-1-21
積込(ルーズ)(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30118012	Ⅲ-直接-1-20

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
つ	積込(ルーズ)(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30118012	Ⅲ-直接-1-20
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30118012	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30118012	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30118012	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30118012	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30118012	
		砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30118012	
		流路	砂防土工	掘削工	30218012	
		流路	砂防土工	埋戻し工	30218012	
		流路	砂防土工	盛土工	30218012	
		流路	流路護岸工	作業土工	30218012	
		流路	床固め工	作業土工	30218012	
		流路	根固め・水制工	作業土工	30218012	
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30318012	
		斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30318012	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30318012	
	積込・運搬(除草)	道路維持	除草工	道路除草工	51418041	Ⅲ-直接-14-10
	積込・荷卸(除草)	河川維持	除草工	堤防除草工	10818040	Ⅲ-直接-14-9
		河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10818040	
	吊足場設置・撤去(足場)	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51418070	Ⅲ-直接-16-16
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51518070	
	吊足場損料(足場)	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51418071	Ⅲ-直接-16-17
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51518071	
て	堤冠コンクリート	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30119190	Ⅲ-直接-7-3
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30119190	
		流路	床固め工	床固め本体工	30219190	
		流路	床固め工	垂直壁工	30219190	
	泥水運搬	築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10119080	Ⅲ-直接-2-22
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10319080	
		斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30319080	
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30319080	
		道路改良	地盤改良工	固結工	50119080	
		道路改良	擁壁工	場所打杭工	50119080	
		道路改良	カルバート工	場所打杭工	50119080	
	泥水処理(現場内)	築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10119030	Ⅲ-直接-2-21
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10319030	
		斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30319030	
		斜面対策	抑止杭工	合成杭工	30319030	
		道路改良	地盤改良工	固結工	50119030	
		道路改良	擁壁工	場所打杭工	50119030	
		道路改良	カルバート工	場所打杭工	50119030	
	定着用アンカー	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51519150	Ⅲ-直接-13-36
		道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51519150	
	手摺先行型足場設置・撤去(足場)	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51419130	Ⅲ-直接-16-14
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51519130	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
て 手摺先行型足場損料(足場)	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51419131	Ⅲ-直接-16-15
	道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51519131	
鉄筋	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	既製杭工	10319110	Ⅲ-直接-3-28
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10319110	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10319110	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10319110	
	樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10319110	
	樋門・樋管	水路工	集水桝工	10319110	
	樋門・樋管	水路工	暗渠工	10319110	
	樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10319110	
	河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10919110	
	堤防・護岸	地盤改良工	パイルネット工	20119110	
	堤防・護岸	護岸基礎工	場所打コンクリート工	20119110	
	堤防・護岸	護岸基礎工	海岸コンクリートブロック工	20119110	
	堤防・護岸	護岸基礎工	笠コンクリート工	20119110	
	堤防・護岸	護岸工	海岸コンクリートブロック工	20119110	
	堤防・護岸	護岸工	コンクリート被覆工	20119110	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20119110	
	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20119110	
	堤防・護岸	波返工	波返工	20119110	
	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリート被覆工	20119110	
	堤防・護岸	排水構造物工	集水桝工	20119110	
	堤防・護岸	排水構造物工	管渠工	20119110	
	堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20119110	
	堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20119110	
	堤防・護岸	付帯道路工	集水桝工	20119110	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	根固めブロック工	30119110	
	砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30119110	
	砂防えん堤	付帯道路工	集水桝工	30119110	
	流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30219110	
	流路	床固め工	水叩工	30219110	
	流路	床固め工	魚道工	30219110	
	流路	根固め・水制工	根固めブロック工	30219110	
	斜面対策	擁壁工	既製杭工	30319110	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30319110	
	斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30319110	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30319110	
	斜面対策	擁壁工	落石防護工	30319110	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30319110	
	斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30319110	
	斜面対策	抑止杭工	既製杭工	30319110	
	斜面対策	抑止杭工	シャフト工(深礎工)	30319110	
	電線共同溝	電線共同溝工	現場打ボックス工(特殊部)	51219110	
	電線共同溝	付帯設備工	土留壁工	51219110	
	道路維持	排水構造物工	管渠工	51419110	
	道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51419110	
	道路維持	防護柵工	防護柵基礎工	51419110	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
て 鉄筋	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51419110	Ⅲ-直接-3-28
	道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51419110	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工(構造物単位)	51419110	
	道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51419110	
	道路維持	カルバート工	プレキャストカルバート工	51419110	
	道路維持	橋梁付属物工	地覆工	51419110	
	道路修繕	排水構造物工	管渠工	51519110	
	道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51519110	
	道路修繕	防護柵工	防護柵基礎工	51519110	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51519110	
	道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51519110	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工(構造物単位)	51519110	
	道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51519110	
	道路修繕	カルバート工	プレキャストカルバート工	51519110	
	道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51519110	
	道路修繕	橋梁付属物工	地覆工	51519110	
	道路修繕	橋梁付属物工	沓座拡幅工	51519110	
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工(構造物単位)	51519110	
	道路修繕	橋脚巻立て工	ＲＣ橋脚鋼板巻立て工	51519110	
	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	51519110	
鉄筋挿入	道路改良	法面工	アンカー工	50119040	Ⅲ-直接-5-73
鉄筋挿入	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30119041	Ⅲ-直接-5-74
	道路維持	法面工	アンカー工	51419041	
	道路修繕	法面工	アンカー工	51519041	
鉄筋防錆処理	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10819090	Ⅲ-直接-14-23
転圧コンクリート舗装	築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10119020	Ⅲ-直接-5-126
	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20119020	
	砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30119020	
	舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50219020	
添架式標識板取付金具	築堤・護岸	付帯道路施設工	標識工	10119120	Ⅲ-直接-5-194
	堤防・護岸	付帯道路施設工	小型標識工	20119120	
	砂防えん堤	付帯道路施設工	小型標識工	30119120	
	舗装	標識工	小型標識工	50219120	
	舗装	標識工	大型標識工	50219120	
	道路維持	標識工	小型標識工	51419120	
	道路維持	標識工	大型標識工	51419120	
	道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51419120	
	道路修繕	標識工	小型標識工	51519120	
	道路修繕	標識工	大型標識工	51519120	
天端コンクリート	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10119060	Ⅲ-直接-3-1
	築堤・護岸	法覆護岸工	緑化ブロック工	10119060	
	築堤・護岸	法覆護岸工	環境護岸ブロック工	10119060	
	築堤・護岸	法覆護岸工	石積(張)工	10119060	
天端コンクリート	河川修繕	堤脚保護工	石積工	10919061	Ⅲ-直接-3-2
	堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20119061	
	堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20119061	
天端コンクリート	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20119062	Ⅲ-直接-3-3

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
て	天端コンクリート	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51419062	Ⅲ-直接-3-3
		道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51419062	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51519062	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51519062	
	天端コンクリート	流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30219063	Ⅲ-直接-3-4
		流路	流路護岸工	石積擁壁工	30219063	
	天端敷砂利	樋門・樋管	河川土工	堤防天端工	10319100	Ⅲ-直接-1-45
		河川修繕	河川土工	堤防天端工	10919100	
		砂防えん堤	砂防土工	堤防天端工	30119100	
		流路	砂防土工	堤防天端工	30219100	
		斜面対策	砂防土工	堤防天端工	30319100	
	転落(横断)防止柵	舗装	防護柵工	防止柵工	50219010	Ⅲ-直接-5-229
	転落(横断)防止柵	樋門・樋管	付属物設置工	防止柵工	10319011	Ⅲ-直接-5-228
		堤防・護岸	付属物設置工	防止柵工	20119011	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	防止柵工	30119011	
		流路	流路付属物設置工	防止柵工	30219011	
		道路維持	防護柵工	防止柵工	51419011	
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51419011	
		道路修繕	防護柵工	防止柵工	51519011	
	転落(横断)防止柵撤去	共通	構造物撤去工	防止柵撤去工	90119160	Ⅲ-直接-15-1
	電力基本料金	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	役務費	99019910	Ⅲ-間接-1-23
	電力設備工事負担金	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	役務費	99019911	Ⅲ-間接-1-24
	テールアルメ	道路改良	擁壁工	補強土壁工	50119070	Ⅲ-直接-5-81
と	胴込・裏込コンクリート(石積(張))	河川修繕	側帯工	縁切工	10920130	Ⅲ-直接-5-31
		河川修繕	堤脚保護工	石積工	10920130	
		堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20120130	
		堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20120130	
		流路	流路護岸工	石積擁壁工	30220130	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51420130	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51520130	
	胴込・裏込コンクリート(コンクリートブロック)	河川修繕	堤脚保護工	コンクリートブロック工	10920131	Ⅲ-直接-5-22
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20120131	
		流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30220131	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51420131	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51520131	
	胴込・裏込材(コンクリートブロック)	河川修繕	堤脚保護工	コンクリートブロック工	10920132	Ⅲ-直接-5-23
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20120132	
		流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30220132	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
と 胴込・裏込材(コンクリートブロック)	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51420132	Ⅲ-直接-5-23
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51520132	
透水性舗装・表層(歩道部)	舗装	舗装工	透水性舗装工	50220050	Ⅲ-直接-5-117
透水性舗装・フィルター層(歩道部)	舗装	舗装工	透水性舗装工	50220060	Ⅲ-直接-5-116
道路鋲	築堤・護岸	付帯道路施設工	道路付属物工	10120040	Ⅲ-直接-5-188
	堤防・護岸	付帯道路施設工	道路付属物工	20120040	
	砂防えん堤	付帯道路施設工	道路付属物工	30120040	
	舗装	道路付属施設工	道路付属物工	50220040	
	道路維持	道路付属施設工	道路付属物工	51420040	
	道路修繕	道路付属施設工	道路付属物工	51520040	
道路鋲撤去	共通	構造物撤去工	道路付属施設撤去工	90120170	Ⅲ-直接-15-19
特殊ブロック舗装	築堤・護岸	付帯道路工	ブロック舗装工	10120030	Ⅲ-直接-5-129
	舗装	舗装工	ブロック舗装工	50220030	
床掘り(岩石)	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10320120	Ⅲ-直接-1-29
	樋門・樋管	護床工	作業土工	10320120	
	樋門・樋管	水路工	作業土工	10320120	
	樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10320120	
	河川維持	付属物設置工	作業土工	10820120	
	河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10920120	
	河川修繕	管理用通路工	作業土工	10920120	
	堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20120120	
	堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20120120	
	堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20120120	
	堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20120120	
	堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20120120	
	斜面対策	擁壁工	作業土工	30320120	
	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30320120	
	斜面対策	地下水排除工	作業土工	30320120	
	斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30320120	
	斜面対策	抑止杭工	作業土工	30320120	
	道路維持	排水構造物工	作業土工	51420120	
	道路維持	防護柵工	作業土工	51420120	
	道路維持	道路付属施設工	作業土工	51420120	
	道路維持	擁壁工	作業土工	51420120	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51420120	
	道路維持	カルバート工	作業土工	51420120	
	道路修繕	排水構造物工	作業土工	51520120	
	道路修繕	縁石工	作業土工	51520120	
	道路修繕	防護柵工	作業土工	51520120	
	道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51520120	
	道路修繕	擁壁工	作業土工	51520120	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51520120	
	道路修繕	カルバート工	作業土工	51520120	
	道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51520120	
	道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51520120	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
と 床掘り(砂防)	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30120081	Ⅲ-直接-1-30
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30120081	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30120081	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30120081	
	砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30120081	
	流路	流路護岸工	作業土工	30220081	
	流路	床固め工	作業土工	30220081	
	流路	根固め・水制工	作業土工	30220081	
床掘り(土砂)	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10320110	Ⅲ-直接-1-28
	樋門・樋管	護床工	作業土工	10320110	
	樋門・樋管	水路工	作業土工	10320110	
	樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10320110	
	河川維持	付属物設置工	作業土工	10820110	
	河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10920110	
	河川修繕	管理用通路工	作業土工	10920110	
	堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20120110	
	堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20120110	
	堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20120110	
	堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20120110	
	堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20120110	
	斜面対策	擁壁工	作業土工	30320110	
	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30320110	
	斜面対策	地下水排除工	作業土工	30320110	
	斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30320110	
	斜面対策	抑止杭工	作業土工	30320110	
	道路維持	排水構造物工	作業土工	51420110	
	道路維持	防護柵工	作業土工	51420110	
	道路維持	道路付属施設工	作業土工	51420110	
	道路維持	擁壁工	作業土工	51420110	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51420110	
	道路維持	カルバート工	作業土工	51420110	
	道路修繕	排水構造物工	作業土工	51520110	
	道路修繕	縁石工	作業土工	51520110	
	道路修繕	防護柵工	作業土工	51520110	
	道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51520110	
	道路修繕	擁壁工	作業土工	51520110	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51520110	
	道路修繕	カルバート工	作業土工	51520110	
	道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51520110	
	道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51520110	
土質試験費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	技術管理費	99020910	Ⅲ-間接-1-26
土砂締切	砂防えん堤	仮締切工	土砂・土のう締切工	30120200	Ⅲ-直接-16-27
土砂等運搬	築堤・護岸	河川土工	掘削工	10120010	Ⅲ-直接-1-6
	築堤・護岸	河川土工	盛土工	10120010	
	築堤・護岸	河川土工	盛土補強工	10120010	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
と 土砂等運搬	築堤・護岸	河川土工	法面整形工	10120010	Ⅲ-直接-1-6
	築堤・護岸	地盤改良工	表層安定処理工	10120010	
	築堤・護岸	法覆護岸工	覆土工	10120010	
	道路改良	道路土工	掘削工	50120010	
	道路改良	道路土工	路体盛土工	50120010	
	道路改良	道路土工	路床盛土工	50120010	
	道路改良	道路土工	法面整形工	50120010	
	道路改良	地盤改良工	置換工	50120010	
	道路改良	擁壁工	補強土壁工	50120010	
	舗装	道路土工	掘削工	50220010	
	舗装	道路土工	路体盛土工	50220010	
	舗装	道路土工	路床盛土工	50220010	
	舗装	道路土工	法面整形工	50220010	
	舗装	地盤改良工	置換工	50220010	
	舗装	道路植栽工	道路植栽工	50220010	
土砂等運搬	樋門・樋管	河川土工	掘削工	10320011	Ⅲ-直接-1-7
	樋門・樋管	河川土工	盛土工	10320011	
	樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10320011	
	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	作業土工	10320011	
	樋門・樋管	護床工	作業土工	10320011	
	樋門・樋管	水路工	作業土工	10320011	
	樋門・樋管	付属物設置工	作業土工	10320011	
	河川維持	付属物設置工	作業土工	10820011	
	河川維持	光ケーブル配管工	作業土工	10820011	
	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10820011	
	河川修繕	河川土工	掘削工	10920011	
	河川修繕	河川土工	盛土工	10920011	
	河川修繕	河川土工	盛土補強工	10920011	
	河川修繕	腹付工	植生工	10920011	
	河川修繕	側帯工	植生工	10920011	
	河川修繕	堤脚保護工	作業土工	10920011	
	河川修繕	管理用通路工	作業土工	10920011	
	堤防・護岸	海岸土工	掘削工	20120011	
	堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20120011	
	堤防・護岸	護岸基礎工	作業土工	20120011	
	堤防・護岸	擁壁工	作業土工	20120011	
	堤防・護岸	排水構造物工	作業土工	20120011	
	堤防・護岸	付属物設置工	作業土工	20120011	
	堤防・護岸	付帯道路工	作業土工	20120011	
	砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30120011	
	砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30120011	
	砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30120011	
	砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30120011	
	流路	砂防土工	掘削工	30220011	
	流路	砂防土工	埋戻し工	30220011	
	流路	砂防土工	盛土工	30220011	
	流路	砂防土工	盛土補強工	30220011	
	斜面対策	砂防土工	掘削工	30320011	
	斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30320011	

索　　引

ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
と 土砂等運搬	斜面対策	砂防土工	盛土工	30320011	Ⅲ-直接-1-7
	斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30320011	
	斜面対策	擁壁工	作業土工	30320011	
	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30320011	
	斜面対策	山腹水路工	作業土工	30320011	
	斜面対策	地下水排除工	作業土工	30320011	
	斜面対策	地下水遮断工	作業土工	30320011	
	斜面対策	抑止杭工	作業土工	30320011	
	電線共同溝	開削土工	掘削工	51220011	
	電線共同溝	開削土工	埋戻し工	51220011	
	道路維持	道路土工	掘削工	51420011	
	道路維持	道路土工	路体盛土工	51420011	
	道路維持	道路土工	路床盛土工	51420011	
	道路維持	排水構造物工	作業土工	51420011	
	道路維持	防護柵工	作業土工	51420011	
	道路維持	道路付属施設工	作業土工	51420011	
	道路維持	擁壁工	作業土工	51420011	
	道路維持	石・ブロック積(張)工	作業土工	51420011	
	道路維持	カルバート工	作業土工	51420011	
	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51420011	
	道路修繕	道路土工	掘削工	51520011	
	道路修繕	道路土工	路体盛土工	51520011	
	道路修繕	道路土工	路床盛土工	51520011	
	道路修繕	排水構造物工	作業土工	51520011	
	道路修繕	縁石工	作業土工	51520011	
	道路修繕	防護柵工	作業土工	51520011	
	道路修繕	道路植栽工	道路植栽工	51520011	
	道路修繕	道路付属施設工	作業土工	51520011	
	道路修繕	擁壁工	作業土工	51520011	
	道路修繕	石・ブロック積(張)工	作業土工	51520011	
	道路修繕	カルバート工	作業土工	51520011	
	道路修繕	落石雪害防止工	作業土工	51520011	
	道路修繕	橋脚巻立て工	作業土工	51520011	
土砂等運搬(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	掘削工	30120012	Ⅲ-直接-1-8
	砂防えん堤	砂防土工	埋戻し工	30120012	
	砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30120012	
	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	作業土工	30120012	
	砂防えん堤	鋼製えん堤工	作業土工	30120012	
	砂防えん堤	護床工・根固め工	作業土工	30120012	
	砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	作業土工	30120012	
	砂防えん堤	付帯道路工	作業土工	30120012	
	流路	砂防土工	掘削工	30220012	
	流路	砂防土工	埋戻し工	30220012	
	流路	砂防土工	盛土工	30220012	
	流路	流路護岸工	作業土工	30220012	
	流路	床固め工	作業土工	30220012	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
と	土砂等運搬(砂防)	流路	根固め・水制工	作業土工	30220012	Ⅲ-直接-1-8
		斜面対策	砂防土工	掘削工	30320012	
		斜面対策	砂防土工	埋戻し工	30320012	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30320012	
	土のう積	砂防えん堤	仮締切工	土砂・土のう締切工	30120210	Ⅲ-直接-16-29
	止杭一本土台	築堤・護岸	護岸基礎工	土台基礎工	10120070	Ⅲ-直接-6-13
	取替式止水板	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10320220	Ⅲ-直接-6-70
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10320220	
	トンネル照明器具清掃(1)	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51420140	Ⅲ-直接-14-88
	トンネル照明器具清掃(2)	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51420150	Ⅲ-直接-14-89
	トンネル壁面清掃	道路維持	道路清掃工	構造物清掃工	51420160	Ⅲ-直接-14-90
な	内装板	道路維持	トンネル工	内装板工	51421040	Ⅲ-直接-13-25
		道路修繕	トンネル工	内装板工	51521040	
	中詰	築堤・護岸	法覆護岸工	法枠工	10121020	Ⅲ-直接-5-61
		道路改良	法面工	法枠工	50121020	
	中詰	堤防・護岸	裏法被覆工	法枠工	20121021	Ⅲ-直接-5-62
		砂防えん堤	法面工	法枠工	30121021	
		斜面対策	法面工	法枠工	30321021	
		道路維持	法面工	法枠工	51421021	
		道路修繕	法面工	法枠工	51521021	
	中詰(プレキャスト基礎)	堤防・護岸	護岸基礎工	基礎工	20121022	Ⅲ-直接-6-7
	中塗	道路維持	現場塗装工	橋梁塗装工	51421031	Ⅲ-直接-8-19
		道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	51521031	
	中塗	道路維持	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51421032	Ⅲ-直接-8-20
		道路修繕	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	51521032	
	中塗	砂防えん堤	工場製作工	工場塗装工	30121033	Ⅲ-直接-8-18
	雪崩予防柵	道路修繕	落石雪害防止工	雪崩予防柵工	51521060	Ⅲ-直接-5-246
	雪崩予防柵アンカー	道路修繕	落石雪害防止工	雪崩予防柵工	51521070	Ⅲ-直接-5-247
	雪崩予防柵基礎	道路修繕	落石雪害防止工	雪崩予防柵工	51521050	Ⅲ-直接-5-245
	雪崩予防柵工	道路改良	落石雪害防止工		50121010	Ⅲ-直接-5-244
	均しコンクリート	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30121111	Ⅲ-直接-7-25
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30121111	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30121111	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30121111	
	均しコンクリート	流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30221112	Ⅲ-直接-7-26
		流路	床固め工	側壁工	30221112	
		流路	床固め工	水叩工	30221112	
	軟弱地盤調査費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	技術管理費	99021910	Ⅲ-間接-1-28
ね	根固めブロック撤去	共通	構造物撤去工	構造物取壊し工	90124010	Ⅲ-直接-15-14
の	野芝種子吹付	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10825050	Ⅲ-直接-5-42
		河川修繕	腹付工	植生工	10925050	
		河川修繕	側帯工	植生工	10925050	
	法面整形	築堤・護岸	河川土工	法面整形工	10125010	Ⅲ-直接-1-23
		道路改良	道路土工	法面整形工	50125010	
		舗装	道路土工	法面整形工	50225010	
	法面整形	樋門・樋管	河川土工	法面整形工	10325011	Ⅲ-直接-1-24
		河川修繕	河川土工	法面整形工	10925011	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
の	法面整形	堤防・護岸	海岸土工	法面整形工	20125011	Ⅲ-直接-1-24
		砂防えん堤	砂防土工	法面整形工	30125011	
		流路	砂防土工	法面整形工	30225011	
		斜面対策	砂防土工	法面整形工	30325011	
		道路維持	道路土工	法面整形工	51425011	
		道路修繕	道路土工	法面整形工	51525011	
	法面施肥	砂防えん堤	法面工	法面施肥工	30125020	Ⅲ-直接-5-60
		道路改良	法面工	法面施肥工	50125020	
		道路維持	法面工	法面施肥工	51425020	
		道路修繕	法面工	法面施肥工	51525020	
	法面吹付工	築堤・護岸	法覆護岸工		10125030	Ⅲ-直接-5-52
		道路改良	法面工		50125030	
	法枠	道路改良	法面工	法枠工	50125040	Ⅲ-直接-5-55
	法枠	築堤・護岸	法覆護岸工	法枠工	10125041	Ⅲ-直接-5-56
	ノンスリップ	道路維持	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51425060	Ⅲ-直接-13-21
		道路修繕	横断歩道橋工	横断歩道橋工	51525060	
は	配管設置(埋設部)	築堤・護岸	光ケーブル配管工	配管工	10126090	Ⅲ-直接-6-60
	配管設置(埋設部)	河川維持	光ケーブル配管工	配管工	10826091	Ⅲ-直接-6-61
	配管設置(露出部)	築堤・護岸	光ケーブル配管工	配管工	10126100	Ⅲ-直接-6-62
		河川維持	光ケーブル配管工	配管工	10826100	
	排水管	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	51426210	Ⅲ-直接-9-1
		道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	51526210	
	排水管清掃	道路維持	道路清掃工	橋梁清掃工	51426240	Ⅲ-直接-14-83
	排水性舗装工(車道部)	舗装	舗装工		50226010	Ⅲ-直接-5-112
	排水性舗装・基層(車道・路肩部)	舗装	舗装工	排水性舗装工	50226060	Ⅲ-直接-5-115
	排水性舗装・中間層(車道・路肩部)	舗装	舗装工	排水性舗装工	50226050	Ⅲ-直接-5-114
	排水性舗装・表層(車道・路肩部)	舗装	舗装工	排水性舗装工	50226020	Ⅲ-直接-5-113
	排水桝	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	51426200	Ⅲ-直接-9-2
		道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	51526200	
	薄層カラー舗装	築堤・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	10126080	Ⅲ-直接-5-127
		堤防・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	20126080	
		砂防えん堤	付帯道路工	薄層カラー舗装工	30126080	
		舗装	舗装工	薄層カラー舗装工	50226080	
		道路維持	舗装工	薄層カラー舗装工	51426080	
		道路修繕	舗装工	薄層カラー舗装工	51526080	
	梯子土台	築堤・護岸	護岸基礎工	土台基礎工	10126110	Ⅲ-直接-6-12
	場所打函渠工	道路改良	カルバート工		50126120	Ⅲ-直接-3-15
	場所打基礎	流路	流路護岸工	基礎工	30209052	Ⅲ-直接-6-3
	場所打杭	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	場所打杭工	10326130	Ⅲ-直接-4-12
		道路改良	擁壁工	場所打杭工	50126130	
		道路改良	カルバート工	場所打杭工	50126130	
	場所打杭	斜面対策	抑止杭工	場所打杭工	30326131	Ⅲ-直接-4-13
	抜根	河川維持	堤防養生工	芝養生工	10826170	Ⅲ-直接-14-13
	抜根除草	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51426250	Ⅲ-直接-14-61
	パッチング	河川維持	路面補修工	アスファルト舗装補修工	10826180	Ⅲ-直接-14-37
		道路維持	舗装工	アスファルト舗装補修工	51426180	
	発泡スチロール(軽量盛土)	樋門・樋管	軽量盛土工	軽量盛土工	10326190	Ⅲ-直接-1-37

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
は	発泡スチロール(軽量盛土)	河川修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	10926190	Ⅲ-直接-1-37
		堤防・護岸	軽量盛土工	軽量盛土工	20126190	
		砂防えん堤	軽量盛土工	軽量盛土工	30126190	
		流路	軽量盛土工	軽量盛土工	30226190	
		斜面対策	軽量盛土工	軽量盛土工	30326190	
		道路維持	軽量盛土工	軽量盛土工	51426190	
		道路修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	51526190	
	伐木・伐竹(伐木除根)	河川維持	堤防養生工	伐木除根工	10826160	Ⅲ-直接-14-14
	腹起し	堤防・護岸	護岸基礎工	矢板工	20126270	Ⅲ-直接-4-4
	張紙防止シート	道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51426230	Ⅲ-直接-14-67
	張紙防止塗装	道路維持	現場塗装工	張紙防止塗装工	51426220	Ⅲ-直接-13-24
		道路修繕	現場塗装工	張紙防止塗装工	51526220	
	張芝	築堤・護岸	法覆護岸工	植生工	10126150	Ⅲ-直接-5-44
		道路改良	法面工	植生工	50126150	
	張芝	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10826151	Ⅲ-直接-5-45
		河川修繕	腹付工	植生工	10926151	
		河川修繕	側帯工	植生工	10926151	
		砂防えん堤	法面工	植生工	30126151	
		斜面対策	法面工	植生工	30326151	
		道路維持	法面工	植生工	51426151	
		道路修繕	法面工	植生工	51526151	
	半たわみ性舗装	舗装	舗装工	半たわみ性舗装工	50226070	Ⅲ-直接-5-111
	ハンドホール	舗装	道路付属施設工	ケーブル配管工	50226040	Ⅲ-直接-5-238
	ハンドホール	道路維持	道路付属施設工	ケーブル配管工	51426041	Ⅲ-直接-5-239
		道路修繕	道路付属施設工	ケーブル配管工	51526041	
	ハンドホール	築堤・護岸	光ケーブル配管工	ハンドホール工	10126140	Ⅲ-直接-6-63
	ハンドホール	河川維持	光ケーブル配管工	ハンドホール工	10826141	Ⅲ-直接-6-64
	ハンドホール	電線共同溝	付帯設備工	ハンドホール工	51226290	Ⅲ-直接-12-9
ひ	控え版	堤防・護岸	護岸基礎工	矢板工	20127260	Ⅲ-直接-4-6
	ひび割れ充填	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10827170	Ⅲ-直接-14-25
	ひび割れ注入	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10827160	Ⅲ-直接-14-24
	ヒューム管	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10327280	Ⅲ-直接-6-65
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10327280	
	標識	河川維持	付属物設置工	付属物設置工	10827190	Ⅲ-直接-14-41
	標識基礎	舗装	標識工	大型標識工	50227050	Ⅲ-直接-5-195
	標識基礎	道路維持	標識工	大型標識工	51427051	Ⅲ-直接-5-196
		道路修繕	標識工	大型標識工	51527051	
	標識清掃(1)	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51427230	Ⅲ-直接-14-86
	標識清掃(2)	道路維持	道路清掃工	道路付属物清掃工	51427240	Ⅲ-直接-14-87
	標識柱(路側式)	築堤・護岸	付帯道路施設工	標識工	10127210	Ⅲ-直接-5-191
		堤防・護岸	付帯道路施設工	小型標識工	20127210	
		砂防えん堤	付帯道路施設工	小型標識工	30127210	
		舗装	標識工	小型標識工	50227210	
		道路維持	標識工	小型標識工	51427210	
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51427210	
		道路修繕	標識工	小型標識工	51527210	
	標識柱・基礎撤去(路側式)	共通	構造物撤去工	標識撤去工	90127080	Ⅲ-直接-15-8
	標識板(案内)	築堤・護岸	付帯道路施設工	標識工	10127040	Ⅲ-直接-5-192
		堤防・護岸	付帯道路施設工	小型標識工	20127040	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ひ	標識板(案内)	砂防えん堤	付帯道路施設工	小型標識工	30127040	Ⅲ-直接-5-192
		舗装	標識工	小型標識工	50227040	
		舗装	標識工	大型標識工	50227040	
		道路維持	標識工	小型標識工	51427040	
		道路維持	標識工	大型標識工	51427040	
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51427040	
		道路修繕	標識工	小型標識工	51527040	
		道路修繕	標識工	大型標識工	51527040	
	標識板(案内)撤去(片持式・門型式)	共通	構造物撤去工	標識撤去工	90127100	Ⅲ-直接-15-10
	標識板(警戒等)	築堤・護岸	付帯道路施設工	標識工	10127060	Ⅲ-直接-5-193
		堤防・護岸	付帯道路施設工	小型標識工	20127060	
		砂防えん堤	付帯道路施設工	小型標識工	30127060	
		舗装	標識工	小型標識工	50227060	
		舗装	標識工	大型標識工	50227060	
		道路維持	標識工	小型標識工	51427060	
		道路維持	標識工	大型標識工	51427060	
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51427060	
		道路修繕	標識工	小型標識工	51527060	
		道路修繕	標識工	大型標識工	51527060	
	標識板(警戒等)撤去(路側式)	共通	構造物撤去工	標識撤去工	90127120	Ⅲ-直接-15-9
	表示板	樋門・樋管	付属物設置工	銘板工	10327270	Ⅲ-直接-6-74
		堤防・護岸	付属物設置工	銘板工	20127270	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	銘板工	30127270	
	表層(車道・路肩部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10127010	Ⅲ-直接-5-107
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50227010	
	表層(車道・路肩部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10927011	Ⅲ-直接-5-108
		河川修繕	管理用通路工	オーバーレイ工	10927011	
		堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20127011	
		砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30127011	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51427011	
		道路維持	舗装工	オーバーレイ工	51427011	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51527011	
		道路修繕	舗装工	オーバーレイ工	51527011	
	表層(歩道部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10127030	Ⅲ-直接-5-109
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50227030	
	表層(歩道部)	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10927031	Ⅲ-直接-5-110
		河川修繕	管理用通路工	オーバーレイ工	10927031	
		堤防・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	20127031	
		砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30127031	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51427031	
		道路維持	舗装工	オーバーレイ工	51427031	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51527031	
		道路修繕	舗装工	オーバーレイ工	51527031	
	表面荒らし	道路維持	橋梁床版工	床版増厚補強工	51427220	Ⅲ-直接-13-14
		道路修繕	橋梁床版工	床版増厚補強工	51527220	
	表面処理	河川維持	構造物補修工	クラック補修工	10827180	Ⅲ-直接-14-27
	表面均し	樋門・樋管	護床工	捨石工	10327310	Ⅲ-直接-6-56

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ひ	表面均し	堤防・護岸	護岸基礎工	捨石工	20127310	Ⅲ-直接-6-56
		流路	根固め・水制工	捨石工	30227310	
	平ブロック張	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10127130	Ⅲ-直接-5-3
	平ブロック張	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20127131	Ⅲ-直接-5-4
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51427131	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51527131	
	広幅鋼矢板	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	矢板工	10327141	Ⅲ-直接-4-3
		堤防・護岸	護岸基礎工	矢板工	20127141	
		斜面対策	地下水遮断工	矢板工	30327141	
	ＰＣ管	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10327290	Ⅲ-直接-6-66
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10327290	
	ＰＣ函渠	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10327300	Ⅲ-直接-6-68
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10327300	
	ビーム・パネル(転落(横断)防止柵)	樋門・樋管	付属物設置工	防止柵工	10327200	Ⅲ-直接-5-230
		堤防・護岸	付属物設置工	防止柵工	20127200	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	防止柵工	30127200	
		流路	流路付属物設置工	防止柵工	30227200	
		道路維持	防護柵工	防止柵工	51427200	
		道路維持	道路付属物復旧工	付属物復旧工	51427200	
		道路修繕	防護柵工	防止柵工	51527200	
	ビーム・パネル（転落(横断)防止柵）撤去	共通	構造物撤去工	防止柵撤去工	90127250	Ⅲ-直接-15-2
ふ	フィルター材敷設(地下排水)	道路維持	排水構造物工	地下排水工	51428250	Ⅲ-直接-5-158
		道路修繕	排水構造物工	地下排水工	51528250	
	吹付枠	堤防・護岸	裏法被覆工	法枠工	20128280	Ⅲ-直接-5-59
		砂防えん堤	法面工	法枠工	30128280	
		斜面対策	法面工	法枠工	30328280	
		道路維持	法面工	法枠工	51428280	
		道路修繕	法面工	法枠工	51528280	
	覆土	築堤・護岸	法覆護岸工	覆土工	10128030	Ⅲ-直接-1-48
	覆土(購入土)	河川修繕	腹付工	覆土工	10928200	Ⅲ-直接-1-50
	覆土(採取土)	河川修繕	腹付工	覆土工	10928190	Ⅲ-直接-1-49
	袋詰式サンドドレーン	築堤・護岸	地盤改良工	バーチカルドレーン工	10128040	Ⅲ-直接-2-11
		堤防・護岸	地盤改良工	バーチカルドレーン工	20128040	
		道路改良	地盤改良工	バーチカルドレーン工	50128040	
	袋詰玉石	築堤・護岸	根固め工	根固めブロック工	10128050	Ⅲ-直接-6-46
		築堤・護岸	根固め工	沈床工	10128050	
		樋門・樋管	護床工	根固めブロック工	10328050	
		樋門・樋管	護床工	間詰工	10328050	
		樋門・樋管	護床工	沈床工	10328050	
	ふとんかご	築堤・護岸	法覆護岸工	羽口工	10128060	Ⅲ-直接-6-34
		築堤・護岸	根固め工	かご工	10128060	
		築堤・護岸	水制工	かご工	10128060	
		樋門・樋管	護床工	かご工	10328060	
		砂防えん堤	法面工	かご工	30128060	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	かご工	30128060	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ふ	ふとんかご	流路	根固め・水制工	かご工	30228060	Ⅲ-直接-6-34
		道路改良	法面工	かご工	50128060	
		道路維持	法面工	かご工	51428060	
		道路修繕	法面工	かご工	51528060	
	ふとんかご	斜面対策	法面工	かご工	30328061	Ⅲ-直接-6-35
	蓋	築堤・護岸	付帯道路工	集水桝工	10112130	Ⅲ-直接-5-154
		樋門・樋管	水路工	集水桝工	10312130	
		樋門・樋管	付属物設置工	点検施設工	10312130	
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10912130	
		堤防・護岸	排水構造物工	集水桝工	20112130	
		堤防・護岸	付帯道路工	集水桝工	20112130	
		砂防えん堤	付帯道路工	集水桝工	30112130	
		斜面対策	山腹水路工	集水桝工	30312130	
		斜面対策	斜面対策付属物設置工	点検施設工	30312130	
		道路改良	排水構造物工	集水桝・マンホール工	50112130	
		舗装	排水構造物工	集水桝・マンホール工	50212130	
		道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51412130	
		道路維持	排水構造物工	場所打水路工	51412130	
		道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51512130	
		道路修繕	排水構造物工	場所打水路工	51512130	
	蓋	電線共同溝	電線共同溝工	プレキャストボックス工(特殊部)	51228340	Ⅲ-直接-12-8
	蓋版撤去	共通	構造物撤去工	排水構造物撤去工	90106360	Ⅲ-直接-15-16
	踏掛版工	舗装	踏掛版工		50228020	Ⅲ-直接-5-176
	不陸整正	堤防・護岸	付帯道路工	舗装準備工	20128011	Ⅲ-直接-5-89
		砂防えん堤	付帯道路工	舗装準備工	30128011	
	不陸整正(車道部)	築堤・護岸	付帯道路工	舗装準備工	10128010	Ⅲ-直接-5-88
		舗装	舗装工	舗装準備工	50228010	
	不陸整正・締固め	河川維持	路面補修工	不陸整正工	10828180	Ⅲ-直接-5-90
	プレキャスト井筒	斜面対策	地下水排除工	集水井工	30328410	Ⅲ-直接-7-20
	プレキャストＬ型擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	プレキャスト擁壁工	10128140	Ⅲ-直接-5-75
		道路改良	擁壁工	プレキャスト擁壁工	50128140	
	プレキャストＬ型擁壁	斜面対策	擁壁工	プレキャスト擁壁工	30328141	Ⅲ-直接-5-76
		道路維持	擁壁工	プレキャスト擁壁工	51428141	
		道路修繕	擁壁工	プレキャスト擁壁工	51528141	
	プレキャスト階段	樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10328400	Ⅲ-直接-6-76
		堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20128400	
		流路	流路付属物設置工	階段工	30228400	
	プレキャスト笠コンクリート	築堤・護岸	矢板護岸工	笠コンクリート工	10128080	Ⅲ-直接-6-15
		堤防・護岸	護岸基礎工	笠コンクリート工	20128080	
	プレキャストカルバート工	道路改良	カルバート工		50128090	Ⅲ-直接-5-161
	プレキャスト基礎	築堤・護岸	護岸基礎工	基礎工	10128100	Ⅲ-直接-6-4
		築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10128100	
		築堤・護岸	法覆護岸工	緑化ブロック工	10128100	
		築堤・護岸	法覆護岸工	環境護岸ブロック工	10128100	
		築堤・護岸	法覆護岸工	石積(張)工	10128100	
		築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10128100	
	プレキャスト基礎	堤防・護岸	護岸基礎工	基礎工	20128101	Ⅲ-直接-6-5

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ふ	プレキャスト基礎	流路	流路護岸工	基礎工	30228102	Ⅲ-直接-6-6
	プレキャスト逆Ｔ型擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	プレキャスト擁壁工	10128170	Ⅲ-直接-5-77
		道路改良	擁壁工	プレキャスト擁壁工	50128170	
	プレキャスト逆Ｔ型擁壁	斜面対策	擁壁工	プレキャスト擁壁工	30328171	Ⅲ-直接-5-78
		道路維持	擁壁工	プレキャスト擁壁工	51428171	
		道路修繕	擁壁工	プレキャスト擁壁工	51528171	
	プレキャストコンクリート板	道路改良	法面工	アンカー工	50128110	Ⅲ-直接-5-71
	プレキャストコンクリート板	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30128111	Ⅲ-直接-5-72
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30328111	
		道路維持	法面工	アンカー工	51428111	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51528111	
	プレキャスト地覆	道路維持	橋梁付属物工	地覆工	51428310	Ⅲ-直接-9-9
		道路修繕	橋梁付属物工	地覆工	51528310	
	プレキャスト集水桝	斜面対策	山腹水路工	集水桝工	30328231	Ⅲ-直接-5-150
	プレキャスト集水桝・街渠桝	樋門・樋管	水路工	集水桝工	10328230	Ⅲ-直接-5-149
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10928230	
		堤防・護岸	排水構造物工	集水桝工	20128230	
		堤防・護岸	付帯道路工	集水桝工	20128230	
		砂防えん堤	付帯道路工	集水桝工	30128230	
		道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51428230	
		道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51528230	
	プレキャスト法枠	堤防・護岸	裏法被覆工	法枠工	20128270	Ⅲ-直接-5-58
		砂防えん堤	法面工	法枠工	30128270	
		斜面対策	法面工	法枠工	30328270	
		道路維持	法面工	法枠工	51428270	
		道路修繕	法面工	法枠工	51528270	
	プレキャストＰＣ床版取替	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51428300	Ⅲ-直接-13-15
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51528300	
	プレキャストボックス	道路維持	カルバート工	プレキャストカルバート工	51428260	Ⅲ-直接-5-163
		道路修繕	カルバート工	プレキャストカルバート工	51528260	
	プレキャストボックス	電線共同溝	電線共同溝工	プレキャストボックス工(特殊部)	51228261	Ⅲ-直接-12-7
	プレキャストボックス	樋門・樋管	水路工	暗渠工	10328262	Ⅲ-直接-5-162
		堤防・護岸	カルバート工	プレキャストカルバート工	20128262	
	プレキャストマンホール	道路維持	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51428240	Ⅲ-直接-5-159
		道路修繕	排水構造物工	集水桝・マンホール工	51528240	
	プレキャストＵ型側溝	樋門・樋管	水路工	側溝工	10328210	Ⅲ-直接-5-132
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10928210	
		堤防・護岸	排水構造物工	側溝工	20128210	
		堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20128210	
		砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30128210	
		道路維持	排水構造物工	側溝工	51428210	
		道路維持	排水構造物工	排水工	51428210	
		道路修繕	排水構造物工	側溝工	51528210	
		道路修繕	排水構造物工	排水工	51528210	
	プレキャストＵ型側溝(本体)	築堤・護岸	付帯道路工	側溝工	10138031	Ⅲ-直接-5-133
		道路改良	排水構造物工	側溝工	50138031	
		道路改良	排水構造物工	排水工	50138031	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ふ	プレキャストU型側溝(本体)	舗装	排水構造物工	側溝工	50238031	Ⅲ-直接-5-133
		舗装	排水構造物工	排水工	50238031	
	プレキャスト横帯コンクリート	流路	流路護岸工	護岸付属物工	30228380	Ⅲ-直接-6-16
	ブロック植樹	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10128150	Ⅲ-直接-5-26
		築堤・護岸	法覆護岸工	緑化ブロック工	10128150	
		道路改良	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	50128150	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51428150	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51528150	
	粉体噴射撹拌	築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10128120	Ⅲ-直接-2-14
		樋門・樋管	地盤改良工	固結工	10328120	
		堤防・護岸	地盤改良工	固結工	20128120	
		道路改良	地盤改良工	固結工	50128120	
へ	ペイント式区画線	築堤・護岸	付帯道路工	区画線工	10129010	Ⅲ-直接-5-179
		舗装	区画線工	区画線工	50229010	
	ペイント式区画線	堤防・護岸	付帯道路工	区画線工	20129011	Ⅲ-直接-5-180
		砂防えん堤	付帯道路工	区画線工	30129011	
		道路修繕	区画線工	区画線工	51529011	
	壁体	樋門・樋管	軽量盛土工	軽量盛土工	10329070	Ⅲ-直接-1-40
		河川修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	10929070	
		堤防・護岸	軽量盛土工	軽量盛土工	20129070	
		砂防えん堤	軽量盛土工	軽量盛土工	30129070	
		流路	軽量盛土工	軽量盛土工	30229070	
		斜面対策	軽量盛土工	軽量盛土工	30329070	
		道路維持	軽量盛土工	軽量盛土工	51429070	
		道路修繕	軽量盛土工	軽量盛土工	51529070	
	壁面材組立・設置(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30329031	Ⅲ-直接-5-83
	壁面材組立・設置(ジオテキスタイル補強土壁)	樋門・樋管	河川土工	盛土補強工	10329030	Ⅲ-直接-1-42
		河川修繕	河川土工	盛土補強工	10929030	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土補強工	30129030	
		流路	砂防土工	盛土補強工	30229030	
		斜面対策	砂防土工	盛土補強工	30329030	
		斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30329030	
	ベント基礎	道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51429060	Ⅲ-直接-9-8
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51529060	
	ベント設備	道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51429050	Ⅲ-直接-9-7
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51529050	
	ペーパードレーン	築堤・護岸	地盤改良工	バーチカルドレーン工	10129020	Ⅲ-直接-2-12
		堤防・護岸	地盤改良工	バーチカルドレーン工	20129020	
		道路改良	地盤改良工	バーチカルドレーン工	50129020	
ほ	保安管理費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	安全費	99030910	Ⅲ-間接-1-21
	防護	道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51430210	Ⅲ-直接-16-19
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51530210	
	防護	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	51430211	Ⅲ-直接-16-20
		道路維持	橋梁付属物工	検査路工	51430211	
		道路修繕	橋梁支承工	鋼橋支承工	51530211	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ほ	防護	道路修繕	橋梁支承工	ＰＣ橋支承工	51530211	Ⅲ-直接-16-20
		道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	51530211	
		道路修繕	橋梁付属物工	検査路工	51530211	
	防除	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10830140	Ⅲ-直接-14-59
		道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51430140	
	防水	道路維持	カルバート工	防水工	51430170	Ⅲ-直接-12-2
		道路修繕	カルバート工	防水工	51530170	
	防水工	道路改良	カルバート工		50130060	Ⅲ-直接-12-1
	防水保護	道路維持	カルバート工	防水工	51430180	Ⅲ-直接-12-3
		道路修繕	カルバート工	防水工	51530180	
	防雪柵	道路維持	冬期対策施設工	冬期安全施設工	51430230	Ⅲ-直接-5-243
		道路修繕	落石雪害防止工	防雪柵工	51530230	
	防雪柵現地張出し・収納	道路維持	冬期対策施設工	冬期安全施設工	51430240	Ⅲ-直接-14-93
	防雪柵工	道路改良	落石雪害防止工		50130070	Ⅲ-直接-5-242
	補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)	斜面対策	擁壁工	補強土壁工	30329032	Ⅲ-直接-5-84
	保孔管	斜面対策	地下水排除工	集排水ボーリング工	30330320	Ⅲ-直接-7-16
	歩車道境界ブロック	築堤・護岸	付帯道路工	縁石工	10130010	Ⅲ-直接-5-164
		舗装	縁石工	縁石工	50230010	
		舗装	縁石工	分離帯工	50230010	
	歩車道境界ブロック	河川修繕	管理用通路工	道路付属物工	10930011	Ⅲ-直接-5-165
		堤防・護岸	付帯道路工	縁石工	20130011	
		砂防えん堤	付帯道路工	縁石工	30130011	
		道路修繕	縁石工	縁石工	51530011	
	歩車道境界ブロック撤去	共通	構造物撤去工	縁石撤去工	90130270	Ⅲ-直接-15-22
	補植	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10830130	Ⅲ-直接-14-52
	補植	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51430131	Ⅲ-直接-14-53
	舗装版運搬処理	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51430200	Ⅲ-直接-15-28
		道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51430200	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51530200	
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51530200	
	舗装版切断	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10930150	Ⅲ-直接-13-2
		電線共同溝	舗装版撤去工	舗装版破砕工	51230150	
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51430150	
		道路維持	舗装工	薄層カラー舗装工	51430150	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51530150	
		道路修繕	舗装工	薄層カラー舗装工	51530150	
	舗装版破砕	河川修繕	管理用通路工	舗装打換え工	10930160	Ⅲ-直接-13-3
		道路維持	舗装工	舗装打換え工	51430160	
		道路維持	舗装工	薄層カラー舗装工	51430160	
		道路修繕	舗装工	舗装打換え工	51530160	
		道路修繕	舗装工	薄層カラー舗装工	51530160	
	舗装版破砕	道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51430161	Ⅲ-直接-13-5
		道路維持	橋梁床版工	旧橋撤去工	51430161	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51530161	
		道路修繕	橋梁床版工	旧橋撤去工	51530161	
	舗装版破砕	電線共同溝	舗装版撤去工	舗装版破砕工	51230162	Ⅲ-直接-13-4
	ボックスビーム	舗装	防護柵工	ボックスビーム工	50230030	Ⅲ-直接-5-220
	ボックスビーム	道路維持	防護柵工	ボックスビーム工	51430031	Ⅲ-直接-5-221

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ほ	ボックスビーム	道路修繕	防護柵工	ボックスビーム工	51530031	Ⅲ-直接-5-221
	掘取(移植)	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51430220	Ⅲ-直接-14-63
	ボルト締(落橋防止装置)	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51530260	Ⅲ-直接-9-18
	ボルト・ナット	道路修繕	工場製作工	床版補強材製作工	51530250	Ⅲ-直接-8-8
	ボルト・ナット	砂防えん堤	工場製作工	鋼製えん堤製作工	30130251	Ⅲ-直接-8-7
	ボーリング	斜面対策	地下水排除工	集排水ボーリング工	30330300	Ⅲ-直接-7-14
	ボーリング仮設機材	斜面対策	地下水排除工	集排水ボーリング工	30330330	Ⅲ-直接-7-18
	ボーリング洗浄	斜面対策	地下水排除工	集排水ボーリング工	30330310	Ⅲ-直接-7-15
	ボーリングマシン移設(アンカー)	砂防えん堤	法面工	アンカー工	30130190	Ⅲ-直接-5-68
		斜面対策	法面工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	30330190	
		斜面対策	法面工	抑止アンカー工	30330190	
		道路維持	法面工	アンカー工	51430190	
		道路修繕	法面工	アンカー工	51530190	
ま	埋設管路	電線共同溝	電線共同溝工	管路工(管路部)	51231100	Ⅲ-直接-12-4
	埋設ジョイント	舗装	橋梁付属物工	伸縮装置工	50231010	Ⅲ-直接-9-6
	埋設ジョイント補修	道路維持	橋梁付属物工	伸縮継手工	51431070	Ⅲ-直接-13-19
		道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	51531070	
	埋設表示シート	電線共同溝	電線共同溝工	管路工(管路部)	51231110	Ⅲ-直接-12-6
	前処理	砂防えん堤	工場製作工	工場塗装工	30131120	Ⅲ-直接-8-13
	巻きコンクリート(管渠)	樋門・樋管	水路工	暗渠工	10331050	Ⅲ-直接-5-148
		河川修繕	管理用通路工	排水構造物工	10931050	
		堤防・護岸	排水構造物工	管渠工	20131050	
		堤防・護岸	付帯道路工	側溝工	20131050	
		砂防えん堤	付帯道路工	側溝工	30131050	
		道路維持	排水構造物工	管渠工	51431050	
		道路修繕	排水構造物工	管渠工	51531050	
	増桁架設	道路維持	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51431060	Ⅲ-直接-13-13
		道路維持	橋梁床版工	床版取替工	51431060	
		道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(増桁架設工法)	51531060	
		道路修繕	橋梁床版工	床版取替工	51531060	
	桝清掃(1)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51431080	Ⅲ-直接-14-80
	桝清掃(2)	道路維持	道路清掃工	排水施設清掃工	51431090	Ⅲ-直接-14-81
	間詰石	樋門・樋管	護床工	間詰工	10331130	Ⅲ-直接-6-47
		砂防えん堤	護床工・根固め工	間詰工	30131130	
		流路	根固め・水制工	間詰工	30231130	
	間詰コンクリート	舗装	縁石工	分離帯工	50231030	Ⅲ-直接-5-170
	間詰コンクリート	砂防えん堤	護床工・根固め工	間詰工	30131031	Ⅲ-直接-3-22
		流路	根固め・水制工	間詰工	30231031	
	間詰砕石	舗装	縁石工	分離帯工	50231040	Ⅲ-直接-5-171
	マンホール	道路改良	排水構造物工	集水桝・マンホール工	50131020	Ⅲ-直接-5-160
		舗装	排水構造物工	集水桝・マンホール工	50231020	
み	水抜暗渠	砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリートえん堤本体工	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート副えん堤工	30132050	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30132050	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30132050	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
み	水抜暗渠	砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30132050	Ⅲ-直接-7-4
		流路	床固め工	垂直壁工	30232050	
		流路	床固め工	側壁工	30232050	
	水抜パイプ	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20132040	Ⅲ-直接-3-32
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30132040	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30132040	
		流路	床固め工	垂直壁工	30232040	
		流路	床固め工	側壁工	30232040	
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30332040	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30332040	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51432040	
		道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51432040	
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51532040	
		道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51532040	
め	銘板	樋門・樋管	付属物設置工	銘板工	10334040	Ⅲ-直接-6-73
		堤防・護岸	付属物設置工	銘板工	20134040	
		砂防えん堤	砂防えん堤付属物設置工	銘板工	30134040	
	目地材料費	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20134050	Ⅲ-直接-5-123
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30134050	
	目地板	樋門・樋管	樋門・樋管本体工	函渠工	10334020	Ⅲ-直接-3-30
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	翼壁工	10334020	
		樋門・樋管	樋門・樋管本体工	水叩工	10334020	
		樋門・樋管	水路工	樋門接続暗渠工	10334020	
		樋門・樋管	付属物設置工	階段工	10334020	
		河川修繕	側帯工	縁切工	10934020	
		河川修繕	堤脚保護工	石積工	10934020	
		河川修繕	堤脚保護工	コンクリートブロック工	10934020	
		堤防・護岸	護岸基礎工	場所打コンクリート工	20134020	
		堤防・護岸	護岸基礎工	笠コンクリート工	20134020	
		堤防・護岸	護岸基礎工	基礎工	20134020	
		堤防・護岸	護岸工	石積(張)工	20134020	
		堤防・護岸	護岸工	コンクリート被覆工	20134020	
		堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工	20134020	
		堤防・護岸	天端被覆工	コンクリート被覆工	20134020	
		堤防・護岸	波返工	波返工	20134020	
		堤防・護岸	裏法被覆工	石積(張)工	20134020	
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20134020	
		堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリート被覆工	20134020	
		堤防・護岸	排水構造物工	場所打水路工	20134020	
		堤防・護岸	付属物設置工	階段工	20134020	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	コンクリート側壁工	30134020	
		砂防えん堤	コンクリートえん堤工	水叩工	30134020	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	コンクリート側壁工	30134020	
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	水叩工	30134020	
		流路	流路護岸工	コンクリート擁壁工	30234020	
		流路	流路護岸工	ブロック積擁壁工	30234020	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
め	目地板	流路	流路護岸工	石積擁壁工	30234020	Ⅲ-直接-3-30
		流路	床固め工	床固め本体工	30234020	
		流路	床固め工	垂直壁工	30234020	
		流路	床固め工	側壁工	30234020	
		流路	床固め工	水叩工	30234020	
		流路	床固め工	魚道工	30234020	
		流路	流路付属物設置工	階段工	30234020	
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工	30334020	
		斜面対策	擁壁工	落石防護工	30334020	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工	30334020	
		道路維持	防護柵工	防護柵基礎工	51434020	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工	51434020	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51434020	
		道路維持	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51434020	
		道路維持	カルバート工	場所打函渠工	51434020	
		道路修繕	防護柵工	防護柵基礎工	51534020	
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工	51534020	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51534020	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	石積(張)工	51534020	
		道路修繕	カルバート工	場所打函渠工	51534020	
		道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51534020	
	目地補修(舗装版目地補修)	河川維持	路面補修工	コンクリート舗装補修工	10834010	Ⅲ-直接-14-34
		道路維持	舗装工	コンクリート舗装補修工	51434010	
	メッキ	砂防えん堤	工場製作工	工場塗装工	30134060	Ⅲ-直接-8-25
	面導水	道路維持	トンネル工	漏水対策工	51434030	Ⅲ-直接-13-27
		道路修繕	トンネル工	漏水対策工	51534030	
も	もたれ式擁壁	築堤・護岸	擁壁護岸工	場所打擁壁工	10135030	Ⅲ-直接-3-9
		道路改良	擁壁工	場所打擁壁工	50135030	
	もたれ式擁壁	堤防・護岸	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	20135031	Ⅲ-直接-3-10
		斜面対策	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	30335031	
		斜面対策	地下水遮断工	場所打擁壁工(構造物単位)	30335031	
		道路維持	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51435031	
		道路修繕	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)	51535031	
	木工沈床	築堤・護岸	根固め工	沈床工	10135040	Ⅲ-直接-6-50
		築堤・護岸	水制工	沈床工	10135040	
		樋門・樋管	護床工	沈床工	10335040	
		砂防えん堤	護床工・根固め工	沈床工	30135040	
	木根等処分費	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	準備費	99035910	Ⅲ-間接-1-6
	元付	築堤・護岸	水制工	元付工	10135050	Ⅲ-直接-6-57
	元付	砂防えん堤	護床工・根固め工	元付工	30135051	Ⅲ-直接-6-58
		流路	根固め・水制工	元付工	30235051	
	盛土(砂防)	砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30135061	Ⅲ-直接-1-15
		流路	砂防土工	盛土工	30235061	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30335061	
	モルタル吹付	砂防えん堤	法面工	法面吹付工	30135090	Ⅲ-直接-5-53

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
も	モルタル吹付	斜面対策	法面工	吹付工	30335090	Ⅲ-直接-5-53
		道路維持	法面工	法面吹付工	51435090	
		道路修繕	法面工	法面吹付工	51535090	
	門型標識柱	舗装	標識工	大型標識工	50235020	Ⅲ-直接-5-197
	門型標識柱	道路維持	標識工	大型標識工	51435021	Ⅲ-直接-5-198
		道路修繕	標識工	大型標識工	51535021	
や	矢板工(護岸基礎)	築堤・護岸	護岸基礎工		10136010	Ⅲ-直接-6-8
	矢板工(矢板護岸)	築堤・護岸	矢板護岸工		10136020	Ⅲ-直接-6-9
	薬液注入	築堤・護岸	地盤改良工	固結工	10136030	Ⅲ-直接-2-19
		道路改良	地盤改良工	固結工	50136030	
	薬液注入	樋門・樋管	地盤改良工	固結工	10336031	Ⅲ-直接-2-20
		堤防・護岸	地盤改良工	固結工	20136031	
		斜面対策	地下水遮断工	固結工	30336031	
ゆ	輸送	砂防えん堤	工場製品輸送工	輸送工	30138040	Ⅲ-直接-8-27
		道路修繕	工場製品輸送工	輸送工	51538040	
	U型側溝(蓋)	築堤・護岸	付帯道路工	側溝工	10138020	Ⅲ-直接-5-134
		道路改良	排水構造物工	側溝工	50138020	
		道路改良	排水構造物工	場所打水路工	50138020	
		道路改良	排水構造物工	排水工	50138020	
		舗装	排水構造物工	側溝工	50238020	
		舗装	排水構造物工	場所打水路工	50238020	
		舗装	排水構造物工	排水工	50238020	
	U型側溝撤去	共通	構造物撤去工	排水構造物撤去工	90138050	Ⅲ-直接-15-15
よ	用水基本料金	間接工事費(ユニット)	共通仮設費	役務費	99040910	Ⅲ-間接-1-25
	溶融式区画線	築堤・護岸	付帯道路工	区画線工	10140010	Ⅲ-直接-5-177
		舗装	区画線工	区画線工	50240010	
	溶融式区画線	堤防・護岸	付帯道路工	区画線工	20140011	Ⅲ-直接-5-178
		砂防えん堤	付帯道路工	区画線工	30140011	
		道路修繕	区画線工	区画線工	51540011	
	横帯コンクリート	流路	流路護岸工	護岸付属物工	30240070	Ⅲ-直接-3-24
	横目地	堤防・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	20140060	Ⅲ-直接-5-125
		砂防えん堤	付帯道路工	コンクリート舗装工	30140060	
	寄植剪定	河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10840030	Ⅲ-直接-14-50
	寄植剪定	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51440031	Ⅲ-直接-14-51
	寄植・芝施肥	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51440040	Ⅲ-直接-14-57
	寄植・芝薬剤散布	道路維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	51440050	Ⅲ-直接-14-62
ら	落石防護柵	道路改良	落石雪害防止工	落石防護柵工	50141010	Ⅲ-直接-5-208
	落雪(せり出し)防護柵	道路維持	冬期対策施設工	冬期安全施設工	51441050	Ⅲ-直接-14-92
	ラス張	築堤・護岸	法覆護岸工	植生工	10141030	Ⅲ-直接-5-51
		河川維持	植栽維持工	樹木・芝生管理工	10841030	
		河川修繕	腹付工	植生工	10941030	
		河川修繕	側帯工	植生工	10941030	
		堤防・護岸	裏法被覆工	法枠工	20141030	
		砂防えん堤	法面工	法枠工	30141030	
		斜面対策	法面工	法枠工	30341030	
		道路改良	法面工	植生工	50141030	
		道路維持	法面工	植生工	51441030	
		道路維持	法面工	法枠工	51441030	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ら	ラス張	道路修繕	法面工	植生工	51541030	Ⅲ-直接-5-51
		道路修繕	法面工	法枠工	51541030	
り	柳枝	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10142010	Ⅲ-直接-6-26
	流量計	樋門・樋管	付属物設置工	観測施設工	10342060	Ⅲ-直接-6-79
	量水標	樋門・樋管	付属物設置工	観測施設工	10342050	Ⅲ-直接-6-77
	緑化ブロック積	道路改良	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	50142030	Ⅲ-直接-5-14
	緑化ブロック積	道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51442031	Ⅲ-直接-5-15
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51542031	
	緑化ブロック積	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10142040	Ⅲ-直接-5-16
		築堤・護岸	法覆護岸工	緑化ブロック工	10142040	
れ	連結板取付(落橋防止装置)	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	51544030	Ⅲ-直接-9-16
	連柴柵	築堤・護岸	法覆護岸工	多自然型護岸工	10144010	Ⅲ-直接-6-29
	連節ブロック張	築堤・護岸	法覆護岸工	コンクリートブロック工	10144020	Ⅲ-直接-5-5
		築堤・護岸	法覆護岸工	羽口工	10144020	
	連節ブロック張	河川修繕	側帯工	縁切工	10944021	Ⅲ-直接-5-6
	連節ブロック張	堤防・護岸	裏法被覆工	コンクリートブロック工	20144022	Ⅲ-直接-5-7
		道路維持	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51444022	
		道路修繕	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工	51544022	
ろ	路肩整正(1)	道路維持	道路清掃工	路肩整正工	51445160	Ⅲ-直接-14-71
	路肩整正(2)	道路維持	道路清掃工	路肩整正工	51445170	Ⅲ-直接-14-72
	露出管路	電線共同溝	電線共同溝工	管路工(管路部)	51245220	Ⅲ-直接-12-5
	路床安定処理工	道路改良	地盤改良工		50145030	Ⅲ-直接-2-6
		舗装	地盤改良工		50245030	
	路上表層再生	道路維持	舗装工	路上再生工	51445120	Ⅲ-直接-13-8
		道路修繕	舗装工	路上再生工	51545120	
	路床盛土	築堤・護岸	河川土工	盛土工	10145020	Ⅲ-直接-1-13
		道路改良	道路土工	路床盛土工	50145020	
		舗装	道路土工	路床盛土工	50245020	
	路床盛土	樋門・樋管	河川土工	盛土工	10345021	Ⅲ-直接-1-14
		河川修繕	河川土工	盛土工	10945021	
		堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20145021	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30145021	
		流路	砂防土工	盛土工	30245021	
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30345021	
		道路維持	道路土工	路床盛土工	51445021	
		道路修繕	道路土工	路床盛土工	51545021	
	路上路盤再生	道路維持	舗装工	路上再生工	51445110	Ⅲ-直接-13-7
		道路修繕	舗装工	路上再生工	51545110	
	路体(築堤)盛土	築堤・護岸	河川土工	盛土工	10145010	Ⅲ-直接-1-11
		道路改良	道路土工	路体盛土工	50145010	
		舗装	道路土工	路体盛土工	50245010	
	路体(築堤)盛土	樋門・樋管	河川土工	盛土工	10345011	Ⅲ-直接-1-12
		河川修繕	河川土工	盛土工	10945011	
		堤防・護岸	海岸土工	盛土工	20145011	
		砂防えん堤	砂防土工	盛土工	30145011	

索　　引

	ユニット区分	工事区分	工種	種別	ユニットコード	積算基準頁
ろ	路体(築堤)盛土	流路	砂防土工	盛土工	30245011	Ⅲ-直接-1-12
		斜面対策	砂防土工	盛土工	30345011	
		道路維持	道路土工	路体盛土工	51445011	
		道路修繕	道路土工	路体盛土工	51545011	
	路盤	砂防えん堤	付帯道路工	アスファルト舗装工	30145230	Ⅲ-直接-5-102
	路盤(歩道部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10145040	Ⅲ-直接-5-101
		築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10145040	
		築堤・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	10145040	
		築堤・護岸	付帯道路工	ブロック舗装工	10145040	
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50245040	
		舗装	舗装工	透水性舗装工	50245040	
		舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50245040	
		舗装	舗装工	薄層カラー舗装工	50245040	
		舗装	舗装工	ブロック舗装工	50245040	
	路盤(路肩部)	築堤・護岸	付帯道路工	アスファルト舗装工	10145050	Ⅲ-直接-5-97
		築堤・護岸	付帯道路工	コンクリート舗装工	10145050	
		築堤・護岸	付帯道路工	薄層カラー舗装工	10145050	
		築堤・護岸	付帯道路工	ブロック舗装工	10145050	
		舗装	舗装工	アスファルト舗装工	50245050	
		舗装	舗装工	半たわみ性舗装工	50245050	
		舗装	舗装工	排水性舗装工	50245050	
		舗装	舗装工	コンクリート舗装工	50245050	
		舗装	舗装工	薄層カラー舗装工	50245050	
		舗装	舗装工	ブロック舗装工	50245050	
	路面清掃(1)	道路維持	道路清掃工	路面清掃工	51445130	Ⅲ-直接-14-68
	路面清掃(2)	道路維持	道路清掃工	路面清掃工	51445140	Ⅲ-直接-14-69
	路面清掃(歩道等)	道路維持	道路清掃工	路面清掃工	51445150	Ⅲ-直接-14-70
	路面切削	河川修繕	管理用通路工	路面切削工	10945100	Ⅲ-直接-13-1
		道路維持	舗装工	路面切削工	51445100	
		道路修繕	舗装工	路面切削工	51545100	
	ロープ・金網	斜面対策	擁壁工	落石防護工	30345180	Ⅲ-直接-5-209
		道路修繕	落石雪害防止工	落石防護柵工	51545180	
	ロープ・金網（落石防護柵）撤去	共通	構造物撤去工	落石防護柵撤去工	90145190	Ⅲ-直接-15-17
わ	枠内中詰	砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製えん堤本体工	30146030	Ⅲ-直接-7-8
		砂防えん堤	鋼製えん堤工	鋼製側壁工	30146030	
	わだち掘れ補修	河川維持	路面補修工	アスファルト舗装補修工	10846020	Ⅲ-直接-14-36
		道路維持	舗装工	アスファルト舗装補修工	51446020	